金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）

図面リスト

意匠						構造			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
Ａ－００	図面リスト	Ａ－４０	１階平面詳細図（９）	Ａ－８０	部分詳細図（２）	Ｓ－０１	構造特記仕様書	Ｓ－４１	ＱＬデッキ納まり図［２］（スタッド）
Ａ－０１	特記仕様書（１）	Ａ－４１	２階平面詳細図（１）	Ａ－８１	部分詳細図（３）	Ｓ－０２	鉄筋コンクリート構造配筋標準図［１］	Ｓ－４２	ＱＬデッキ納まり図［３］（柱廻梁継）
Ａ－０２	特記仕様書（２）	Ａ－４２	２階平面詳細図（２）	Ａ－８２	部分詳細図（４）	Ｓ－０３	鉄筋コンクリート構造配筋標準図［２］	Ｓ－４３	ＱＬデッキ納まり図［４］（施工仕様）
Ａ－０３	特記仕様書（３）	Ａ－４３	２階平面詳細図（３）	Ａ－８３	部分詳細図（５）	Ｓ－０４	鉄筋コンクリート構造配筋標準図［３］	Ｓ－４４	ＱＬデッキ納まり図［５］（開口補強）
Ａ－０４	特記仕様書（４）	Ａ－４４	２階平面詳細図（４）	Ａ－８４	耐震天井詳細図	Ｓ－０５	鉄筋コンクリート構造配筋標準図［４］	Ｓ－４５	ＱＬデッキ納まり図［６］（電気配線）
Ａ－０５	特記仕様書（５）	Ａ－４５	３階平面詳細図（１）	Ａ－８５	カーテンウォール詳細図（１）	Ｓ－０６	鉄筋コンクリート構造配筋標準図［５］	Ｓ－４６	ＱＬデッキ納まり図［７］（床の段差）
Ａ－０６	特記仕様書（６）	Ａ－４６	３階平面詳細図（２）	Ａ－８６	カーテンウォール詳細図（２）	Ｓ－０７	鉄筋コンクリート構造配筋標準図［６］	Ｓ－４７	鉄骨架構詳細図［１］
Ａ－０７	特記仕様書（７）	Ａ－４７	３階平面詳細図（３）	Ａ－８７	カーテンウォール詳細図（３）	Ｓ－０８	鉄骨構造標準図［１］	Ｓ－４８	鉄骨架構詳細図［２］
Ａ－０８	敷地求積図	Ａ－４８	３階平面詳細図（４）	Ａ－８８	カーテンウォール詳細図（４）	Ｓ－０９	鉄骨構造標準図［２］	Ｓ－４９	雑詳細図［１］
Ａ－０９	付近見取図・配置図（H31年度末建物完成時）	Ａ－４９	１階展開図（１）	Ａ－８９	カーテンウォール詳細図（５）	Ｓ－１０	鉄骨構造標準図［３］	Ｓ－５０	雑詳細図［２］
Ａ－１０	配置図（最終）	Ａ－５０	１階展開図（２）	Ａ－９０	カーテンウォール詳細図（６）	Ｓ－１１	鉄骨構造標準図［４］	Ｓ－５１	架台伏図，軸組図，部材リスト（電気室）
Ａ－１１	面積表	Ａ－５１	１階展開図（３）	Ａ－９１	カーテンウォール詳細図（７）	Ｓ－１２	地質調査図［１］	Ｓ－５２	キャノピー基礎図
Ａ－１２	仕上表	Ａ－５２	１階展開図（４）	Ａ－９２	カーテンウォール詳細図（８）	Ｓ－１３	地質調査図［２］	Ｓ－５３	受水槽地盤改良図
Ａ－１３	１階平面図	Ａ－５３	２階展開図（１）	Ａ－９３	カーテンウォール詳細図（９）	Ｓ－１４	地質調査図［３］	Ｓ－５４	特定天井下地伏図，詳細図（参考図）
Ａ－１４	２階平面図	Ａ－５４	２階展開図（２）	Ａ－９４	カーテンウォール詳細図（１０）	Ｓ－１５	基礎伏図	Ｓ－５５	自立式山留め壁計画図（参考図）
Ａ－１５	３階平面図	Ａ－５５	３階展開図（１）	Ａ－９５	外構図	Ｓ－１６	１階床伏図		
Ａ－１６	屋根平面図	Ａ－５６	３階展開図（２）	Ａ－９６	キャノピー詳細図（１）	Ｓ－１７	２階床伏図		
Ａ－１７	ピット伏図	Ａ－５７	３階展開図（３）	Ａ－９７	キャノピー詳細図（２）	Ｓ－１８	３階床伏図		
Ａ－１８	立面図（１）	Ａ－５８	１階ＷＣ展開図（１）	Ａ－９８	キャノピー詳細図（３）	Ｓ－１９	Ｒ階床伏図		
Ａ－１９	立面図（２）	Ａ－５９	１階ＷＣ展開図（２）	Ａ－９９	キャノピー詳細図（４）	Ｓ－２０	Y0A通り，Y0B通り軸組図		
Ａ－２０	断面図	Ａ－６０	２・３階ＷＣ展開図	Ａ－１００	キャノピー詳細図（５）	Ｓ－２１	Y1通り，Y2通り軸組図		
Ａ－２１	矩計図（１）	Ａ－６１	１階天井伏図	Ａ－１０１	キャノピー詳細図（６）	Ｓ－２２	Y3通り，Y4通り軸組図		
Ａ－２２	矩計図（２）	Ａ－６２	２階天井伏図	Ａ－１０２	指定仮設図	Ｓ－２３	Y5通り，X1通り，X2通り軸組図		
Ａ－２３	矩計図（３）	Ａ－６３	３階天井伏図			Ｓ－２４	X3通り，X4通り，X5通り，X6通り軸組図		
Ａ－２４	矩計図（４）	Ａ－６４	建具符号図			Ｓ－２５	X7通り，X8通り，X8A通り，X9通り軸組図		
Ａ－２５	矩計図（５）	Ａ－６５	建具リスト（１）			Ｓ－２６	X10通り，X10A通り，X11通り，X12通り軸組図		
Ａ－２６	矩計図（６）	Ａ－６６	建具リスト（２）			Ｓ－２７	基礎リスト［１］，杭リスト		
Ａ－２７	階段室１平面詳細図	Ａ－６７	建具リスト（３）			Ｓ－２８	基礎リスト［２］		
Ａ－２８	階段室１断面図	Ａ－６８	建具リスト（４）			Ｓ－２９	基礎梁リスト［１］		
Ａ－２９	階段室２平面詳細図	Ａ－６９	建具リスト（５）			Ｓ－３０	基礎梁リスト［２］		
Ａ－３０	階段室２断面図	Ａ－７０	家具符号図			Ｓ－３１	基礎小梁リスト［１］		
Ａ－３１	外部階段平面詳細図・断面図	Ａ－７１	家具リスト			Ｓ－３２	基礎小梁リスト［２］，基礎片持ち梁リスト，スラブリスト		
Ａ－３２	１階平面詳細図（１）	Ａ－７２	壁リスト			Ｓ－３３	鉄骨部材リスト		
Ａ－３３	１階平面詳細図（２）	Ａ－７３	サインコンセプト			Ｓ－３４	大梁継手リスト		
Ａ－３４	１階平面詳細図（３）	Ａ－７４	１階サイン符号図			Ｓ－３５	小梁・片持ち梁継手リスト，大梁仕口リスト，小梁仕口リスト		
Ａ－３５	１階平面詳細図（４）	Ａ－７５	２階サイン符号図			Ｓ－３６	横補剛材兼用小梁仕口リスト，剛接合小梁リスト		
Ａ－３６	１階平面詳細図（５）	Ａ－７６	３階サイン符号図			Ｓ－３７	ハイベースＮＥＯ工法設計施工標準		
Ａ－３７	１階平面詳細図（６）	Ａ－７７	サインリスト（１）			Ｓ－３８	鉄骨柱脚リスト		
Ａ－３８	１階平面詳細図（７）	Ａ－７８	サインリスト（２）			Ｓ－３９	ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準		
Ａ－３９	１階平面詳細図（８）	Ａ－７９	部分詳細図（１）			Ｓ－４０	ＱＬデッキ納まり図［１］（ひび防止）		

質疑のある者は
指定日時までに営繕課へ提出すること。

現場説明　ナシ

監修	石川県土木部営繕課 年 月 日			
課長	担当課長	課長補佐	ＧＬ	担当

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計・・	図面リスト	縮尺 －	図番 Ａ－00

建　築　工　事　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

1　工 事 場 所　　金沢　市■■　無量寺　町　　地内

2　工 事 内 容　(1)⊙本 体 工 事　（種別．棟別．構造．階．面積）

本体　鉄骨造　地上３階建て
建築面積 5,176.00㎡　延床面積 10,618.62㎡

ｷｬﾉﾋﾟｰ　鉄骨造 骨組膜構造　平屋建て
建築面積 130.00㎡　延床面積 130.00㎡

(2)⊙屋 外 付 帯 工 事
犬走りマデ

(3)・電 気 設 備 工 事

(4)・給排水衛生設備工事

(5)・解　体　工　事

3　完 成 期 日　　平成　年　月　日　（慨成工期 平成　年　月　日）

4　別契約関連工事　⊙屋　外　付　帯　工　事　⊙植　栽　工　事
⊙電　気　設　備　工　事　⊙給排水衛生設備工事
⊙暖　房　設　備　工　事　⊙冷　房　設　備　工　事
⊙換　気　設　備　工　事　⊙空　調　設　備　工　事
⊙エレベータ設備工事　⊙電　話　設　備　工　事
・浄 化 槽 設 備 工 事　・合併処理設備工事
・　⊙エスカレーター設備工事

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

1　共　通　仕　様

1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成２８年版」（以下「標仕」という。）による。

2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図、機械設備工事は（　／　）図による。

2　特　記　仕　様

1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。

⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

⊙印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の（　．　．　）内表示番号は、「標仕」の該当項目、当該図又は当該表を示す。

4）特記事項に記載の（別図ー　．　．　）は、「標仕」の別図「各部配筋」の当該番号を示す。

5）特記事項に記載の［　．　］内表示番号は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成２８年版」（以下「改修標仕」という。）の当該項目、当該図又は当該表を示す。

6）G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）の特定調達品目を示す。該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。

7）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。

8）斜線で消去した章は適用しない。

1　章　一　般　共　通　事　項

項　目		特　記　事　項
①	適用基準等	設計図書の他に、下記の図書の該当事項を適用する。 ⊙建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成２８年版） ⊙建築構造設計基準の資料（国土交通省大臣官房官庁営繕部　平成２７年通知）のうち第３章 ⊙営繕工事写真撮影要領（平成２８年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部） ⊙営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部　平成２４年度版） ・建築物解体工事共通仕様書（平成２４年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・公共建築木造工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成２８年版） ・屋根瓦工事共通仕様書（石川県土木部営繕課監修　平成２９年版） ⊙鉄筋コンクリート構造配筋標準図（石川県土木部営繕課監修） ・壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（石川県土木部営繕課監修） ⊙鉄骨構造標準図（石川県土木部営繕課監修） ⊙石川県バリアフリー社会の推進に関する条例に基づく整備基準（施設整備の手引き） ⊙石川県公共事業景観形成ガイドライン
②	工事実績情報の登録	⊗　登録する（但し工事請負代金額500万円以上の工事。）　（１．１．４）
③	発生材の処理	1）産業廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可業者により運搬し、同法に基づく許可を得た処分場で処分する。 　また、処分に際しては産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認するとともに、マニフェスト一覧表を監督員に提出し、確認を受けなければならない。 2）発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に引き渡す。　（１．３．11） イ）引渡しを要するもの及び引渡し場所　・引渡を要するもの　・引渡し場所 ロ）特別管理産業廃棄物の有無　・有　・無 ハ）特別管理産業廃棄物の処理方法　※図面　番　図参照 3）発生材のうち、現場で再利用を図るもの及び再資源化を図るものは、下記による。 ・現場で再利用を図るもの　・ ・再資源化を図るもの　・ 4）建設リサイクル法第11条に基づく「通知書」及び同法第18条に基づく「再資源化等報告書」の提出の有無 ⊙有(CREDASデータディスクを含む)　・無
④	電気保安技術者	※　適用する　（１．３．３）
⑤	施工条件	・
⑥	建築材料等	1）本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの、5）又はこれらと同等のものとする。 ①「評価名簿による」と特記されたものについては、「建築材料・設備機械等品質性能評価事業評価名簿（最新年版）」（(社)公共建築協会）によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、次の②に準じ監督員の承諾を受ける。また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとみなす。 ②ＪＩＳ又はＪＡＳマーク表示のない材料及びその製造所等は、(次のイ）からへ）の事項を満たすものとする。また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等品以上を使用するものとし、監督員の承諾を受けるものとする。 イ）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ロ）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ハ）安定的な供給が可能であること。 ニ）法令等で定める許可、認定、又は免許等を取得していること。 ホ）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ヘ）販売保守等の営業体制が整えられていること。 　なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 2）　請負契約約款第６条の２第６項に基づき調達する石川県産の工事材料については、「使用材料確認願」により監督員の確認を受け、工事完了後は地元産品について「使用材料報告書」を提出する。 3）　請負契約約款第１３条第２項に定める監督員等の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。 ⊗杭　⊙型枠類　⊙防水材料　⊙石材　⊙木材 但し、杭以外のＪＩＳ規格品は除く。 4）　請負契約約款第１４条第１項に定める監督員等の立会いのうえ調合等をし使用すべき工事材料は次のものとする。 ※高強度コンクリート試し練り　・地盤改良材の調合　・土壁仕上げ材調合 5）　請負契約約款第１４条第３項に定める見本は次のものとする。 ⊙金属製品　⊙合成樹脂製品　⊙木製建具　⊙塗装　・土壁仕上げ材 ⊙家具及び家具の金物　・畳　⊙内外装材料　⊙屋根材料 なお、監督員が承諾した材料は、証明となる資料と使用箇所を付し、工事完成まで現場事務所に掲示する。ただし、掲示が困難な材料等はカタログ、その他に代えることができる。 6）　本工事に使用する建築材料等は、アスベスト含有建材を使用しないものとする。（「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則等の一部を改正する省令の施行等について」（厚生労働省労働基準局長通達平成１８年８月）参照）。安全データシート（SDS）等により確認を行った場合は、その写しを監督員に提出する。
⑦	特別な材料の工法	「標仕」に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。
⑧	技能士等	適用する技能士等及び技能士の適用工事種別及び作業の種別は次の通りとする。 ※　技能士　（１．５．２）

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	⊙とび作業
鉄筋工事	⊙鉄筋組立て作業
コンクリート工事	⊙型枠作業　⊙コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	⊙構造物鉄工作業　⊙とび作業
ブロック・ALCパネル工事 押出成形セメント板工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ⊙塩化ビニル系シート防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業　・ＦＲＰ防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業　・セメント系防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業　⊙シーリング防水工事作業
石工事	⊙石材加工作業　⊙石張り作業　・石積み作業
タイル工事	⊙タイル張り作業
木工事	⊙大工工事作業
屋根及びとい工事	⊙内外装板金作業 ・かわらぶき作業
金属工事	⊙鋼製下地工事作業　⊙内外装板金作業
左官工事	⊙左官作業
建具工事	⊙ビル用サッシ施工作業 ⊙自動ドア施工作業 ⊙ガラス工事作業
カーテンウォール工事	⊙金属製カーテンウォール工事作業　⊙ビル用サッシ施工作業 ⊙ガラス工事作業
塗装工事	⊙建築塗装作業
内装工事	⊙プラスチック系床仕上げ工事作業 ⊙カーペット系床仕上げ作業　・木質系床仕上げ作業 ⊙ボード仕上げ工事作業　⊙表装（壁装作業）
排水工事	⊙建築配管作業
植栽工事	・造園工事作業

・「石川の伝統的建造技術を伝える会」のうち、金沢城公園整備工事従事者の認定を受けた者。

⑨	完成図等	1）　完成図　※作成する　（１．７．１～１．７．３）(表１.７.１)		
		イ）工事完成図は、製本１部、Ａ３版製本２部提出する。		
		ロ）ＣＤ－Ｒ 又はＤＶＤ－Ｒに、ＣＡＤで設計したものはＣＡＤデータ、手描きの場合はラスターデータとして記録し１部提出する。 また、本仕様書の「第１章２９電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。 ※ラスターデータ：画像データでＴＩＦＦ形式、原図大で３００dpi密度以上とする。		
		・作成しない		
		2）　屋外付帯工事実測図　※提出する（１部）　・提出しない		
		3）　保全に関する資料　※提出する（１部）　・提出しない		
		保全に関する資料のうち「建物等の利用に関する説明書」は、「管理者のための建築物の保全の手引き(改訂版)」（（一財）建築保全センター）に建物の構造、機器、保全業務等の説明及び清掃の要点、使用材料の製造品名、連絡先等を記載したものに代えることができる。 別契約の関連する設備工事等がある場合は、連携のうえ作成する。		
⑩	工事写真等の記録	1）工事記録写真等は、営繕工事写真撮影要領（平成２８年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部）により整備し、下記により提出する。また、本仕様書の「第１章２９電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。 各区分の写真は、Ａ４版スクラップブックに順序よく説明事項を記入の上、所定の部数を提出する。		

⊗写真帳

区　分	分　類	規　格	撮影枚数	部　数
着　工　前	※カラー・	※サービス版・	※　４景以上	※　１部
工　事　中	※カラー・	※サービス版・	「営繕工事写真撮影要領」による	※　１部
完　成　時	※カラー・	※キャビネ版・サービス版	※　景以上	※　１部

⊙アルバム

区　分	分　類	規　格	撮影枚数	部　数
完　成　時	※カラー・	※キャビネ版・	※　45景以上	※　２部

・写真パネル

区　分	分　類	規　格	仕　様	部　数
完　成　時	※カラー・	※全紙サイズ・	※木製枠ﾌｯｸ付き	※　２部

2）完成写真の撮影　⊙専門業者の撮影（撮影者を明記）　・専門業者以外の撮影
建物上空からの撮影　⊙有　・無
3）原版の使用権を次の者に移譲する。　⊗発注者　⊙設計者
移譲を受けた者は、写真を撮影者の了解なしに撮影者名を表示しないで自由に使用できる。
撮影者が写真を使用する場合は、発注者・設計者の承諾を必要とする。
4）中間検査または、監督員の指示により手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。

⑪	責任施工	特記事項中、責任施工の指示のあるものは、受注者及び下負請人の連帯責任とし、保証書を提出する。
⑫	工事報告書	工事の進捗表、作業員の出面報告、工事施所図及び工事現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末毎に提出する。

⑬	設備工事との取合い	1）設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。 2）設備工事の貫通孔、開口部の型枠、スリーブ等の補強筋は本工事に含むものとする。なお箇所数等は下記による。総合図（平面詳細図、展開図、天井伏図等）を作成すること。 位置、大きさ、箇所数等

位置／大きさ		100mm	125mm	150mm	175mm	200mm	600×600	Φ600
補強筋箇所数	梁							
	壁							
	床						4	2

3）鉄骨部のスリーブ及び補強は本工事に含むものとする。

4）軽鉄下地で天井、壁等の補強は本工事に含むものとする。なお箇所数は、下記による。
イ）天井部分　1,212　箇所　ロ）壁部分　5　箇所

設備関連工事との取り合い取合いは下記による。

他　工　事　と　の　取　合　い		建築工事	電気工事	機械工事	備　　考
機器の基礎、防油堤、換気扇取付用枠				○	
梁、床、壁貫通部の補強		○			
梁、床、壁貫通部のスリーブ、型枠			○	○	
外気取付ガラリ、床下水槽マンホール蓋		○			ガラリは立面図に図示
ステンレス流し台等		○			排水トラップ共
排気フード、レンジフードファン取り付け枠（鋼製）とも		○			建築図に図示 ダクト接続は設備工事
天井、壁、床、点検口、プロパンボンベ庫		○			
下流し、足洗場の給水、排水、玄関の排水				○	
小便器仕切板（陶器製）、タオル掛（下地共）				○	下地補強は建築工事
洗面所、手洗所等の鏡		○		○	特殊なものは建築工事
ボイラーの煙突		○		○	鋼板製は機械設備工事
実験台に付属する設備機器		○			
実験台の配管等の接続			○	○	
埋込み分電盤、端子盤等の壁補強		○			
埋込み分電盤、端子盤等の型枠			○		
天井、壁ボード類の下地補強		○			露出し、ボード貫切り込みは設備工事
簡易間仕切り(内装パネル)内の位置ボックス及び配管の取付		○			
屋内・屋外に設置する発電機、配電盤、制御盤、受水槽、ポンプ等の基礎			○	○	
屋上に設置するテレビアンテナ、避雷針等の設備基礎		○			屋根伏図に図示
配線ピット及び蓋		○			
照明器具幹線等の吊りボルト用インサート			○		
身体障害者用の手すり		○			
洗濯機用防水パン及びトラップ				○	
ＦＦ暖房機・クーラー等の配管用スリーブ		○			
電話・テレビ等の配線用スリーブ			○		
クーラー取付ボルト用インサート		○			建築図に図示
ユニットバス本体・付属品（シャワー金具・手すり・鏡・照明）		○			配管接続以降は設備工事
ユニットバス用換気扇				○	
消火器		○			公共住宅に適用
自動扉、電動S、電動ルーバー、防火設備の開閉制御機器、感知器	1次側配管配線		○		機器は建築工事
	2次側配管配線	○			

⑭	設計ＧＬ	⊗図示　・設計ＧＬ＝現状ＧＬ
⑮	建築基準法に基づき指定する条件	⊙地区の区分に応じた風速（Ｖ（m/sec））　３０（県内全域） ⊙地表面粗度区分　・Ⅰ　⊙Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ ⊙多雪地域の指定　垂直積雪量　100cm
⑯	工事現場の掲示板	工事現場には、下記掲示板を設置する。　（記入例）　（２．３．１）

90cm

上段の地色は、白色
文字は、青色

工　事　名
工期 自 年 月 日～至 年 月 日
発注者　石川県土木部営繕課
（監　修）
設　計
監　理
施　工　建　築　（業者名を記入する）
電　気　（業者名を記入する）
給排水　（業者名を記入する）
暖　房　（業者名を記入する）

下段の地色は、青色
文字は、白色

60cm（75cm）

（注意事項）
①（監　修）内は、監修を委託した場合。
②業者名が多くなった場合でも、縦75cm以内とする。
③工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は、角ゴシック体とする。

⑰	総合評価時における技術提案	「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、受注者は「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。なお、受注者の責任以外の理由等により、変更等の必要が生じた場合は、事前に監督員に協議する。
⑱	施工の検査等	監督員等の検査をうける工種は次のものとする。　（１．５．５） ※数地状況確認及び縄張り　※ベンチマーク　※遣方　※根切り掘削完了時 ※主要構造部の配筋　・型枠の組立て　・鉄骨原寸図　※鉄骨ボルト締付け　※鉄骨建方 その他監督員等の指示するもの
⑲	施工の立会い等	請負契約約款第１４条第２項に定める監督員等の立会いのうえ施工するものは次のものとする。　（１．５．７） ⊗杭打ち　⊙コンクリートのスランプ確認及び打込み　・屋外タイル接着力試験 ⊙地盤改良部試験体採取　その他監督員等の指示するもの
⑳	中間検査	中間検査の実施　※有　・無　（１．６．２） 実施時期　※躯体工事完了時　⊙階の鉄骨その他の構造部材の建て方工事
㉑	公共事業労務費調査等に対する協力	・受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。工期経過後においても同様とする。 1）調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。 2）調査票等を提出した事業所が、事後に発注者が行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。 3）正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い、就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。 4）対象工事の一部について下請け契約を締結する場合には、当該下請け工事の受注者（当該下請け工事の一部に係る二次以降の下請け人を含む。）が前各号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。 5）本工事が「建設副産物実態調査」の対象となった場合、県の求めに対して速やかに調査票を作成し、県に提出しなければならない。
㉒	保　険	工事目的物、工事材料等に生ずる損害を填補する保険は、下記による。 ※建設工事保険または組立保険（工事対象物を全て解体する工事を除く） 加入期間　引渡しまで（引き渡しを要しない工事の場合は、工事完了まで）

㉓	室内空気汚染対策	※実施する　・実施しない　（１．５．９） 1）測定の有無等 イ）測定の有無　※有　・無 測定する場合は、下記の通り揮発性有機化合物について室内濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 ロ）測定対象室 測定は原則として、内装仕上げ材料の仕様が大きく異なる居室毎に行う。ただし、居室の規模が著しく異なる場合は、それぞれ実施する。 内装工事を行った居室について測定を行う。 ハ）１室当たりの測定箇所数

室の床面積　Ａ（㎡）	Ａ≦50	50＜Ａ≦200	200＜Ａ≦500	500＜Ａ
測定個所数	1	2	3	4

全ての測定個所において、ニ）の測定対象化学物質全ての濃度を同時に測定する。

ニ）測定対象化学物質及び測定方法
測定対象化学物質は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンとし、同時に測定する。測定方法は、パッシブ型採取機器を用い、国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課長通知（平成２４年４月５日　国営整第４号）「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」により行う。

ホ）測定時期
測定は下記の時期に行うものとする。
①　測定対象化学物質が、関連工事による測定対象室への流入や急激な拡散がほぼなくなり、引き渡し後の室内空気環境と同程度になった時期。
②　別途工事又は家具の設置等が行われる前。
③　内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること。
④　中央式空気調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していること。

ヘ）測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合の措置
測定結果が厚労省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定を行う。

ト）その他、採取、測定及び分析の方法は、上記ニ）の国土交通省通知によるほか、監督員の指示による。

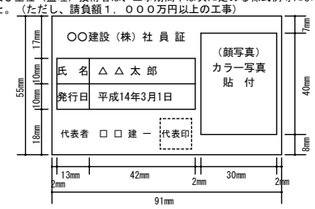
2）施工中・施工後の通風、換気
接着剤、塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分管理し、適切な乾燥時間をとるようにする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図るものとする。

3）引き渡し時
室内空気中に化学物質を発散するおそれのある建築材料等を使用している場合は、監督員の指示により、その使用状況の一覧表を提出する。

4）揮発性有機化合物を放散させる建築材料等本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの、次のイ）から ホ）の事項を満たすものとする。
イ）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗り材は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ロ）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ハ）接着剤は、フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシンを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ニ）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ホ）上記のイ）、ハ）、ニ）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。
※「規制対象外」のもの
①ＪＩＳ又はＪＡＳのＦ☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるＪＡＳ規格品
ｱ)非ホルムアルデヒド系接着剤使用
ｲ)接着剤等不使用
ｳ)非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料を使用
ｴ)ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
ｵ)非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
ｶ)非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
・「第三種」のもの
①ＪＩＳ又はＪＡＳのＦ☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第２０条の７第３項による国土交通大臣認定品
③旧ＪＩＳのＥ０規格品
③旧ＪＡＳのＦ０規格品

㉔	名札の着帯	現場代理人及び主任（監理）技術者は、工事期間中は次に定める様式例等による顔写真入り名札を着帯すること。（ただし、請負額１，０００万円以上の工事）



（注意事項）
①名札として使用する用紙（台紙）は白色、寸法は上図（名刺サイズ、縦5.5cm×横9.1cm）のとおりとする。
②顔写真（カラー写真）の寸法は縦4.0cm×横3.0cmとし、撮影する部分は胸から上の上半身とする。
③ケースの寸法は上記①の用紙（台紙）が入る大きさとする。

㉕	施工体制台帳の作成等	建設業法第２４条の７に該当する施工体制台帳の作成が必要な工事は、当該台帳を現場に備え付け、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げておくこと。

1.	平成10年４月１日　改訂	19.	平成24年４月１日　改訂	24.	平成29年４月１日　改訂		
2.	平成10年11月１日一部改訂	20.	平成25年４月１日　改訂	25.	平成29年７月１日一部改訂		
3.	平成12年４月１日　改訂	21.	平成26年４月１日　改訂	26.	平成30年４月１日一部改訂		
4.	平成13年４月１日　改訂	22.	平成27年４月１日　改訂				
5.	平成14年４月１日　改訂	23.	平成28年４月１日　改訂				
6.	平成15年４月１日　改訂						
7.	平成15年７月１日一部改訂						
8.	平成15年10月１日一部改訂						
9.	平成16年４月１日　改訂						
10.	平成16年８月20日　改訂						
11.	平成17年４月１日　改訂						
12.	平成17年６月１日一部改訂						
13.	平成19年10月１日一部改訂						
14.	平成20年４月１日　改訂						
15.	平成21年4月1日　改訂						
16.	平成21年8月1日　改訂						
17.	平成22年4月6日　改訂						
18.	平成23年4月1日　改訂						

工事名	番号
図面名	縮尺
建築工事仕様書　その１	
設　計	石川県土木部営繕課
課長　担当課長　課参事　課長補佐　主幹　GL・SL　担当	

㉖ 排出ガス対策型建設機械 G

次に掲げる指定建設機械は、排気ガス対策型とする。
1）バックホー
2）トラクターショベル
3）発動発電機
4）空気圧縮機
5）ローラ類
6）ホイールクレーン

㉗ 創意工夫等

工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

㉘ 保険の付与及び事故の補償

1）受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。
2）受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。
3）受注者は、建設業退職金共済制度の対象労働者数及び就労予定日数を的確に把握し、その掛金収納書の写しを工事請負契約締結１ヶ月以内及び工事完成時に、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。

㉙ 電子納品

・行う（「電子納品仕様書」による。）　・行わない

電子納品仕様書

1　電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。
ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

名　称
営繕工事電子納品要領（平成３０年版）
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（平成３０年版）

基準・要領類のダウンロード　http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html

2　工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にＣＤ－Ｒ、ＤＶＤ－Ｒ又はＢＲ－Ｄで１部納品する。

3　工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。
工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。

4　発注者が行うＣＡＬＳ／ＥＣ電子納品に関する調査について協力を行うものとする。

㉚ 騒音振動の防止

低騒音（ G ）、低振動型建設機械を使用する。

㉛ 隣接建物又は工作物の調査

※行う　・行わない

㉜ 敷地の状況確認

着工に先立ち地下に埋設されたガス管、電話ケーブル、給排水管及び架設物がないか関係機関の協力を得て確認し、報告するとともに事故を未然に防ぐよう留意する。

㉝ ダンプトラック等による過積載等の防止

1）積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2）さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。
3）過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
4）取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
5）建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
6）「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和４２年８月２日法律第１３１号。）の目的に鑑み、法第１２条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
7）１から６につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

㉞ 景観への配慮

当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。

35 住宅瑕疵担保履行法に基づく資力確保措置

本建物の住宅瑕疵担保履行法に基づく資力確保措置は、本工事に含める。

２章　仮設工事

項目	特記事項
① 監督職員事務所	※設ける　・設けない　（２．３．１） イ）監督職員事務所の規模（単位：㎡） 種別号 ・１号 ・２号 ⊙３号 ・４号 ・５号 面積程度 １０程度 ２０程度 ３５程度 ６５程度 １００程度 ロ）監督職員事務所に設ける備品等 ※保護帽 ※安全帯 ※長靴 ※合羽 ※原図大及びＡ３縮小の設計図面製本各２部 ※机 ※椅子 ※懐中電灯 ⊙書棚 ⊙黒板 ⊙寒暖計 ⊙ﾊﾝｿﾝ ⊙NET環境
② 快適トイレ（快適トイレ実施要領に基づく）	・快適トイレを設置すること ※監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる 快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。
③ 工事用水	構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（※有償　・無償）
④ 工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
⑤ 指定仮設	仮囲いは、下記により強風に対して倒壊、飛散しない堅固な構造とし、事前に施工図を提出して監督員の承諾を受ける。 イ）材料　⊙鋼板　・亜鉛波形鉄板　・　ハ）塗装　・する　・しない ロ）高さ　・１．８ｍ　⊙２ｍ　・３ｍ　ニ）延長　ｍ その他の指定仮設　・ （種別、規格、仕様）　・
⑥ 工事用道路	工事用道路は、良好な維持管理を行い、使用後は受注者にて速やかに原形に復旧すること。

⑦ 足場

1）足場の**種類**
※枠組本足場（手すり先行足場）　（２．２．４）
足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省　平成21年4月)**発布に規定する**、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の⑵手すり据置方式又は⑶手すり先行専用足場方式により行うこと。
⊙枠組本足場
・くさび緊結式足場

2）建枠・布枠の**寸法等**　（単位：mm）

建　枠	・１，２００枠	⊙９００枠	⊙６００枠
布　枠	５００布枠×２枚	※５００＋２４０布枠 ・	５００布枠×１枚

3）防護シート等による養生
イ）防護シート等の有無
※設置する　・設置しない
ロ）防護シート種類有無　⊙ 養生シート（防炎Ｉ類）
※ネット状養生シート又は養生シート（なお、出入口等上部は必要に応じて防護棚を設ける。）

⑧ 危険物貯蔵所

シンナー等有機溶剤を使用する場合は、特に火災及び盗難について管理を徹底する。(２．３．２)

３章　土工事

項目	特記事項
① 埋戻し及び盛土	種別　・A種 ⊗B種 ・C種 ・D種 ⊙建設汚泥から再生した処理土 G （３．２．３）(表３．２．１) なお、処理に当たっては「建設発生土情報交換システム」等を活用する。
② 建設発生土の処理	・現場内で処理　（３．２．５） ・構内指示の場所に堆積　・構内指示の場所に敷き均し ⊙構外搬出適正処理　（「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと） ・指定（想定）搬出先　受入場所： 受入時間帯：　時　分～　時　分 仮置き等： ⊙自由処分　（「建設発生土情報交換システム」等を活用する）
③ 六価クロム溶出試験	（１）「六価クロム溶出試験」の対象工事の有無　・有　・無 （２）本工事が「六価クロム溶出試験」の対象工事である場合は、下記の要領で「六価クロム溶出試験」を実施し、厚生労働省の定める指針値（0.05mg/l）以下であることを確認し、試験結果（計量証明書）を提出すること。 参照：「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領（案）」（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課ほか　Ｈ１３．４．２０改正） １）「六価クロム溶出試験」対象工種名及び検体数 イ）＿＿工＿＿工法 ・配合設計段階＿＿検体　・施工後段階＿＿検体 ロ）＿＿工＿＿工法 ・配合設計段階＿＿検体　・施工後段階＿＿検体 ２）タンクリーチング試験対象工種名及び検体 イ）＿＿工＿＿工法＿＿検体 ロ）＿＿工＿＿工法＿＿検体
④ 山留め	・存置する　⊙存置しない

４章　地業工事

項目	特記事項
① 既製コンクリート杭地業	1）種類　（４．３．１）(４．３．２) ※遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 ・

	杭径（mm）	杭長（m）及び種別	継手数	セット数	備考
試験杭		図示による（構造図 S-15, S-27, S-28）	4	2	
本　杭		図示による（構造図 S-15, S-27, S-28）	310	155	

イ）杭頭の処理　※切断しない　・　（４．３．７）
ロ）先端部形状　※開放形　・閉そく平たん形　（４．３．２）
ハ）杭の継手　・アーク溶接　⊙無溶接継手　（４．３．６）
（４．２．３～４．２．５）
2）施　工　法
⊙特定埋込み杭工法（杭材料条件に適合するもの）
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
・打込み工法
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

② 場所打ちコンクリート杭地業

コンクリートの種別及び設計基準強度　（４．５．３)(表４．５．１)
（　）種かつ（　）N/mm²以上
イ）鉄筋の種類　５章鉄筋工事の鉄筋の種類による　（４．５．３）
ロ）掘削工法　・アースドリル工法（・安定液使用　・無水掘削）（４．５．４）
・リバース工法
・オールケーシング工法（孔内の水張　・行う　・行わない）
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法　（４．５．５）
・拡底杭工法（※安定液使用　・　）
ハ）セメントの種類　※高炉セメントB種 G　・　（４．５．３）
ニ）孔壁測定　・行う（　）・行わない　（４．５．４）

③ 砂利地業

※再生クラッシャラン G　・切込み砂利及び切込み砕石　（４．６．３）

④ 床下防湿層

施工箇所　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）（４．６．５）

５章　鉄筋工事

項目	特記事項
① 鉄筋の種類	（５．２．１)(表５．２．１)

種類の記号	呼び名（mm）
⊙SD２９５A	※D１６以下
⊙SD３４５	※D１９以上
⊙SD３９０	D２９，D３２

② 溶接金網　網目の形状、寸法等　（５．２．２）

形状、寸法等（縦×横）（mm）	鉄線の径又は呼び名（mm）	規格
※１００×１００	※６．０　・	JIS G 3551による
・	・	

③ 鉄筋の継手　呼び名１９mm以上の柱、梁の主筋　（５．３．４）
※ガス圧接継手　・重ね継手　・機械式継手　・溶接継手

④ 鉄筋の最小かぶり厚さ
1）鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは目地底から算定する。　（５．３．５）
2）塩害を受ける恐れのある部分等、耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	「標仕」表5.3.6の値に加える寸法（mm）
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※１０　・２０　・２５
土に接する部分及び屋外のコンクリート	

⑤ 帯筋　※Ｈ形　・ＳＰ形　（別図２．２）
6 最上階柱頭補強　※行う　・行わない　（別図２．１）
7 壁開口部の補強　一般壁　※Ａ形　・Ｂ形　・図示　（別図４．３)(別表４．３)(別表４．４)
耐震壁　※図示
⑧ 梁貫通孔の補強形式　※Ｈ形　・ＭＨ形　・Ｍ形　（別図７．１)(別表７．１～別表７．３)
⑨ 圧接完了後の試験　※超音波探傷試験　・引張試験　（５．４．９）

６章　コンクリート工事

項目	特記事項
① コンクリートの種類及び強度等	普通コンクリートの設計基準強度　（６．２．１）（６．２．２）（６．14．１）

設計基準強度Fc（N/mm²）	スランプ（cm）	施工箇所
⊙１８	⊙１５　・１８	・無筋コンクリート適用箇所
⊙２１	⊗１８　⊙１５	デッキ上コンクリート（スランプ15cm） キャノピー基礎・基礎梁（スランプ18cm）
⊙２４	⊗１８　・	１階床・立上り壁
⊙２７	⊙１８	基礎・基礎梁・ピット床

軽量コンクリートの設計基準強度（６．２．１）（６．２．２）（表6．10．１）（６．10．１）

設計基準強度Fc（N/mm²）		種別	施工箇所
・２１	・２１　・	・１種　・２種	
・	・		

② 寒中コンクリート　マスコンクリート　無筋コンクリート　流動化ｺﾝｸﾘｰﾄ　（６．11．１～６．15．５）

種　類	適用箇所	備　考
・寒中コンクリート		（適用期間）
マスコンクリート ・高炉セメントB種 G ・中庸熱ポルトランドセメント		
・無筋コンクリート		
・流動化コンクリート		

③ レディーミクストコンクリートの類別　※Ⅰ類　・Ⅱ類　（６．２．１)(６．４．１)(６．４．２)(表６．２．１)
ＪＩＳ表示認定工場で**生産されたものとする。**（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認定を受けた**ブラント**を含む。）
④ セメントの種類　(６．３．１)（表６．３．１）
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種（マスコンクリートを除く）
・高炉セメントB種 G
普通ポルトランドセメントの品質は、ＪＩＳ Ｒ５２１０に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	７ｄ：350J/ｇ以下	２８ｄ：４００J/ｇ以下	

⑤ 骨材の品質　アルカリシルカ反応性による区分　（６．３．１)(６．５．４）
※Ａ　・Ｂ（※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m以下）
⑥ 混和材料の種別　⊗混和剤　⊙混和材　（６．３．１)(６．３．２）
⑦ 構造体強度補正値　構造体強度補正値の決定に用いる「予想平均気温θ」は、気象庁金沢地方気象台発表の過去の平均値より決定する。　（６．３．２）（監理指針　表６．１１．２）
⑧ 型枠（せき板）の種別　塗装の有無　※無　・有
2）打放し仕上げの種別　（表６．２．４）

種　別（表面の仕上り程度）	材　料（せき板）	塗装	施工箇所
・Ａ種 目違い、不陸等の極めて少ない良好な面とする	厚さ１２mmのＪＡＳ規格品による表面加工品又は同等と見なせる程度のもの	・有 ・無	
⊙Ｂ種 目違い、不陸等の極めて少ない良好な面とし、グラインダー掛け等により平滑に調整されたものとする	厚さ１２mmのＪＡＳ規格品によるＢ－Ｃ又は同等と見なせて、ほとんど損傷のないもの	・有 ・無	
・Ｃ種 打放しのままで、目違いばらいを行ったもの	厚さ１２mmのＪＡＳ規格品によるＢ－Ｃ又は同等と見なせて、使用上差支えのない程度のもの	・有 ・無	

⑨ コンクリートの打増し　仕上げその他の納まりによる打増しは下記による。

打増し（mm）	⊙25	・
施工箇所	外断熱取合い（図示）、巾木	

10 断熱材兼用型枠　適用箇所及び品質等は１９章９断熱材による　（６．８．３）

11 コンクリート躯体の表面処理　外装タイル後張り面の躯体表面の処理　（６．８．３）（11．３．７）
ＭＣＲ工法又は15．２．４(C)による目荒らし工法とする。なお、目荒らし工法の場合は、モルタルの接着に適した粗面に仕上げる工法を、１．２．２「施工計画」による品質計画で定める。また、粗面の状態は、監督職員の承諾を受ける。
適用範囲は11章タイル工事　コンクリート素地面の処理による
コンクリートの増打ち厚さ　※20mm

７章　鉄骨工事

項目	特記事項
① 鉄骨の製作工場	・監督職員の承諾する製作工場　（７．１．３） ※建築基準法第７７条の４５第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた㈱日本鉄骨評価センター又は㈱全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。 ・Ｓグレード以上　⊙Ｈグレード以上　・Ｍグレード以上　・Ｒグレード以上
② 施工管理技術者	※適用する　（７．１．３）（７．１．４）（７．６．２）（７．12．２）
③ 鋼材	鋼材の材質　（７．２．１)(７．２．10)(表７．２．１)

種類の記号	使用箇所	規格等
	図示による（構造図 S-33）	※JIS規格による
		※JIS規格による
		※JIS規格による
		※JIS規格による
		※JIS規格による

④ 普通ボルト　ボルトの径、繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等　※図示　（７．２．３）（７．３．２）
⑤ 高カボルト　1）ボルトの区分　（７．２．２）（７．３．２）（７．４．１～７．４．９）
⊗トルシア形高力ボルト　・ＪＩＳ形高力ボルト　⊙トルシア形超高力ボルト
2）ボルトの径、繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等　※図示
3）すべり係数試験　※行わない　・行う　試験方法等（　）
⑥ 溶融亜鉛めっき高力ボルト　（７．２．２）（７．３．２）（７．12．４）
1）ボルトの径、繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等　※図示
2）摩擦面の処理
※　ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）
・　リン酸塩処理
3）すべり耐力等の確認方法
※　すべり耐力等の確認方法等　※図示
⑦ 溶接部の試験　ＡＯＱＬ　※４．０％　・２．５％　（７．６．11）
検査水準　※第６水準　・図示　（７．６．11）（表７．６．２）（表７．６．３）（表７．６．４）

検査の種別	試験箇所	試験方法
⊙超音波探傷試験	突合せ溶接部	※「標仕」7.6.11(b)による ・図示
・放射線試験		
・マクロ試験		

⑧ 耐火被覆　（７．９．２～７．９．７）

種別		所要性能及び適用構造区分
・ラス張りモルタル塗り		
⊙耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	⊙半乾式吹付けロックウール	1時間耐火　柱、梁（送迎デッキ小屋組除く）
	・湿式ロックウール	
	・	
・耐火板張り		
⊙耐火材巻付け　⊙耐火シート		1時間耐火　柱

⑨ アンカーボルトの保持及び埋込み工法　⊙構造用アンカーボルト（　B種　）（７．10．３）（表７．10．１）
・建方用アンカーボルト（・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種）
⑩ 柱底均しモルタル工法　※Ａ種　・Ｂ種　（７．10．３）（表７．10．２）
⑪ 溶融亜鉛めっき工法　（７．12．３）（表14．２．２）

亜鉛めっきの種別	材料	適用部位
Ａ種	最低板厚６．０mm以上の形鋼、鋼板	外部階段
Ｂ種	最低板厚３．２mm以上、６．０mm未満の形鋼、鋼板	
Ｃ種	最低板厚１．６mm以上、３．２mm未満の形鋼、鋼板 普通ボルト、アンカーボルト	

⑫ スカラップ　素地ごしらえは、ＪＩＳ Ｈ９１２４溶融亜鉛めっき作業標準による。
・改良型スカラップ　⊙ノンスカラップ　（７．６．７）

設計　石川県土木部営繕課
担当課長　課参事　課長補佐　主幹　GL・SL　担当

工事名
図面名　建築工事仕様書　その２
図面番号

⑬ 溶接条件

1）入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所　・図示
⊙柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・

2）鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	溶接材料の規格	溶接材料の種類	入　熱	パス間温度
400N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	40kJ/cm以下	350℃以下
		YGW-18, YGW-19	30kJ/cm以下	450℃以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30kJ/cm以下	450℃以下
	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下
	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。		
	JIS Z 3315	YGA-50W, YGA-50P		
490N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下
		YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30kJ/cm以下	250℃以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下
	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下
	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。		
	JIS Z 3315	YGA-50W, YGA-50P		
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	30kJ/cm以下	250℃以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		
400N級炭素鋼 (STKR, BCR及びBCPに限る。)	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下
		YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30kJ/cm以下	250℃以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下
490N級炭素鋼 (STKR及び BCPに限る。)	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	30kJ/cm以下	250℃以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		

14 仮組
⑮ 錆止め塗装
・行う　・行わない　（7．3．10）
耐火被覆材の接着する面の塗装　（7．8．3）
・行う（※「標仕」18.3.2による　・　）　※行わない

8　章　コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

項　目	特　記　事　項
1 建築用コンクリートブロック	1）補強コンクリートブロック造　（8．2．2）

断面形状及び圧縮強さによる区分	厚さ（mm）	適用箇所
※空洞ブロック16		
・空洞ブロック16-W		

2）コンクリートブロック帳壁及び塀
※「標仕」表8．3．1及び下表による。　（8．3．2）

適用箇所			厚さ（mm）
・外壁			・
・間仕切壁			・
・地下二重壁			・
・塀	高さ	2m以下	・１２０
		2mを超える	・１５０
・衛生設備配管用裏積みブロック			・１００

2 ＡＬＣパネル　（8．4．2～8．4．6）（表8.4.2）（表8.4.3）（表8.4.4）

種　類	単位荷重（N/㎡）	厚さ（mm）	取付け工法種別等
・外壁パネル ※平パネル ・意匠パネル	・１１８０ ・１９６０	・１００ ・１２０ ・	・Ａ種　・Ｂ種 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する
・間仕切壁パネル ※平パネル	―――	・８０　・１００ ・	・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種 **伸縮目地への耐火目地材の充填** **・適用する**
・屋根パネル	・９６０	・１００・	※Ｆ種 耐火性能　・有り （・1時間　・2時間）
・床パネル	・２３５０～３５３０	・１００・１５０	

外壁と間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅（mm）
※　２０　・　図示による

③ 押出成形セメント板（ＥＣＰ）　（8．5．2～8．5．5）（表8.5.1）（表8.5.2）

施工箇所	表面形状	厚さ（mm）	幅(mm)	ﾛｯｸｳｰﾙ充填	工法	耐火性能
⊙外壁パネル	⊗F	・５０ ⊙６０	600,900	・有　・無	・Ａ種	⊙有り（ 1h ）
ﾌｯ素樹脂塗装工場塗装品	⊙D	・５０・６０⊙７５	600	・有　・無	⊙Ｂ種	・無し
	・T	・６０		・有　・無		
・間仕切壁パネル	※F			・有　・無	・Ｂ種	・有り（ ）
	・D			・有　・無	・Ｃ種	・無し
	・T			・有　・無		

製造所　ＪＩＳ　Ａ　５４４１による　ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ:ｱｲｶﾃｯｸ建材 ﾒｰｽ なぎさ同等品

4 外壁パネル工法　（8．4．3）（8．5．3）
外壁パネルの取り付け工法は図示による。なお、建築基準法に定める風圧力に対応した工法（建設省告示第109号による）を、１．２．２（施工計画書）による品質計画で定める。

９　章　防　水　工　事

項　目	特　記　事　項
1 アスファルト防水	1）種別及び施工箇所　（9．2．2）（9．2．3）（表9.2.3～表9.2.9）

種　別	施　工　箇　所
※ＡＩ－２	
・Ａ－２	
・Ｄ－２	
・ＢＩ－２	床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ
・	
・	

2）アスファルト　※３種　・４種　（9．2．2）
3）断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※２５　・　（9．2．2）
ただし、オゾン層破壊物質を含まないもの。
4）立ち上り部の保護材　（9．2．2）
・乾式保護材
・れんが　※市販品れんが、又は市販品のれんが形コンクリートブロック（見え隠れ部分）

乾式保護材の種類		厚　さ（mm）	適　用
・押出成形セメント板（窯業系パネル）	※Ⅰ類 ・Ⅱ類	・約15×300 ・約26×600 ・	※無石綿に限る
・金属複合板		・約12×900	

製造所　ＪＩＳ規格又は「評価名簿」による

2 改質アスファルトシート防水　種別及び施工箇所　（9．3．2）（9．3．3）（表9.3.1～表9.3.3）

種　別	施　工　箇　所
・ＡＳ－Ｔ１	
・ＡＳ－Ｔ２	
・	

3 合成高分子系ルーフィングシート防水
1）種別及び施工箇所　（9．4．2）（9．4．3）（表9.4.1～表9.4.2）

種　別	厚さ（mm）	施　工　箇　所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	※非歩行
・Ｓ－Ｆ２	※2.0　・			・軽歩行
・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・		・シルバー　・カラー	
⊙Ｓ－Ｍ２	※1.5　・	庇		
⊙ＳＩ－Ｍ２	※1.5	送迎デッキ		

2）ＰＣコンクリート部材下地　（9．4．4）
目地処理（接着工法）　※図示
入隅部の増張り（S-F1，SI-F1及びS-C1工法の場合）　※行わない　・行う（幅　mm程度）

4 塗膜防水
1）種別及び施工箇所　（9．5．2）（9．5．3）（表9.5.1）（表9.5.2）

種　別	施　工　箇　所	備　考
・Ｘ－１		仕上げ塗料塗り
・Ｘ－２		・シルバー　・カラー
⊙Ｙ－１	地下外壁防水	Ｙ－２工法の保護シート
⊙Ｙ－２	屋内防水	※適用する　・適用しない

2）種別Ｘ－１の脱気装置
・設ける

種　類	材　料	設置数量
・平面部脱気型	※製造所標準仕様 ・ステンレス製　・アルミ製又はアルミ鋳物	・製造所指定数量 ・１箇所／約５０㎡当たり
・立上がり部脱気型	※製造所標準仕様	・製造所指定数量 ・１箇所／約１０m間隔

5 シーリング
1）下表以外は、「標仕」表９．７．１による。　（9．7．2）（表9.7.1）

施　工　箇　所	シーリング材の種類（記号）
金物廻り、建具廻り等	ＭＳ－２

2）接着性試験　（9．7．5）
※簡易接着性試験　・引張接着性試験（施工部位　）

6 防水工事保証年限
防水工事は責任施工とし、下記により保証書を提出する。

施工箇所	種　別	保証年限	備　考
庇	Ｓ－Ｍ２	⊙１０年　・	
送迎デッキ	ＳＩ－Ｍ２	⊙１０年　・	
ピット、水槽	Ｙ－１	⊙１０年　・	
厨房	Ｙ－２	⊙１０年　・	

１０　章　石　工　事

項　目	特　記　事　項
1 天然石張り	1）石の品質　（10．2．1） イ）床用石材　※２等品　・１等品（施工箇所　） ロ）壁及びその他の石材　※１等品　・２等品（施工箇所　） 2）石の種類・表面仕上げ　（10．2．1）（表10.2.1）（表10.2.2）

施　工　箇　所	種　類	産地・名称	厚さ（m）	仕上げの種類

2 テラゾ張り
1）種石の種類　※大理石　・　（10．2．1）
2）表面仕上げ　※本磨き　・　（表10.2.2）

3 壁の石張り工法
1）外壁石張り　（10．2．2）（10．3．2）（10．3．3）（10．5．2）（10．5．3）（表10.2.4）
①工法
・外壁湿式工法（※流し筋工法　・　）
・乾式工法　（・スライド方式　・ロッキング方式）
※乾式工法の場合は、「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を、１．２．２（施工計画書）による品質計画で定める。
②あと施工アンカー　材質　※ステンレス（ＳＵＳ３０４）　・
③石裏面処理　※行う（・小口共）　**・行わない**
④裏打ち処理　※行う　**・行わない**
⑤ドレインパイプ　※樹脂ネット製パイプ25～30φ（クロスメッシュ巻）
・ステンレスＳＵＳ３０４
2）内壁石張り　（10．2．2）（10．4．2）（10．4．3）（10．5．2）（10．5．3）
①工法
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法）
・乾式工法　（・スライド方式　・ロッキング方式）
②あと施工アンカー　材質　※ステンレス（ＳＵＳ３０４）　・
③石裏面処理　※行う（・小口共）　**・行わない**
④裏打ち処理　※行う　**・行わない**

4 床及び階段の石張り
1）床石張りの石裏面処理　※行う　**・行わない**（10．6．2）（10．6．3）
2）階段石張りの裏面の処理　※行う　**・行わない**（10．1．5）
3）屋内のワックス掛け　※行う　**・行わない**

１１　章　タ　イ　ル　工　事

項　目	特　記　事　項
① 陶磁器質タイル	1）タイルの種類　（11．2．2）（11．3．2）

施工箇所	形状寸法（mm）	再生材の適用Ｇ	吸水率による区分 Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	釉薬 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	備　考
風除室	600×600		⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	⊙	・	ｸﾘﾔﾏ:ｽﾃｨﾙﾎﾟﾝﾄﾞ同等品
ＭＷＣ	600×600		⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	⊙	・	ﾄｲﾛ:ﾊｲﾄﾞﾛﾃﾞｭｱﾌﾛｱﾀｲﾙ(厚型)
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	同等品
建物外周犬走り	600×600		⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	⊙	・	ｸﾘﾔﾏ:ｲﾝｽﾞ同等品
			・	・	・	・	・	・	・	・		
			・	・	・	・	・	・	・	・		
			・	・	・	・	・	・	・	・		
			・	・	・	・	・	・	・	・		

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。
役物：標準曲がり　（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
2）タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）

3）原料に再生材料を用いる再生材利用タイルの品質
イ）２０章　ユニット及びその他工事の「石川県リサイクル認定製品」を使用すると特記されている場合は、**特記による。**
ロ）イ）以外は、再生材料を用い焼成されたタイルとし、再生材料利用率は総原材料の重量比で２０％以上（複数の再生材料を用いる場合は、その合計）使用されているものとし、再生材に用いる原料の種類及び焼成前処理方法は下表による。ただし、再生材料は通常製造している同一工場からの廃材は除くものとする。（グリーン購入法「特定調達品目」判断基準）

再生材に用いる原料の種類	焼成前処理方法
採石及び窯業廃土、無機珪砂、鐵鋼スラグ、非鉄スラグ、鋳物砂 陶磁器屑、石灰廃、廃プラスチック、建設廃材（汚泥を除く） 廃ゴム、廃ガラス、製紙スラッジ、アルミスラッジ、 磨き砂汚泥、石材屑、上水道汚泥、湖沼等の汚泥	前処理によらず対象
都市ゴミの焼成灰	熔解スラグ化
下水道汚泥	焼成灰化又は溶融スラグ化

2 壁タイル張りの工法
1）内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・改良積上げ張り(11.2.7)（11.3.7）（表11.2.3）（表11.3.2）
2）外装タイル　・密着張り　・マスク張り　・改良圧着張り　・接着剤張り
3）下地モルタル塗り　※「標仕」15．2．2～15．2．5
4）タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）(11.2.2)（11.3.2）
5）既調合モルタルの品質及び性能　（11．2．3）

項　目	単位容積質量（ｋｇ／ｌ）	保水率（%）	接着強さ（Ｎ／mm2） 標準時	温冷繰返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（Ｎ／mm2）
品質・項目	1.8以上	70.0以上	0.6以上	0.4以上	0.2以上	4.0以上

3 コンクリート素地面の処理
・ＭＣＲ工法　・目荒らし工法　(11.2.7)（11.3.7）（6.8.3）（15.2.4）
施工範囲　※図示　・

4 陶磁器質タイル型枠先付け工法　（11．2．2）（11．4．2）（表11．4．1）

適用タイル	種　類	タイル型枠先付け面のせき板
小口タイル	※タイルシート法	※「標仕」６．８．３「材料」(b)(2)又は
二丁掛タイル	・目地棟法	金属製タイル先付け用パネル
大形タイル	桟木法	・

１２　章　木　工　事

項　目	特　記　事　項
1 県産材の使用	能登ヒバ、杉は、県産材とし、代用樹種は認めない。
② 木材の品質	木材の材質等は、下記による。　（12．2．1） 1）現場搬入時の含水率　※Ａ種　・Ｂ種 2）木材の品質 （イ）製材 Ⓖ　・日本農林規格　⊙一般建築用材 （ロ）保存処理木材の適用箇所　※「標仕」12．4．1（b)による。 日本農林規格に規定する保存処理ｋ３以上とし、木材保存剤はクレオソート油を除く。 ※ＪＩＳ　Ａ　９００２（木質材料の加圧式保存処理方法）による防腐処理木材 （ハ）下地材の等級は２級とする　（12．2．1(b)(1)） （ニ）造作材の材面の品質　※Ａ種　・Ｂ種 （ホ）壁板類の品質　・無節　・上小節　・小節　・ 3）樹種

	土台、水掛り枠類	見え掛り部分	見え隠れ部分	備　考
下地材（柱等を含む）	・檜・能登ヒバ・草槙	・松・檜・杉	・松・杉	
造作材	・檜・能登ヒバ・草槙	・松・檜・杉・能登ヒバ・ラワン無節	―――	・ラワン材 防虫処理
板　材	・	・	・	

（イ）代用樹種（県産材を除く）　※認める　・認めない　（表12．2．3）
（ロ）竪木と図示のあるものの樹種は、ナラ、シオジ、セン、タモ、とし等級は１等とする。
（ハ）断面の割増し
表12．2．3により代用樹種を使用する場合は、建築基準法施行令第89条の規定の許容応力度に基づき断面を検討し、監督員の承諾を得て使用する。
（ニ）表面仕上げ
見え掛り面は原則としてかんな削り仕上げとする。　（12．1．4）
表面の仕上げの程度　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　（表12．1．1）
（12．2．1）

3 集成材 Ⓖ
1）造作用集成材

品　名	見付け材面の品質	樹種名
	※１等　・２等	※たも　・なら　・しおじ　・
	※１等　・２等	※たも　・なら　・しおじ　・

2）化粧ばり造作用集成材

品　名	見付け材面の品質	化粧薄板樹種名	化粧薄板の厚さ（mm）
	※１等　・２等		
	※１等　・２等		
	※１等　・２等		

3）造作用単板積層材

品　名	表面の品質	防虫処理
	・天然木化粧 ・塗装加工あり　・化粧加工なし（　等）	・する　・しない

4 床張り用合板 Ⓖ
ホルムアルデヒドの放散量　（12．2．1）
※規制対象外　・第３種

⑤ 接着剤
1）接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。　（12．2．2）
2）ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という。）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第３種

6 防腐・防蟻処理
1）防腐処理　・薬剤加圧注入　・薬剤塗布（適用範囲　）（12．3．1）
2）防蟻処理　・薬剤加圧注入　・薬剤塗布（適用範囲　）
3）防腐・防蟻処理は、クロルピリホス等を含有しない非有機リン系の表面処理用木材保存材とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督職員に提出し承諾を受ける。
4）防腐・防蟻処理の方法
現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に、現場にて表面処理用木材保存材を塗布することとする。　（12．3．2）

7 防虫処理
ラワン材を使用する場合は、「製材の日本農林規格」による保存処理の性能区分K1の防虫処理を行う。

8 出荷証明及び県産材使用証明 Ⓖ
木材及び合板等は、品質や出荷量等を記録した出荷証明書を提出する。　（12．2．1）
また、設計図書において、県産材の使用が明記されている場合は、工事受注者（資材の発注者）は合法木材供給事業者の認定を受けた納品者が発行する「県産材産地及び合法木材証明書」及び「納品書」（合法木材団体認定番号及び産地名が（石川県産）と明記されたもの）を監督員に提出する。

１３　章　屋　根　及　び　と　い　工　事

項　目	特　記　事　項
① 長尺金属板葺	（13．2．2）（13．2．3）（表13.2.1）

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板　厚（mm）
⊙ｽﾃﾝﾚｽｼｰﾙ溶接工法（三発金属ﾊｲﾃｴ認等品）	⊙ﾌｪﾗｲﾄ系ｽﾃﾝﾚｽ鋼板t=0.4 ※塗装溶融５５%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150）	⊗０．４ ・

⊙建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法（建設省告示第109号による）を、１．２．２（施工計画書）による品質管理で定める。
保証年限　・１０年　**・１５年**　**⊙２０年**
※塩害保証条件により素材を決定すること。

2 折板葺
1）折板葺の形式等　（13．3．2）（13．3．3）（表13.2.1）

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状（mm）	山高（　）山ピッチ（　）　板厚※0.6　・0.8
材　料（規格等）	※塗装溶融亜鉛５%アルミニウム合金めっき鋼板（CZACCR-20-Y25） ・塗装溶融５５%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板（CGLCCR-20-AZ150） ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断 熱 材	※有り（種別：　厚さ：　mm）　・無し
耐火性能	※３０分耐火　・無し　その他　材料はＪＩＳ規格に基づく

・建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法（建設省告示第109号による）を、１．２．２（施工計画書）による品質管理で定める。
2）保証年限　・１０年

設計 石川県土木部営繕課
担当課長　課参事　課長補佐　主幹　GL・SL　担当

工事名
図面名　建築工事仕様書　その３
図面番号

3 粘土瓦 （13. 4. 2）

形状による区分	寸法による区分	製法による区分	備考
※Ｊ形	※53Ａ ・	・ゆう薬がわら	色調（ ）
・Ｓ形	・49Ａ ・49Ｂ	・いぶしがわら	
・Ｆ形	・40	・無ゆうがわら	役物瓦（図示）

・建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法（建設省告示第109号による）を、１．２．２（施工計画書）による品質管理で定める。

（イ）産地 ※県内産 ・県外産
（ロ）下地コンクリートの場合の特殊モルタル
①材料の使用量（１㎥当たり）セメント４８０kg、川砂０．４５㎥、水２８０kg
特殊パーライト５６０㎥（メーカ仕様による）
②水セメント比６０%、スランプ１５cm
③４週保釘力４０kg/本以上

④ とい
1）材 種 （13. 5. 2）（表13. 5. 1）
・配管用鋼管 ⊙硬質ポリ塩化ビニル管(ｶﾗｰVP) ⊙アルミ(ﾊﾟｳﾄﾞﾚｽ) G
2）鋼管製といの防露 ※「標仕」表13. 5. 4による（13. 5. 2）（表13. 5. 3）（表13. 5. 4）
3）防露材のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・第三種
4）掃除口 ※有り ・無し

14章 金属工事

項目	特記事項
1 あと施工アンカーの引抜き耐力試験	※適用する ・**適用しない** （14. 1. 3）

② ステンレスの表面仕上げ （14. 2. 1）

種類	施工箇所
※ＨＬ程度	下記以外の見え掛かり全て
・No２Ｂ程度	
・No８鏡面仕上げ	

③ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 （14. 2. 2）（表14. 2. 1）

種別	色合い	施工箇所
・Ｂ－１種	無着色	
・Ｂ－２種	・ブラウン系	
	・ブラック	
	・ステンカラー	
⊙D種	⊙焼付塗装(指定色)	全般

④ 鉄鋼の亜鉛めっき （14. 2. 3）（表14. 2. 2）

表面処理方法	種別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	⊙A種	屋外階段、外部手摺など外部鉄部全般
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	⊙E種	内部全般
	・Ｆ種	

⑤ 軽量鉄骨天井下地 天井材の質量が20kg/㎡を超える天井、水平でない天井、システム天井は図示による。これら以外は以下による。
1）野縁等の種類 屋外 ※２５型 ・１９型 （14. 4. 2）（表14. 4. 1）
屋内 ※１９型 ・２５型
2）屋外の場合の形式及び寸法 （14. 4. 3）（14. 4. 4）（表14. 4. 2）
※下記以外は、「標仕」14. 4. 3及び表14. 4. 2による。

下地材の間隔（mm）			
野縁受、吊りボルト、ｲﾝｻｰﾄ		野縁	施工箇所
中央部	周辺部		

3）天井下地材における耐震性を考慮した補強 ※行う 補強箇所 ※図示 （14. 4. 4）
補強方法 ※図示
⊙1階庇部：耐風圧天井 TOBAN(耐震・防振ﾀｲﾌﾟ) 桐井製作所同等品
⊙送迎ﾃﾞｯｷ, 庇部：支持構造部直固定天井 KIRIｱﾝｸﾞﾙｸﾗﾝﾌﾟ(直固定天井) 桐井製作所同等品
⊙JACCA日本耐震天井施工協同組合ライセンス取得者の管理による

⑥ 金属成形板張り （14. 6. 2）

形状	製法	材種	寸法（mm）	厚（mm）	表面処理	色合い
⊙スパンドレル形	⊙押出し	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製			・Ｂ－１種	無着色
	・ロール	・			・Ｂ－２種	・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー
・パネル形	※プレス				⊙Ｃ－２種	・指定色(ｶﾞﾚｰ)
	・				⊙ｵﾚﾌｨﾝ系樹脂ｼｰﾄ(木目調)	

伸縮調整継手 ※設けない ・設ける（施工箇所は図示） （14. 6. 3）

⑦ アルミニウム製笠木 （14. 7. 2）（14. 7. 3）（表14. 2. 1）（表14. 7. 1）

種類	最小呼称肉厚(mm)	表面処理及び色合い	固定間隔・方法
・１００形	１．５以上	※Ａ－１又はＢ－１種 無着色 ・Ｂ－２種（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） ・D種 焼付塗装(指定色)	・「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法を、１．２．２（施工計画書）による品質管理で定める。
⊙２５０形	１．６以上		
・３００形	１．８以上		
・３５０形	２．０以上		

⑧ 手すり及びタラップ 隅角部及び突当り部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。
（14. 2. 1）（14. 8. 2）（14. 8. 3）（表14. 2. 2）

種類	材料の種別	表面処理
⊙手すり	※ステンレスＳＵＳ３０４	※ＨＬ程度 ・鏡面程度 ・
	⊙鉄	亜鉛めっき 外部 ※Ｃ種 ⊙Ｂ種 内部 ※Ｅ種 ・
⊙タラップ	⊗ステンレスＳＵＳ３０４	※研磨無し ・
	・鉄	亜鉛めっき 内外部 ※Ｃ種 ・

9 フッ素樹脂焼付塗装鋼板 製造所

10 体育館の鋼製床下地 体育館の鋼製床下地は、ＪＩＳ Ａ６５１９（体育館用鋼製床下地構成材）による。

15章 左官工事

項目	
① モルタル塗り材料	1）防水剤（モルタルに混入する防水剤）の品質 （15. 2. 2）

項目	混合割合	凝結及び安定性（ＪＩＳ Ｒ ５２０１） 凝結時間	凝結及び安定性（ＪＩＳ Ｒ ５２０１） 安定性	曲げ及び圧縮 強度比（%）	吸水比（%）	透水比（%）
品質	セメント質量の５%以下	始発１時間以上 終結１０時間以内	収縮性、膨張性のひび割れ・そりがないこと	７０以上	９５以下	８０以下

2）既製目地材 ※適用しない ・適用する（形状 ）（１５．２．２）

② 床コンクリートの直均し仕上げ 下表以外は「標仕」表６．２．５及び「標仕」15. 3. 2による。(表６．２．５)(15. 3. 1)(15. 3. 2)

施工箇所	平たんさ（mm）	備考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（パネル構法）範囲	１mにつき１０以下	塗料塗りの場合も含む
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（溝構法）範囲	３mにつき７以下	

（１５．４．２）
③ セルフレベリング材塗り 1）せっこう系 施工箇所及び厚さ ※図示
2）セメント系 施工箇所及び厚さ ※図示

④ 仕上塗材仕上げ 1）仕上塗材の種類等 （15. 5. 2）（表15. 5. 1）

種類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓi	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状
	・可とう形外装薄塗材Ｓi	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状
	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状
	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状
	・外装薄塗材S	砂壁状
	・内装薄塗材C	・
	・内装薄塗材L	・
	・内装薄塗材Ｓi	・
	・内装薄塗材E	砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材W	京壁状じゅらく
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ※凹凸模様
	・可とう形複層塗材ＣE	耐候性 ※３種 ・
	・複層塗材Ｓi	上塗材
	・複層塗材E	溶媒 ※水系 ・溶剤系
	※複層塗材ＲE	樹脂 ※アクリル系
	・防水形複層塗材ＣE	・ポリウレタン系
	・防水形複層塗材E	外観 ※つやあり ・つやなし
	・防水形複層塗材ＲE	・メタリック
	・防水形複層塗材ＲS	防水形の増塗材 ※行う
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

2）建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・第三種
3）防火材料の指定 （15. 5. 2）
※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

⑤ ロックウール吹付け 厚さ（mm） ⊙ 25

16章 建具工事

項目	特記事項
① 見本の製作等	・特殊な建具の仮組等（建具番号： ） （16. 1. 4）
2 防犯建物部品	※建具表による （16. 1. 6）
③ アルミニウム製建具	1）外部に面する建具の性能値等 （16. 2. 2）（16. 2. 4）（表16. 2. 1）

種別	耐風圧性	気圧性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	※Ａ－３	※Ｗ－４	※７０（(注)共）	
⊙B種	Ｓ－５	・	・	・	図示
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００	

(注)引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスの時は、100㎜とする。
2）表面処理 （16. 2. 4）（表14. 2. 1）

施工箇所	種別	色合い等
外部建具	※Ｂ－１種	無着色
	・Ｂ－２種	※標準色（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）
	⊙D種	⊙焼付塗装(指定色)
内部建具	※Ｃ－１種又はＢ－１種	無着色
	※Ｃ－２種又はＢ－２種	※標準色（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）

3）防音ドアセット ※適用は建具表による
4）断熱ドアセット ※適用は建具表による
5）耐震ドアセット ※適用は建具表による

4 樹脂製建具 1）外部に面する建具の性能値等 （16. 3. 2）（16. 3. 4）（表16. 3. 1）

種別	耐風圧性	気圧性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	Ａ－４	Ｗ－４	・６０ ・８０	
・Ｂ種	Ｓ－５		Ｗ－５	・１００	
・Ｃ種	Ｓ－６			・１２５	

2）表面色 ※白色 ・（ ）
3）ガラス ※複層ガラス ・単層ガラス ・三重ガラス （16. 3. 3）

⑤ 網戸 防虫網 （16. 2. 3）
イ）網の種別 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ⊙ステンレス製（SUS316）
ロ）形 式 ※外部可動式 ・固定式

⑥ 鋼製建具 1）簡易気密型ドアセット性能値 （16. 4. 2）（表16. 4. 1）
※適用する（適用箇所は建具表による）
2）外部に面する建具の耐風圧性 （16. 4. 2）（表16. 2. 1）
・Ｓ－４ ・Ｓ－５ ・Ｓ－６
※施工箇所は建具表による
3）鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効開口幅９５０㎜又は有効高さ２，４００㎜を越える場合）
※下表以外は表16. 4. 2による。 （16. 4. 4）（表16. 4. 2）

区分		使用箇所	厚さ（mm）
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	２．３
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	２．３
	戸	中骨	２．３

⊙図示

7 標準型鋼製建具 1）簡易気密型ドアセット性能値 （16. 4. 2）（16. 4. 6）（表16. 4. 1）
※適用する（適用箇所は建具表による）
2）外部に面する建具の耐風圧性
・Ｓ－４ ・Ｓ－５ ・Ｓ－６
※施工箇所は建具表による

⑧ 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセット性能値の適用は建具表による （16. 5. 2）

9 標準型鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセット性能値の適用は建具表による （16. 5. 2）（16. 5. 6）

⑩ ステンレス製建具 1）簡易気密型ドアセット性能値 （16. 4. 2）（16. 6. 2）（表16. 4. 1）
※適用する（適用箇所は建具表による）
2）外部に面する建具の耐風圧性
・Ｓ－４ ・Ｓ－５ ・Ｓ－６
※施工箇所は建具表による
3）表面仕上げ ※ＨＬ仕上げ ・No８鏡面仕上げ ・ （16. 6. 4）
4）曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ（補強あり） （16. 6. 5）

11 木製建具 1）建物内部の木製建具に使用する表面剤及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種
2）フラッシュ戸の表面材の種類 （16. 7. 2）（表16. 7. 2）（表16. 7. 6）
※難燃合板
3）かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ）
4）ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度 ・鳥の子
5）枠及び靴ずりの材料
枠 ※木枠 ・
靴ずり ※ステンレス ・木製

⑫ 建具用金物 1）マスターキー ※製作する ・製作しない （16. 8. 4）
2）建具用金物 （表16. 8. 1）

金物の種類	製造所
シリンダー箱錠 シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
ドアクローザ、ヒンジクローザ、フロアヒンジ	

⑬ 自動ドア開閉装置 1）自動ドアの開閉機構 （16. 9. 2）(16. 9. 3)(表16. 9. 1)(表16. 9. 2)(表16. 9. 3)

開閉方法	センサーの種類
※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ ・電波スイッチ ⊙タッチスイッチ ⊗光線(反射)スイッチ ・音波スイッチ ・ペダルスイッチ ・熱線スイッチ ・光電スイッ ・押しボタンスイッチ ・多機能便所スイッチ

2）凍結防止措置 ※行わない ・行う（ ） （16. 9. 3）
3）製造所 大型回転自動ドア機構のみ「評価名簿」による。

⑭ 自閉式上吊り引戸装置 製造所「評価名簿」による （16. 10. 2）

⑮ 重量シャッター 1）外部に面するシャッターの耐風圧強度 （16. 11. 2）
耐風圧性能（ ）N/㎡
2）開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 （16. 11. 2）（表16. 11. 1）
3）危害防止機構 ※障害物感知装置（自動開鎖型） （16. 11. 2）
・
4）一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない （16. 11. 2）

16 軽量シャッター 1）開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） （16. 12. 2）（表16. 12. 1）
2）外部に面するシャッターの耐風圧強度 （16. 12. 2）
耐風圧性能（ ）N/㎡
3）スラット 厚さ（mm） ※０．５ ・０．８ （表16. 12. 2）
材質 ※JISG3312(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) （16. 12. 3）
・JISG3322(塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 （16. 12. 4）
4）ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製ＳＵＳ３０４ （表16. 12. 2）
厚さ ※１．０ ・１．５
（16. 13. 2）（16. 13. 3）

17 オーバーヘッドドア

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板 （ＳＵＳ３０４）

耐風圧性能（ ）N/㎡ （16. 13. 2）

⑱ ガラス 1）合わせガラス
特性による種類 ※Ⅱ－１類（JIS R 3205）
2）強化ガラス

材料板ガラスによる種類	衝撃特性による種類（JIS R 3206）
⊗フロート強化ガラス ⊙型板強化ガラス	Ⅲ類（曲面はⅠ類）

3）熱線吸収板ガラス

板ガラスによる種類	日射熱取得率	色調
・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入磨き板ガラス	※２種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・グリーン

ガラスの厚さ・構成等は建具表により、その他ガラス性能等は下記による。 （16. 14. 2）

4）複層ガラス

種類	断熱性、日射遮へい性による区分（ＪＩＳ Ｒ ３２０９）
※断熱複層ガラス	※Ｕ３－１ ・Ｕ３－２ ・Ｕ１ ・Ｕ２
・日射熱遮へい複層ガラス	・Ｅ４ ・Ｅ５

5）熱線反射板ガラス

品質	反射皮膜面	材料板ガラスの種類	映像調整
※熱線反射ガラス	※内面・外面	・フロート板ガラス	※行わない
・高性能熱線反射ガラス	内面	・熱線吸収フロート板ガラス ・強化ガラス ・倍強度ガラス ・	・行う ただし、メタルカーテンウォール工事は１７章による

6）倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色調
※フロート倍強度ガラス	
・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・

⑲ ガラス留め材及び溝 ガラス留め材 （16. 3. 3）（16. 14. 2）（表９．７．１）

建具の種類	材種
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材
樹脂製	※シーリング材 ・ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）

ただし、防火戸は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ （16. 14. 3）（表16. 14. 1）
※「標仕」表１６．１４．１による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が確認できる資料を監督員に提出し、承認を受ける。

20 ガラスブロック積み ガラスブロック （16. 14. 5）

寸法（mm）		表面形状		性能等	
呼び寸法	厚さ	色調	パターン	防火性能	耐火性能
		※クリア ・		※無し ・	※無し ・

壁用金属枠及び補強材 （16. 14. 5）

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製	※「標仕」16．２．３のアルミニウム製建具の材料による
	・

化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・
シーリング材料
下記以外は「標仕」表９．７．１による。 （16. 14. 5）（９．７．２）（表９．７．１）

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記号	主成分による区分	耐久性による区分

ただし、防火区画等に用いる場合は、建築基準法に基づく規定に定められたもの又は、認定を受けた条件による。
製造所等 ＪＩＳ Ａ５２１２によるもの又は「評価名簿」による。

21 ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第２種	※内張り ・外張り	飛散防止率 Ｄ１
⊙ 目隠しﾌｨﾙﾑ(和紙調)			

品質 ＪＩＳ Ａ５７５９による。

17章 カーテンウォール工事

項目	特記事項
① メタルカーテンウォール	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会ＪＡＳＳ１４による。

カーテンウォール材料の種類 （17. 2. 2）

種類	規格等
※アルミニウム製	※「標仕」16．２．３のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォール方式
⊙方立方式
⊙バックマリオン方式（⊙単純２辺支持構法 ・ＳＳＧ構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式（・ノックダウン方式 ・ユニット方式）

設計 石川県土木部営繕課
担当課長 課参事 課長補佐 主幹 GL・SL 担当

工事名
図面名 建築工事仕様書 その４
図面番号

シーリング材及びガラス取付け材料
下記以外は「標仕」表９．７．１による。　（17．２．２）（９．７．２）（表９．７．１）

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

構造ガスケット　※適用しない　（17．２．２）
・適用する（施工箇所：　　）
断熱材 G　※適用しない　（17．２．２）
・適用する（種類：　　厚さ（mm）　　：施工箇所※図示）
製品の寸法許容差　※下記以外は「標仕」表17．２．１による。　（17．２．３）（表17．２．１）
・製造所標準製作規定寸法許容差による。

アルミニウムの表面処理　（17．２．３）（表14．２．１）

種　別	色合い等
・Ａ－１種 ・Ｂ－１種	無着色
・Ａ－２種 ・Ｂ－２種 ⊙D種	※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー ⊙指定色(ｸﾞﾚｰ)
・着色塗膜　塗装材料（　　）焼付け方法（　　）コート（　　）ベーク	

耐風圧性能　（17．１．３）
性能値　※建築基準法施行令第８７条及び建設省告示第１４５４号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　　Ｎ/㎡以上及び負圧　　Ｎ/㎡以上に対して安全であること。
主要部材のたわみ

支点間距離（ｈ）	たわみ量	状　態
※４ｍ以下	※±（１/１５０）×ｈ かつ絶対量２０mm以下	※各部の破損、残留変形有害な変形が起らないこと
⊙４ｍを超える		

耐震性能　（17．１．３）
設計用震度　水平方向（Ｋｈ）　※１．０　・
垂直方向（Ｋｖ）　※０．５　・

構造種別	許容層間変位量（ｈ＝支点間距離）	変位後の状態
鉄骨造	※±（１/１００）×ｈ以上 ・	※部材・ガラス等の損傷、破損及び脱落が起こらないこと 主要部材に有害な歪みが起こらないこと
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（１/２００）×ｈ以上 ・	シーリングの損傷は補修程度

水密性　⊙Ｗ－４　・Ｗ－５　（17．１．３）（表16．２．１）
気密性　⊙Ａ－３　・Ａ－４　（17．１．３）（表16．２．１）
耐火性能　※適用しない　⊙適用する（　１　時間、施工箇所：図示）
映像調整　※行わない　・行う（建具表による）

２　ＰＣカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会ＪＡＳＳ１４による。
コンクリートの種類及び品質　（17．３．２）
※「標仕」17．３．２による。
・下表による。ただし下表以外は17．３．２による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Ｆｏ）	所要スランプ（cm）

鉄筋　※ＳＤ２９５Ａ　・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質
下記以外はカーテンウォール製作所の仕様による。（17．３．２）（14．２．３）（表14．２．２）

金物種類及び部位	内　部	外　部
ＰＣ版打込み金物	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
ＰＣ版打込み取付けボルト	※Ｅ種　・	※ステンレスボルト
２次ファスナー	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
取付けボルト	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
レベル調整ボルト	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
	・	・

シーリング材料
下記以外は「標仕」表９．７．１による。　（17．２．２）（９．７．２）（表９．７．１）

施工箇所	シーリング材の種別		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

断熱材 G　※適用しない
・適用する（種類：　　厚さ（mm）　　：施工箇所※図示）
製品の寸法許容差　※下記以外は「標仕」表17．３．１による。　（17．３．３）（表17．３．１）
・製造所標準製作規定寸法許容差による。
表面仕上げ　（　　）

耐火材料

施工部位	種　別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能　（17．１．３）
性能値　※建築基準法施行令第８７条及び建設省告示第１４５４号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　　Ｎ/㎡以上及び負圧　　Ｎ/㎡以上に対して安全であること。

耐震性能　（17．１．３）
設計用震度　水平方向（Ｋｈ）　※１．０　・
垂直方向（Ｋｖ）　※０．５　・

構造種別	許容層間変位量（ｈ＝支点間距離）	変位後の状態
鉄骨造	※±（１/１００）×ｈ以上	※部材・ガラス等の損傷、破損及び脱落が起こらないこと シーリングの損傷は破損程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（１/２００）×ｈ以上	

１８章　塗　装　工　事

項　目	特　記　事　項
① 材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いたホルムアルデヒドの放散量　（18．１．３） ※規制対象外　・第三種 屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。
② 素地ごしらえ	（18．２．７）（表18．２．７） せっこうボード及びその他のボード面の目地工法が継ぎ目処理工法の場合 種別　※Ａ種　・Ｂ種（テーパーエッジボード施工箇所　　） 種別　・Ａ種　※Ｂ種（テーパーエッジボード以外施工箇所　　）

③ アクリルシリコン樹脂クリア塗り　適用範囲　コンクリート及び押出成形セメント板素地面

	工　程	塗料その他	塗付け量（kg/㎡）
1	素地ごしらえ	乾燥、汚れ、付着物除去	―――
2	下塗り（１回目）	浸透性吸水防水材（シラン系）	０．０８
3	下塗り（２回目）	浸透性吸水防水材（シラン系）	０．０８
4	中塗り	アクリルシリコン樹脂ワニス	０．１０
5	上塗り	アクリルシリコン樹脂ワニス	０．１０

④ 常温乾燥形ふっ素樹脂クリヤ塗り　適用範囲　コンクリート及び押出成形セメント板素地面

	工　程	塗料その他	塗付け量（kg/㎡）
1	素地ごしらえ	乾燥、汚れ、付着物除去	―――
2	下塗り（１回目）	浸透性吸水防水材（シラン系）	０．０８
3	下塗り（２回目）	浸透性吸水防水材（シラン系）	０．０８
4	中塗り	常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス	０．１０
5	上塗り	常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス	０．１０

１９章　内　装　工　事

項　目	特　記　事　項
① 材料	（19．２．２）（19．３．３）（19．４．２）（19．５．５）（19．７．２）（19．８．２）（19．９．２） 壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤、塗料、フェノールフォーム保温材のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種 ※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
② ビニル床シート張り G	（19．２．２）

種　類	ＪＩＳの記号	色　柄	厚さ（mm）
⊗発泡層のないもの	※ＦＳ　・	⊗無地　・マーブル	⊗２．０　・２．５
・発泡層のあるもの	・ＨＳ	※柄物　・無地	
⊙抗菌タイプ	※ＦＳ	高耐久抗菌UV樹脂ｺｰﾃｨﾝｸﾞ	東リ:消臭NSﾄﾘﾑNW同等品
⊙防滑タイプ	※ＦＳ		⊗２．０　・２．５

再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で15%以上使用されていること。
（ＫＳの場合を除く）
工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　　）（19．２．３）

③ ビニル床タイル張り G　**（19．２．２）**

種　類	JISの記号	厚さ（mm）	寸法（mm）	備　考
⊗コンポジションビニル床タイル［接着形］	ＫＴ	※2.0 ⊙3.0	・300×300 ⊙450×450	
・複層ビニル床タイル［接着形］	ＦＴ	※2.0 ・	・300×300 ・450×450	
⊙置敷きビニル床タイル		⊙4.0	⊙500×500	東リ:LLFURI~40NW-EX同等品

再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で15%以上使用されていること。

④ 帯電防止床タイル張り　（19．２．２）

種　類	厚さ（mm）	性　能
・コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値（ＪＩＳ Ｋ６９１１による）
・ホモジニアスビニル床タイル	※4．０又は５．０	1.0×10^{9} Ω以下、または、
・	・	漏洩抵抗値（ＪＩＳ Ａ１４５４による）
・	・	1.0×10^{10} Ω未満

⑤ ビニル幅木　高さ（mm）　※６０　・７５　（19．２．２）

⑥ カーペット敷き G　防炎性能は、消防法で定める防炎性能を有し、登録されているものとする。　（19．３．２）
・織じゅうたん　（19．３．３）（19．３．４）（表19．３．１）

種 別	織り方	パイル形状	色柄等	帯電性
・Ａ種	・ウィルトンカーペット	・カットパイル	※単一色（無地）	人体帯電圧
・Ｂ種	・ダブルフェースカーペット	・ループパイル	・柄物（標準色）	※3kv以下
・Ｃ種	・アキスミンスターカーペット	・カット、ループ併用	・	・

・タフテッドカーペット　（19．３．３）（19．３．４）（表19．３．２）

パイル形状	パイル長（mm）	工　法	帯電性
・カットパイル	※５～７　・	※全面接着工法	人体帯電圧
・マルチレベルループ	※４～６　・	・グリッパー工法	※３ｋｖ以下
・レベルループパイル	※４　・		・
・カット、ループ併用	・		

・ニードルパンチカーペット　（19．３．３）
厚さ(mm)　・帯電性　人体帯電圧　3kv以下　備考

・タイルカーペット　（19．３．３）

種 別	パイル形状	寸法（mm）	総厚さ（mm）	帯電性	備考
⊗第一種 ・第二種	⊗ループパイル ・カットパイル ・ｶｯﾄ/ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	⊗５００×５００ ・	⊗６．５ ⊙７．８ ⊙９．５	人体 耐電圧 ３kv以下	東リ:同等品 GA100Tｼﾘｰｽﾞ GX-8100ﾌｪｲﾀﾘｸﾞﾗﾝﾄﾞｴｱｰ

⑦ 合成樹脂塗り床　（19．４．２）（19．４．３）（表19．４．１～表19．４．８）

種　別		仕上げの種類
厚膜型	・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
	・エポキシ樹脂系塗床材	※薄膜流し展べ工法（※平滑　・防滑） ・厚膜流し展べ工法（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル工法（※平滑　・防滑）
薄膜型	・エポキシ樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・

⑧ 床用塗料塗り　材質　ウレタン樹脂系塗料（※標準色　・　）
仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ
塗布量　プライマー塗のうえ主剤２回塗りとし、総塗布量は０．５kg/㎡以上とする。

⑨ 防塵用塗料塗り　材質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤２回塗りとし、総塗布量は０．２５kg/㎡以上とする。

⑩ フローリング張り　（19．５．２～19．５．７）（表19．５．１～表19．５．５）

品　名	樹　種	工　法	種　別	仕上塗装等
※天然木化粧複合フローリング G	※なら ・ひのき ・	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	※Ｃ種 ・	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート
・		・　・	・	・

⑪ 畳敷き　（19．６．２）（表19．６．１）

下地の種類	畳の種別
「標仕」表12．６．１による床組	・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種（・　・　）
ポリスチレンフォーム床下地	・Ｃ種　※Ｄ種（・　・　）

⑫ ポリスチレンフォーム床下地材　畳下地　厚さ（mm）　※４０　・６５　・８０
フローリング類下地　厚さ（mm）　※８０　・９５

⑬ 特殊合板等の種類　特殊合板の仕上げの種類などは、下記による。　（19．７．２）

施工箇所		
仕上げの種類	・天然木化粧合板（・　）	・特殊加工化粧合板（・　）
防火性能	・難燃　・準不燃　・不燃	・難燃　・準不燃　・不燃
表面の品質	・１等　・２等　・３等	・１等　・２等　・３等
接着剤の種類	・１種　・２種　・３種	・１種　・２種　・３種
工　法	・Ａ種　・Ｂ種　・釘打　・タッピング	・Ａ種　・Ｂ種　・釘打　・タッピング
目地処理	・目透し・突付け・Ｖ目地・底目地	・目透し・突付け・Ｖ目地・底目地

⑭ 壁紙張り　（19．８．２）

施工箇所	壁紙の種類					防火性能の級別	備　考
	紙製	繊維（織物）	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ(ﾋﾞﾆﾙ)	無機質製	その他		
図示	・	・	⊙	・	・	⊗不燃　⊙準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃　・準不燃　・難燃	

素地ごしらえ　（19．８．３）（表18．２．４）（表18．２．５）（表18．２．７）
モルタル、プラスター、コンクリート面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）
せっこうボード面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

⑮ 断熱材 G　断熱材は、原則として「グリーン購入法」における特定調達品目を使用する。
ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　（19．９．２）（19．９．３）

種　類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
⊙押出法ポリスチレンフォーム保温板	※２種ｂ	※一般部	※２５ ・	特定フロンを使用しないもの G
	※３種ｂ（スキン層付）	・接地部分 ・	※２５ ⊙３０	
⊙現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	―――	特定フロンを使用しないもの 難燃性　※３級　・２級
		⊙一般部 ・	※１５ ⊙３０	
		製造所　ＪＩＳ　Ａ　９５２６又は「評価名簿」による		
・断熱材兼用型枠		・壁（図示の範囲） ・	※４０以下 ・	断熱抵抗 ＝厚さ/熱伝導率 ＝０．６７６以上 (㎡・K/w)

⑯ 体育館のフローリング張り　体育館のフローリング張りは、下記による。
（イ）材種　下張り（組床式の場合）・１類ラワン合板（厚15）・構造用合板１類２級（厚15）
上張り　・かば桜18mm　・
（ロ）工法　下張りとは、鋼製下地にタッピングビス止め。上張りは、下張り材に接着剤と釘打ち併用とする。
上張り材と他の材料との取合いは、ネオプレンゴムとし、コートラインは、上塗り前に、監督員の指示により施工する。

⑰ 浴室天井材　市販品

材　質	表面仕上げ	性　能	幅（mm）	備　考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	準不燃品	※２００	回り縁は樋付き
	・アルマイト処理品		・１００	とし、製造所の
・硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調		※３００ ・１００	標準品とする。

⑱ せっこうボードその他のボード張り　（19．７．２）（表19．７．１）

種　類	ＪＩＳの記号	厚さ（mm）、規格等
⊙硬質木毛セメント板 G	ＨＷ	・15　・20　⊙25
・普通木毛セメント板 G	ＮＷ	・15　・20　・25
・ミディアムデンシティファイバーボード G	ＭＤＦ	・
・パーティクルボード G		・
⊙けい酸カルシウム板	０．８ＦＫ	タイプ２（無石綿）
⊙ロックウール化粧吸音板	ＤＲ	※フラットタイプ（※９　・１２　・　） ・凹凸タイプ（※１２　・１５　・１９　・　）
・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）		※フラットタイプ９（（個）不燃） ・凹凸タイプ（※１２　・１５）（（個）不燃）
⊙せっこうボード	ＧＢ－Ｒ	・１２．５（不燃） （テーパーエッジボード施工箇所は図示）
・不燃積層せっこうボード	ＧＢ－ＮＣ	９．５（不燃）　・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
⊙シージングせっこうボード	ＧＢ－Ｓ	１２．５（（個）不燃）
⊙強化せっこうボード	ＧＢ－Ｆ	※１２．５（不燃）　・１５．０（不燃）
・せっこうラスボード	ＧＢ－Ｌ	９．５
・化粧せっこうボード（木目）	ＧＢ－Ｄ	１２．５（不燃）　幅４４０mm程度 模様（※柾目　・板目）専用下地材付き
⊙メラミン樹脂化粧板		ＪＩＳ Ｋ ６９０３による　厚さ１．２
・難燃合板 G		
⊙硬質せっこうボード	ＧＢ－ＲＨ	９．５

⑲ 吸音材　軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材　（19．７．２）（表９．７．１）
※適用する　・適用しない
（表19．７．１）

種　類	記　号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード１号	ＲＷ－Ｂ	※２５　・
⊗グラスウール吸音ボード２号３２Ｋ	ＧＷ－Ｂ	※２５　⊙５０

⑳ 乾式耐火間仕切壁

耐火性能	下地材	構造方法	仕上げ材等
６０分耐火（非耐力壁）	軽量鉄骨壁下地	両面	・強化せっこうボード（厚さ１５mm）下張り＋せっこうボード系（厚さ１２．５mm） ・けい酸カルシウム板系（厚さ８mm）二重張り ・けい酸カルシウム板系（厚さ８mm）＋せっこうボード系（厚さ１２．５mm） ⊙強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(12.5)+硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(9.5)
		片面	⊙強化せっこうボード系（厚さ２１mm二重張り）

品質・規格　建築基準法に基づく耐火構造の通則的指定及び個別的指定を受けたもの。

設計　石川県土木部営繕課
担当課長　課参事　課長補佐　主幹　GL・SL　担当

工事名
図面名　建築工事仕様書　その５
図面番号

㉑ 誘導用及び注意喚起用床材

視覚障害者用タイル　（19．２．２）

適用箇所	種　類	寸法（mm）	形　状
屋　内	⊙塩化ビニル系	⊗300×300　・	ブロックパターンはＪＩＳ Ｔ 9251による
	⊙磁器又はせっ器タイル	⊙300×300	
屋　外	・コンクリート系	※300×300×60　・300×300×30	
	・レジンコンクリート系	※300×300　・	
	⊙磁器又はせっ器タイル	⊙300×300	

20 章　ユニット及びその他工事

項　目	特　記　事　項

1 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型	・有り
・水平方向	・部分スリット	・非耐火型	・無し

目　地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※２０×１０　・	※２０×１０　・

2 ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｼﾞｮｲﾝﾄ金物

材　質	クリアランス	防火性能	防水性能
・アルミ　・ステンレス	・50　・100　・150　・	・あり　・なし	・あり　・なし

3 止水板

形　状　・差込式　・据置式　・壁張り式
施工箇所　※図示

④ フリーアクセスフロア　（20．２．２）

施工箇所	構　法	仕上り高（mm）	適用地震時 水平力	耐荷重性能（注１）	表面仕上げ材（注２）
2F ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ ﾚｽﾄﾗﾝ　等	⊙パネル構法	３５０	⊙1．０Ｇ	⊙3，０００Ｎ	⊙帯電防止床タイル
	・溝構法		・０．６Ｇ	・５，０００Ｎ	⊙タイルカーペット
3F 事務室　等	・パネル構法	１００	⊙1．０Ｇ	⊙3，０００Ｎ	⊙帯電防止床タイル
	・溝構法		・０．６Ｇ	・５，０００Ｎ	⊙タイルカーペット
	・パネル構法		・１．０Ｇ	・３，０００Ｎ	・帯電防止床タイル
	・溝構法		・０．６Ｇ	・５，０００Ｎ	・タイルカーペット

注１　耐荷重性能5,000Ｎについては、平成元年建設省告示第１３２２号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等のものとする。
注２　表面仕上げ材の品質・規格等は、１９章内装工事による。

構成材の材質　・アルミニウム　⊙鋼製　・
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様（ただし、構成材は「標仕」による）　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
　コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル　※配線取り出し開口：パネル１枚につき４０mm×８０mm程度の開口１ヶ所以上
　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
　※２０～３０パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
　・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

5 可動間仕切　（20．２．３）

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種 厚さ（mm）	仕上げ	遮音性（透過損失）	不燃材料の認定
※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・	※鋼板（※０．６　・０．８）・	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・	・15dB程度 ・30dB程度 ・36dB以上 ・	・あり

製造所等　ＪＩＳ Ａ６５１２によるもの又は「評価名簿」によるもの

⑥ 移動間仕切　（20．２．４）

遮音性能による区分	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ（注２）	操作方法	施工箇所
・一般タイプ		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式	
⊙遮音タイプ（注１）	８０	※鋼板 ・	・焼付け塗装 ⊙壁紙張り	⊙手動式　・電動式 ・部分電動式	

注１　ＪＩＳ Ａ １４１６による試験方法において、中心周波数５００Ｈｚの音の透過損失が３６ｄＢ以上の性能を有するものとする。
注２　表面仕上げの壁紙張りの品質は１９章内装工事　１４壁紙張りによる。

パネル圧接装置操作方法　※製造所標準仕様　・

⑦ トイレブース　（20．２．５）

表面仕上げ材	脚部の形状・材質		ドアエッジの形状・材質	
※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・支柱タイプ	・アルミニウム ⊙ステンレス	・フラット形 ⊙曲面形	※アルミニウム製 ・ステンレス製

⑧ 階段滑止め　（20．２．６）

材種　ステンレスＳＵＳ３０４
形状　ビニルタイヤ入り
　両端フラットエンド　※有り（・ステンレス製　※ビニル製）　・無し
幅（mm）　約３５
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

⑨ 階段手すり

種　別	仕上げ等	手すり径等（mm）	施工箇所
⊙集成材（市販品）	※クリアラッカー	・４５　⊙３４	階段室
・ビニル製ハンドレール ※アルミ製　塩ビ被覆	・耐候性タイプ ・	・５０（幅） ・３４　・４０	
⊙ステンレスパイプ ・鋼製パイプ	⊙ＨＬ ・	・４０　⊙３４ ・	ｴｽｶﾚｰﾀｰ廻り

10 黒板及びホワイトボード　（20．２．８）

種　類		寸法（mm）	備　考
・黒板	・焼付け		※平面　・曲面　・スクリーン付引分
・ホワイトボード	・ほうろう		※平面　・曲面　・スクリーン付引分

⑪ 表示標識　衝突防止表示　※図示　（20．２．10）
　（市販品　※ステンレス製　径　約３０mm　・　）
　・無し
法令に基づく表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所

12 煙突用成形ライニング材　適用安全使用温度　※４００℃　・６５０℃　（20．２．11）
製造所「評価名簿」による。

⑬ ブラインド　（20．２．12）

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
⊗横型	※ギア式　⊙コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※２５
⊙縦型	・１本操作コード ⊙２本操作コード	・アルミスラット ⊙クロススラット	・８０ ⊙１００

⑭ ブラインドボックス及びカーテンボックス　※市販品（アルミニウム製　押出し型材）

使用区分	溝幅×深さ（mm）
⊙横型ブラインド	※９０×１５０　・１２０×１５０　⊙図示
⊙縦型ブラインド	※１２０×８０　・１５０×８０　⊙図示
⊙カーテン（又はレース共）	※１５０×８０　・１８０×８０　⊙図示
・カーテン＋横型ブラインド	※１８０×１５０　・

色彩　※Ｂ－１　・Ｂ－２（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）　・図示

⑮ ロールスクリーン　（20．２．13）

操作方法	スクリーンの種類	品質等
・プルコード式（ストッパー付）	・無地	
・ワンタッチチェーン式	・柄物	
・チェーン式	⊙遮光タイプ	
⊙電動式		

製造所

⑯ カーテン及びカーテンレール　（20．２．14）

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 ひも引	装置 手引	名称・品質	ひだの種類	備　考
ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ ﾚｽﾄﾗﾝ　等	⊙	⊙	⊙	・	・	遮光ｶｰﾃﾝ	1.5倍ひだ	
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			

17 ピクチャーレール
　レール　材　質　アルミニウム製（シルバー）
　　形　式　先付け天井埋込型（見切縁兼用）
　ランナー　材　質　本体：真鍮性　フック：ステンレス製（可動式）
　　耐荷重　２５kg程度/個
　　個　数　２個/レール１ｍ

18 天井点検口

目地形状	運用箇所	寸法（mm）
額縁タイプ	下記以外全て	⊗　４５０×４５０
目地タイプ	※図示 ・天井仕上げ材がＤＲの範囲	⊙　６００×６００ ・

品質及び性能等　（表14．２．１）

項　目	材料の品質・規格及び性能
内外枠の材質	アルミニウム合金押出型材（表面処理：Ｃ－１種又はＣ－２種による）（ＪＩＳ Ｈ ４１００ Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５による）
内外の仕上げ材留付け金具	アルミニウム合金押出型材、亜鉛めっき鋼板類及び同等の性能を有するもの
コーナービス及び取付け金物等	鋼材に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
寸法許容差	枠の許容差　±０．５mm以内
	外枠と内枠のクリアランス　２．０mm以内

⑲ 床点検口

本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法（mm）
※アルミ製	※アルミ　・ステンレス　・黄銅	下記以外全て	※６００×６００ ・
・ステンレス製			

品質及び性能等

材　質	品質・規格及び性能	
アルミ合金押出型材	ＪＩＳ Ｈ ４１００ Ａ６０６３Ｓによる	表面処理 Ａ－１種又はＡ－２種による
アルミニウム板	ＪＩＳ Ｈ ４０００ Ａ１１００Ｐ２４による	
ステンレス製	ＪＩＳ Ｇ ４３０５（目地材はＧ ４３０８も含む）のＳＵＳ３０４による	表面処理 ＨＬ又はＮｏ２Ｂ程度
寸法許容差（mm）	受け枠寸法の許容差	±０．５
	蓋枠寸法の許容差	
	受け枠と蓋枠のクリアランス（片側）	２．０以内
耐荷重性能	荷重Ｐｎ＝１，０００Ｎにおける蓋中央部の残留たわみ	点検口有効径の０．０８%以内
	耐破壊荷重	荷重値Ｐｎの２倍以上

⑳ 収納家具・書架・物品棚

	品質	主要構造部材の材料	形状寸法（mm）	備　考
⊙収納家具	JIS S1033(ｵﾌｨｽ用収納家具)による	・鋼製 ⊙木製	⊙図示 ・	
・書架	JIS S1039(書架物品棚)による	・鋼製 ・	・図示 ・	JIS S1039による種類 ・１種　・２種　・３種
・物品棚		・鋼製 ・	・図示 ・	JIS S1039による種類 ・５種　・６種　・７種
・移動式書架・物品棚		・図示 ・木製	・図示 ・	

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

㉑ かぎ箱
　市販品
　形　式　・３０組用　⊙６０組用　・１２０組用

22 くつふきマット
　市販品
　材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）
　　・ビニル製（ステンレス製受枠）
　　・硬質アルミニウム製（受枠とも）
　　・ステンレス製（受枠とも）

㉓ 流し台ユニット

種　類	寸法（Ｌ＝mm）	適用内容	規格・品質等
⊙流し台	⊗1200　・1500　・1800　⊙1050	トラップ付き	※優良住宅部品
⊙コンロ台	⊗600　・700　・	バックガード　※有り	(ｾｸｼｮﾅﾙｷｯﾁﾝⅠ型)
⊙つり戸棚	⊗1200　・900　・800		・
・水切り棚	※1200　・900	ステンレス製　※１段式	※市販品

24 屋内掲示板　枠の材質　※アルミニウム製
　表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

25 洗面カウンター　材　種　・メラミン樹脂化粧張り（心材：集成材）　・人工大理石（仕様は図示）
　奥行き（mm）　・約４５０　・約６００

㉖ 防煙垂れ壁　・固定式

材　質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備　考
⊙網入り磨板ガラス	※６．８	※５００ ⊙８００	アルミ製枠付き
・線入り磨板ガラス	・	・	

・可動式

種　類	材　質	高さ（mm）	備　考
⊙垂直降下式（巻取り型）	不燃布（不燃認定品）	※５００ ⊙８００ ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ⊙可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※５００ ・８００ ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）
品質、規格　（財）日本建築センターの防災性能評定品

27 敷地境界石標　・かこう岩（文字記号等入り）
　※コンクリートブロック製の市販品程度

28 旗竿　材　質　※アルミニウム合金製
　形　式　※テーパー型　・同一断面型
　地上高さ（m）　・６　・８　・１０　・１２
　操作方法　※ハンドル式　・ロープ式
　固定方法　・埋込式　・ベース式　・バンド式

㉙ 旗竿受金物　材　種　ステンレス製ＳＵＳ３０４

30 フェンス　・耐雪型　・一般型
　・ビニル被覆エキスパンドフェンス　・樹脂塗装メッシュフェンス　・鋼管フェンス

31 屋外掲示板　照明器具　※有り　・無し
　施　錠　※有り　・無し
　製造所

32 車止め支柱　・ステンレス製（上下式鎖内蔵型、反射テープ付き）　径114.3mm　ｔ＝2.5mm　Ｈ＝ＧＬ＋700mm
　※スプリング付　・スプリング無し
　・図示

33 建築銘板　建築銘板の設置等は、下記による。
（イ）設置　・設置する　・設置しない
（ロ）材料、大きさ　・黒又は白御影石水磨き仕上げ（４５０×６００×２５）
　・アクリル樹脂板（４５０×６００×１０）
（ハ）記入内容（参考）

45（60）

工事名
完成　平成　年　月　日
（監修）
設計
監理
建築　（業者名を記入する）
電気　（業者名を記入する）
給排水　（業者名を記入する）
空調　（業者名を記入する）
合併処理　（業者名を記入する）
昇降機　（業者名を記入する）

60（45）

34 リサイクル製品の使用
(1)リサイクル製品は、「石川県リサイクル認定製品」を優先的に使用すること。
　石川県リサイクル認定製品　・使用する

「石川県リサイクル認定製品」は、石川県のホームページを参照する。
　http://www.pref.ishikawa.jp/（石川県 環境部 廃棄物対策課）

(2)その他、リサイクル製品の使用に努めるものとする。

(3)建設副産物リサイクル製品を使用した場合、下記掲示板を設置する。（但し、工事請負代金が１，０００万円以上のもの）
看板の寸法は９０ｃｍ×６０ｃｍ程度とする。

この建築工事ではリサイクル製品として
○○○○○○○○、○○○○○○○○
を使用しています。
Ｒ　石川県土木部営繕課
建設副産物リサイクル シンボルマーク

（注）建設副産物シンボルマークのデザインは監督員に確認すること

35 伝統産業工芸品の使用

使用箇所	製　品	備考
・		
・		
・		

21 章　排　水　工　事

項　目	特　記　事　項

① 排水管　排水管用材料　（21．２．１）（表21．２．１）

材　種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※１種　・２種）	Ｂ形（ゴム接合）
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	⊗ＶＰ　・ＶＵ	
・ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ三層管 Ｇ	※ＲＳ－ＶＵ	

② 排水桝及びふた　（21．２．１）

種　類	適用荷重	鍵
・水封形　・密閉形（テーパー・パッキン式）	・Ｔ－２用	・あり
・簡易気密形（パッキン式）	・Ｔ－６用	・なし
・中ふた付密閉形（テーパー・パッキン式）	・Ｔ－２０用	

グレーチングふた　・溝ふた用　（21．２．１）

材　質	形　式	種　類	適用荷重	ﾒﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	上面形状
⊙鋼製 ・ステンレス製	※受枠付き ・ボルト固定 ※無し ・図示	⊙溝ふた用（横断） ・溝ふた用（縦断） ⊙桝ふた用 ・かき上げ用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ⊙Ｔ－２用 ⊙Ｔ－６用 ⊙Ｔ－14用 ・Ｔ－20用	※細目 ※普通目 ⊙細目	※凹凸形 ※平形 ・凹凸形

③ 埋戻し土　※Ｂ種　・建設汚泥から再生した処理土 Ｇ　（21．２．１）

④ 浸透管及び浸透桝

設計　石川県土木部営繕課
担当課長　課参事　課長補佐　主幹　GL・SL　担当

工事名
図面名　建築工事仕様書　その６
図面番号

22章 舗装工事

項目		特記事項
1	盛土に用いる材料	(22. 2. 3) (表3.2.1) ・A種　※B種　・C種　・D種　・建設汚泥から再生した処理土 G
2	凍上抑制層の材料	※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　・切り込み砂利　(22. 2. 3)
3	路床	1）路床安定処理 ※添加材料による安定処理　(22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22.2.1) 種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種 ・高炉セメントB種 G　・生石灰（　）　・消石灰（　） 添加量　kg／㎥（目標CBR　※5以上　・　） ・ジオテキスタイルによる安定処理 ジオテキスタイルの品質 単位面積質量　60g／㎡以上 厚さ（mm）　0．5～1．0 引張り強さ　98N／5cm（10kgf／5cm）以上 透水計数　1．5×10cm／sec以上 2）透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ　(22.2.2) 車道部　※150mm　・（　） 歩道部　※50mm　・（　） 3）路床土の支持力比試験 ※行う（※乱した土　・乱さない土）　(22. 2. 5) 4）路床締固め度の試験 ※行う　(22. 2. 5) 5）砂の粒度試験 ※行う　(22. 2. 5)
4	路盤	1）材料 G ※再生クラッシャラン（RC－40）　(22. 3. 3) (表22.3.1) ・クラッシャラン鉄鋼スラグ（CS－40） 2）路盤の厚さ　(22. 3. 3)

舗装の種類	路盤の厚さ（mm） 車道部	歩道部
アスファルト舗装	・100　・150　・250　・300	・100
コンクリート舗装	・150	・100
カラー舗装	・100　・150　・250　・300	・100
透水性アスファルト舗装		・100
インターロッキングブロック舗装	・100　・150　・250	・100

3）路盤の締固め度試験
※行う　(22.3.5)

5	アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ　(22. 4. 2)

部位	舗装の厚さ（mm） 基層	表層
車道部（基層なし）		・50　・
車道部（基層あり）	・50　・	・30　・
歩道部		・30　・

アスファルト　※再生アスファルト G　・ストレートアスファルト　(22. 4. 3)
再生加熱アスファルト混合物の種類　(22. 4. 4) (表22.4.4)

区分	・一般地域	※寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	※密粒度アスファルト混合物（13F）

シールコート　※行わない　・行う（施工範囲：　）　(22. 4. 5)
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う　(22. 4. 6)

6	コンクリート舗装	早強セメント　※使用しない　・使用する　(22. 5. 3) 注入材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ　(22. 5. 3) (表22.5.2) 溶接金網　※有り　・無し　(22. 5. 3) (22.5.4) 厚さ試験　※行う　・行わない　(22. 5. 6)
7	カラー舗装	カラー舗装の種類　(22. 6. 2～4) (表22. 6. 1～2)

種類	車道部の基層	着色骨材等	顔料の添加量等	カラー舗装の厚さ（mm）
※アスファルト混合物	※なし	・有色骨材（焼成） ・着色骨材（樹脂被覆） ・自然石	・5～7%	※50
・石油樹脂系混合物	・あり		・　%	・30　・
・樹脂系混合物		・		5～10
・ニート工法		・エメリー ・着色磁器質骨材		3～5
・塗布工法				1程度以下

8	透水性アスファルト舗装	アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う　(22. 7. 6)

9	ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装　(22. 8. 2) (22. 8. 3)

種類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材	表面加工
※普通平板（N） ・透水平板（P）	※300角 ・	※60	※砂 ・モルタル	・研ぎ出し　・洗い出し ・たたき出し

・インターロッキングブロック舗装　(22. 8. 2) (22. 8. 3)

種類	曲げ強度	厚さ（mm）	表面加工及び色彩等
※普通タイプ ・誘導、注意喚起用タイプ	5N/mm²以上	車道部　※80　・ 歩道部　※60　・	※標準タイプ ・表面化粧タイプ
・透水性タイプ	3N/mm²以上		誘導、注意喚起用は
・植生タイプ	4N/mm²以上	※100　・80	黄色とする

製造所 JIS A 5371による。

・舗石舗装　(22. 8. 2) (22. 8. 3)

種類	厚さ（mm）	施工方法	基層
※小舗石（花こう岩）	※80～100	※うろこ張り	※コンクリート舗装
・	・	・	・アスファルト舗装

10	区画線	路面表示用塗料

規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法（mm）	色彩
JIS K 5665	・1種 G	常温	液状	幅　※150　・ 厚さ　※1.0　・	※白 ・黄
	・2種 G	加熱			
	※3種1号	溶融	粉体状		

揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。

23章 植栽工事

項目		特記事項
1	土壌の酸度、塩分量試験	※行う　(23. 1. 3)
2	樹木の植栽基盤整備	芝及び地被類　(23. 2. 2) (23. 2. 3) (表23.2.1) (表23.2.2)

適用	有効土層の厚さ（cm）	工法	整備範囲
※行う　・行わない	※20　・	※B種　・	※植栽範囲　・図示

樹木　(23. 2. 2) (23. 2. 3) (表23.2.1) (表23.2.2)

樹木の樹高（m）	有効土層の厚さ（cm）	工法	整備範囲
・12以上	※100　・	※A種	※葉張りの範囲
・7以上～12未満	※80　・	・B種	ただし、低木は植栽範囲
・3以上～7未満	※60　・	・C種	・図示
・3未満	※50　・	・D種	

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

3	植込み用土	※現場発生土の良質土　・客土（※畑土　・黒土）　(23. 2. 3)
4	土壌改良材 G	※適用する　(23. 2. 3) (23. 2. 4)

施工箇所　※植栽範囲　・図示
・バークたい肥
有機物の含有量（乾物）　：70%以上
炭素窒素比（C／N比）　：35以下
陽イオン交換容量（乾物）　：70meq／100g以上
pH　：5．5～7．5
水分　：55～65%
幼植物試験の結果　：生育阻害その他の異常が認められない
窒素全量（現物）　：0．5%以上
りん酸全量（現物）　：0．2%以下
カリ全量（現物）　：0．1%以上
・発酵下水汚泥コンポスト
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする。
ひ素　：0．005%以下
カドミウム　：0．0005%以下
水銀　：0．0002%以下
ニッケル　：0．03%以下
クロム　：0．05%以下
鉛　：0．01%以下
有機物の含有量（乾物）　：35%以上
炭素窒素比（C／N比）　：20以下
pH　：8．5以下
水分　：50%以下
窒素全量（現物）　：0．8%以上
りん酸全量（現物）　：1．0%以上
アルカリ分（現物）　：15%以下

5	支柱材	※丸太又は間伐材 G　・竹　(23. 3. 2)
6	幹巻き用材料	※幹巻き用テープ　・わら及びこも　(23. 3. 2)
7	芝張り	種類　※こうらい芝　・野芝　(23. 4. 2)
8	枯補償	提出すること。
9	吹付けは種	種子の種類　※洋芝類又はクローバー（採取後2年以内）　(23. 4. 2) 種子の量　※発芽率80%以上
10	屋上緑化 G	植栽基盤及び材料　(23. 5. 2) (23. 5. 3) ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ　・図示 保水・排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）　・板状成型品 植込み用土　※改良土　・人工軽量土 樹木の材種、寸法、株立数、寸法等　※図示 ・屋上緑化軽量システム　(23. 5. 3) 芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示　(23. 5. 4) 固定方法は、「建築基準法に基づき指定する条件」により。建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を1．2．2（施工計画書）による品質計画で定める。 支柱　・設置する（種類　・図示　・　） かん水装置　・設置する（工事区分は図示による）

24章 その他

項目		特記事項
①	いしかわ土日おやすみモデル工事	・ いしかわ土日おやすみモデル工事(発注者指定型) 本工事は、工事現場において原則土日を休日とする週休2日の工事「いしかわ土日おやすみモデル工事」（以下、「モデル工事」）（発注者指定型）の対象工事であり、下記に基づき監督員と協議すること。 （1）受注者は、現場に週休二日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 （2）受注者は、現場着手日までに原則土日を休日とした週休2日の計画工程を工事工程表（様式2を標準とする）に記入し、監督員に提出・共有すること。 （3）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。 （4）受注者は、工期最終日までに、工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。 （5）週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室HPの「いしかわ土日おやすみモデル工事　実施要領」を参照すること。 （6）モデル工事の検証を行うため、受注者（下請企業を含む）は、別に定めるアンケートに協力すること。 （7）当初の予定価格の設定において、4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）を前提に補正係数1.05により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正しており、発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、4週8休に満たない場合、請負代金額のうち労務費補正分を減額変更する。この場合、評定の減点等のペナルティは行わない。 ・ いしかわ土日おやすみモデル工事(施工者希望型) 本工事は、工事現場において原則土日を休日とする週休2日の工事「いしかわ土日おやすみモデル工事」（以下、「モデル工事」）（施工者希望型）の対象工事であり、下記に基づき監督員と協議すること。 1　モデル工事の実施協議 （1）受注者は、現場着手日までに、様式1の協議書によりモデル工事の実施の有無を発注者と協議すること。 （2）①（1）の協議によりモデル工事を実施する場合は、以下（2以降）の内容について監督員と協議すること。 ②（1）の協議によりモデル工事を実施しない場合は、以下（2以降）の内容によらず施工するものとする。 （3）（1）の協議によりモデル工事を実施しない場合は、別に定めるアンケートに協力すること。 2　モデル工事の内容 （1）受注者は、現場に週休二日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 （2）受注者は、現場着手日までに原則土日を休日とした週休2日の計画工程を工事工程表（様式2を標準とする）に記入し、監督員に提出・共有すること。 （3）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。 （4）受注者は、工期最終日までに、工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。 （5）週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室HPの「いしかわ土日おやすみモデル工事　実施要領」を参照すること。 （6）モデル工事の検証を行うため、受注者（下請企業を含む）は、別に定めるアンケートに協力すること。 （7）本工事は、当初設計では、週休2日を前提とした計上はしていない。 発注者は、4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）を確認し、補正係数1.05により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正し、請負代金額を変更する。なお、4週8休に満たない場合は、変更の対象としない。 なお、1の協議によりモデル工事を実施し、週休2日の確保が確認できなかった場合、減額や評定の減点等のペナルティは行わない。 ※ いしかわ土日おやすみモデル工事ではない 但し、受注者から希望があり発注者と協議が整った場合は「いしかわ土日おやすみモデル工事(施工者希望型)」と、同様の取り扱いができる。

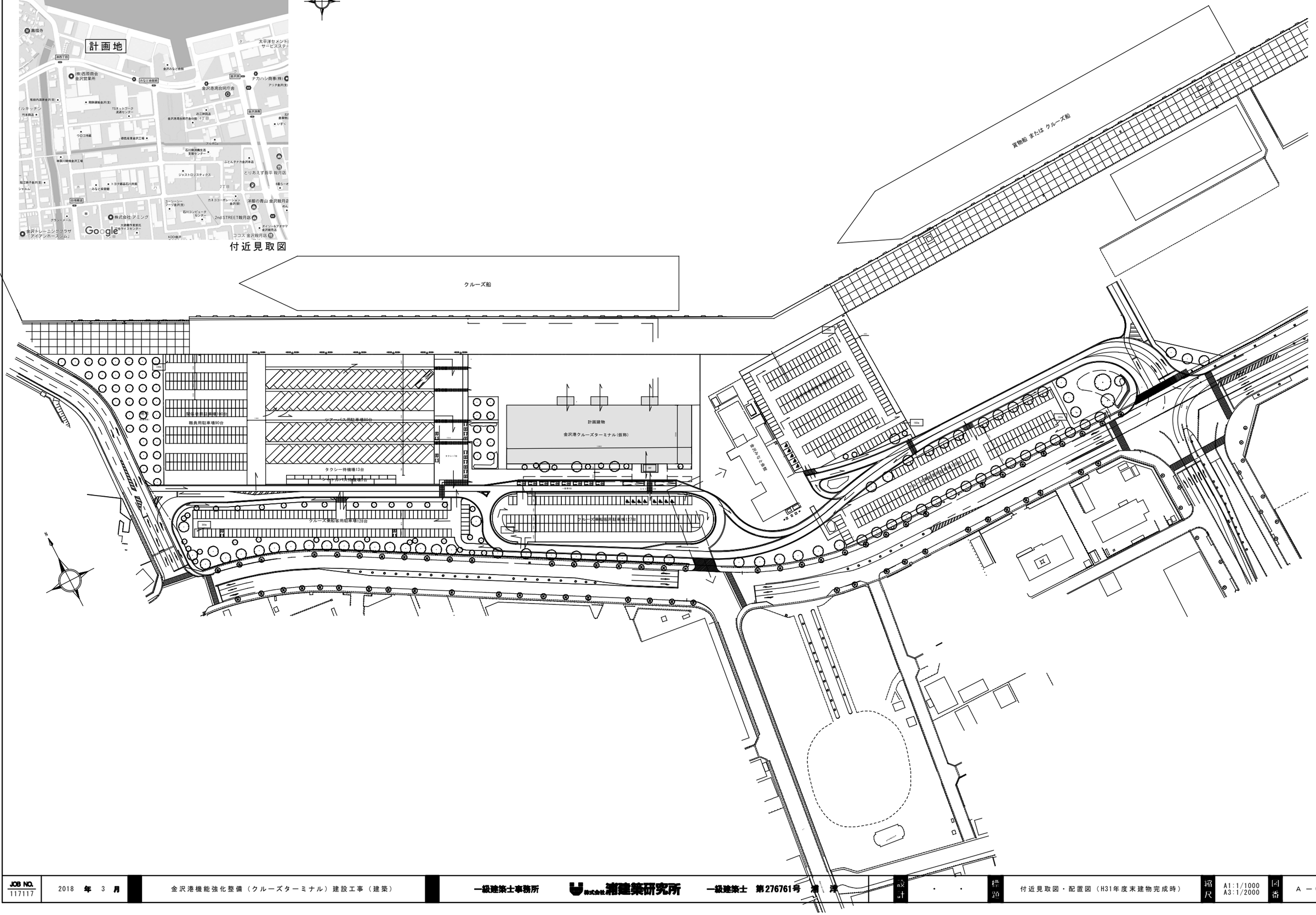
設計　石川県土木部営繕課
担当課長　課参事　課長補佐　主幹　GL・SL　担当

工事名

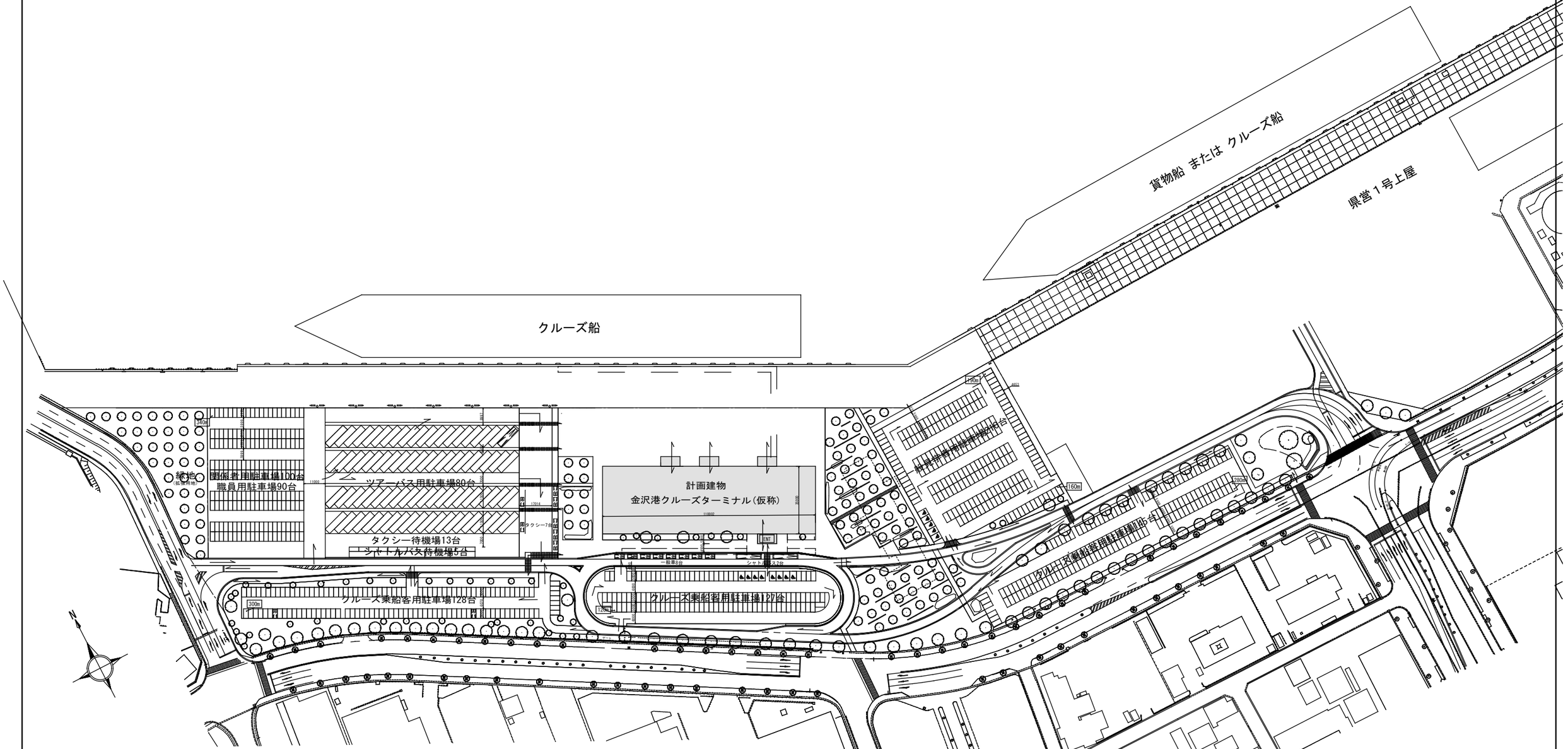
図面名　建築工事仕様書　その7

図面番号

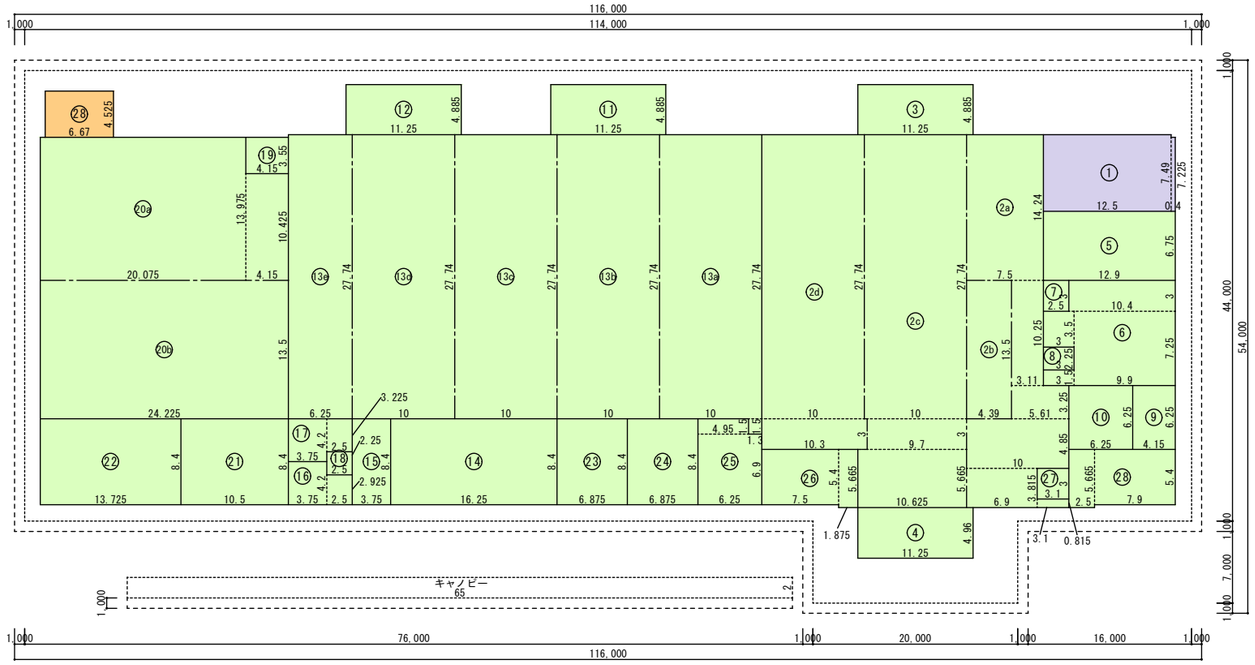
付近見取図

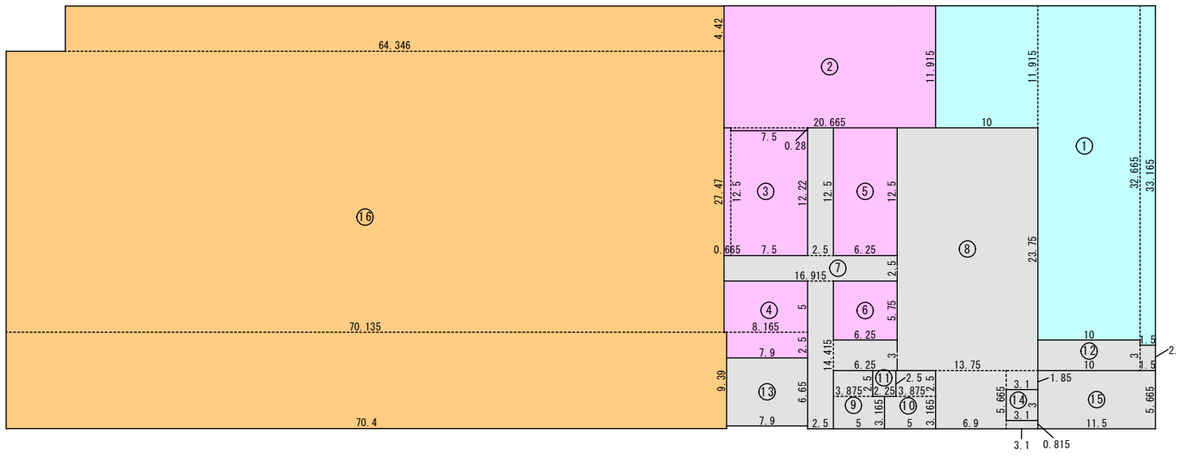


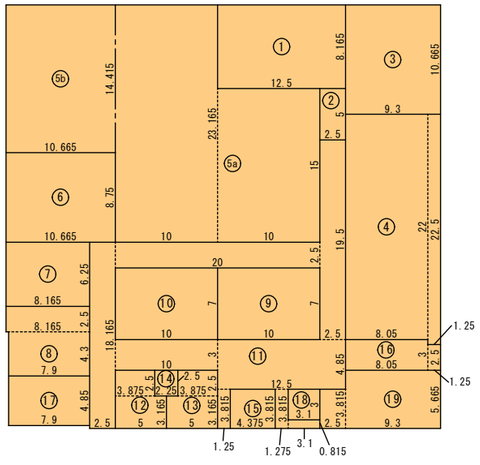
JOB NO.											
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 瀧 洋	設計	・ ・	標題	付近見取図・配置図（H31年度末建物完成時）	縮尺	A1:1/1000 A3:1/2000	図番	A ― 09



JOB NO.								
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 瀧 洋	改訂 ・ ・	配置図（最終）	縮尺 A1:1/1000 A3:1/2000	図番 A－10







1階床面積

番号	室名	計算式	面積
1	売店	12.500 × 7.490 = 93.6250 0.400 × 7.225 = 2.8900	96.5150
2	待合スペース		
2a	待合スペースa	7.500 × 14.240 = 106.8000 3.110 × 10.250 = 31.8775 5.610 × 3.250 = 18.2325 10.000 × 4.850 = 48.5000 6.900 × 3.815 = 26.3235 3.100 × 0.815 = 2.5265 小計 234.2600	
2b	待合スペースb	4.390 × 13.500 = 59.2650	
2c	待合スペースc	10.000 × 27.740 = 277.4000 9.700 × 3.000 = 29.1000 10.625 × 5.665 = 60.1906 小計 366.6906	
2d	待合スペースd	10.000 × 27.740 = 277.4000 10.300 × 3.000 = 30.9000 小計 308.3000	968.5156
3	風除室２	11.250 × 4.885 = 54.9562	54.9562
4	風除室１	11.250 × 4.960 = 55.8000	55.8000
5	事務室	12.900 × 6.750 = 87.0750	87.0750
6	ＷＣ１	3.000 × 1.500 = 4.5000 9.900 × 7.250 = 71.7750 3.000 × 3.500 = 10.5000 10.400 × 3.000 = 31.2000	117.9750
7	ＢＷＣ１	2.500 × 3.000 = 7.5000	7.5000
8	授乳室	3.000 × 2.250 = 6.7500	6.7500
9	風除室６	4.150 × 6.250 = 25.9375	25.9375
10	前室	6.250 × 6.250 = 39.0625	39.0625
11	風除室３	11.250 × 4.885 = 54.9562	54.9562
12	風除室４	11.250 × 4.885 = 54.9562	54.9562
13	ＣＩＱエリア		
13a	ＣＩＱエリアa	10.000 × 27.740 = 277.4000 1.300 × 1.500 = 1.9500 小計 279.3500	
13b	ＣＩＱエリアb	10.000 × 27.740 = 277.4000	
13c	ＣＩＱエリアc	10.000 × 27.740 = 277.4000	
13d	ＣＩＱエリアd	10.000 × 27.740 = 277.4000	
13e	ＣＩＱエリアe	6.250 × 27.740 = 173.3750	1,284.9250
14	ＣＩＱ事務室	16.250 × 8.400 = 136.5000	136.5000
15	風除室５	3.750 × 8.400 = 31.5000	31.5000
16	ＭＷＣ２	3.750 × 4.200 = 15.7500 2.500 × 2.925 = 7.3125	23.0625
17	ＷＷＣ２	3.750 × 4.200 = 15.7500 2.500 × 3.225 = 8.0625	23.8125
18	ＢＷＣ２	2.500 × 2.250 = 5.6250	5.6250
19	ＷＣ（検疫）	4.150 × 3.550 = 14.7325	14.7325
20	倉庫１		
20a	倉庫１a	20.075 × 13.975 = 280.5481 4.150 × 10.425 = 43.2637 小計 323.8118	
20b	倉庫１b	24.225 × 13.500 = 327.0375	650.8493
21	機械室	10.500 × 8.400 = 88.2000	88.2000
22	電気室	13.725 × 8.400 = 115.2900	115.2900
23	倉庫２	6.875 × 8.400 = 57.7500	57.7500
24	倉庫３	6.875 × 8.400 = 57.7500	57.7500
25	倉庫４	6.250 × 6.900 = 43.1250 4.950 × 1.500 = 7.4250	50.5500
26	階段室１	7.500 × 5.400 = 40.5000 1.875 × 5.665 = 10.6218	51.1218
27	ＥＶ	3.100 × 3.000 = 9.3000	9.3000
28	階段室２	2.500 × 5.665 = 14.1625 7.900 × 5.400 = 42.6600	56.8225
28	屋外階段	6.670 × 4.525 = 30.1817	30.1817
		1階床面積（㎡）	4,257.9720

面積表

建築面積		114.000 × 44.000 = 5,016.0000 20.000 × 8.000 = 160.0000		5,176.0000
			建築面積（㎡）	5,176.00
延床面積表	階　数	床面積（容積対象外）	床面積（容積対象）	合　計
	１階	9.300（ＥＶ）	4,248.672	4,257.972
	２階	9.300（ＥＶ）	4,600.864	4,610.164
	３階	9.300（ＥＶ）	1,741.189	1,750.489
	合　計	27.900	10,590.724	10,618.624
			延床面積（㎡）	10,618.62

敷地面積		
建蔽率	／ ＝	
容積率	／ ＝	

建築基準法上用途別面積表	面積（㎡）
１階：事務所(関散期:展示場、ｽﾎﾟｰﾂ練習場)	4,131.2753
１階：マーケットその他の物品販売業を営む店舗	96.5150
１階：事務所	30.1817
２階：事務所	2,872.0737
２階：飲食店	522.9234
２階：展示場	495.5475
２階：上記の共有部分	719.6200
３階：事務所	1,750.4897

２階床面積

番号	室名	計算式	面積
1	セミナールーム	10.000 × 11.915 = 119.1500 10.000 × 32.665 = 326.6500 1.500 × 33.165 = 49.7475	495.5475
2	レストラン	20.665 × 11.915 = 246.2234 7.500 × 0.280 = 2.1000	248.3234
3	会議室１	0.665 × 12.500 = 8.3125 7.500 × 12.220 = 91.6500	99.9625
4	会議室２	8.165 × 5.000 = 40.8250 7.900 × 2.500 = 19.7500	60.5750
5	厨房	6.250 × 12.500 = 78.1250	78.1250
6	倉庫	6.250 × 5.750 = 35.9375	35.9375
7	廊下	2.500 × 12.500 = 31.2500 16.915 × 2.500 = 42.2875 2.500 × 14.415 = 36.0375 6.250 × 3.000 = 18.7500	128.3250
8	ホール	13.750 × 23.750 = 326.5625 6.900 × 5.665 = 39.0885 3.100 × 0.815 = 2.5265 3.100 × 1.850 = 5.7350	373.9125
9	ＷＷＣ	5.000 × 3.165 = 15.8250 3.875 × 2.500 = 9.6875	25.5125
10	ＭＷＣ	5.000 × 3.165 = 15.8250 3.875 × 2.500 = 9.6875	25.5125
11	ＢＷＣ	2.250 × 2.500 = 5.6250	5.6250
12	空調機械室	10.000 × 3.000 = 30.0000 1.500 × 2.500 = 3.7500	33.7500
13	階段室１	7.900 × 6.650 = 52.5350	52.5350
14	ＥＶ	3.100 × 3.000 = 9.3000	9.3000
15	階段室２	11.500 × 5.665 = 65.1475	65.1475
16	送迎デッキ	64.346 × 4.420 = 284.4093 70.135 × 27.470 = 1,926.6034 70.400 × 9.390 = 661.0560	2,872.0737
		2階床面積（㎡）	4,610.1646

３階床面積

番号	室名	計算式	面積
1	事務室Ｃ	12.500 × 8.165 = 102.0625	102.0625
2	前室	2.500 × 5.000 = 12.5000	12.5000
3	応接室	9.300 × 10.665 = 99.1845	99.1845
4	事務室Ｂ	8.050 × 22.000 = 177.1000 1.250 × 22.500 = 28.1250	205.2250
5	事務室Ａ		
5a	事務室Ａa	10.000 × 15.000 = 150.0000 10.000 × 23.165 = 231.6500 小計 381.6500	
5b	事務室Ａb	10.665 × 14.415 = 153.7359	535.3859
6	事務室Ｄ	10.665 × 8.750 = 93.3187	93.3187
7	事務室Ｅ	8.165 × 6.250 = 51.0312	51.0312
8	事務室Ｆ	8.165 × 2.500 = 20.4125 7.900 × 4.300 = 33.9700	54.3825
9	会議室	10.000 × 7.000 = 70.0000	70.0000
10	倉庫	10.000 × 7.000 = 70.0000	70.0000
11	廊下	2.500 × 19.500 = 48.7500 20.000 × 2.500 = 50.0000 2.500 × 18.165 = 45.4125 10.000 × 3.000 = 30.0000 12.500 × 4.850 = 60.6250 1.250 × 3.815 = 4.7687 1.275 × 3.815 = 4.8641 3.100 × 0.815 = 2.5265	246.9468
12	ＷＷＣ	3.875 × 2.500 = 9.6875 5.000 × 3.165 = 15.8250	25.5125
13	ＭＷＣ	3.875 × 2.500 = 9.6875 5.000 × 3.165 = 15.8250	25.5125
14	ＢＷＣ	2.250 × 2.500 = 5.6250	5.6250
15	給湯	4.375 × 3.815 = 16.6906	16.6906
16	空調機械室	8.050 × 3.000 = 24.1500 1.250 × 2.500 = 3.1250	27.2750
17	階段室１	7.900 × 4.850 = 38.3150	38.3150
18	ＥＶ	3.100 × 3.000 = 9.3000	9.3000
19	階段室２	2.500 × 3.815 = 9.5375 9.300 × 5.665 = 52.6845	62.2220
		3階床面積（㎡）	1,750.4897

キャノピー面積表

	計算式	面積
キャノピー床面積	65.000 × 2.000 = 130.0000	130.0000
キャノピー建築面積	65.000 × 2.000 = 130.0000	130.0000

外部仕上表

屋　根	屋根：ｽﾃﾝﾚｽｼｰﾑ溶接工法（三晃金属R-T工法同等品）@448　ﾌｪﾗｲﾄ系ｽﾃﾝﾚｽ鋼板t=0.4 緩衝材：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=4　断熱材：硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板t=25 防湿材：ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt=1.0　下地材：硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t=25 耐火番号：FP030RF-1422 CD未登載	庇	笠木：ｱﾙﾐ笠木 ｱﾙﾐ折曲加工（焼付塗装）　軒裏下地：耐風圧天井(桐井製作所同等品) 上部見付：t=2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ（焼付塗装）裏面ｸﾞﾗｲﾄ吹付t6 上部軒裏：ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ（焼付塗装） 下部見付：ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(ﾘﾌﾞﾀｲﾌﾟ)焼付塗装 下部軒裏：ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ,t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ（焼付塗装）　幕板：t2ｱﾙﾐ折曲加工（焼付塗装） 庇下犬走り：600角磁器質ﾀｲﾙ
軒先化粧金物	t=2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ（焼付塗装）裏面ｸﾞﾗｲﾄ吹付t6		
軒裏（屋根部）	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ（木目調） 下地：準構造耐震天井(KIRIIｱﾝｸﾞﾙﾗﾝﾌﾟ同等品）	送迎デッキ	床：再生木ﾃﾞｯｷt=30 鋼製床組下地(高耐侯・高耐水樹脂製束ﾌﾞﾚｰﾄ) t1.5塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 t25ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え ABC商会：ｱｰｽﾃﾞｯｷEX 同等品　ｼｰﾄ防水上下地ﾌﾟﾚｰﾄ共 柱：外部用耐火塗料（防水仕様）＋ﾌｯ素樹脂塗装 軒裏：ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(木目調)　ｱﾙﾐ廻り縁 梁下：ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(木目調)　梁側面：ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(ﾘﾌﾞﾀｲﾌﾟ)　幕板：t2ｱﾙﾐ折曲加工（焼付塗装） 手摺：FB溶融亜鉛ﾒｯｷ＋耐候性塗装 （笠木：St.φ101.6×t3.2　支柱：St.FB-12×60～120@1200　ｶﾞﾗｽ受：St.FB-9×38　腰：t12強化ｶﾞﾗｽ）
外　壁	t30現場発泡ｳﾚﾀﾝ吹付　t=60押出成形ｾﾒﾝﾄ板ﾖｺ張り ﾌｯ素樹脂塗装（工場塗装品）　取合見切:ｱﾙﾐ市場品 一部ﾌﾟﾚﾐｱﾑﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ貼（ｱｲｶﾃｯｸ建材：ﾒｰｽ なぎさ同等品）＋DP（青色ﾗﾝﾀﾞﾑﾎﾟﾀﾞｰ 現場塗装）		
柱	外部用耐火塗料（防水仕様）＋ﾌｯ素樹脂塗装		
幅　木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼ　ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱｰ	樋	φ100、200ｶﾗｰVP（SUS掴み金物@1200以内）露出部分：ｱﾙﾐ焼付塗装(ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ) 100角ｱﾙﾐ製縦樋 焼付塗装（ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ）

■下地　C：ｺﾝｸﾘｰﾄ　CB：ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ　SL：ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地　LGS：軽量鉄骨　W：木下地　WF：木組床下地　NF：ﾈｶﾞﾌｫｰﾑ

■仕上　VS：長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ　VT：ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ　CF：ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱｰ　CP：ｶｰﾍﾟｯﾄ　CPT：ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ　F：ﾌｪﾙﾄ　GT：磁器質ﾀｲﾙ　TB：ﾃﾗｿﾞｰｽﾞﾛｯｸ　VF：ﾋﾞﾆｰﾙ巾木　HF：硬質樹脂巾木　RF：ﾚｼﾞﾃﾗｿﾞｰ巾木　WF：木製巾木　M：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ　US：ｿﾌﾄﾚｲｼｰﾄ　TT：陶器質ﾀｲﾙ　GB-R：石膏ﾎﾞｰﾄﾞ　GB-F：強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ　GB-S：ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ　GB-NC：不燃積層石膏ﾎﾞｰﾄﾞ　GB-RH：硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ　GBC：ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み張りｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ鋲止　DR：ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板　KB：無石綿硅酸ｶﾙｼｳﾑ板　C：ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ　GB-D：化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ　GB-D(杉)：柾化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ　UR：現場発泡ｳﾚﾀﾝ吹付　FM：不燃ﾒﾗﾐﾝ化粧板　GB-P：吸音用穴あき石膏ﾎﾞｰﾄﾞ　GB-PD：化粧せっこう吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(ニューライカﾎﾞｰﾄﾝ同等品)

■塗料　SOP：合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ　EP-G：つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ　EP：合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ　EP-T：合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝ模様塗料　UC：ｳﾚﾀﾝ樹脂ｳﾆｽ　OS：ｵｲﾙｽﾃｲﾝ　OSCL：ｵｲﾙｽﾃｲﾝｸﾘｱﾗｯｶｰ　CL：ｸﾘｱﾗｯｶｰ　CCL：着色ｸﾘｱﾗｯｶｰ　DP：耐候性塗料　WP：木材保護塗料　NAD：ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料　AC：ｱｸﾘﾙ樹脂ｳﾆｽ　FU：ﾌｯｿ樹脂塗料　FP：ﾌｪﾉﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ　AE：ｱｸﾘﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ　PUC：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｸﾘｱｰ　VEP：塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ　TP：内部用吹付ﾀｲﾙ　■回縁　■額縁　■ｶｰﾃﾝBOX　■ｶｰﾃﾝ・ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ　E：塩ﾋﾞ製　A：ｱﾙﾐ製　W：木製　S：鋼製　VB：ﾀﾃ型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ　BB：ﾖｺ型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ　L：ﾚｰｽｶｰﾃﾝ　D：ﾄﾞﾚｰﾌﾟｶｰﾃﾝ　R：ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ

内部仕上表

※居室及び避難路の内装を準不燃材料とする。その他は各仕上部に記載あるものを優先する。※火気使用室は無し。ガス使用は給湯のみ　※「※不燃」とは、下地、仕上げとも不燃材料とする

階	室名	床	FLﾚﾍﾞﾙ	巾木	H	壁	下地	天井	廻縁	H	室名札	ｶｰﾃﾝ	ｶｰﾃﾝBOX	備考	室名
1F	風除室1～4	M＋600角GT　ｸﾘﾔﾏ:ｽﾃｨﾙｻﾝﾄﾞ同等品	±0			柱：外部用耐火塗料（防水仕様）＋ﾌｯ素樹脂塗装	LGS	t9.5GB-R＋t12.0DR(ｽﾄﾗｲﾌﾟ)	A	5,200 ～5,240					風除室1～4
	風除室5～6,前室	M＋600角GT　ｸﾘﾔﾏ:ｽﾃｨﾙｻﾝﾄﾞ同等品	±0	SUS	60	GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼　前室一部:C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼　※前室不燃	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	3,200					風除室5～6,前室
	待合スペース 観光案内	M＋t3.0VT	±0	V F ﾊﾟﾈﾙ部:W+EP-G	60 100	柱:GB-R(12.5)＋C　一部:ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙA+EP-G GB-R(12.5+9.5)＋C、GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR　照明部:t9.5GB-R＋EP-G	E	4,200		手動 R (遮光性)	○	工芸棚、工芸ﾊﾟﾈﾙ	待合スペース 観光案内
	ＣＩＱエリア	M＋t3.0VT	±0	V F ﾊﾟﾈﾙ部:W+EP-G	60 100	丸柱：耐火ｼｰﾄ＋ｱｸﾘﾙ樹脂塗装、柱:GB-R(12.5)＋C　一部:ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙB+EP-G GB-R(12.5+9.5)＋C、GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C	LGS	ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭ天井（天井懐内SOP）梁:内部用耐火塗料＋ｱｸﾘﾙ樹脂塗装 下り壁:t12.5PB-P＋EP-G　t50ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填	E	ﾒｯｼｭ下5,200 梁下4,470		手動 R (遮光性)	○	防球ﾈｯﾄ(手動・ｸﾞﾚｰ)	ＣＩＱエリア
	ＣＩＱ事務室	M＋t2.0VS	±0	V F	60	柱・外壁側:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C	LGS	t9.5GB-D	E	3,200	○				ＣＩＱ事務室
	売店	M＋t3.0VT	±0	V F	60	柱・外壁側:GB-R(12.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	4,200	○	手動 R (遮光性)			売店
	事務室	M＋t6.5CPT	±0	V F	60	柱・外壁側:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C、GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	3,200	○	B	○	受付ｶｳﾝﾀｰ	事務室
	MWC・WWC・BWC1,2 WC(検疫)	M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ　東リ:消臭NSﾄｳﾚNW同等品	±0	SUS	60	柱・外壁側:GB-S(12.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼 GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	3,200 BWC,検疫:2,600	○			ﾗｲﾆﾝｸﾞ、手摺、ﾍﾞﾋﾞｰｼｰﾄ、鏡 汚垂石 TOTO:ﾊｲﾄﾞﾛｾﾗ・ﾌﾛｱPU(厚型)同等品	MWC・WWC・BWC1,2 WC(検疫)
	授乳室	M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ　東リ:消臭NSﾄｳﾚNW同等品	±0	SUS	60	GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	2,600	○			流し台	授乳室
	倉庫1	M＋塗り床	±0	M＋塗り床	300	柱:t20巻付耐火被覆材(H1,850)、上部t25ﾛｯｸｳｰﾙ吹付のまま 外壁側:素地のまま　GB-R(12.5+9.5)＋EP-G	LGS	天井表ｼ＋SOP			○				倉庫1
	倉庫2～4	M＋t2.0VS	±0	V F	60	柱・外壁側:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C、GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C	LGS	t9.5GB-D	E	3,200	○				倉庫2～4
	機械室,電気室	M＋塗り床	±0	M＋塗り床	300	柱・外壁側:GB-R(12.5)＋t50GBC GB-R(12.5+9.5)＋t50GBC	LGS	t9.5GB-R＋t50GBC		5,200	○				機械室,電気室
2F	セミナールーム	t7.8CPT　東リ:GA100Tｼﾘｰｽﾞ同等品 OAﾌﾛｱｰ(H350)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え　防塵塗料	±0	V F	60	丸柱：耐火ｼｰﾄ＋ｱｸﾘﾙ樹脂塗装、柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C、GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR　照明部:t9.5GB-R＋EP-G ｱﾙﾐﾙｰﾊﾞｰ:ﾊﾟﾗﾗｲﾝNL-08@75株式会社ｸﾏﾓﾄ同等品　窓側折上部:t9.5GB-P＋EP-G	E	3,000	○	手動遮光ｶｰﾃﾝR	○		セミナールーム
	レストラン	t7.8CPT　東リ:GA100Tｼﾘｰｽﾞ同等品 OAﾌﾛｱｰ(H350)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え　防塵塗料	±0	V F	60	丸柱：耐火ｼｰﾄ＋ｱｸﾘﾙ樹脂塗装、柱・外壁側:GB-R(12.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR　照明部:t9.5GB-R＋EP-G ｱﾙﾐﾙｰﾊﾞｰ:ﾊﾟﾗﾗｲﾝNL-08@75株式会社ｸﾏﾓﾄ同等品　窓側折上部:t9.5GB-P＋EP-G	E	3,000	○	手動遮光ｶｰﾃﾝR	○		レストラン
	会議室1,2	t7.8CPT　東リ:GA100Tｼﾘｰｽﾞ同等品 OAﾌﾛｱｰ(H350)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え　防塵塗料	±0	V F	60	丸柱：耐火ｼｰﾄ＋ｱｸﾘﾙ樹脂塗装、柱・外壁側:GB-R(12.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C　※不燃	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	3,000	○	手動遮光ｶｰﾃﾝ	○		会議室1,2
	厨房	t2.0VS防滑ﾀｲﾌﾟ(厨房用) 二重床(H350)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え　塗膜防水	±0	V F 巻上げ	200	柱:GB-R(12.5)＋t6化粧ｹｲｶﾙ板 GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋t6化粧ｹｲｶﾙ板　※不燃	LGS	t6.0KB目透ｼ＋EP-G	E	3,000	○				厨房
	倉庫	t2.0VS 二重床(H350)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え　防塵塗料	±0	V F	60	柱:GB-R(12.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C　※不燃	LGS	t9.5GB-D	E	3,000	○				倉庫
	ホール 廊下	t7.8CPT　東リ:GA100Tｼﾘｰｽﾞ同等品 OAﾌﾛｱｰ(H350)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え　防塵塗料	±0	V F	60	柱:GB-R(12.5)＋C　EV廻り:ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙA+EP-G GB-R(12.5+9.5)＋C、GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	3,000					ホール 廊下
3F	事務室A	t6.5CPT OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え　防塵塗料	±0	V F	60	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	3,000	○	ﾀﾃB	○		事務室A
	事務室B	t6.5CPT OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え　防塵塗料	±0	V F	60	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	3,000	○	ﾀﾃB	○		事務室B
	事務室C	t6.5CPT OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え　防塵塗料	±0	V F	60	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	3,000	○	ﾀﾃB	○		事務室C
	事務室D,E,F	t6.5CPT OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え　防塵塗料	±0	V F	60	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C、GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C　※不燃	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	3,000	○	ﾀﾃB	○		事務室D,E,F
	会議室	t6.5CPT OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え　防塵塗料	±0	V F	60	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C　t100ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填　※不燃	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	3,000	○				会議室
	倉庫	t4.0VT(500角)　東リ:LLFUR1-40NW-EX同等品 OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え　防塵塗料	±0	V F	60	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C　※不燃	LGS	t9.5GB-D	E	3,000	○				倉庫
	応接室,前室	t9.5CPT　東リ:GX-8100ｿｺｲﾀﾘｸﾞﾗﾝﾄﾞｴｱｰ同等品貼分け OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え　防塵塗料	±0	V F	60	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C　t100ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填　※前室不燃	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	3,000	○	ﾀﾃB	○		応接室,前室
	廊下	t4.0VT(500角)　東リ:LLFUR1-40NW-EX同等品 OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え　防塵塗料	±0	V F	60	柱:GB-R(12.5)＋C、GB-R(12.5+9.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C　EV廻り:ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙA+EP-G	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	3,000					廊下
	給湯室	M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ　東リ:消臭NSﾄｳﾚNW同等品		V F	60	GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	3,000	○			流し台	給湯室
2,3F共通	空調機械室	M＋塗り床	±0	M＋塗り床	300	GB-R(12.5+9.5)＋t50GBC GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋t50GBC	LGS	t9.5GB-R＋t50GBC	E	3,000	○				空調機械室
	MWC・WWC・BWC	M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ　東リ:消臭NSﾄｳﾚNW同等品	±0	SUS	60	柱・外壁側:GB-S(12.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼 GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR	E	3,000 BWC:2,600	○			ﾗｲﾆﾝｸﾞ、手摺、鏡 汚垂石 TOTO:ﾊｲﾄﾞﾛｾﾗ・ﾌﾛｱPU(厚型)同等品	MWC・WWC・BWC
共通	階段室	M＋t4.0ｺﾞﾑﾀｲﾙ(500角)		VS ｻｻﾗ+SOP		柱:GB-R(12.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C	LGS	t9.5GB-R＋t9.0DR						手摺	階段室

共通事項

（ボード類）
特記以外は全て不燃材料認定品とする
ロックウール吸音板：不燃材料認定品
化粧石膏ボード：　不燃材料認定品
無石綿硅酸カルシウム板：　不燃材料認定品

（不燃材）
GB-R（12.5）：不燃　NM-8619　CD登載
GB-R（9.5）：不燃　NM-0441　CD登載
GB-F（12.5）：不燃　NM-8615　CD登載
GB-RH（9.5）：不燃　NM-1908　CD登載
GB-S（12.5）：不燃　NM-9639　CD登載
GB-D：不燃　NM-1864　CD登載
KB：不燃　NM-8578　CD登載
GBC：不燃　NM-6606　CD登載
DR：不燃　NM-8599　CD登載
C　防火1級：不燃　NM-3992　CD未登載

（準不燃材）
GB-R（9.5）：準不燃　QM-9828　CD登載
GB-S（9.5）：準不燃　QM-9826　CD登載
GB-D：準不燃　QM-0524　CD登載
GB-P：準不燃　QM-9827　CD登載
GB-PD：準不燃　QM-9822　CD登載
C　防火2級：準不燃　QM-0823　CD未登載

（その他）
天井下地は特記なき限り軽鉄下地とし、内部19型、外部25型とする
壁軽鉄下地は特記なき限り標準仕様書に順ずる
※特記ﾅｼ限り内部仕上・塗装・建具・造付家具等ﾊF ☆☆☆☆以上ﾄｽﾙ
※特記ﾅｼ限り天井裏等の使用材料ﾊF ☆☆☆☆以上ﾄｽﾙ

（耐火間仕切）
GB-F（12.5）＋GB-RH(9.5)両面張り(LGS下地)
：1時間耐火　FP060NP－0199　CD登載

（耐火構造　主要構造部）
屋根 30分耐火：屋根仕上げ参照

柱 1時間耐火：t25ﾛｯｸｳｰﾙ吹付　FP060CN-9460　CD登載
：鉄骨用発泡性耐火被覆塗料　FP060CN-9472　CD未登載
：鉄骨用耐火ｼｰﾄ　FP060CN-0009　1149
：t20巻付耐火被覆材　FP060CN-0081　CD未登載

梁 1時間耐火：t25ﾛｯｸｳｰﾙ吹付　FP060BM-9408　CD登載
：鉄骨用発泡性耐火被覆塗料　FP060BM-9419　CD未登載

床 1時間耐火：ﾃﾞｯｷｽﾗﾌﾞ山上80(連続) FP060FL-9095　CD登載
：ﾃﾞｯｷｽﾗﾌﾞ山上80(単純) FP060FL-9101　CD登載

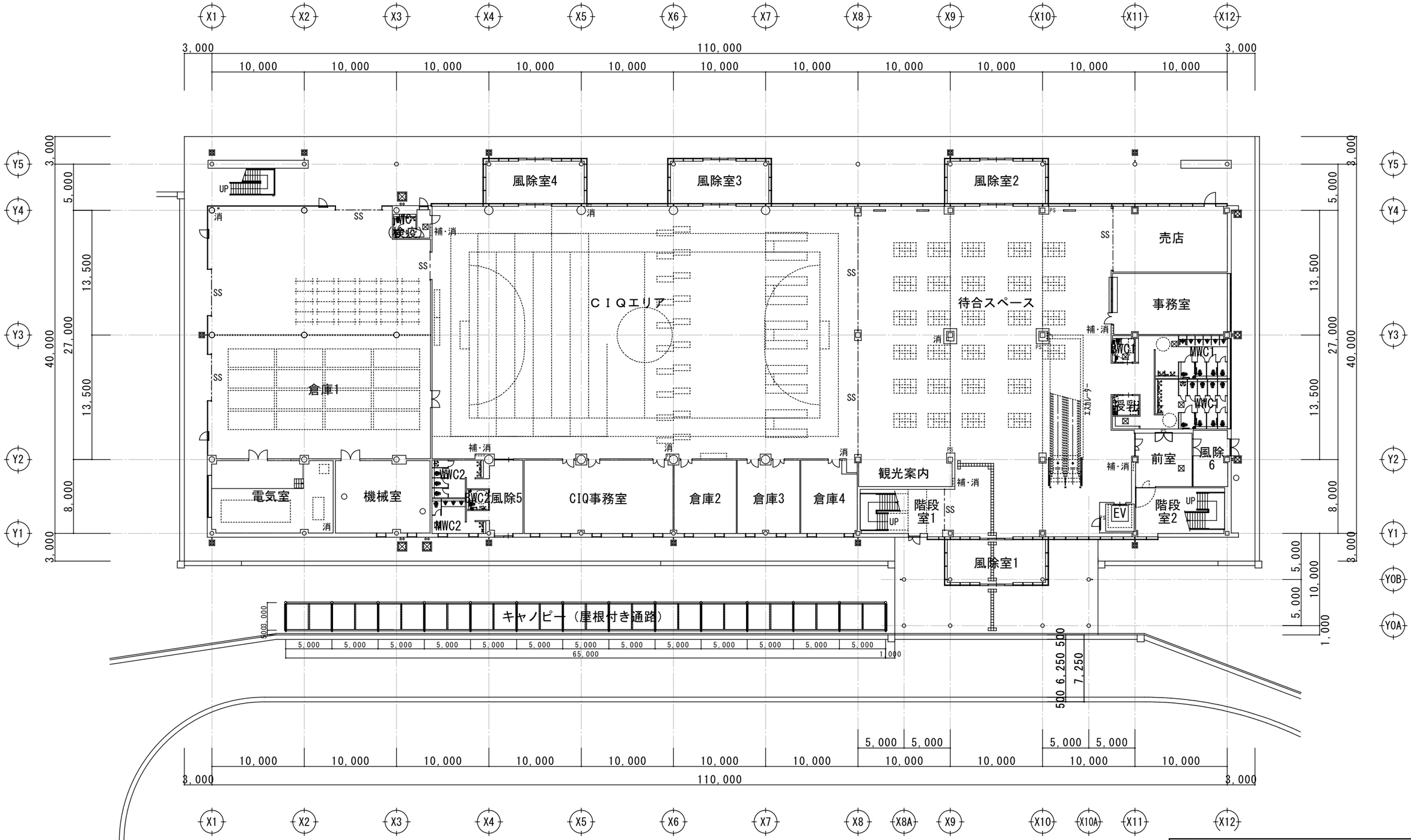
外壁(非耐力) 1時間耐火
：t60押出成形ｾﾒﾝﾄ板横張り　FP060NE-9038　CD登載

ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ耐火ﾎﾞｰﾄﾞ 1時間耐火：t35耐火ﾎﾞｰﾄﾞ　FP060NE-9176　CD登載

屋内階段：耐火構造（鉄骨造　告示1399号）
屋外階段：耐火構造（鉄骨造　告示1399号）

t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板：ｾﾗｰﾙ ｱｲｶ工業同等品　不燃 NM-2183 CD未登載
ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙA：角山ﾗﾝﾀﾞﾑ22+425 不燃材 ｻｶｲﾘﾌﾞ同等品　不燃 NM-8578　CD登載
ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙB：DM-Wﾄﾞﾙﾌｨﾝ6000　不燃材 ｻｶｲﾘﾌﾞ同等品　不燃 NM-8578　CD登載
不燃化粧ｼｰﾄ：ﾀﾞｲﾉｯｸﾌｨﾙﾑ 3M 同等品　不燃 NM-3477 CD未登載
ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭ天井：φ6 ｽﾁｰﾙ焼付塗装 100×100 ABC商会 ｼﾘｳｽ 同等品

JOB NO.																		
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計	・	・	検図	仕上表	縮尺	－	図番	A－12

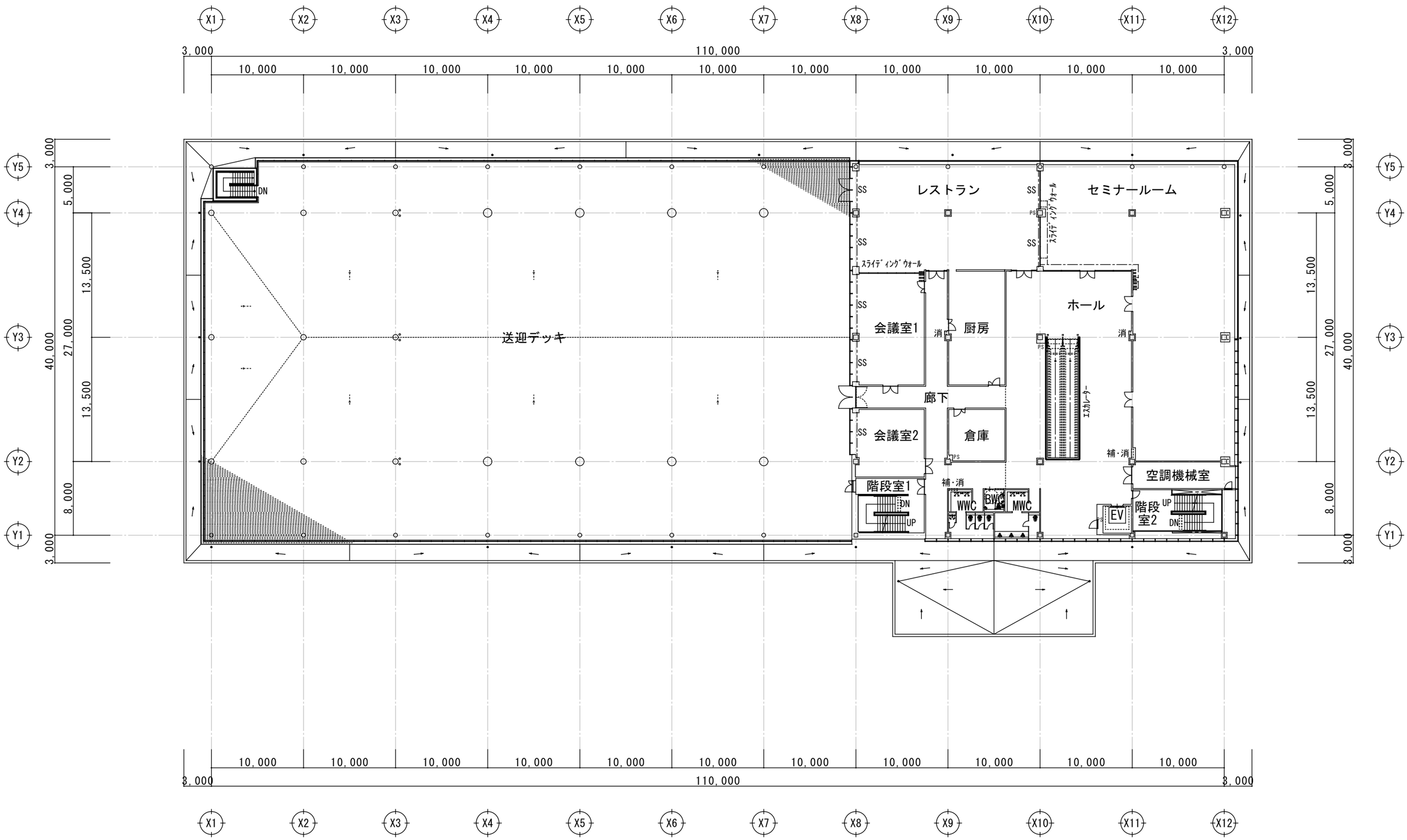


【伝統工芸品】

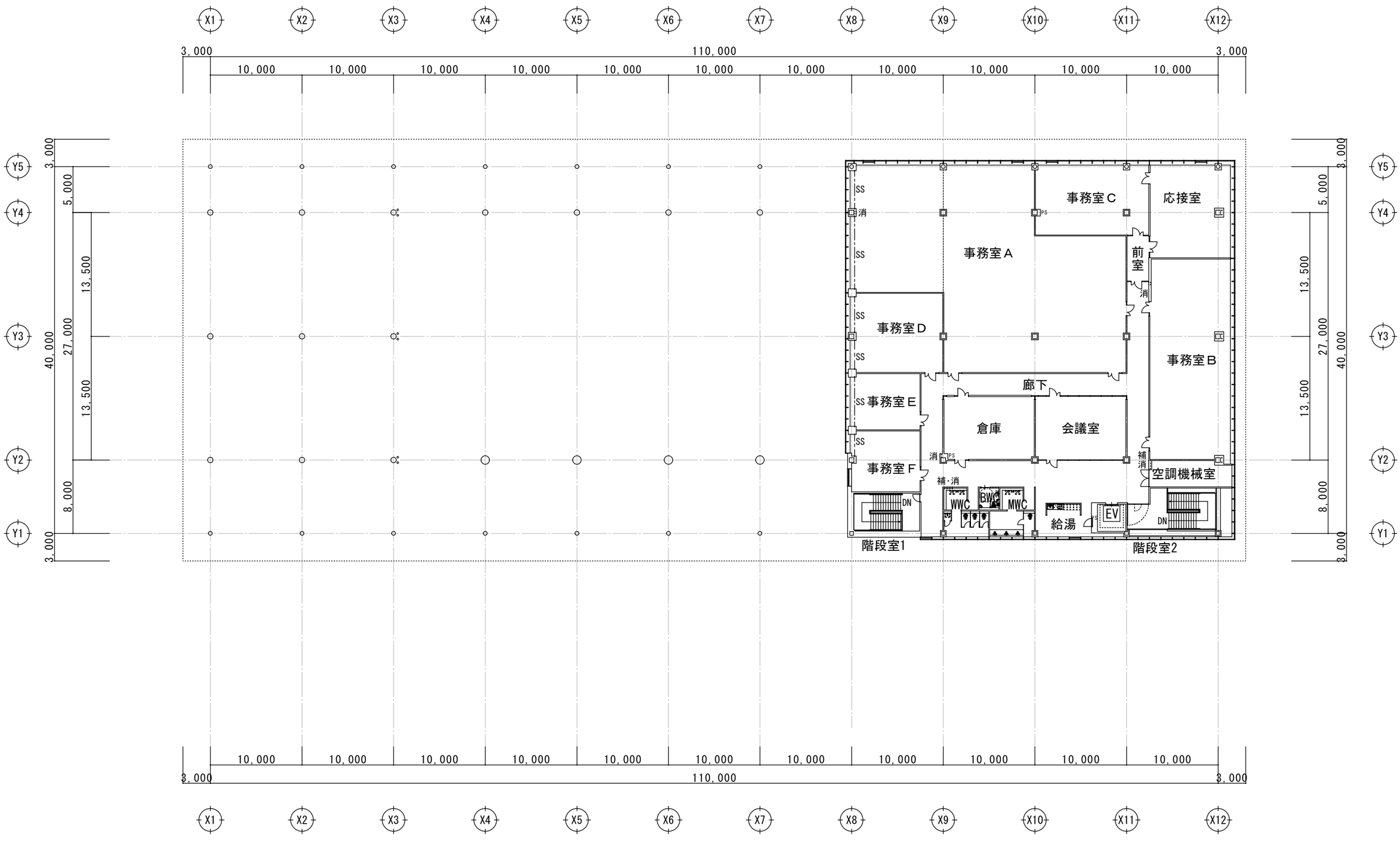
３０万円相当（税込み）×２００個を想定

※詳細は工事中に指示

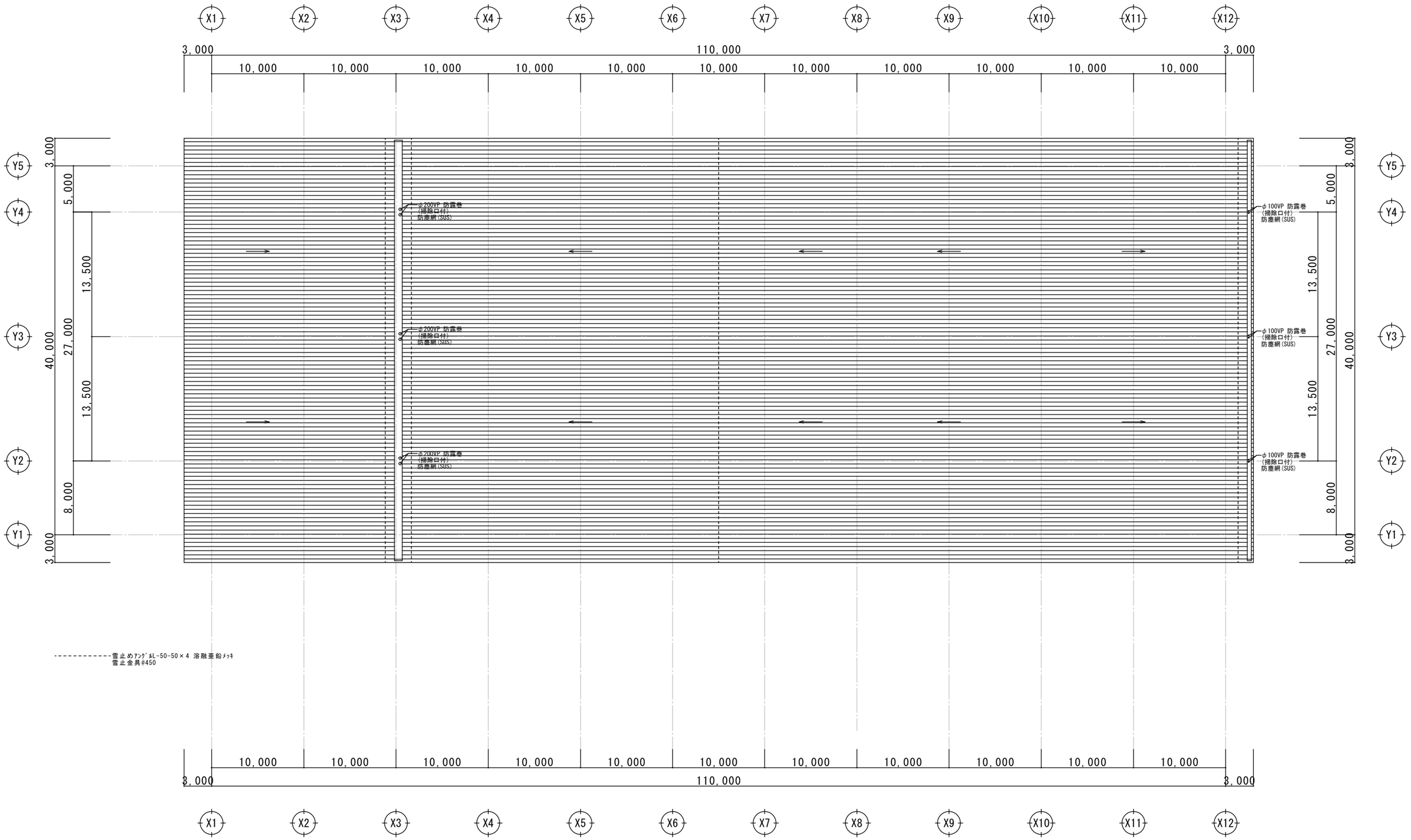
JOB NO.									
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 瀧 淳	設計 ・ ・	作図	1階平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図番 A－13



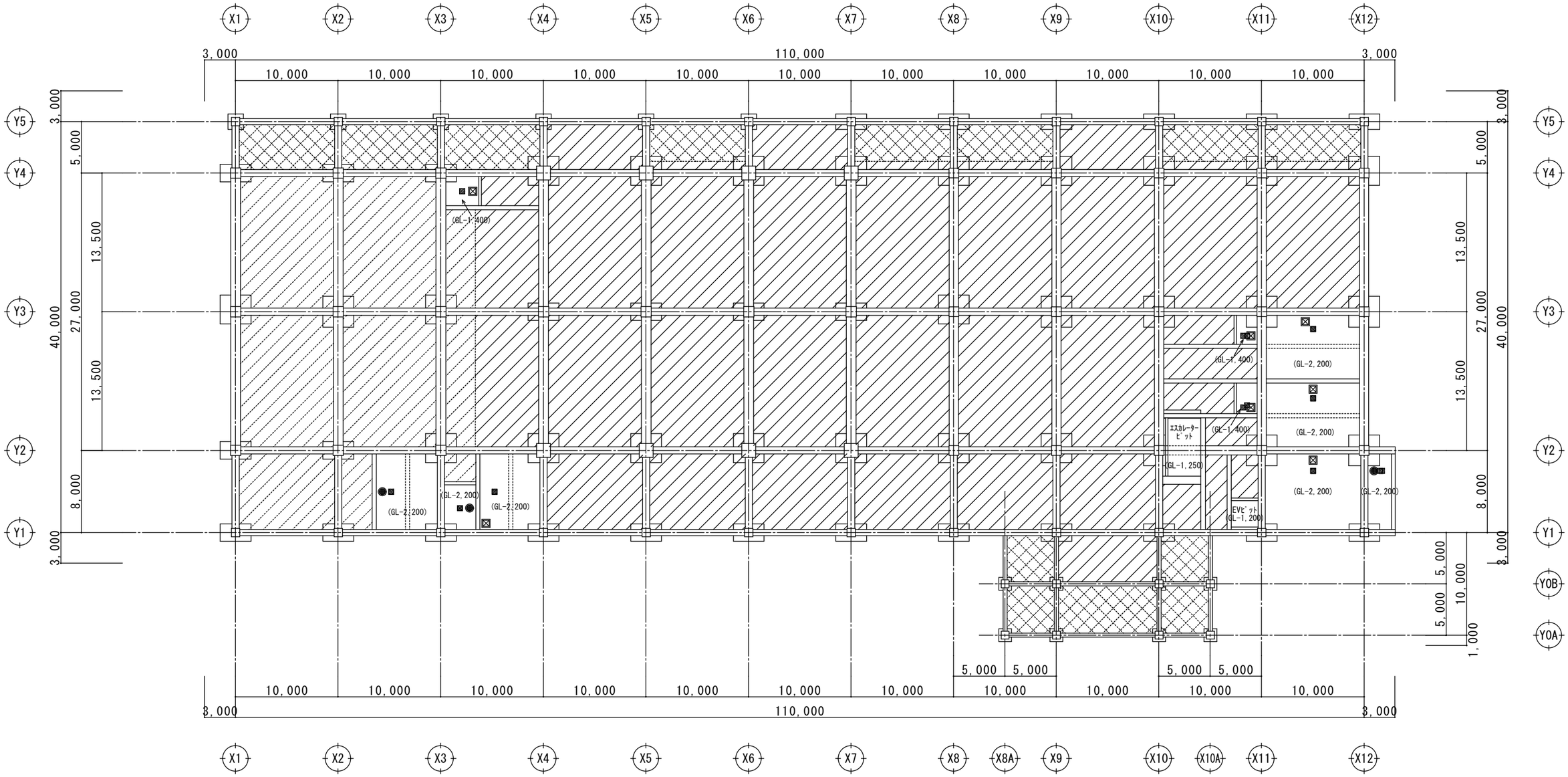
JOB NO.											
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 瀬建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計	・ ・	標題	2階平面図	縮尺	A1:1/200 A3:1/400	図番	A－14

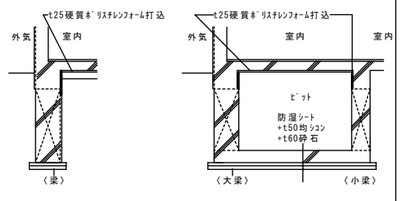


JOB NO.															
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社	瀦建築研究所	一級建築士 第276761号 瀦 淳	設計	・ ・	検図	3階平面図	縮尺	A1:1/200 A3:1/400	図番	A－15

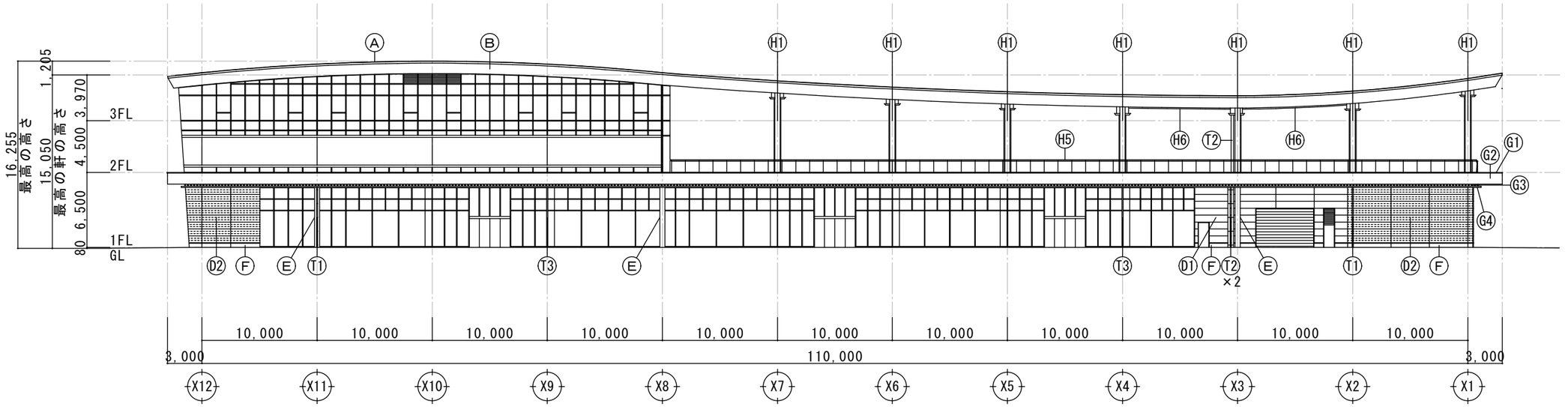


JOB NO.																							
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 浦建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計	・	・	標題	屋根平面図	縮尺	A1:1/200 A3:1/400	図番	A－16

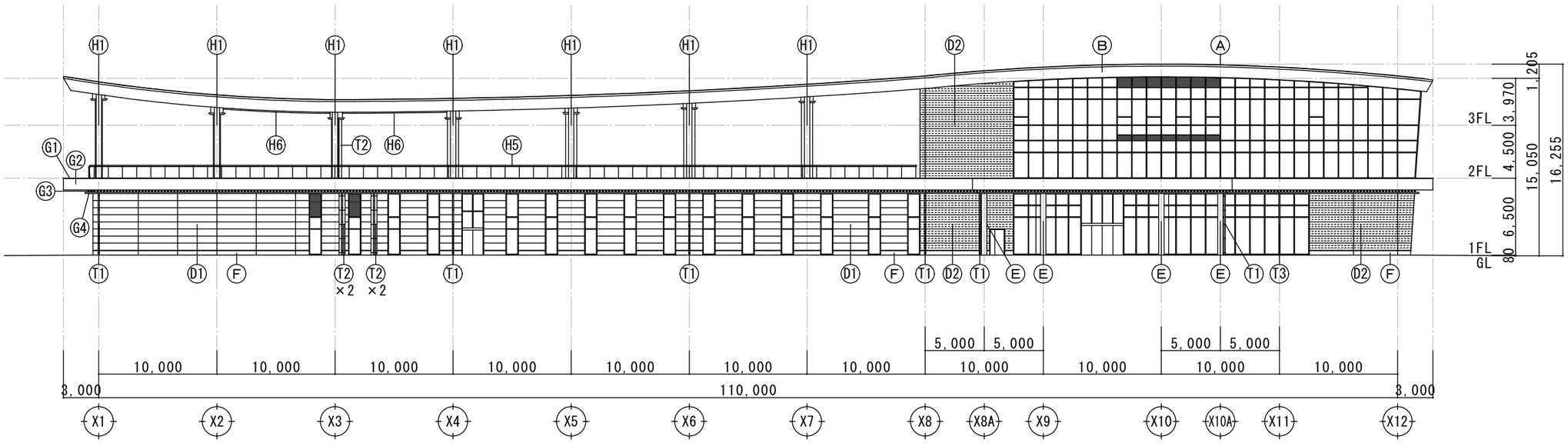


凡例	内 容		
(GL+00)	ﾋﾟｯﾄｽﾗﾌﾞﾚﾍﾞﾙ示ｽ	断熱	
	500×500×500 釜場		
	埋め戻し部分 t25発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ敷込み＋t0.15防湿ｼｰﾄ		
	埋め戻し部分 t0.15防湿ｼｰﾄ		
	埋め戻し部分 良質土		
	上部ー床下点検口 (600×600) ﾀﾗｯﾌﾟ SUS 4段		
	上部ーﾏﾝﾎｰﾙ蓋防臭型 (φ600) 外部:ﾀﾗｯﾌﾟ SUS 4段		
ﾋﾟｯﾄ 水槽	底板：無機質浸透性塗布防水 壁：無機質浸透性塗布防水 ｽﾗﾌﾞ裏：t25発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ打込み		
ｴｽｶﾚｰﾀｰ EVﾋﾟｯﾄ	底板・壁：防水ﾓﾙﾀﾙ		

JOB NO.												
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	検図	ピット伏図	縮尺	A1:1/200 A3:1/400	図番	A － 17



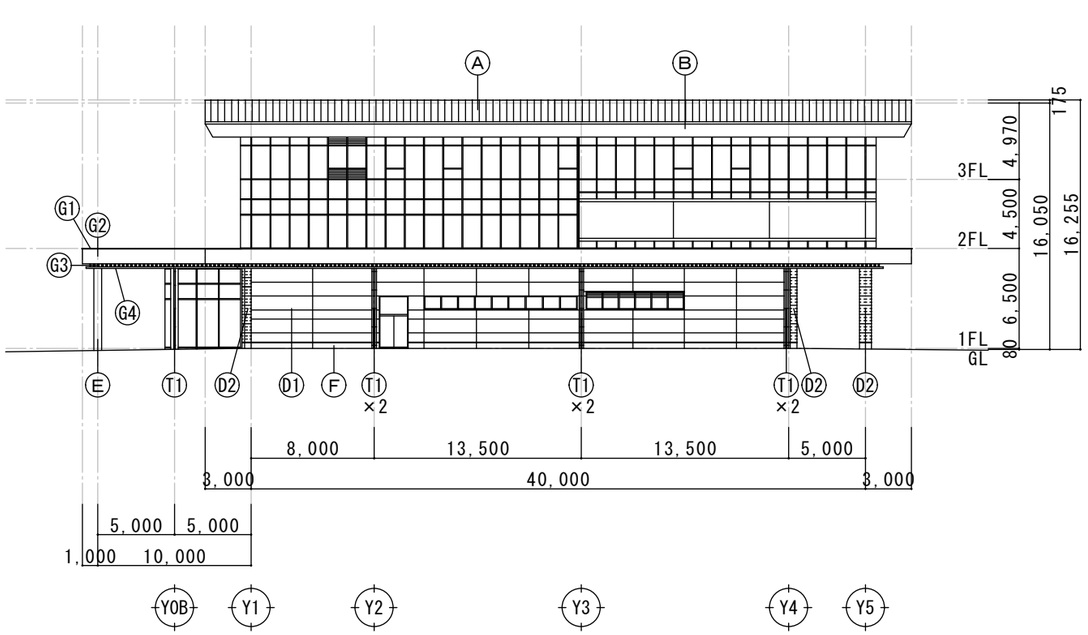
海側（北側）立面図



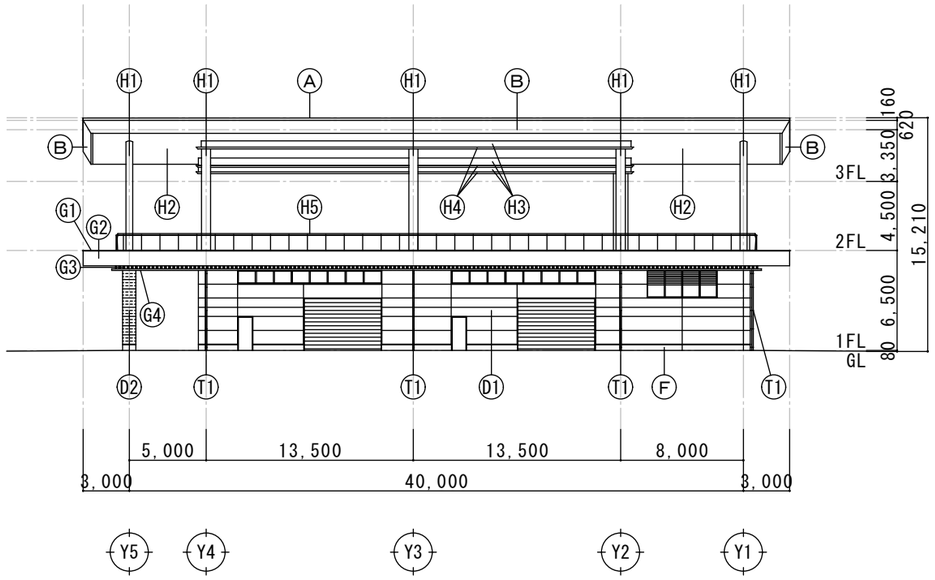
道路側（南側）立面図

Ⓐ	屋　根		屋根：ｽﾃﾝﾚｽｼｰﾑ溶接工法（三晃金属R-T工法同等品）@448　ﾌｪﾗｲﾄ系ｽﾃﾝﾚｽ鋼板t=0.4 緩衝材：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=4　断熱材：硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板t=25 防湿材：ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt=1.0　下地材：硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t=25 耐火番号：FP030RF-1422 CD未登載	Ⓖ	庇	G1	笠木：ｱﾙﾐ笠木 ｱﾙﾐ折曲加工（焼付塗装）
						G2	上部見付：t=2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ（焼付塗装）裏面ｸﾞﾗｲﾄ吹付t6
						G3	下部見付：ｱﾙﾐｽﾊﾝﾄﾞﾚﾙ(ﾘﾌﾞﾀｲﾌﾟ焼付塗装)
						G4	幕板：t2ｱﾙﾐ折曲加工（焼付塗装）
Ⓑ	軒先化粧金物		t=2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ（焼付塗装）裏面ｸﾞﾗｲﾄ吹付t6	Ⓗ	送迎デッキ	H1	柱：外部用耐火塗料（防水仕様）＋ﾌｯ素樹脂塗装
						H2	軒裏：ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(木目調)
Ⓒ	軒裏（屋根部）		ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ（木目調）			H3	梁側面：ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(ﾘﾌﾞﾀｲﾌﾟ)
						H4	幕板：t2ｱﾙﾐ折曲加工（焼付塗装）
Ⓓ	外　壁	D1	t30現場発泡ｳﾚﾀﾝ吹付　t=60押出成形ｾﾒﾝﾄ板ﾖｺ張り ﾌｯ素樹脂塗装（工場塗装品）			H5	手摺：FB溶融亜鉛ﾒｯｷ＋耐候性塗装 （笠木：St.φ101.6×t3.2　支柱：St.FB-12×60～120@1200　ｶﾞﾗｽ受：St.FB-9×38　腰：t12強化ｶﾞﾗｽ）
		D2	一部ﾌﾟﾚﾐｱﾑﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ貼（ｱｲｶﾃｯｸ建材：ﾒｰｽ なぎさ同等品）＋DP（青色ﾗﾝﾀﾞﾑﾎﾟｰﾀﾞｰ 現場塗装）			H6	ｱﾙﾐ見切型材（焼付塗装）H100 W50
Ⓔ	柱		外部用耐火塗料（防水仕様）＋ﾌｯ素樹脂塗装	Ⓣ	樋	T1	φ100ｶﾗｰｱﾙﾐ製縦樋 焼付塗装（ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ）
Ⓕ	幅　木		ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼ　ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱｰ 誘発目地 20×15			T2	φ200ｱﾙﾐ製縦樋 焼付塗装（ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ）
						T3	100角ｱﾙﾐ製縦樋 焼付塗装（ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ）

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 瀧　淳	設計	・　・	縮尺	A1:1/200 A3:1/400	図番	A－18
						検図		立面図（1）			



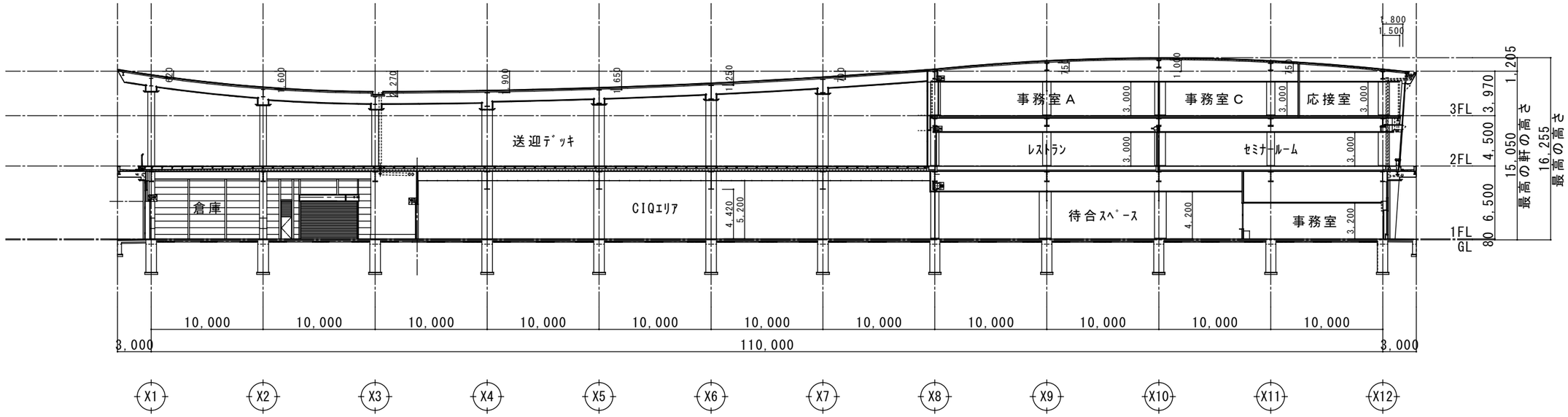
東側立面図

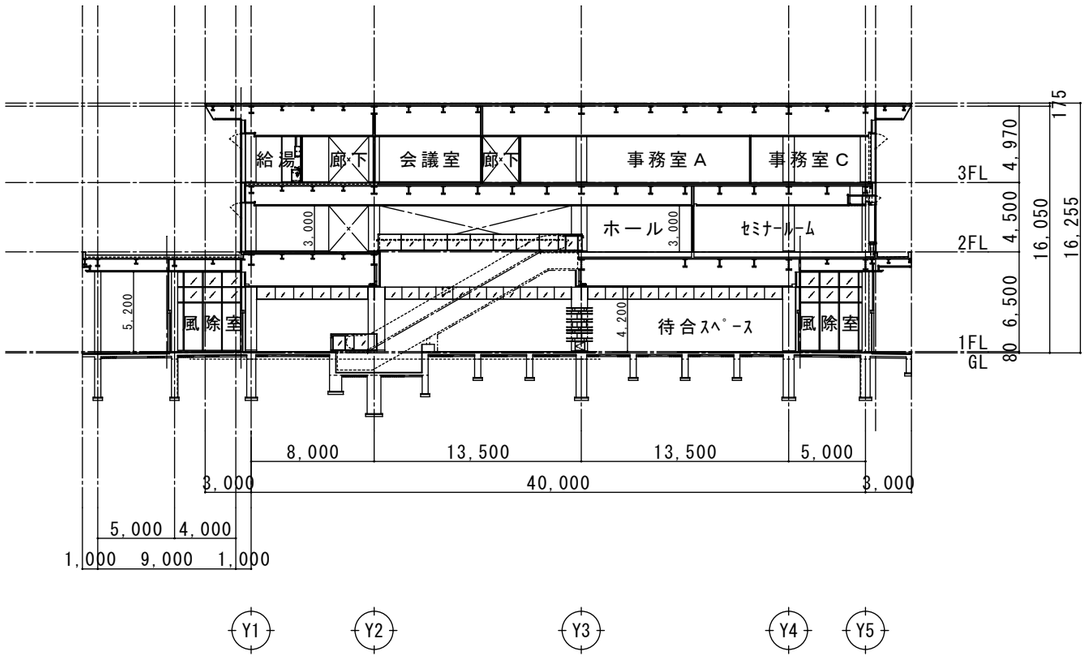


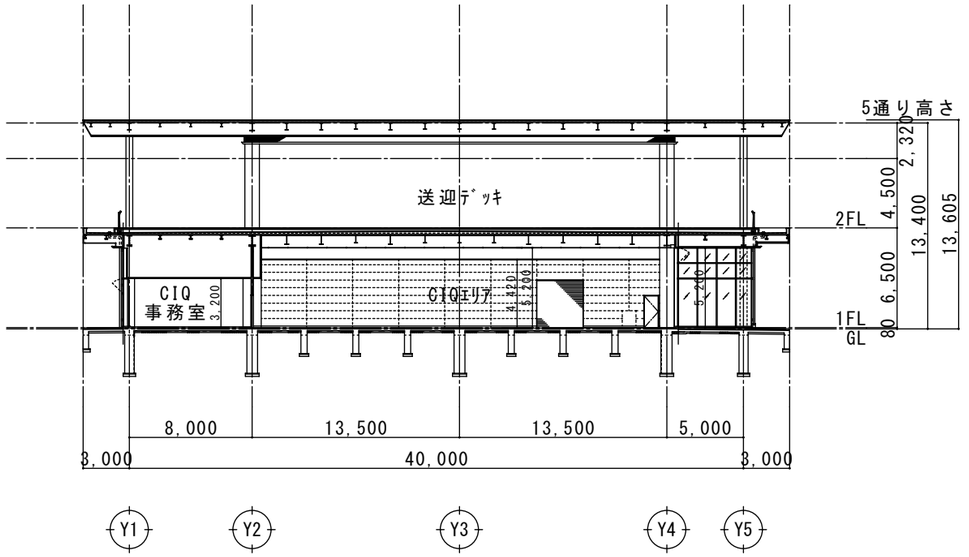
西側立面図

Ⓐ	屋　根		屋根:ｽﾃﾝﾚｽｼｰﾑ溶接工法（三晃金属R-T工法同等品）@448　ﾌｪﾗｲﾄ系ｽﾃﾝﾚｽ鋼板t=0.4 緩衝材:ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=4　断熱材:硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板t=25 防湿材:ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt=1.0　下地材:硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t=25 耐火番号:FP030RF-1422 CD未登載
Ⓑ	軒先化粧金物		t=2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ（焼付塗装）裏面ｸﾞﾗｲﾄ吹付t6
Ⓒ	軒裏（屋根部）		ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ（木目調）
Ⓓ	外　壁	D1	t30現場発泡ｳﾚﾀﾝ吹付　t=60押出成形ｾﾒﾝﾄ板ﾖｺ張り ﾌｯ素樹脂塗装（工場塗装品）
		D2	一部ﾌﾟﾚﾐｱﾑﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ貼（ｱｲｶﾃｯｸ建材:ﾒｰｽ なぎさ同等品）＋DP（青色ﾗﾝﾀﾞﾑﾎﾟｰﾀﾞｰ 現場塗装）
Ⓔ	柱		外部用耐火塗料（防水仕様）＋ﾌｯ素樹脂塗装
Ⓕ	幅　木		ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼ　ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱｰ 誘発目地 20×15

Ⓖ	庇	G1	笠木:ｱﾙﾐ笠木 ｱﾙﾐ折曲加工（焼付塗装）
		G2	上部見付:t=2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ（焼付塗装）裏面ｸﾞﾗｲﾄ吹付t6
		G3	下部見付:ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(ﾘﾌﾞﾀｲﾌﾟ焼付塗装)
		G4	幕板:t2ｱﾙﾐ折曲加工（焼付塗装）
Ⓗ	送迎デッキ	H1	柱:外部用耐火塗料（防水仕様）＋ﾌｯ素樹脂塗装
		H2	軒裏:ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(木目調)
		H3	梁側面:ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(ﾘﾌﾞﾀｲﾌﾟ)
		H4	幕板:t2ｱﾙﾐ折曲加工（焼付塗装）
		H5	手摺:FB溶融亜鉛ﾒｯｷ＋耐候性塗装 （笠木:St.φ101.6×t3.2　支柱:St.FB-12×60～120@1200　ｶﾞﾗｽ受:St.FB-9×38　腰:t12強化ｶﾞﾗｽ）
		H6	ｱﾙﾐ見切型材（焼付塗装）H100 W50
Ⓣ	樋	T1	φ100ｶﾗｰｱﾙﾐ製縦樋 焼付塗装（ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ）
		T2	φ200ｱﾙﾐ製縦樋 焼付塗装（ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ）
		T3	100角ｱﾙﾐ製縦樋 焼付塗装（ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ）







JOB NO.	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 監理	断面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図番 A － 20
117117								

屋根：ｽﾃﾝﾚｽｼｰﾑ溶接工法（三晃金属R-T工法同等品）#448　ﾌｪﾗｲﾄ系ｽﾃﾝﾚｽ鋼板t=0.4
緩衝材：ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=4
断熱材：硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板t=25
防湿材：ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt=1.0
下地材：硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t=25
耐火番号：FP030RF-1422

軒樋：ｽﾃﾝﾚｽｼｰﾑ溶接工法
ﾌｪﾗｲﾄ系ｽﾃﾝﾚｽ鋼板t=0.4
緩衝材：ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=4
断熱材：硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板t=25
防湿材：ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt=1.0
下地材：硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t=25

2,500　7,500　3,000　1,800　1,200

▽最高の高さ　▽最高の軒高さ

梁：t25ﾛｯｸｳｰﾙ吹付

φ100VP 防露巻(掃除口付)

防塵網(SUS)

天井裏壁：GB-R(t9.5+t12.5)両面

天井：t9.5GB-R＋t9.0DR

t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ
(焼付塗装)
裏面ｸﾞﾗｲﾄ吹付t6

防煙垂れ壁
(t6.8網入透明)

柱：GB-R(t12.5)＋C

壁：GB-R(t9.5+t12.5)＋C

ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP

ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ
(木目調)

事務室A　事務室C　応接室

巾木：VF(H60)

床：t6.5CPT
OAﾌﾛｱｰ(H100)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え

ﾛｯｸｳｰﾙ充填

▽3FL

ｱﾙﾐﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ

LGS(100)+t12.5GB-R(ｼｬｯﾀｰ側：t21+21GB-F)
ｸﾞﾗｽｳｰﾙt75(24kg/m3)充填

100×100×2.3
(ﾊｼｺﾞ@600)

天井：t9.5GB-P
＋EP

ｱﾙﾐﾙｰﾊﾞｰ 焼付塗装
60×10.4#75

ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：
t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP
190×260

防火ｼｬｯﾀｰ

ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ
(遮音ﾀｲﾌﾟ)

レストラン　セミナールーム

t1.5塩ﾋﾞｼｰﾄ防水
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え

ｱﾙﾐ笠木：
ｱﾙﾐ折曲加工
(焼付塗装)

ｽﾃｰﾙｶﾊﾞｰ：t1.6ｽﾁｰﾙ
不燃化粧ｼｰﾄ貼

床：t7.8CPT
OAﾌﾛｱｰ(H350)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え

t30現場発泡ｳﾚﾀﾝ吹付

▽2FL

ｽﾃﾝﾚｽ沓摺

ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(ﾘﾌﾞﾀｲﾌﾟ)焼付塗装

ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ
(焼付塗装)

幕板：t2ｱﾙﾐ折曲加工
(焼付塗装)

天井裏壁：GB-R(t9.5+t12.5)両面

見切：ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP

ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP

天井：t9.5GB-R＋t9.0DR

柱型：t12.5GB-R＋C

待合ｽﾍﾟｰｽ　事務室

壁：GB-R(t12.5)＋C

床：M＋t3.0VT　床：M＋t6.5CPT

t30発泡ｽﾁﾚﾝ敷込み
t0.15防湿ｼｰﾄ
砕石100

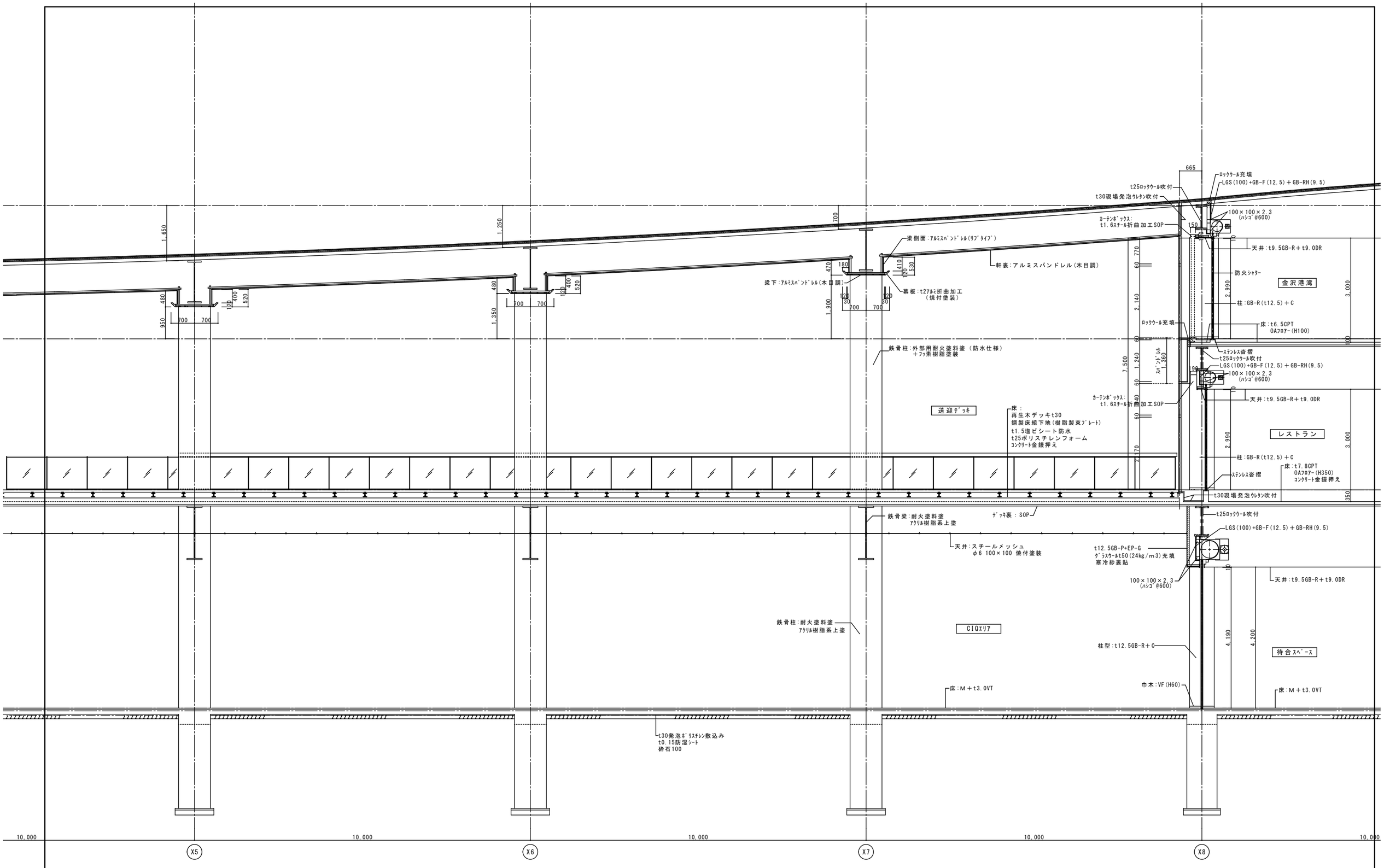
砕石100

▽1FL
△GL

10,000　7,500　10,000　2,500　10,000　3,000

X9　X10　X11　X12

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 瀧 淳	改訂 ・ ・	矩計図（1）	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A－21



JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 瀧 淳	設計 ・ ・	標題 矩計図（２）	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A－22

屋根:ｽﾃﾝﾚｽｼｰﾑ溶接工法（三晃金属R-T工法同等品）@448　ﾌｪﾗｲﾄ系ｽﾃﾝﾚｽ鋼板t=0.4
緩衝材:ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=4
断熱材:硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板t=25
防湿材:ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ t=1.0
下地材:硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t=25
耐火番号:FP030RF-1422

谷樋:ｽﾃﾝﾚｽｼｰﾑ溶接工法 @448　ﾌｪﾗｲﾄ系ｽﾃﾝﾚｽ鋼板t=0.4
緩衝材:ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=4
断熱材:硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板t=25
防湿材:ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ t=1.0
下地材:硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t=25

t=2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ（焼付塗装）裏面ｸﾞﾗｲﾄ吹付t6
梁下:ｱﾙﾐｽﾊﾞﾝﾄﾞﾚﾙ(木目調)
軒裏:アルミスバンドレル(木目調)
防塵網(SUS)
▽3FL
鉄骨柱:外部用耐火塗料塗（防水仕様）＋ﾌｯ素樹脂塗装
送迎ﾃﾞｯｷ
手摺:溶融亜鉛ﾒｯｷ＋耐候性塗料塗
笠木：St.φ101.6×t3.2
支柱：St.FB-12×60～120@1200
ｶﾞﾗｽ受：St.FB-9×38
腰：t12強化ｶﾞﾗｽ
床：
再生木デッキt30
鋼製床組下地(樹脂製束ﾌﾟﾚｰﾄ)
t1.5塩ビシート防水
t25ポリスチレンフォーム
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え
t1.5塩ビシート防水 ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え
ｱﾙﾐ笠木:ｱﾙﾐ折曲加工（焼付塗装）
t=2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ（焼付塗装）裏面ｸﾞﾗｲﾄ吹付t6
中継ﾄﾞﾚﾝ φ200用
▽2FL
ｱﾙﾐｽﾊﾞﾝﾄﾞﾚﾙ(ﾘﾌﾞﾀｲﾌﾟ焼付塗装)
ｱﾙﾐｽﾊﾞﾝﾄﾞﾚﾙ（焼付塗装）
幕板:t27ｱﾙﾐ折曲加工（焼付塗装）
縦樋:φ100ｱﾙﾐ製縦樋 焼付塗装(ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ)
梁:t25ﾛｯｸｳｰﾙ吹付
100×100×2.3（ﾊﾝｺﾞｰ@1000）
柱型:t25ﾛｯｸｳｰﾙ吹付
外壁押出成形ｾﾒﾝﾄ板裏:素地のまま
倉庫
柱型:t20巻付耐火被覆材
床:M＋塗床
ﾃﾞｯｷ裏：SOP
φ200VP管 防露巻
天井裏壁：EP-G
鉄骨梁:耐火塗料塗 ｱｸﾘﾙ樹脂系上塗
天井:スチールメッシュ φ6 100×100 SOP
LGS(100)+GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ(B)貼りEP-G
壁:GB-R(t9.5+t12.5)＋EP-G
CIQｴﾘｱ
鉄骨柱:耐火シート貼 ｱｸﾘﾙ樹脂系上塗
巾木:M＋塗床
床:M＋t3.0VT
▽1FL
△GL
砕石100
t0.15防湿ｼｰﾄ 砕石100
t30発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ敷込み t0.15防湿ｼｰﾄ 砕石100

X1　X2　X3　X4

| | | |

屋根：ｽﾃﾝﾚｽｼｰﾑ溶接工法（三晃金属R-T工法同等品）@448　ﾌｪﾗｲﾄ系ｽﾃﾝﾚｽ鋼板t=0.4
緩衝材：ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=4
断熱材：硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板t=25
防湿材：ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt=1.0
下地材：硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t=25
耐火番号：FP030RF-1422

t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ（焼付塗装）裏面ｸﾞﾗｲﾄ吹付t6
天井裏壁：GB-R(t9.5+t12.5)両面
WC天井裏：t50ｸﾞﾗｽｳｰﾙ敷
天井：t9.5GB-R＋t9.0DR
壁：GB-S(t9.5+t12.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼
壁：GB-R(t9.5+t12.5)+C
ＭＷＣ
ｶｳﾝﾀｰ：ﾒﾗﾐﾝPFt20
廊下
床：M＋t2.0VS（抗菌）
巾木：SUS(H60)
床：M＋t2.0VT
ﾊﾝﾄﾞﾚﾙ
ホール
床：t7.8CPT OAﾌﾛｱｰ(H350) ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え
床：M＋t7.8CPT
t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ（焼付塗装）裏面ｸﾞﾗｲﾄ吹付t6
ｱﾙﾐ笠木：ｱﾙﾐ折曲加工（焼付塗装）
t1.5塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え
梁：t25ﾛｯｸｳｰﾙ吹付
t30現場発泡ｳﾚﾀﾝ吹付
天井：ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ（焼付塗装）
ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(ﾘﾌﾞﾀｲﾌﾟ焼付塗装)
天井：t9.5GB-R＋t12.0DR（ｽﾄﾗｲﾌﾟ）
ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP 200×230
鉄骨柱：外部用耐火塗料塗（防水仕様）＋ﾌｯ素樹脂塗装
風除室
床：M＋600角GT
床：M＋t3.0VT
補助散水栓
壁：GB-R(t9.5+t12.5)＋ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ(A)貼りEP-G
巾木：WF(H100)
砕石100
t30発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ敷込み t0.15防湿ｼｰﾄ 砕石100

梁：t25ﾛｯｸｳｰﾙ吹付
ｻｯｼ裏：t12.5GB-R＋EP
t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ（焼付塗装）裏面ｸﾞﾗｲﾄ吹付t6
ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ（木目調）
天井：t9.5GB-R＋t9.0DR
ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ：t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP
事務室Ａ
事務室Ｃ
壁：GB-R(t9.5+t12.5)+C
柱：GB-R(t12.5)＋C
床：t6.5CPT OAﾌﾛｱｰ(H100) ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え
巾木：VF(H60)
LGS(100)+GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面 ｸﾞﾗｽｳｰﾙt75(24kg/m3)充填
天井：t9.5GB-P＋EP
ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP 150×120
ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP 190×260
ｱﾙﾐﾙｰﾊﾞｰ 焼付塗装 60×10.4@75
レストラン
丸柱：耐火塗料塗 ｱｸﾘﾙ樹脂系上塗
ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ：t1.6ｽﾁｰﾙ 不燃化粧ｼｰﾄ貼
床：t7.8CPT OAﾌﾛｱｰ(H350) ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え
t30現場発泡ｳﾚﾀﾝ吹付
ｻｯｼ裏：t12.5GB-R＋EP
ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP 200×230
天井：t9.5GB-R＋t12.0DR（ｽﾄﾗｲﾌﾟ）
ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ（焼付塗装）
幕板：t2ｱﾙﾐ折曲加工（焼付塗装）
防煙垂れ壁（t6.8網入透明）
待合ｽﾍﾟｰｽ
柱型：t12.5GB-R＋C
鉄骨柱：外部用耐火塗料塗

▽最高の高さ
▽3FL
▽2FL
▽1FL
△GL

Y0A　Y0B　Y1　Y2　Y4　Y5

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	矩計図（４）	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A－24

屋根：ｽﾃﾝﾚｽｼｰﾑ溶接工法（三晃金属R-T工法同等品）#448　ﾌｪﾗｲﾄ系ｽﾃﾝﾚｽ鋼板t=0.4
緩衝材：ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=4
断熱材：硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板t=25
防湿材：ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt=1.0
下地材：硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t=25
耐火番号：FP030RF-1422

▽5通り高さ
▽5通り梁天端

軒裏：アルミスパンドレル（木目調）
下地：準構造耐震天井（KIRIIｱﾝｸﾞﾙﾗﾝﾌﾟ同等品）

梁側面：ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(ﾘﾌﾞﾀｲﾌﾟ)
焼付塗装

幕板：t2ｱﾙﾐ折曲加工
（焼付塗装）

t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ
（焼付塗装）
裏面ｸﾞﾗﾌﾄ吹付t6

▽3FL

鉄骨柱：外部用耐火塗料塗（防水仕様）
＋ﾌｯ素樹脂塗装

送迎ﾃﾞｯｷ

手摺：溶融亜鉛ﾒｯｷ＋耐候性塗料塗
笠木：St.φ101.6×t3.2
支柱：St.FB-12×60～120@1200
ｶﾞﾗｽ受：St.FB-9×38
腰：t12強化ｶﾞﾗｽ

ｽﾁｰﾙ手摺

床：
再生木デッキt30
鋼製床組下地（樹脂製束ﾌﾟﾚｰﾄ）
t1.5塩ビシート防水
t25ポリスチレンフォーム
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え

LGS(65)+t12.5GB-P+EP-G
ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50(24kg/m3)充填
寒冷紗裏貼

t1.5塩ﾋﾞｼｰﾄ防水
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え

ｱﾙﾐ笠木：
ｱﾙﾐ折曲加工
（焼付塗装）

▽2FL
△水下CON

t30現場発泡ｳﾚﾀﾝ吹付

梁：t25ﾛｯｸｳｰﾙ吹付

梁：t25ﾛｯｸｳｰﾙ吹付

ｻｯｼ裏：t12.5GB-R＋EP-G

100×100×2.3

LGS(100)+GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)
両面

t12.5GB-P＋EP-G
ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50(24kg/m3)充填
寒冷紗裏貼

見切：ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP

天井：t9.5GB-D

t9.5GB-R＋EP-G

柱型：t12.5GB-R＋C

壁：GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)＋C

柱型：t12.5GB-R＋C

CIQ事務室

柱型：t12.5GB-R＋C

壁：GB-R(t9.5+t12.5)＋C

巾木：VF(H60)

床：M＋t2.0VS

縦樋：φ100ｱﾙﾐ製縦樋
焼付塗装(ﾊﾟﾝﾄﾞﾚｽ)

砕石100

t30発泡ｷﾞﾘｽﾁﾚﾝ敷込み
t0.15防湿ｼｰﾄ
砕石100

ﾃﾞｯｷ裏：SOP

鉄骨梁：耐火塗料塗
ｱｸﾘﾙ樹脂系上塗

天井：スチールメッシュ
φ6 100×100 焼付塗装

ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP
200×230

LGS(100)+GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り
ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ(B)貼りEP-G

CIQエリア

鉄骨柱：耐火シート貼
ｱｸﾘﾙ樹脂系上塗

床：M＋t3.0VT

巾木：WF(H100)

t30発泡ｷﾞﾘｽﾁﾚﾝ敷込み
t0.15防湿ｼｰﾄ
砕石100

梁：t25ﾛｯｸｳｰﾙ吹付

ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(ﾘﾌﾞﾀｲﾌﾟ焼付塗装)

ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ
（焼付塗装）

ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ
（焼付塗装）

幕板：t2ｱﾙﾐ折曲加工
（焼付塗装）

t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ
（焼付塗装）
裏面ｸﾞﾗｲﾄ吹付t6

100角ｱﾙﾐ製縦樋
焼付塗装
(ﾊﾟﾝﾄﾞﾚｽ)

▽1FL
△GL

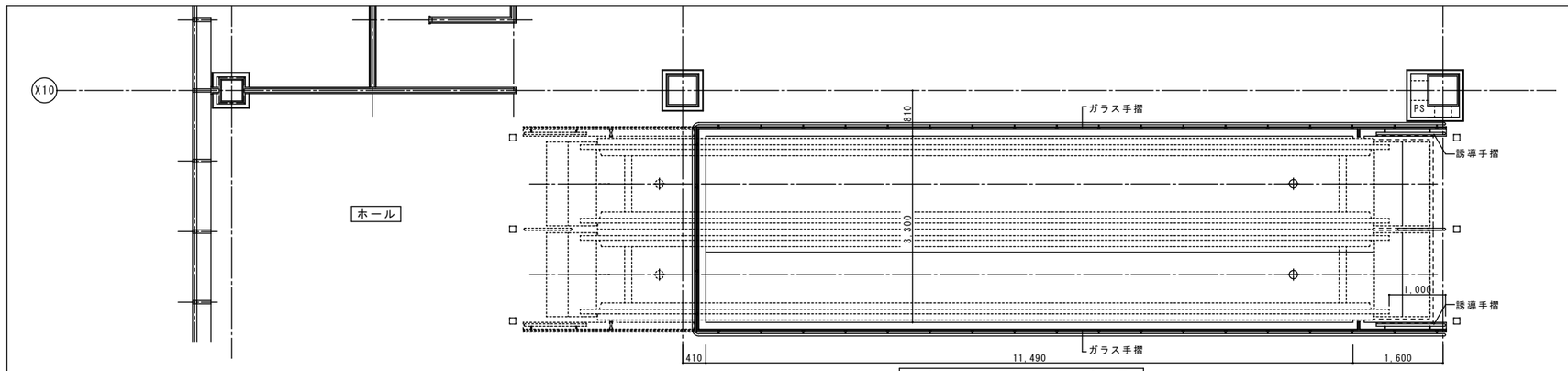
砕石100

砕石100

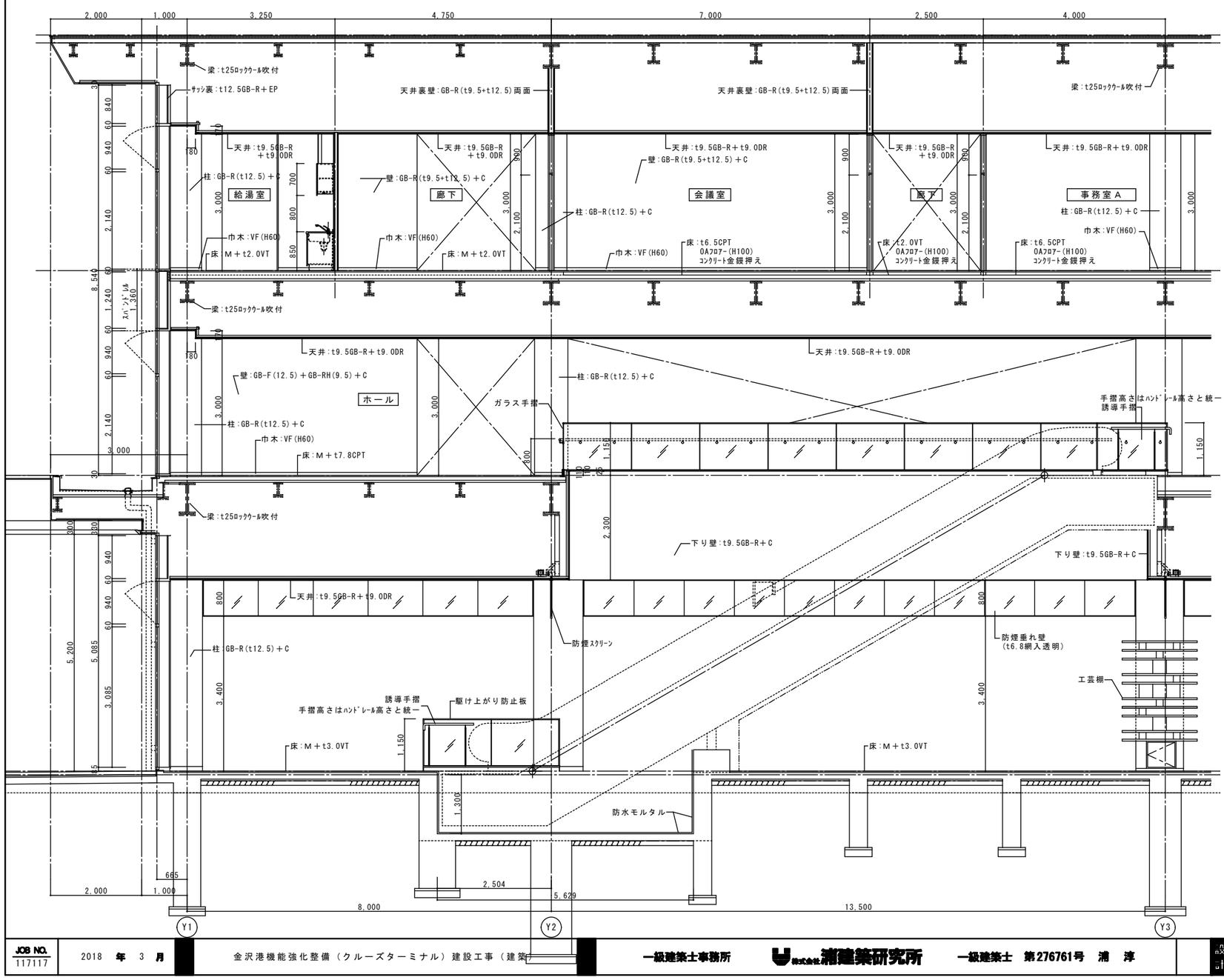
砕石100

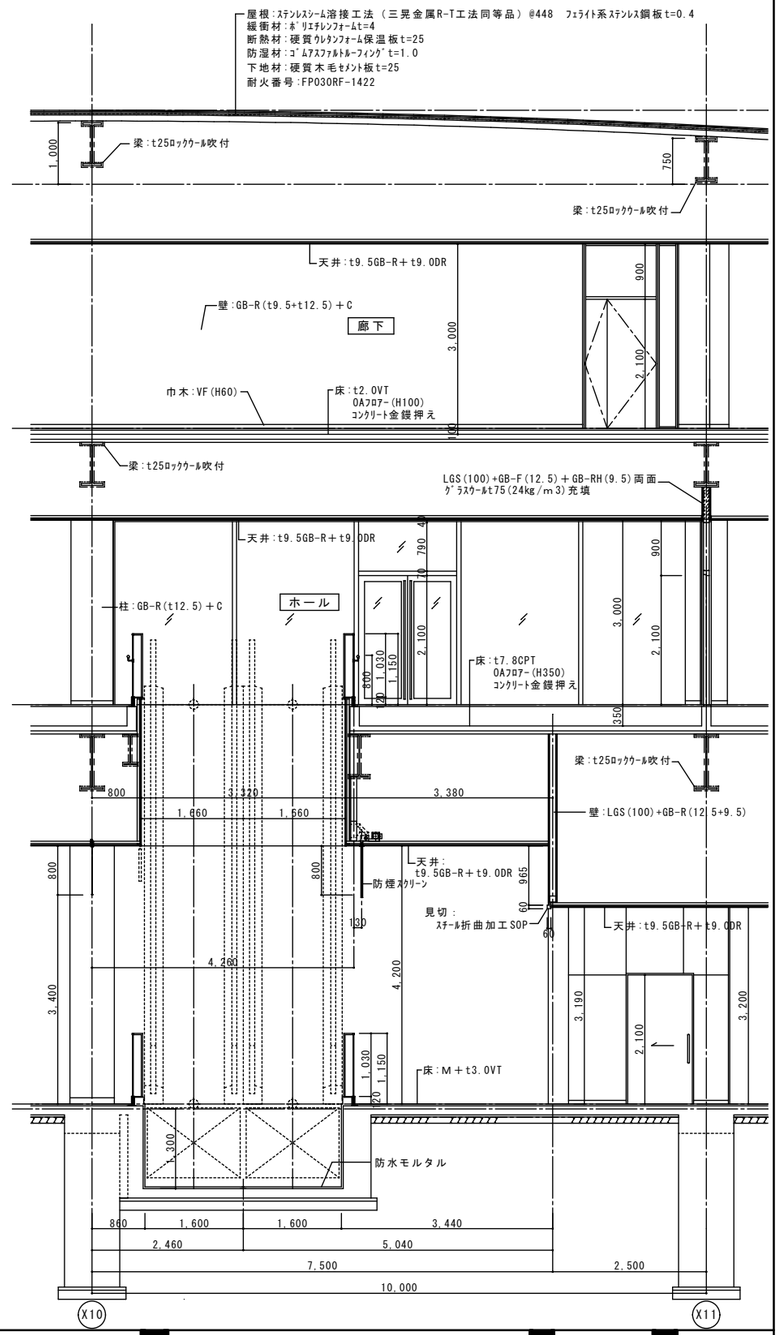
Y1　Y2　Y4　Y5

| | | |

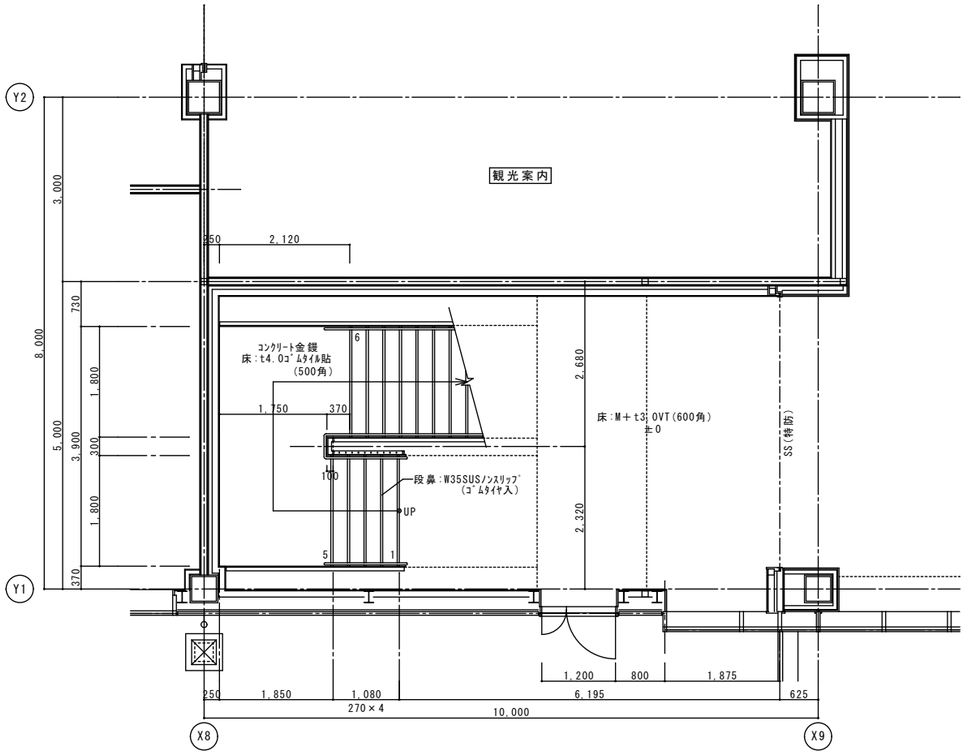


２階エスカレーター廻り平面詳細図

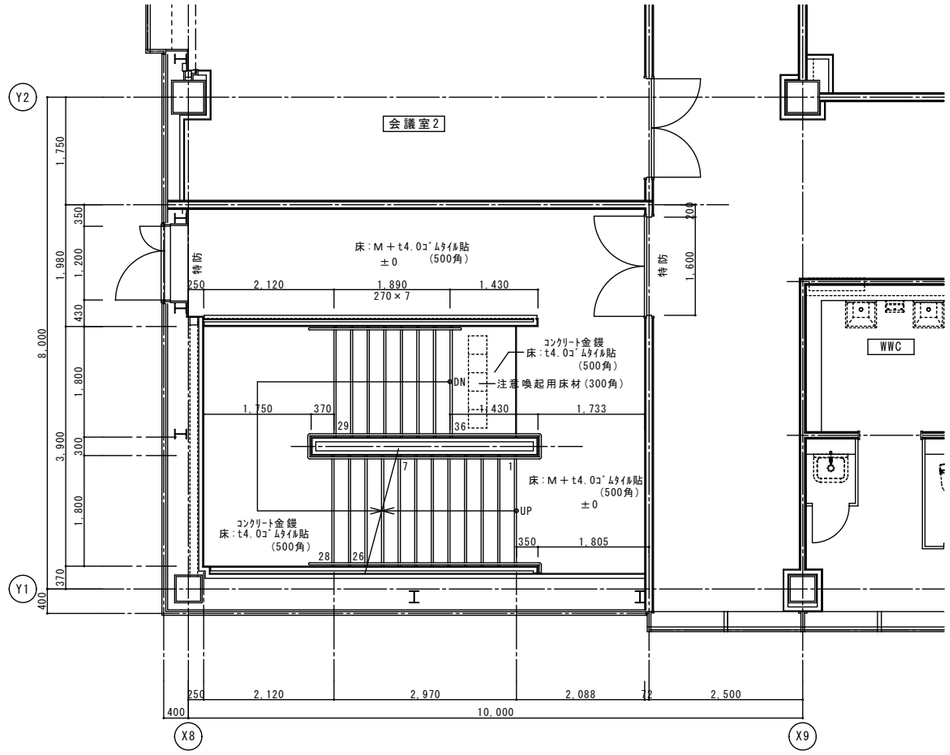




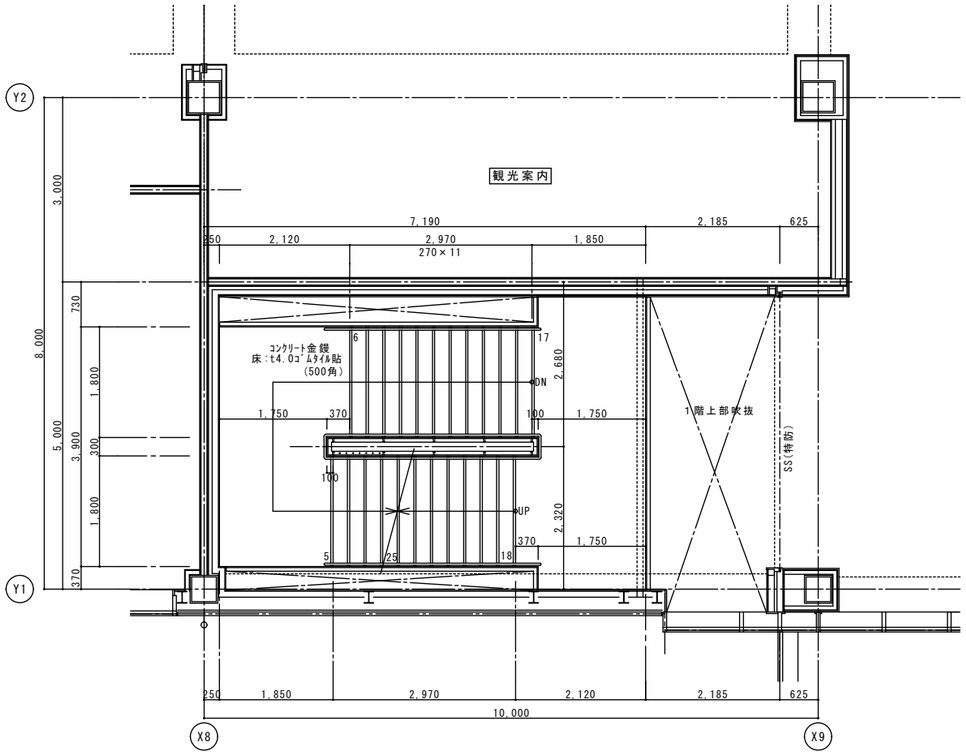
JOB NO.									
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 瀬建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計	・ ・	標題	矩計図（６）	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図番	A － 26



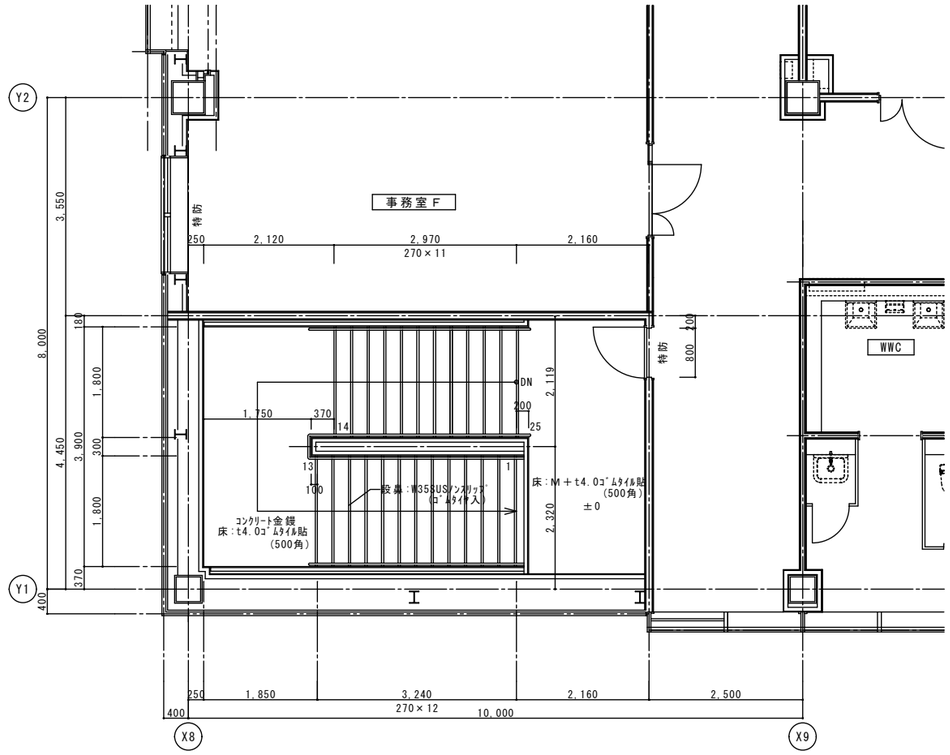
1階階段室1平面詳細図



2階階段室1平面詳細図

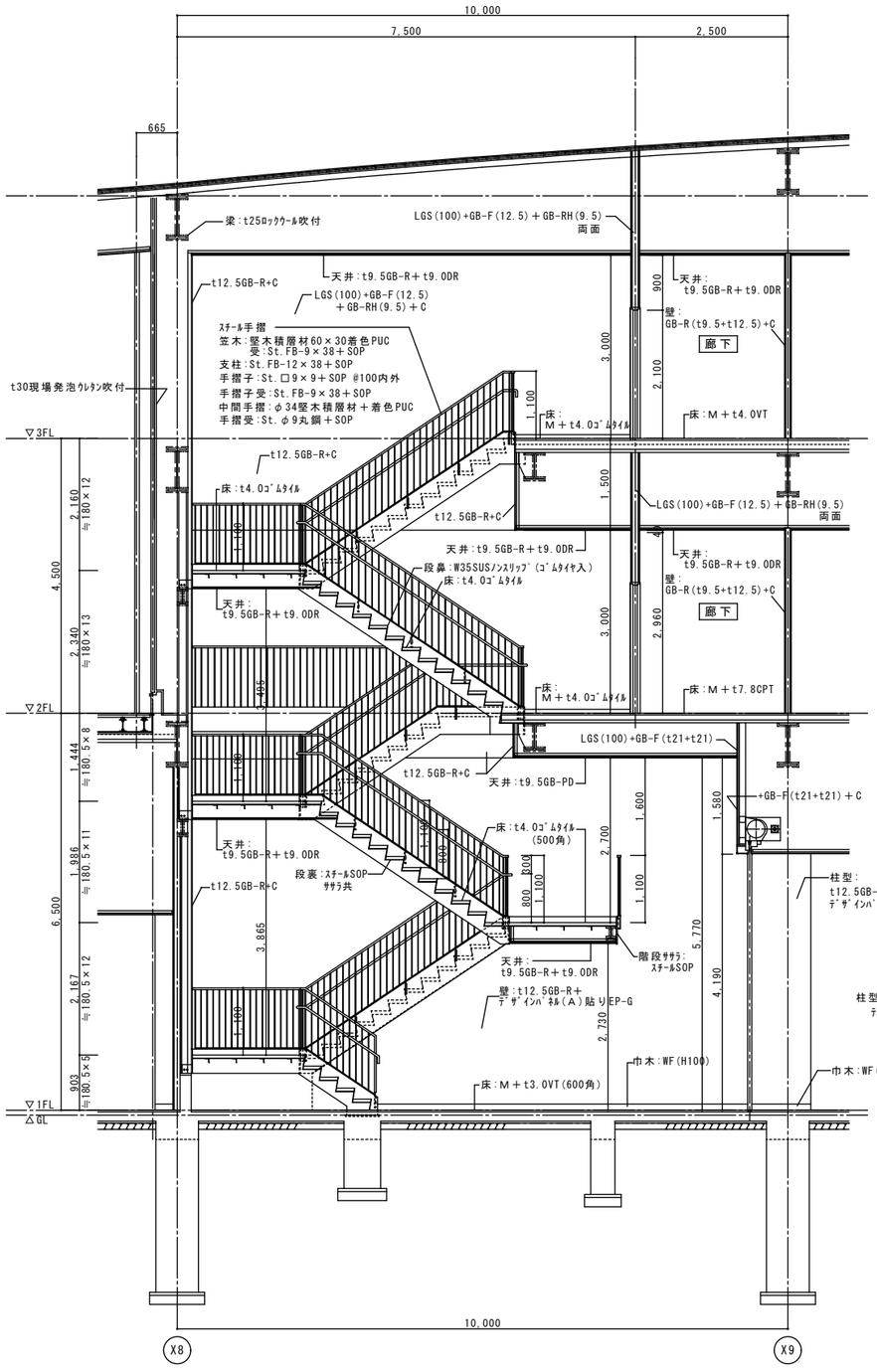


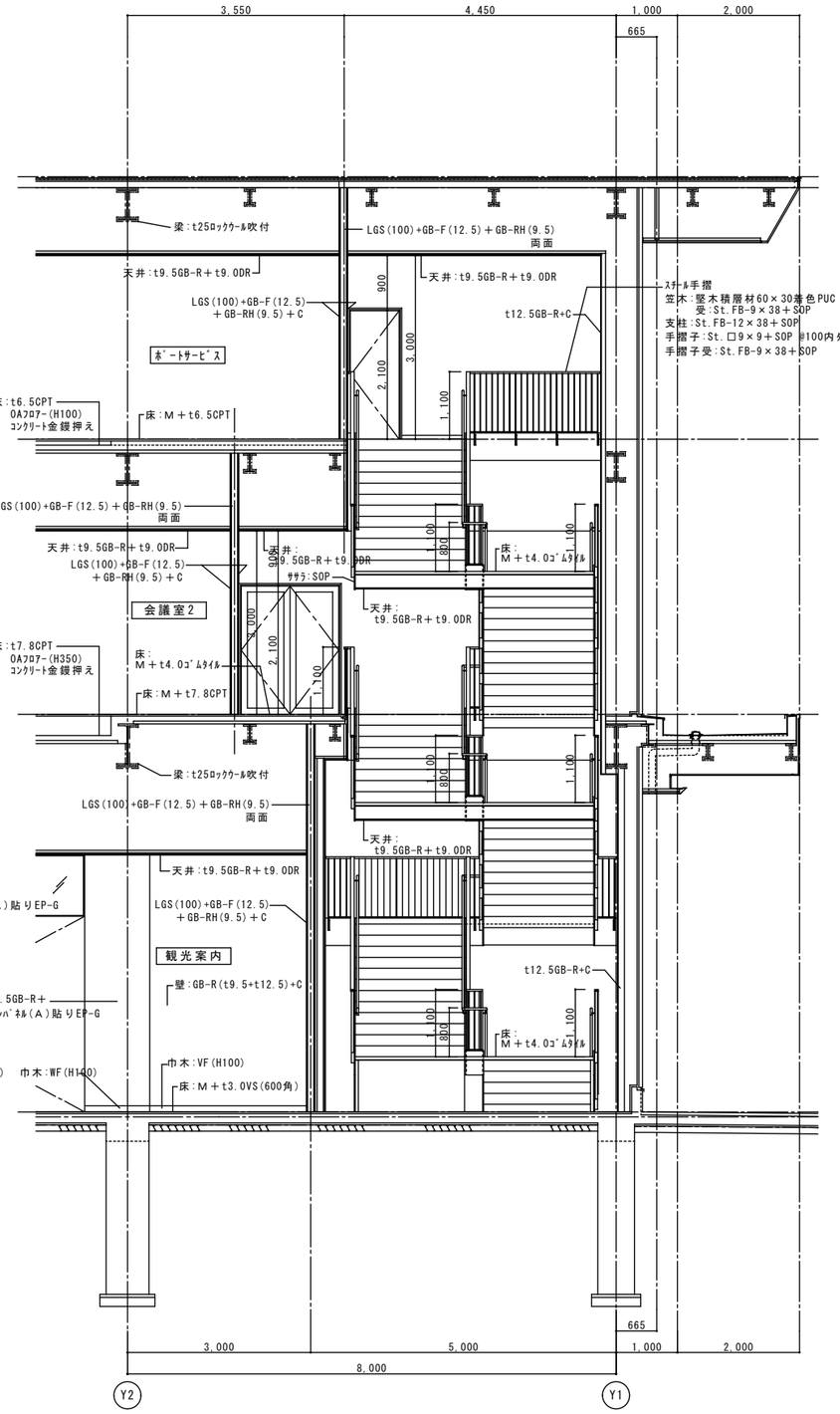
1階階段室1平面詳細図(上部吹抜)

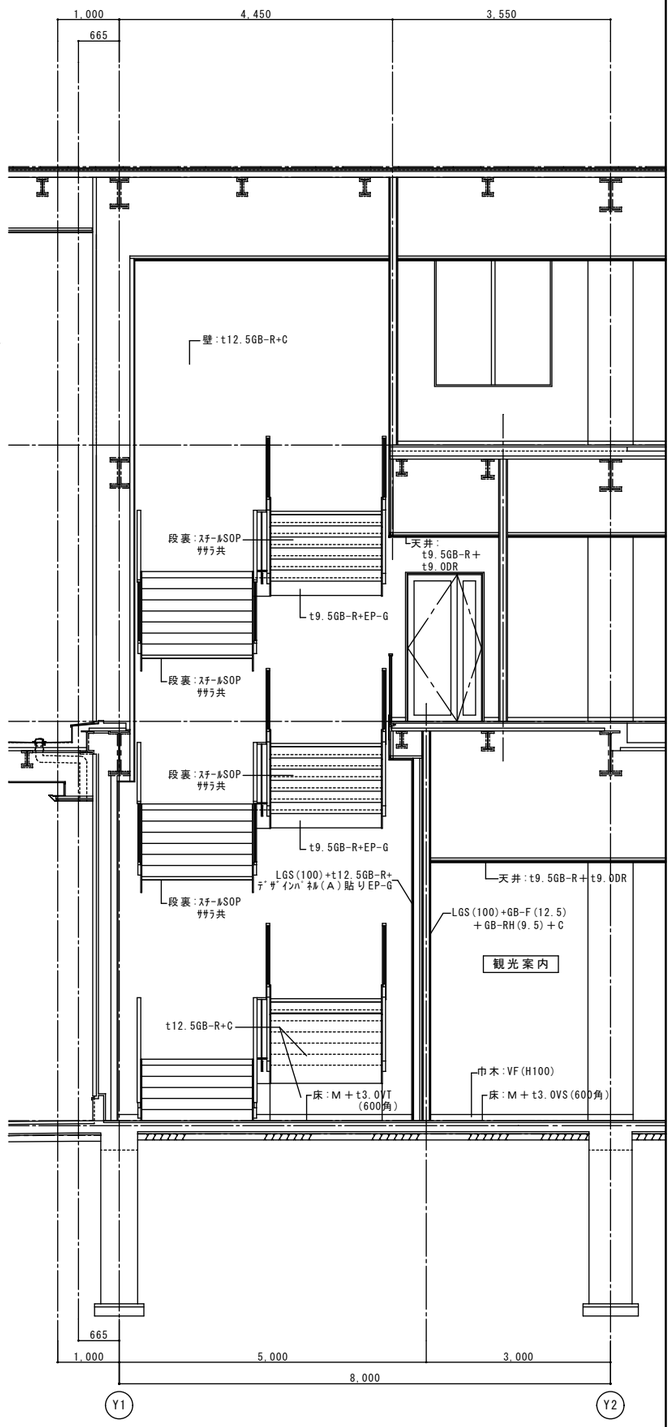


3階階段室1平面詳細図

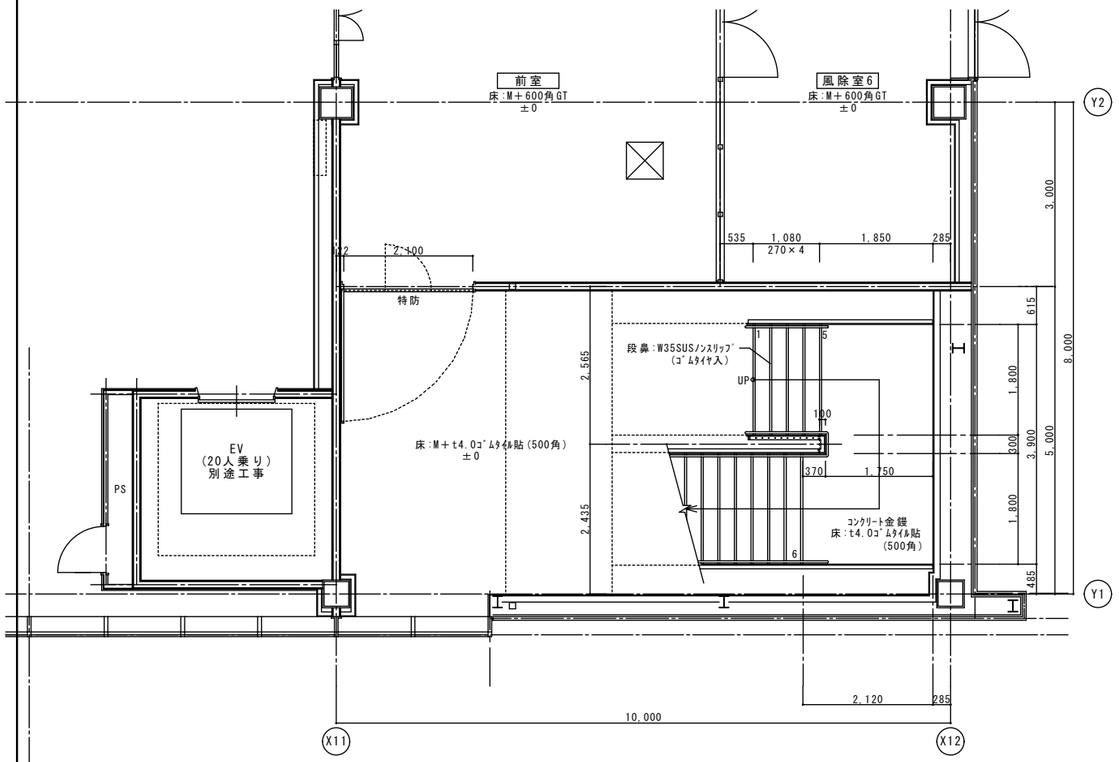
JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社瀧建築研究所 一級建築士 第276761号 瀧 淳	設計 ・ ・	標題 階段室1平面詳細図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A－27



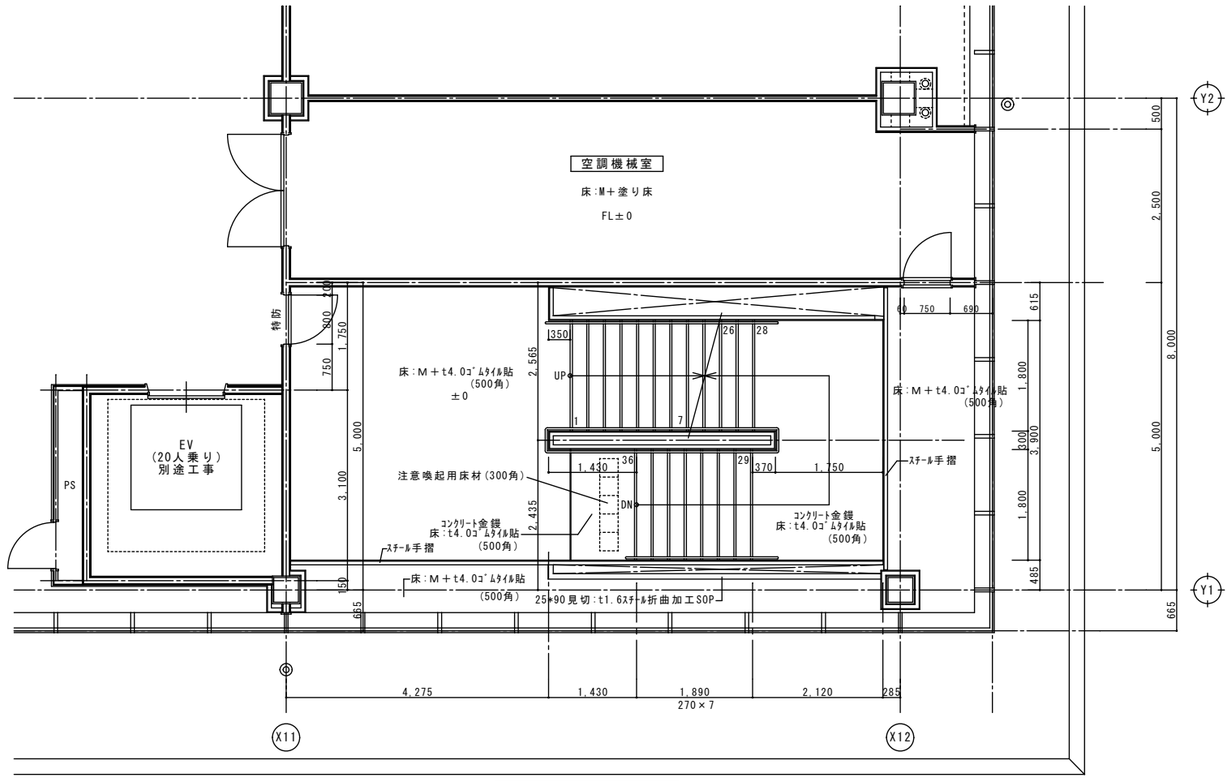




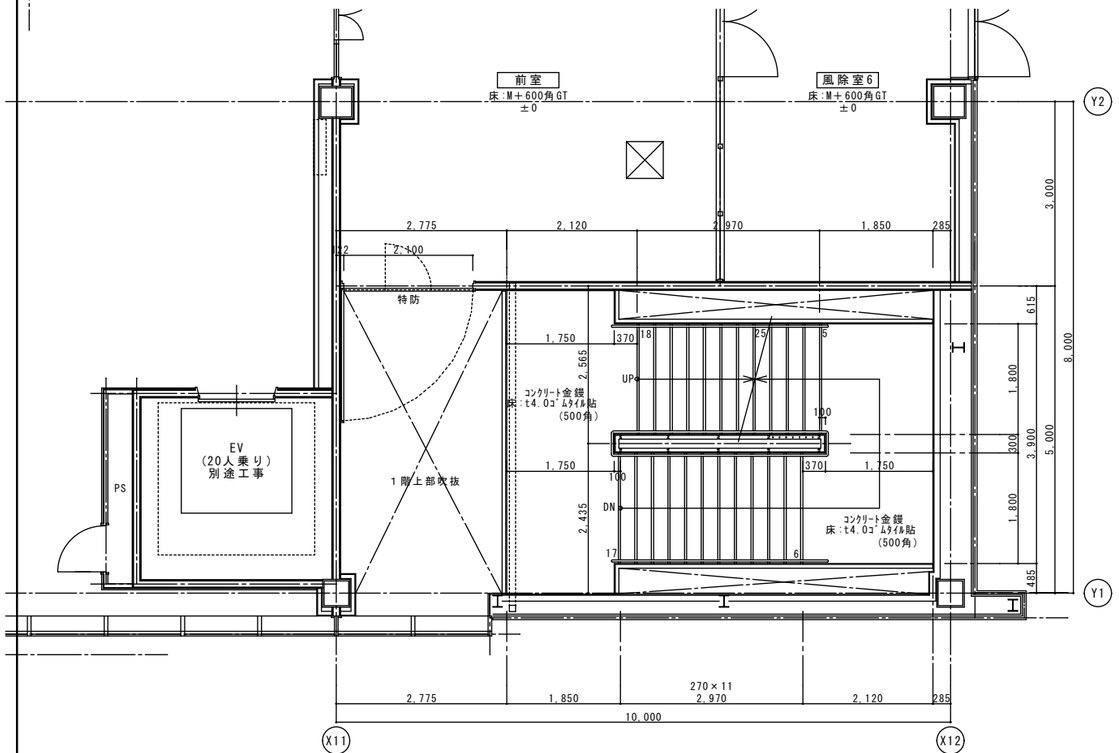
JOB NO.									
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 浦建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標題	階段室１断面図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A － 28



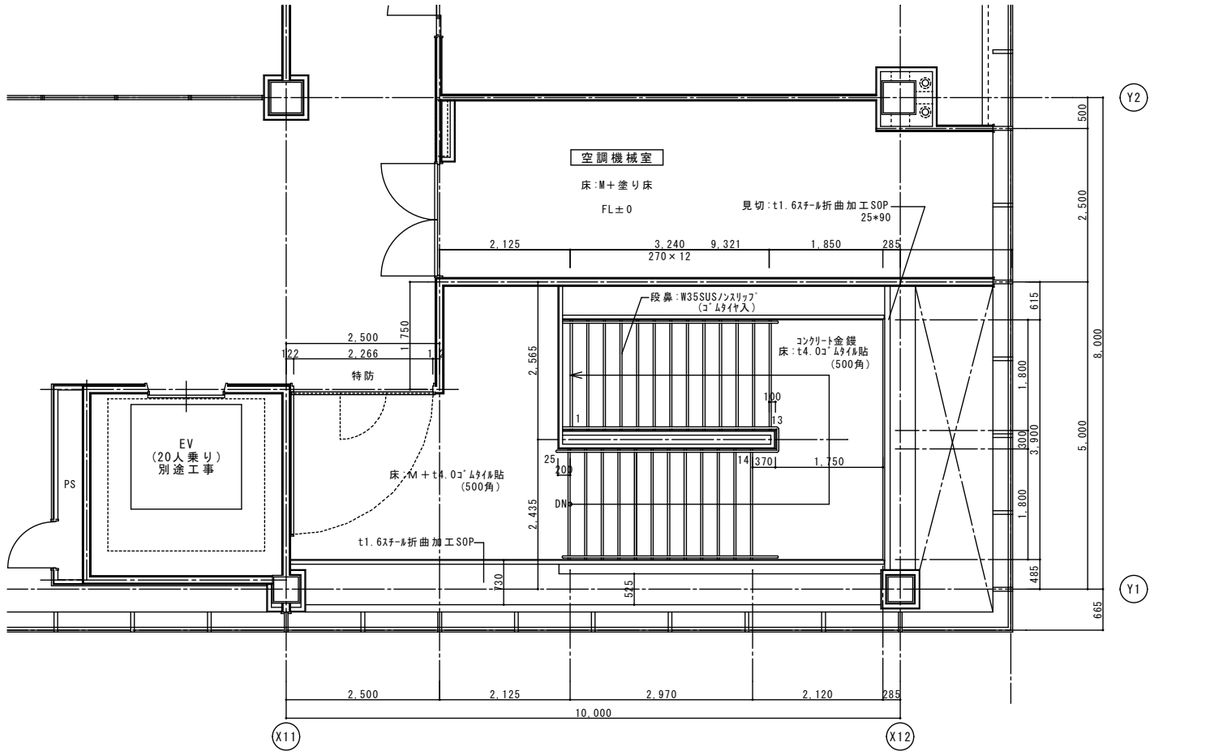
1階階段室2平面詳細図



2階階段室2平面詳細図

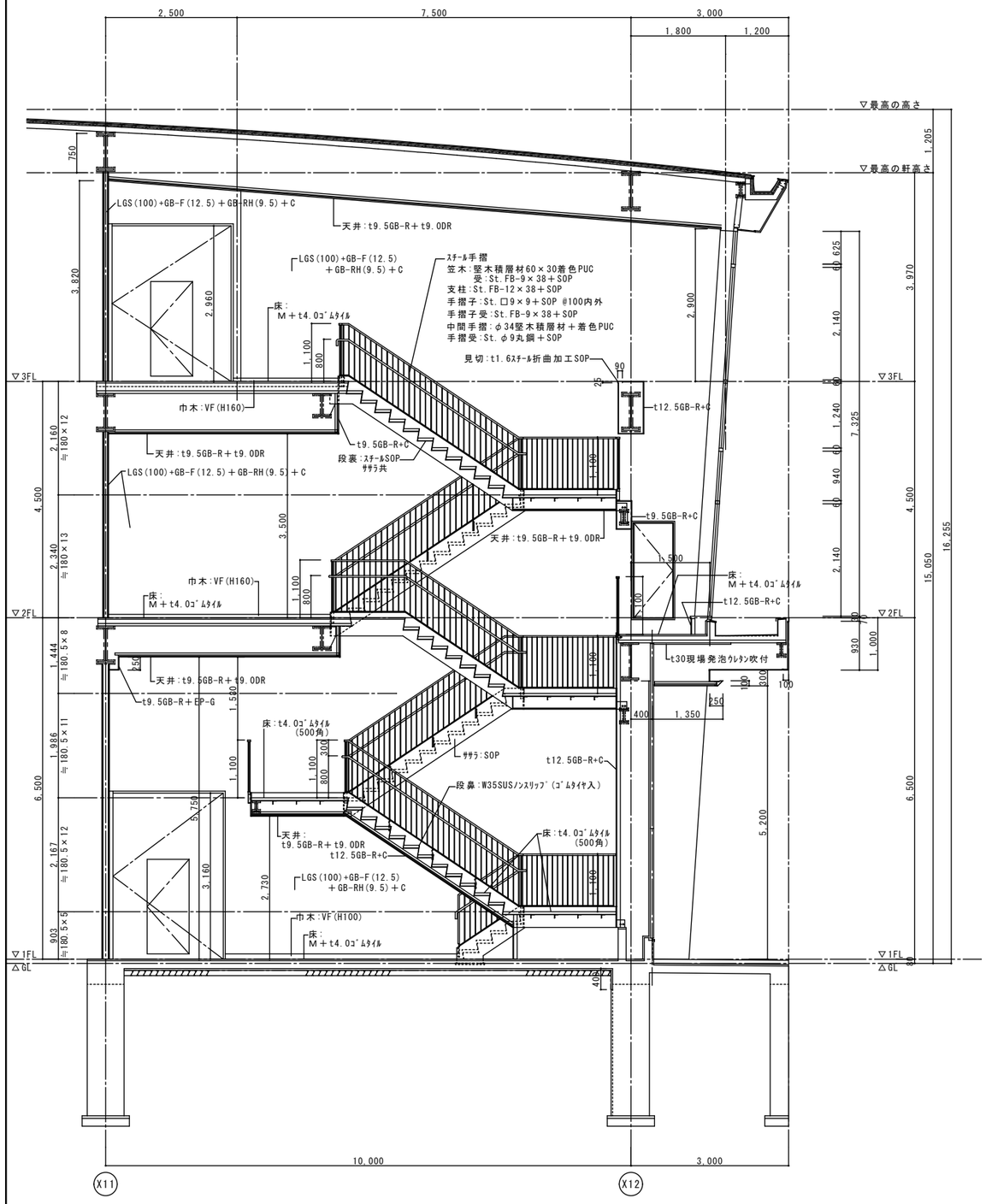


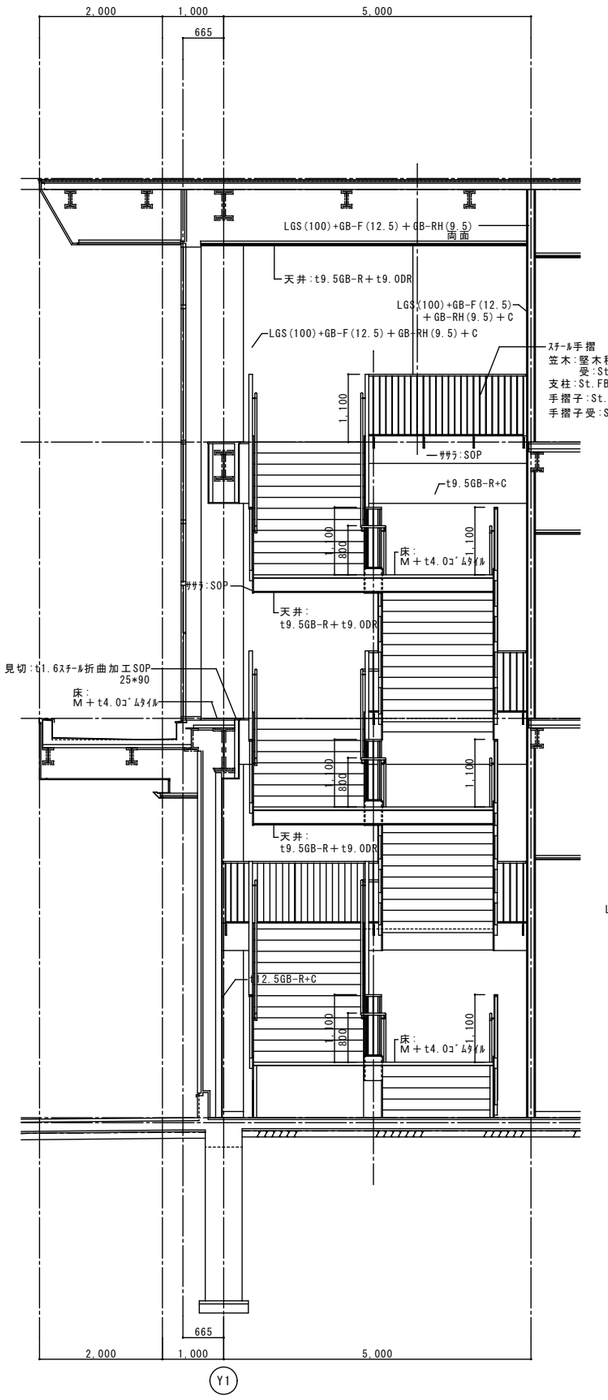
1階階段室2平面詳細図(上部吹抜)

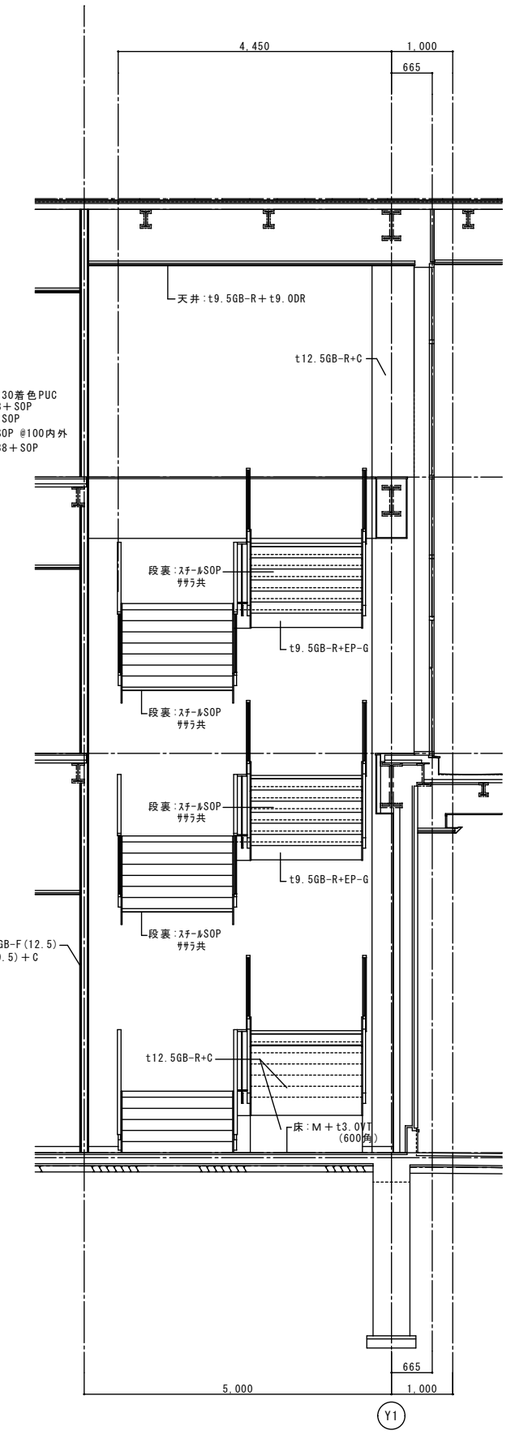


3階階段室2平面詳細図

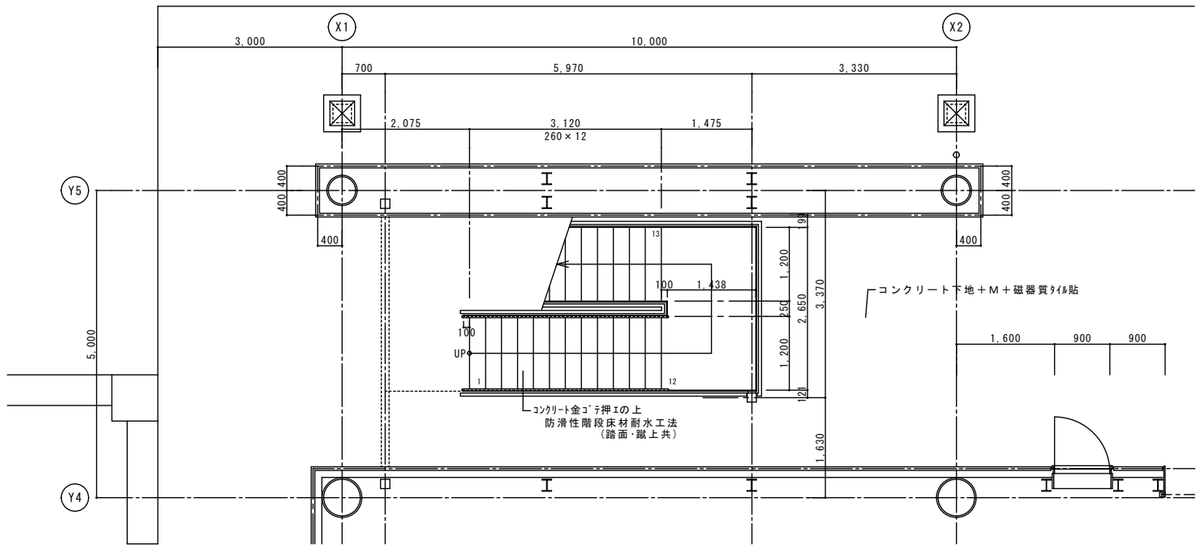
JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 浦建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 審査	階段室2平面詳細図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A － 29

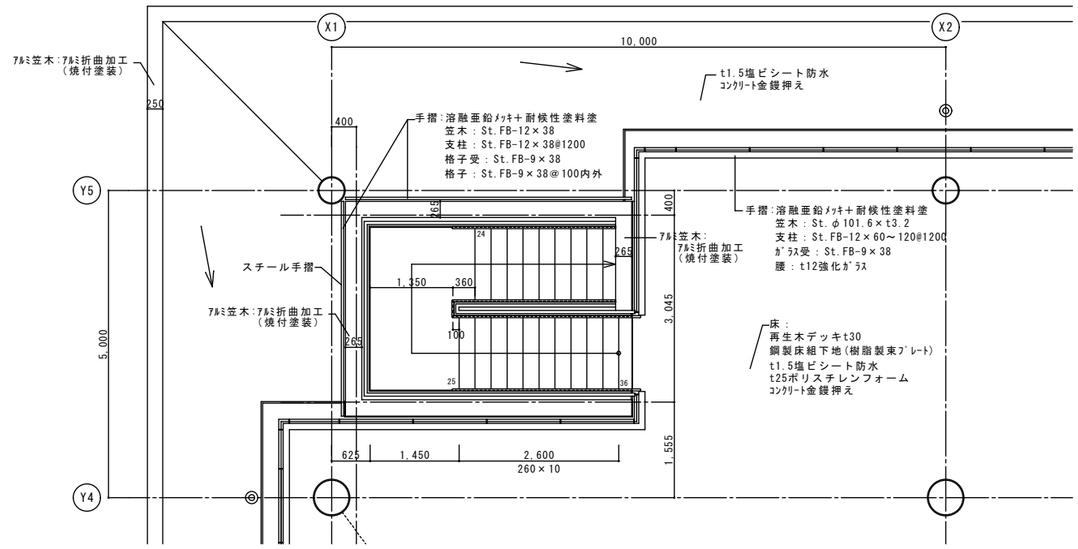




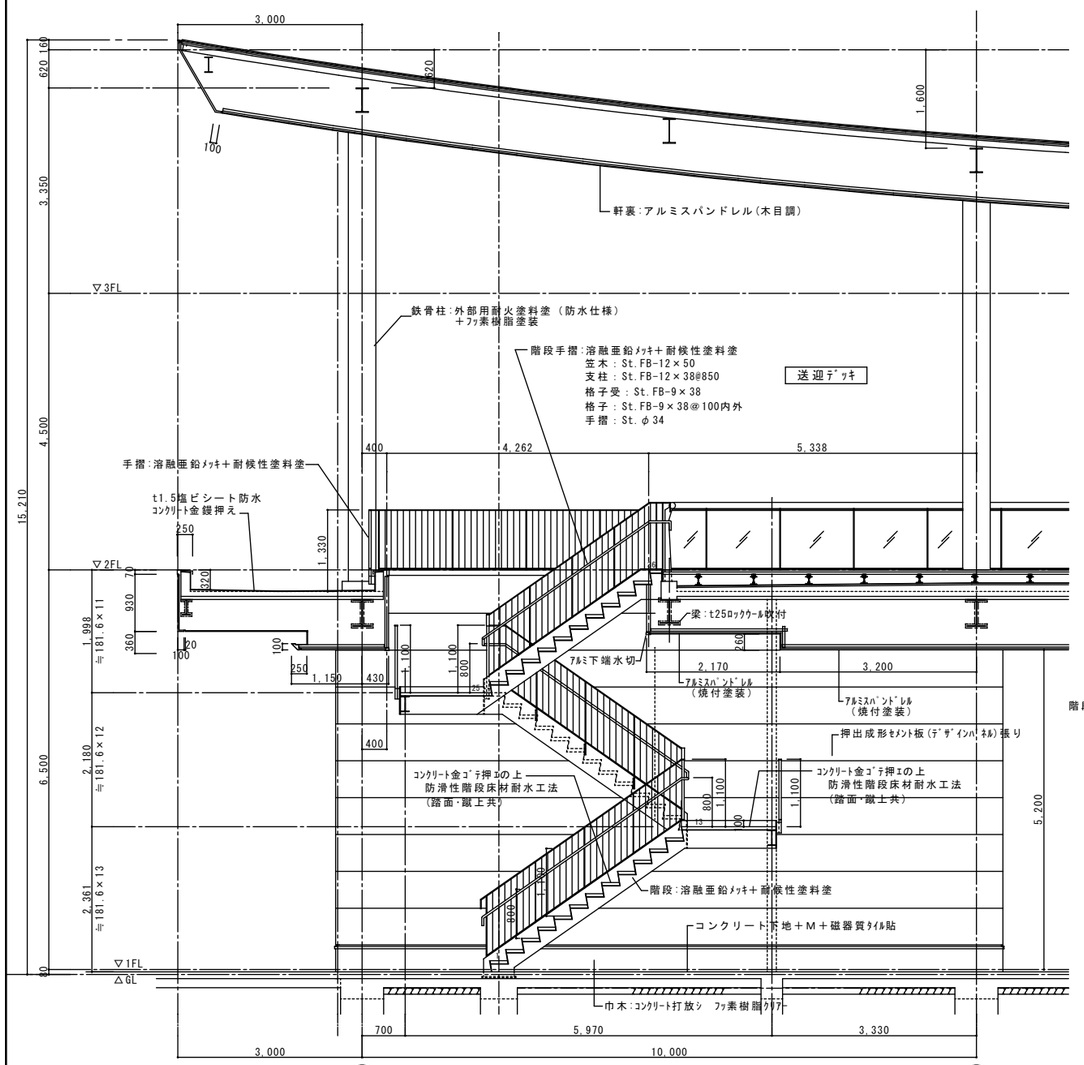


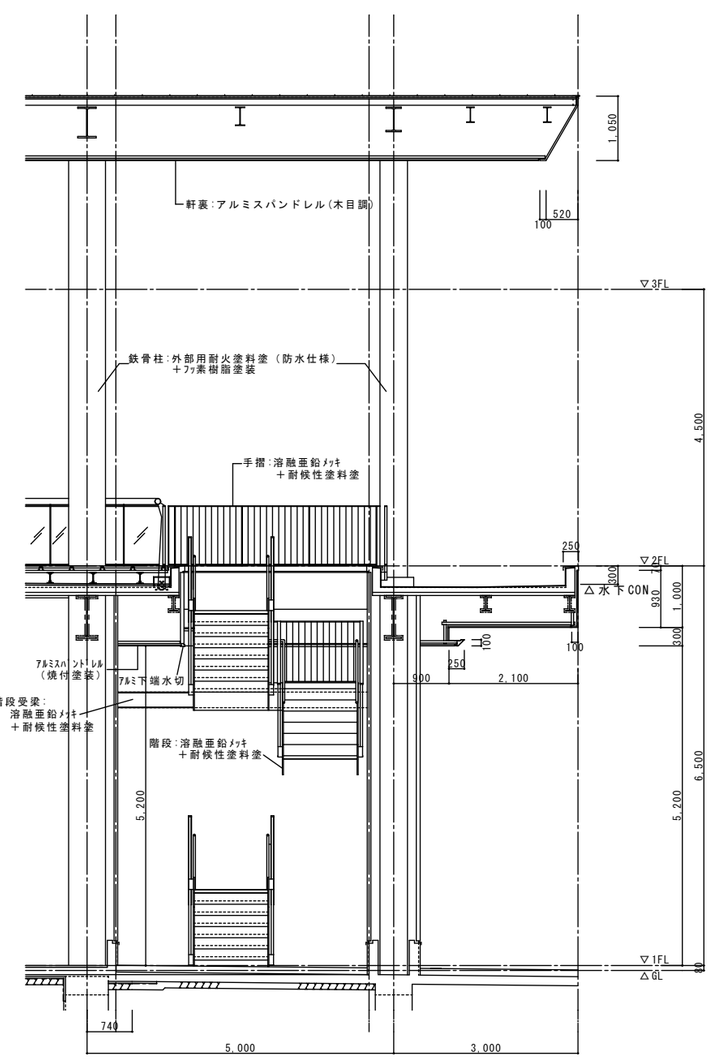
JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 清 淳	設計 ・ ・	標題 階段室２断面図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A － 30

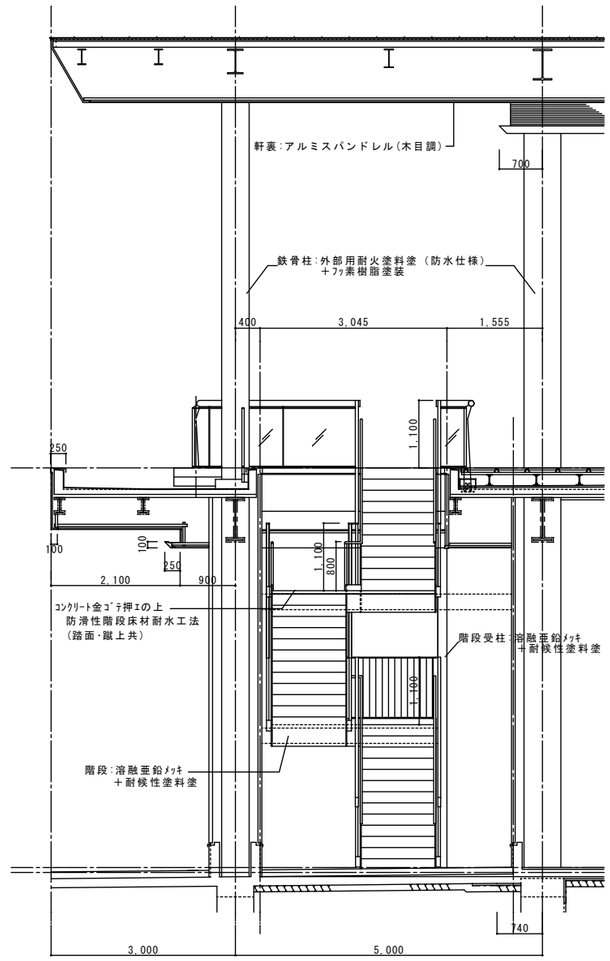




※ 屋外鉄骨階段は特記なき限り亜鉛ドブ漬ケ仕上 下地処理の上、耐候性塗料仕上とする。
踊り場および踏面は2%程度の水勾配を確保すること。







JOB NO.									
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 湘 淳	設計	・ ・	標準	外部階段平面詳細図・断面図	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図番	A － 31

φ100ｱﾙﾐ製縦樋
焼付塗装（ﾊﾟｲﾄﾞﾚｽ）

防煙垂れ壁:LGS65下地t12.5GB-R両面貼り＋EP-G　H=1,052（梁下から床上H4,380まで）

SS
上部:排煙窓

倉庫1
床:M＋塗り床
±0

補助散水栓

電気室
床:M＋塗り床
±0

オイルタンク

UP

キュービクル

設備架台
グレーチング床版 FB3×25
+1000

自家発電機

消火器

マンホールφ600

機械室
床:M＋塗り床
±0

マンホールφ500

φ100ｱﾙﾐ製縦樋
焼付塗装（ﾊﾟｲﾄﾞﾚｽ）

φ200ｱﾙﾐ製縦樋
焼付塗装（ﾊﾟｲﾄﾞﾚｽ）2本

φ200ｱﾙﾐ製縦樋
焼付塗装（ﾊﾟｲﾄﾞﾚｽ）2本

φ100ｱﾙﾐ製縦樋
焼付塗装（ﾊﾟｲﾄﾞﾚｽ）

補助散水栓

WWC2
床:M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
±0

BWC2
床:M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
±0

MWC2
床:M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
±0

ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ

手摺

汚垂石

床下点検口
600角

風除室5
床:M＋600角GT
±0

1型ｻｲﾝﾊﾟﾈﾙ

JOB NO.	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 繪建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 監理	1階平面詳細図（1）	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A－32
117117									

X1 X2 X3 X4

Y5 Y4 Y3

3,000 10,000 10,000 10,000

700 5,970

φ100アルミ製縦樋
焼付塗装（パウダーレス）

400 400 400 400 400

屋外階段
別図参照
UP

3,370 1,630

5,000 13,500

9,600 1,600 900 900 5,000 1,200

2,500 400 3,750 2,150 1,600 350 900 350

6,250 1,875 1,875 1,875 625 1,600 1,600

625 1,067 1,067 1,067

100角アルミ製縦樋
焼付塗装（パウダーレス）

1,420 1,420 1,420 625

消火器

SS

手動ロールスクリーン（遮光性）・ロールスクリーンBOX

手動ロールスクリーン

2,105 900 1,100 70 1,100 70 1,100 70

X4 X5 X6 X7

10,000 10,000 10,000 10,000

625 10,000 625 625 10,000 625

1,067 1,067 1,067 3,600 1,067 1,067 1,067 1,067 1,067 1,067 3,600 1,067 1,067 1,067

100角7t∠製縦樋
焼付塗装(ﾊﾟｳﾀﾞｰﾚｽ)

風除室4
床:M+400角GT
±0

風除室3
床:M+400角GT
±0

6,250

1,875 1,875 1,875 625 1,600 1,600 3,600 1,600 1,600 625 2,188 2,188 2,188 2,188 625 1,600 1,600 3,600 1,600 1,600 625 2,344 2,344

1,420 4,260 740

手動ロールスクリーン(遮光性)・ロールスクリーンBOX

消火器BOX

CIQエリア
床:M+t3.0VT
±0

475 560 900 1,615 1,450 2,950 6,025 6,040

3,075

排煙散水栓

X6 X7 X8 X9

10,000 10,000 10,000 10,000

625 10,000 625

1,067 1,067 1,067 3,600 1,067 1,067 1,067

風除室3
床:M+600角GT
±0

100角ｱﾙﾐ製縦樋
焼付塗装(ﾊﾟﾝﾄﾞﾚｽ)

625 1,420 1,420 1,420 625

4,260

2,188 2,188 625 1,600 1,600 3,600 600 1,600 625 2,344 2,344 2,344 1,172 1,172 2,344 2,344 2,344 2,344 625 1,600 1,600

740

ｽｸﾘｰﾝ(遮光性)・ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝBOX　手動ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ(遮光性)・ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝBOX　手動ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ(遮光性)・ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝBOX　手動ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ(遮光性)・ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝBOX　手動ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ(遮光

工芸ﾊﾟﾈﾙ　工芸ﾊﾟﾈﾙ

610 655 655 400

1,689 1,310 3,378 1,310 2,314 670

CIQエリア
床:M+t3.0VT
±0

SS(特防)　12,340

防球ネット　550 610

12,700

上部:防煙垂れ壁H800

1,400
300 800 300

400 650

消火器BOX

土嚢棚

1,050 300 1,650 300

待合ｽﾍﾟｰｽ
床:M+t

待合ｽﾍﾟｰｽ
床:M+t

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 瀧 淳	設計・監理	1階平面詳細図（4）	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A－35

X9 X10 X11 X12

10,000 10,000 10,000 10,000 3,000

625 10,000 625
1,067 1,067 1,067 3,600 1,067 1,067 1,067

100角ｱﾙﾐ製縦樋
焼付塗装(ﾊﾟｳﾀﾞｰﾚｽ)

φ100ｱﾙﾐ製縦樋
焼付塗装 (ﾊﾟｳﾀﾞｰﾚｽ)

風除室2
床:M+600角0
±0

7,500 2,500

2,344 2,344 625 1,600 1,600 3,600 1,600 1,600 625 2,292 2,292 2,292 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250

5,000 400

Y5

3,000

5,000

Y4

手動ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ(遮光性)・ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝBOX

工芸ﾊﾟﾈﾙ

655 655 1,310 670 2,262 655 655 1,310 3,378 2,314

PS

SS(特防)

6,665

売店
床:M+t3.0VT
±0

φ200ｱﾙﾐ製縦樋
焼付塗装(ﾊﾟｳﾀﾞｰﾚｽ) 2本

6,750

上部:防煙垂れ壁H800

12,700

待合ｽﾍﾟｰｽ
床:M+t3.0VT
±0

4,390 550 3,840

1,400 300 800 300

消火器BOX

工芸棚

上部:可動式防煙ｽｸﾘｰﾝH800

1,400 300 650 150

400 550

事務室
M+t6.5CPT
±0

受付ｶｳﾝﾀｰ

補助散水栓

BWC1
床:M+t2.0VS抗菌ﾀｲﾙ
±0

収納式
多目的ｼｰﾄ

手摺

鏡

床下点検口
600角

MWC1
床:M+t2.0VS抗菌ﾀｲﾙ
±0

SUS目地棒 3×12

L型ｻｲﾝﾊﾟﾈﾙ

有効900

2,500 2,150 10,000 7,850

姿見鏡

隔板

ﾋﾞｰﾁｪｱ

φ200ｱﾙﾐ製縦樋
焼付塗装(ﾊﾟｳﾀﾞｰﾚｽ) 2本

13,500

Y3

待合ｽﾍﾟｰｽ
床:M+t3.0VT

JOB NO.	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社	一級建築士 第276761号 浦 淳	縮尺	図番
117117				浦建築研究所	床:M+t3.0VT(600角)	A1:1/50 A3:1/100	A－36

1階平面詳細図（5）

待合スペース
床：M＋t3.0VT
±0

上部：可動式防煙スクリーンH800

工芸棚

消火器BOX

PS

上部：防煙垂れ壁H800

エスカレーター
（別途工事）

上部：可動式防煙スクリーンH800

駆け上がり防止板
手摺：t1.0SUS.HL曲げ加工
腰：t12強化ガラス@1500

誘導手摺

観光案内
床：M＋t3.0VT
±0

総合案内サイン

補助散水栓

階段室1
別図参照

SS(特防)

風除室1
床：M＋600角GT
±0

上部：防煙垂れ壁H800

EV
（20人乗り）
別途工事

階段室2
別図参照

特防

南室
床：M＋600角GT
±0

風除室6
床：M＋600角GT
±0

φ200アルミ製縦樋
焼付塗装（ハンドレス）2本

φ200アルミ製縦樋
焼付塗装（ハンドレス）2本

マンホールφ600

100角アルミ製縦樋
焼付塗装（ハンドレス）

収納式
多目的シート

BWC1
床：M＋t2.0VS抗菌タイプ
±0

MWC1
床：M＋t2.0VS抗菌タイプ
±0

WWC1
床：M＋t2.0VS抗菌タイプ
±0

授乳室
床：M＋t2.0VS抗菌タイプ
±0

ハンドシャワールーム
床：M＋t2.0VS抗菌タイプ
±0

床下点検口
600角

姿見鏡

手摺

隔板

ベビーチェア

鏡

カウンター

流し台

L型サインパネル

SUS目地棒 3×12

床：M＋t3.0VT(600角)

サインシート

床下点検口
600角

UP

X11 X12 Y1 Y2 Y3

| | | |

CIOエリア
床：M＋t3.0VT
±0

倉庫2
床：M＋t2.0VS
±0

倉庫3
床：M＋t2.0VS
±0

倉庫4
床：M＋t2.0VS
±0

観光案内
床：M＋t3.0VT
±0

階段室1
別図参照

待合
床：M

フットサルコート 18M×38M

フットサルコート 22M×42M

防球ネット

防球ネット
溜りスペース

消火器BOX

SUS目地棒 3×12

φ100アルミ製縦樋
焼付塗装（ハントレス）

SS(特防)

上部：防煙垂れ壁H800

工事棚

PS

総合案内サイン

補助散水栓

UP

10,000
5,800 1,200 1,000 800 1,200 6,875 4,875 1,125 1,200 800 6,875 800 1,200 1,750 3,050 6,250 1,200 2,000
200 800
1,000 2,333 1,000 1,167 1,167 1,000 2,333 1,000 1,375 958 1,000 1,167 1,167 1,000 1,583 750 1,000 3,020 1,000 480
10,000 6,875 3,125 3,750 6,250
10,000 10,000 10,000
650 400 600 1,050 600 1,650
12,150
12,340
610 550 1,500 550
500 700 300 150 4,400 350
500 1,200 800 1,250 625 625 1,067 1,067 1,067
1,067 1,067 1,067
1,445 1,445 1,445 1,335 625

X6 X7 X8

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
						図番	A-38

φ100アルミ製縦樋
焼付塗装（ハンド部 取面詳細図（7）

CIQエリア
床:M+t3.0VT
±0

WWC2
床:M+t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
±0

BWC2
床:M+t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
±0

MWC2
床:M+t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
±0

風除室5
床:M+600角GT
±0

CIQ事務室
床:M+t2.0VS
±0

倉庫2
床:M+t2.0VS
±0

倉庫3
床:M+t2.0VS
±0

補助散水栓
消火器BOX
L型ｻｲﾝﾊﾟﾈﾙ
SUS目地棒 3×12
ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ
手摺
汚垂石
床下点検口 600角
φ100ｱﾙﾐ製縦樋 焼付塗装 (ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ)
φ200ｱﾙﾐ製縦樋 焼付塗装(ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ) 2本

X4 X5 X6 X7

JOB NO.	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 建建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	1階平面詳細図（8）	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A－39
117117				検図			

フットサルコート 18M×38M
フットサルコート 22M×42M
SUS目地棒 3×12 消火器BOX
防球ネット
溜りスペース
観光案内
床:M+t3.0VT
±0
倉庫4
床:M+t2.0VS
±0
階段室1
別図参照
総合案内サイン
補助散水栓
SS(特防)
UP
PS
駆け上がり防止板
手摺:t1.0SUS.HL曲げ加工
腰:t12強化ｶﾞﾗｽ@1500
上部:可動式防煙ｽｸﾘｰﾝH800
上部:防煙垂れ壁H800
誘導手摺
エスカレーター
(別途工事)
流し台
ハウスルーム
床:M+t2.0VS抗菌タイプ
±0
床下点検口
600角
カウンター
鏡
手摺
姿見鏡
南室
床:M+600角GT
±0
特防
707案内サイン
EV
(20人乗り)
別途工事
階段室2
別図参照
φ100ｱﾙﾐ製縦樋
焼付塗装(ﾊﾟｳﾀﾞｰﾚｽ)
風除室1
床:M+600角GT
±0
X8
X9
X10
X11

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標題	1階平面詳細図（9）	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A－40

送迎デッキ

床：再生木デッキt30
鋼製床組下地(樹脂製束ﾌﾟﾚｰﾄ)
t1.5塩ビシート防水
t25ポリスチレンフォーム
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え

FL±0

手摺：溶融亜鉛ﾒｯｷ＋耐候性塗料塗
笠木：St.φ101.6×t3.2
支柱：St.FB-12×60～120@1200
格子受：St.FB-9×38
格子：St.FB-9×38@80内外

ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え

FL±0

廊下

床：t7.8CPT
OAﾌﾛｱｰ(H350)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え

FL±0

消火栓BOX

手動開閉ｶｰﾃﾝ防煙垂れ壁 SS(特防)

特防

上部：防煙垂れ壁H800

会議室2

床：t7.8CPT
OAﾌﾛｱｰ(H350)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え

FL±0

OAﾌﾛｱｰ下地：t7.8CPT貼

ﾓﾙﾀﾙ下地：t7.8CPT貼

倉庫

床：t2.0VS
二重床(H350)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え

FL±0

PS

階段室1

別図参照

DN

UP

ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ SUS製 φ100

誘導手摺

エスカレーター
(別途工事)

補助散水栓

SUS目地棒 3×12

有効900

WWC
床：：M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
FL±0

BWC
床：：M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
FL±0

ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ

手摺

姿見鏡

MWC
床：：M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
FL±0

汚垂石

ホール

床：M＋t7.8CPT

FL±0

JOB NO.	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	2階平面詳細図（1）	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A－41
117117					検図			

X7 X8 X9 X10

Y5 Y4 Y3

10,000 10,000 10,000 10,

2,500 5,000 2,500 2,500 5,000 2,500 2,500 5,1

9,630 10,000 10,

930 105 665 265

250 3,000 1,750 1,000

ルーフドレン SUS製 φ100

ルーフドレン SUS製 φ100

手摺：溶融亜鉛メッキ＋耐候性塗料塗
笠木：St.φ101.6×t3.2
支柱：St.FB-12×60～120@1200
格子受：St.FB-9×38
格子：St.FB-9×38@80内外

665 5,000 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,250 1,000 250

450 4,100 450 450 5,350 450 6,350 450 4,350 450

手動遮光ｶｰﾃﾝ・ｶｰﾃﾝBOX SS(特防)

手動遮光ｶｰﾃﾝ・ｶｰﾃﾝBOX

スチールカバー：t1.6スチール 不燃化粧シート貼

スチールカバー：t1.6スチール 不燃化粧シート貼

手動遮光ｶｰﾃﾝ・ｶｰﾃﾝBOX

手動遮光ｶｰ

450 4,100 450 450 5,350 450

SS(特防)

スライディングウォール(遮音タイプ)

4,120 440 440 5,370

600

送迎デッキ

床：再生木デッキt30
鋼製床組下地(樹脂製束ﾌﾟﾚｰﾄ)
t1.5塩ビシート防水
t25ポリスチレンフォーム
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え

FL±0

13,500 13,500 7,250 5,250

レストラン

床：t7.8CPT
OAﾌﾛｱｰ(H350)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ

FL±0

7,500 2,500 6,250 3,750

345 7,155 97 2,306 97 6,056 97

7,083 72 283 1,600 283 800 5,256

10 10 10

特防 特防

450 450 450 450

スライディングウォール(遮音タイプ)

1,200 1,200

5,310 4,850

会議室1

床：t7.8CPT
OAﾌﾛｱｰ(H350)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ

FL±0

厨房

床：t2.0VS
二重床(H350)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ

FL±0

700 40 1,200 特防 消火栓BOX

廊下

床：t7.8CPT
OAﾌﾛｱｰ(H350)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ

FL±0

22 22 22 22

250 2,740 250 3,240

門型ｻｲﾝﾊﾟﾈﾙ
t1.6ｽﾁｰﾙ曲げ加工
化粧ｼｰﾄ貼

500 10 1,600 10 500 370 370 1,913 10 1,913 10 1

640 2,740

860 3,200

550 50 1,550 1,550 50

誘導手摺

PS

650 2,585

750 1,300 850 100 1,000 750 640 750 1,275 750 750

25 25

水

床：t7
OA
コン
FL

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計	検図	２階平面詳細図（２）	縮尺 A1：1/50 A3：1/100	図番 A－32

X9 X10 X11 X12

Y5 Y4 Y3

ルーフドレン SUS製 φ100

手動遮光ｶｰﾃﾝ・ｶｰﾃﾝBOX

スチールカバー：t1.6スチール
不燃化粧シート貼

SS(特防)

スライディングウォール(遮音タイプ)

600

竪樋：φ100VP 防露巻
(掃除口付) 2本

門型サインパネル
t1.6スチール曲げ加工
化粧シート貼

誘導手摺

手摺：t1.0SUS.HL曲げ加工
腰：t12強化ガラス@1500

補助手摺：φ34SUS.HL
ガラス支持手摺金物@750

消火器BOX

特防

PS

レストラン

床：t7.8CPT
OAフロア-(H350)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

厨房

床：t2.0VS
二重床(H350)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

廊下

床：t7.8CPT
OAフロア-(H350)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

ホール

床：t7.8CPT
OAフロア-(H350)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

セミナールーム

床：t7.8CPT
OAフロア-(H350)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 浦建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 構造	2階平面詳細図（3）	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図番	A－43

廊下
床：t7.8CPT
OAフロア－(H350)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ
FL±0

倉庫
床：t2.0VS
二重床(H350)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ
FL±0

ホール
床：t7.8CPT
OAフロア－(H350)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ
FL±0

エスカレーター
（別途工事）

誘導手摺

手摺：t1.0SUS.HL曲げ加工
腰：t12強化ｶﾞﾗｽ@1500

補助手摺：φ34SUS.HL
ｶﾞﾗｽ支持手摺金物@750

消火器BOX

特防

上部：防煙垂れ壁H800

PS

CPT貼

T貼

OAフロア－下地：t7.8CPT貼

ﾓﾙﾀﾙ下地：t7.8CPT貼

補助散水栓

遮音壁：t10ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填

ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ SUS製 φ100

竪樋：φ100VP 防露巻
（掃除口付）2本

ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ：t1.6ｽﾁｰﾙ
不燃化粧ｼｰﾄ貼

手摺兼光ｹﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ：ｽﾁｰﾙ

ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙBOX

空調機械室
床：M＋塗り床
FL±0

WWC
床：：M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
FL±0

BWC
床：：M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
FL±0

MWC
床：：M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
FL±0

ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪ7

手摺

汚垂石

ホール
床：M＋t7.8CPT
FL±0

EV
（20人乗り）
別途工事

階段室1
別図参照

階段室2
別図参照

UP

DN

X9 X10 X11 X12

Y1 Y2 Y3

JOB NO.	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 監理	2階平面詳細図（4）	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A－44
117117								

事務室 D

床：t6.5CPT
OAフロア-(H100)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

事務室 E

床：t6.5CPT
OAフロア-(H100)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

事務室 F

床：t6.5CPT
OAフロア-(H100)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

倉庫

床：t4.0VT
OAフロア-(H100)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

会議室

床：t6.5CPT
OAフロア-(H100)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

遮音壁：t100ウレタン充填

空調機械室

床：M＋塗り床

FL±0

廊下

床：M＋t4.0VT

FL±0

WWC

床：：M＋t2.0VS抗菌タイプ

FL±0

BWC

床：：M＋t2.0VS抗菌タイプ

FL±0

MWC

床：：M＋t2.0VS抗菌タイプ

FL±0

給湯室

床：M＋t2.0VS抗菌タイプ

FL±0

階段室 1

別図参照

階段室 2

別図参照

EV
(20人乗り)
別途工事

SUS目地棒 3×12

OAフロア-下地t4.0VT

モルタル下地t4.0VT

OAフロア-下地t6.5CPT貼

モルタル下地t6.5CPT貼

補助散水栓

消火器BOX

PS

DN

落下防止手摺
SUSφ34

特防

JOB NO.	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 湘 淳	設計 ・ ・ 構造	3階平面詳細図（1）	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A－45
117117								

X8 X9 X10 X11

Y5 Y4 Y3

落下防止手摺 SUSφ34

縦型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ(手動)・ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞBOX

SS(特防)

防煙垂れ壁 H800

消火器BOX

事務室A
床:t6.5CPT
OAフロア-(H100)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ
FL±0

事務室C
床:t6.5CPT
OAフロア-(H100)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ
FL±0

事務室D
床:t6.5CPT
OAフロア-(H100)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ
FL±0

事務室E

遮音壁 H1000 ｽﾁｰﾙ枠 網入

SUS目地棒 3×12

測室
床:t9.5CPT
OAフロア-(H100)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ
FL±0

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀬建築研究所	一級建築士 第276761号 瀬 淳	設計・監理	３階平面詳細図（２）	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図番	A－46

X9 X10 X11 X12

Y5 Y4 Y3

縦型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ（手動）・ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞBOX

落下防止手摺 SUSφ34

事務室C
床：t6.5CPT
OAﾌﾛｱｰ(H100)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ
FL±0

事務室A
床：t6.5CPT
OAﾌﾛｱｰ(H100)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ
FL±0

事務室D
床：t6.5CPT
OAﾌﾛｱｰ(H100)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ
FL±0

応接室
床：t9.5CPT
OAﾌﾛｱｰ(H100)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ
FL±0

前室
床：t9.5CPT
OAﾌﾛｱｰ(H100)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ
FL±0

事務室B
床：t6.5CPT
OAﾌﾛｱｰ(H100)
ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ
FL±0

防煙垂れ壁 H800

SUS目地棒 3×12

SUS目地棒 3×12 ｸﾘｱｶﾗｰ充填

t9.5CPT貼分け

遮煙壁：t100ｸﾘｱｶﾗｰ充填

消火器BOX

竪樋：φ100VP 防露巻
（掃除口付）2本

縦型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ（手動）・ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞBOX

JOB NO.	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所 一級建築士 第276761号 瀧 淳	設計 ・ ・ 構造	3階平面詳細図（3）	縮尺 A1：1/50 A3：1/100	図番 A－47
117117							

事務室 D

床：t6.5CPT
OAフロア－(H100)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

事務室 E

床：t6.5CPT
OAフロア－(H100)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

事務室 F

床：t6.5CPT
OAフロア－(H100)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

倉庫

床：t4.0VT
OAフロア－(H100)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

会議室

床：t6.5CPT
OAフロア－(H100)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

事務室 B

床：t6.5CPT
OAフロア－(H100)
コンクリート金鏝押エ

FL±0

廊下

床：M＋t4.0VT

FL±0

WWC

床：：M＋t2.0VS抗菌タイプ

FL±0

BWC

床：：M＋t2.0VS抗菌タイプ

FL±0

MWC

床：：M＋t2.0VS抗菌タイプ

FL±0

給湯室

床：M＋t2.0VS抗菌タイプ

FL±0

空調機械室

床：M＋塗り床

FL±0

階段室 1

別図参照

階段室 2

別図参照

EV
(20人乗り)
別途工事

流し台

SUS目地棒 3×12

補助散水栓

OAフロア－下地t4.0VT

モルタル下地t4.0VT

消火器BOX

PS

手摺

汚垂石

落下防止手摺
SUSφ34

遮音壁：t100ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填

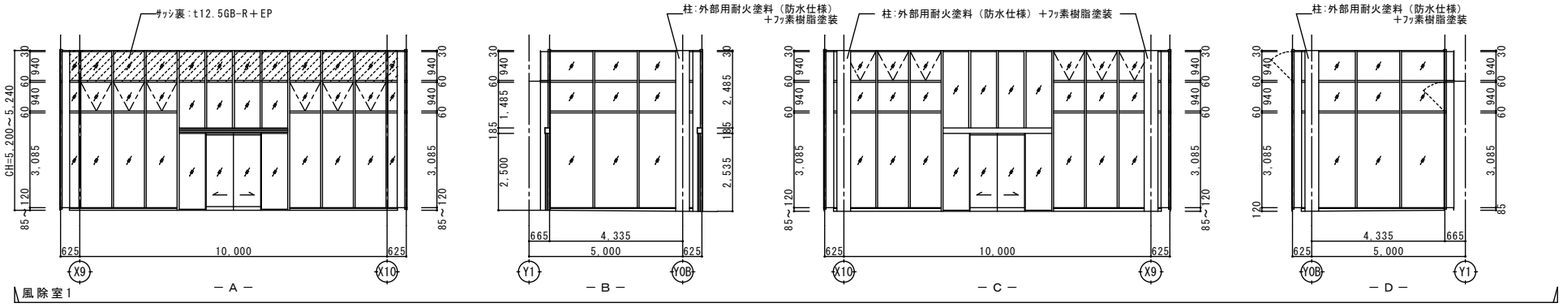
竪樋：φ100VP 防露巻
(掃除口付) 2本

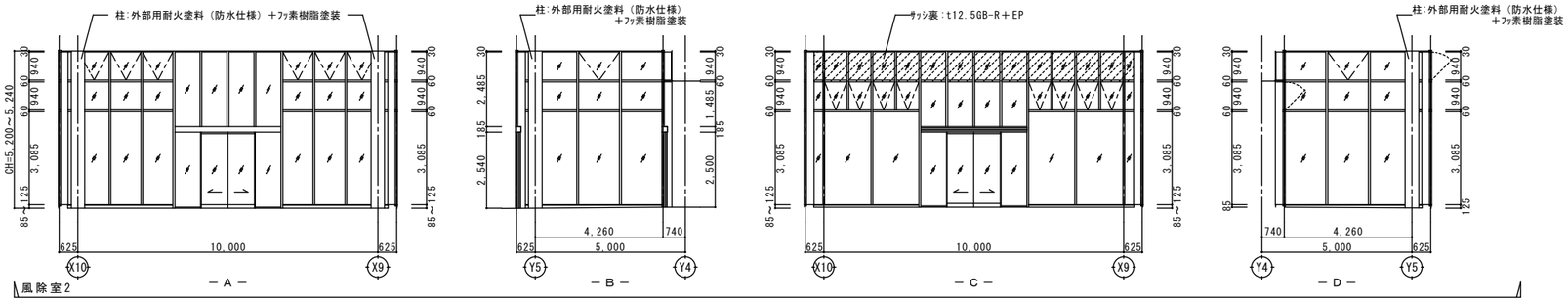
特防

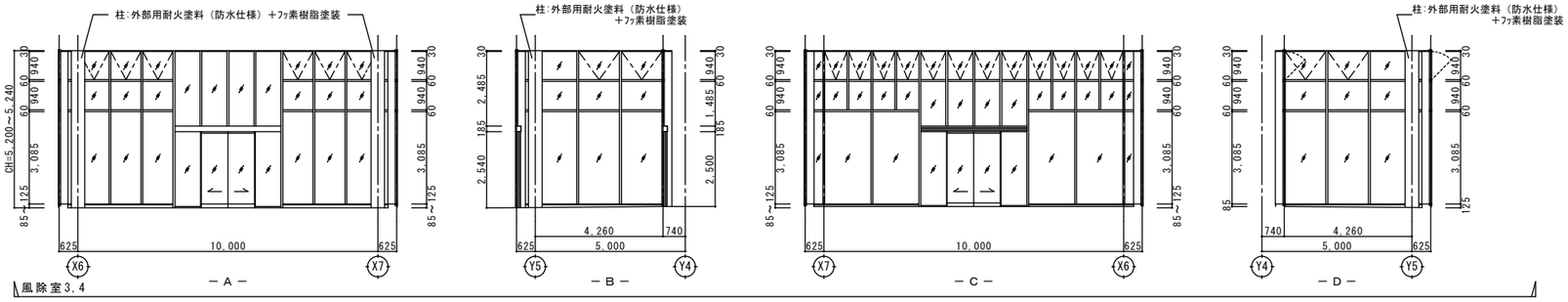
DN

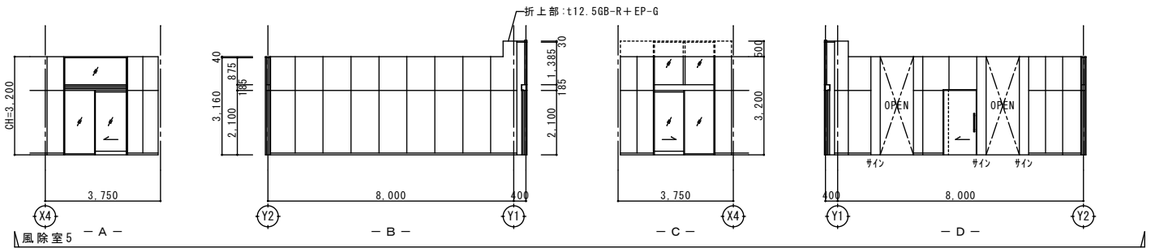
X08：ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ(電気)

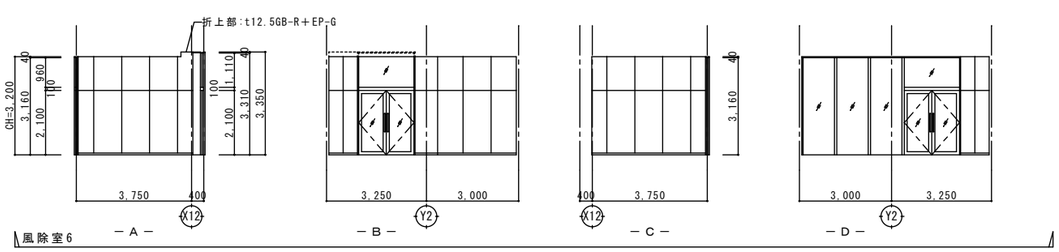
| | | |

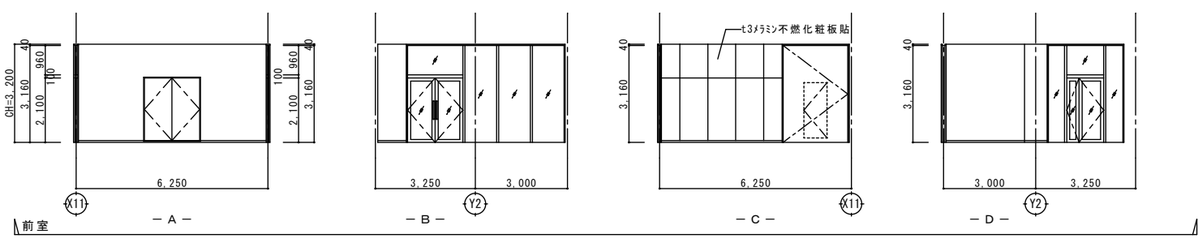








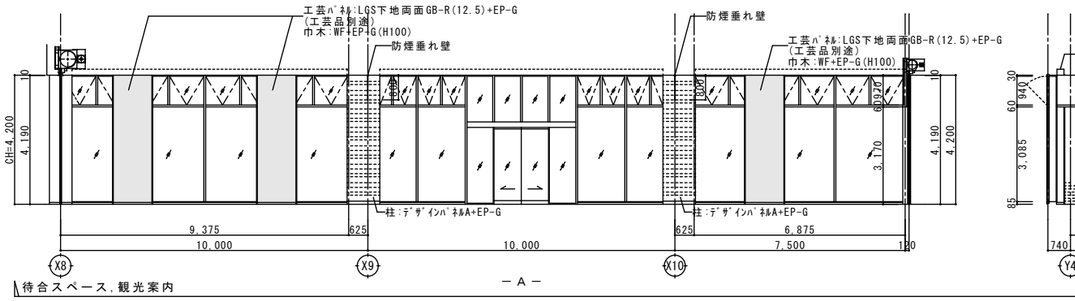


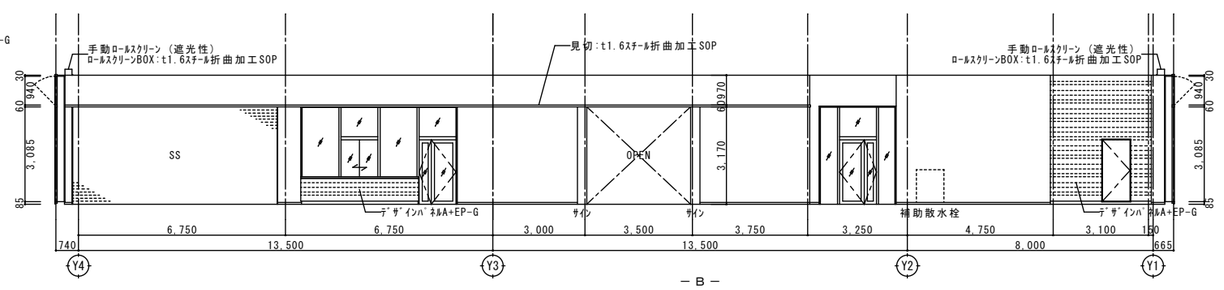


室名	風除室1～4
床	M＋600角GT
巾木	t9.5GB-R＋t12.0DR(ｽﾄﾗｲﾌﾟ)
壁	柱：外部用耐火塗料（防水仕様）＋ﾌｯ素樹脂塗装
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	A　CH=5,200～5,240

室名	風除室5～6
床	M＋600角GT
巾木	SUS　H=60
壁	GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼 GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り ＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	E　CH=3,200

室名	前室
床	M＋600角GT
巾木	SUS　H=60
壁	GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼 GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り ＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼 一部：C　※不燃
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	E　CH=3,200

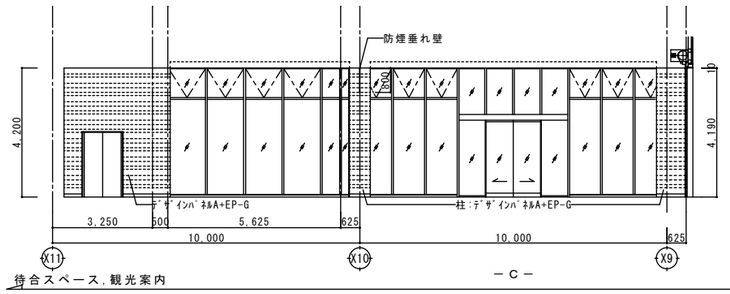


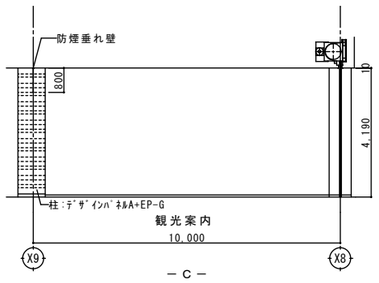


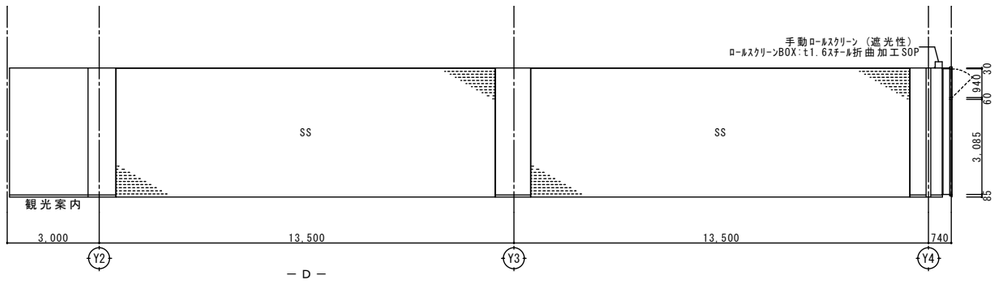
待合スペース,観光案内

－A－

－B－





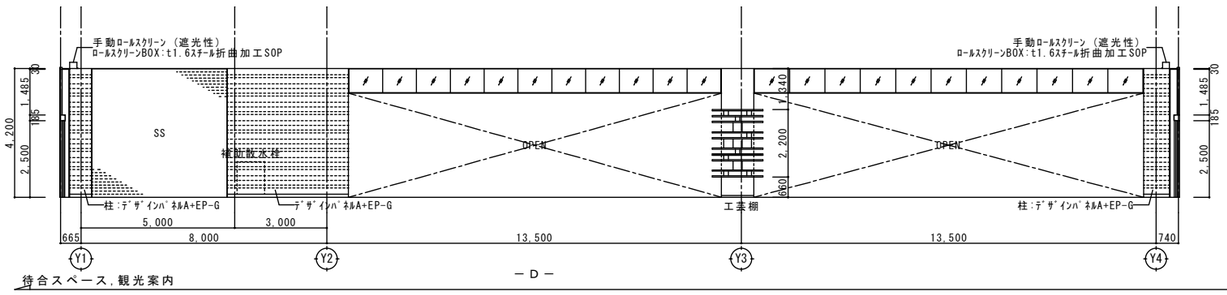


待合スペース,観光案内

－C－

－C－

－D－

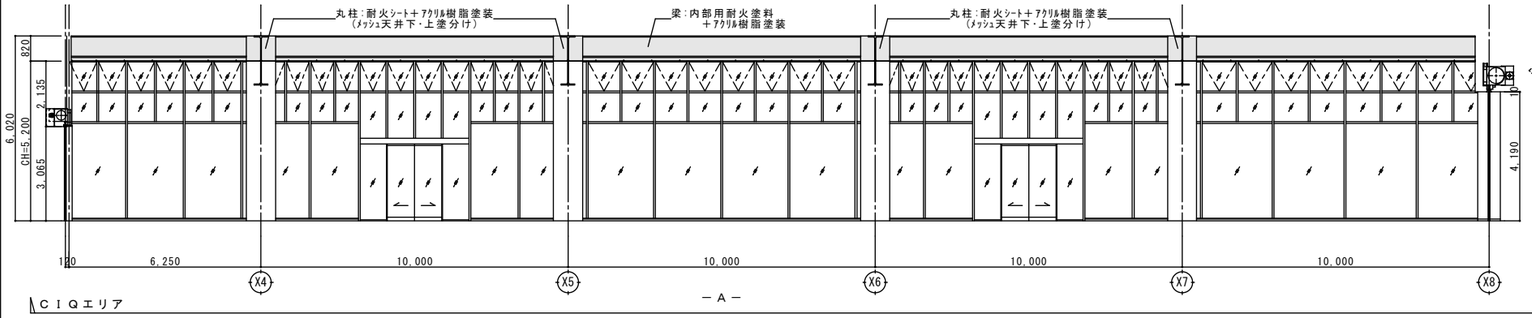


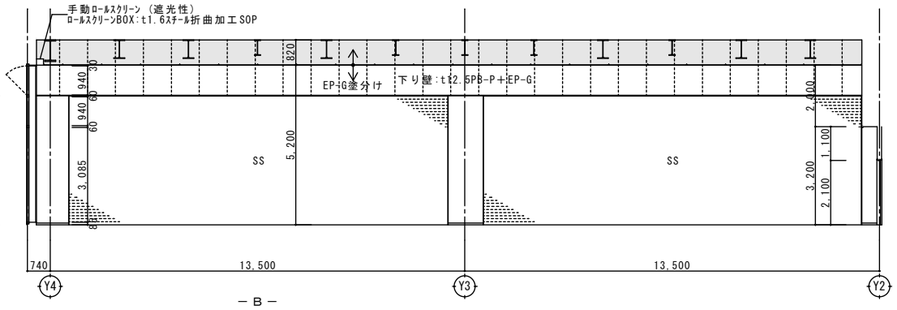
待合スペース,観光案内

－D－

室名	待合スペース,観光案内
床	M+t3.0VT
巾木	VF H=60、ﾊﾟﾈﾙ部:W+EP-G H=100
壁	柱:GB-R(12.5)+C GB-R(12.5+9.5)+C GB-F(12.5)+GB-RH(9.5)両面張り+C 一部:ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙA+EP-G
天井	t9.5GB-R+t9.0DR 照明部:t9.5GB-R+EP-G
廻縁	E CH=4,200

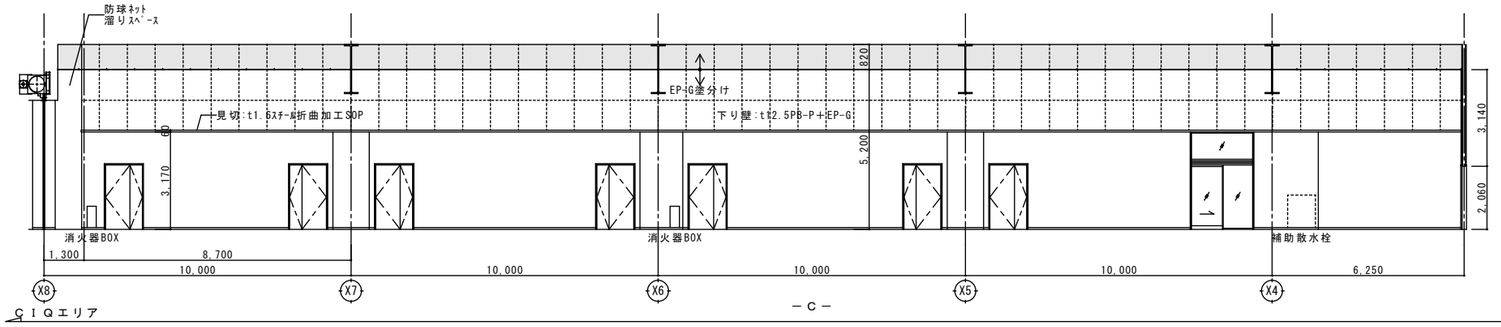
室名	ＣＩＱエリア
床	M+t3.0VT
巾木	VF H=60、ﾊﾟﾈﾙ部:W+EP-G H=100
壁	丸柱:耐火ｼｰﾄ+ｱｸﾘﾙ樹脂塗装 柱:GB-R(12.5)+C GB-R(12.5+9.5)+C GB-F(12.5)+GB-RH(9.5)両面張り 一部:ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙB+EP-G
天井	ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭ天井(天井懐内SOP) 梁:内部用耐火塗料+ｱｸﾘﾙ樹脂塗装 下り壁:t12.5PB-P+EP-G t50ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填
廻縁	E CH=5,200(ﾒｯｼｭ下)、4,470(梁下)

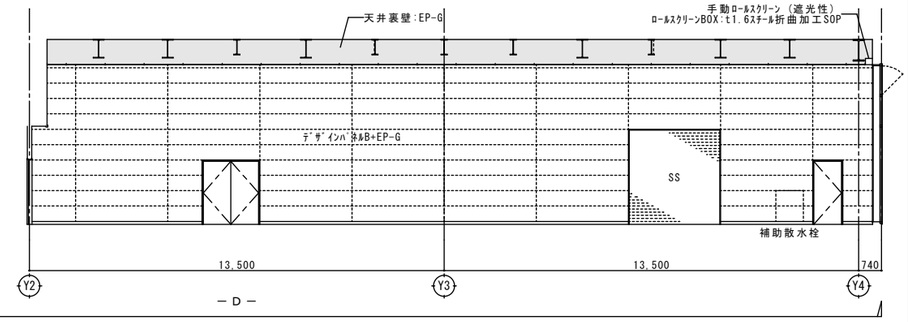




－A－

－B－

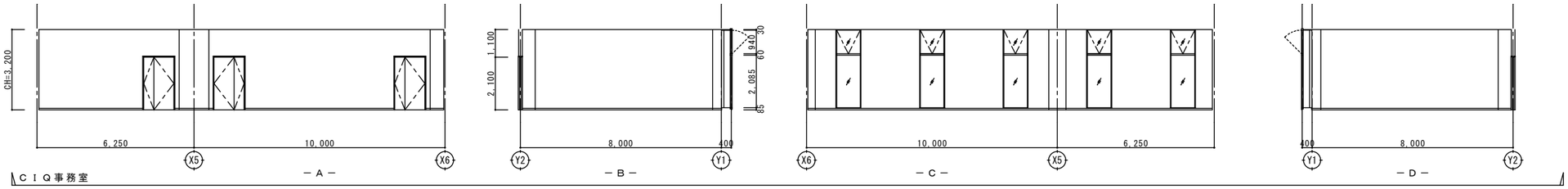




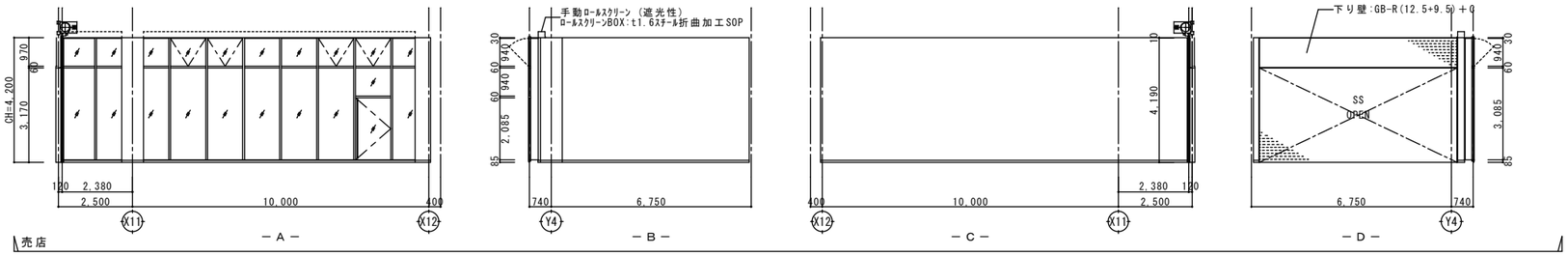
－C－

－D－

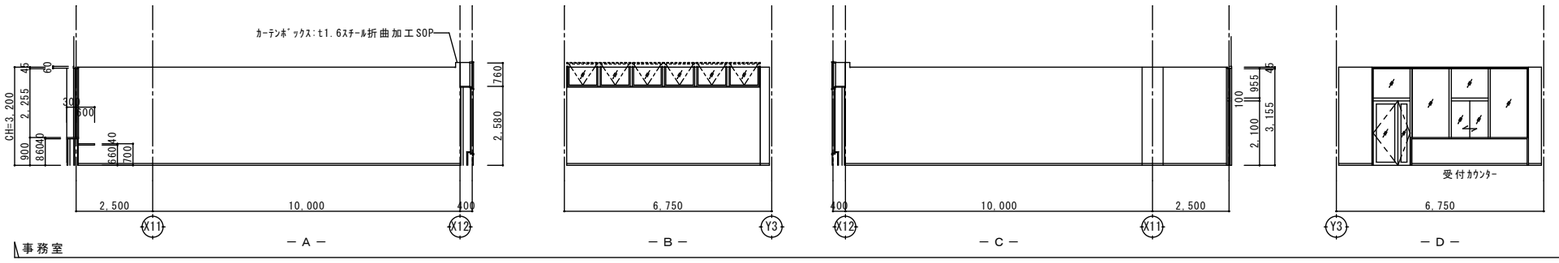
JOB NO.	年	月										
117117	2018	3	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社	湘建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計	・ ・	検図	1階展開図（２）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番	A－50



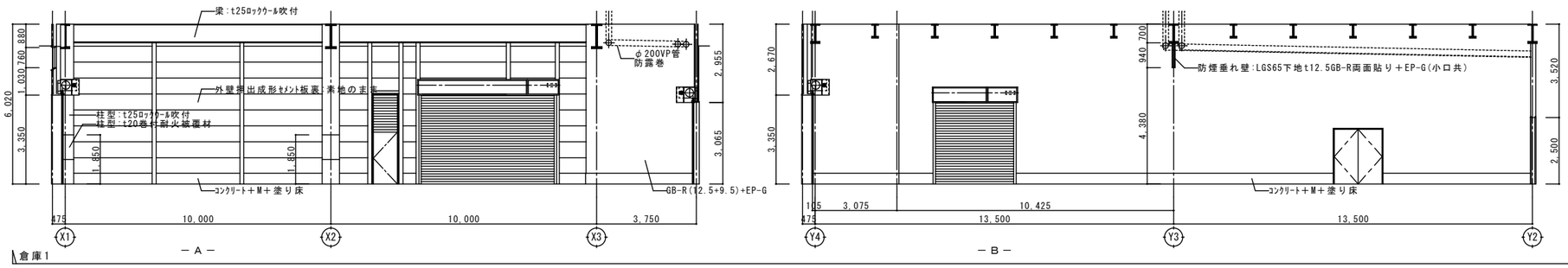
ＣＩＱ事務室



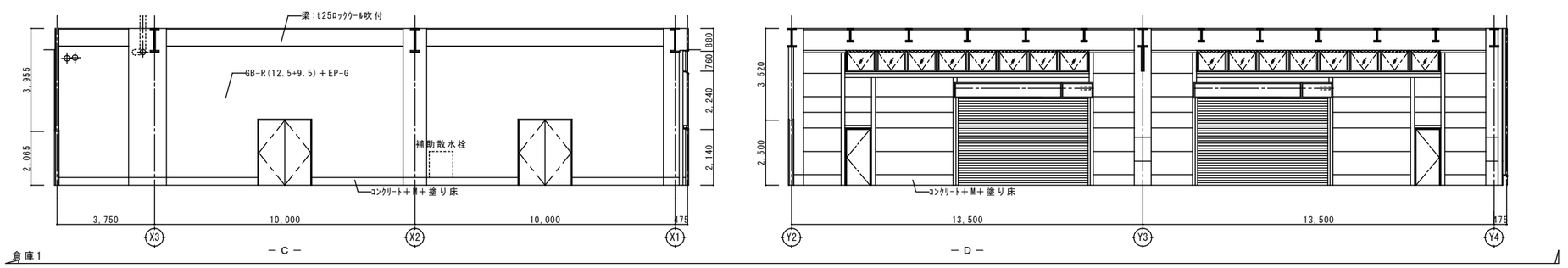
売店



事務室



倉庫1



倉庫1

室名	ＣＩＱ事務室	
床	M＋t2.0VS	
巾木	ＶＦ	H=60
壁	柱・外壁側:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C	
天井	t9.5GB-D	
廻縁	E	CH=3,200

室名	売店	
床	M＋t3.0VT	
巾木	ＶＦ	H=60
壁	柱・外壁側:GB-R(12.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C	
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR	
廻縁	E	CH=4,200

室名	事務室	
床	M＋t6.5CPT	
巾木	ＶＦ	H=60
壁	柱・外壁側:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C	
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR	
廻縁	E	CH=3,200

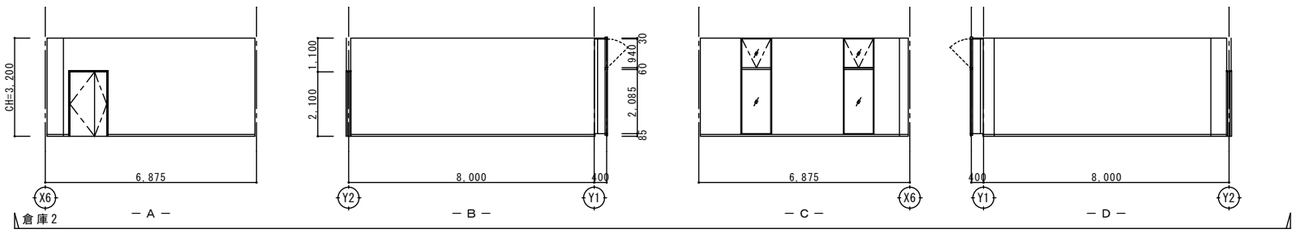
室名	倉庫1	
床	M＋塗り床	
巾木	M＋塗り床	H=300
壁	柱:t20巻付耐火被覆材(H1,850) 上部t25ロックウール吹付のまま 外壁側:素地のまま GB-R(12.5+9.5)＋EP-G	
天井	天井表シ＋SOP	
廻縁		

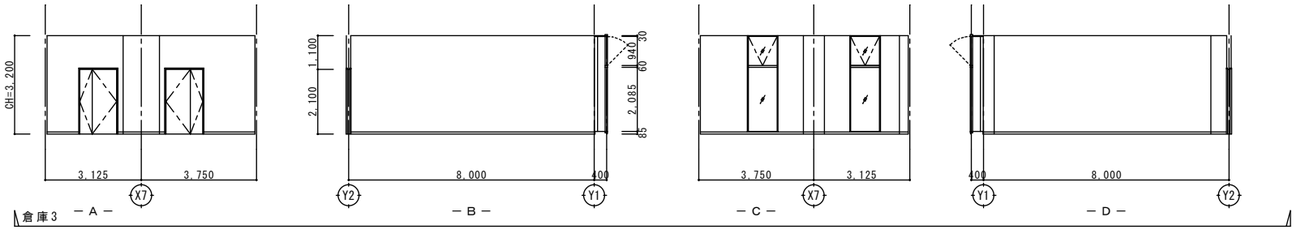
JOB NO.	年月	工事名	設計事務所	構造	図名	縮尺	図番
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	・ ・	１階展開図（３）	A1:1/100 A3:1/200	Ａ－51

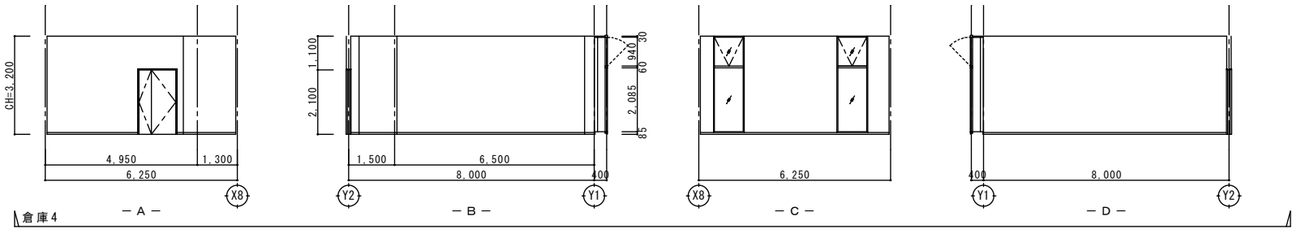
室名	倉庫2～4
床	M＋t2.0VS
巾木	ＶＦ　H=60
壁	柱・外壁側:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C
天井	t9.5GB-D
廻縁	Ｅ　CH=3,200

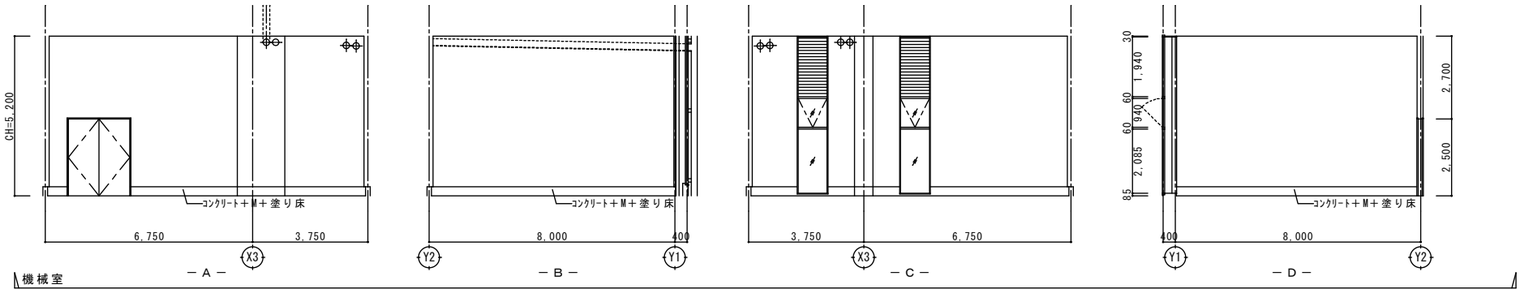
室名	機械室
床	M＋塗り床
巾木	M＋塗り床　H=300
壁	柱・外壁側:GB-R(12.5)＋t50GBC GB-R(12.5+9.5)＋t50GBC
天井	t9.5GB-R＋t50GBC
廻縁	CH=5,200

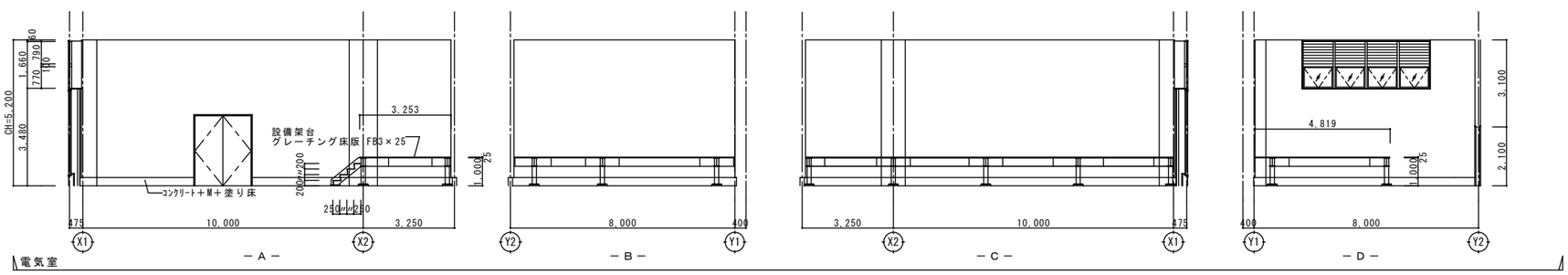
室名	電気室
床	M＋塗り床
巾木	M＋塗り床　H=300
壁	柱・外壁側:GB-R(12.5)＋t50GBC GB-R(12.5+9.5)＋t50GBC
天井	t9.5GB-R＋t50GBC
廻縁	CH=5,200



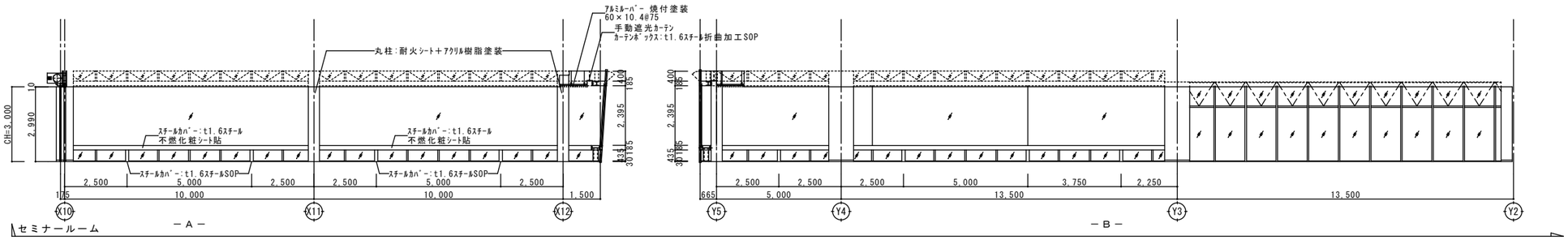


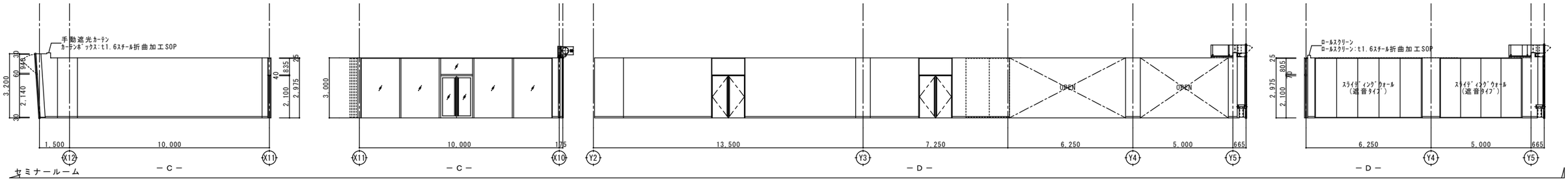




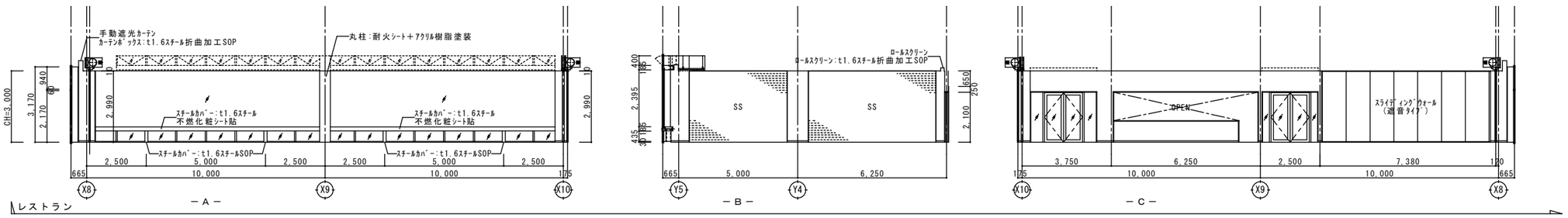


JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	1階展開図（4）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 A－52



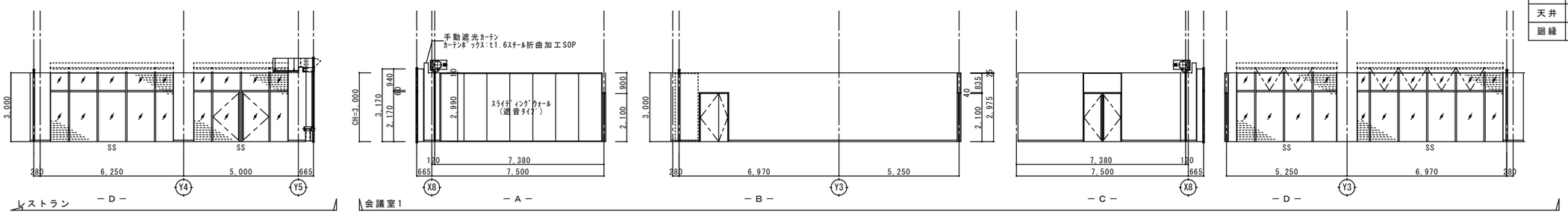


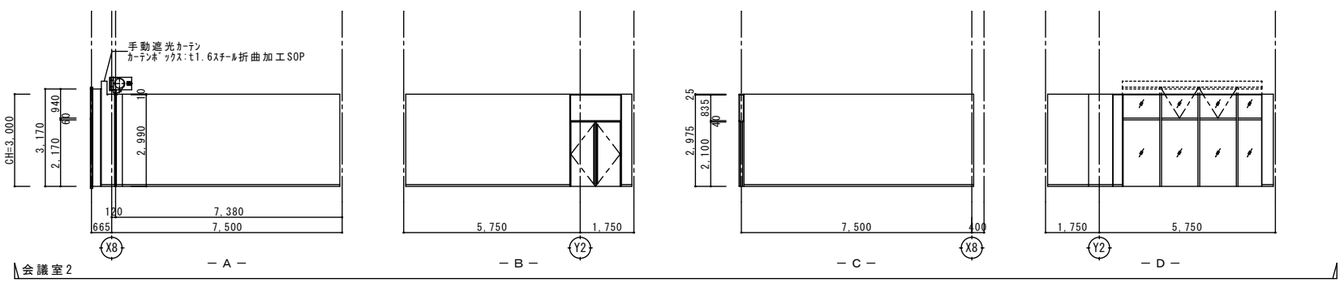
室名	セミナールーム
床	t7.8CPT OAフロア-(H350)　コンクリート金鏝押エ　防塵塗料
巾木	ＶＦ　H=60
壁	丸柱:耐火シート＋アクリル樹脂塗装 柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR 照明部:t9.5GB-R＋EP-G 窓側折上部:t9.5GB-P＋EP-G
廻縁	E　CH=3,000



室名	レストラン
床	t7.8CPT OAフロア-(H350)　コンクリート金鏝押エ　防塵塗料
巾木	ＶＦ　H=60
壁	丸柱:耐火シート＋アクリル樹脂塗装 柱・外壁側:GB-R(12.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR 照明部:t9.5GB-R＋EP-G 窓側折上部:t9.5GB-P＋EP-G
廻縁	E　CH=3,000

室名	会議室1,2
床	t7.8CPT OAフロア-(H350)　コンクリート金鏝押エ　防塵塗料
巾木	ＶＦ　H=60
壁	丸柱:耐火シート＋アクリル樹脂塗装 柱・外壁側:GB-R(12.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C ※不燃
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	E　CH=3,000



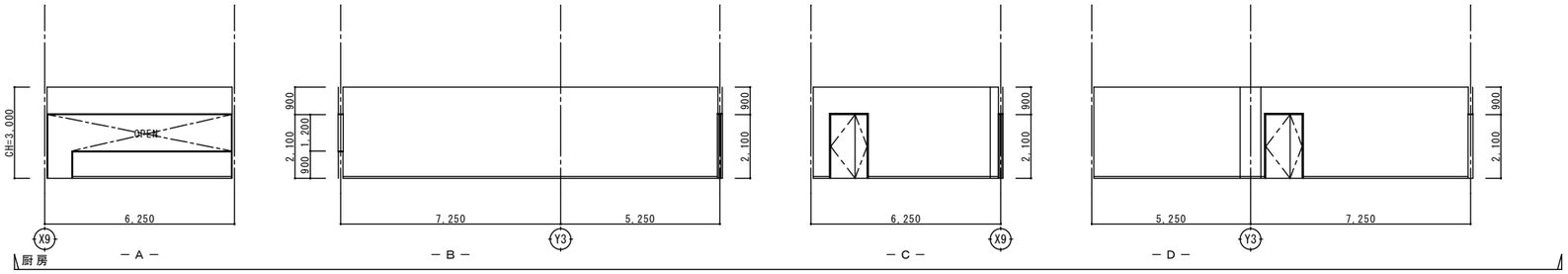


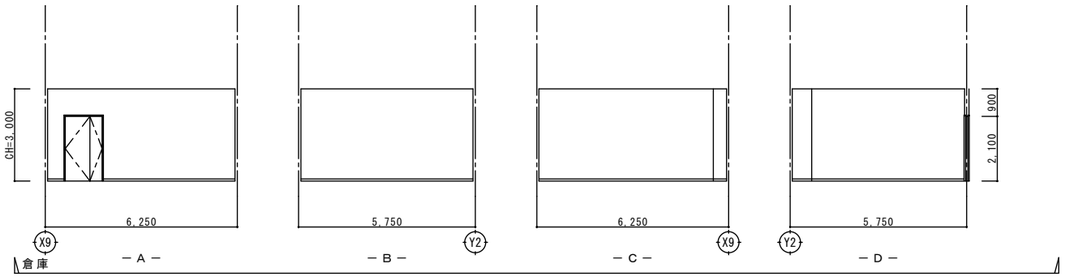
| JOB NO. | 年 | 月 | | |

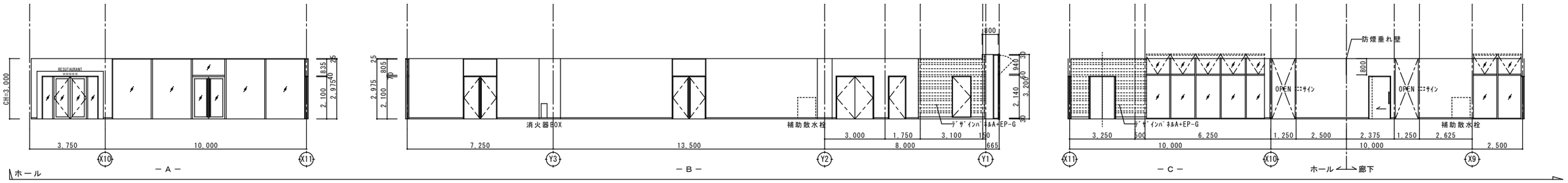
室名	厨房
床	t2.0VS防滑ﾀｲﾌﾟ（厨房用） 二重床(H350)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ　塗膜防水
巾木	ＶＦ巻上げ　H=200
壁	柱:GB-R(12.5)＋t6化粧ｹｲｶﾙ板 GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り ＋t6化粧ｹｲｶﾙ板 ※不燃
天井	t6.0KB目透シ＋EP-G
廻縁	E　CH=3,000

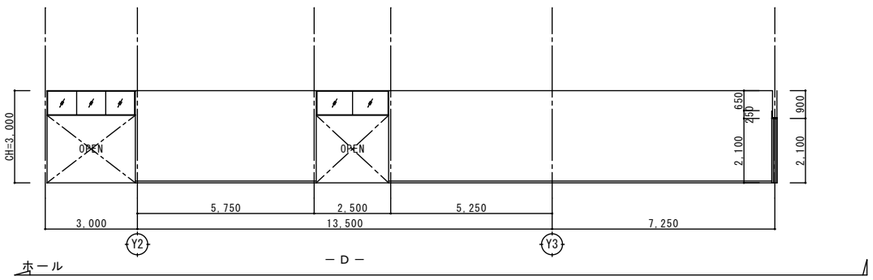
室名	倉庫
床	t2.0VS 二重床(H350)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ　防塵塗料
巾木	ＶＦ　H=60
壁	柱:GB-R(12.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C ※不燃
天井	t9.5GB-D
廻縁	E　CH=3,000

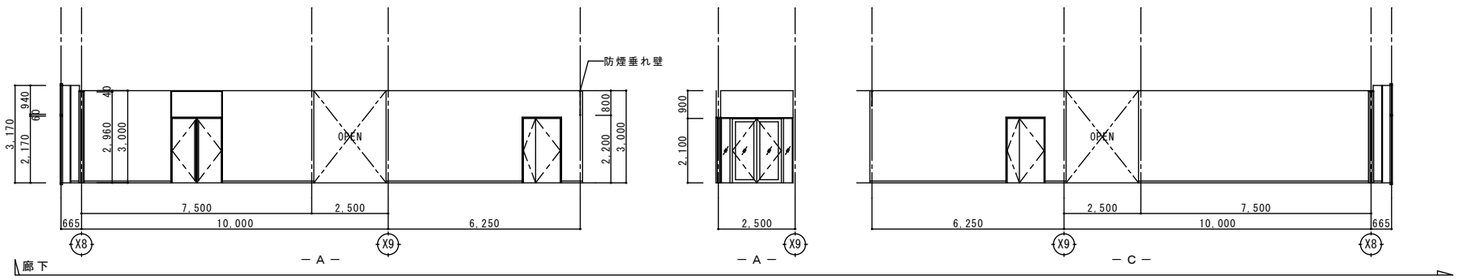
室名	ホール，廊下
床	t7.8CPT OAﾌﾛｱｰ(H350)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ　防塵塗料
巾木	ＶＦ　H=60
壁	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C EV廻り:ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙA+EP-G
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	E　CH=3,000

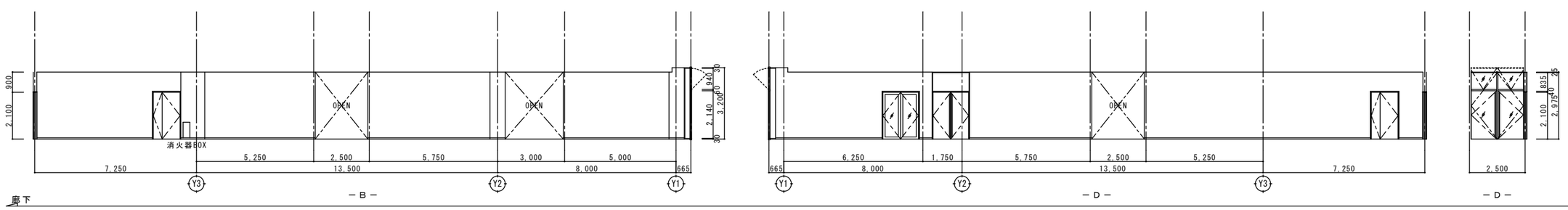












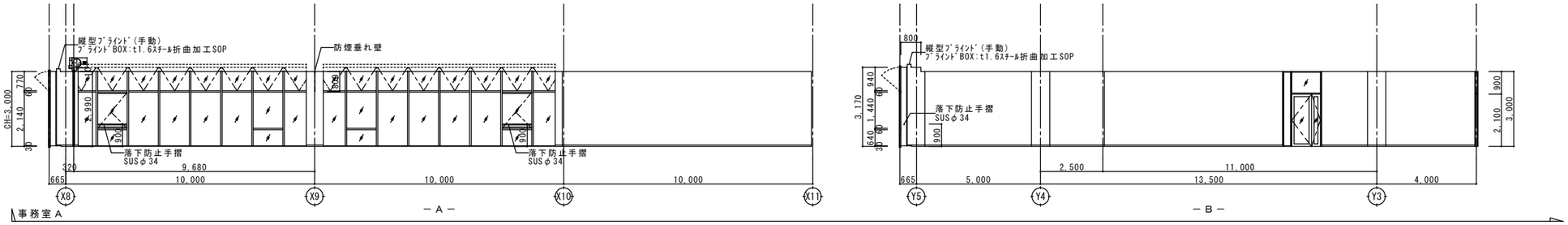
JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 湘建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標題 2階展開図（2）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 A－54

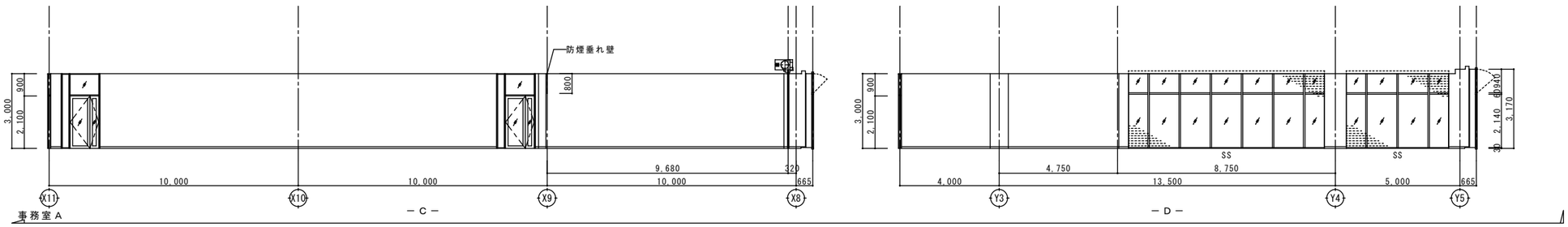
室名	事務室Ａ
床	t6.5CPT OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ　防塵塗料
巾木	ＶＦ　H=60
壁	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	E　CH=3,000

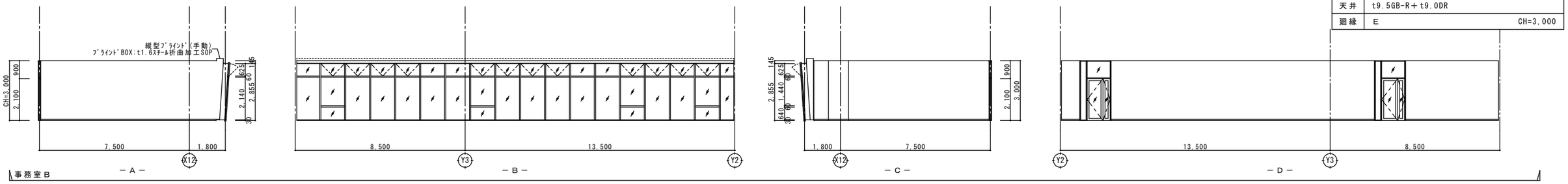
室名	事務室Ｂ
床	t6.5CPT OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ　防塵塗料
巾木	ＶＦ　H=60
壁	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	E　CH=3,000

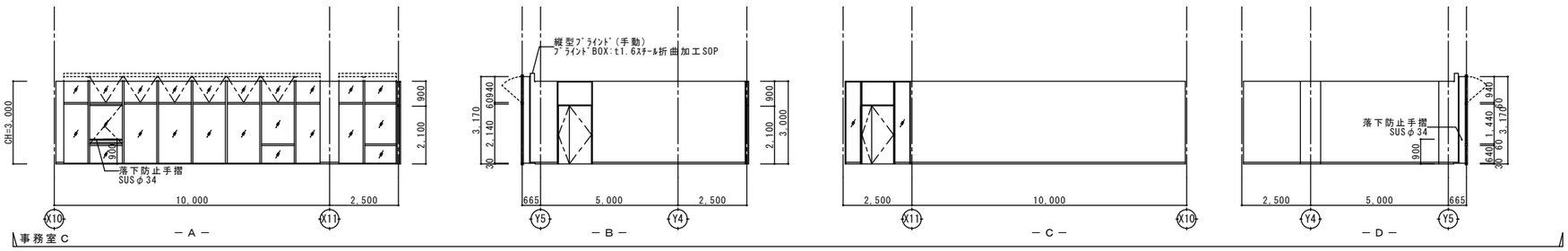
室名	事務室Ｃ
床	t6.5CPT OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ　防塵塗料
巾木	ＶＦ　H=60
壁	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	E　CH=3,000

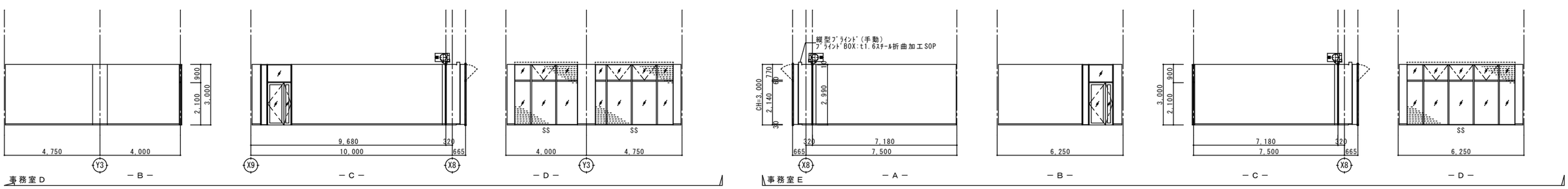
室名	事務室Ｄ，Ｅ
床	t6.5CPT OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ　防塵塗料
巾木	ＶＦ　H=60
壁	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C ※不燃
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	E　CH=3,000



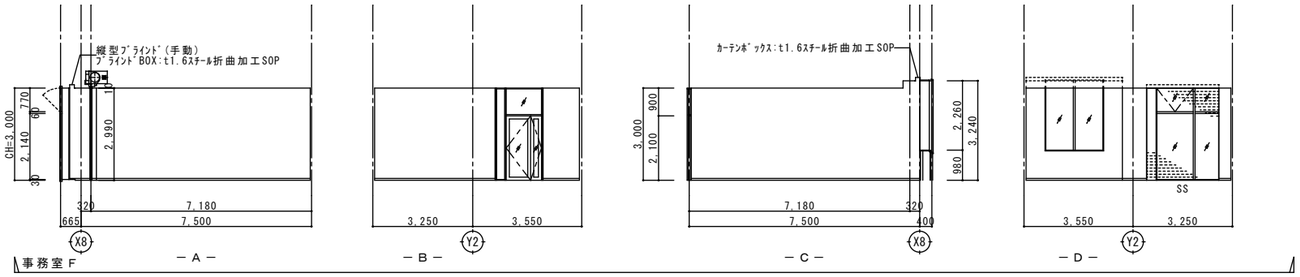


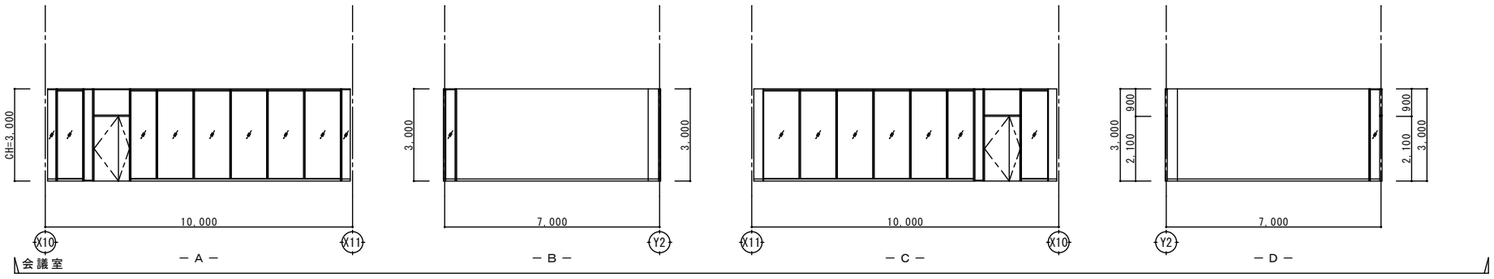


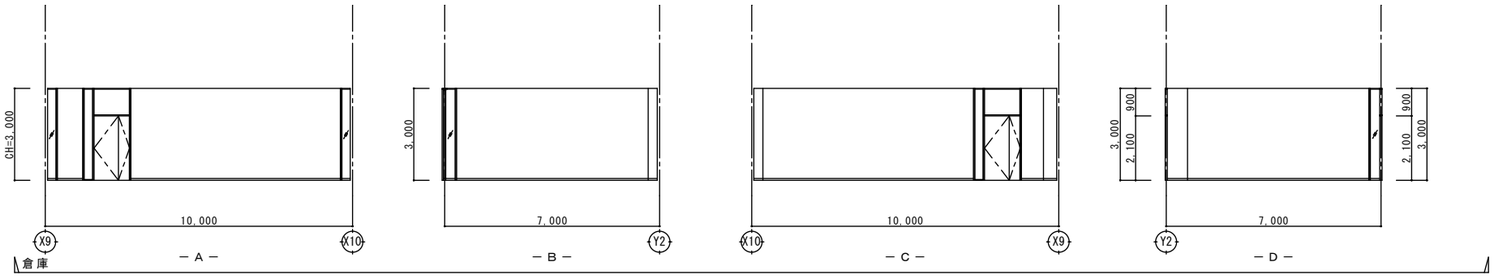


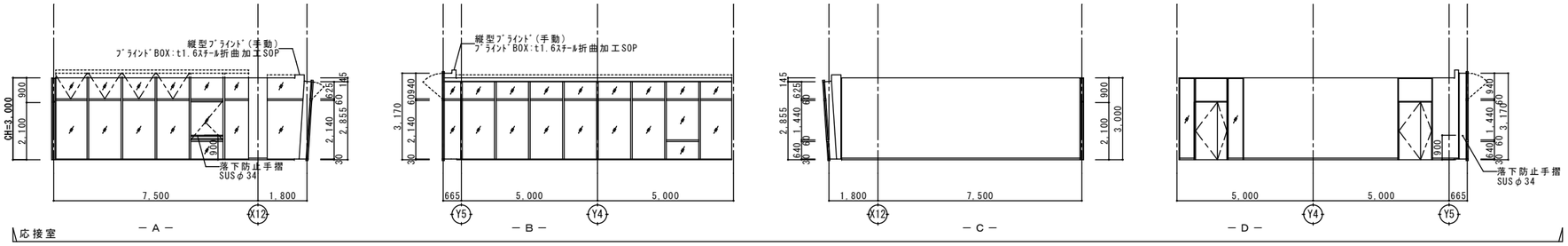


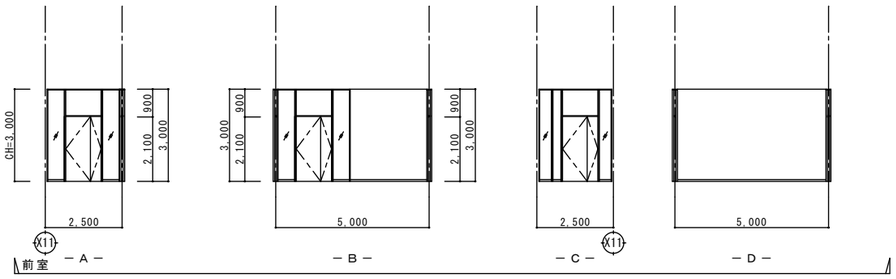
JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 瀧 淳	設計 ・ ・ 構造	3階展開図（1）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 A－55











室名	事務室Ｆ
床	t6.5CPT OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ　防塵塗料
巾木	ＶＦ　H=60
壁	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C ※不燃
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	Ｅ　CH=3,000

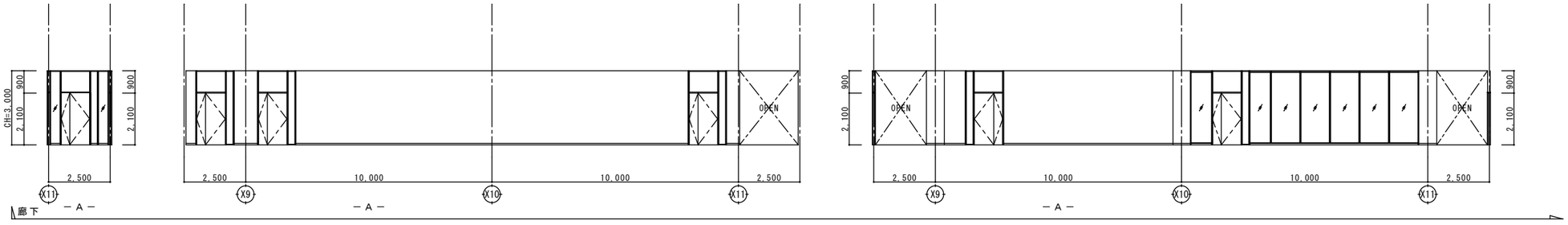
室名	会議室
床	t6.5CPT OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ　防塵塗料
巾木	ＶＦ　H=60
壁	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C　t100ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 ※不燃
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	Ｅ　CH=3,000

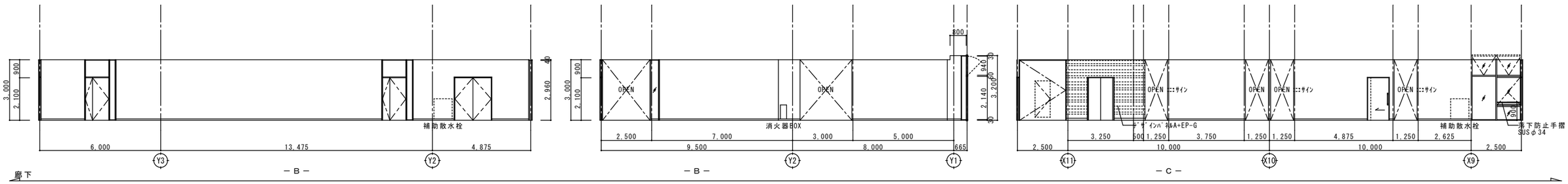
室名	倉庫
床	t4.0VT(500角) OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ　防塵塗料
巾木	ＶＦ　H=60
壁	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C　※不燃
天井	t9.5GB-D
廻縁	Ｅ　CH=3,000

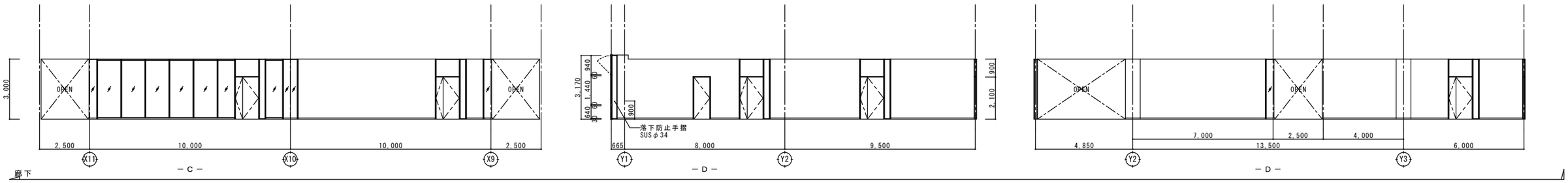
室名	応接室、前室
床	t9.5CPT OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ　防塵塗料
巾木	ＶＦ　H=60
壁	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C　t100ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 ※前室不燃
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	Ｅ　CH=3,000

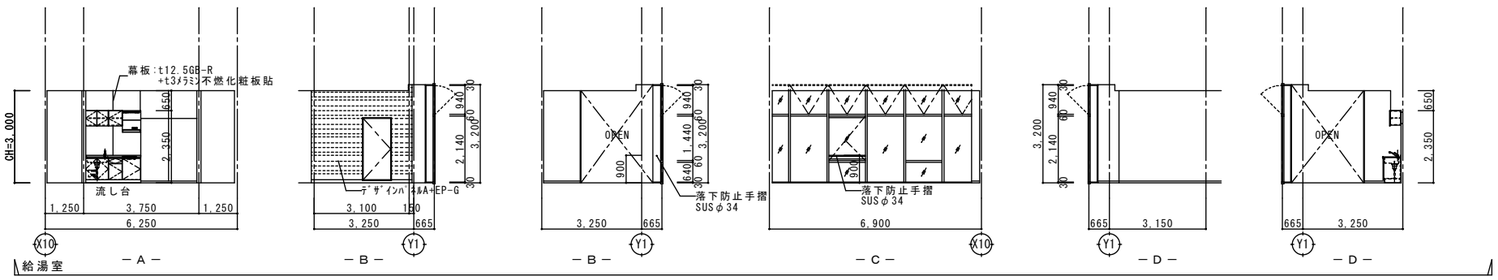
室名	廊下
床	t4.0VT(500角) OAﾌﾛｱｰ(H100)　ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴ　防塵塗料
巾木	ＶＦ　H=60
壁	柱:GB-R(12.5)＋C GB-R(12.5+9.5)＋C GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り＋C EV廻り:ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙA+EP-G
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	Ｅ　CH=3,000

室名	給湯室
床	M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
巾木	ＶＦ　H=60
壁	GB-R(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	Ｅ　CH=3,000

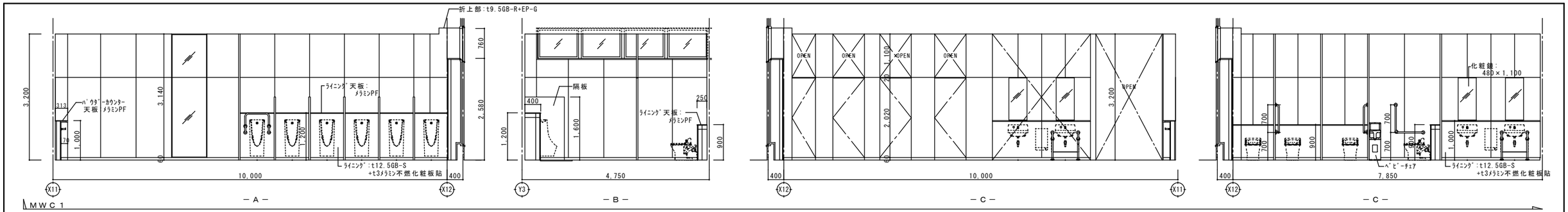


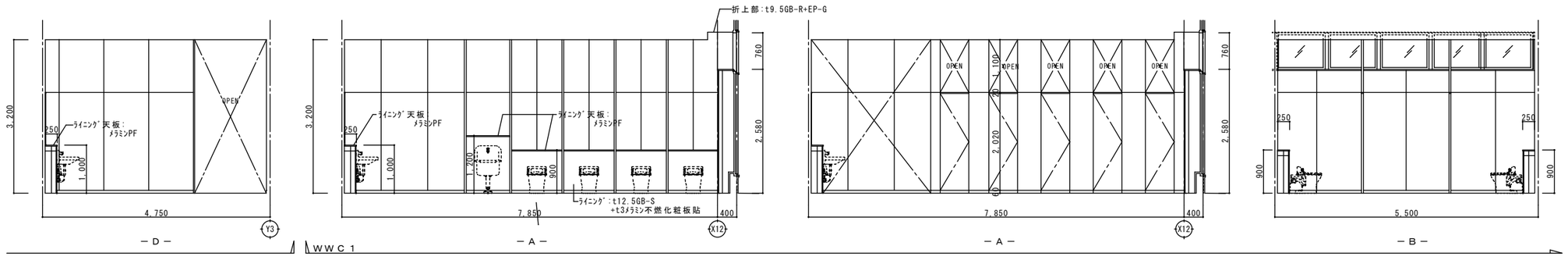






JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 監理	3階展開図（3）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 A－57



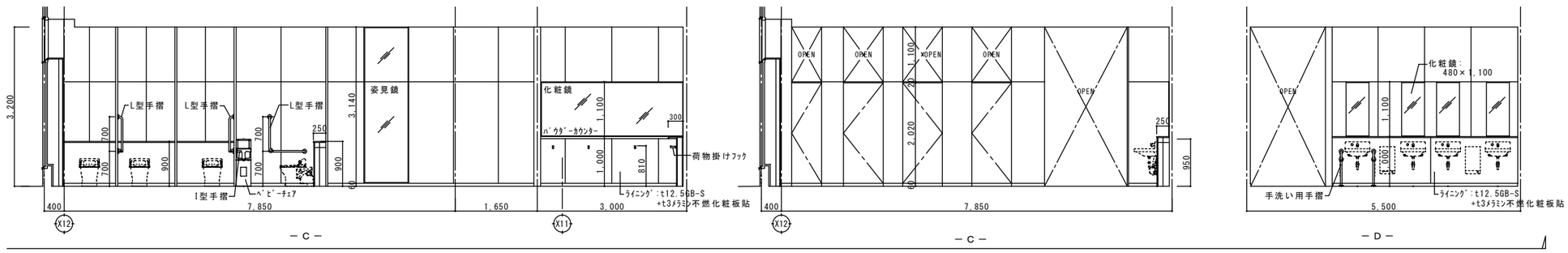


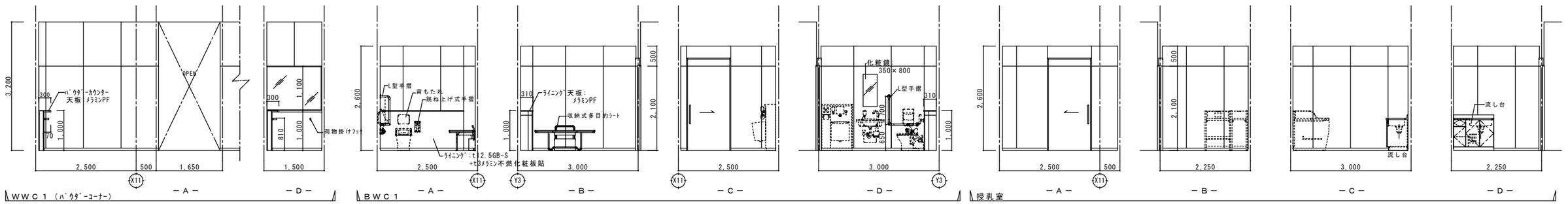
（１階）

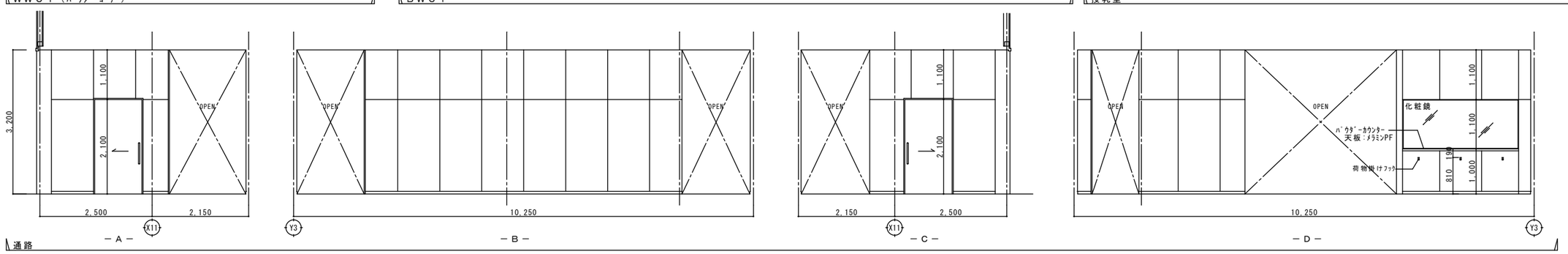
室名	ＭＷＣ１・ＷＷＣ１・ﾊﾟｳﾀﾞｰｺｰﾅｰ・通路
床	M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
巾木	SUS　H=60
壁	柱・外壁側:GB-S(12.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼 GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	E　CH=3,200

室名	ＢＷＣ１
床	M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
巾木	SUS　H=60
壁	柱・外壁側:GB-S(12.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼 GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	E　CH=2,600

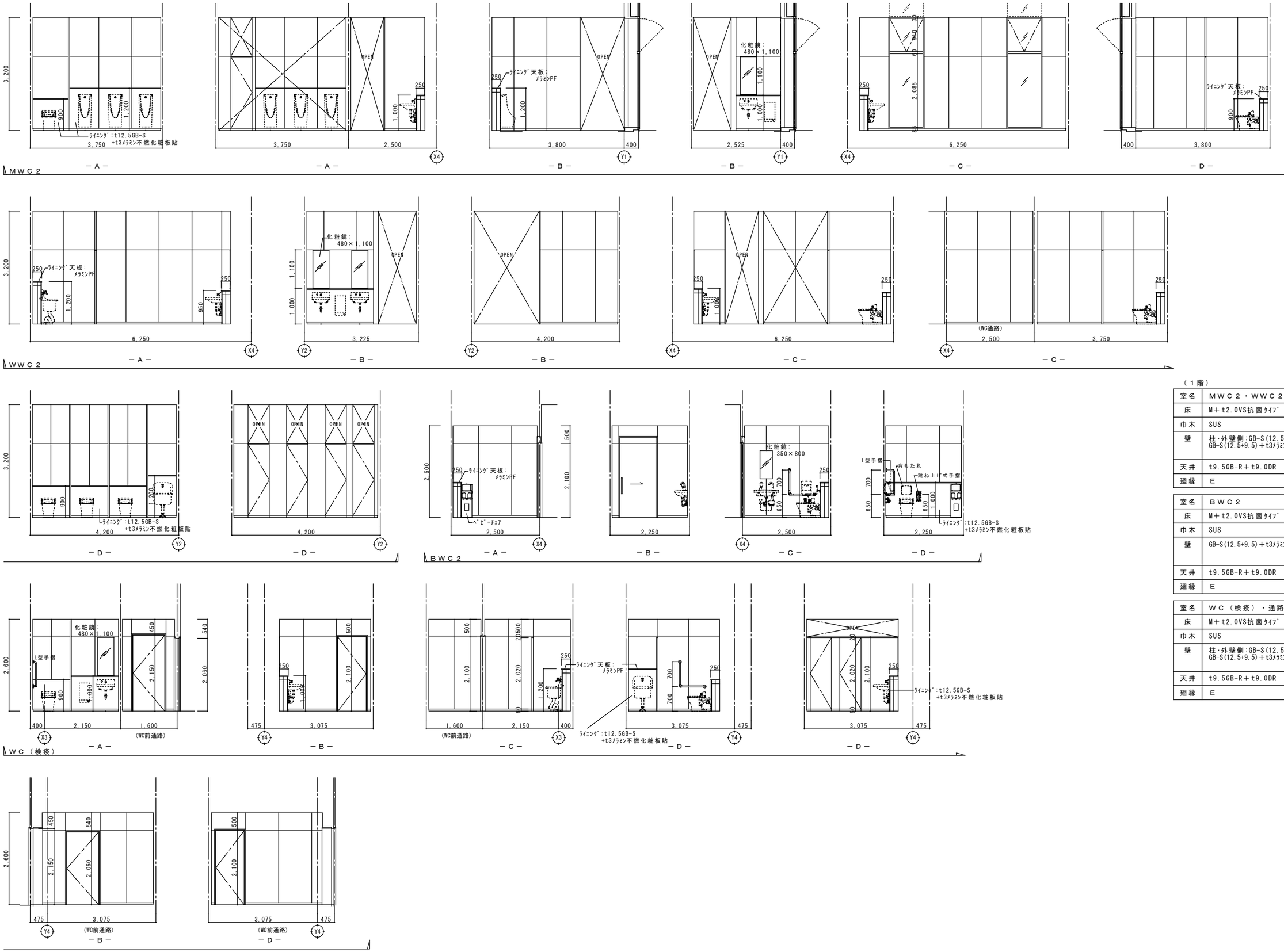
室名	授乳室
床	M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
巾木	SUS　H=60
壁	柱・外壁側:GB-S(12.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼 GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	E　CH=2,600







JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 瀧 淳	改訂 ・ ・	標題 １階ＷＣ展開図（１）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 A－58



（１階）

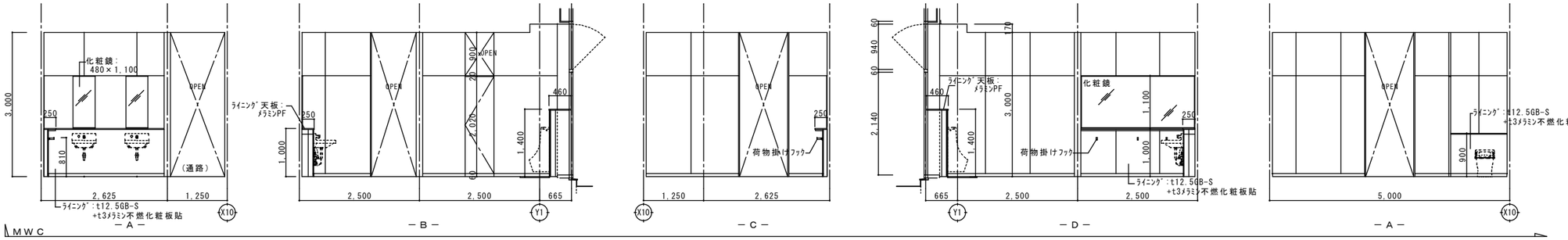
室名	ＭＷＣ２・ＷＷＣ２・通路	
床	M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ	
巾木	SUS	H=60
壁	柱・外壁側：GB-S(12.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼 GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼	
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR	
廻縁	E	CH=3,200

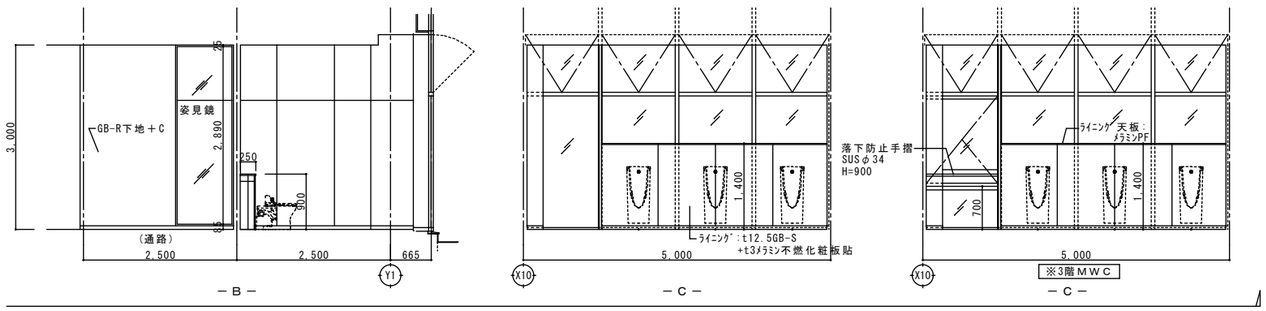
室名	ＢＷＣ２	
床	M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ	
巾木	SUS	H=60
壁	GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼	
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR	
廻縁	E	CH=2,600

室名	ＷＣ（検疫）・通路	
床	M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ	
巾木	SUS	H=60
壁	柱・外壁側：GB-S(12.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼 GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼	
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR	
廻縁	E	CH=2,600

JOB NO.	年月	工事名	設計者	縮尺	図番
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所 一級建築士 第276761号 瀧 淳	A1:1/100 A3:1/200	A－59

設計・・　標題　１階ＷＣ展開図（２）

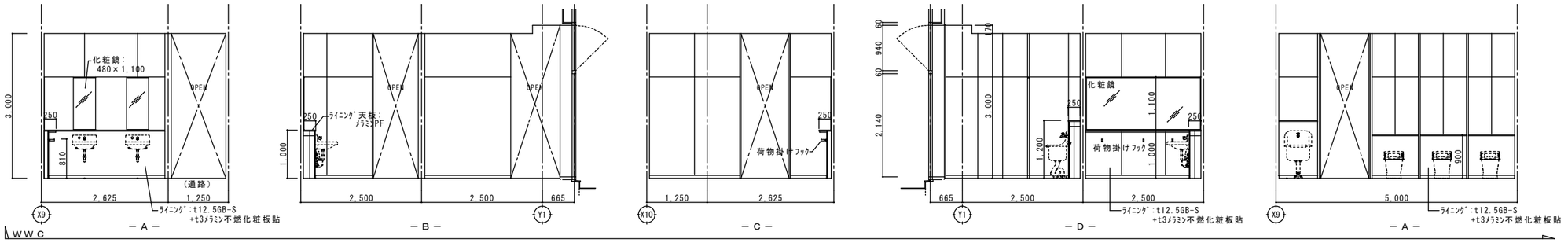


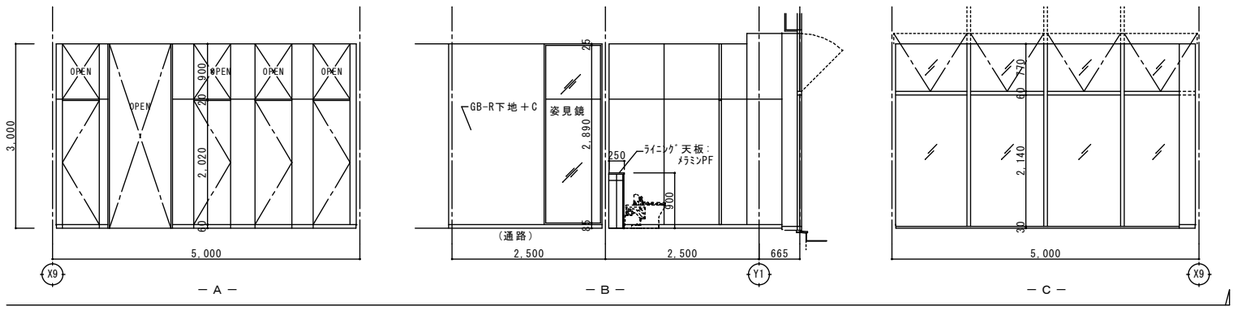


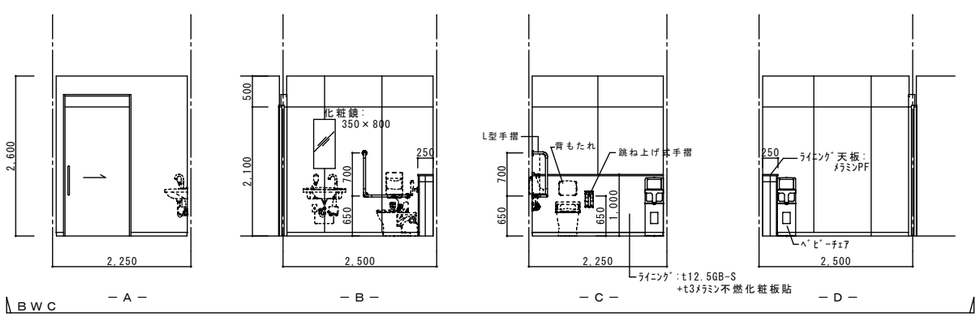
（２・３階）

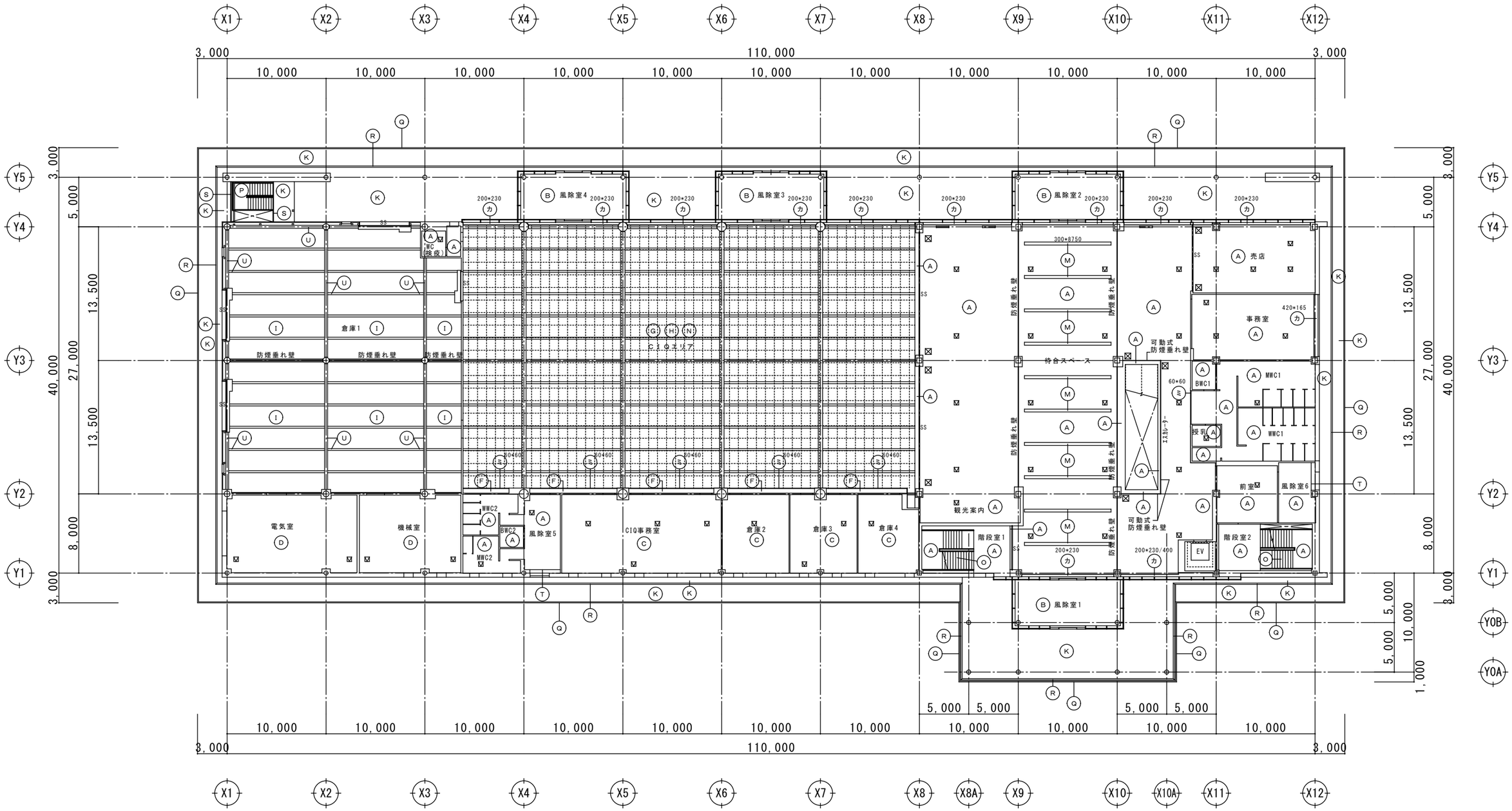
室名	ＭＷＣ・ＷＷＣ・通路
床	M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
巾木	SUS　H=60
壁	柱・外壁側：GB-S(12.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼 GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	E　CH=3,000

室名	ＢＷＣ
床	M＋t2.0VS抗菌ﾀｲﾌﾟ
巾木	SUS　H=60
壁	柱・外壁側：GB-S(12.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼 GB-S(12.5+9.5)＋t3ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板貼
天井	t9.5GB-R＋t9.0DR
廻縁	E　CH=2,600









凡　例

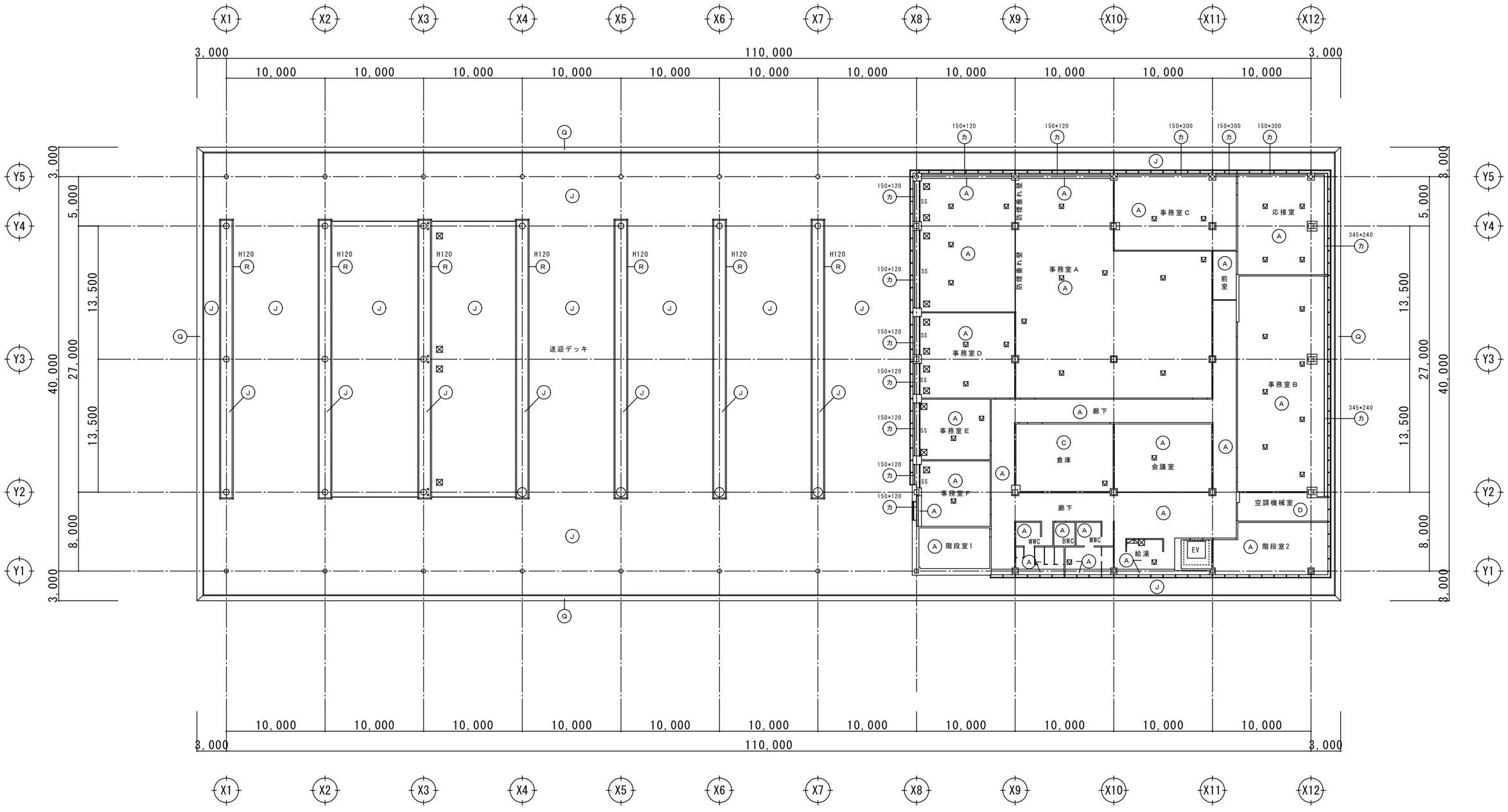
(A)	t9.5GB-R＋t9.0DR	(H)	天井懐内ﾃﾞｯｷ裏SOP	(O)	段裏鉄部SOP	(カ)	ｶｰﾃﾝBOX：t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP
(B)	t9.5GB-R＋t12.0DR(ｽﾄﾗｲﾌﾟ)	(I)	天井表ｼｰSOP	(P)	鉄部亜鉛ﾄﾞﾌﾞ漬仕上+下地処理+耐候性塗料	(ミ)	ｽﾁｰﾙ見切：t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP
(C)	t9.5GB-D	(J)	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾙ(木目調３色焼付塗装 ﾗﾝﾀﾞﾑﾃﾞｻﾞｲﾝ張り)	(Q)	庇見付：t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ(焼付塗装)裏面t6ｸﾞﾗｲﾄ吹付		
(D)	t9.5GB-R＋t50GBC	(K)	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾙ(焼付塗装)	(R)	軒先化粧金物：t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ(焼付塗装)裏面t6ｸﾞﾗｲﾄ吹付		
(E)	t6.0KB目透ｼ＋EP-G	(L)	t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ折曲加工(焼付塗装)	(S)	ｱﾙﾐ水切型材　W70		
(F)	t9.5GB-R＋EP-G	(M)	照明部：t9.5GB-R＋EP-G	(T)	天井折上部　t12.5GBR-EP-G	☒	天井点検口　ｱﾙﾐ　600×600　1F 9ヶ所　3F 15ヶ所　2F 10ヶ所
(G)	ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭ天井 φ6×100×100	(N)	梁：耐火塗料＋ｱｸﾘﾙ樹脂塗装	(U)	t25ロックウール吹付	☑	天井点検口　ｱﾙﾐ　450×450　1F 45ヶ所　3F 35ヶ所　2F 34ヶ所

JOB NO.											
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社	繪建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計	・ ・	検図	1階天井伏図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図番 A－61

凡 例

A	t9.5GB-R＋t9.0DR	H	天井懐内ﾃﾞｯｷ裏SOP	O	段裏鉄部SOP	カ	ｶｰﾃﾝBOX：t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP
B	t9.5GB-R＋t12.0DR(ｽﾄﾗｲﾌﾟ)	I	天井表ｼ＋SOP	P	鉄部亜鉛ﾄﾞﾌﾞ漬仕上+下地処理+耐候性塗料	ミ	ｽﾁｰﾙ見切：t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP
C	t9.5GB-D	J	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(木目調３色焼付塗装 ﾗﾝﾀﾞﾑﾃﾞｻﾞｲﾝ張り)	Q	庇見付：t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ(焼付塗装)裏面t6ｸﾞﾗｲﾄ吹付		
D	t9.5GB-R＋t50GBC	K	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(焼付塗装)	R	軒先化粧金物：t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ(焼付塗装)裏面t6ｸﾞﾗｲﾄ吹付		
E	t6.0KB目透ｼ＋EP-G	L	t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ折曲加工(焼付塗装)	S	ｱﾙﾐ水切型材 W70		
F	t9.5GB-R＋EP-G	M	照明部：t9.5GB-R＋EP-G	T	天井折上部 t12.5GBR-EP-G	☒	天井点検口 ｱﾙﾐ 600×600 1F 9ヶ所 3F 15ヶ所 2F 10ヶ所
G	ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭ天井 φ6×100×100	N	梁：耐火塗料＋ｱｸﾘﾙ樹脂塗装	U	t25ロックウール吹付	☒	天井点検口 ｱﾙﾐ 450×450 1F 45ヶ所 3F 35ヶ所 2F 34ヶ所

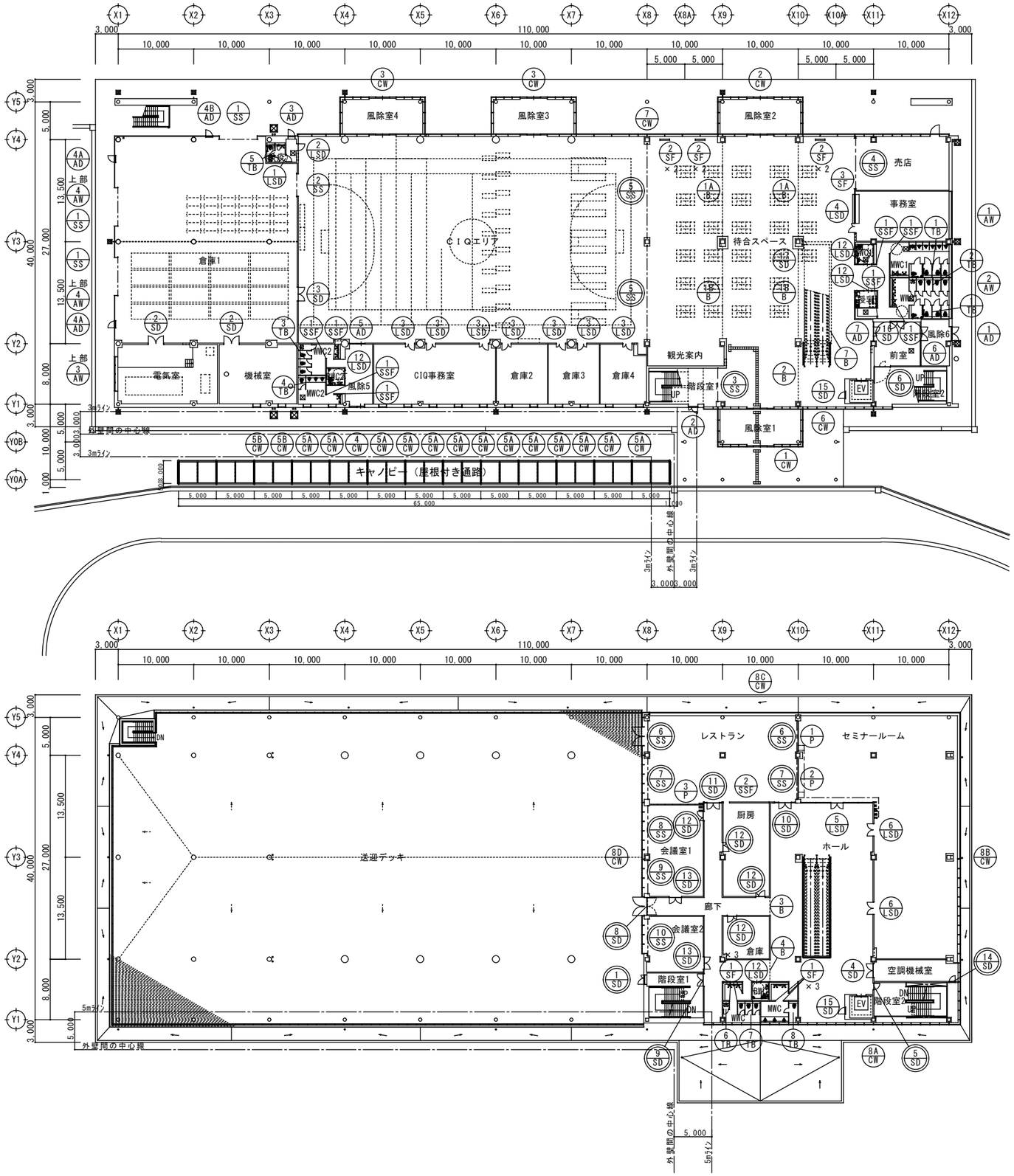
JOB NO.									
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 瀧 淳	設計 ・ ・	標題	2階天井伏図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図番 A－62

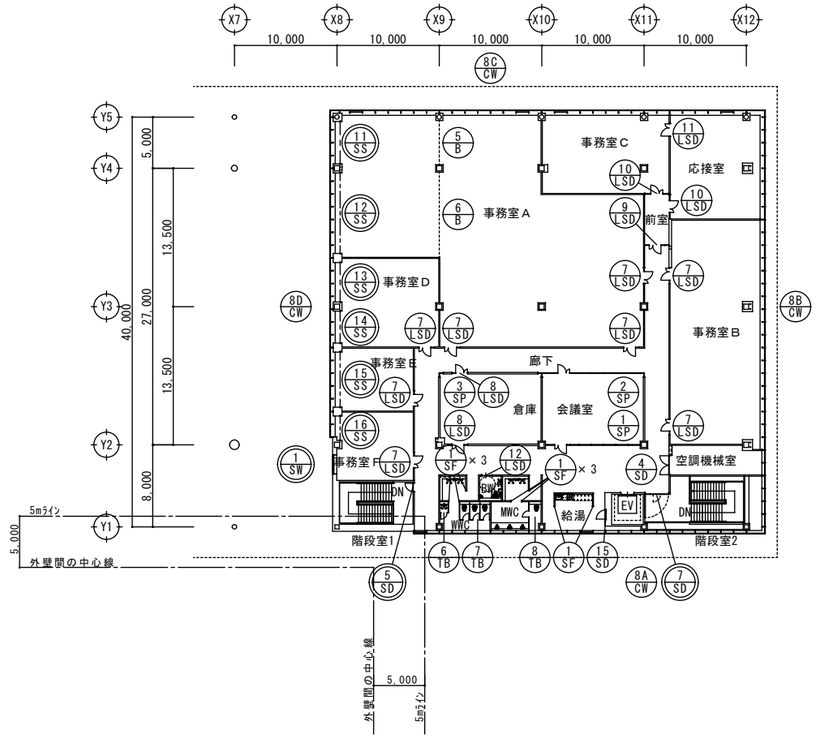


凡　例

A	t9.5GB-R＋t9.0DR	H	天井懐内ﾃﾞｯｷ裏SOP	O	段裏鉄部SOP	カ	ｶｰﾃﾝBOX：t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP
B	t9.5GB-R＋t12.0DR(ｽﾄﾗｲﾌﾟ)	I	天井表ｼ＋SOP	P	鉄部亜鉛ﾄﾞﾌﾞ漬仕上+下地処理+耐候性塗料	ミ	ｽﾁｰﾙ見切：t1.6ｽﾁｰﾙ折曲加工SOP
C	t9.5GB-D	J	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(木目調３色焼付塗装 ﾗﾝﾀﾞﾑﾃﾞｻﾞｲﾝ張り)	Q	庇見付：t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ(焼付塗装)裏面t6ｸﾞﾗｲﾄ吹付		
D	t9.5GB-R＋t50GBC	K	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(焼付塗装)	R	軒先化粧金物：t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ(焼付塗装)裏面t6ｸﾞﾗｲﾄ吹付 特記なき限りH100		
E	t6.0KB目透ｼ＋EP-G	L	t2.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ折曲加工(焼付塗装)	S	ｱﾙﾐ水切型材　W70		
F	t9.5GB-R＋EP-G	M	照明部：t9.5GB-R＋EP-G	T	天井折上部　t12.5GBR-EP-G	☒	天井点検口　ｱﾙﾐ　600×600　1F 9ヶ所　3F 15ヶ所　2F 10ヶ所
G	ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭ天井 φ6×100×100	N	梁：耐火塗料＋ｱｸﾘﾙ樹脂塗装	U	t25ロックウール吹付	☒	天井点検口　ｱﾙﾐ　450×450　1F 45ヶ所　3F 35ヶ所　2F 34ヶ所

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社	浦建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計	・ ・	3階天井伏図	縮尺	A1:1/200 A3:1/400	図番	A－63





JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所 一級建築士 第276761号 瀧 淳	設計 ・ ・ 作図	建具符号図	縮尺 A1:1/300 A3:1/600	図番 A－64

建具リスト特記事項

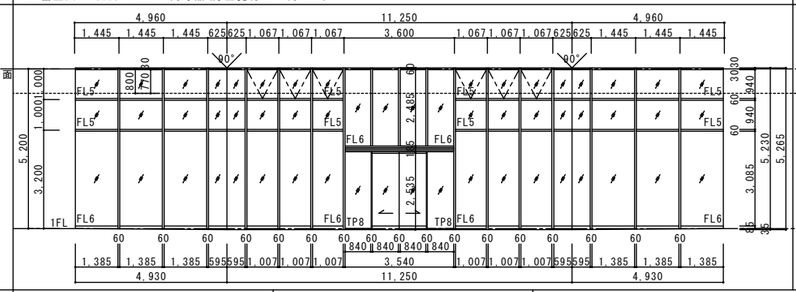
ＡＤ	アルミ製ドア　枠見込	70 M/M	ＬＳＤ	軽量鋼製ドア	M/M	ｶﾞﾗｽ凡例	
ＡＷ	アルミ製窓	70 M/M	ＳＰ	パーティション	M/M	ＦＬ	フロート板ガラス
ＡＧ	アルミ製ガラリ窓	70 M/M	Ｐ	スライディングウォール	M/M	Ｆ	型板ガラス
ＳＤ	スチール製ドア	図示 M/M	Ｂ	防煙垂れ壁、防煙スクリーン		ＴＰ	強化ｶﾞﾗｽ
ＳＷ	スチール製窓	図示 M/M	ＴＢ	トイレブース	40 M/M	ＰＷ	網入り磨きガラス
ＳＦ/ＳＳＦ	スチール/ステンレス製枠	図示 M/M	ＷＤ・ＷＷ	木製ドア・木製窓	M/M	ＦＷ	網入り型ガラス
ＳＳ	スチール製シャッター	M/M	ＣＷ	カーテンウォール			

・耐風圧Ｓ－５以上，気密性Ａ－３，水密性Ｗ－４とする。
・金物は全てステンレス製（SUS304,18.8cr）とする。
・錠は全てマスターキー付，キーBOXは市場品とする。
・水切は二重水切とする。
・FIX部分は結露受取付とする。
・鋼製建具は施工図作成の上、係員の承認を得ること
・網戸、ガラリ防虫網はグラスファイバー製とする。
・スチール額縁はＳＯＰ塗とする。
・開放制限ｽﾄｯﾊﾟｰは錠付とし外部より解錠可能とする。
・衝突防止ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ貼りは必要に応じて取付とする。
・ガラリは開口率３６％、山形とする。
・クレセント、オペレーター装置の操作位置は FL+800～1500とする。
・出入口と窓が連続する場合、出隅額縁に樹脂カバー取付とする。
・水切端部は全て樹脂カバー取付とする。
・ガラス押エは、特記なき限りシーリングとする。
・◯ 特定防火設備、防火設備を示す
・アルミパネルは、フラット板とする。
・シナ合板は、単体ベニヤとする。
・ポリ合板は、アイカラビアン同等品とする。

ＦＨ：フロアーヒンジ，ＰＨ：ピボットヒンジ，ＡＨＮ：オートヒンジストッパー無，ＤＣＳ：ﾄﾞｱﾁｪｯｸｽﾄｯﾊﾟｰ有
ＤＣＮ：ﾄﾞｱﾁｪｯｸｽﾄｯﾊﾟｰ無，ＬＨ：レバーハンドル，ＧＨ：グレモンハンドル，ＣＨ：ケースハンドル，Ｔ：丁番
ＰＤ：シリンダー本締錠，Ｃ：クレセント，Ｆ：フランス落し，Ａ：結露受型アングルピース，ＨＬ：シリンダー錫錠
ＡＦ：アルミ額縁，ＷＦ：内部木製額縁(着色CL)，Ｍ：水切，ＴＡ：戸当り，ＯＰ：オペレーター装置
※　金物類は原則として、仕上及び色調を建具に合わせる。

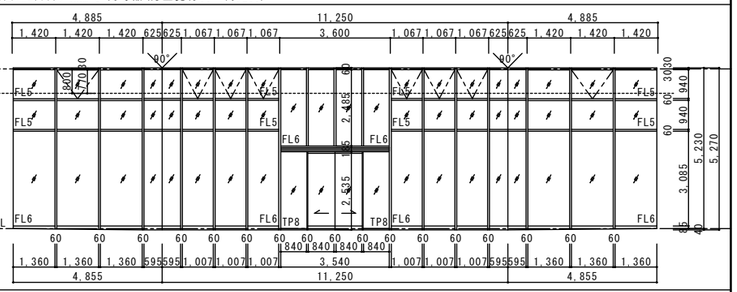
1 CW　カーテンウォール(自動ﾄﾞｱ・外倒し窓・FIX窓)

数量	1
場所	1F 風除室1
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装
金物	自動ﾄﾞｱ装置一式、天井埋込みｾﾝｻｰ(ﾀｯﾁﾚｽｾﾝｻｰ併用)、ＰＤ、SUSﾚｰﾙ、安全光線ｽｲｯﾁ、ＯＰ、外倒し窓金物一式
硝子	ＡＦ(見込：下枠D250)
備考	FL6、自動ﾄﾞｱ部(袖FIX含む)：TP8、ﾗﾝﾏ：FL5　衝突防止ｻｲﾝ
	三協立山：ﾕﾆｯﾄｻｯｼ ARM-S 同等品(方立見付60・ﾏｲﾙﾝ250)



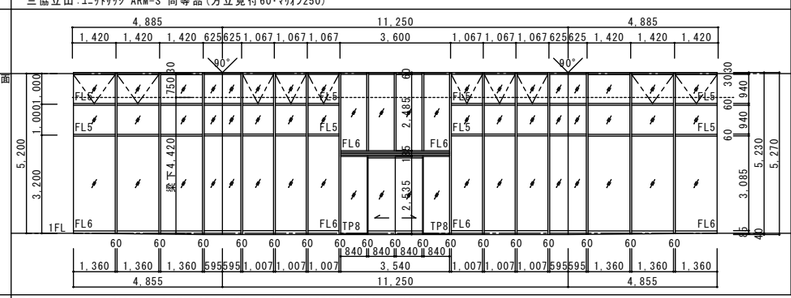
2 CW　カーテンウォール(自動ﾄﾞｱ・外倒し窓・FIX窓)

数量	1
場所	1F 風除室2
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装
金物	自動ﾄﾞｱ装置一式、天井埋込みｾﾝｻｰ(ﾀｯﾁﾚｽｾﾝｻｰ併用)、ＰＤ、SUSﾚｰﾙ、安全光線ｽｲｯﾁ、ＯＰ、外倒し窓金物一式
硝子	ＡＦ(見込：下枠D250)
備考	FL6、自動ﾄﾞｱ部(袖FIX含む)：TP8、ﾗﾝﾏ：FL5　衝突防止ｻｲﾝ
	三協立山：ﾕﾆｯﾄｻｯｼ ARM-S 同等品(方立見付60・ﾏｲﾙﾝ250)



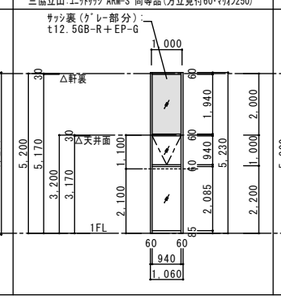
3 CW　カーテンウォール(自動ﾄﾞｱ・外倒し窓・FIX窓)

数量	2
場所	1F 風除室3,4
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装
金物	自動ﾄﾞｱ装置一式、天井埋込みｾﾝｻｰ(ﾀｯﾁﾚｽｾﾝｻｰ併用)、ＰＤ、SUSﾚｰﾙ、安全光線ｽｲｯﾁ、ＯＰ、外倒し窓金物一式
硝子	ＡＦ(見込：下枠D250)
備考	FL6、自動ﾄﾞｱ部(袖FIX含む)：TP8、ﾗﾝﾏ：FL5　衝突防止ｻｲﾝ
	三協立山：ﾕﾆｯﾄｻｯｼ ARM-S 同等品(方立見付60・ﾏｲﾙﾝ250)



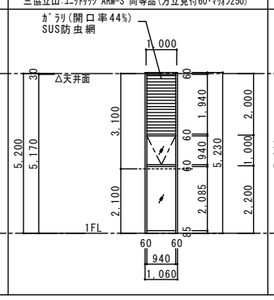
5A CW　カーテンウォール(外倒し窓・FIX窓)

数量	13
場所	1F CIQ事務室、倉庫2・3・4
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装
金物	ＯＰ、外倒し窓金物一式
硝子	ＡＦ(見込：左右D100,上枠D350)、網戸
備考	F6
	三協立山：ﾕﾆｯﾄｻｯｼ ARM-S 同等品(方立見付60・ﾏｲﾙﾝ250)



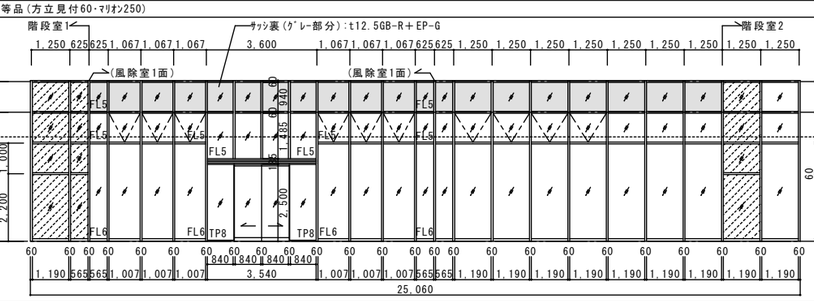
5B CW　カーテンウォール(外倒し窓・FIX窓・ｶﾞﾗﾘ)

数量	2
場所	1F 機械室
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装
金物	ＯＰ、外倒し窓金物一式
硝子	ＡＦ(見込：左右D100,上枠D350)、網戸
備考	F6、ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ
	三協立山：ﾕﾆｯﾄｻｯｼ ARM-S 同等品(方立見付60・ﾏｲﾙﾝ250)



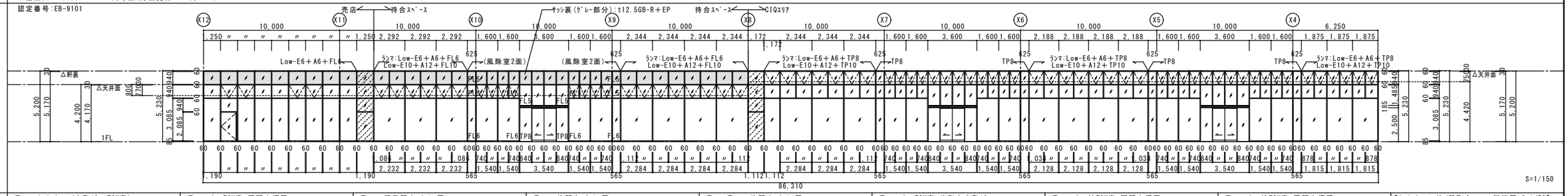
6 CW　カーテンウォール(自動ﾄﾞｱ・外倒し窓・FIX窓)(一部防火設備)

数量	1
場所	1F 階段室1～待合ｽﾍﾟｰｽ～階段室2
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装　ｻｯｼ裏(ｸﾞﾚｰ部分)：t12.5GB-R＋EP-G
金物	自動ﾄﾞｱ装置一式、天井埋込みｾﾝｻｰ(ﾀｯﾁﾚｽｾﾝｻｰ併用)、ＰＤ、SUSﾚｰﾙ、安全光線ｽｲｯﾁ、ＯＰ、外倒し窓金物一式
硝子	ＡＦ(見込：左右D360,上下枠D250)、柱・壁取合ＡＦ(ﾛｯｸｳｰﾙ充填W195,ﾛｯｸｳｰﾙ充填W55*3,W25*4)、網戸
備考	Low-E6＋A6＋FL6、防火設備(ﾊｯﾁ部)：Low-E6＋A6＋t8耐熱強化、風除室1面：FL6、風除室1面ﾗﾝﾏ：FL5、自動ﾄﾞｱ部(袖FIX含む)：TP8　衝突防止ｻｲﾝ
	認定番号：EB-9101



7 CW　カーテンウォール(自動ﾄﾞｱ・外倒し窓・FIX窓・大型外開き窓)(一部防火設備)

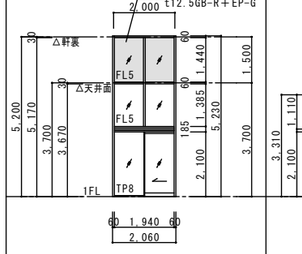
数量	1
場所	1F 売店～待合ｽﾍﾟｰｽ～CIQｴﾘｱ
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装　ｻｯｼ裏(ｸﾞﾚｰ部分)：t12.5GB-R＋EP
金物	自動ﾄﾞｱ装置一式、天井埋込みｾﾝｻｰ(ﾀｯﾁﾚｽｾﾝｻｰ併用)、ＰＤ、SUSﾚｰﾙ、安全光線ｽｲｯﾁ、ＯＰ、外倒し窓金物一式、ＤＣＳ、Ｔ、ＨＬ、SUS下枠水切、押棒、大型外開き用金物一式
硝子	柱・壁取合ＡＦ(ﾛｯｸｳｰﾙ充填W145,ﾛｯｸｳｰﾙ充填W55*3,W25*4,W75)、網戸
備考	Low-E10＋A12＋FL10、Low-E6＋A6＋FL6、TP8、防火設備(ﾊｯﾁ部)：Low-E6＋A6＋t8耐熱強化、風除室2面：FL6、風除室2面ﾗﾝﾏ：FL5、自動ﾄﾞｱ部(袖FIX含む)：TP8　衝突防止ｻｲﾝ
	三協立山：ﾕﾆｯﾄｻｯｼ ARM-S 同等品(方立見付60・ﾏｲﾙﾝ250)
	認定番号：EB-9101



S=1/150

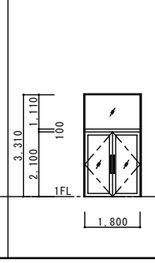
4 CW　カーテンウォール(自動ﾄﾞｱ・FIX窓)

数量	1
場所	1F 風除室5
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装
金物	自動ﾄﾞｱ装置一式、天井埋込みｾﾝｻｰ(ﾀｯﾁﾚｽｾﾝｻｰ併用)
硝子	ＰＤ、SUSﾚｰﾙ、安全光線ｽｲｯﾁ
備考	TP8、ﾗﾝﾏ：FL5　衝突防止ｻｲﾝ
	三協立山：ﾕﾆｯﾄｻｯｼ ARM-S 同等品(方立見付60・ﾏｲﾙﾝ250)



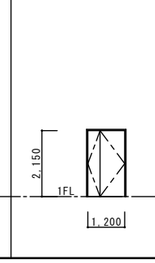
1 AD　ﾗﾝﾏFIX窓・両開き框戸

数量	1
場所	1F 風除室6
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装
金物	ＤＣＳ、Ｔ、ＰＤ、Ｆ
硝子	SUS下枠、ＡＦ(見込：285)
備考	FL5　衝突防止ｻｲﾝ
	ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ(ユニオン：G5615同等品)



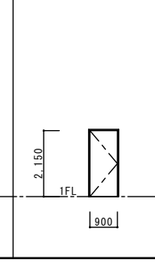
2 AD　親子開きﾌﾗｯｼｭ戸

数量	1
場所	1F 階段室1
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装
金物	ＤＣＳ、ＬＨ、Ｔ、ＰＤ、Ｆ
硝子	SUS下枠、ＡＦ(見込：280)
備考	



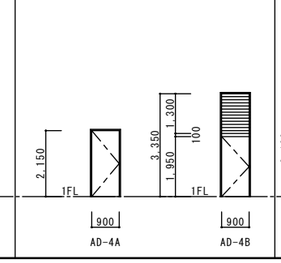
3 AD　片開きﾌﾗｯｼｭ戸

数量	1
場所	1F WC(検疫)
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装
金物	ＤＣＳ、ＬＨ、Ｔ、ＰＤ
硝子	SUS下枠、ＡＦ(見込：315)
備考	



4A 4B AD　片開きﾌﾗｯｼｭ戸

数量	(AD-4A)2、(AD-4B)1
場所	1F 倉庫1
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装
金物	ＤＣＳ、ＬＨ、Ｔ、ＨＬ
硝子	SUS下枠、ＡＦ(見込：75)
備考	AD-4B：ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ(開口率44%)

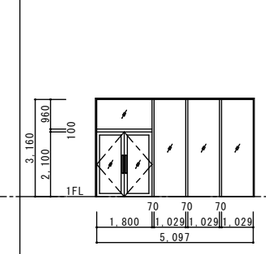


5 AD　ﾗﾝﾏFIX窓・片引き自動ﾄﾞｱ

数量	1
場所	1F 風除室5
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装
金物	自動ﾄﾞｱ装置一式、天井埋込みｾﾝｻｰ(ﾀｯﾁﾚｽｾﾝｻｰ併用)
硝子	ＰＤ、SUSﾚｰﾙ、安全光線ｽｲｯﾁ、内外ＡＦ(見込:30)
備考	TP8、ﾗﾝﾏ:FL5　衝突防止ｻｲﾝ

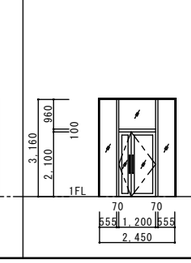
6 AD　ﾗﾝﾏ袖FIX窓・両開き框戸

数量	1
場所	1F 前室
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装
金物	ＤＣＳ、Ｔ、Ｆ
硝子	SUS下枠、内外ＡＦ(見込:30)
備考	FL6　衝突防止ｻｲﾝ
	ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ(ユニオン：G5615同等品)

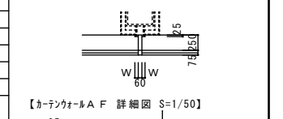


7 AD　ﾗﾝﾏ袖FIX窓・両開き框戸

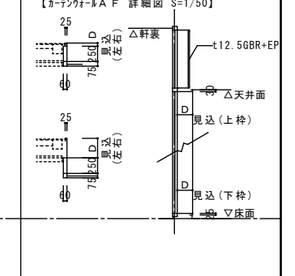
数量	1
場所	1F 前室
仕上	ｱﾙﾐ焼付塗装
金物	ＤＣＳ、Ｔ、Ｆ
硝子	SUS下枠、内外ＡＦ(見込:50)
備考	FL6　衝突防止ｻｲﾝ
	ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ(ユニオン：G5615同等品)



【ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ 柱/壁取合ＡＦ 詳細図 S=1/50】
※防火区画部：ﾛｯｸｳｰﾙ充填

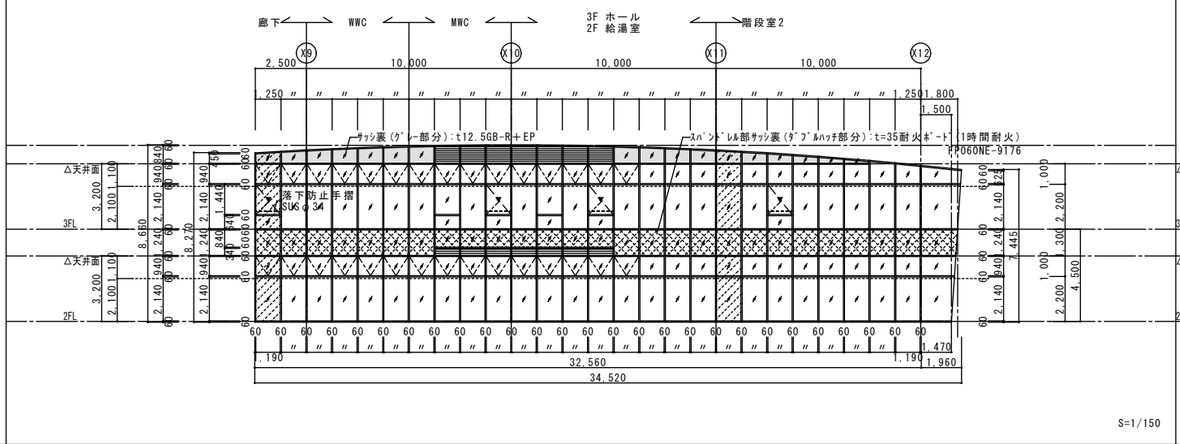


【ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙＡＦ 詳細図 S=1/50】



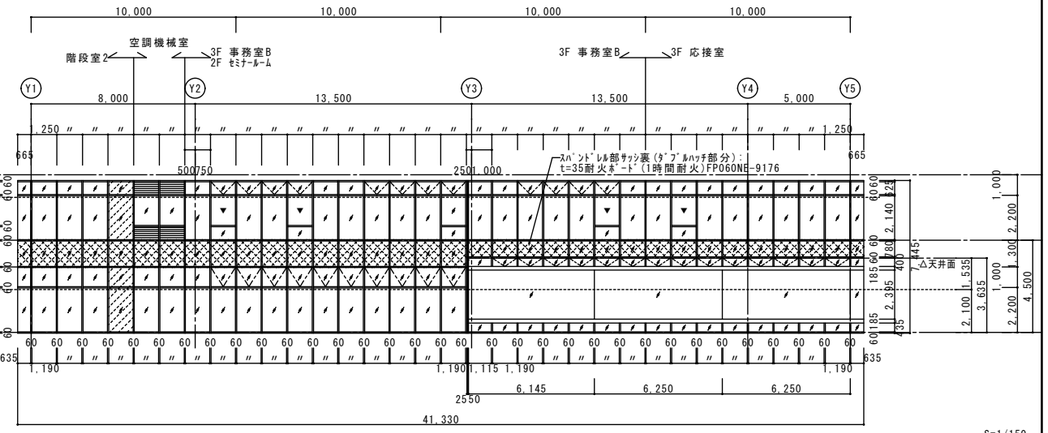
JOB NO.	2018 年 3 月	工事名	設計者	縮尺	図番
117117		金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 繖建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	・ ・	建具リスト（１）	A1:1/100,150 A3:1/200,300	Ａ－65

名　称	8A CW　ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ(外倒し窓・FIX窓・たてすべりだし窓)(一部防火設備)
数　量	1
場　所	2F 廊下～WC～ﾎｰﾙ～階段室2、3F 廊下～WC～給湯室～階段室2
仕　上	ｱﾙﾐ焼付塗装　ｻｯｼ裏(ｸﾞﾚｰ部分):t12.5GB-R＋EP　ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ部ｻｯｼ裏(ﾀﾞﾌﾞﾙﾊｯﾁ部分):t=35耐火ﾎﾞｰﾄﾞ(1時間耐火)FP060NE-9176
金　物	ＯＰ、外倒し窓金物一式、ﾊﾝﾄﾞﾙ、たてすべりだし窓用金物一式、落下防止手摺(SUSφ34)、進入口ｼｰﾙ
硝　子	SUS下枠水切、ＡＦ(見込:上下枠D250)、柱・壁取合ＡＦ(ﾛｯｸｳｰﾙ充填W55*4,W55*2,W25*8,W40*4)、網戸、ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ(開口率44%)、ｶﾞﾗﾘ部:SUS防虫網
備　考	Low-E6＋A6＋FL6、WC部(H2200ﾏﾃﾞ):Low-E6＋A6＋F6、防火設備(ﾊｯﾁ部):Low-E6＋A6＋t8耐熱強化
形　状	三協立山:ﾕﾆｯﾄｻｯｼ ARM-S 同等品(方立見付60・ﾏﾘｵﾝ250) 認定番号:EB-9101



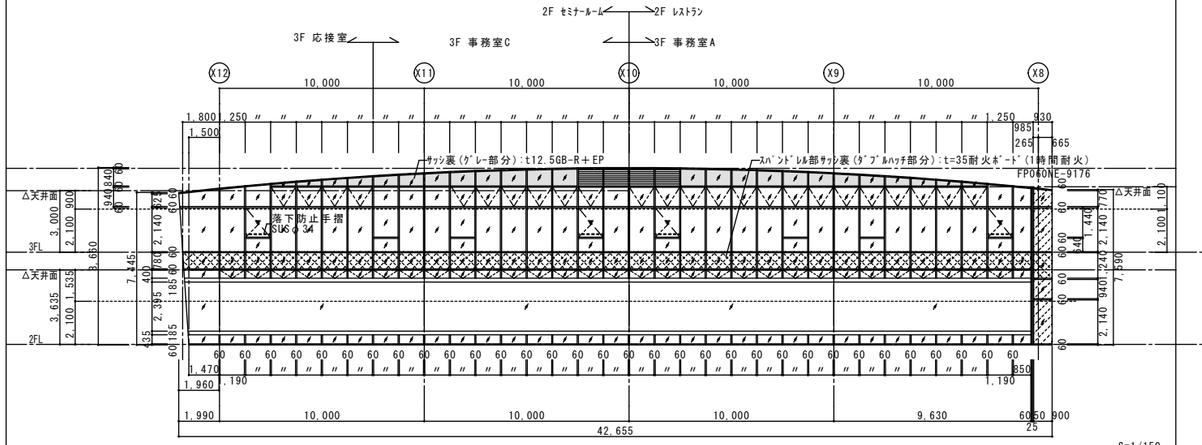
S=1/150

名　称	8B CW　ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ(外倒し窓・FIX窓・FIX大判ｶﾞﾗｽ)(一部防火設備)
数　量	1
場　所	2F 階段室2～空調機械室～ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ、3F 階段室2～空調機械室～事務室B～応接室
仕　上	ｱﾙﾐ焼付塗装　ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ部ｻｯｼ裏(ﾀﾞﾌﾞﾙﾊｯﾁ部分):t=35耐火ﾎﾞｰﾄﾞ(1時間耐火)FP060NE-9176　階段室ﾊｯﾁ部背面:t1.6ｽﾁｰﾙSOP
金　物	ＯＰ、外倒し窓金物一式、進入口ｼｰﾙ
硝　子	SUS下枠水切、ＡＦ(見込:上下枠D250)、柱・壁取合ＡＦ(ﾛｯｸｳｰﾙ充填W55*4,W55*6)、網戸、ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ(開口率44%)、ｶﾞﾗﾘ部:SUS防虫網
備　考	Low-E6＋A6＋FL6、空調機械室部:Low-E6＋A6＋F6、防火設備(ﾊｯﾁ部):Low-E6＋A6＋t8耐熱強化、大判ｶﾞﾗｽ:FL15+FL15合わせ
形　状	三協立山:ﾕﾆｯﾄｻｯｼ ARM-S 同等品(方立見付60・ﾏﾘｵﾝ250) 認定番号:EB-9101



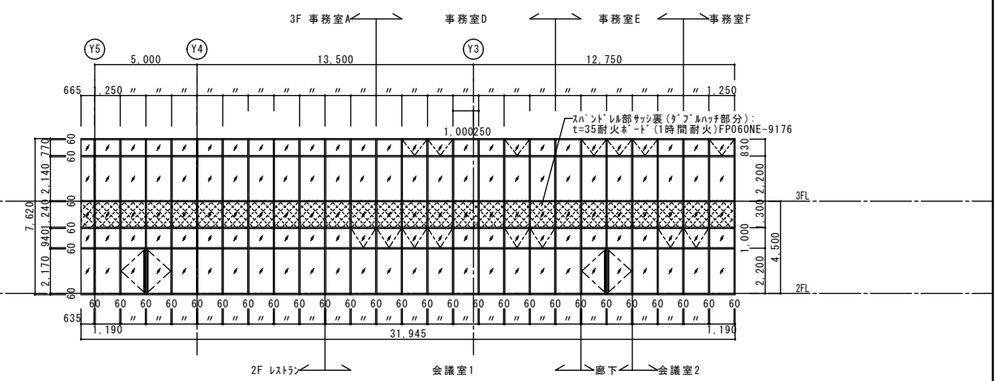
S=1/150

名　称	8C CW　ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ(外倒し窓・FIX窓・FIX大判ｶﾞﾗｽ)(一部防火設備)
数　量	1
場　所	2F ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ～ﾚｽﾄﾗﾝ、3F 応接室～事務室C～事務室A
仕　上	ｱﾙﾐ焼付塗装　ｻｯｼ裏(ｸﾞﾚｰ部分):t12.5GB-R＋EP　ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ部ｻｯｼ裏(ﾀﾞﾌﾞﾙﾊｯﾁ部分):t=35耐火ﾎﾞｰﾄﾞ(1時間耐火)FP060NE-9176
金　物	ＯＰ、外倒し窓金物一式、ﾊﾝﾄﾞﾙ、たてすべりだし窓用金物一式、落下防止手摺(SUSφ34)、進入口ｼｰﾙ
硝　子	SUS下枠水切、柱・壁取合ＡＦ充填W55*4,W55*2,W25*8)、網戸、ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ(開口率44%)、ｶﾞﾗﾘ部:SUS防虫網
備　考	Low-E6＋A6＋FL6、防火設備(ﾊｯﾁ部):Low-E6＋A6＋t8耐熱強化、大判ｶﾞﾗｽ:FL15+FL15合わせ
形　状	三協立山:ﾕﾆｯﾄｻｯｼ ARM-S 同等品(方立見付60・ﾏﾘｵﾝ250) 認定番号:EB-9101



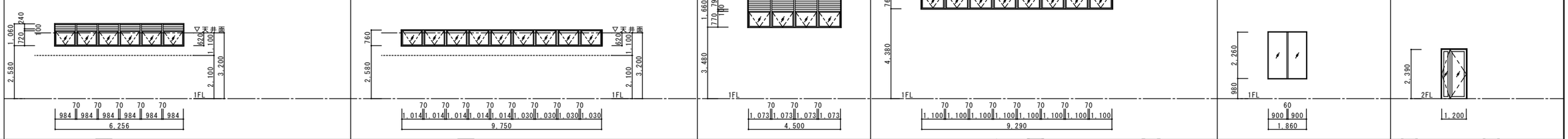
S=1/150

名　称	8D CW　ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ(外倒し窓・FIX窓・大型外開き窓)
数　量	1
場　所	2F ﾚｽﾄﾗﾝ～会議室1～廊下～会議室2、3F 事務室A～事務室D～事務室E～事務室F
仕　上	ｱﾙﾐ焼付塗装　ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ部ｻｯｼ裏(ﾀﾞﾌﾞﾙﾊｯﾁ部分):t=35耐火ﾎﾞｰﾄﾞ(1時間耐火)FP060NE-9176
金　物	ＯＰ、外倒し窓金物一式、押棒、大型外開き用金物一式
硝　子	SUS下枠水切、SUS下枠ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ、ＡＦ(見込:左右D320*2)、柱・壁取合ＡＦ(ﾛｯｸｳｰﾙ充填W55*4,W25*10,W35*6)、網戸
備　考	Low-E6＋A6＋FL6 三協立山:ﾕﾆｯﾄｻｯｼ ARM-S 同等品(方立見付60・ﾏﾘｵﾝ250)

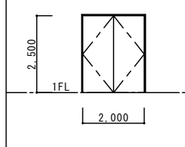
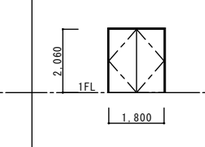
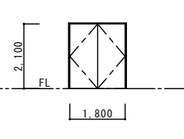
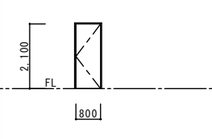
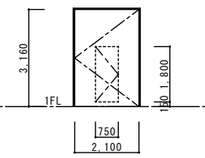
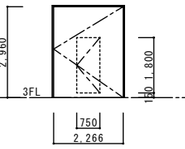
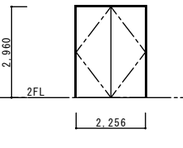
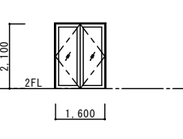
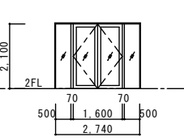


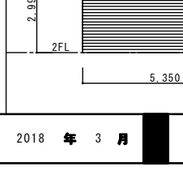
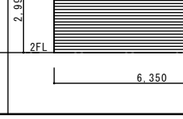
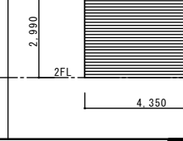
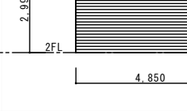
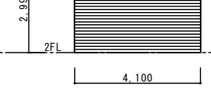
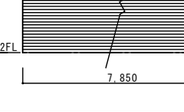
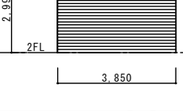
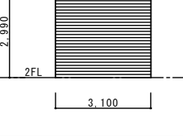
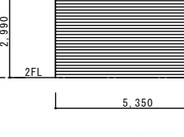
S=1/150

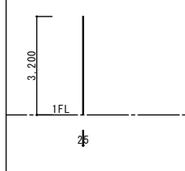
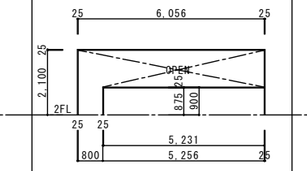
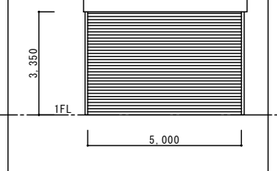
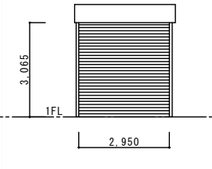
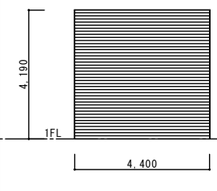
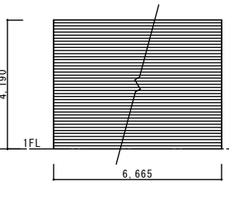
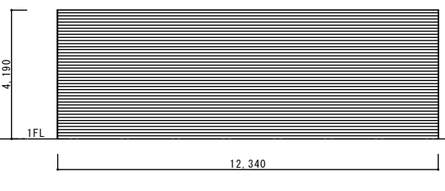
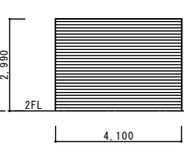
名　称	1 AW　外倒し窓	2 AW　外倒し窓	3 AW　外倒し窓	4 AW　外倒し窓	1 SW　FIX窓	1 SD　常時閉鎖親子開き防火戸
数　量	1	1	1	2	1	1
場　所	1F 事務室	1F WC1	1F 電気室	1F 倉庫1	3F 事務室F	2F 階段室1
仕　上	ｱﾙﾐ焼付塗装	ｱﾙﾐ焼付塗装	ｱﾙﾐ焼付塗装	ｱﾙﾐ焼付塗装	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板焼付塗装	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板焼付塗装
金　物	ＯＰ、外倒し窓金物一式	ＯＰ、外倒し窓金物一式	ＯＰ、外倒し窓金物一式	ＯＰ、外倒し窓金物一式	SUS水切	ＤＣＮ、ＬＨ、Ｔ、ＰＤ、Ｆ、順位調整器
硝　子	Ｍ、ＡＦ(見込:270)、網戸、ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ(開口率44%)、ｶﾞﾗﾘ部:SUS防虫網	Ｍ、ＡＦ(見込:270)、網戸	Ｍ、ＡＦ(見込:395)、網戸	Ｍ、ＡＦ(見込:75)		SUS下枠ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ、付属金物一式
備　考	Low-E6＋A6＋FL5	F4	F4	F4	t8耐熱強化	t8耐熱強化
					枠見込:外55,内240	枠見込:外55,内240
			ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ(開口率44%)、ｶﾞﾗﾘ部:SUS防虫網		三和ｼｬｯﾀｰ:ﾌｧｲﾔｰﾄﾞⅡ同等品 認定番号:EA-0120　特定防火設備	三和ｼｬｯﾀｰ:ﾌｧｲﾔｰﾄﾞⅡ同等品 認定番号:EA-0169　特定防火設備
形　状						



JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社	繪建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計・監理	建具リスト（２）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 A－66

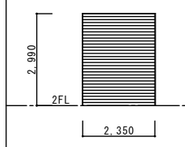
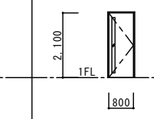
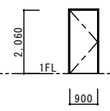
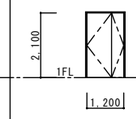
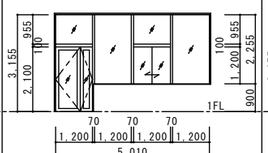
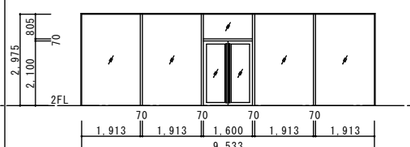
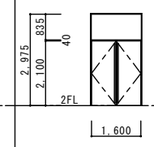
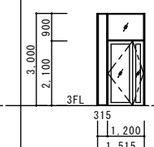
名　称	② SD 両開き戸	③ SD 両開き戸	④ SD 両開き戸	⑤ SD 常時閉鎖片開き防火戸	⑥ SD 常時開放片開き防火戸	⑦ SD 常時開放片開き防火戸	⑧ SD 常時開放両開き防火戸	⑨ SD 常時閉鎖両開き防火戸	⑩ SD 常時閉鎖両開き防火戸
数　量	2	1	2	2	1	1	1	1	1
場　所	1F 電気室、機械室	1F 倉庫1	2･3F 空調機械室	2F 階段室2、3F 階段室1	1F 階段室2	3F 階段室2	2F 廊下	2F 階段室1	2F ﾚｽﾄﾗﾝ
仕　上	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP
金　物	DCS、LH、T、PD、F	DCS、LH、T、PD、F SUS吉摺	DCS、LH、T、PD、F SUS吉摺	DCN、LH、T、PD SUS吉摺	AHN、CH、煙感知器連動装置一式 SUS吉摺	AHN、CH、煙感知器連動装置一式 SUS吉摺	AHN、CH、煙感知器連動装置一式 SUS吉摺、順位調整器	DCN、LH、T、PD、F、順位調整器 SUS吉摺、付属金物一式 t8耐熱強化	DCN、LH、T、HL、F、順位調整器 SUS吉摺、付属金物一式 t8耐熱強化
硝　子									
備　考	枠見込:215	枠見込:185	枠見込:185	枠見込:185 特定防火設備	枠見込:165、潜り戸付　特定防火設備 建告1369号、2563号、2564号	枠見込:185、潜り戸付　特定防火設備 建告1369号、2563号、2564号	枠見込:165　特定防火設備 建告1369号、2563号、2564号	枠見込:65 三和ｼｬｯﾀｰ:ﾌｧｲﾔｰﾄﾞⅡ同等品 認定番号:EA-0169　特定防火設備	枠見込:65 三和ｼｬｯﾀｰ:ﾌｧｲﾔｰﾄﾞⅡ同等品 認定番号:EA-0169　特定防火設備
形　状									

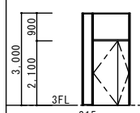
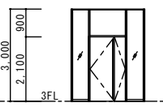
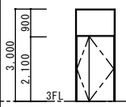
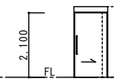
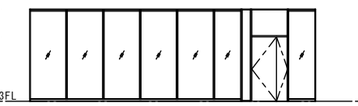
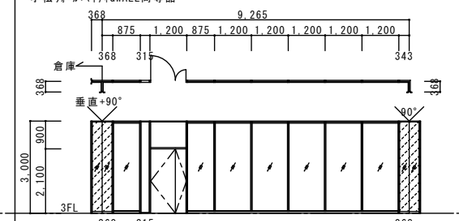
名　称	⑪ SD 常時閉鎖両開き防火戸	⑫ SD 常時閉鎖親子開き防火戸	⑬ SD 常時閉鎖両開き防火戸	⑭ SD 常時閉鎖片開き防火戸	⑮ SD 点検口	⑯ SD 点検口	⑰ SD 点検口	① ② SF 一方枠	③ SF 三方枠
数　量	1	4	2	1	3	1	1	(SF-1)14、(SF-2)6	1
場　所	2F ﾚｽﾄﾗﾝ	2F 会議室1、厨房、倉庫	2F 会議室1･2	2F 階段室2	1～3F EV横PS	1F 前室	1F 待合ｽﾍﾟｰｽ	(SF-1)2･3F WC、3F 給湯室、(SF-2)工芸ﾊﾟﾈﾙ	1F 売店
仕　上	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板不燃化粧ｼｰﾄ貼	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP
金　物	DCN、LH、T、HL、F、順位調整器 SUS吉摺、付属金物一式	DCN、LH、T、HL、F、順位調整器 SUS吉摺	DCN、T、HL、F、順位調整器 SUS吉摺、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ(ユニオン:T40同等品)	DCN、CH、T SUS下枠	CH、T SUS下枠	CH、T SUS下枠	CH、T		
硝　子	t8耐熱強化								
備　考	枠見込:65	枠見込:165　特定防火設備	枠見込:165　特定防火設備	枠見込:165 特定防火設備	枠見込:125	枠見込:100	枠見込:100	見込:135 (SF-1)H=3,000、(SF-2)H=4,200	見込:165
形　状	三和ｼｬｯﾀｰ:ﾌｧｲﾔｰﾄﾞⅡ同等品 認定番号:EA-0169　特定防火設備 								

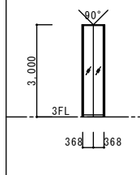
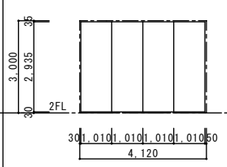
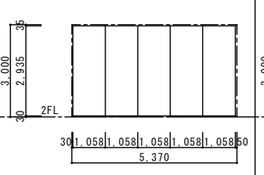
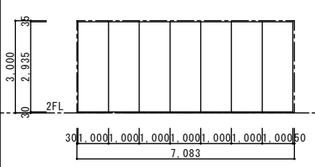
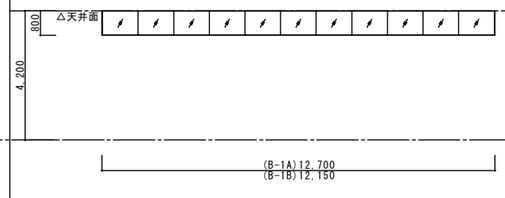
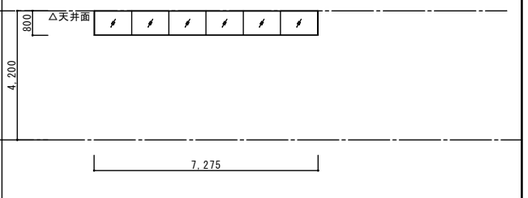
名　称	① SSF 一方枠	② SSF 二方枠	① SS 電動ｼｬｯﾀｰ	② SS 電動ｼｬｯﾀｰ	③ SS 電動防火防煙ｼｬｯﾀｰ	④ SS 電動防火防煙ｼｬｯﾀｰ	⑤ SS 手動防火防煙ｼｬｯﾀｰ		⑥ SS 電動防火防煙ｼｬｯﾀｰ
数　量	8	1	3	1	1	1	2		2
場　所	1F WC1･2	2F 厨房	1F 倉庫1	1F 倉庫1	1F 階段室1	1F 売店	1F 待合ｽﾍﾟｰｽ		2F ﾚｽﾄﾗﾝ
仕　上	ｽﾃﾝﾚｽ、SUS304	ｽﾃﾝﾚｽ、SUS304	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板防錆塗装+耐候性塗装(ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ)	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ)	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ)	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ)	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP		ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP
金　物			SUSｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、SUS座板、SUSﾏｸﾞｻ 手動開閉装置、SUSｽｲｯﾁBOX鍵付、危害防止機構	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ 手動開閉装置、ｽｲｯﾁBOX鍵付、危害防止機構	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ、手動開閉装置 ｽｲｯﾁBOX鍵付、煙感知器連動装置、危害防止機構	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ、手動開閉装置 ｽｲｯﾁBOX鍵付、煙感知器連動装置、危害防止機構	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ、手動開閉装置 ｽｲｯﾁBOX鍵付、煙感知器連動装置、危害防止機構		ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ、手動開閉装置 ｽｲｯﾁBOX鍵付、煙感知器連動装置、危害防止機構
硝　子									
備　考	見込:135	見込:164	角ｹｰｽ納まり	角ｹｰｽ納まり	ｼｬｯﾀｰBOX天井内隠蔽　特定防火設備 建告1369号、2563号、2564号	ｼｬｯﾀｰBOX天井内隠蔽　特定防火設備 建告1369号、2563号、2564号	ｼｬｯﾀｰBOX天井内隠蔽　特定防火設備 建告1369号、2563号		特定防火設備 建告1369号、2563号、2564号
形　状									

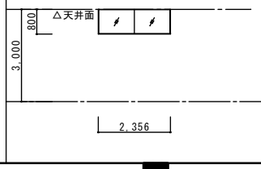
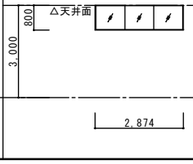
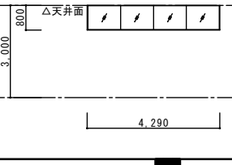
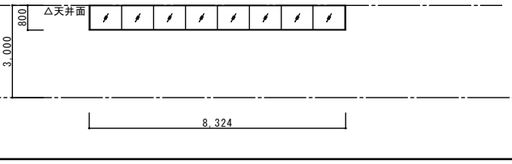
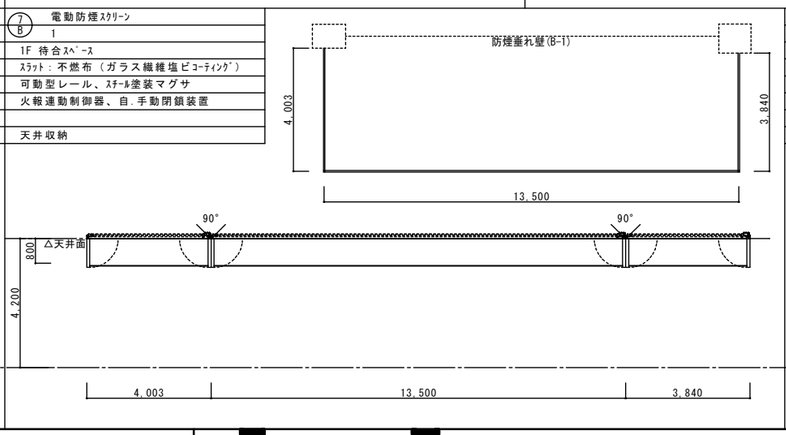
名　称	⑦ SS 電動防火防煙ｼｬｯﾀｰ	⑧ SS 電動防火防煙ｼｬｯﾀｰ	⑨ SS 電動防火防煙ｼｬｯﾀｰ	⑩ SS 電動防火防煙ｼｬｯﾀｰ	⑪ SS 電動防火ｼｬｯﾀｰ	⑫ SS 電動防火ｼｬｯﾀｰ	⑬ SS 電動防火ｼｬｯﾀｰ	⑭ SS 電動防火ｼｬｯﾀｰ	⑮ SS 電動防火ｼｬｯﾀｰ
数　量	2	1	1	1	1	1	1	1	1
場　所	2F ﾚｽﾄﾗﾝ	2F 会議室1	2F 会議室1	2F 会議室2	3F 事務室A	3F 事務室A	3F 事務室D	3F 事務室D	3F 事務室E
仕　上	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP
金　物	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ、手動開閉装置 ｽｲｯﾁBOX鍵付、煙感知器連動装置、危害防止機構	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ、手動開閉装置 ｽｲｯﾁBOX鍵付、煙感知器連動装置、危害防止機構	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ、手動開閉装置 ｽｲｯﾁBOX鍵付、煙感知器連動装置、危害防止機構	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ、手動開閉装置 ｽｲｯﾁBOX鍵付、煙感知器連動装置、危害防止機構	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ、手動開閉装置 ｽｲｯﾁBOX鍵付、煙感知器連動装置、危害防止機構	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ、手動開閉装置、 ｽｲｯﾁBOX鍵付、煙感知器連動装置、危害防止機構	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ、手動開閉装置 ｽｲｯﾁBOX鍵付、煙感知器連動装置、危害防止機構	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ、手動開閉装置 ｽｲｯﾁBOX鍵付、煙感知器連動装置、危害防止機構	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ、手動開閉装置 ｽｲｯﾁBOX鍵付、煙感知器連動装置、危害防止機構
硝　子									
備　考	特定防火設備 建告1369号、2563号、2564号	特定防火設備 建告1369号、2563号、2564号	特定防火設備 建告1369号、2563号、2564号	特定防火設備 建告1369号、2563号、2564号	特定防火設備 建告1369号、2563号	特定防火設備 建告1369号、2563号	特定防火設備 建告1369号、2563号	特定防火設備 建告1369号、2563号	特定防火設備 建告1369号、2563号
形　状									

JOB NO.									
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 浦建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計・・	標題	建具リスト（３）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 A－67

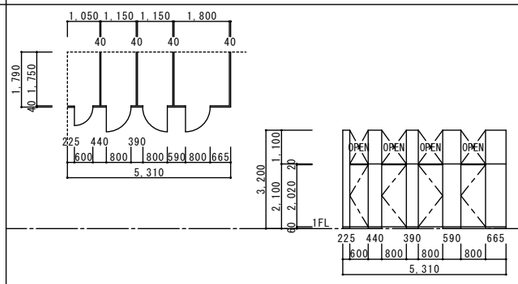
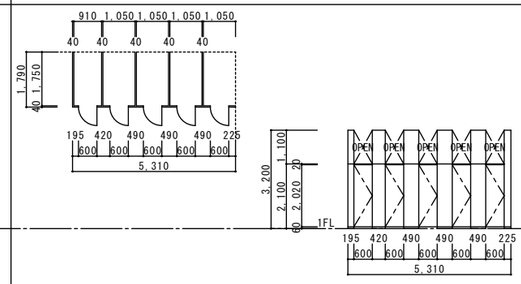
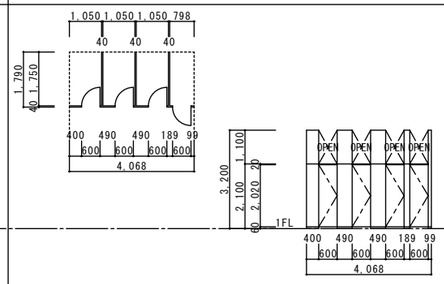
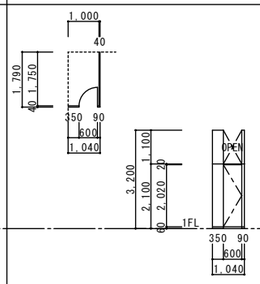
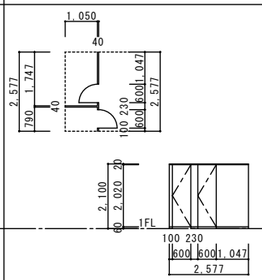
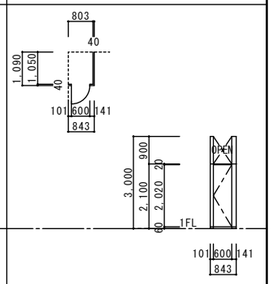
名称	(18) SS 電動防火ｼｬｯﾀｰ	(1) LSD 片開きﾌﾗｯｼｭ戸	(2) LSD 片開きﾌﾗｯｼｭ戸	(3) LSD 親子開きﾌﾗｯｼｭ戸	(4) LSD ﾗﾝﾏ袖FIX窓・親子開き框戸	(5) LSD ﾗﾝﾏ袖FIX窓・両開き框戸	(6) LSD ﾗﾝﾏﾊﾟﾈﾙ・両開きﾌﾗｯｼｭ戸	(7) LSD ﾗﾝﾏFIX窓・袖ﾊﾟﾈﾙ・親子開き框戸
数量	1	1	1	7	1	1	2	8
場所	3F 事務室F	1F WC(検疫)	1F WC(検疫)	1F CIQ事務室、倉庫2･3･4	1F 事務室	2F ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ	2F ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ	3F 事務室A,B,D,E,F
仕上	ｽﾗｯﾄ:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP	t0.6化粧鋼板焼付塗装	t0.6化粧鋼板焼付塗装	t0.6化粧鋼板焼付塗装	t0.6化粧鋼板焼付塗装	t0.6化粧鋼板焼付塗装	t0.6化粧鋼板化粧ｼｰﾄ貼	t0.6化粧鋼板焼付塗装
金物	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、座板、ﾏｸﾞｻ、手動開閉装置	ＤＣＳ、ＬＨ、Ｔ、表示錠、ＴＡ	ＤＣＳ、ＬＨ、Ｔ、ＰＤ	ＤＣＳ、ＬＨ、Ｔ、Ｆ、ＨＬ、ＴＡ	ＤＣＳ、ＬＨ、Ｔ、Ｆ、ＨＬ	ＤＣＳ、Ｔ、Ｆ、ＰＤ	ＤＣＳ、Ｔ、Ｆ、ＰＤ	ＤＣＳ、ＬＨ、Ｔ、Ｆ、ＨＬ
	ｽｲｯﾁBOX鍵付、煙感知器連動装置、危害防止機構		SUS目地棒	SUS目地棒	ｶｳﾝﾀｰ埋込ﾚｰﾙ、SUS目地棒	SUS目地棒、押棒(ﾕﾆｵﾝ:T40同等品)	SUS目地棒、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ(ﾕﾆｵﾝ:T40同等品)	SUS目地棒
硝子		F4			FL6	FL6 衝突防止ｼｰﾙ		FL6
備考	特定防火設備	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込130)	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込185)	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込165)	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込165)	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込165)	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込165)	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込130)
	建告1369号、2563号							小松ｳｫｰﾙ:ﾏｲﾃｨGWALL同等品
形状								

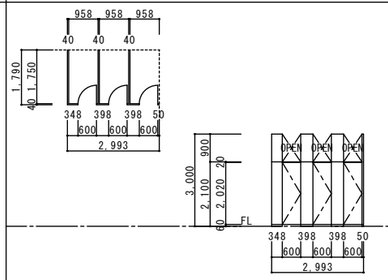
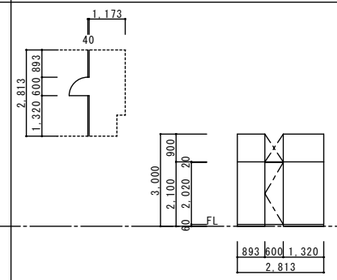
名称	(8) LSD ﾗﾝﾏ袖ﾊﾟﾈﾙ・袖FIX窓・親子開きﾌﾗｯｼｭ戸	(9) LSD ﾗﾝﾏ袖ﾊﾟﾈﾙ・袖FIX窓・親子開きﾌﾗｯｼｭ戸	(10) LSD ﾗﾝﾏﾊﾟﾈﾙ・袖FIX窓・親子開きﾌﾗｯｼｭ戸	(11) LSD ﾗﾝﾏﾊﾟﾈﾙ・親子開きﾌﾗｯｼｭ戸	(12) LSD 片引きﾊﾝｶﾞｰﾌﾗｯｼｭ戸(壁収納ﾀｲﾌﾟ)	(1) SP ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ(ﾗﾝﾏ袖ﾊﾟﾈﾙ・親子開きﾌﾗｯｼｭ戸)(ﾌﾟﾗｲﾝﾄﾞ内臓ﾀｲﾌﾟ)	(2) SP ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ(ﾗﾝﾏ袖ﾊﾟﾈﾙ・親子開きﾌﾗｯｼｭ戸)(ﾌﾟﾗｲﾝﾄﾞ内臓ﾀｲﾌﾟ)
数量	2	1	2	1	5	1	1
場所	3F 倉庫	3F 前室	3F 応接室、事務室C	3F 事務室C	1･2･3F BWC、1F 授乳室	3F 会議室	3F 会議室～倉庫
仕上	t0.6化粧鋼板焼付塗装	t0.6化粧鋼板化粧ｼｰﾄ貼	t0.6化粧鋼板化粧ｼｰﾄ貼	t0.6化粧鋼板化粧ｼｰﾄ貼	t0.6化粧鋼板焼付塗装	t0.6化粧鋼板焼付塗装	t0.6化粧鋼板焼付塗装
金物	ＤＣＳ、ＬＨ、Ｔ、Ｆ、ＨＬ	ＤＣＳ、Ｔ、Ｆ、ＨＬ	ＤＣＳ、Ｔ、Ｆ、ＨＬ	ＤＣＳ、ＬＨ、Ｔ、Ｆ、ＨＬ	自閉装置(傾斜式)、制動装置、ﾊﾝｶﾞｰ戸金物一式、表示錠	ＤＣＳ、ＬＨ、Ｔ、Ｆ、ＨＬ	ＤＣＳ、ＬＨ、Ｔ、Ｆ、ＨＬ
	SUS目地棒	SUS目地棒、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ(ﾕﾆｵﾝ:T51同等品)	SUS目地棒、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ(ﾕﾆｵﾝ:T51同等品)	SUS目地棒	自在ｽﾄｯﾊﾟｰ付、SUS目地棒、引棒(ﾕﾆｵﾝ:G5615同等品)	SUS目地棒、付属金物一式	SUS目地棒、付属金物一式
硝子		FL6+ｶﾞﾗｽﾌｨﾙﾑ貼	FL6+ｶﾞﾗｽﾌｨﾙﾑ貼			FL6	FL6+ｽﾘｯﾄ(ﾊｯﾁ部):ｶﾞﾗｽﾌｨﾙﾑ貼
備考	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込165)	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込130)	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込130)	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込130)	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込130)	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込165)	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込165)
	小松ｳｫｰﾙ:ﾏｲﾃｨGWALL同等品	小松ｳｫｰﾙ:ﾏｲﾃｨGWALL同等品	小松ｳｫｰﾙ:ﾏｲﾃｨGWALL同等品	小松ｳｫｰﾙ:ﾏｲﾃｨGWALL同等品		小松ｳｫｰﾙ:ﾏｲﾃｨGWALL同等品	小松ｳｫｰﾙ:ﾏｲﾃｨGWALL同等品
形状							

名称	(3) SP ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	(1) P ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ(遮音ﾀｲﾌﾟ)	(2) P ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ(遮音ﾀｲﾌﾟ)	(3) P ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ(遮音ﾀｲﾌﾟ)	(1A)(1B) B 防煙垂れ壁	(2) B 防煙垂れ壁
数量	1	1	1	1	(B-1A)2、(B-1B)2	1
場所	3F 倉庫	2F ﾚｽﾄﾗﾝ～ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ	2F ﾚｽﾄﾗﾝ～ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ	2F ﾚｽﾄﾗﾝ～会議室1	1F 待合ｽﾍﾟｰｽ	1F 待合ｽﾍﾟｰｽ
仕上	t0.6化粧鋼板焼付塗装	表面材:t12.5石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+ｸﾛｽ貼	表面材:t12.5石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+ｸﾛｽ貼	表面材:t12.5石膏ﾎﾞｰﾄﾞ+ｸﾛｽ貼	ｱﾙﾐｼﾙﾊﾞｰｽﾘﾑ枠	ｱﾙﾐｼﾙﾊﾞｰｽﾘﾑ枠
金物		ｱﾙﾐｼｰﾙ、ｱﾙﾐﾌﾚｰﾑ、表面操作口、ｼｰﾑｺﾞﾑ	ｱﾙﾐｼｰﾙ、ｱﾙﾐﾌﾚｰﾑ、表面操作口、ｼｰﾑｺﾞﾑ	ｱﾙﾐｼｰﾙ、ｱﾙﾐﾌﾚｰﾑ、表面操作口、ｼｰﾑｺﾞﾑ	吊金物	吊金物
		付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式		
硝子	FL6+ｶﾞﾗｽﾌｨﾙﾑ貼				t6.8線入ﾄｰﾒｲ	t6.8線入ﾄｰﾒｲ
備考	枠:t1.6亜鉛ﾒｯｷ鋼板SOP(見込165)					
	小松ｳｫｰﾙ:ﾏｲﾃｨGWALL同等品	小松ｳｫｰﾙ:ﾊﾌｺｰｳｫｰﾙ80(遮音ﾀｲﾌﾟ)同等品	小松ｳｫｰﾙ:ﾊﾌｺｰｳｫｰﾙ80(遮音ﾀｲﾌﾟ)同等品	小松ｳｫｰﾙ:ﾊﾌｺｰｳｫｰﾙ80(遮音ﾀｲﾌﾟ)同等品		
形状						

名称	(3) B 防煙垂れ壁	(4) B 防煙垂れ壁	(5) B 防煙垂れ壁	(6) B 防煙垂れ壁	(7) B 電動防煙ｽｸﾘｰﾝ
数量	1	1	1	1	1
場所	2F ﾎｰﾙ	2F ﾎｰﾙ	3F 事務室A	3F 事務室A	1F 待合ｽﾍﾟｰｽ
仕上	ｱﾙﾐｼﾙﾊﾞｰｽﾘﾑ枠	ｱﾙﾐｼﾙﾊﾞｰｽﾘﾑ枠	ｱﾙﾐｼﾙﾊﾞｰｽﾘﾑ枠	ｱﾙﾐｼﾙﾊﾞｰｽﾘﾑ枠	ｽﾗｯﾄ：不燃布（ガラス繊維塩ビｺｰﾃｨﾝｸﾞ）
金物	吊金物	吊金物	吊金物	吊金物	可動型ﾚｰﾙ、ｽﾁｰﾙ塗装マグサ
					火報連動制御器、自.手動閉鎖装置
硝子	t6.8線入ﾄｰﾒｲ	t6.8線入ﾄｰﾒｲ	t6.8線入ﾄｰﾒｲ	t6.8線入ﾄｰﾒｲ	
備考					天井収納
形状					

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 検図	建具リスト（４）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 A－68

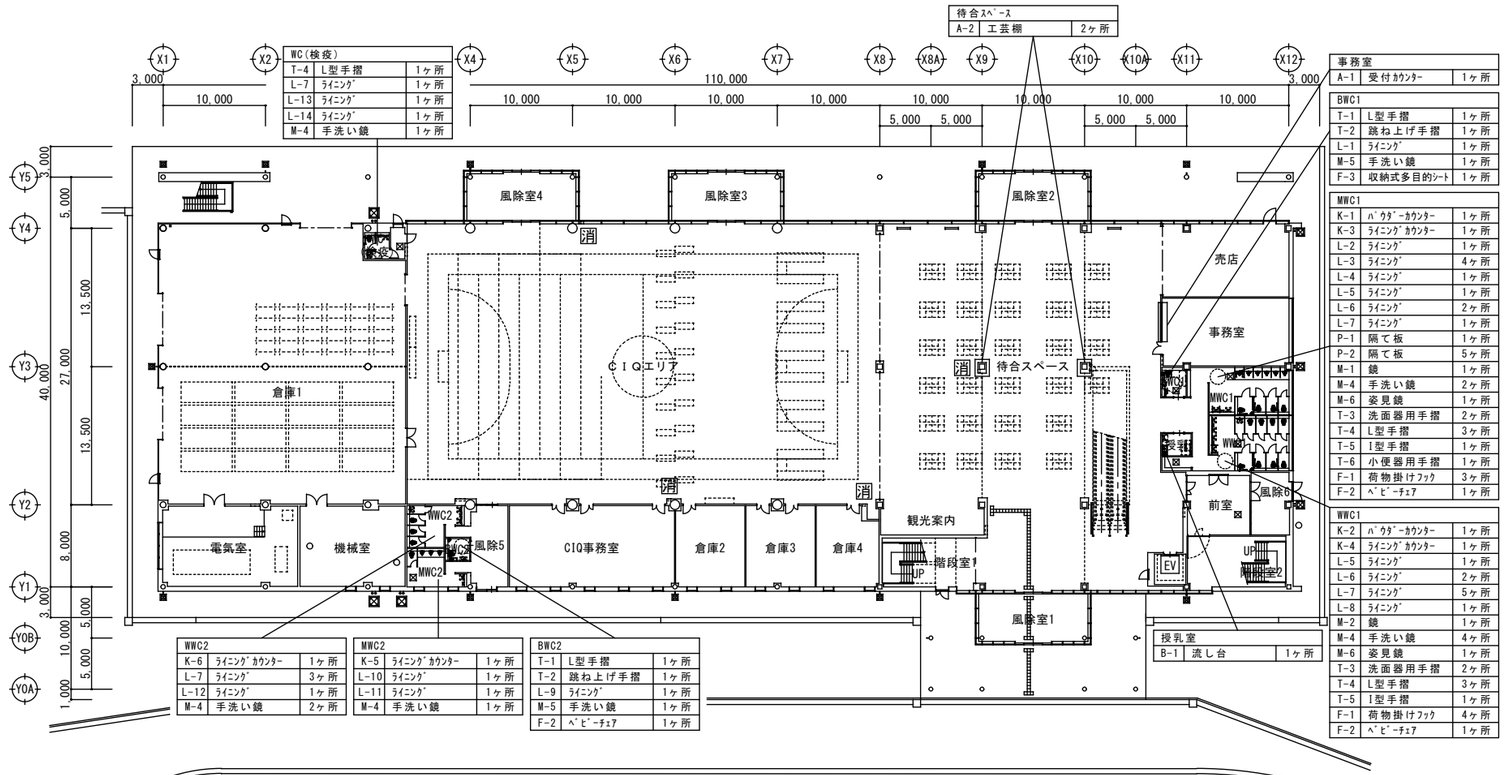
名　称	① TB トイレブース	② TB トイレブース	③ TB トイレブース	④ TB トイレブース	⑤ TB トイレブース	⑥ TB トイレブース
数　量	2	1	1	1	1	2
場　所	1F MWC1,WWC1	1F WWC1	1F WWC2	1F MWC2	1F WC(検疫)	2･3F WWC
仕　上	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア
金　物	スタイルアルミニールエッジ（中心吊り，隠しビス）、戸当帽子掛け 表示付スライドロック、SUS笠木、SUS巾木	スタイルアルミニールエッジ（中心吊り，隠しビス）、戸当帽子掛け 表示付スライドロック、SUS笠木、SUS巾木、引手	スタイルアルミニールエッジ（中心吊り，隠しビス）、戸当帽子掛け 表示付スライドロック、SUS笠木、SUS巾木、引手	スタイルアルミニールエッジ（中心吊り，隠しビス）、戸当帽子掛け 表示付スライドロック、SUS笠木、SUS巾木	スタイルアルミニールエッジ（中心吊り，隠しビス）、戸当帽子掛け 表示付スライドロック、SUS笠木、SUS巾木、引手	スタイルアルミニールエッジ（中心吊り，隠しビス）、戸当帽子掛け SUS笠木、SUS巾木、引手
硝　子						
備　考						
形　状						

名　称	⑦ TB トイレブース	⑧ TB トイレブース				
数　量	2	2				
場　所	2･3F WWC	2･3F WWC				
仕　上	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア				
金　物	スタイルアルミニールエッジ（中心吊り，隠しビス）、戸当帽子掛け 表示付スライドロック、SUS笠木、SUS巾木	スタイルアルミニールエッジ（中心吊り，隠しビス）、戸当帽子掛け 表示付スライドロック、SUS笠木、SUS巾木				
硝　子						
備　考						
形　状						

名　称									
数　量									
場　所									
仕　上									
金　物									
硝　子									
備　考									
形　状									

名　称									
数　量									
場　所									
仕　上									
金　物									
硝　子									
備　考									
形　状									

JOB NO.									
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 浦建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計	・ ・	標準	建具リスト（５）	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図番	A ― 69



待合ｽﾍﾟｰｽ		
A-2	工芸棚	2ヶ所

WC(検疫)		
T-4	L型手摺	1ヶ所
L-7	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
L-13	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
L-14	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
M-4	手洗い鏡	1ヶ所

事務室		
A-1	受付ｶｳﾝﾀｰ	1ヶ所

BWC1		
T-1	L型手摺	1ヶ所
T-2	跳ね上げ手摺	1ヶ所
L-1	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
M-5	手洗い鏡	1ヶ所
F-3	収納式多目的ｼｰﾄ	1ヶ所

MWC1		
K-1	ﾊﾞｳﾀﾞｰｶｳﾝﾀｰ	1ヶ所
K-3	ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	1ヶ所
L-2	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
L-3	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	4ヶ所
L-4	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
L-5	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
L-6	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	2ヶ所
L-7	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
P-1	隔て板	1ヶ所
P-2	隔て板	5ヶ所
M-1	鏡	1ヶ所
M-4	手洗い鏡	2ヶ所
M-6	姿見鏡	1ヶ所
T-3	洗面器用手摺	2ヶ所
T-4	L型手摺	3ヶ所
T-5	I型手摺	1ヶ所
T-6	小便器用手摺	1ヶ所
F-1	荷物掛けﾌｯｸ	3ヶ所
F-2	ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ	1ヶ所

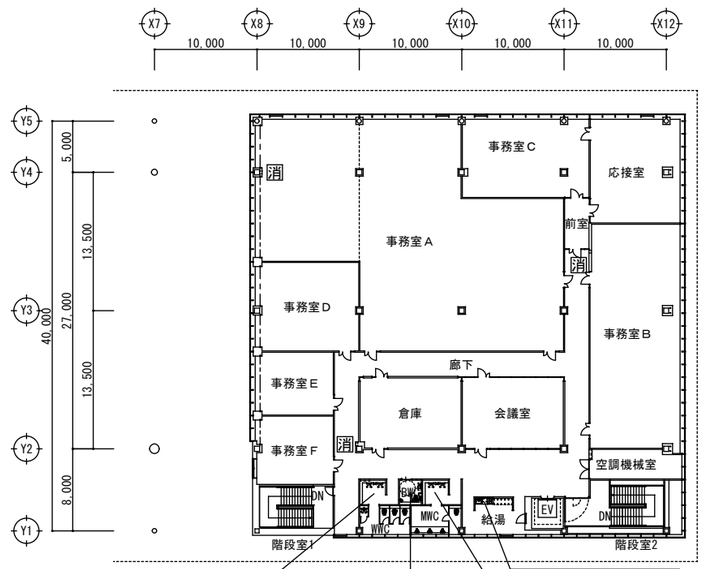
WWC1		
K-2	ﾊﾞｳﾀﾞｰｶｳﾝﾀｰ	1ヶ所
K-4	ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	1ヶ所
L-5	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
L-6	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	2ヶ所
L-7	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	5ヶ所
L-8	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
M-2	鏡	1ヶ所
M-4	手洗い鏡	4ヶ所
M-6	姿見鏡	1ヶ所
T-3	洗面器用手摺	2ヶ所
T-4	L型手摺	3ヶ所
T-5	I型手摺	1ヶ所
F-1	荷物掛けﾌｯｸ	4ヶ所
F-2	ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ	1ヶ所

WWC2		
K-6	ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	1ヶ所
L-7	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	3ヶ所
L-12	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
M-4	手洗い鏡	2ヶ所

MWC2		
K-5	ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	1ヶ所
L-10	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
L-11	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
M-4	手洗い鏡	1ヶ所

BWC2		
T-1	L型手摺	1ヶ所
T-2	跳ね上げ手摺	1ヶ所
L-9	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
M-5	手洗い鏡	1ヶ所
F-2	ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ	1ヶ所

授乳室		
B-1	流し台	1ヶ所

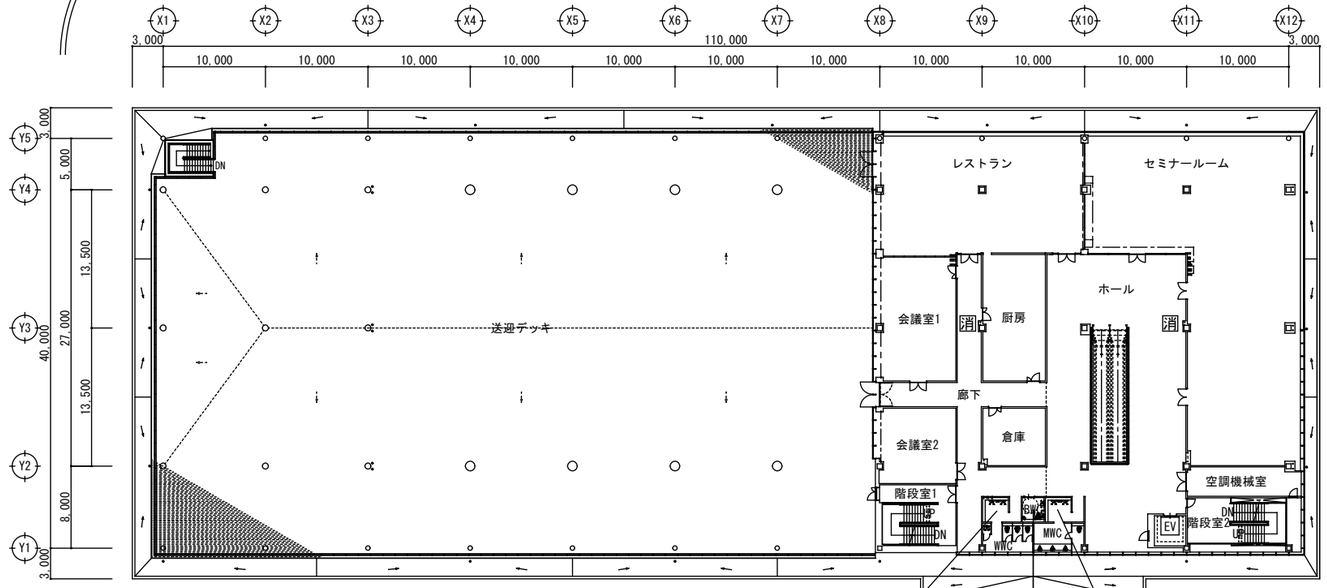


給湯室		
B-2	流し台	1ヶ所

3F WWC		
K-7	ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	1ヶ所
L-17	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	3ヶ所
L-18	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
M-3	鏡	1ヶ所
M-4	手洗い鏡	2ヶ所

3F BWC		
T-1	L型手摺	1ヶ所
T-2	跳ね上げ手摺	1ヶ所
L-9	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
M-5	手洗い鏡	1ヶ所
F-2	ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ	1ヶ所

3F MWC		
K-7	ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	1ヶ所
L-15	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
L-16	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
M-3	鏡	1ヶ所
M-4	手洗い鏡	2ヶ所



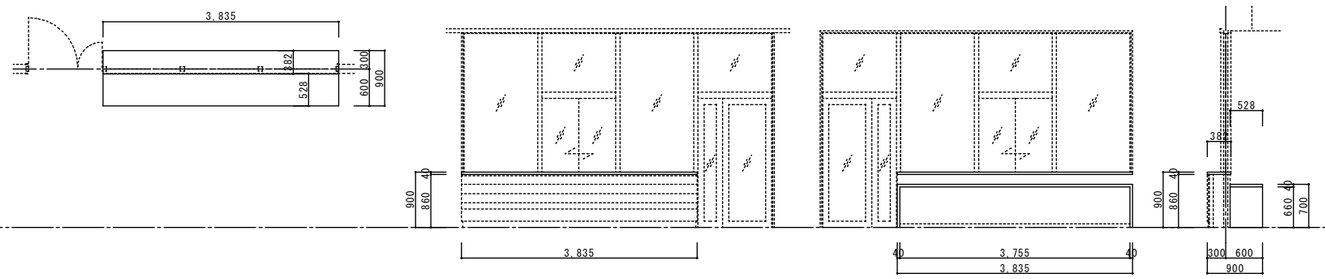
2F WWC		
K-7	ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	1ヶ所
L-17	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	3ヶ所
L-18	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
M-3	鏡	1ヶ所
M-4	手洗い鏡	2ヶ所

2F BWC		
T-1	L型手摺	1ヶ所
T-2	跳ね上げ手摺	1ヶ所
L-9	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
M-5	手洗い鏡	1ヶ所
F-2	ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ	1ヶ所

2F MWC		
K-7	ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	1ヶ所
L-15	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
L-16	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	1ヶ所
M-3	鏡	1ヶ所
M-4	手洗い鏡	2ヶ所

記号	数量	名称				
A－1	1	受付ｶｳﾝﾀｰ	事務室			
A－2	2	工芸棚	待合ｽﾍﾟｰｽ			
B－1	1	流し台	授乳室			

形状

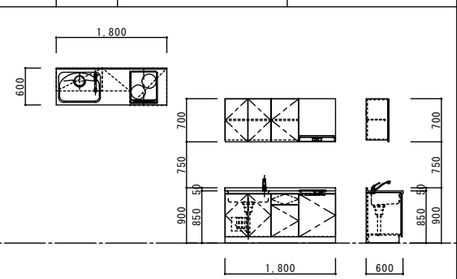


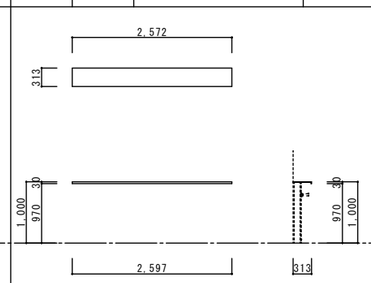
仕上・材料	天板・側板：t40ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼(ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯)小口共、巾木：ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼
建具	隠蔽式ﾌﾞﾗｹｯﾄ
金物	
硝子	
備考	

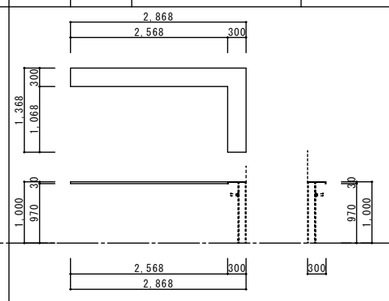
天板：t40堅木練付合板貼(ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯)着色CL(小口：堅木着色CL)	
300角・150角ﾊﾟﾈﾙ：t25堅木練付合板貼(ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯)着色CL(小口：堅木着色CL)ﾗﾝﾀﾞﾑ配置	

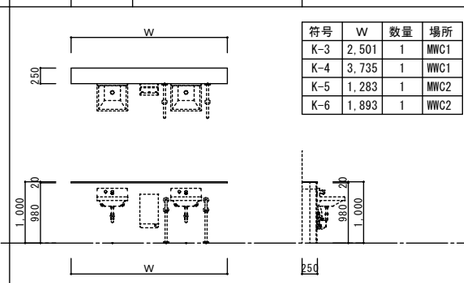
記号	数量	名称				
B－2	1	流し台	給湯室			
K－1	1	ﾊﾞｳﾀﾞｰｶｳﾝﾀｰ	MWC1			
K－2	1	ﾊﾞｳﾀﾞｰｶｳﾝﾀｰ	WWC1			
K－		ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ				
K－7	4	ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	2･3F MWC, WWC			

形状

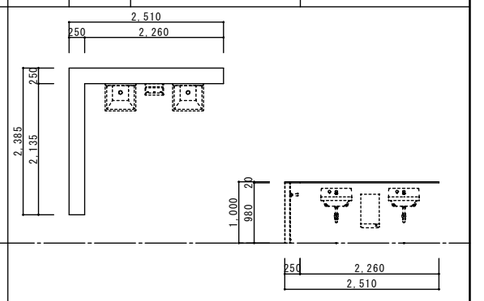








符号	W	数量	場所
K-3	2,501	1	MWC1
K-4	3,735	1	WWC1
K-5	1,283	1	MWC2
K-6	1,893	1	WWC2



ｻﾝｳｪｰﾌﾞ：ｻﾝﾌｧｰﾆ〈ﾃｨｵ〉同等品	
ｶｳﾝﾀｰﾄｯﾌﾟ：ｽﾃﾝﾚｽ、ﾗｲﾝ取手、水洗：ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ、	隠蔽式ﾌﾞﾗｹｯﾄ
加熱機器：IH1口ｺﾝﾛ、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ：ADRﾀｲﾌﾟ（化粧ﾊﾟﾈﾙ）ｼﾛｯｺﾌｧﾝ、巾広ｼﾝｸ	

ｱｲｶ：t12人工大理石ｶｳﾝﾀｰSJA1同等品	
隠蔽式ﾌﾞﾗｹｯﾄ	

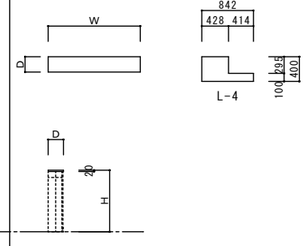
ｱｲｶ：t12人工大理石ｶｳﾝﾀｰSJA1同等品	
隠蔽式ﾌﾞﾗｹｯﾄ	

ｱｲｶ：t12人工大理石ｶｳﾝﾀｰSNA同等品	
隠蔽式ﾌﾞﾗｹｯﾄ	

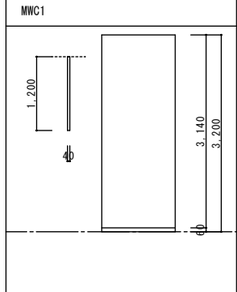
ｱｲｶ：t20ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑｶｳﾝﾀｰKAA同等品	
隠蔽式ﾌﾞﾗｹｯﾄ	

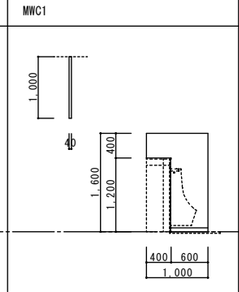
記号	数量	名称																					
L－		ﾗｲﾆﾝｸﾞ																					
P－1	1	隔て板																					
P－2	5	隔て板																					
M－	1	鏡																					
M－4	18	鏡																					
M－5	4	鏡																					
M－6	2	姿見鏡																					

形状

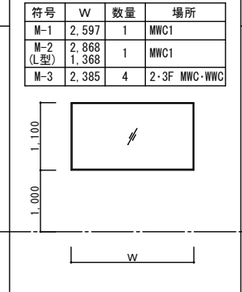


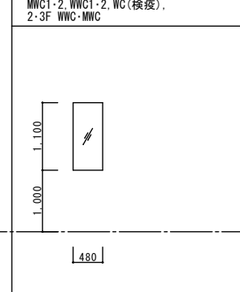
符号	W	D	H	数量	場所
L-1	2,055	300	1,000	1	BWC1
L-2	860	400	1,200	1	MWC1
L-3	842	400	1,200	4	MWC1
L-4	図示	図示	1,200	1	MWC1
L-5	1,750	250	900	2	MWC1, WWC1
L-6	1,150	250	900	4	MWC1, WWC1
L-7	1,050	250	900	10	MWC1, WWC1, WWC2, WC(検疫)
L-8	910	250	1,200	1	WWC1
L-9	2,135	250	1,000	3	BWC2,2･3F BWC
L-10	1,000	250	900	1	MWC2
L-11	2,578	250	1,200	1	MWC2
L-12	798	250	1,200	1	WWC2
L-13	790	250	1,200	1	WC(検疫)
L-14	1,328	250	1,000	1	WC(検疫)
L-15	1,173	250	900	2	2･3F MWC
L-16	3,700	463	1,400	2	2･3F MWC
L-17	958	250	900	6	2･3F WWC
L-18	803	250	1,000	2	2･3F WWC

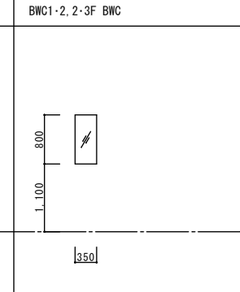


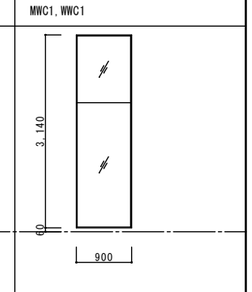


符号	W	数量	場所
M-1	2,597	1	MWC1
M-2 (L型)	2,868 1,368	1	MWC1
M-3	2,385	4	2･3F WWC･WWC









t40ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼	
SUS巾木、支持金物	
下地補強共	

t40ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼	
SUS巾木、支持金物	
下地補強共	

鏡貼	
取付金物一式	
下地補強共	

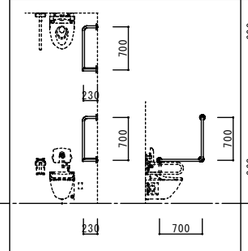
TOTO：化粧鏡YMK52K同等品	
取付金物一式	
下地補強共	

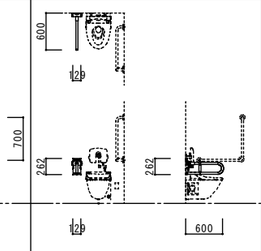
TOTO：化粧鏡YM3580AC同等品	
SUSﾌﾚｰﾑ、取付金物一式	
下地補強共	

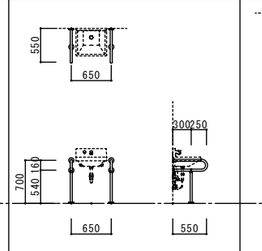
鏡貼	
SUSﾌﾚｰﾑ、取付金物一式	
全埋込、扉付き	

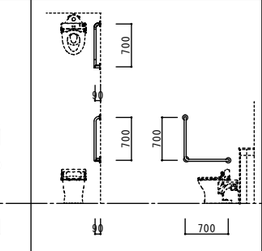
記号	数量	名称																					
T－1	4	L型手摺																					
T－2	4	跳ね上げ手摺																					
T－3	4	洗面器用手摺																					
T－4	7	L型手摺																					
T－5	2	I型手摺																					
T－6	1	小便器用手摺																					
F－1	7	荷物掛けﾌｯｸ																					
F－2	5	ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ																					
F－3	1	収納式多目的ｼｰﾄ																					
F－4	9	消火器BOX																					

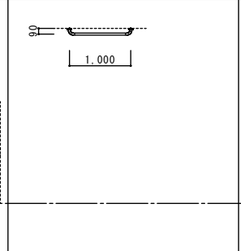
形状

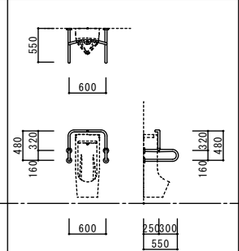


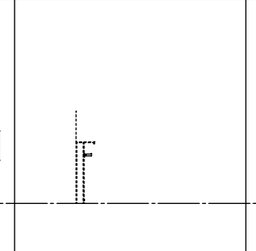


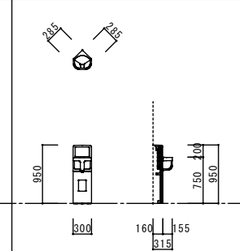


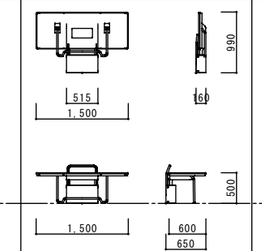


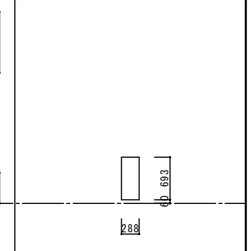












TOTO：腰掛便器用手すり(固定式) L型	
抗菌 樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ（φ34) T112CL11 同等品	
下地補強共	

TOTO：腰掛便器用手すり(可動式)	
はね上げﾀｲﾌﾟ(ﾛｯｸ付)	
抗菌 樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ（φ34) T112HK7同等品	
下地補強共	

TOTO：腰掛便器用手すり(固定式)	
抗菌 樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ（φ34) T112CP2 同等品	
下地補強共	

TOTO：腰掛便器用手すり(固定式)	
抗菌 樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ（φ34) T112CL9 同等品	
下地補強共	

TOTO：多用途用手すり(固定式)	
抗菌 樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ（φ34) T112C10 同等品	
下地補強共	

TOTO：小便器用手すり	
抗菌 樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ（φ34) T112CU2 同等品	
下地補強共	

TOTO：ﾌｯｸ YKKH22 同等品	
取付金物一式	
下地補強共	

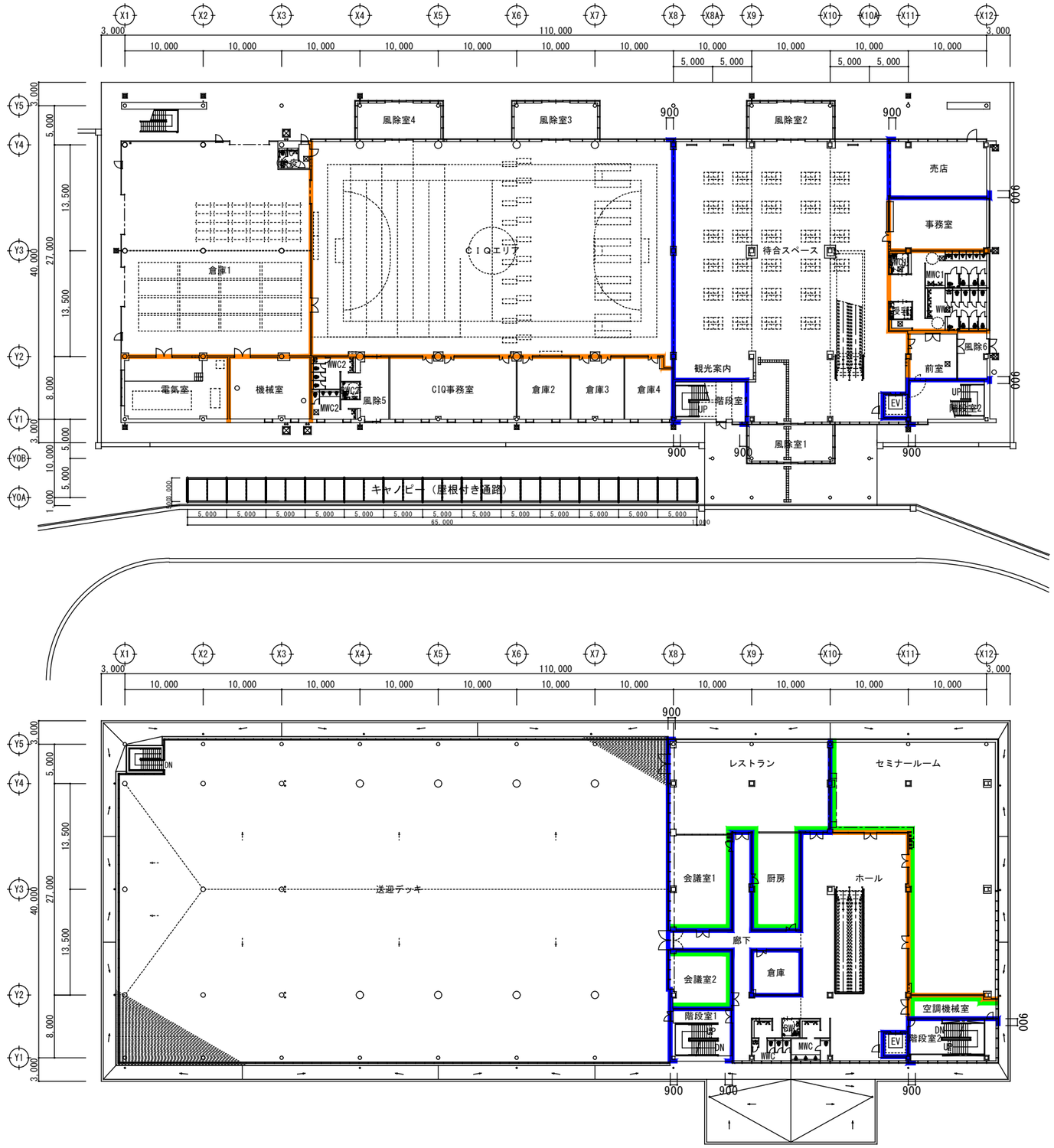
TOTO：ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ コーナー設置ﾀｲﾌﾟ	
YKA16 同等品	
取付金物一式	
下地補強共	

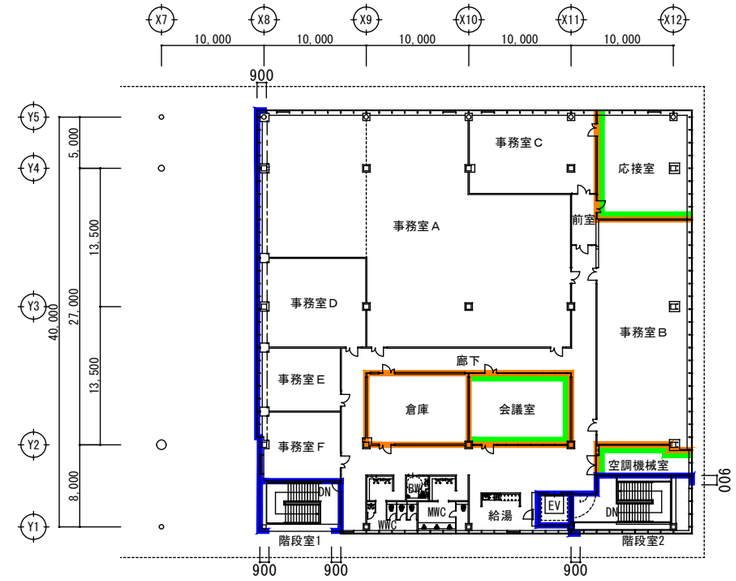
TOTO：収納式多目的ｼｰﾄ(ｸﾞﾘｯﾌﾟ付)	
EWC520AS 同等品	
取付金物一式	
床固定、下地補強共	

ﾕﾆｵﾝ：UFB-1F-2720 同等品	
ﾌﾞﾗｹｯﾄ、文字入り、標準ｽﾃｯｶｰ	
全埋込、扉付き	

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 瀧 淳	設計 ・ ・ 監理	家具リスト

縮尺 A1：1/50 A3：1/100　図番 A－71





	防火区画 GB-F(12.5)＋GB-RH(9.5)両面張り(LGS下地)　FP060NP-0199
	GB-R(12.5+9.5)両面張り(LGS下地)梁下/ｽﾗﾌﾞ裏ﾏﾃﾞ
	t100ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填
	GB-R(12.5+9.5)両面張り(LGS下地)天井ﾏﾃﾞ

■ サインコンセプト

伝統・つながり

・石川県は、古い歴史が残る町であり建物、工芸品、料理と共に誇れる**「伝統」**があり、どれも上顧客に**「贈答用」**として作られたものが多い。

・セミナールームは会議室としての利用のほか、子供たちの港湾学習の場としても活用され、1階のCIQスペースと待合施設は10月～3月のおよそ半年のオフシーズンに入ると、各種イベントや展示会としての活用、子供向けのスポーツの場として**「地域住民が集える場」**になる。

・**「人と人とが活発に交流する」**外航クルーズ拠点港を目指し、石川県、金沢市などの関係機関とも連携し、定期航路の充実、クルーズ船誘致とクルーズ人口の拡大を目指している。

つながり＝結び

結びイメージ

水引

ご祝儀や不祝儀の際に用いられる飾りで、贈答品の包み紙や封筒などにかける紅白や白黒などの帯紐。
加賀水引細工の特徴は、折らずにふっくらとさせた豪華絢爛な形姿の美しさで、婚礼祭礼には欠かせない伝統の技。

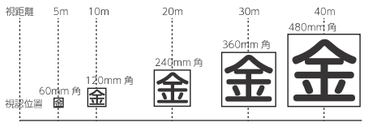
見送りのテープ

包装用テープで最後まで別れを惜しむ握手代わりとして、世界中に広まった

視認距離と図記号、文字の大きさ

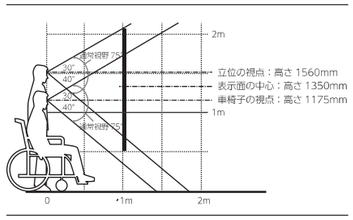
サインの設置場所とそれを見る人の距離（視距離）によって、図記号や文字の大きさは、表の寸法を参考にしてください。

視距離	図記号の基準寸法	和文文字高	英文字高
40m の場合	480mm 角以上	160mm 以上	120mm 以上
30m の場合	360mm 角以上	120mm 以上	90mm 以上
20m の場合	240mm 角以上	80mm 以上	60mm 以上
10m の場合	120mm 角以上	40mm 以上	30mm 以上
5m の場合	60mm 角以上	20mm 以上	15mm 以上
1m の場合	35mm 角以上	9mm 以上	7mm 以上



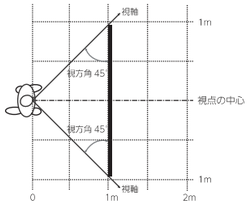
上下の見やすい視野角

表示板の設置高さの範囲は、標準的な立位及び車椅子の静止時における上下視野角を参考にしてください。

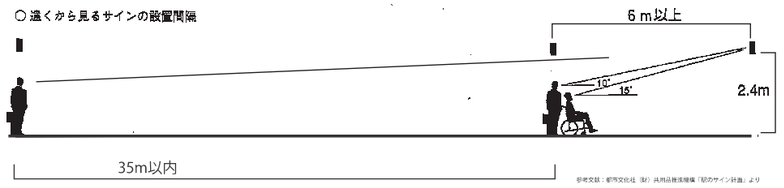


左右の見やすい視野角

表示板の左右の幅は、左右視野角を参考にしてください。



○遠くから見るサインの設置間隔



参考文献：都市文化社（財）共用品推進機構「駅のサイン計画」より

■ デザインパターン

デザインモチーフ

1.

縁起のよい結び方「あわじ結び」から転じた結び

あわじ結び ⟶ 梅結び

「固く結ばれた絆」
「加賀梅鉢」

2.

風にゆられるテープ

3.

波のゆらぎ

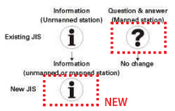
■ ピクト・文字表記

ピクトサインについて

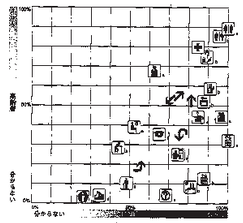
・弱視の方のためにも、地（ベース）と図（ピクト等）の明度差は5度以上を確保する。
・ISOピクトサインに基づいて設定するが、2020年東京オリンピックに向けた改訂版があればこちらに準ずる。

ISO ピクトサイン

[iii] Other changes



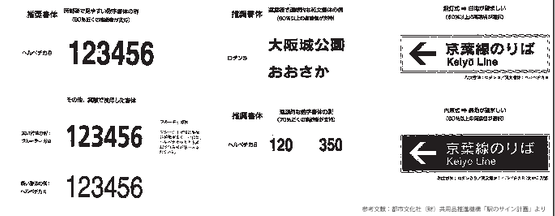
○ 通路幅と手荷物のピクトグラム理解度



○ 視認に補助的に文字や記号を加えた例

参考文献：都市文化社（財）共用品推進機構「駅のサイン計画」より

文字表記について

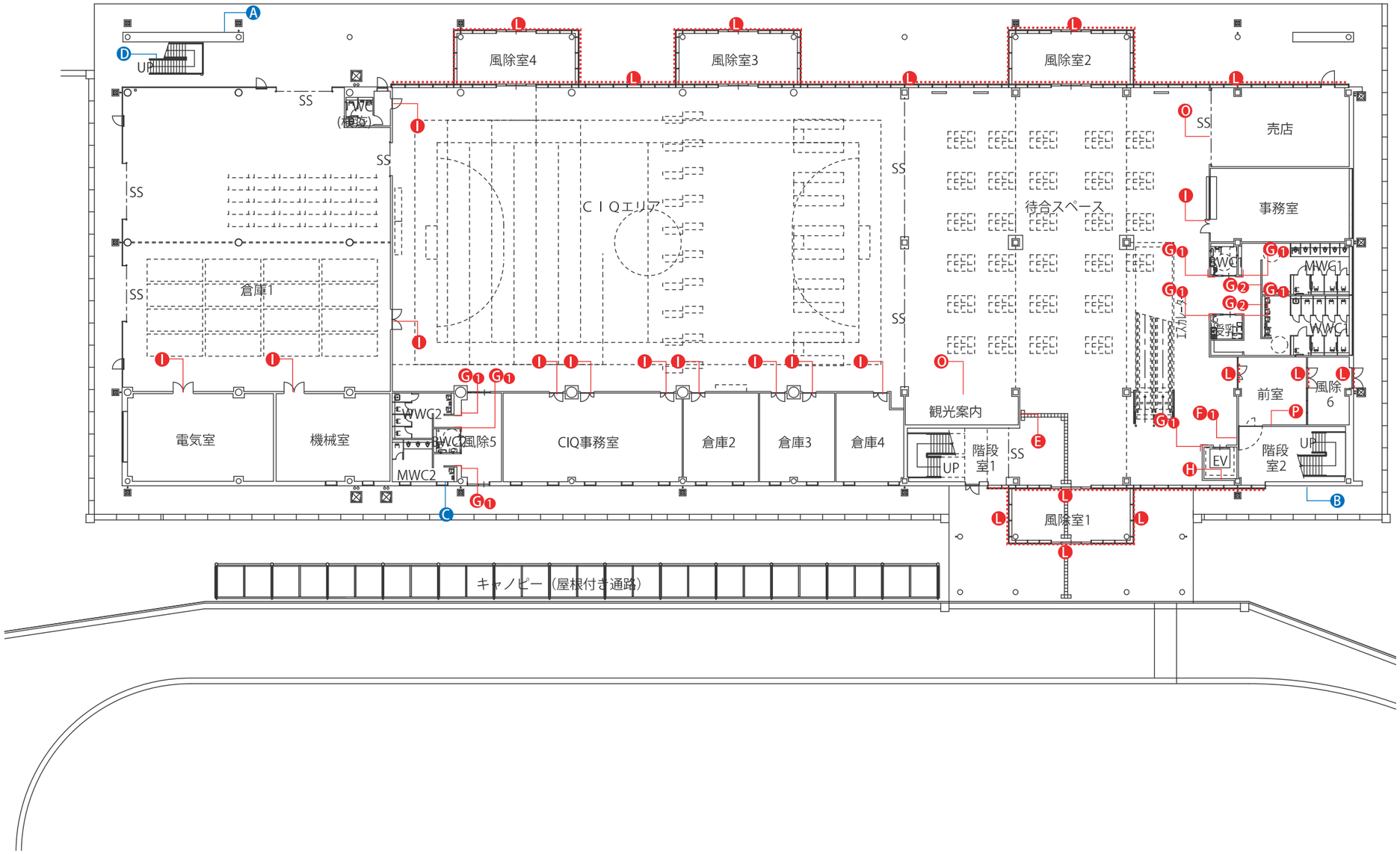


参考文献：都市文化社（財）共用品推進機構「駅のサイン計画」より

多国語表記について

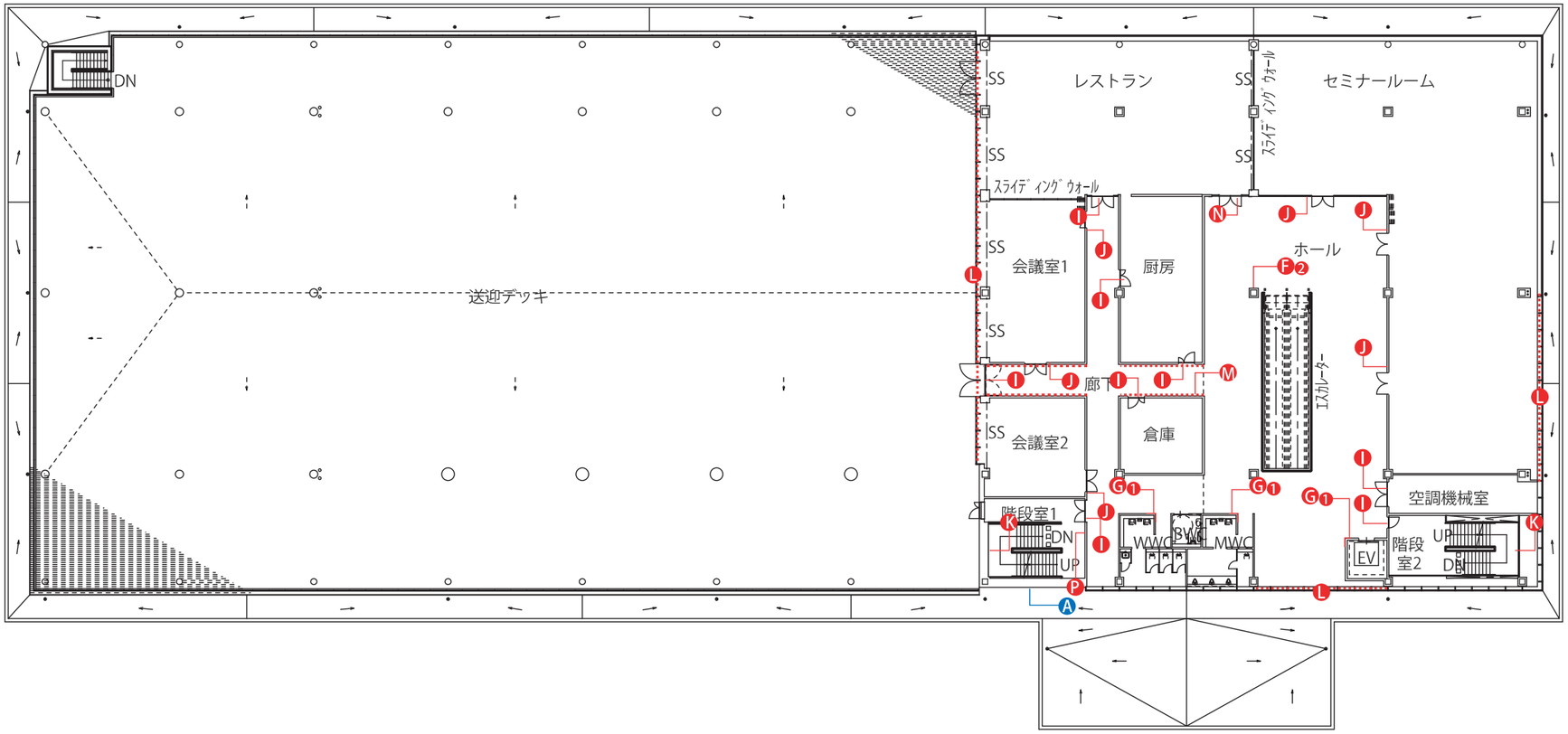
※ QRトランスレーター（多国語翻訳・多国語表示サービス）を導入

スマートホンをQRコードにかざすだけで多国語表示（15カ国語対応）、音声読み上げ機能があるので他国の方や障害者の多くの方が使い易いバリアフリーデザインです。



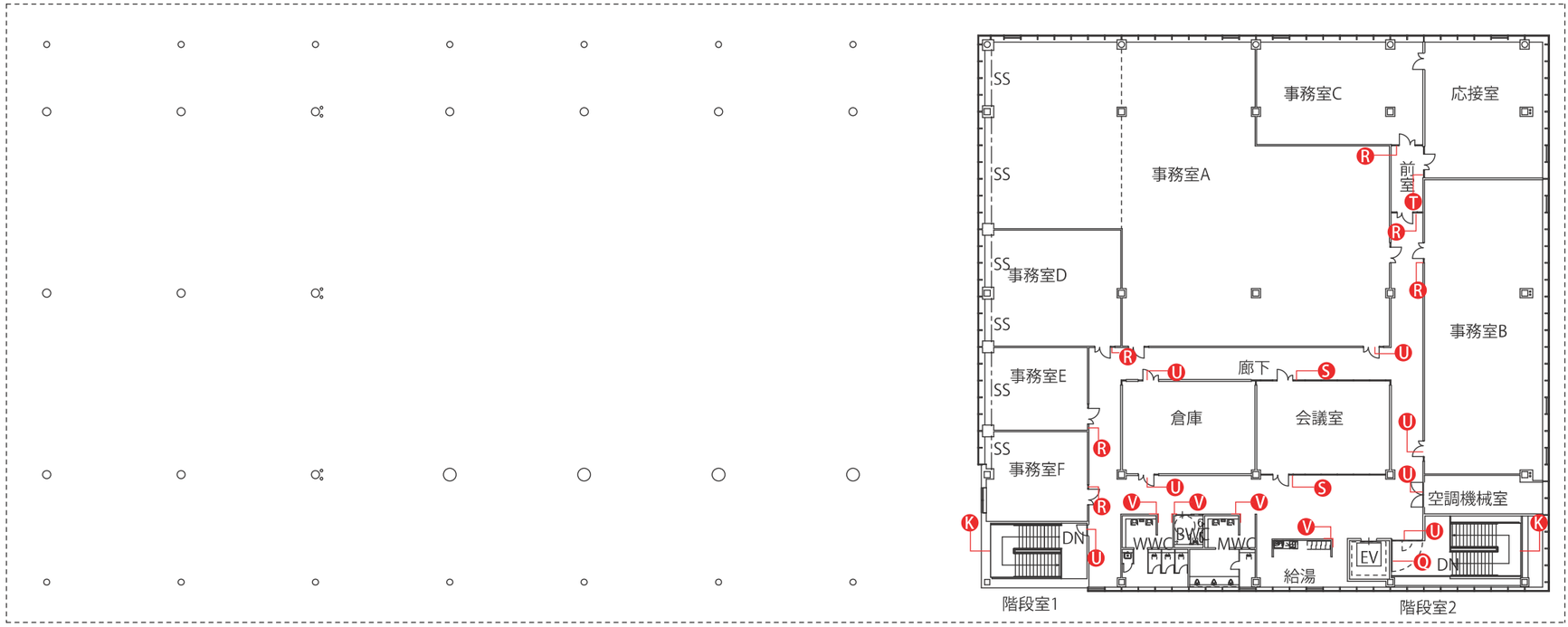
		1F	2F	3F	計
A	壁面サイン（照明入）	-	2	-	2
B	壁面サイン（照明無）	1	-	-	1
C	外部トイレ表示	1	-	-	1
D	外部誘導表示サイン	1	-	-	1
E	総合案内サイン	1	-	-	1
F1	フロア案内サイン	1	1	-	2
F2	フロア案内サイン	-	1	-	1
G1	ピクトサイン	7	3	-	10
G2	ピクトサイン	2	-	-	2
H	EV内サイン	1	-	-	1
I	室名サイン	12	8	-	20
J	室名サイン	-	6	-	6
K	階数表示	-	2	2	4
L	衝突防止シート	数カ所	数カ所	数カ所	数カ所
M	グラフィックシート	-	1	-	1
N	レストランサイン	-	1	-	1
O	施設サイン	2	-	-	2
P	誘導サイン	1	1	-	2
Q	事務所表示サイン	-	-	1	1
R	事務所室名A	-	-	5	5
S	事務所室名B	-	-	2	2
T	事務所室名C	-	-	1	1
U	事務所室D	-	-	7	7
V	事務所ピクト	-	-	4	4

JOB NO.	年月	工事名	設計者	作図	図面名	縮尺	図番
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	・ ・	１階サイン符号図	A1:1/200 A3:1/400	A－74



		1F	2F	3F	計
A	壁面サイン（照明入）	-	2	-	2
B	壁面サイン（照明無）	1	-	-	1
C	外部トイレ表示	1	-	-	1
D	外部誘導表示サイン	1	-	-	1
E	総合案内サイン	1	-	-	1
F1	フロア案内サイン	1	1	-	2
F2	フロア案内サイン	-	1	-	1
G1	ピクトサイン	7	3	-	10
G2	ピクトサイン	2	-	-	2
H	EV内サイン	1	-	-	1
I	室名サイン	12	8	-	20
J	室名サイン	-	6	-	6
K	階数表示	-	2	2	4
L	衝突防止シート	数カ所	数カ所	数カ所	数カ所
M	グラフィックシート	-	1	-	1
N	レストランサイン	-	1	-	1
O	施設サイン	2	-	-	2
P	誘導サイン	1	1	-	2
Q	事務所表示サイン	-	-	1	1
R	事務所室名A	-	-	5	5
S	事務所室名B	-	-	2	2
T	事務所室名C	-	-	1	1
U	事務所室D	-	-	7	7
V	事務所ピクト	-	-	4	4

JOB NO.	年月	工事名	設計者	縮尺	図番
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	2階サイン符号図	A1:1/200 A3:1/400	A－75



		1F	2F	3F	計
A	壁面サイン（照明入）	–	2	–	2
B	壁面サイン（照明無）	1	-	-	1
C	外部トイレ表示	1	-	-	1
D	外部誘導表示サイン	1	-	-	1
E	総合案内サイン	1	-	-	1
F1	フロア案内サイン	1	1	-	2
F2	フロア案内サイン	-	1	-	1
G1	ピクトサイン	7	3	-	10
G2	ピクトサイン	2	-	-	2
H	EV内サイン	1	-	-	1
I	室名サイン	12	8	-	20
J	室名サイン	-	6	-	6
K	階数表示	-	2	2	4
L	衝突防止シート	数カ所	数カ所	数カ所	数カ所
M	グラフィックシート	-	1	-	1
N	レストランサイン	-	1	-	1
O	施設サイン	2	-	-	2
P	誘導サイン	1	1	-	2
Q	事務所表示サイン	-	-	1	1
R	事務所室名A	-	-	5	5
S	事務所室名B	-	-	2	2
T	事務所室名C	-	-	1	1
U	事務所室D	-	-	7	7
V	事務所ピクト	–	-	4	4

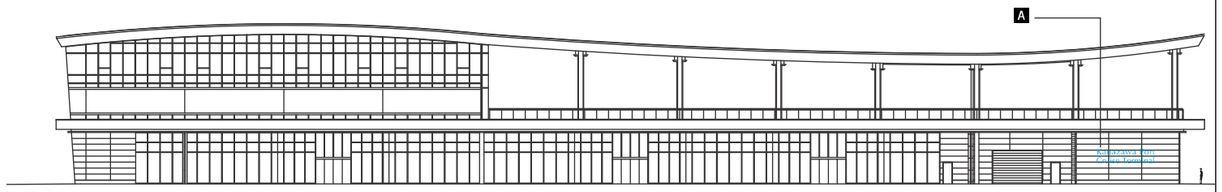
一級建築士事務所 株式会社浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳

A 壁面サイン（照明入） A1 1：40 / A3 1：80
2ヶ所

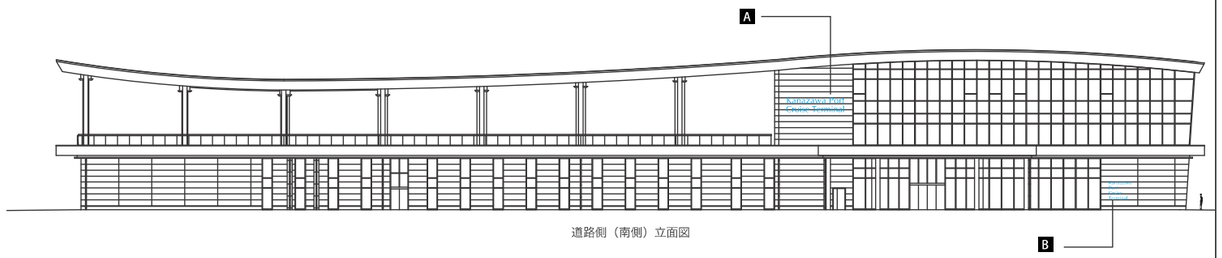
SUS 箱文字＃700
発光面：アクリル板 t=5.0mm（乳半色）＋ブルークリアフィルム貼り
LED 内照式（両面発光）

A1 1：100 / A3 1：200 海側（北側）立面図

道路側（南側）立面図

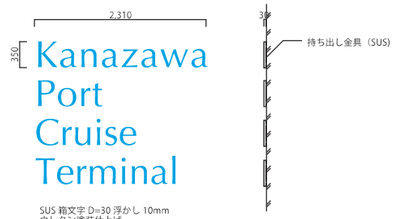


A1 1：300 / A3 1：600 海側（北側）立面図

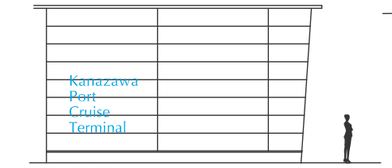


道路側（南側）立面図

B 壁面サイン A1 1：40 / A3 1：80
1ヶ所

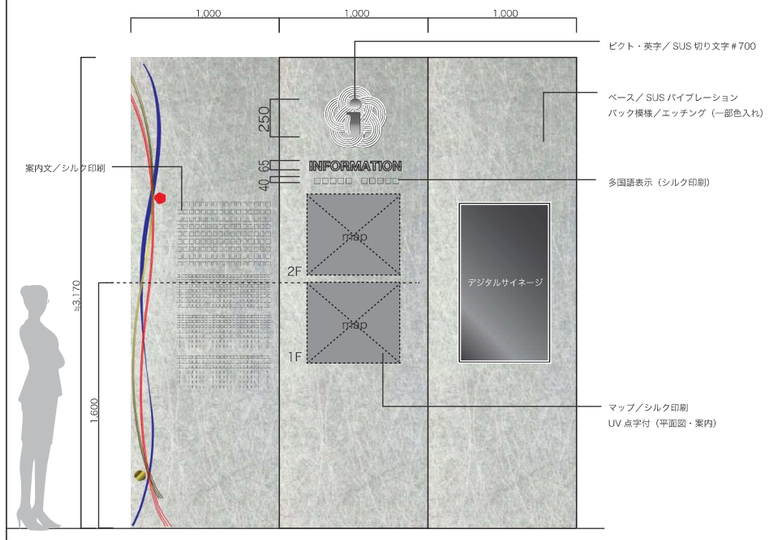


SUS 箱文字 D=30 浮かし 10mm
ウレタン塗装仕上げ

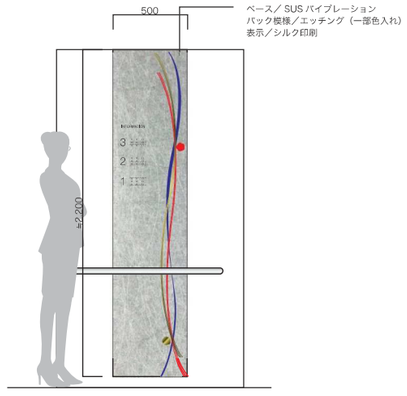


A1 1：100 / A3 1：200 道路側（南側）立面図

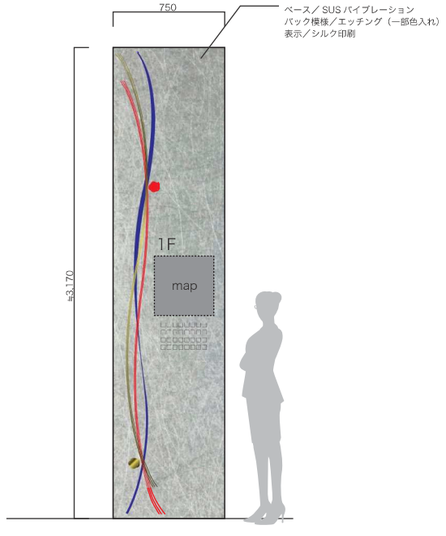
E 総合案内サイン A1 1：20 / A3 1：40
1ヶ所



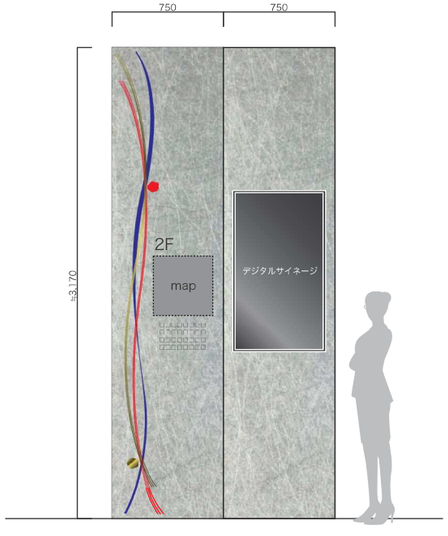
H EV 内案内サイン A1 1：20 / A3 1：40
1ヶ所



F-1 フロア案内サイン A1 1：20 / A3 1：40
2ヶ所

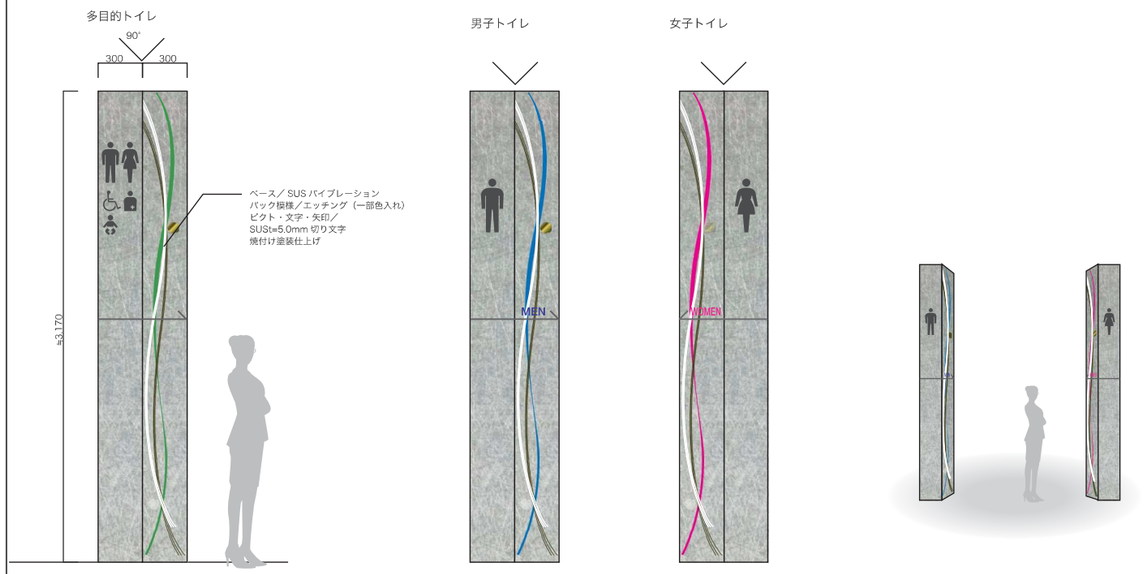


F-2 フロア案内サイン A1 1：20 / A3 1：40
2ヶ所

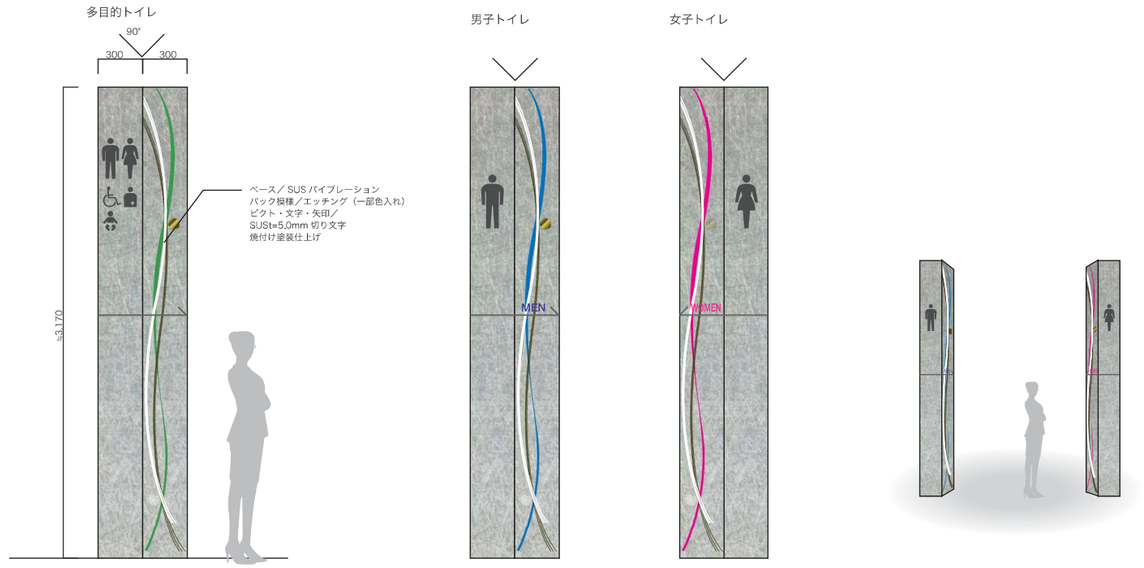


JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 検収	サインリスト（1）	縮尺	図番 A－77

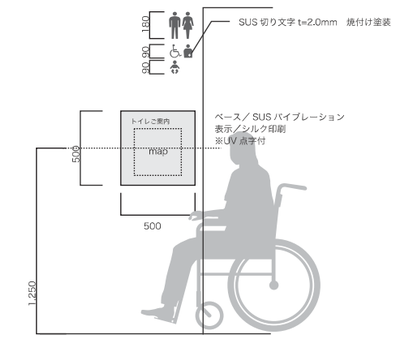
G-1 ピクトサイン　A1 1：20 / A3 1：40
10ヶ所



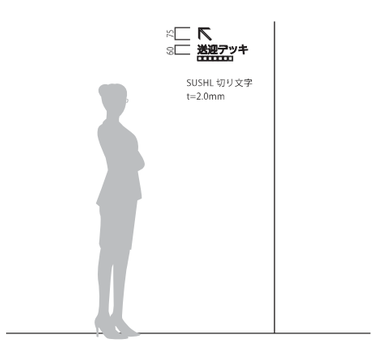
G-1 ピクトサイン　A1 1：20 / A3 1：40
10ヶ所



C 外部トイレ表示　A1 1：20 / A3 1：40
1ヶ所

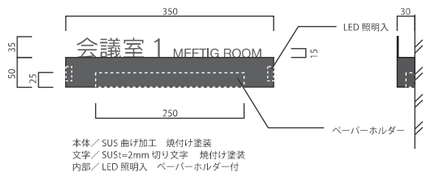


D 外部誘導サイン　A1 1：20 / A3 1：40
1ヶ所

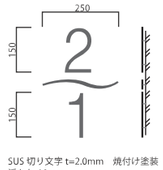


G-2 ピクトサイン　A1 1：20 / A3 1：40
2ヶ所

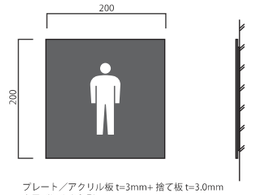
J 室名サイン　A1 1：5 / A3 1：10
6ヶ所



K 階数表示　A1 1：10 / A3 1：20
4ヶ所



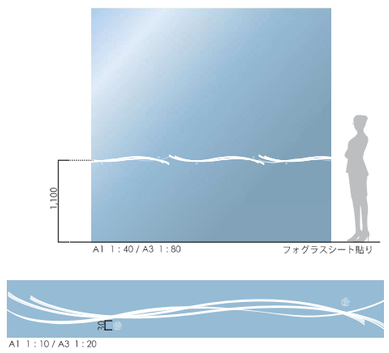
V 事務所ピクト　A1 1：5 / A3 1：10
4ヶ所



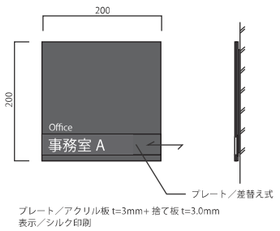
P 誘導サイン　A1 1：20 / A3 1：40
2ヶ所

Q 事務所ピクト　A1 1：20 / A3 1：40
1ヶ所

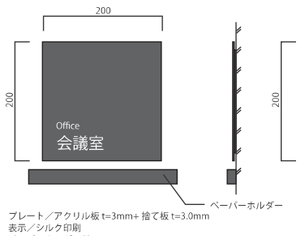
L 衝突防止シート　A1 1：40 / A3 1：80
数ヶ所



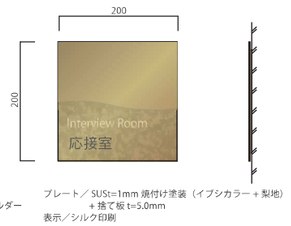
R 事務所室名 A　A1 1：5 / A3 1：10
5ヶ所



S 事務所室名 B　A1 1：5 / A3 1：10
2ヶ所



T 事務所室名 C　A1 1：5 / A3 1：10
1ヶ所



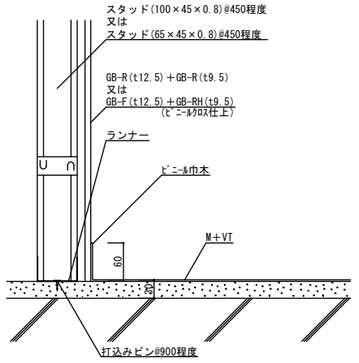
U 事務所室 D　A1 1：2 / A3 1：4
7ヶ所

I シート文字　A1 1：2 / A3 1：4
20ヶ所

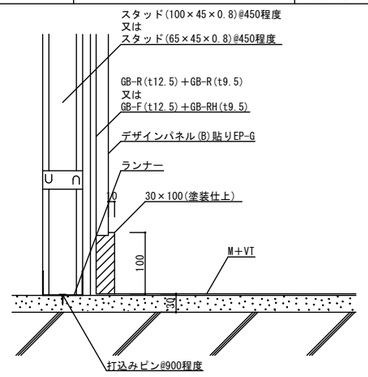
JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 浦建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 検図	サインリスト（2） 縮尺 図番 A－78

A　内部標準詳細図

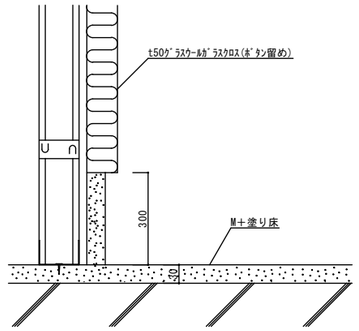
A－1　内部一般諸室（床～壁）　A1:1/5 A3:1/10



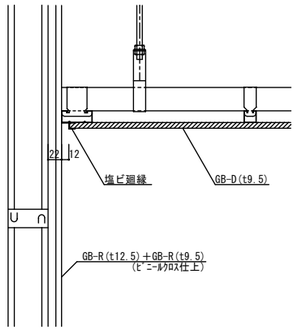
A－2　内部一般諸室（床～壁）　A1:1/5 A3:1/10



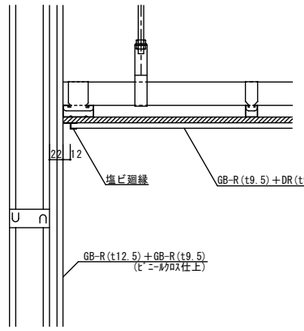
A－3　内部一般諸室（床～壁）　A1:1/5 A3:1/10



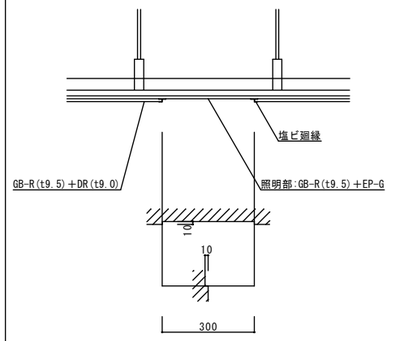
A－4　内部一般諸室（壁～天井）　A1:1/5 A3:1/10



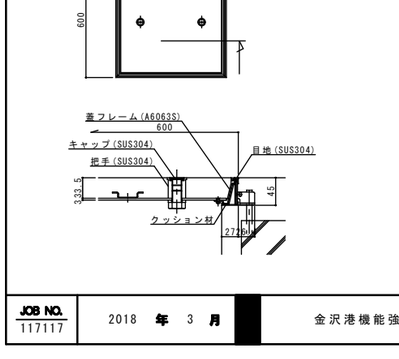
A－5　内部一般諸室（壁～天井）　A1:1/5 A3:1/10



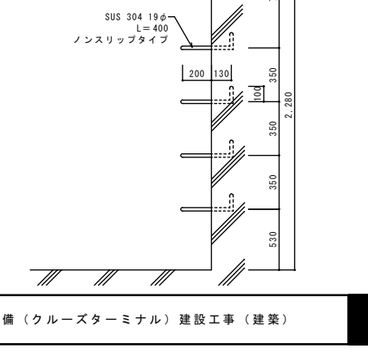
A－6　照明部詳細　A1:1/10 A3:1/20



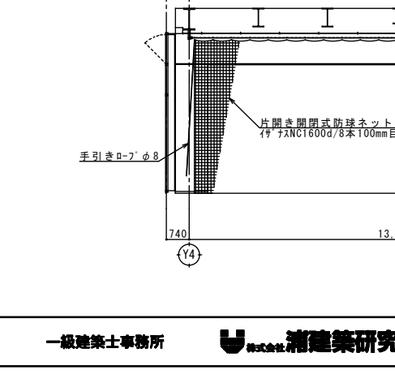
A－7　天井点検口開口補強　A1:1/20 A3:1/40



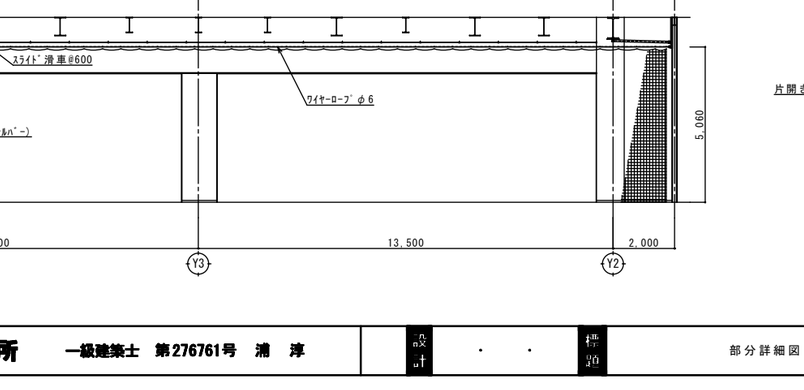
A－8　照明器具開口補強　A1:1/20 A3:1/40



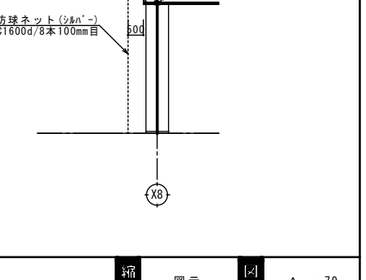
A－9　簡易軽鉄間仕切　A1:1/10 A3:1/20



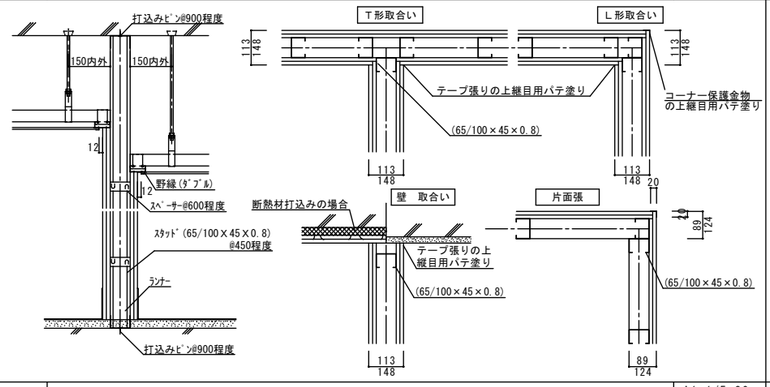
A－10　内部扉枠（ＬＳＧ壁）取合　A1:1/5 A3:1/10



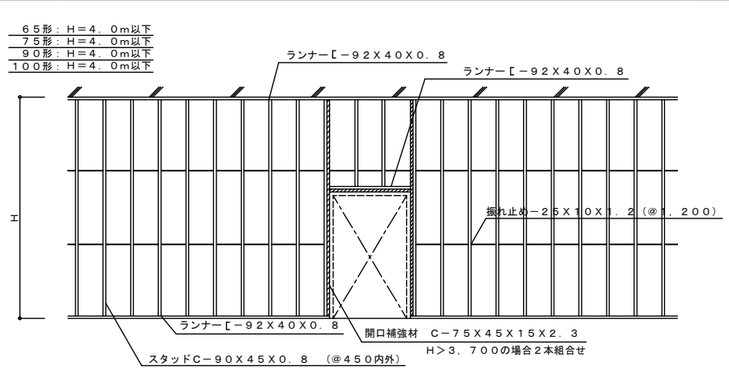
A－11　沓摺　A1:1/5 A3:1/10



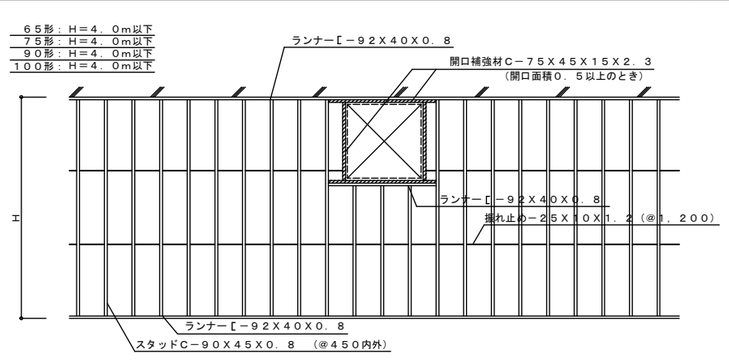
A－12　軽量鉄骨壁下地：各部取合　A1:1/10 A3:1/20



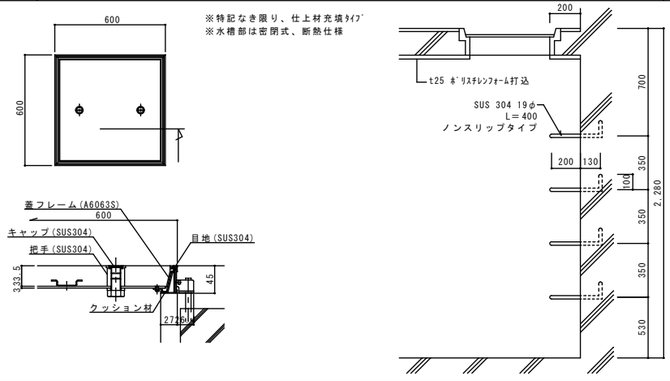
A－13　軽鉄間仕切開口補強（ドア）　A1:1/50 A3:1/100



A－14　軽鉄間仕切開口補強（ダクト等）　A1:1/50 A3:1/100



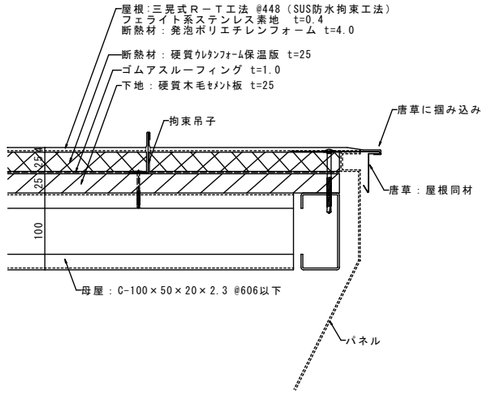
A－15　床点検口詳細図　A1:1/5,20 A3:1/10,40



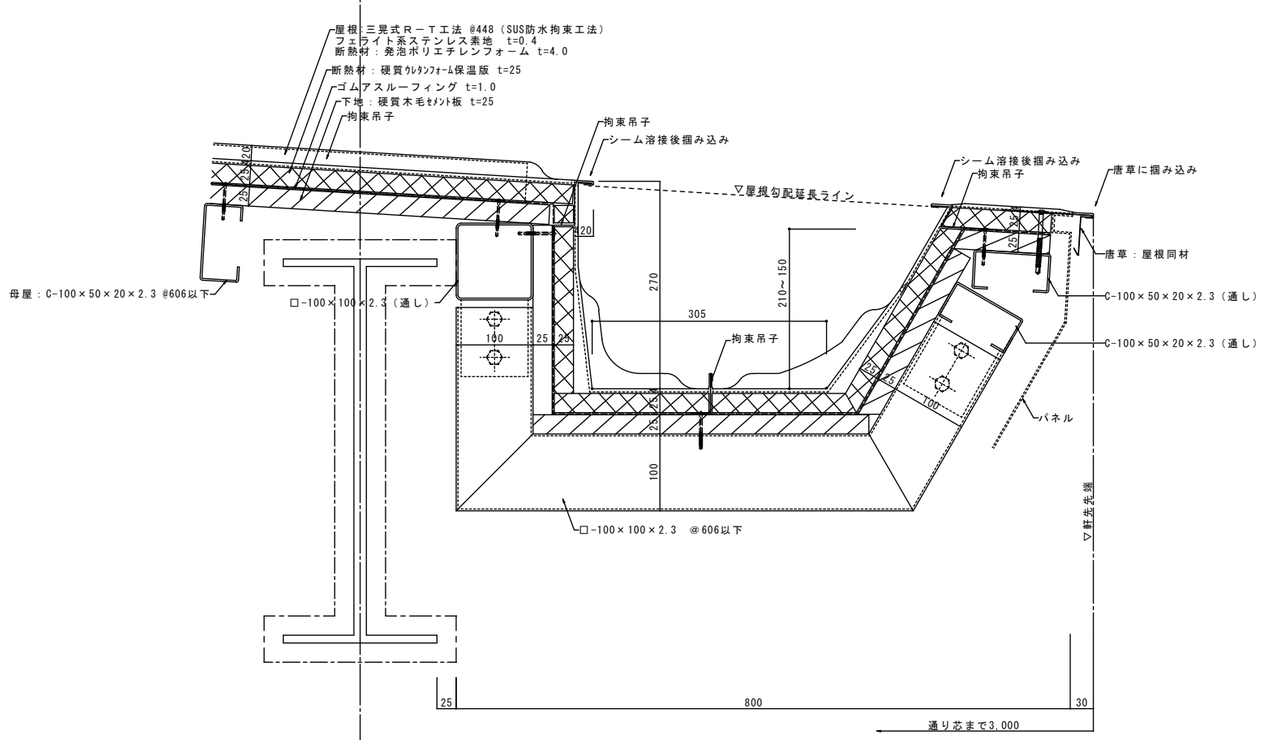
A－16　防球ネット　A1:1/100 A3:1/200

JOB NO.	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 繪建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 製図	部分詳細図（１）	縮尺 図示	図番 A－79
117117							

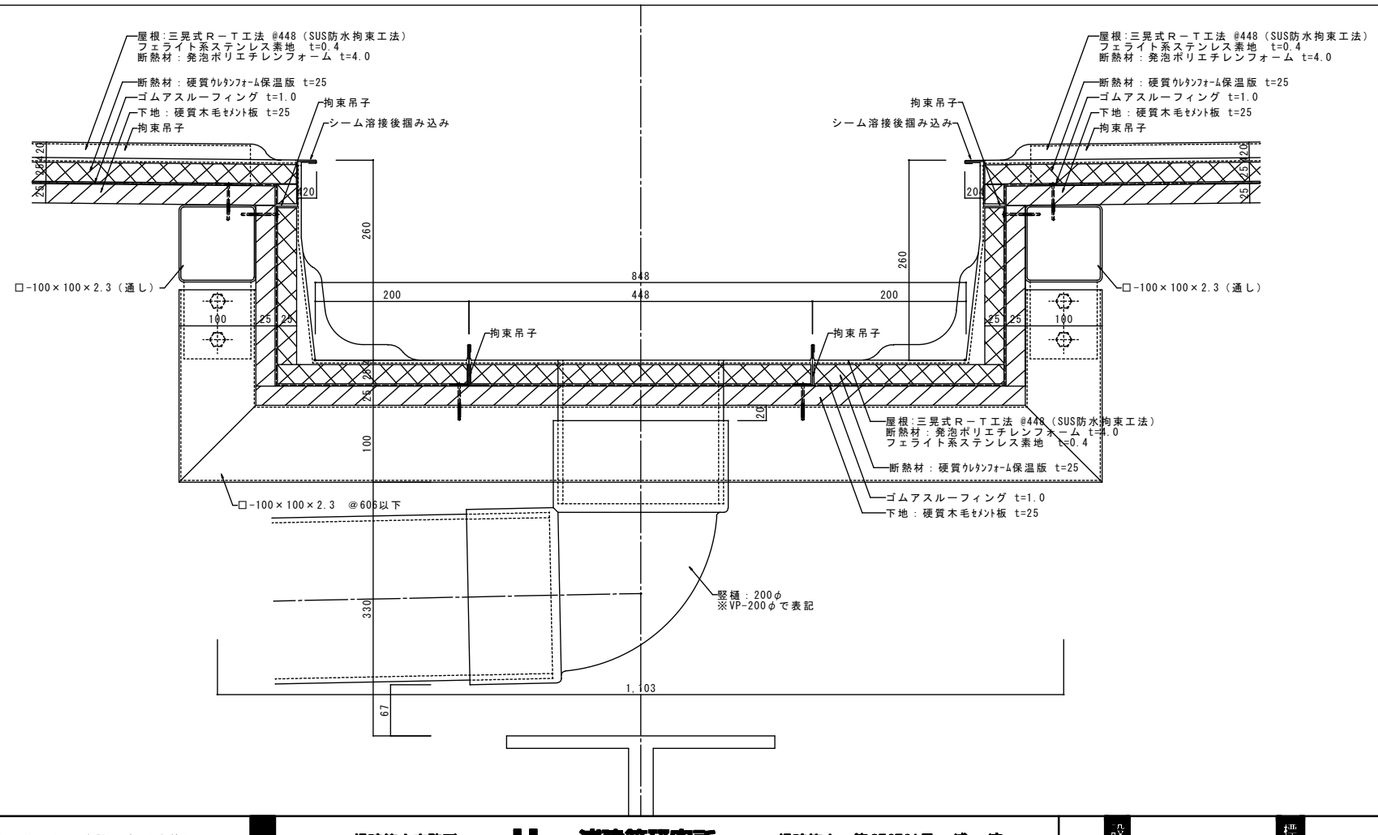
屋根：妻側詳細図



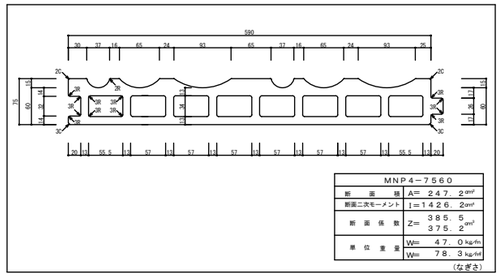
屋根：軒先詳細図

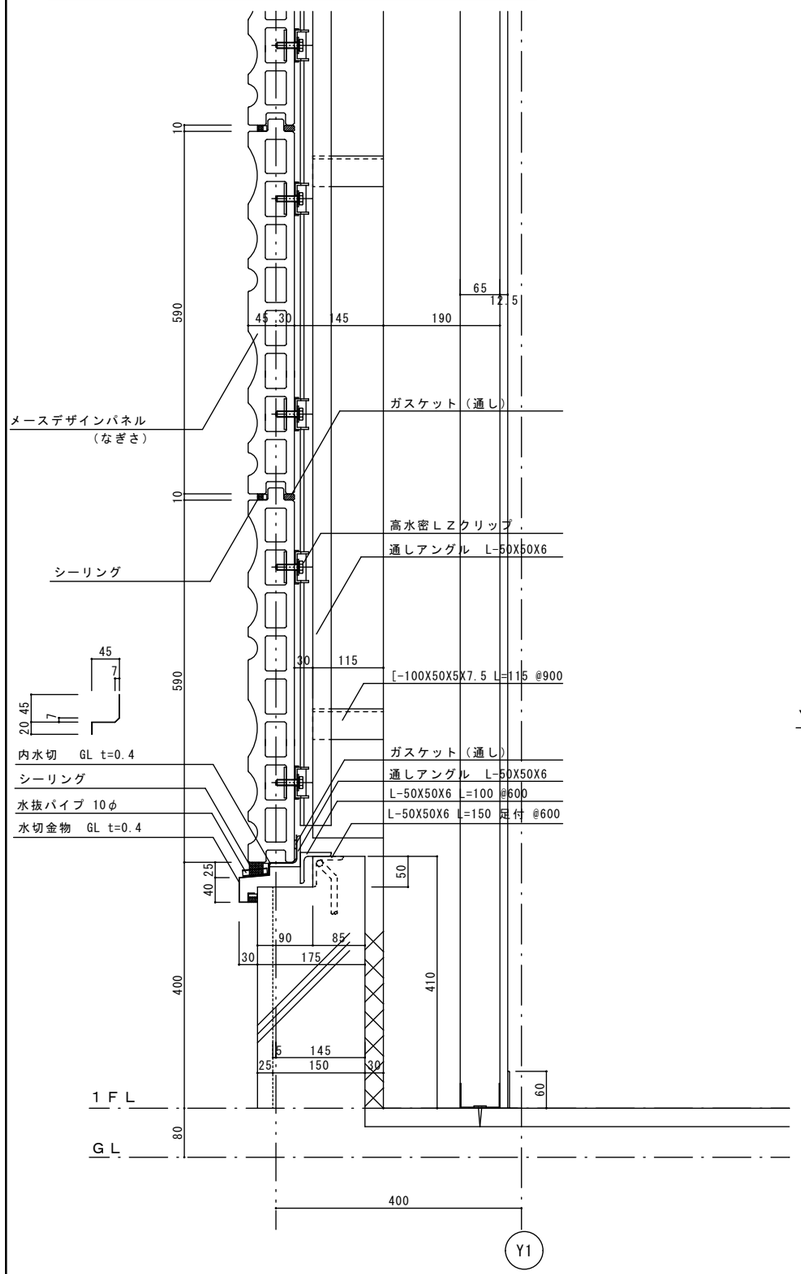


屋根：谷樋詳細図

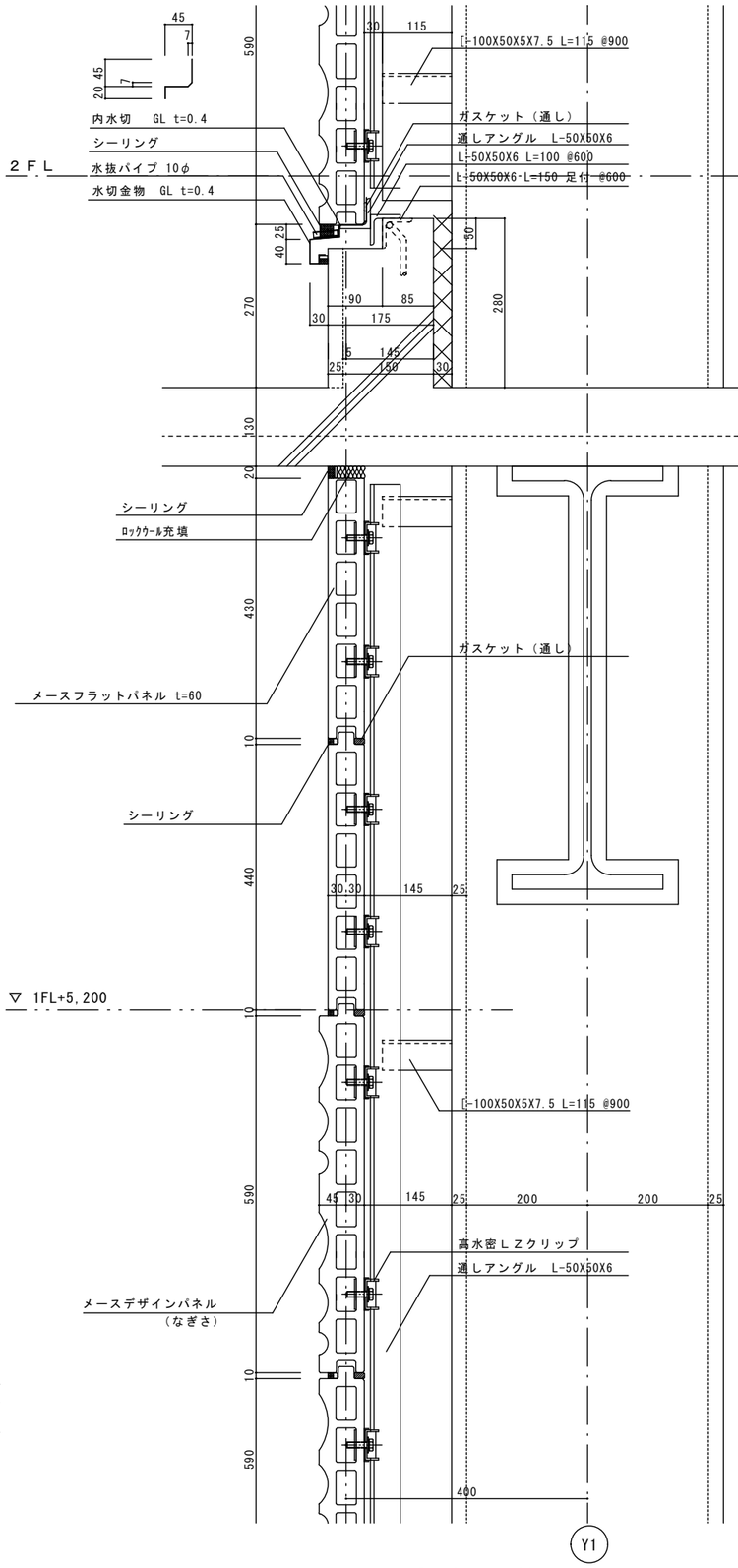


JOB NO.	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 検図	部分詳細図（２）	縮尺 A1:1/4 A3:1/8	図番 A － 80
117117								

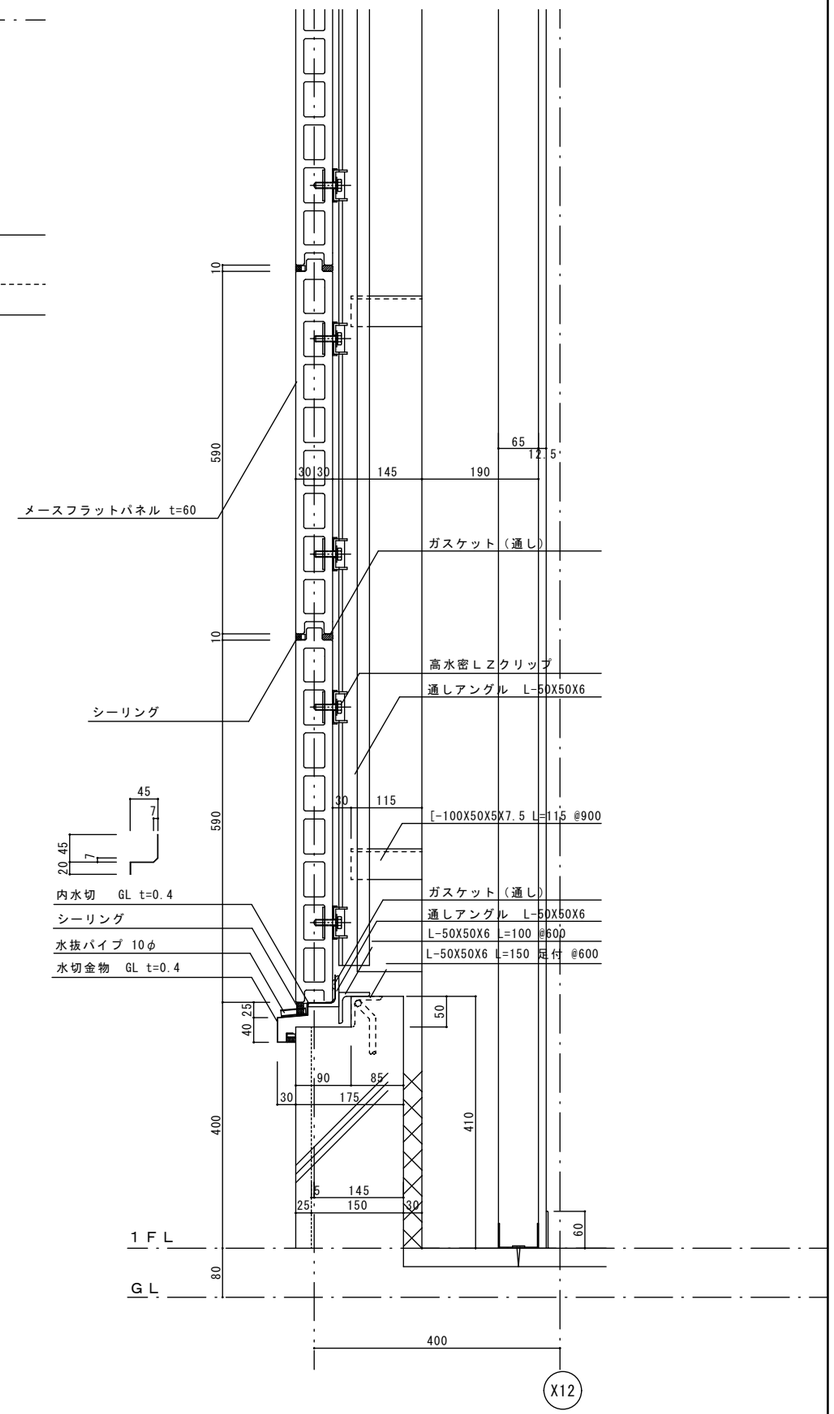




基 礎 部 断面詳細図

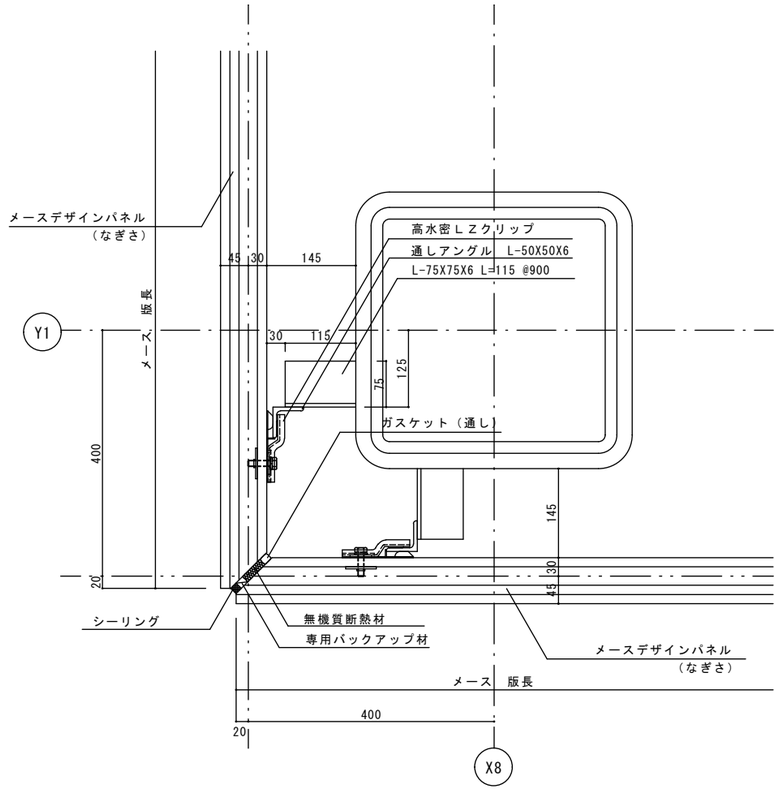


スラブ 下部 断面詳細図

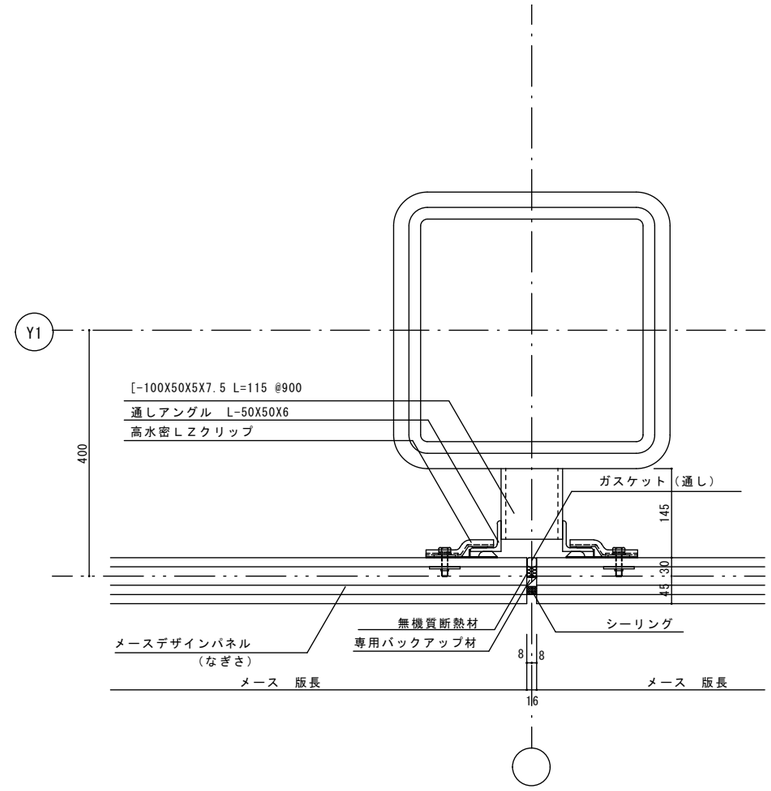


基 礎 部 断面詳細図

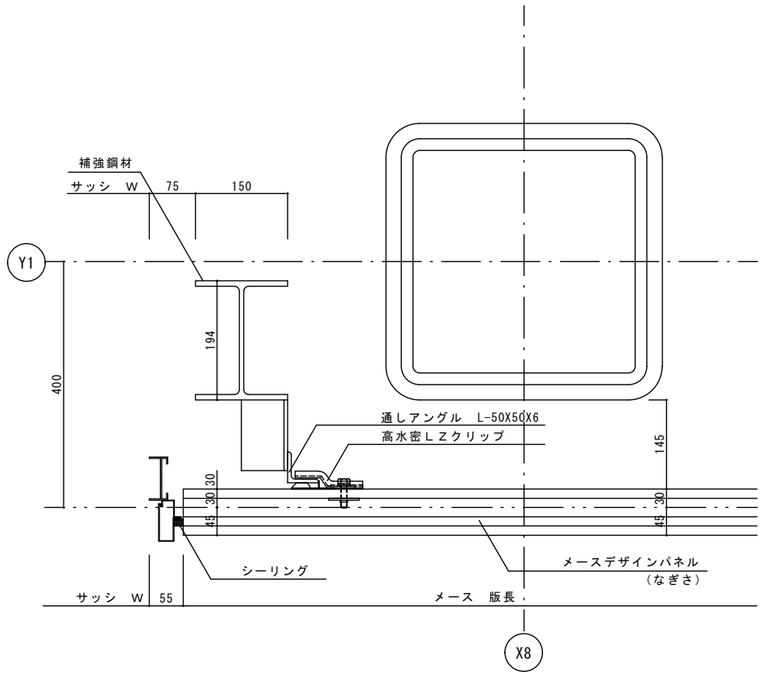
JOB NO.											
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社	瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 瀧 淳	設計 ・ ・	作図	部分詳細図（３）	縮尺	A1:1/5 A3:1/10	図番	A－81



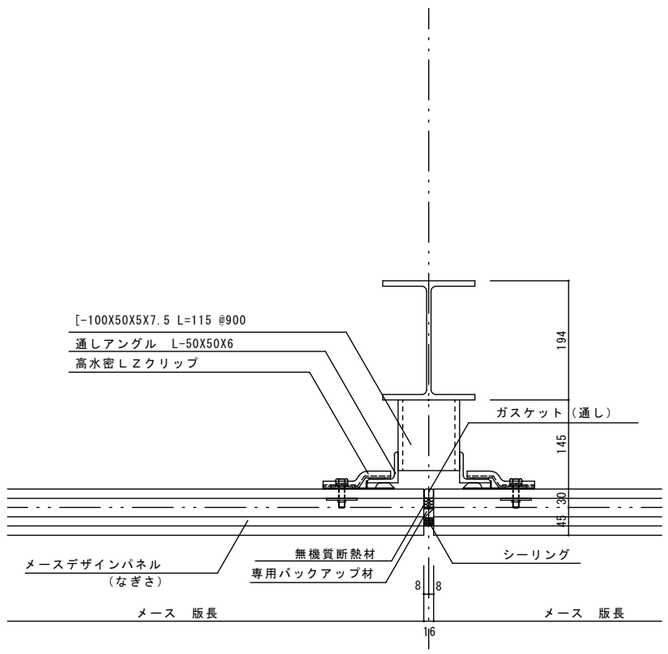
コーナー部 平面詳細図



主柱 目地部 平面詳細図

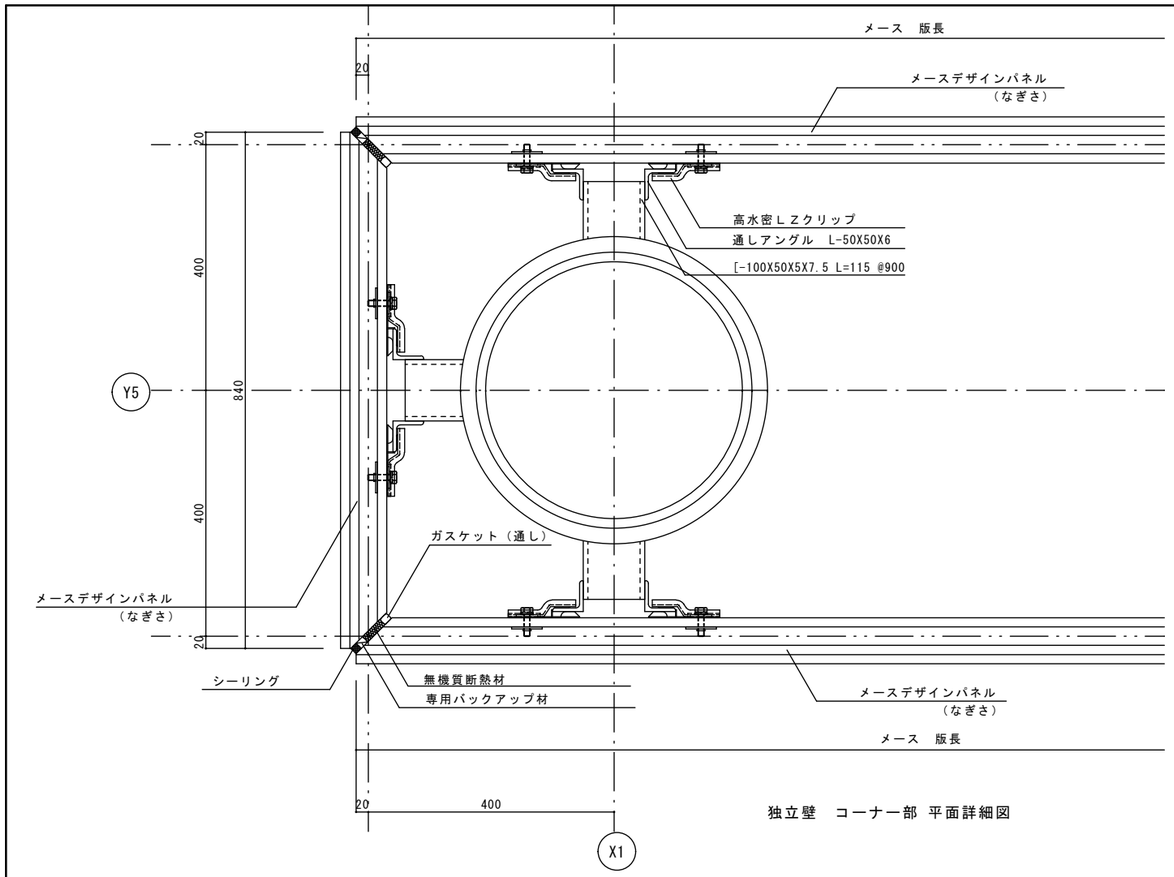


サッシ 部 平面詳細図

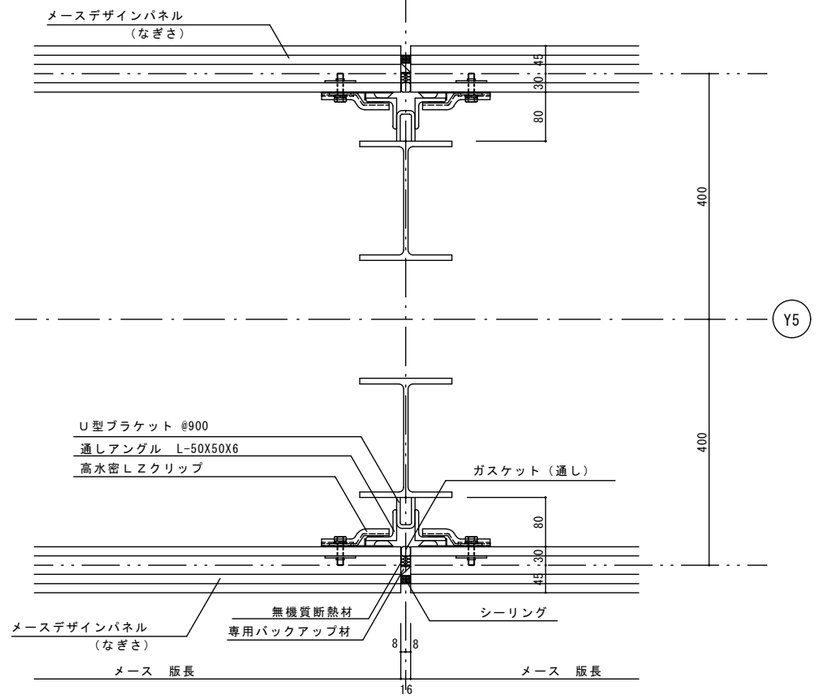


間柱 目地部 平面詳細図

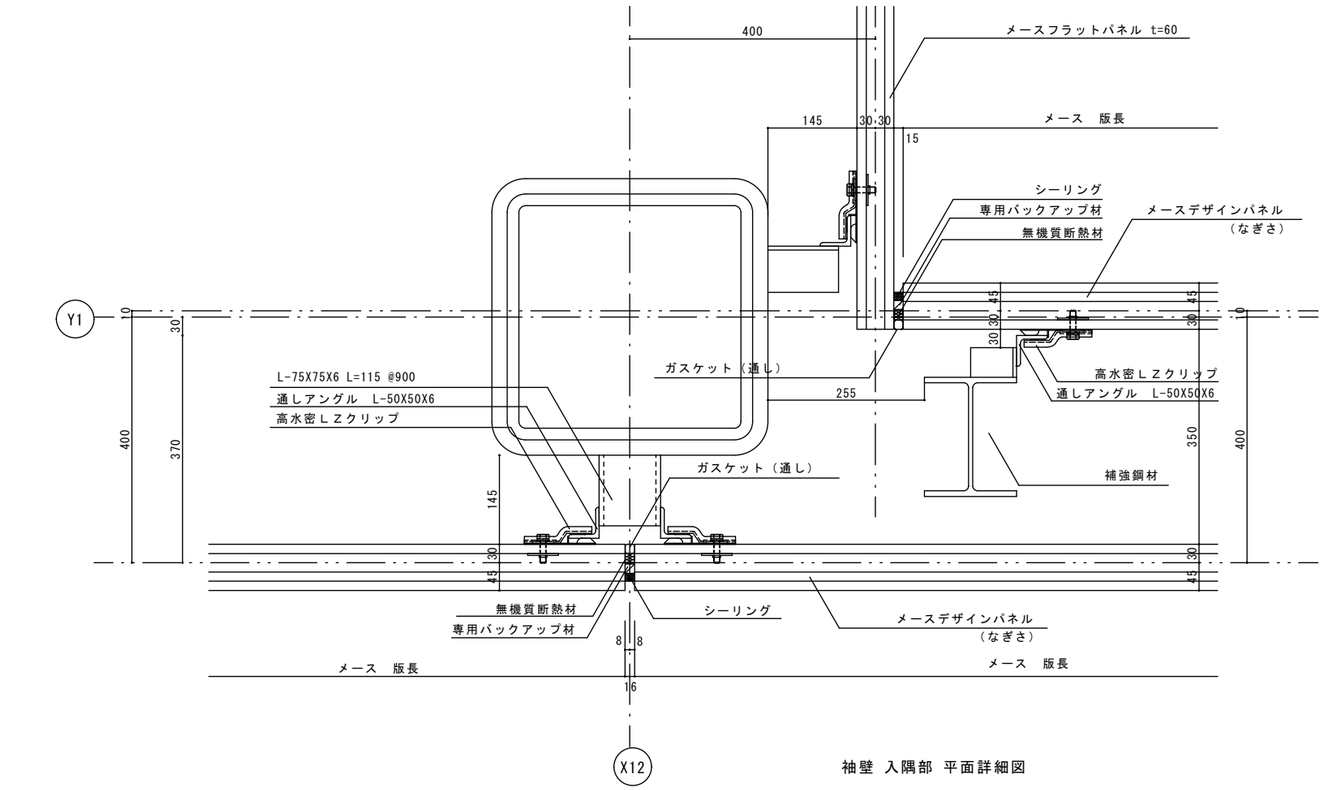
JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 湘建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 構造	部分詳細図（４）	縮尺 A1:1/5 A3:1/10	図番 A － 82



独立壁　コーナー部 平面詳細図



独立壁　間柱部 平面詳細図

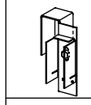


袖壁 入隅部 平面詳細図

KIRIIアングルクランプ　標準図

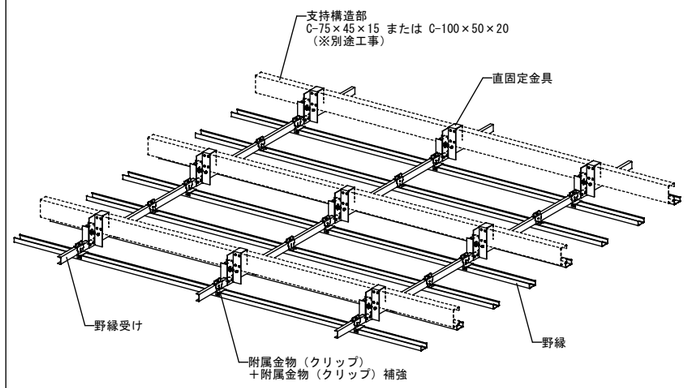
□部材一覧

[縮尺：Not to scale]

	○直固定金具 ・KIRIIアングルクランプ（C75用、C100用）		○野縁受け ・C-40×20×1.6		○野縁 ・25形Wバー(0.8)[25×50×0.8]
	○附属金物（クリップ） ・耐風圧Wクリップ（C40用）		○附属金物（クリップ）補強 ・TBN-Wカバー		○野縁受けジョイント ・C40用Powerジョイント
	○野縁ジョイント ・25形Wバー(0.8)用ジョイント		○ビス ・KIRII耐震ビス PAN4×16 ・KIRII耐震ビス PAN5×25 ・KIRII耐震ビス HEX5×25 ※JIS B 1124 認定品 又はJIS B 1124 準拠品		

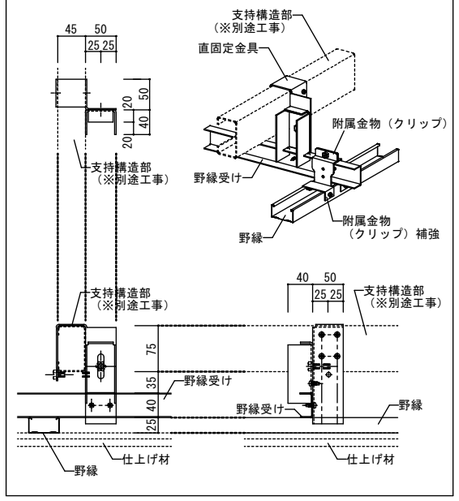
□イメージ図

[縮尺：Not to scale]



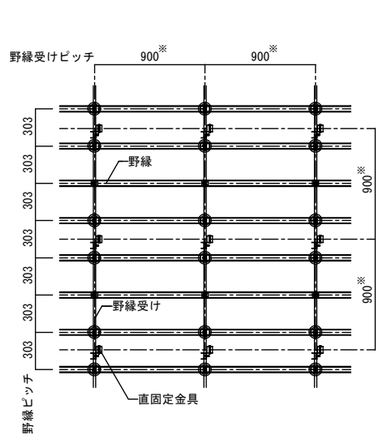
□基本構成図（C75用）

[縮尺：1/10(mm)]

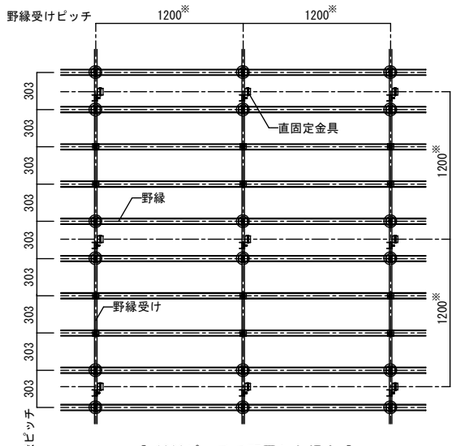


□平面図（割付例）

[縮尺：1/50(mm)]



［ 900ピッチで配置した場合 ］



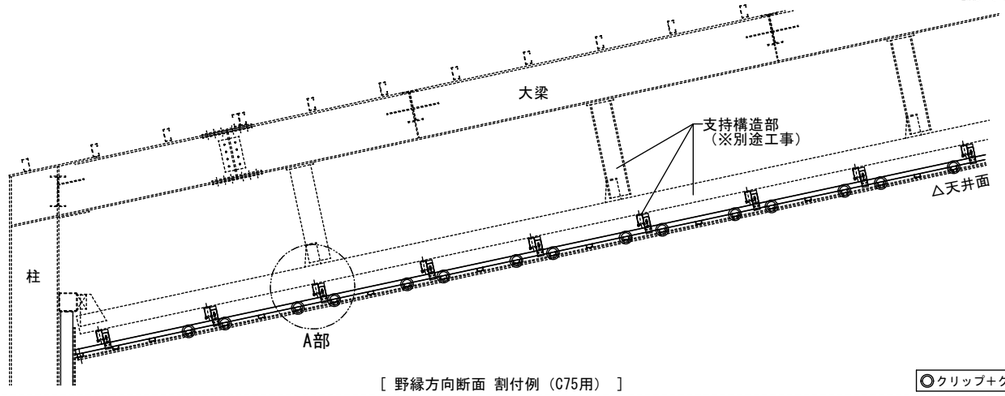
［ 1200ピッチで配置した場合 ］

※天井面固有周期が0.1秒以下（剛）となるように且つ、各部下地材が許容応力度以下となるように直固定金具を配置する。

◎クリップ+クリップ補強

□断面図（割付例）

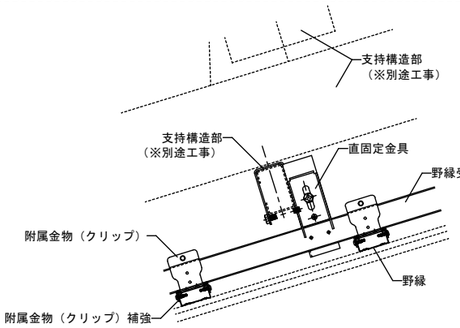
[縮尺：1/50(mm)]



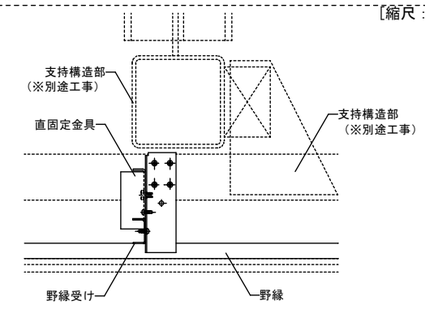
［ 野縁方向断面 割付例（C75用） ］

◎クリップ+クリップ補強

[縮尺：1/10(mm)]



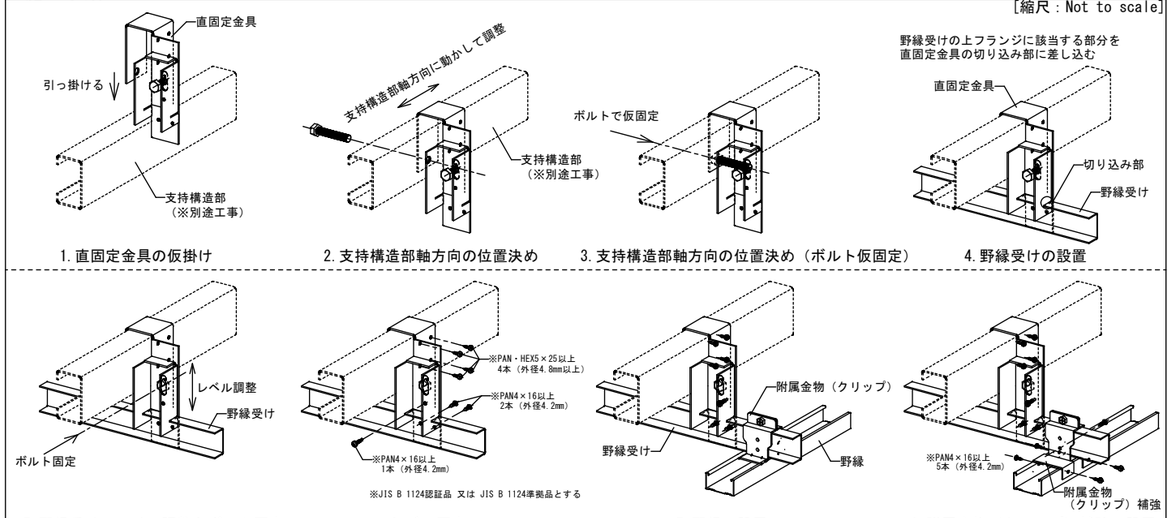
［ A部　野縁方向断面 詳細（C75用） ］



［ A部　野縁受け方向断面 詳細（C75用） ］

□施工手順

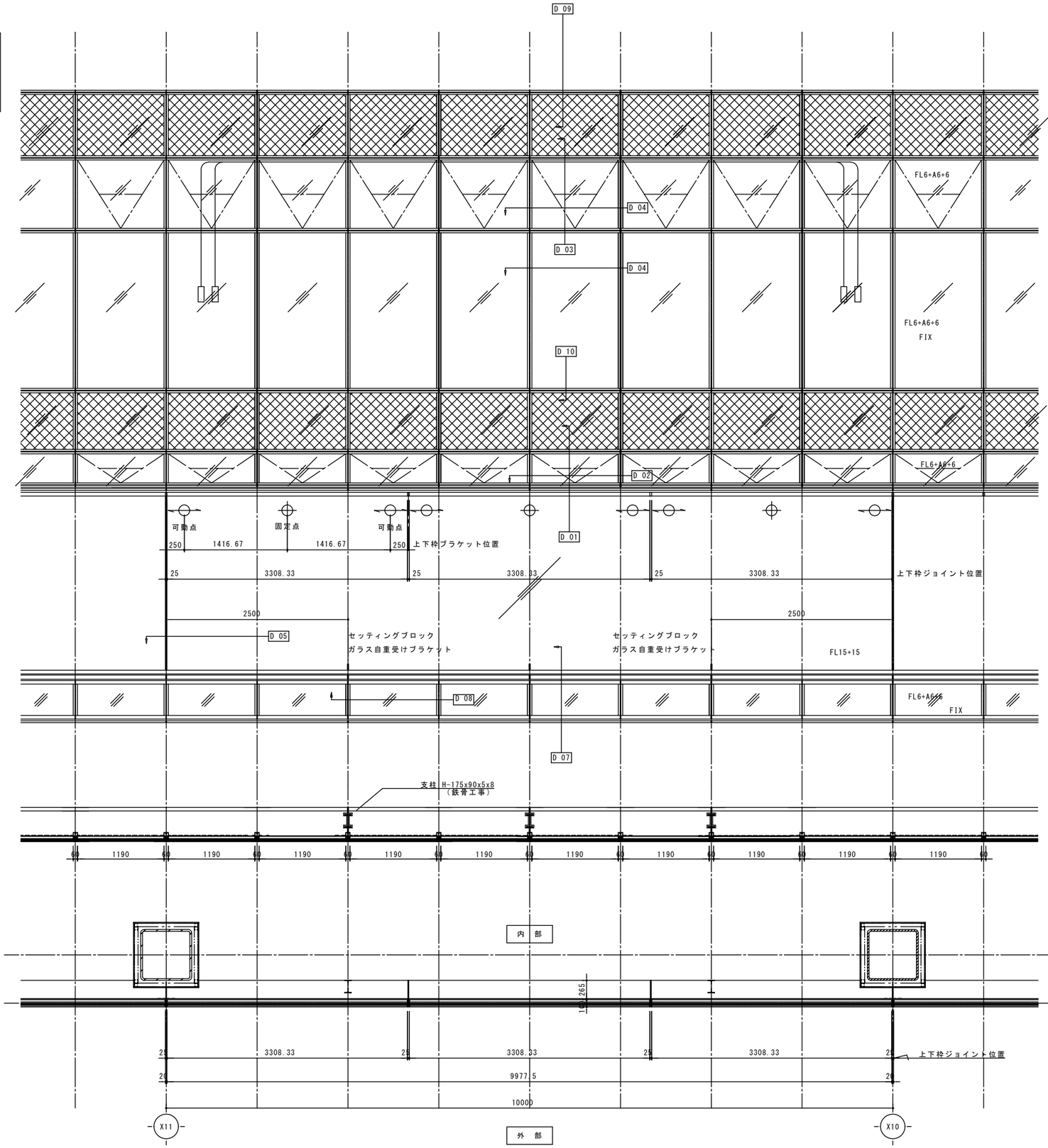
[縮尺：Not to scale]

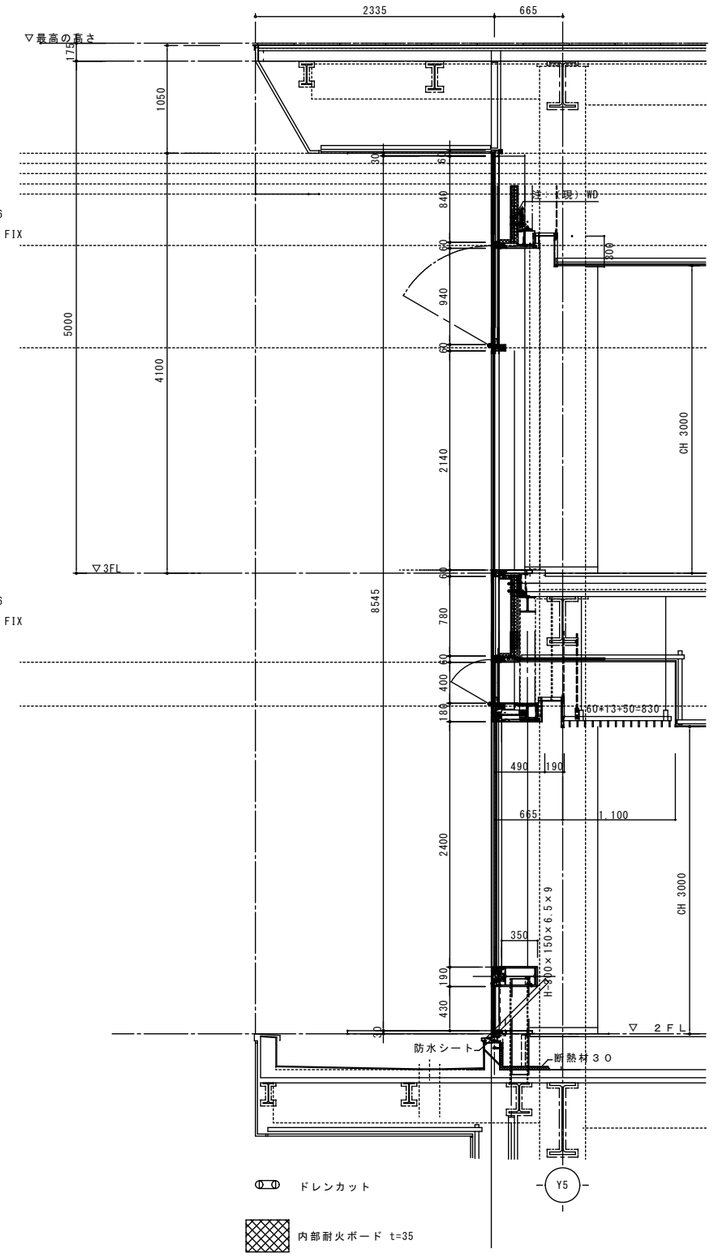


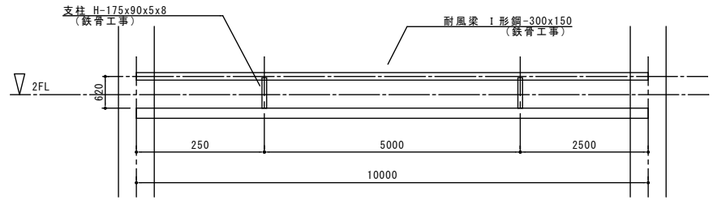
□設計・施工上の留意点

・特定天井（国土交通省告示第771号）の規定に該当しない天井とするためには、建築主事または確認検査機関の承認が必要となります。
・支持構造部の強度および剛性について、構造設計者による構造検討が行われていることが前提となります。
・標準とする支持構造部の外形寸法は75×45および100×50です。異なる形状の部材にてご検討される際はお問い合わせください。
・構成部材各部の固定には指定ビス以外使用できません。

外観姿図

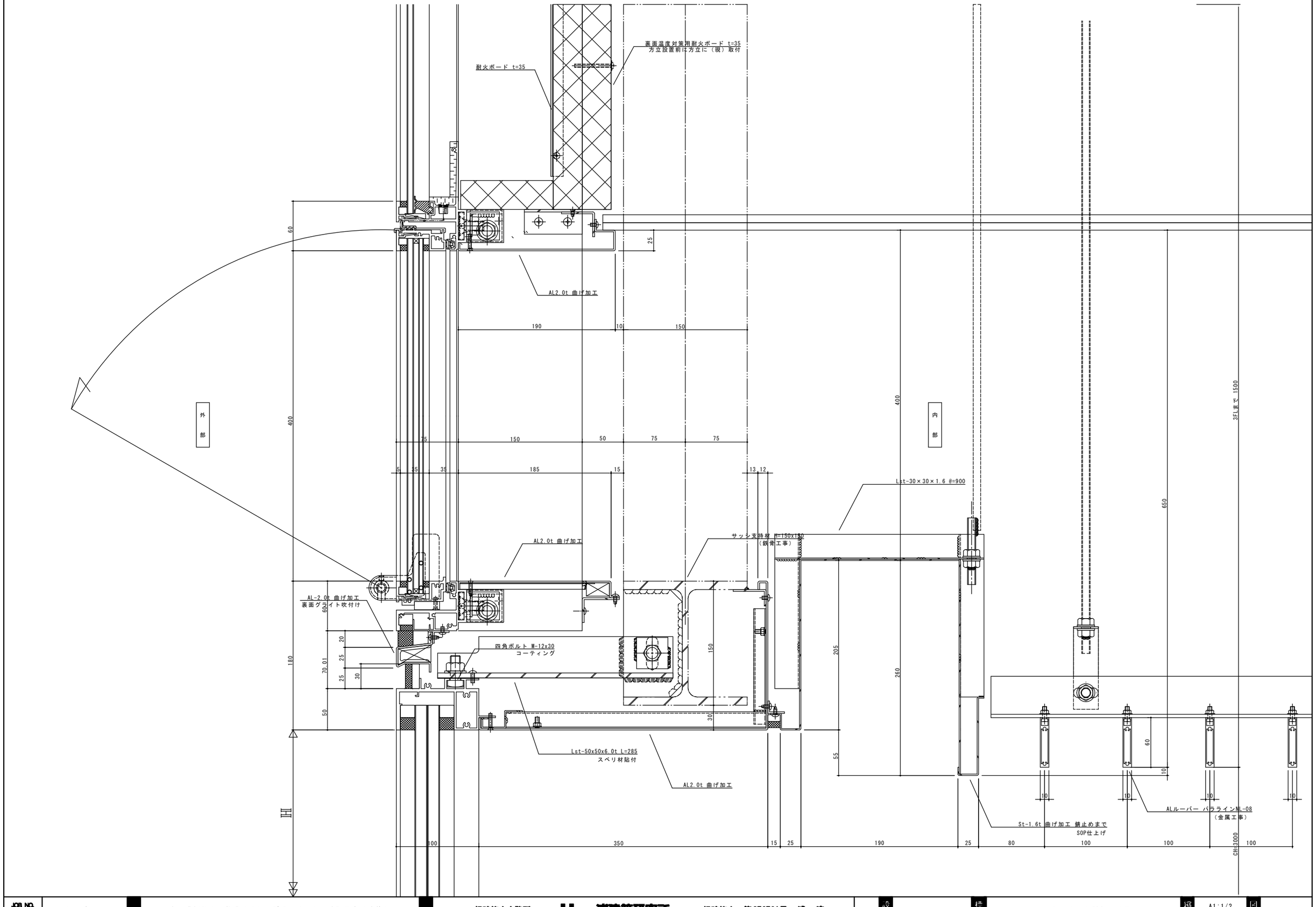




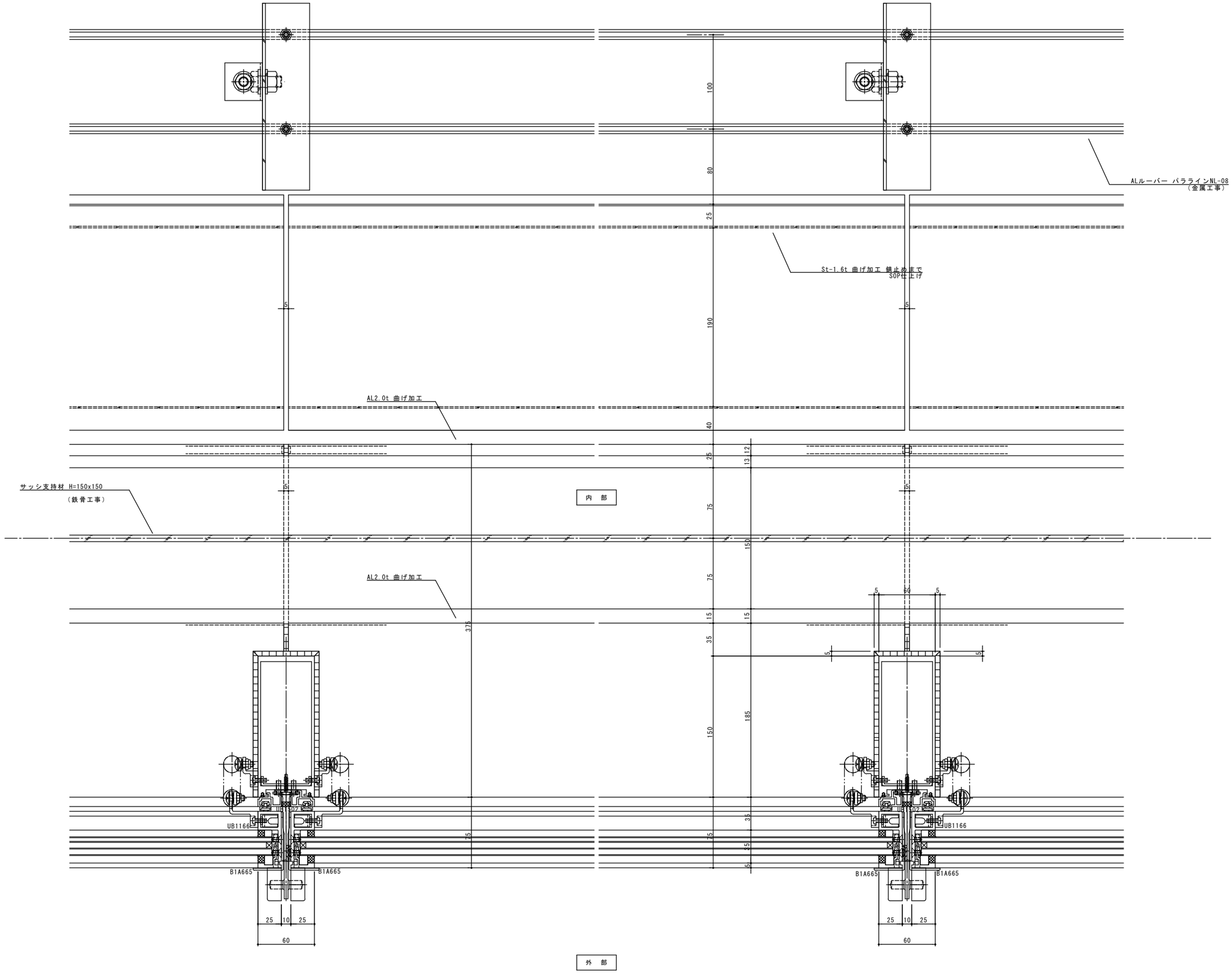


サッシ支持材内観図

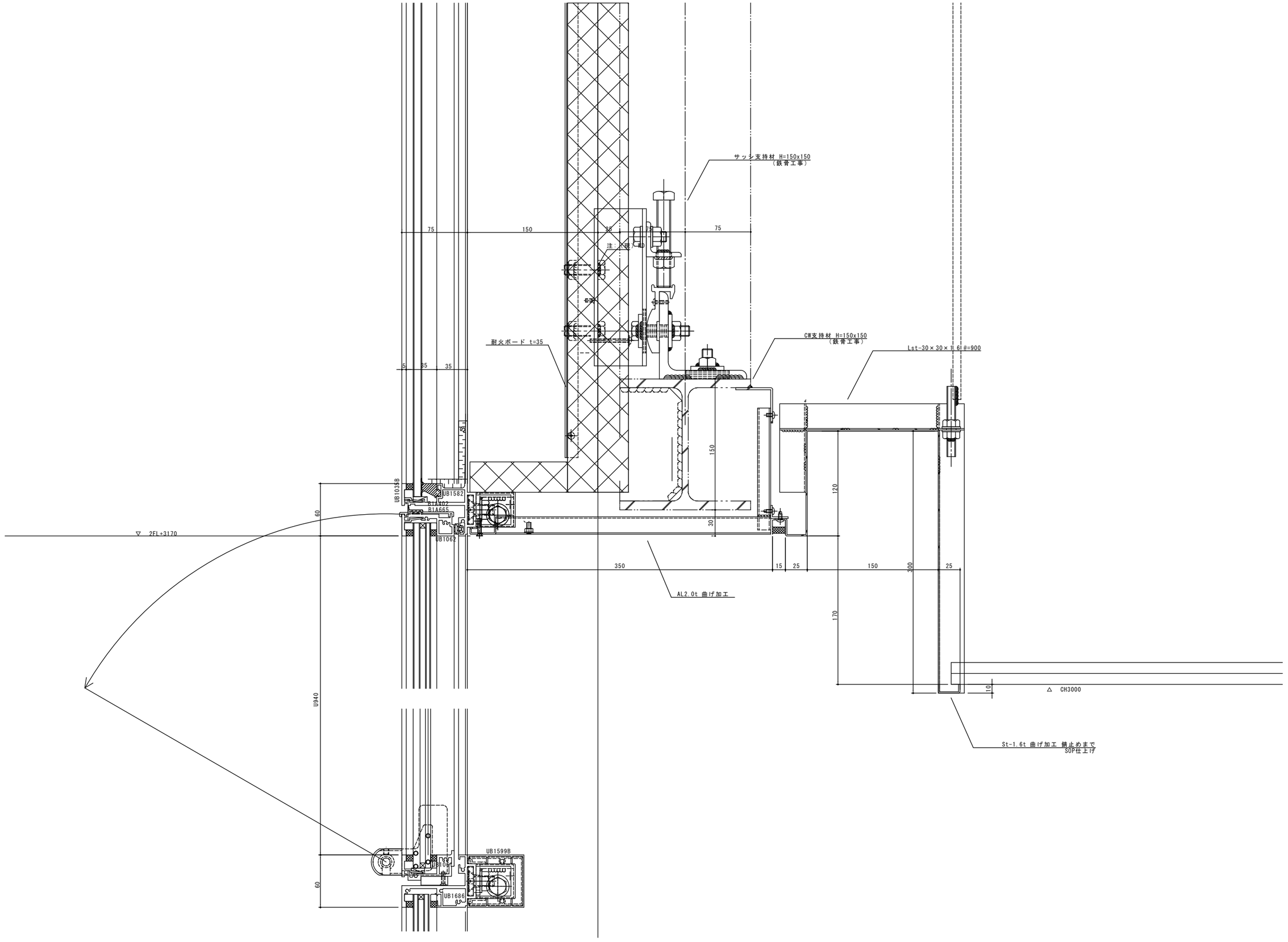
JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所 一級建築士 第276761号 瀧 淳	設計 ・ ・ 検図	カーテンウォール詳細図（１）	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図番 A－85



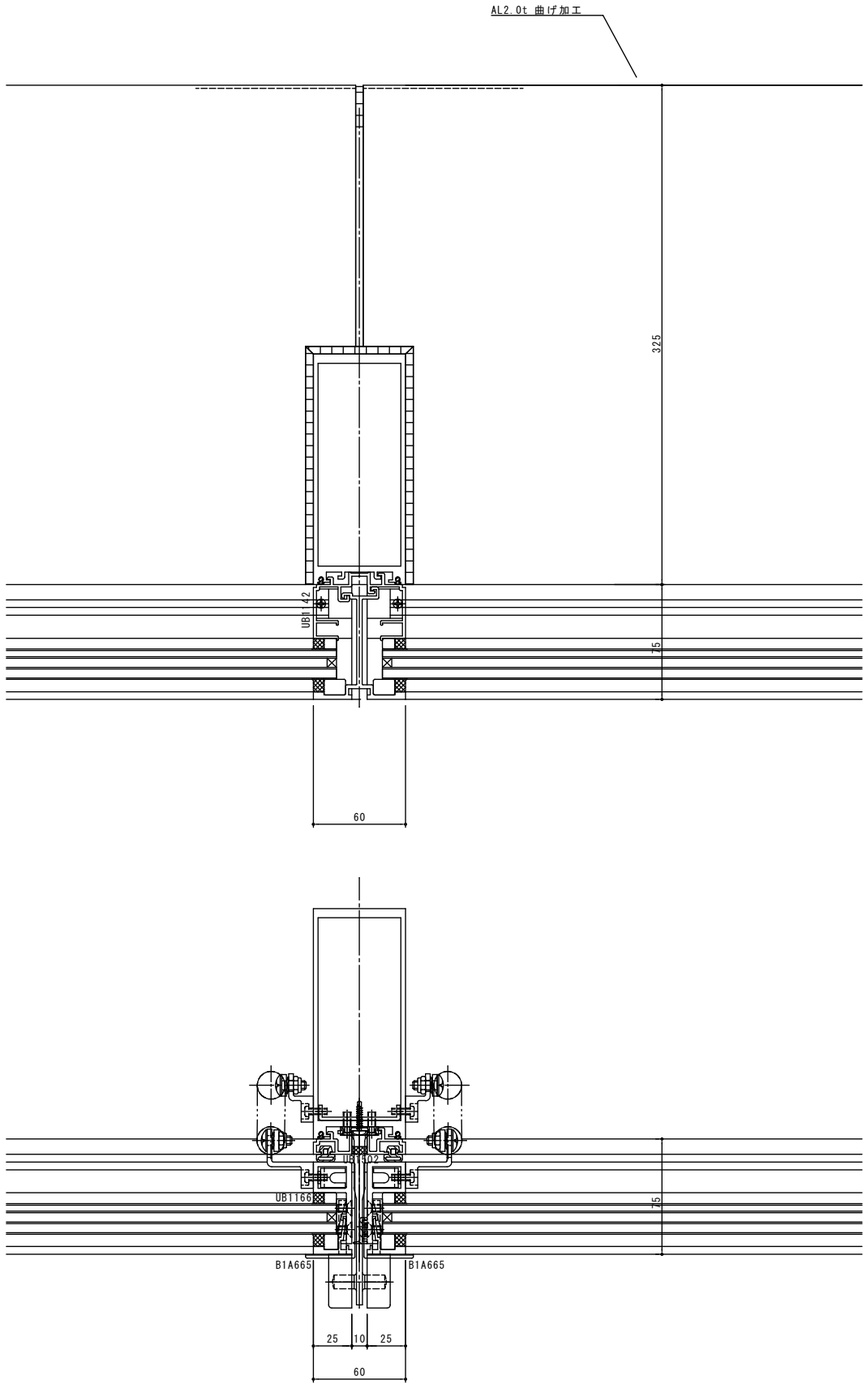
JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所 一級建築士 第276761号 瀧 淳	設計 ・ ・ 検図	カーテンウォール詳細図（２）	縮尺 A1:1/2 A3:1/4	図番 A－86

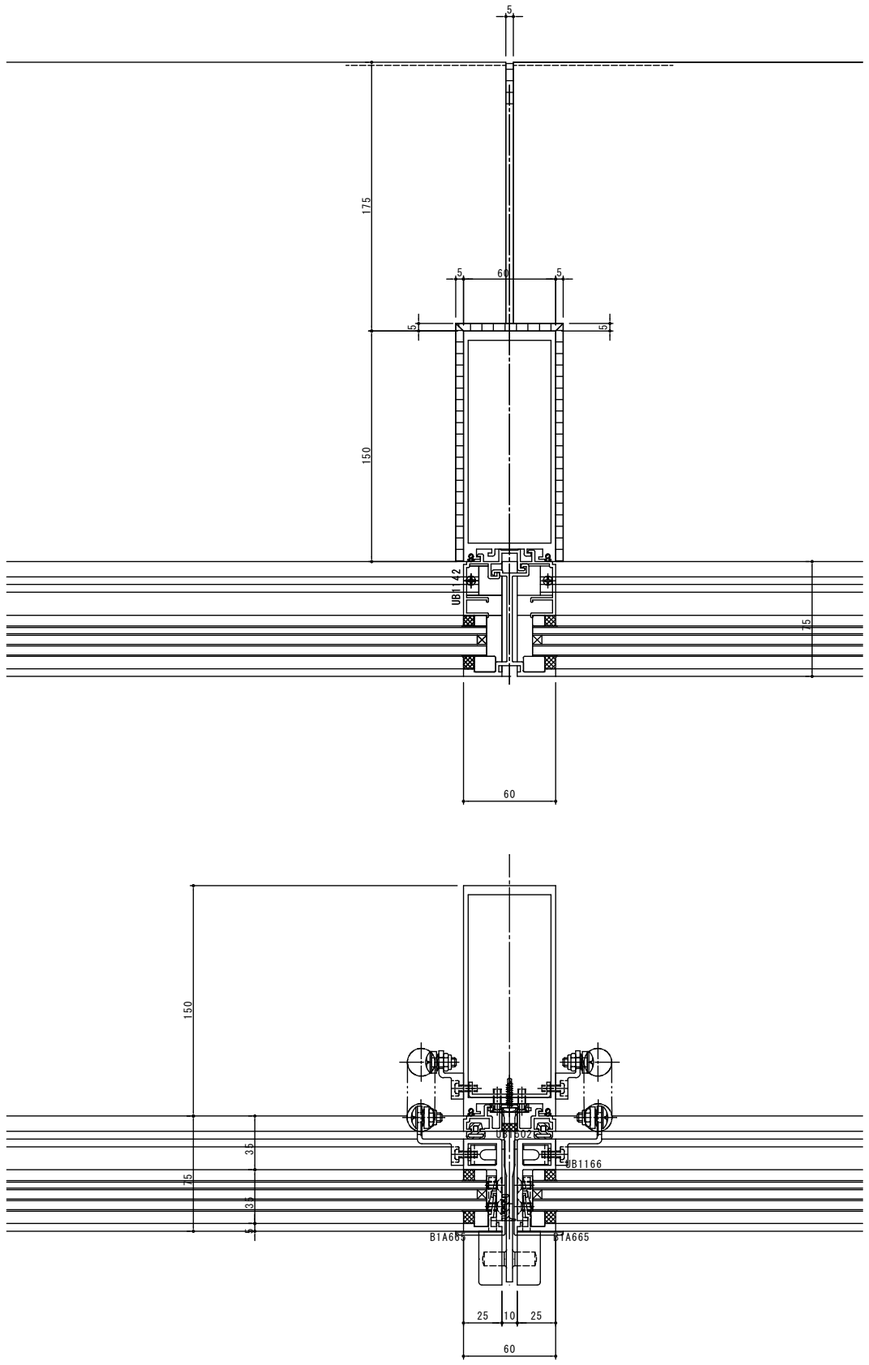


JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 検図	カーテンウォール詳細図（３）	縮尺 A1:1/2 A3:1/4	図番 A － 87



JOB NO.											
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標準	カーテンウォール詳細図（４）	縮尺	A1:1/2 A3:1/4	図番	A －88





外　部

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 浦建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 検図	カーテンウォール詳細図（５）	縮尺 A1:1/2 A3:1/4	図番 A － 89

内　部

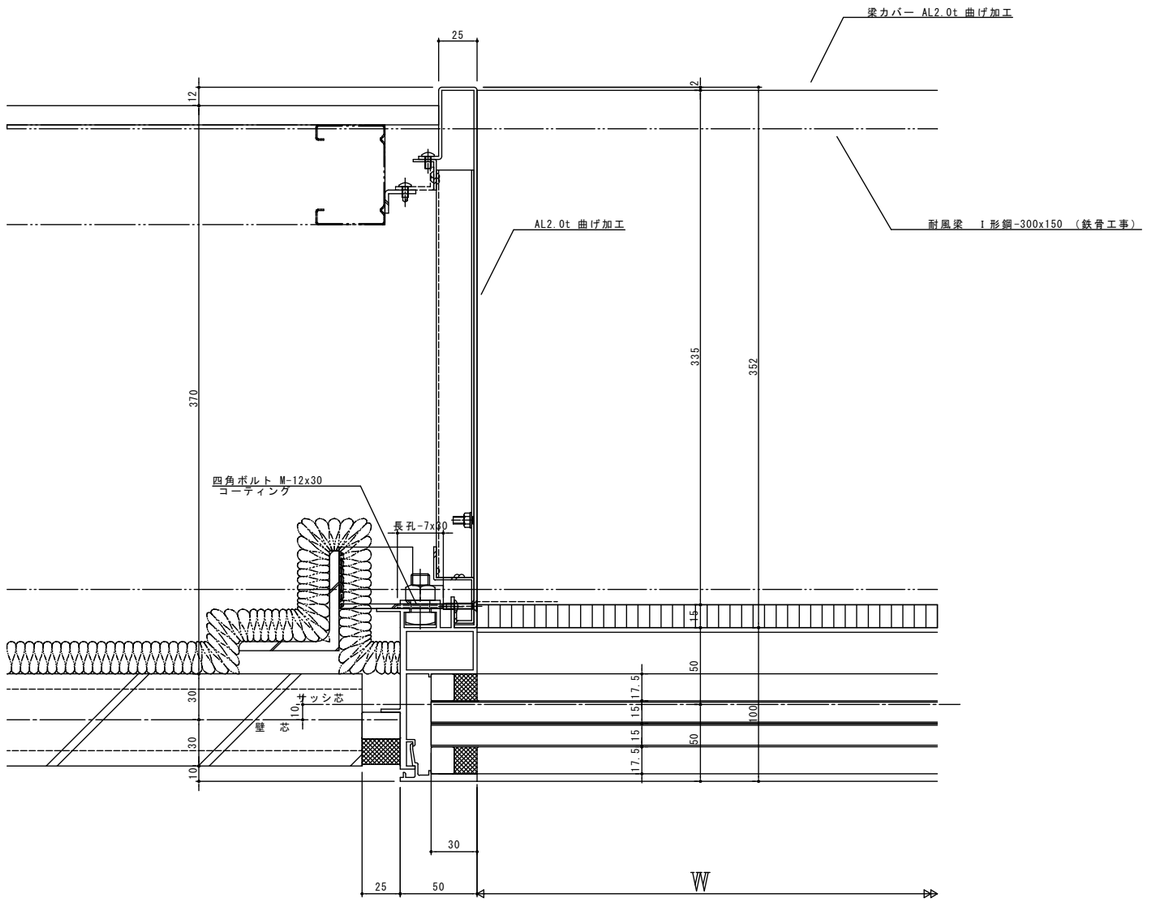
100
350
350
100
350
350
100
15
130
100
30
15
15
17.5
15
15
17.5
100
100
30
20
25
250
250
枠ジョイント位置 10000/3
枠ジョイント位置 10000/3
10000
10000
1250
X11

梁カバー AL2.0t 曲げ加工
20
耐風梁　I 形鋼-300x150 （鉄骨工事）
350
599
100
100
ガラス自重受け
Lst-90x90x10.0t L=200 スベリ材貼付
50
50
62.5
30
セッティングブロック
下枠ブラケット Lst-50x50x6.0t

外　部

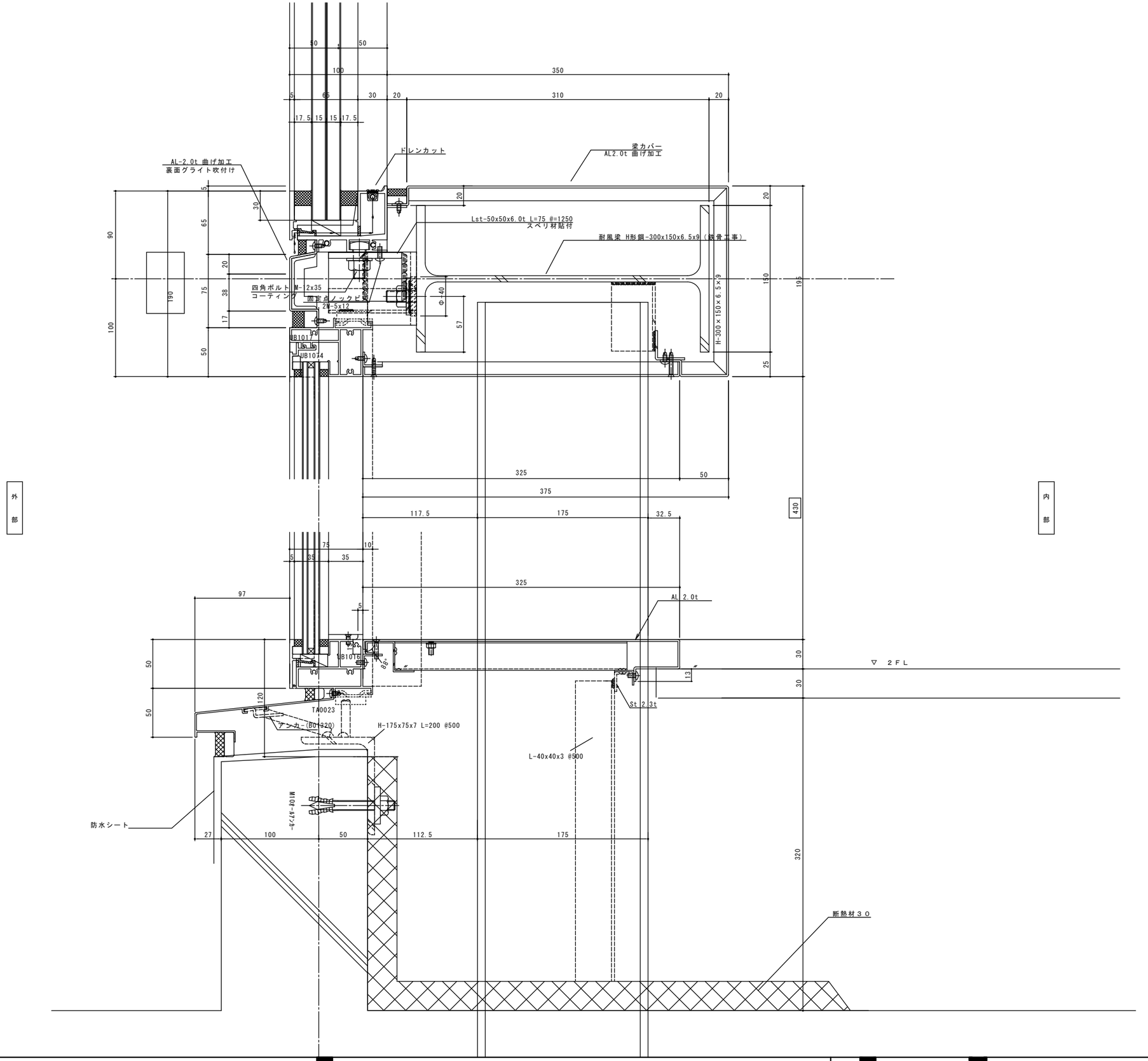
JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標題 カーテンウォール詳細図（６）	縮尺 A1:1/2 A3:1/4	図番 A － 90

内　部



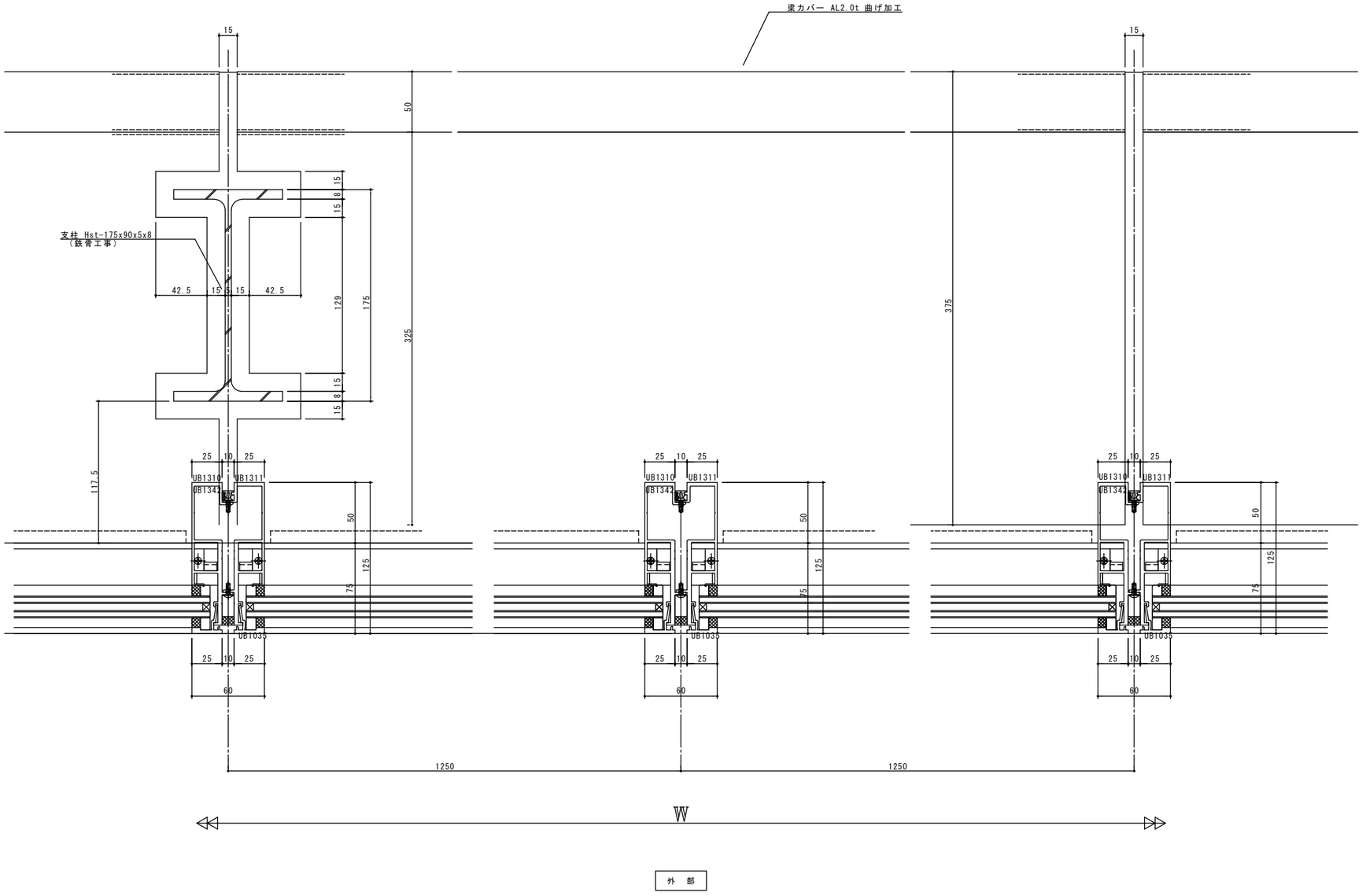
外　部

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 湘建築研究所 一級建築士 第276761号 浦　淳	設計 ・ ・ 標準	カーテンウォール詳細図（７）	縮尺 A1:1/2 A3:1/4	図番 A －91



JOB NO.									
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標題	カーテンウォール詳細図（８）	縮尺 A1:1/2 A3:1/4	図番	A －92

内　部



外　部

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀬建築研究所 一級建築士 第276761号 瀬 淳	設計 ・ ・ 標準	カーテンウォール詳細図（９）	縮尺 A1:1/2 A3:1/4	図番 A －93

外部

内部

▽ 3FL

AL2.0t

UB157

St 2.3t

金 現 場

サッシ支持材 H=150x150
（鉄骨工事）

30 665

5 35 75 35 325

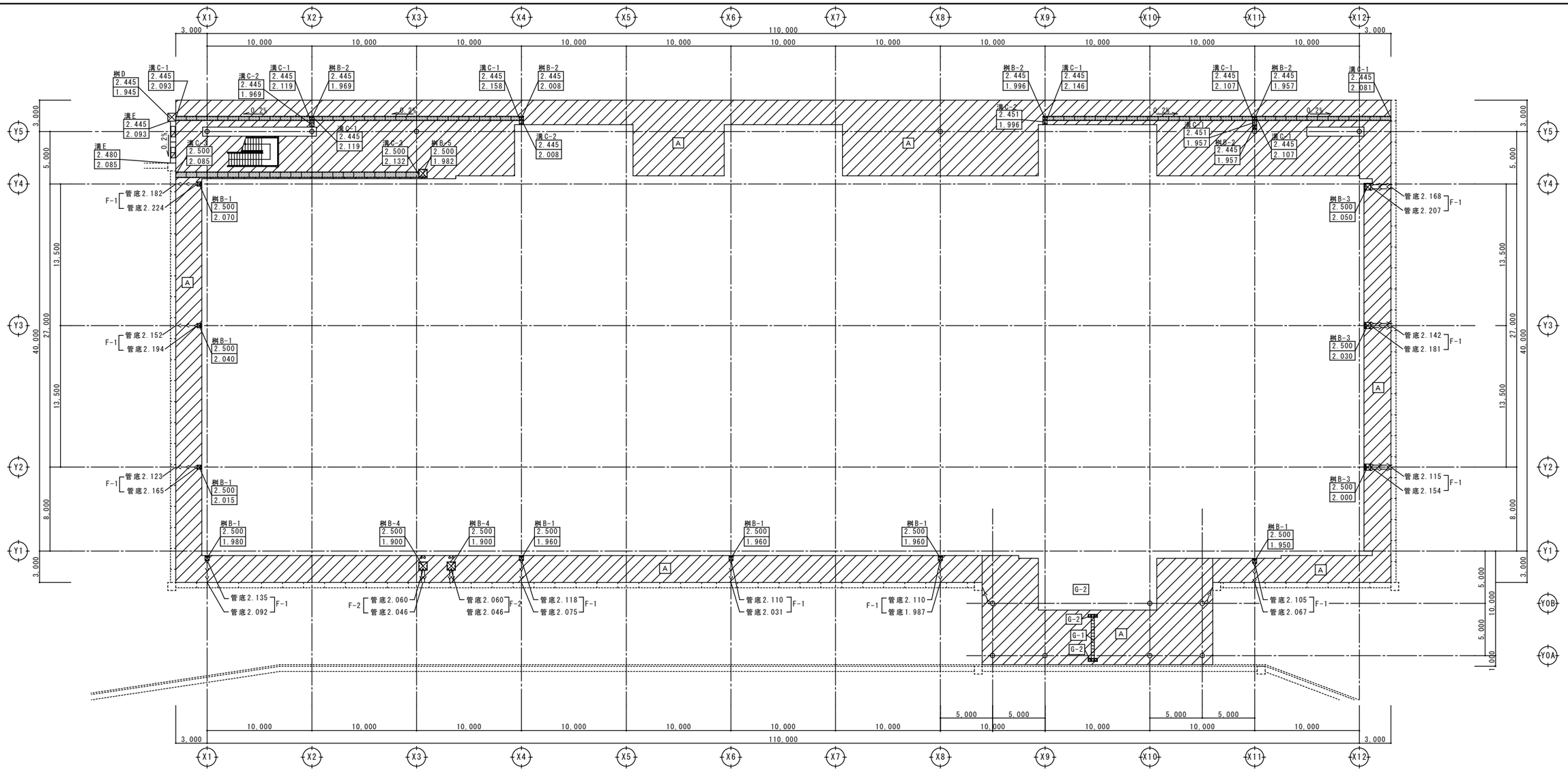
25 10 100 25 60

13

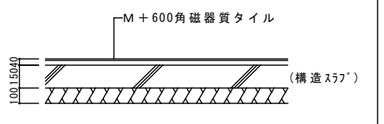
30 70 80 50 100 130

75 150 75 150 50 150 270

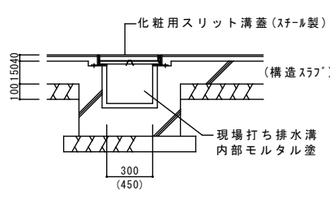
JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社	瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	改訂 ・ ・	標題	カーテンウォール詳細図（１０）	縮尺	A1:1/2 A3:1/4	図番	A －94



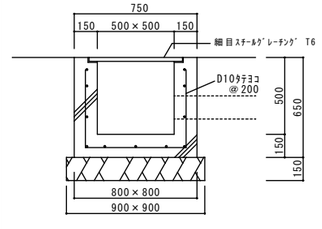
A　タイル舗装　1/20



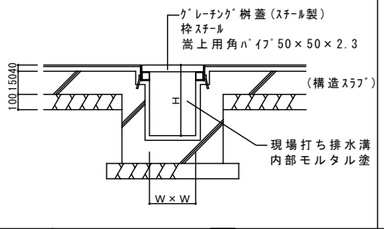
C　排水溝（化粧用ｽﾘｯﾄ蓋）　1/20



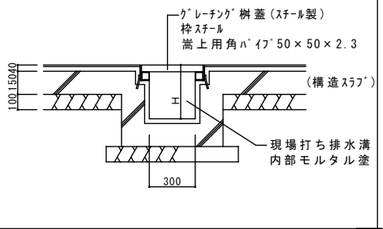
D　集水桝（現場打ｺﾝｸﾘｰﾄ）別途工事　1/20



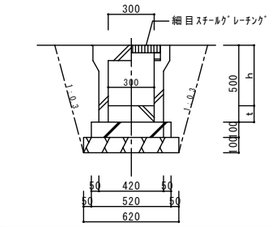
B　集水桝　1/20



C　排水溝（ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋）　1/20



E　排水溝（ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋）別途工事　1/20



符号		項目
A		タイル舗装　600角磁器質タイル
B	1	集水桝　構造ｽﾗﾌﾞ一体　細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ300角用　T2
	2	集水桝　構造ｽﾗﾌﾞ一体　細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ300角用　T14
	3	集水桝　構造ｽﾗﾌﾞ一体　細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ500角用　T2
	4	集水桝　構造ｽﾗﾌﾞ一体　細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ700角用　T6
	5	集水桝　構造ｽﾗﾌﾞ一体　細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ700角用　T14
C	1	排水溝　構造ｽﾗﾌﾞ一体　化粧用ｽﾘｯﾄ溝蓋W300用　T14
	2	排水溝　構造ｽﾗﾌﾞ一体　細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞW300用　T14
	3	排水溝　構造ｽﾗﾌﾞ一体　化粧用ｽﾘｯﾄ溝蓋W450用　T14
D		集水桝　現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ　細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ500角用　T6（別途工事）

符号		項目
E		自由勾配側溝　W300用（別途工事） 6.25 側溝・桝天端レベルを示す。 5.11 側溝・桝接続底レベルを示す。 自由勾配側溝 ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋＋細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋T6
F	1	埋設排水管　φ100ＶＰ
	2	埋設排水管　φ200ＶＰ
G	1	視覚障害者誘導表示鋲（300×300）床御影石貼下
	2	視覚障害者注意喚起表示鋲（300×300）床御影石貼下

JOB NO.									
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 浦建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	作図	外構図	縮尺 A1:1/20・200 A3:1/40・400	図番 A － 95

建物概要

物件名		金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）工事（建築）
建築場所		石川県金沢市
規模	面積	膜伏面積　195.0　m²
	高さ	膜構造部分最高高さ　5.2　m
躯体構造		○ コンクリート造　◎ 鉄骨造　○ 木造　○ その他（　　）
膜構造形式		◎ 骨組膜構造　○ サスペンション膜構造

設計荷重

地震荷重	地震層せん断力係数　Ｃｉ＝　0.3	
積雪荷重	長期　2100　N/m²	垂直積雪量　100　cm
	短期　3000　N/m²	単位重量　30　N/（m・cm）
風荷重	速度圧　q＝　960　N/m²	
	風速　Vo＝　30　m/s	
	地表面粗度区分　Ⅰ　◎Ⅱ　Ⅲ　Ⅳ	

鉄骨工事

構造用鋼材 種類・材質

一般構造用鋼材
- ◎ SS400［鋼鈑・平鋼・形鋼］
- ◎ STK400
- ◎ STKR400
- ○ STK490［炭素鋼鋼管］
- ○ STKR490［角形鋼管］
- ○ SSC400［軽量形鋼］
- ○ その他（　　）

建築構造用鋼材
- ○ SN400A
- ○ SN400B
- ○ SN400C
- ◎ その他（　SN490B　）

溶接構造用鋼材
- ○ SM490A　○ その他（　　）

高力ボルト

◎ F10T（S10T）
○ F8T（溶融亜鉛メッキ高力ボルト）

＊摩擦接合では鉄骨の摩擦面の処理に注意する。摩擦面のすべり係数を０．４５以上（溶融亜鉛メッキされた鉄骨の場合は０．４０以上）確保するため、「ブラスト処理・特殊塗料塗布、他」を行なう。

中ボルト

○ JIS規格品（SW付き）　○ その他（　　）

アンカーボルト

◎ SNR400B　○ SNR490B　○ SS400　（M12のみ）　○ その他（　　）

※アンカーボルトが１ヶ所あたり8本以上の場合はアンカーフレームによりアンカーボルトを固定の事

膜定着ボルト取り付け方法

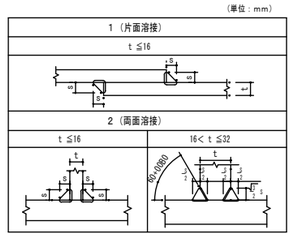
○ 溶接仕様　膜定着ボルト　3点溶接
○ ネジ込み仕様　ネジ込む　膜定着ボルト（RLボルト）
○ 打ち込み仕様　打ち込む　膜定着ボルト（DIボルト）
◎ 現場取付け仕様
○ その他（　　）

溶接

隔肉溶接のサイズ　（単位：mm）

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12
S	3	4	5	5	6	7	8	8	9

t	13	14	15	16	19	22	25	28	30
S	10	10	11	12	11	13	15	17	18



塗装工事

常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り

工程	塗料名	塗布量（kg/m²）	塗装方法	施工区分
1 素地調整	1種ケレン（ブラスト処理）／ ＩＳＯ Ｓａ ２・１/２			
2 下塗り（1回目）	ジンクリッチプライマー ＪＩＳＫ５５５２	0.14	吹付・はけ	工場
3 下塗り（2回目）	構造物用さび止めペイント ＪＩＳＫ５５５１Ａ種	0.14	吹付・はけ	
4 下塗り（3回目）	**エポキシ樹脂雲母状酸化鉄塗料（ＭＩＯ）**	0.14	吹付・はけ	
5 中塗り	鋼構造物用耐候性塗料 ＪＩＳＫ５６５９（中塗り塗料）	0.14	はけ・吹付	現場
6 上塗り	鋼構造物用耐候性塗料 ＪＩＳＫ５６５９（上塗り塗料１級）	0.10	はけ・吹付	
※現場接合・損傷部素地調整	2種ケレン（サンダー等）／ ＩＳＯ Ｓｔ ３			
下塗り(1,2,3回)	変性エポキシ樹脂プライマー ＪＡＳＳ １８ Ｍ－１０９	0.14	（×3回）	

注意事項

上塗塗料のＪＩＳ規格（相当品）は 光沢品を規定している為、
艶調整を行う場合はＪＩＳ規格（相当品）に該当しなくなります。

各部塗装範囲

＜柱脚部塗装範囲＞　＜現場溶接部塗装範囲＞

膜工事

膜材料

国土交通省告示第666号第二、2、ニの表の（一）に適合する膜材料：

認定番号

MMEM-9029（建築基準法第37条第二号）
NM-8665（建築基準法第２条第九号　不燃材料）

FGT-800（厚さ0.8mm）酸化チタン光触媒微粒子含有（両面）同等品

※一般社団法人日本膜構造協会第１種正会員であること。
※一般社団法人日本膜構造協会の膜体加工工場認定制度に登録された工場（全ての膜材料を加工する工場）で加工すること。
※膜材料を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕組みを整えていること。

膜材溶着部

国土交通省告示第666号第二、5、一のニに規定する接合とする

FEPフィルムを介在した熱溶接。
溶着巾　◎ 75mm　○ 50mm　○ 37.5mm　FEPフィルム

膜定着部

国土交通省告示第666号第三、１のイ（1）に規定する定着方法とする。

1．膜定着プレート

＊　膜材は、膜定着プレート又はファスナーでクランプする。

膜定着プレート：アルミ押し出し型材又はアルミプレート
（A-6061S-T6）
アルマイト９μ、クリア７μ仕上　○　◎

ファスナー：アルミ押し出し型材
（A-6061S-T6）
アルマイト９μ、クリア７μ仕上　◎

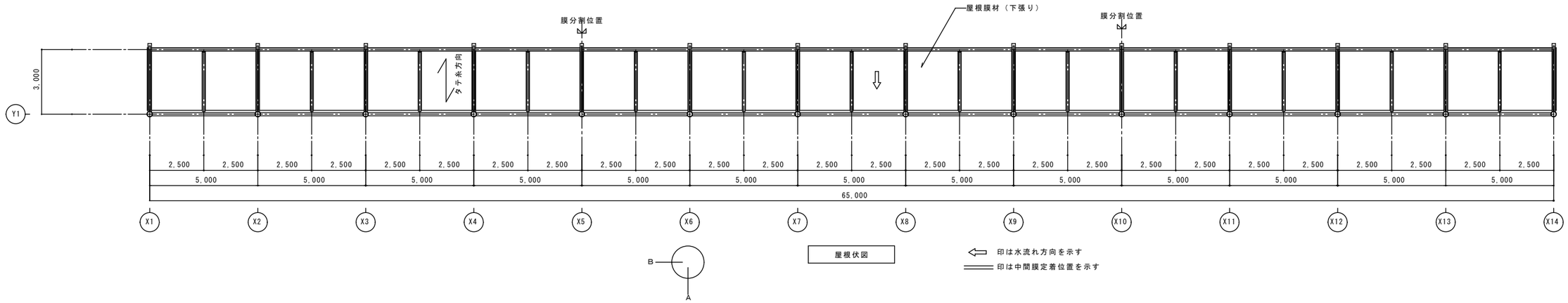
2．膜定着ボルト

ボルト径　◎ M12　◎ M10

材質　◎ ＳＵＳ316　○ 溶融亜鉛メッキ

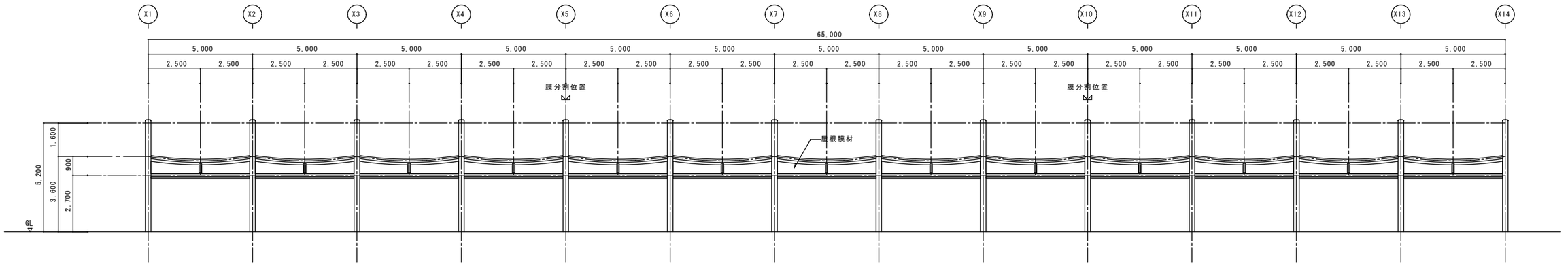
膜材料	FGT-800　　厚さ　0.8mm 酸化チタン光触媒微粒子含有（両面）	認定番号　MMEM-9029 不燃認定　NM-8665

＜特記事項＞
（1）一般社団法人日本膜構造協会第１種正会員であること。
（2）一般社団法人日本膜構造協会の膜体加工工場認定制度に登録された工場（全ての膜材料を加工する工場）で加工すること。
（3）膜材料を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕組みを整えていること。

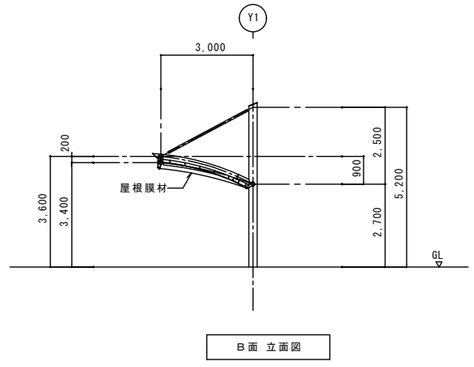


屋根伏図

⇦ 印は水流れ方向を示す
═ 印は中間膜定着位置を示す

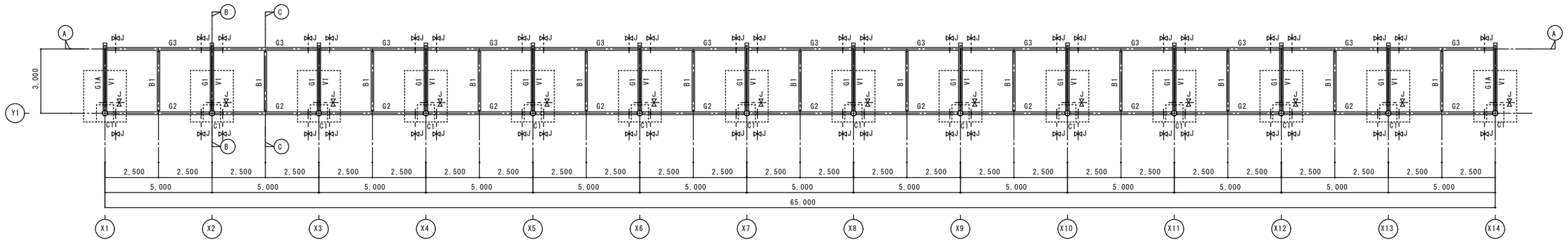


A面 立面図

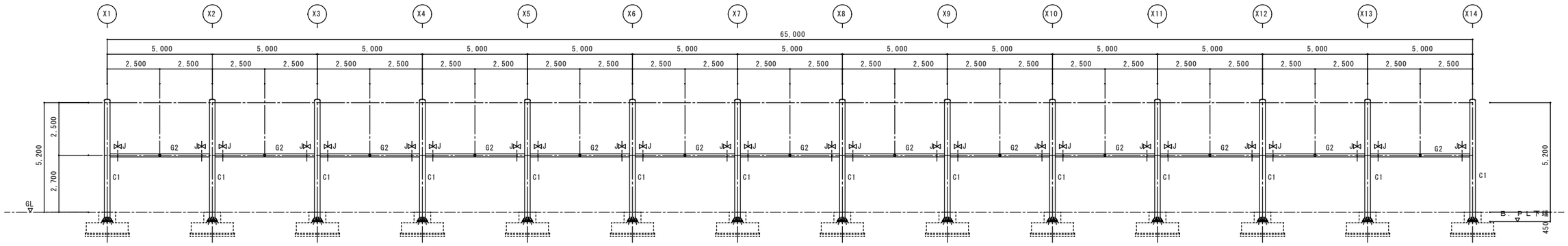


B面 立面図

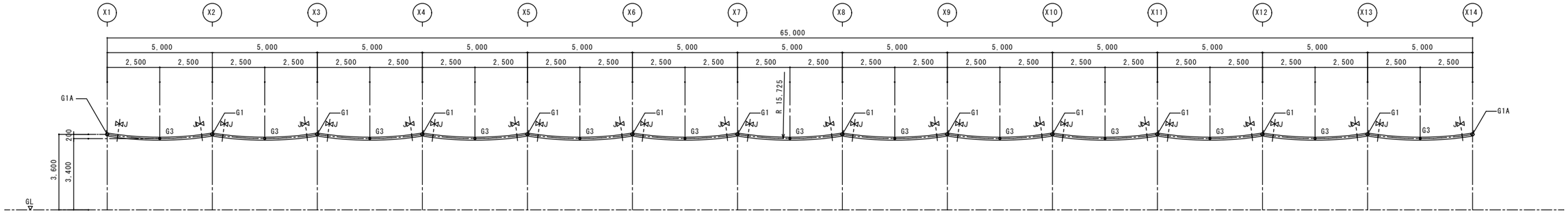
JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社 瀧建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 作図	キャノピー詳細図（２） 屋根伏図　立面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 A－97



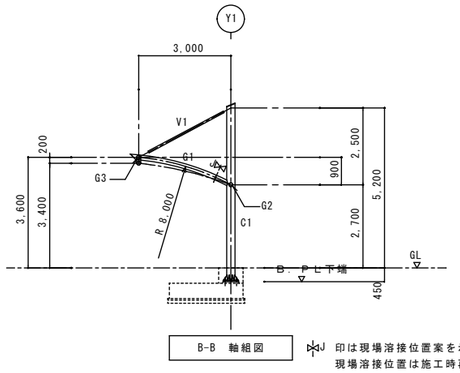
小屋伏図　　印は現場溶接位置案を示す。
現場溶接位置は施工時再検討とする。



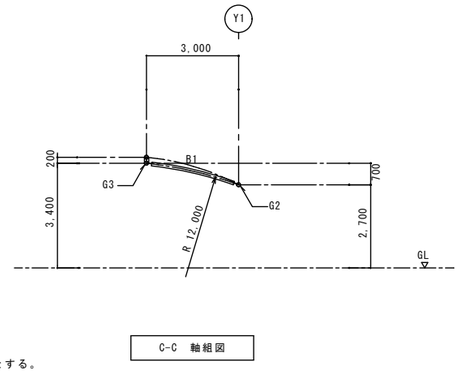
Y1通り軸組図　　印は現場溶接位置案を示す。
現場溶接位置は施工時再検討とする。



A-A　軸組図　　印は現場溶接位置案を示す。
現場溶接位置は施工時再検討とする。



B-B　軸組図　　印は現場溶接位置案を示す。
現場溶接位置は施工時再検討とする。

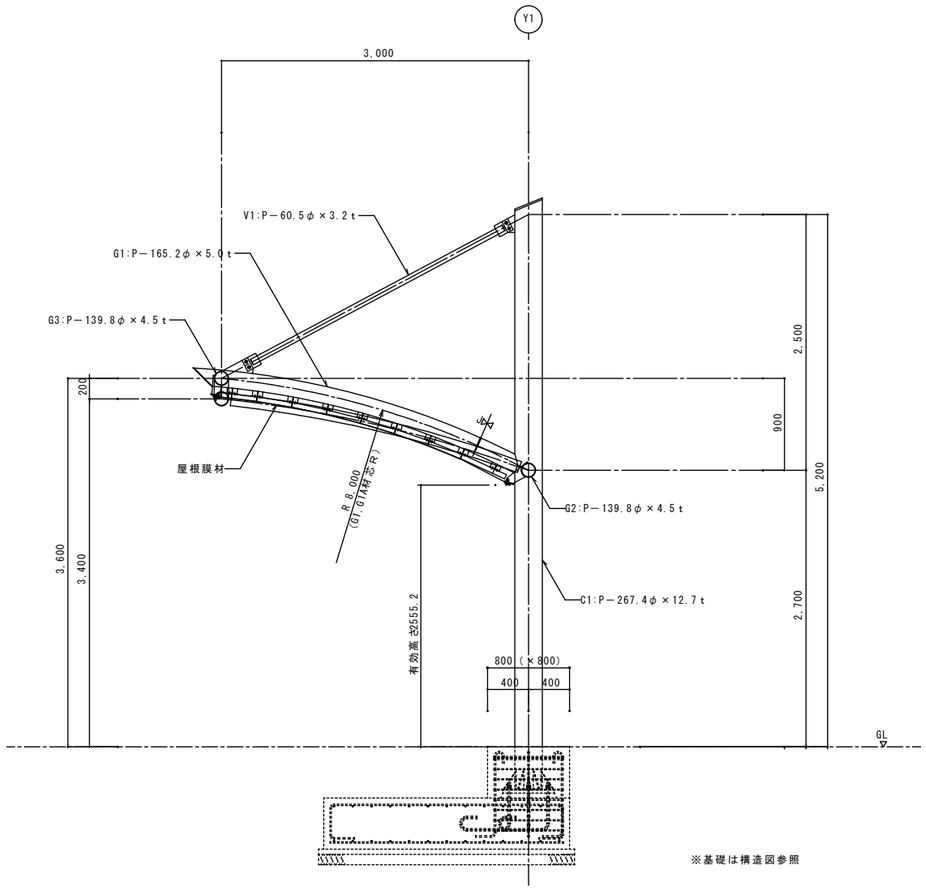


C-C　軸組図

MEMBER LIST		
符号	部材	材質
C1	P－267.4φ×12.7t	STK400
G1	P－165.2φ×5.0t	STK400
G1A	P－165.2φ×7.1t	STK400
G2	P－139.8φ×4.5t	STK400
G3	P－139.8φ×4.5t	STK400
B1	P－114.3φ×4.5t	STK400
V1	P－60.5φ×3.2t	STK400
PL類		SS400

※基礎は構造図参照

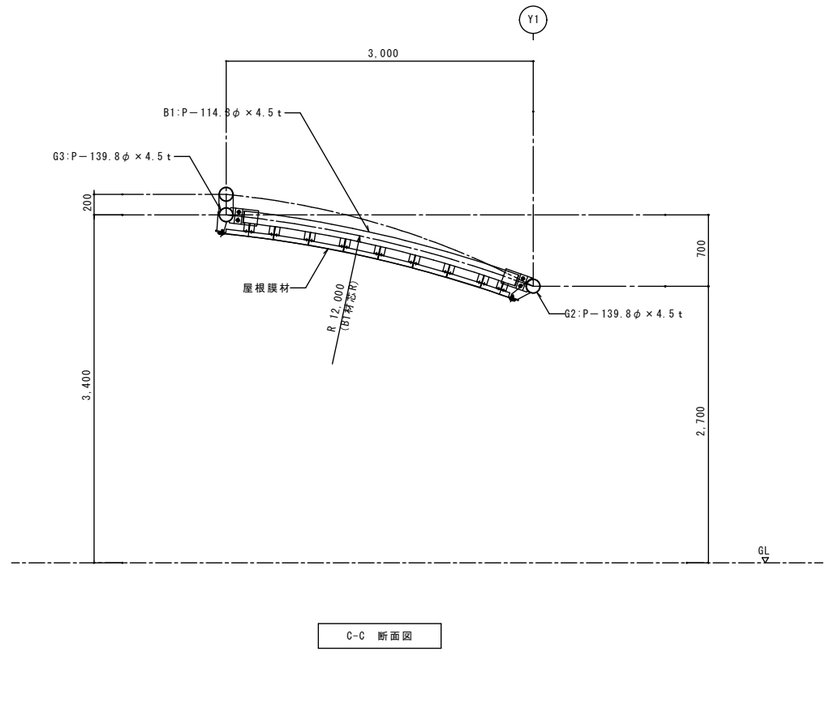
JOB NO.																	
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社	湘建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計	・ ・	作図	キャノピー詳細図（2） 小屋伏図 軸組図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図番	A－98



※基礎は構造図参照

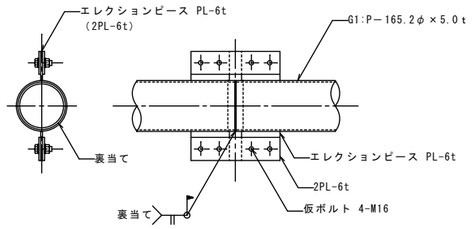
B-B 断面図

▷◁J 印は現場溶接位置案を示す。
現場溶接位置は施工時再検討とする。



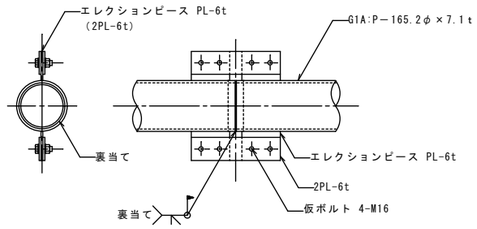
C-C 断面図

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 湘建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計	・ ・	検図	キャノピー詳細図（４） 断面図	縮尺	A1:1/30 A3:1/60	図番	A － 99



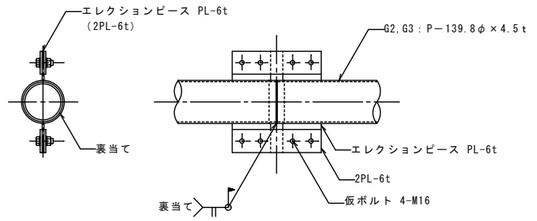
G1材　現場溶接部詳細図　　S＝1:20

・ジョイント位置は製作時にトラック運搬 鉄骨建方等を考慮の上最終位置決定のこと。
・エレクションピースは鉄骨建て方計画に応じて枚数、配置を決定すること。
・エレクションピースは現場溶接完了後、5～10mm程度残してカットし
グラインダー仕上げのこと。



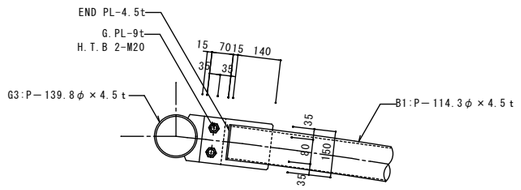
G1A材　現場溶接部詳細図　　S＝1:20

・ジョイント位置は製作時にトラック運搬 鉄骨建方等を考慮の上最終位置決定のこと。
・エレクションピースは鉄骨建て方計画に応じて枚数、配置を決定すること。
・エレクションピースは現場溶接完了後、5～10mm程度残してカットし
グラインダー仕上げのこと。

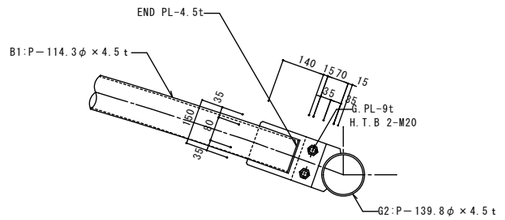


G2,G3材　現場溶接部詳細図　　S＝1:20

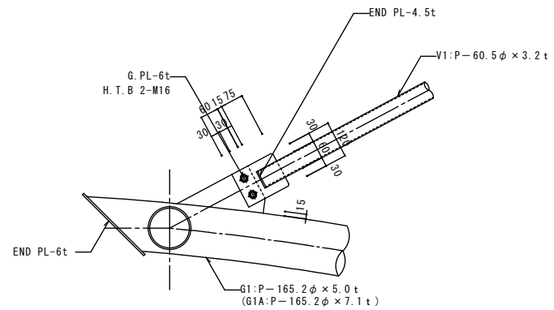
・ジョイント位置は製作時にトラック運搬 鉄骨建方等を考慮の上最終位置決定のこと。
・エレクションピースは鉄骨建て方計画に応じて枚数、配置を決定すること。
・エレクションピースは現場溶接完了後、5～10mm程度残してカットし
グラインダー仕上げのこと。



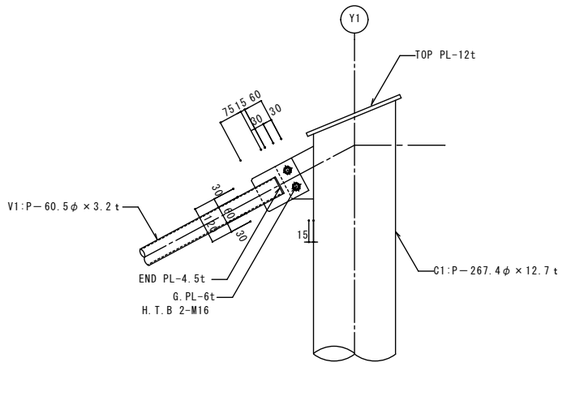
B1-G3 取合い詳細図　　S＝1:20



B1-G2 取合い詳細図　　S＝1:20

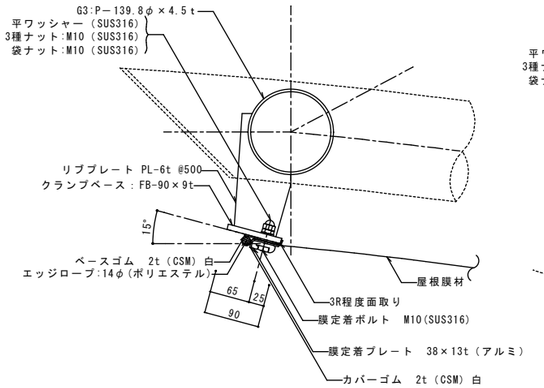


V1-G1(G1A) 取合い詳細図　　S＝1:20



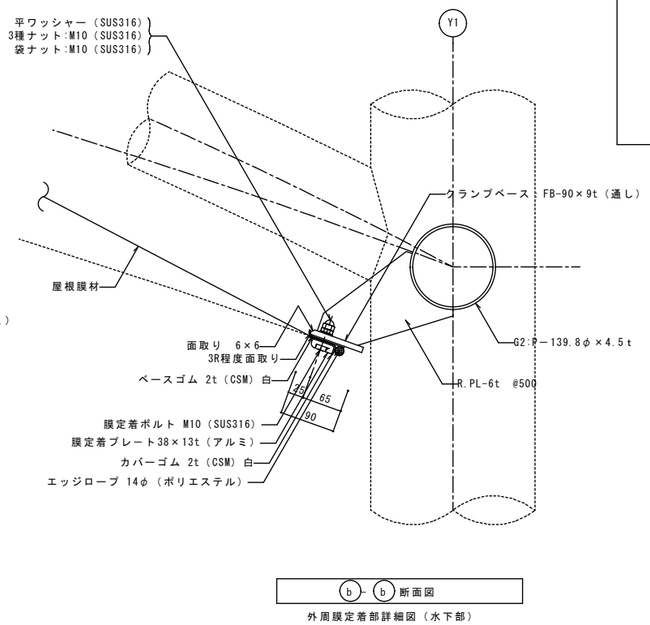
V1-C1 取合い詳細図　　S＝1:20

JOB NO. 117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所 株式会社瀧建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・ 構造	キャノピー詳細図（５） 鉄骨詳細図	縮尺 A1:1/10 A3:1/20	図番 A －100



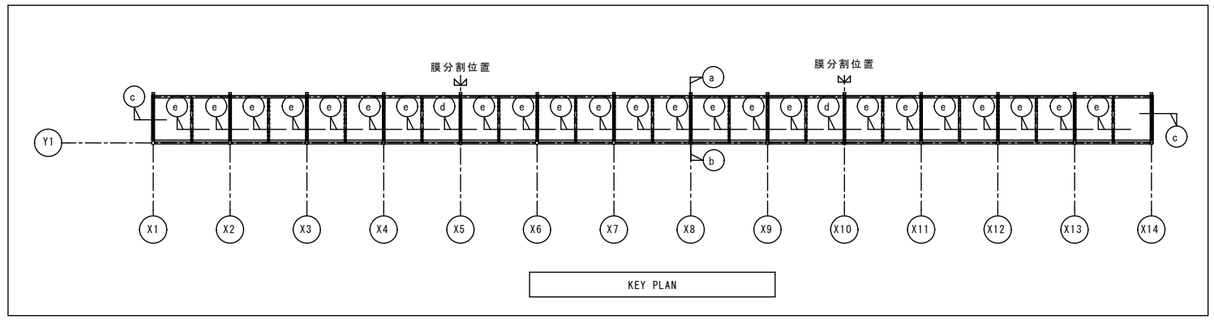
ⓐ－ⓐ 断面図

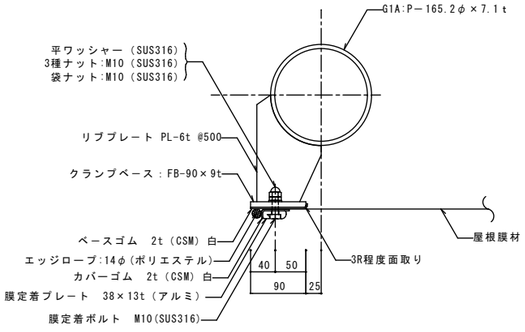
外周膜定着部詳細図（水上部）



ⓑ－ⓑ 断面図

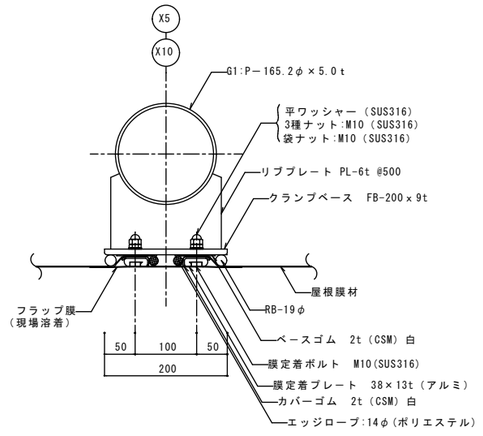
外周膜定着部詳細図（水下部）





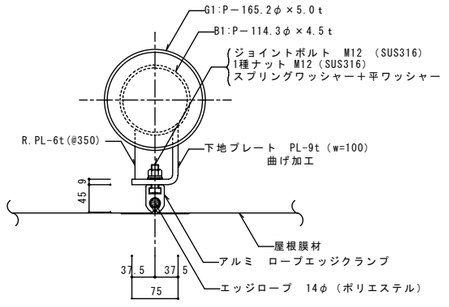
ⓒ－ⓒ 断面図

外周膜定着部詳細図（妻部）



ⓓ－ⓓ 断面図

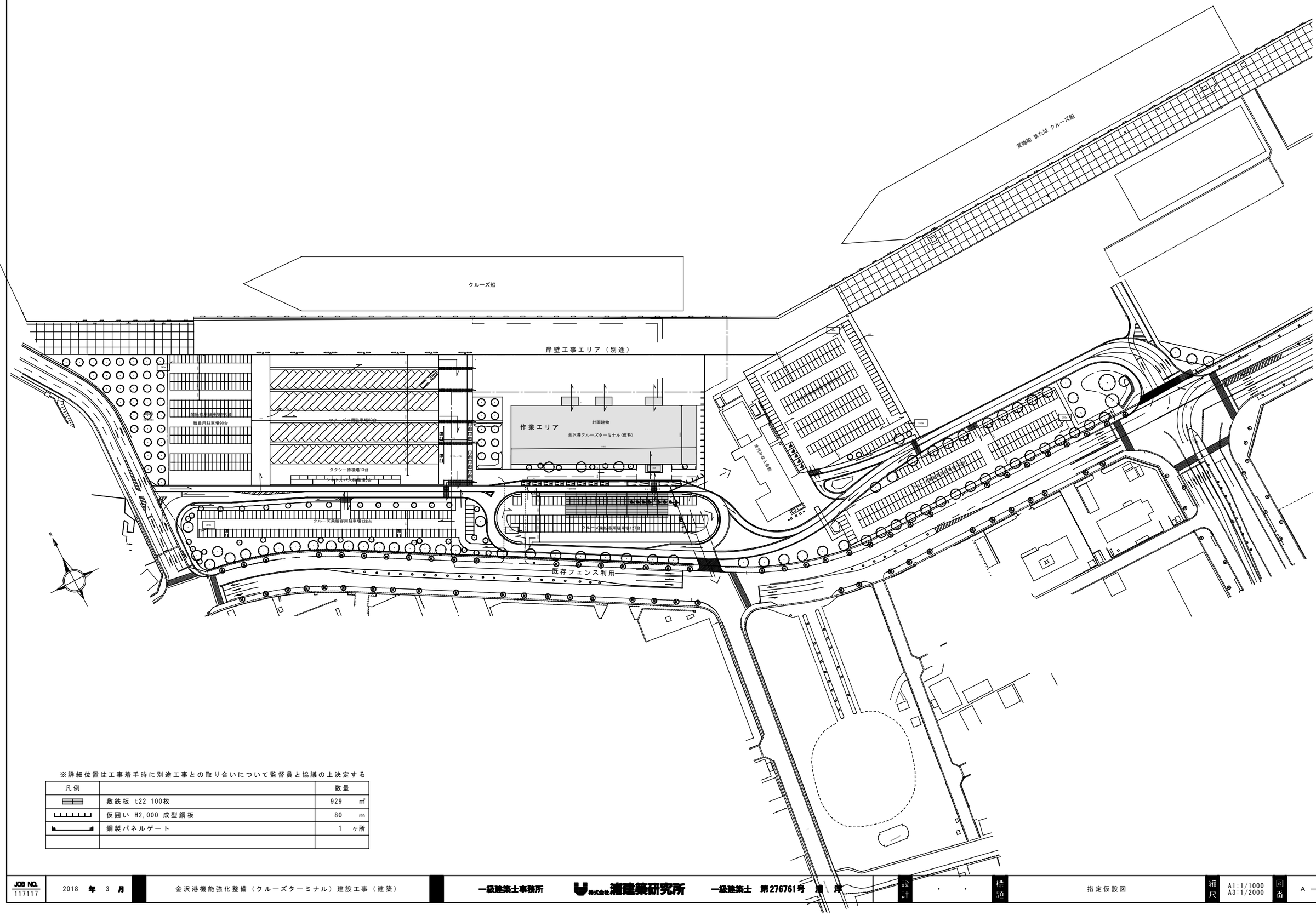
膜分割部詳細図



ⓔ－ⓔ 断面図

中間膜定着部詳細図

一級建築士事務所 株式会社瀧建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳



※詳細位置は工事着手時に別途工事との取り合いについて監督員と協議の上決定する

凡例		数量
	敷鉄板 t22 100枚	929 ㎡
	仮囲い H2,000 成型鋼板	80 m
	鋼製パネルゲート	1 ヶ所

JOB NO.											
117117	2018 年 3 月	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	一級建築士事務所	株式会社 瀧建築研究所	一級建築士 第276761号 瀧 洋	設計	・ ・	標題	指定仮設図	縮尺	A1:1/1000 A3:1/2000	図番	A －102

構造特記仕様書

適用範囲　この特記仕様書に記載なき事項以外は下記に準拠する

1）建築基準法・同施行令　2）構造図・配筋基準図　3）建築工事標準仕様書(最新版)（以下「標仕」という。）

提出書類

必要	項目		必要	項目		必要	項目	
○	標準貫入試験報告書	2 部	○	ガス圧接超音波試験報告書	2 部	○	溶接試験報告書(超音波探傷法)	2 部
○	地盤改良試験報告書(施工計画書含む)	2 部	○	配筋写真	2 部	○	ＨＴＢ検査証明書	2 部
○	杭施工報告書(施工計画書含む)	2 部	○	溶接工事作業計画書(様式1, 様式2)	2 部	○	ＨＴＢ締め付け検査報告書	2 部
○	コンクリート配合計画書	2 部	○	鋼材検査証明書	2 部			
○	コンクリート圧縮強度試験報告書	2 部	○	鉄骨工作図	2 部			
○	鉄筋検査証明書	2 部	○	開先形状及び仮組時エンドタブ裏当金写真	2 部			
○	ガス圧接技量資格者名簿	2 部	○	溶接技量資格者名簿	2 部			

基礎

種類	採用	名称			長期耐力	支持地盤	注記		指示事項
直接基礎	○	独立基礎	布基礎	べた基礎	キャノピー，受水槽 50kN/m²	キャノピー，受水槽 支持地盤・・・砂質シルト層 ＧＬ－１．９２ｍ	改良工法	浅層地盤改良工法	キャノピー及び受水槽の基礎及び基礎梁下の浅層地盤改良工法は、セメント系固化材による原位置混合方式又は事前混合方式とする。 地盤改良土１m³当たりの固化材添加量は１００kgとするが配合試験の結果により決める。
杭基礎	○	既製コンクリート杭 プレボーリング拡大根固め工法 鋼杭 場所打ちコンクリート杭		杭径 ５００φ，６００φ 杭種 杭リスト 参照	建物 ５００φ １，６５０kN／本 ６００φ １，９００kN／本 ２，４５０kN／本	建物 支持地盤①・・・礫混じり中砂層 ＧＬ－３６．６７ｍ 支持地盤②・・・シルト質細砂層 ＧＬ－３７．７７ｍ	立会い検査	支持層の確認 載荷試験 試験杭 配合試験用現地盤採取	試験杭は最初の２本とし、杭長は本杭と同じとする。 （Ｓ－１５参照）

使用材料

使用コンクリート	採用	設計基準強度	単位容積重量	スランプ	使用箇所・使用階	注記		指示事項
普通コンクリート	○	ＦＣ１８	２３ kN／m³	１５ｃｍ	捨てコンクリート	類別	Ⅰ類（ＪＩＳ Ａ５０３８），Ⅱ類	１．打込み前に施工計画書を監督員に提出する事
早強コンクリート	○	ＦＣ２１	２３ kN／m³	１５ｃｍ	デッキ上コンクリート	材料	ＪＩＳ Ｒ５２１０（ポルトランドセメント）	２．型枠表面の清掃、散水を打込み前に行なう事
軽量コンクリート	○	ＦＣ２１	２３ kN／m³	１８ｃｍ	キャノピー基礎・基礎梁	混和材料	混和剤－ＡＥ剤，ＡＥ減水剤標準形，高性能ＡＥ減水剤 躯体防水材	３．調合、スランプ値の確認を行なう事
	○	ＦＣ２４	２３ kN／m³	１８ｃｍ	１階床・立上り壁			４．生コンは１日１回、かつ１５０m³につき１セット（３×３本）抜き取り、圧縮強度試験を行なう事
	○	ＦＣ２７	２３ kN／m³	１８ｃｍ	基礎・基礎梁・ピット床	立会い検査	フレッシュコンクリートの試験	５．躯体防水材はコンクリート１m³あたりの混入量を１０ｋｇ～２０ｋｇ程度とする事
		ＦＣ３０	２３ kN／m³	１８ｃｍ				

使用鉄筋	採用	規格	降伏点 N／mm²	引張り強さ N／mm²	表示方法	使用径	注記		指示事項
丸鋼		ＳＲ２３５	２３５以上	３８０～５２０	－φ		継手	重ね Ｄ１６以下，圧接 Ｄ１９以上	１．鉄筋のかぶり、本数、位置を確認する事
	○	ＳＤ２９５	２９５以上	４４０～６００	－Ｄ	Ｄ１０～Ｄ１６	鉄筋マーク	● ９φ－Ｄ１０　○ ２２φ－Ｄ２２	２．圧接に際し、技術者の資格、設備、天候、圧接部のふくらみを確認する事
異形鉄筋	○	ＳＤ３４５	３４５～４４０	４９０以上	－Ｄ	Ｄ１９～Ｄ２５		× １３φ－Ｄ１３　◉ ２５φ－Ｄ２５	３．圧接は１ロットにつき３０箇所抜き取り、超音波探傷試験を行なう事（１ロットは１組の作業班が１日に行った圧接箇所数とする。）
	○	ＳＤ３９０	３９０～５１０	５６０以上	－Ｄ	Ｄ２９～Ｄ３２		⌀ １６φ－Ｄ１６　⊗ ２８φ－Ｄ２９	
								● １９φ－Ｄ１９　◘ ３２φ－Ｄ３２	
溶接金網		ＪＩＳ Ｇ３５５１				６φ×１００×１００	立会い検査	配筋検査	

使用鉄骨	採用	規格	降伏点 N／mm²	引張り強さ N／mm²	使用箇所	注記		指示事項
一般構造用鋼材	○	ＳＳ４００級	２３５（２１５）以上	４００～５１０	材質は、部材リスト及び詳細図による。	サビ止め	Ｋ５６７４	１．現寸場でテープ合せを行なう事
建築構造用鋼材	○	ＳＮ４００Ｂ，Ｃ	２３５～３５５（２１５～３３５）	４００～５１０			工場 現場（ 各１ ）回塗り	２．コンクリートに接する部分はメッキされていないことを必ず確認する事
	○	ＳＮ４９０Ｂ，Ｃ	３２５～４４５（２９５～４１５）	４９０～６１０				
	○	ＴＭＣＰ３２５Ｃ	３２５～４４５	４９０～６１０	厚さ40㎜を超えるプレートはＴＭＣＰ３２５Ｃとする。			
	○	ＢＣＲ２９５	２９５～４４５	４００～５５０		鉄骨加工業者	国土交通大臣認定工場　Ｈ グレード以上	
	○	ＳＴＫＮ４００Ｂ	２３５～３８５（２１５～３６５）	４００～５４０			溶接条件　下向き溶接	
	○	ＳＴＫＮ４９０Ｂ	３２５～４７５（２９５～４４５）	４９０～６４０		立会い検査	現寸検査 鉄骨製品検査 建方検査	
		（　）内は板厚　４０㎜　以上を示す						

使用ボルト	採用	規格	ＨＴＢ径	ピッチ	へりあき	はしあき	注記		指示事項
高力ボルト	○	ＪＩＳ Ｂ１１８６と同等以上	Ｆ１０Ｔ，μ＝０．４５						１．接合表面、マーキングを確認する事
	○	ＪＩＳ Ｂ１１８６と同等以上	Ｆ ８Ｔ，μ＝０．４５（亜鉛メッキボルト）						
超高力ボルト	○	国土交通大臣認定品	Ｆ１４Ｔクラス						
普通ボルト	○	ＪＩＳ Ｂ１１８０，Ｂ１１８１，Ｂ０２０５							
アンカーボルト	○	ＪＩＳ Ｂ１２２０，Ｇ３１３８					立会い検査	ＨＴＢ締め付け検査	

溶接

使用鉄骨	採用	長期 N／mm²（突き合せ 圧縮）	長期（突き合せ 引張り）	長期（突き合せ 曲げ）	長期（突き合せ せん断）	長期（すみ肉）	短期	注記		指示事項
ＳＳ４００級	○	１５６	１５６	１５６	９０	９０	長期の１．５倍	板厚条件（１）		１．溶接施工実績、作業管理組織、設備、検査の社内規準等を記載した文書を監督員に提出する事
ＳＮ４００級								条件（２）		２．溶接表面の色、ふくらみ、キズ、気泡などチェックを行なう事
ＳＮ４９０級	○	２１６	２１６	２１６	１２５	１２５				３．接合部の溶接は、ノンスカラップ工法とする事。
ＢＣＲ２９５	○	１９５	１９５	１９５	１１５	１２５		立会い検査	溶接部第３者試験	

型枠の存置期間及び取外し　（・・・）内表示番号は、「標仕」の該当項目、当該図又は当該表を示す。

(a)　型枠の取外しは、型枠の最小存置期間を経た以後に行う。

(b)　型枠の最小存置期間は、表６．８．２及び表６．８．３により、コンクリートの材齢又はコンクリートの圧縮強度により定める。寒冷のため強度の発現が遅れると思われる場合は、圧縮強度により定める。

なお、圧縮強度により定める場合は、（６．９．３）によるコンクリートの試験結果及び安全を確認するための資料により、監督職員の承諾を受ける。

(c)　片持梁、ひさし、長大スパンの梁、大型スラブ等の型枠を支持する支柱、又は施工荷重が著しく大きい場合の支柱等は、必要に応じて、存置期間を延長する。

(d)　スラブ下及び梁下のせき板は、原則として、支柱を取り外したのちに取り外す。なお、支柱の盛替えは行わない。

(e)　使用した紙チューブは、型枠取外し後に取り除く。

表６．８．２　せき板の最小存置期間

施工箇所 / 存置期間中の平均気温 ＼ セメントの種類		基礎，梁側，柱，壁 早強ポルトランドセメント	基礎，梁側，柱，壁 普通ポルトランドセメント、混合セメントのＡ種	基礎，梁側，柱，壁 混合セメントのＢ種
コンクリートの材齢による場合（日）	１５℃以上	２	３	５
	５℃以上	３	５	７
	０℃以上	５	８	１０
コンクリートの圧縮強度による場合	－	圧縮強度が５N/㎟以上となるまで。		

表６．８．３　支柱の最小存置期間

施工箇所 / 存置期間中の平均気温 ＼ セメントの種類		スラブ下 早強ポルトランドセメント	スラブ下 普通ポルトランドセメント、混合セメントのＡ種	スラブ下 混合セメントのＢ種	梁下 左記のすべてのセメント
コンクリートの材齢による場合（日）	１５℃以上	８	１７	２８	２８
	５℃以上	１２	２５		
	０℃以上	１５	２８		
コンクリートの圧縮強度による場合	－	圧縮強度が設計基準強度(Fc)の８５%以上又は１２N/㎟以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで。			圧縮強度が設計基準強度以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで。

注記

塩害対策として、土に接する部分及び屋外のコンクリートは、厚さ１０mmを「Ｓ－２　表４．１」の数値に加える。

デッキ上コンクリートの単位水量は175リットル/m³以下とし、高性能ＡＥ減水剤を使用する。

躯体防水材は、基礎，基礎梁，ピット床，キャノピー基礎，基礎梁に使用する。

地盤調査

現地ボーリング柱状図

設計Ｇ．Ｌ．とボーリングＢ．Ｍ．との関係

深度 (m)	土質名	土質記号	標準貫入試験 N値	C又はｑu
▽ Ｇ．Ｌ．			0 10 20 30 40 50	

別図参照
「Ｓ－１２～Ｓ－１４」

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図		図面番号
	2018. 03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	構造特記仕様書	Ｎ．Ｓ．	Ｎ．Ｓ．				小西建築構造設計 一級建築士事務所石川県知事登録 第１８０４号 一級建築士 第４３４７９号 構造設計一級建築士 第５６６５号 小西 義昭 金沢市泉野町６丁目１５番１号 TEL（076）244－5615	Ｓ－０１

鉄筋コンクリート構造配筋標準図［１］

１．共通事項

Ａ．適用範囲

１．　この標準図は、各種構造（ＲＣ造、ＳＲＣ造、Ｓ造）の鉄筋コンクリート造部分に適用する。

２．　設計図書、特記仕様書に記載してある事項以外は、この標準図による。この標準図に、記載されていない事項は、「建築工事標準仕様書」（以下、標仕）による。

３．　使用する鉄筋、及び溶接金網は、特記による。
この標準図は、表１．１に示す鉄筋および溶接金網に適用する。
これ以外は特記による。

表１．１

規格番号	規格名称	種類の記号
ＪＩＳ　Ｇ3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＲ235，ＳＲ295 ＳＤ295Ａ，ＳＤ295Ｂ ＳＤ345，ＳＤ390
ＪＩＳ　Ｇ3117	鉄筋コンクリート用再生棒鋼	ＳＤＲ295，ＳＤＲ345
ＪＩＳ　Ｇ3551	溶接金網	

Ｂ．凡例

ｄ・・　鉄筋の直径（異形鉄筋では呼び名に用いた数値、丸鋼では径）
ｈｏ・・　部材の内法高さ
ｌｏ・・　部材の内法寸法
ｒ・・　半径
＠・・　間隔
℄・・　中心線

Ｃ．鉄筋の表示

１．　鉄筋の表示記号は、表１．２による。

表１．２

表示記号		•	×	⌀	●	○	◉	⊗	◎
鉄筋径	異形鉄筋	Ｄ10	Ｄ13	Ｄ16	Ｄ19	Ｄ22	Ｄ25	Ｄ29	Ｄ32
	丸　鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	29φ	32φ

（１）　上記の表示記号を使用しない場合は特記による。
（２）　上記の表示記号は、この配筋標準図には適用しない。

２．鉄筋の加工・組立て

Ａ．加工・組立て

１．　鉄筋は、設計図書に指定された寸法及び形状に合わせ、常温で正しく加工する。

２．　有害な曲がり、ひび割れ、ささくれ等の損傷のある鉄筋は、使用しない。

３．　鉄筋の切断は、シャーカッターや電動カッター、または鉄筋冷間直角切断機等によって行う。ただし、圧接端面となる場合は、ガス切断を行ってはならない。

４．　鉄筋には、点付け溶接、アークストライクを行わない。

５．　鉄筋の溶接は、アーク溶接とする。溶接技能者は、工事に相応した技量を有する者とする。

６．　鉄筋の組立は、鉄筋の交差部および継手部の要所を径０．８ｍｍ以上の鉄線で結束し、適切な位置にスペーサー、うま、吊り金物等を使用して行う。
なお、スペーサーは、転倒及び作業荷重等に耐えられるものとし、スラブのスペーサーは、原則として鋼製とする。また、コンクリート打放しの仕上げとなる箇所には、防錆処理を行ったスペーサーを使用する。

７．　前に打設したコンクリートから出ている鉄筋の位置を修正する場合は、鉄筋の付け根で急に曲げないで、できるだけ長い距離で修正する。

８．　設備配管、スイッチ等の設置により、設計図書に定める配筋が困難な場合は、設計者及び監督職員と協議する。

Ｂ．末端部のフック

１．次の場合、鉄筋の末端部にはフックを付ける。
（１）　丸鋼
（２）　異形鉄筋
ａ．柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合（図２．１の ● 印で示す鉄筋）。
ｂ．梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両側にある場合（図２．１の ● 印で示す鉄筋）。ただし，基礎梁を除く。
ｃ．煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）。
ｄ．杭基礎のベース筋。
ｅ．帯筋、あばら筋及び幅止め筋。

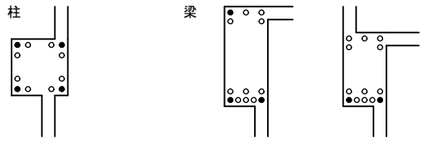


図２．１

Ｃ．折曲げ

１．鉄筋の折り曲げは、表２．１及び表２．２による。

表２．１　鉄筋の折曲げ（末端部）

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径（Ｄ）			使用箇所
		ＳＤ295Ａ、ＳＤ295Ｂ ＳＤ345		ＳＤ390	
		Ｄ16以下	Ｄ19～Ｄ38	Ｄ10～Ｄ38	
180°	d, D, 4d以上	3d以上	4d以上	5d以上	柱、梁の主筋 杭基礎のベース筋 Ｄ16以上の鉄筋
135°	d, D, 6d以上	3d以上	4d以上	5d以上	あばら筋、帯筋、 スパイラル筋 Ｄ13以下の鉄筋
90°	d, D, 8d以上	3d以上	4d以上	5d以上	Ｔ形及びＬ形の 梁のあばら筋
135°及び90°	4d以上, d, D, 4d以上	3d以上	4d以上	5d以上	90°, 135° 幅止め筋

表２．２　鉄筋の折曲げ（中間部）

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径（Ｄ）			使用箇所
		ＳＤ295Ａ、ＳＤ295Ｂ ＳＤ345、ＳＤ390			
		Ｄ16以下	Ｄ19～Ｄ25	Ｄ29～Ｄ38	
90°以下	d, D	3d以上	4d以上	―	あばら筋、帯筋、 スパイラル筋
	d, D	4d以上 （5d以上）	6d以上	8d以上	その他の鉄筋

（注）（　）内はＳＤ３９０の場合を示す。

３．鉄筋の継手・定着

Ａ．鉄筋の継手及び定着長さ

１．　鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手又は特殊な鉄筋継手（建築基準法施行令第７３条５項の規定に適合するもの。）とし、適用は特記による。特記がなければ、鉄筋の種類に応じた継手工法は、表３．１による。

表３．１　鉄筋の種類に応じた継手工法

種類の記号	適用径の範囲	
	重ね継手	ガス圧接継手
ＳＤ295Ａ	Ｄ１６以下	―――
ＳＤ295Ｂ ＳＤ345 ＳＤ390	原則として、Ｄ１６以下とする。ただし、基礎、耐圧版、土圧を受ける壁等の大断面部材の場合は、Ｄ２５以下とする。また、場所打ちコンクリート杭の場合は、Ｄ３２以下とする。	Ｄ１９以上

２．　重ね継手および定着の長さは，特記がなければ表３．２による。

表３．２　鉄筋の重ね継手及び定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm2)	フックなし				フックあり			
		Ｌ1	Ｌ2	Ｌ3		Ｌ1h	Ｌ2h	Ｌ3h	
				小梁	スラブ			小梁	スラブ
ＳＤ295Ａ ＳＤ295Ｂ	18	45ｄ	40ｄ	20ｄ	10ｄかつ150mm以上	35ｄ（40ｄ）	30ｄ（40ｄ）	10ｄ	―
	21	40ｄ	35ｄ（40ｄ）			30ｄ（40ｄ）	25ｄ（40ｄ）		
	24，27 30，33，36	35ｄ（40ｄ）	30ｄ（40ｄ）			25ｄ（40ｄ）	20ｄ（40ｄ）		
ＳＤ345	18	50ｄ	40ｄ			35ｄ（40ｄ）	30ｄ（40ｄ）		
	21	45ｄ	35ｄ（40ｄ）			30ｄ（40ｄ）	25ｄ（40ｄ）		
	24，27	40ｄ	35ｄ（40ｄ）			30ｄ（40ｄ）	25ｄ（40ｄ）		
	30，33，36	35ｄ（40ｄ）	30ｄ（40ｄ）			25ｄ（40ｄ）	20ｄ（40ｄ）		
ＳＤ390	21	50ｄ	40ｄ			35ｄ（40ｄ）	30ｄ（40ｄ）		
	24，27	45ｄ	40ｄ			35ｄ（40ｄ）	30ｄ（40ｄ）		
	30，33，36	40ｄ	35ｄ（40ｄ）			30ｄ（40ｄ）	25ｄ（40ｄ）		

（注）　１．（　）は、柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さを示す。
ただし、軽量コンクリートを除く。
２．Ｌ1、Ｌ1h：３．以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
３．Ｌ2、Ｌ2h：割裂破壊のおそれのない箇所への定着長さ。
４．Ｌ3　：小梁及びスラブの下端筋の直線定着長さ（基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く）。なお、片持小梁及び片持スラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。
５．Ｌ3h　：小梁下端筋のフックあり定着長さ。
６．フックあり定着の場合は、図３．１に示すようにフック部分Ｌ’をを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
７．軽量コンクリートの場合は、表の（　）内の値に１０ｄ、その他の値に５ｄを加えたものとする。

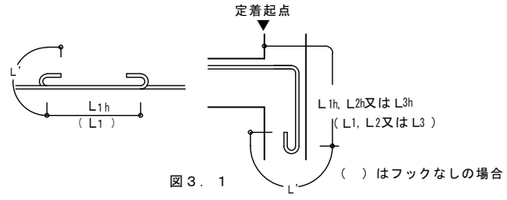


図３．１　（　）はフックなしの場合

３．　定着方法は、標仕５．３．４（ｅ）（２）による。

Ｂ．隣合う継手の位置

１．　隣合う継手の位置は、表３．３による、ただし、スラブ及び壁の場合でＤ１６以下は除く。なお、先組み工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所に設ける場合は、特記による。

表３．３　隣合う継手の位置（壁・床版を除く）

フックのある場合	a＝0．5Ｌ	a≧0．5Ｌ
フックのない場合	a＝0．5Ｌ	a≧0．5Ｌ
圧接継手及び機械式継手	圧接継手 a≧400mm	カップラー（機械式継手） a≧400mmかつa≧(b＋40)mm

Ｃ．溶接金網の継手及び定着

１．　溶接金網の継手及び定着は、図３．２による。

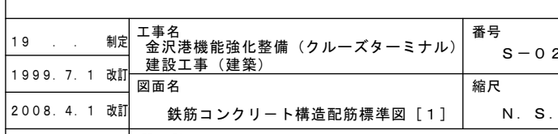


図３．２

４．鉄筋のかぶり厚さ及びあき

Ａ．鉄筋のかぶり厚さ

１．設計かぶり厚さは，特記による。　特記が無ければ、表４．１による。
但し柱及び梁の主筋にＤ２９以上を使用する場合は，主筋のかぶり厚さを径の１．５倍以上として最小かぶり厚さを定める。

表４．１　鉄筋のかぶり厚さ　（単位：ｍｍ）

構造部分の種別				設計かぶり厚さ	最少かぶり厚さ
土に接しない部分	スラブ，耐力壁以外の壁	仕上げあり		３０	２０
		仕上げなし		４０	３０
	柱、梁、耐力壁	屋内	仕上げあり	４０	３０
			仕上げなし	４０	３０
		屋外	仕上げあり	４０	３０
			仕上げなし	５０	４０
	擁壁、耐圧スラブ			５０	４０
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁			＊５０	＊４０
	基礎、擁壁、耐圧スラブ			＊７０	＊６０
煙突等の高熱を受ける部分				７０	６０

（注）　１．設計かぶり厚さ：鉄筋加工に用いる標準かぶり厚さ
最小かぶり厚さ：鉄筋組立後のかぶり厚さ
２．＊印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。
３．「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、仕上げ塗装、吹付け又は塗装等の鉄筋の耐久性上有効でない仕上げのものを除く。
４．スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
５．杭基礎ベース筋のかぶり厚さは、杭天端からとする。
６．貫通孔部、及びひびわれ誘発目地部の目地底に接する鉄筋について最小かぶり厚さを確保する。
７．塩害を受ける恐れのある部分等、耐久性上不利な箇所のかぶり厚さは、特記による厚さを表４．１の数値に加える。

１９　．　．　制定	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル） 建設工事（建築）	番号 Ｓ－０２
1999．7．1　改訂	図面名 鉄筋コンクリート構造配筋標準図［１］	縮尺 Ｎ．Ｓ．
2008．4．1　改訂		
2011．4．1　改訂	設　計　石川県土木部営繕課	
2017．4．1　改訂	担当課長　課参事　補佐　主幹　GL・SL　担当	

鉄筋コンクリート構造配筋標準図［２］

４．鉄筋のかぶり厚さ及びあき（続き）

Ｂ．鉄筋の相互のあき

１．　鉄筋相互のあきは図４．１により、次の値のうち最大のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合のあきは、特記による。
（１）　粗骨材の最大寸法の１．２５倍
（２）　２５mm
（３）　隣合う鉄筋の平均径（呼名に用いた数値ｄ）の１．５倍

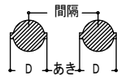


図４．１

２．　鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは１．による．

Ｃ．鉄筋の保護

１．　鉄筋の組立後、スラブ、梁等には、歩み板を置き渡し、直接鉄筋の上を歩かないようにする。
２．　コンクリート打込みによる鉄筋の乱れは、なるべく少なくする。特にかぶり厚さ、位置及び間隔の保持に努める。

５．基礎・基礎梁

Ａ．基礎

１．　基礎の配筋要領

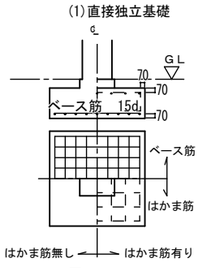


図５．１

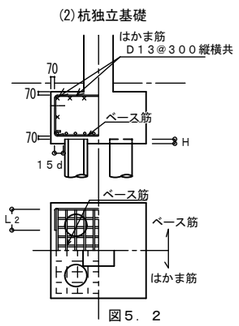


図５．２

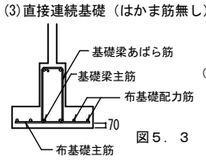


図５．３

（注）１．ベース筋の径・本数は図示による。
原則ベース筋は継手を設けず通し筋とする。
２．はかま筋及び布基礎配力筋の径・本数は図示による。
図示が無ければD13-@300とする。
３．杭頭のフーチング内への埋込み深さHは図示による。
図示が無ければH=100mmとする。

２．　杭頭の補強要領
杭頭補強の要領は図示による。ＰＨＣ杭で図示が無い場合は図５．４による。

〔H≦300の場合〕

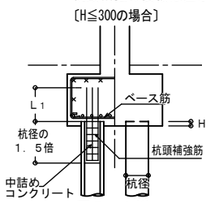


図５．４(1)

〔H≧杭径かつ杭頭をカットしない場合〕

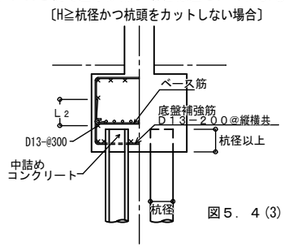


図５．４(3)

〔H＞300の場合〕

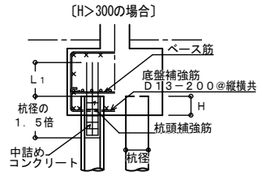


図５．４(2)

杭頭補強筋及び補強帯筋は図示による。
図示が無ければ下記による。

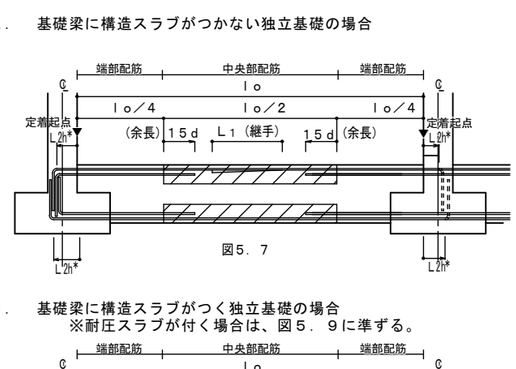
●	杭径　350φ以下	・・・ 6−D13
	〃　400φ	・・・ 8−D13
	〃　450φ	・・・10−D13
	〃　500φ	・・・ 8−D16
	〃　600φ	・・・10−D16
●	帯　　筋	D10−100@

※杭頭補強筋は、フックをつけない。

（注）１．中詰めコンクリートは、基礎のコンクリートと同じ調合のコンクリートを使用

Ｃ．基礎接合部の補強

１．　基礎接合部の補強は、特記による。特記が無ければ図５．５による。



＊Ｌ2hを確保できない場合は、
標仕5.3.4(e)(3)によることができる。

図５．５

Ｄ．　基礎梁筋の継手及び定着

１．　一般事項

（１）　梁筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は，図５．６による。

図５．６

（２）　梁筋を柱内に定着する場合は、標仕５．３．４（ｅ）(2)による。
（３）　継手は原則として，コンクリートに常時圧縮応力が生じている部分，または応力の小さい部分に設ける。
（４）　継手は１か所に集中することなく、相互にずらして設けることを原則とする。

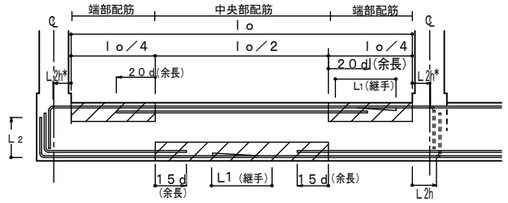
２．　基礎梁に構造スラブがつかない独立基礎の場合

図５．７

３．　基礎梁に構造スラブがつく独立基礎の場合
※耐圧スラブが付く場合は、図５．９に準ずる。

図５．８

４．　連続基礎及びべた基礎の場合



＊Ｌ2hを確保できない場合は、標仕5.3.4(e)(2)によることができる。

図５．９

（注）　・図示のない事項は、９．「大梁」による。
・　　印は、継手位置を示す。
・破線は、柱内定着の場合を示す。
・ハッチ部分は、望ましい継手位置を示す。

Ｅ．基礎梁のあばら等

１．　基礎梁のあばら筋

（１）　基礎梁のあばら筋の径及び間隔は、特記による。
（２）　基礎梁のあばら筋組立の形及びフックの位置は、１０．「あばら筋等」による。ただし、梁せいが１．５m以上の場合は．図５．１０によることができる。

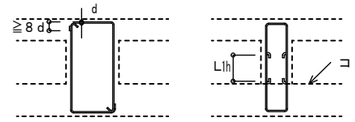


図５．１０

２．　腹筋及び幅止め筋は、１０．「あばら筋等」による。ただし、梁せいが１．５m以上の場合は、特記による。
３．　あばら筋の割付は、１０．「あばら筋等」による。

Ｆ．基礎梁の補強

１．　打増し補強は、１１．「梁の打増補強」による。
２．　土間スラブ等の打継ぎ補強は、１３．「スラブ」（３）スラブ等の補強による。

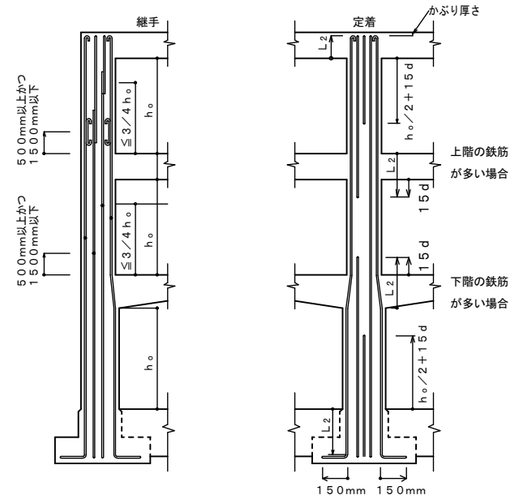
６．柱

Ａ．柱の主筋

１．　柱主筋の継手及び定着は、次による。

（１）　継手及び圧接中心位置は、梁上端から５００mm以上、１５００mm以下、かつ、３／４ｈｏ（ｈｏは柱の内法高さ）以下とする。
（２）　重ね継手長さはＬ１とし、定着及び余長は図６．１による。ただし、柱頭定着長さＬ2が確保できない場合は、特記による。

２．　電気設備の埋め込みボックス等は、柱の断面欠損となり、強度、耐久性の低下につながるため、原則として、埋め込まないこととする。やむを得ず埋め込む場合には、柱の打増し、乾式工法（軽鉄下地）等を検討する。また、配管についても１つの柱に集中させないようにするとともに、材軸方向と直交方向に配管する場合には柱の貫通は行わないこととする。
３．　柱主筋にＸ形配筋を用いる場合は、「Ｘ形配筋部材の設計と施工（日本建築士事務所協会）」を参考にする。この場合、鉄筋の加工、組立は、特に精度よく行うこと。



（注）・２．「鉄筋の組立・加工」で定めた鉄筋には、フックをつける。
・隣合う継手の位置は、表３．３による。
・継手、定着は、すべての階に適用できる。

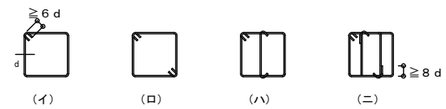
図６．１

７．帯筋

Ａ．帯筋

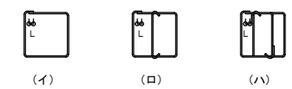
１．　帯筋は，原則としてＨ形とする。ただし、構造上重要な柱、独立柱等で特記するものはスパイラル筋とする。
やむを得ず上記以外の方法とする場合はｂ、ｃによる。
（１）Ｈ形の１３５°曲げのフックが困難な場合は、Ｗ−１形とする。

a．Ｈ形



b．Ｗ−Ｉ形

（注）　溶接は、鉄筋の組立前に行う。



c．丸形

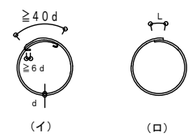


図７．２

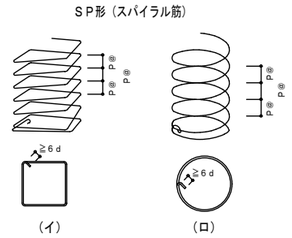
（２）　溶接する場合の長さＬは、両面フレア溶接の場合は５ｄ以上、片面フレア溶接の場合は１０ｄ以上とする。
溶接は設備の整った工場で行うことを原則とする。やむを得ず現場で溶接しなければならない場合には，十分に溶接できる作業条件と有資格者によって行うこととする。

１９　．　．　制定	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル） 建設工事（建築）	番号 Ｓ−０３
１９９９．７．１　改訂	図面名 鉄筋コンクリート構造配筋標準図［２］	縮尺 Ｎ．Ｓ．
２００８．４．１　改訂		
２０１１．４．１　改訂	設　計　石川県土木部営繕課	
２０１７．４．１　改訂	担当課長　課参事　補佐　主幹　GL・SL　担当	

鉄筋コンクリート構造配筋標準図［３］

７．帯筋（続き）

２．　帯筋をスパイラル筋とする場合、次のとおりとし、間隔は特記による。



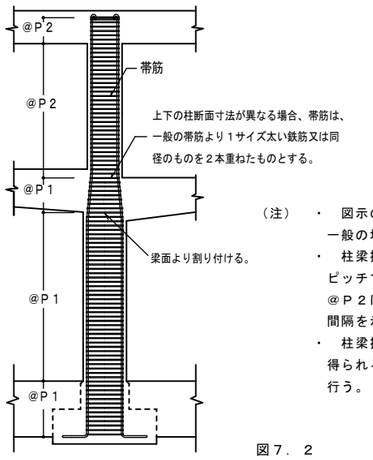
（注）　ＳＰ形において、柱頭及び柱脚の端部は、１．５巻以上の添巻きを行う。

図７．１

（１）　スパイラル筋の重ね継手は長さ５０ｄ以上，かつ，３０ｃｍ以上とし，その末端は９０°フック余長１２ｄ以上，または１３５°フック余長６ｄとする。ただし，スパイラル筋の径は１３ｍｍ，またはＤ１３以下を原則とする。
　原則として角スパイラルは，柱断面が正方形または正方形に近い長方形のものに用いる。

３．　フック及び継手の位置は、交互とする。

４．　帯筋の割付けは、特記による。特記が無い場合は、図７．２による。



（注）
- 図示のない事項については、一般の場合に同じ。
- 柱梁接合部の帯筋は特記されたピッチで配筋する。なお、@Ｐ１、@Ｐ２は、特記された帯筋の間隔を示す。
- 柱梁接合部は密実なコンクリート得られるように、締め固めを十分に行う。

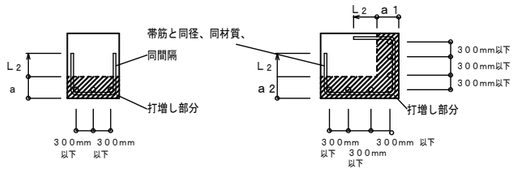
図７．２

８．柱の打増補強

Ａ．柱の打増補強

１．　柱の打増しは、特記による。特記が無く、打増し幅が７０ｍｍ以上、２００ｍｍ以下の場合には図８．１による。

２．　梁及び耐力壁の鉄筋の定着長さは、打増し部分を除いて算定する。



（ａ）　１方向の打増し　　（ｂ）　２方向の打増し

（７０ｍｍ≦ａ、 a_1・a_2 ≦２００ｍｍの場合）

図８．１

９．大梁

Ａ．大梁の主筋

１．　大梁主筋の継手及び定着の一般事項。

（１）　継手及び圧接中心位置は、次による。
　上端筋：中央Ｌｏ／２以内
　下端筋：柱面より梁せい（Ｄ）以上離し、Ｌｏ／４以内

（２）　継手長さはＬ１とし，定着長さ及び余長は図９．３及び図９．４による。

（３）　梁主筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図９．１による。

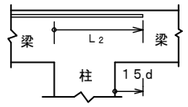


図９．１

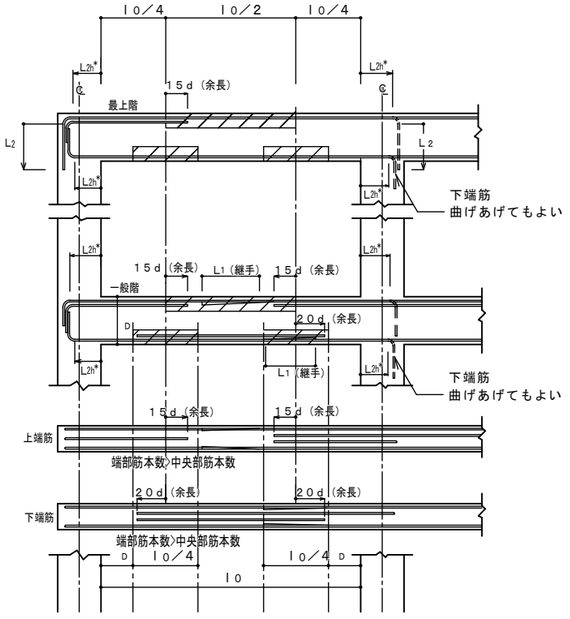
（注）　上階に柱がある場合の定着長さはＬ２とし、１５ｄは必要ないものとする。

（４）　梁主筋を外柱内に定着する場合は、原則として梁の上端筋は下向き定着とし，下端筋は上向き定着とする。また，上端筋及び下端筋とも柱梁接合部における投影定着長さを柱せいの３／４倍以上とする。

（５）　梁にハンチをつける場合、その傾斜は特記による。特記がなければ１：４とする。

２．　ハンチのない場合の重ね継手及び定着は、図９．２による。

ｕＬｈ：上端筋の水平定着長さ　Ｄ：柱のせい
ｌＬｈ：下端筋の水平定着長さ
ｕＬｈ≧３／４Ｄ，かつｌＬｈ≧３／４Ｄとする。

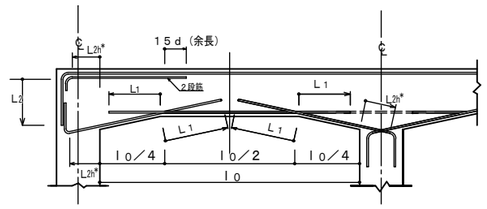


＊Ｌ2hを確保できない場合は、標仕5.3.4(e)(2)によることができる。

図９．２

（注）
- ２．「鉄筋の加工・組立て」で定めた鉄筋には、フックをつける。
- ▬▬ 印は、継手及び余長を示す。
- 破線は、柱内定着の場合を示す。
- ハッチ部分は望ましい継ぎ手位置を示す。

３．ハンチのある場合の定着は、図９．３による。

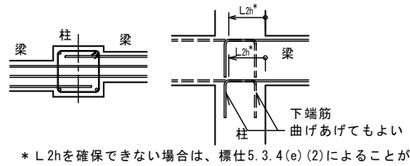


＊Ｌ2hを確保できない場合は、標仕5.3.4(e)(2)によることができる。

図９．３

（注）
- ２．「鉄筋の折り曲げ」で定めた鉄筋には、フックをつける。
- ▬▬ 印は、継手及び余長を示す。
- 梁内定着の端部が接近するときは、::::: のように引き通すことができる。
- 破線は、柱内定着の場合を示す。

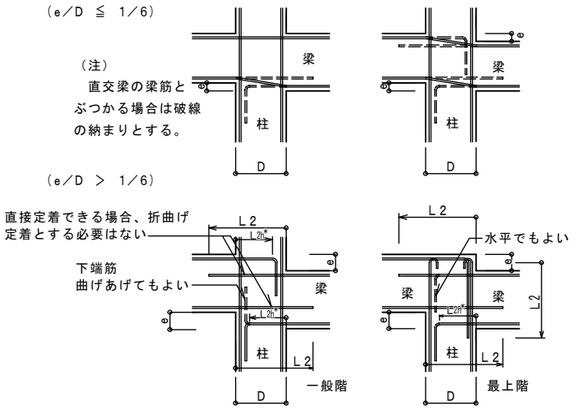
４．水平段差のある場合の定着は、図９．４による。



＊Ｌ2hを確保できない場合は、標仕5.3.4(e)(2)によることができる。

図９．４

５．段違い梁の定着は、図９．５による。



＊Ｌ2hを確保できない場合は、標仕5.3.4(e)(2)によることができる。

図９．５

６．　梁主筋にＸ形配筋を用いる場合は、「Ｘ形配筋部材の設計と施工（日本建築士事務所協会）」を参考にする。この場合、鉄筋の加工、組立は、特に精度よく行うこと。

１０．　あばら筋等

Ａ．あばら筋

１．　あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項。

（１）　あばら筋の種類、径及び間隔は、特記による。

（２）　幅止め筋及び受け用幅止め筋は、Ｄ１０@１０００程度とする。

（３）　腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、１５０ｍｍ程度とする。

（４）　壁梁の場合、腹筋の設定長さ及び継手長さは、特記による。特記がなければＬ2とする。

（５）　ハンチ基点のあばら筋の径、ピッチは特記による。

２．　あばら筋組立の形及びフックの位置

（１）　形は、図１０．１（イ）とする。ただし、Ｌ形梁の場合は、（ロ）又は（ハ）、Ｔ形梁の場合は（ロ）～（ニ）とすることができる。

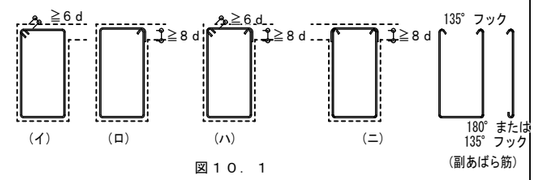


図１０．１

（２）　フックの位置は（イ）の場合は交互とし、（ロ）の場合のＬ形ではスラブのつく側、Ｔ形では交互とする。なお（ハ）の場合はスラブのつく側を９０°曲げとする。

３．　あばら筋・腹筋の割付け

（１）　間隔が一様で、ハンチの無い場合

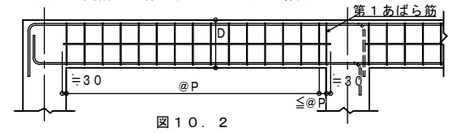


図１０．２

（２）　間隔が一様で、ハンチのある場合

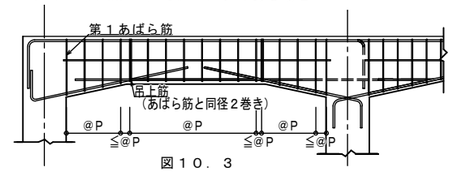


図１０．３

（３）　梁の端部で間隔の異なる場合

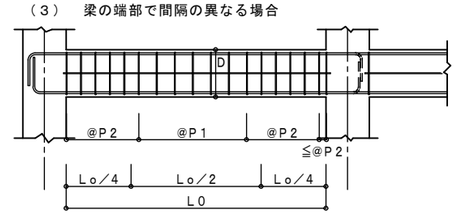


図１０．４

（注）
- あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
- 図注の@Ｐ１、@Ｐ２は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

Ｂ．腹筋及び幅止筋

１．　一般の梁場合は図示による、図示が無い場合図１０．５による。

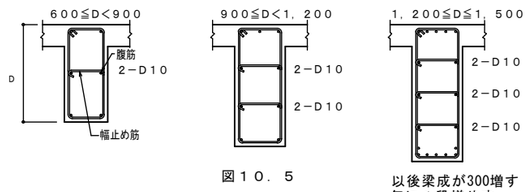


図１０．５

以後梁成が300増す毎に１段増やす。

19　．　．　制定	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	番号 Ｓ−０４
1999．7．1　改訂	図面名 鉄筋コンクリート構造配筋標準図［３］	縮尺 Ｎ．Ｓ．
2008．4．1　改訂		
2011．4．1　改訂	設　計　石川県土木部営繕課	
2017．4．1　改訂	担当課長　課参事　補佐　主幹　GL・SL　担当	

鉄筋コンクリート構造配筋標準図［４］

１０．　あばら筋等（続き）

２．　壁梁の場合は，図１０．６による。

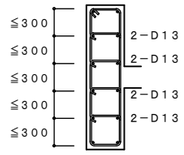


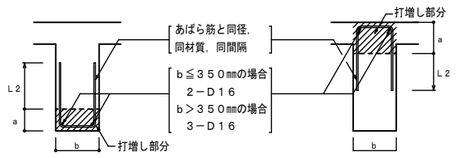
図１０．６

１１．梁の打増し補強

Ａ．梁の打増し補強

１．　梁の打増しは図示による。図示が無い場合は図１１．１による。

２．　小梁，耐力壁及びスラブの鉄筋の定着長さは，打増し部分を除いて算定する。



（ａ）下端の打増し　　（ｂ）上端の打増し

（ｃ）側面の打増し　　（ｄ）２方向の打増し

＊Ｌ2hを確保できない場合は，標仕5.3.4(e)(2)によることができる。

７０㎜≦ａ≦２００㎜の場合　（ａ<70の場合は補強筋不要）

図１１．１

１２．小梁，片持ち梁

Ａ．小梁

１．小梁主筋の継手及び定着

（１）連続小梁の場合

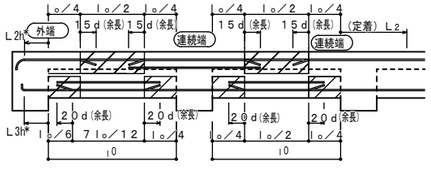
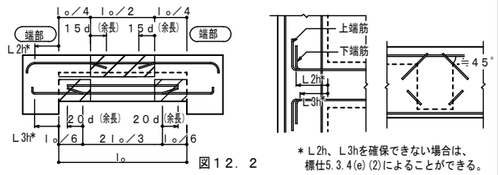


図１２．１

（２）単独小梁の場合



＊Ｌ2h、Ｌ3hを確保できない場合は，標仕5.3.4(e)(2)によることができる。

図１２．２

（注）１．　　印は，余長位置を示す。

２．図示のない事項は，５．「基礎・基礎梁」Ｄ「基礎梁の継手及び定着」及び９．「大梁」による。

３．ハッチ部分は望ましい継手位置を示す。

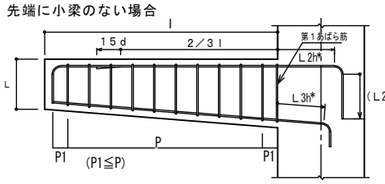
２．あばら筋は，１０．「あばら筋等」による。

３．打増補強筋は，１１．「梁の打増補強」による。

Ｂ．片持ち梁

１．片持ち梁の配筋要領

（１）先端に小梁のない場合



（　）は最上階

＊Ｌ2h、Ｌ3hを確保できない場合は，標仕5.3.4(e)(2)によることができる。

図１２．３

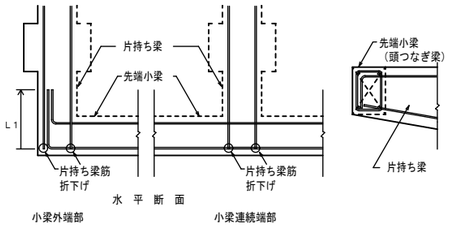
（注）・　図示のない事柄は，９．「大梁」による。

・　　印は，余長を示す。

・　先端の折曲げの長さＬは，梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。

・　梁筋を引き通さない場合は，取合い部材に定着する。ただし，柱に取り付く場合は，全数引き通せる場合でも，上端筋は，２本以上を柱に定着する。

（２）先端に小梁がある場合



（注）・図示のない場合は，（１）による。

・先端小梁終端部の主筋は，片持ち梁内に水平定着する。

・先端小梁の連続端は，片持ち梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図１２．４

２．あばら筋は，１０．「あばら筋等」による。

３．打増補強筋は，１１．「梁の打増補強」による。

１３．スラブ

Ａ．スラブ

１．　スラブの厚さ及び配筋は，特記による。

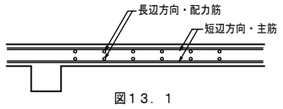


図１３．１

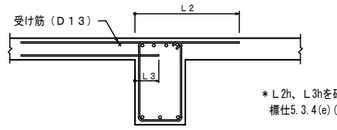
２．　配筋可能な限り継手は設けない加工とする。

３．　配筋は，中央から割り付け，端部は定められた間隔の１／２以下とする。

４．　鉄筋の重ね継手長さは，Ｌ１とする。

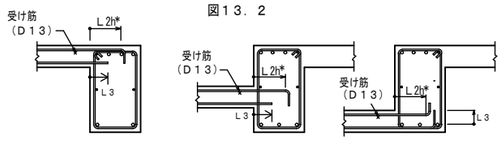
５．　定着長さ及び受け筋は，図１３．２による。ただし，引き通すことができない場合は，図１３．３により梁内に定着する。

６．スラブ筋の継手は、原則として梁内に設けないこと。

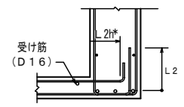


＊Ｌ2h、Ｌ3hを確保できない場合は，標仕5.3.4(e)(2)によることができる。

図１３．２



一般スラブの場合



＊Ｌ2hを確保できない場合は，標仕5.3.4(e)(2)によることができる。

耐圧スラブの場合　　図１３．３

７．スラブ筋の継手可能位置

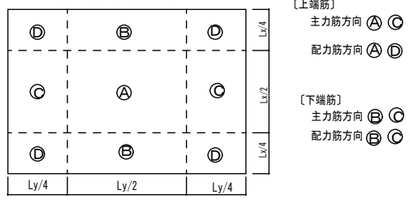
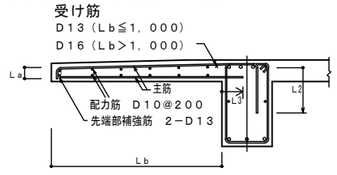


図１３．４

Ｂ．片持ちスラブ

１．　片持ちスラブの厚さ及び配筋は，特記による。



（注）・先端の折れ曲げ長さＬａは，スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

・スラブに段差のない場合は，主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

図１３．５

２．　鉄筋の上下位置を保持するために一般のスラブよりバーサポートによる鉄筋の保持を堅固にする。

３．　先端に壁が付く場合

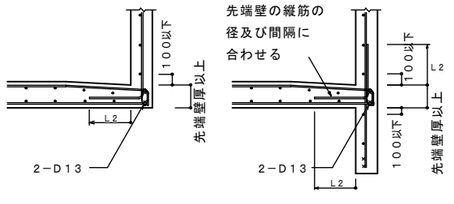


図１３．６

４．出隅部

（１）　出隅部及び出隅受け部（図１３．７の斜線部）の補強は，特記による。配筋方法は、図１３．７による。

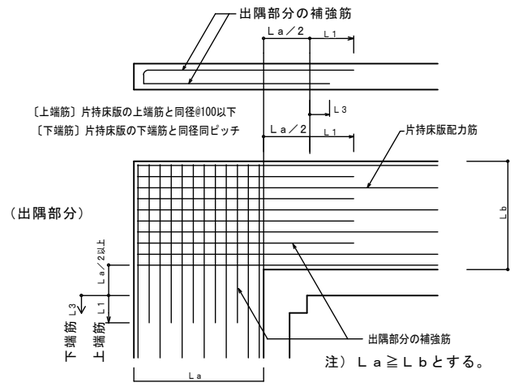


図１３．７

Ｃ．スラブ筋等の補強

１．　スラブ開口部の補強は、特記による。

（１）　スラブ開口の最大径が７００㎜以下の場合は，図１３．８により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し，隅角部に斜め方向に２－Ｄ１３（Ｉ＝２Ｌ1）シングルを上下筋の内側に配筋する。

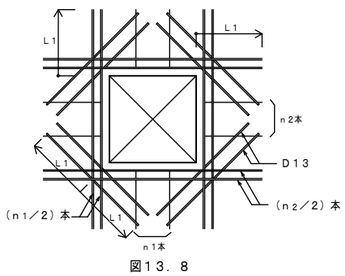


図１３．８

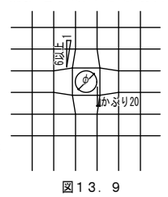
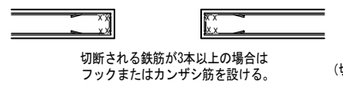
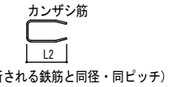


図１３．９



切断される鉄筋が3本以上の場合はフックまたはカンザシ筋を設ける。



(切断される鉄筋と同径・同ピッチ)

図１３．１０

１９　．　．　制定	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	番号 Ｓ－０５
１９９９．７．１　改訂	図面名	縮尺
２００８．４．１　改訂	鉄筋コンクリート構造配筋標準図［４］	Ｎ．Ｓ．
２０１１．４．１　改訂	設　計　石川県土木部営繕課	
２０１７．４．１　改訂	担当課長　課参事　補佐　主幹　GL・SL　担当	

鉄筋コンクリート構造配筋標準図［５］

１３．スラブ（続き）

２．　屋根スラブの補強

（１）　屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図１３．１１により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

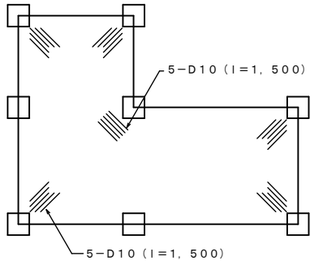


図１３．１１

３．　土間スラブの打継ぎ補強

（１）　基礎梁とスラブを一体打ちとしないで，打継ぎを設ける場合の補強は，特記による。特記がなければ，図１３．１２による。ただし，土間スラブとは，土に接するスラブをいう。

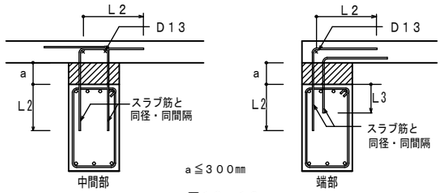


図１３．１２

４．　土間コンクリートの補強

（１）　土間コンクリートの補強筋は，特記による。なお，基礎梁との接合部は，図１３．１３による。

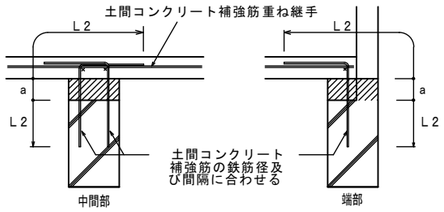


図１３．１３

５．　段差のあるスラブの補強

（１）　段差のあるスラブの補強は図示による。図示が無ければ図１３．１４による。

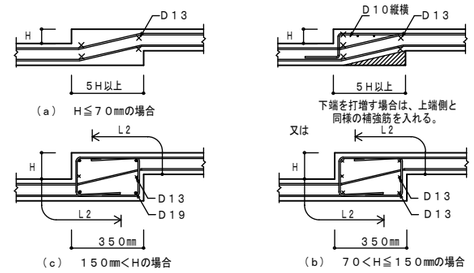


図１３．１４

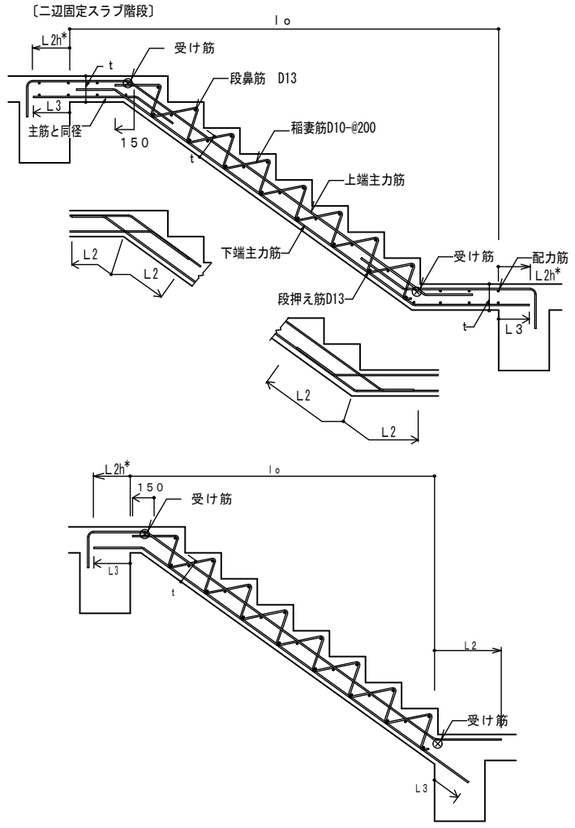
１４．階段の配筋

Ａ．階段

１．　階段の配筋は，特記による。

２．　階段の配筋方法は、図１４．１による。

〔二辺固定スラブ階段〕



〔片持ちスラブ階段〕

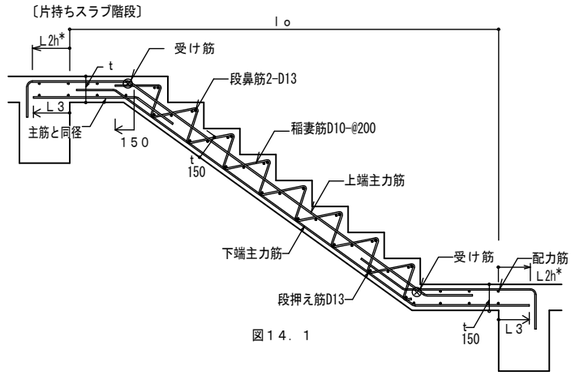


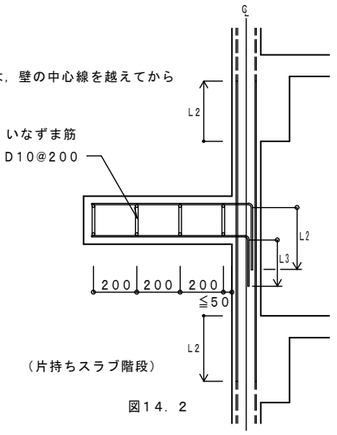
図１４．１

表１４．１　階段受壁の縦筋（L：片持階段の出寸法）

壁　厚	L≦1200	1200＜L≦1500	1500＜L≦1800
180	D13−@200ダブル	D13−@150ダブル	D13−@125ダブル
200，220		D13−@200ダブル	D13−@150ダブル
250			D13−@200ダブル

３．　片持ちスラブ階段の配筋方法は、図１４．２による。

４．　片持ちスラブ形階段のいなずま筋は，Ｄ１０@２００とし、受け壁面より５０㎜のところに第１いなずま筋を配筋する。



（注）・　階段主筋は，壁の中心線を越えてから縦に降ろす。

図１４．２

１５．梁貫通

Ａ．梁貫通孔の補強

１．　梁貫通孔の補強は，特記による。特記がなければ，次による。

（１）　梁貫通孔補強筋の名称は，図１５．１による。

（２）　孔の径は，梁せいの１／３以下とし，孔が円形でない場合はこれの外接円とする。

（３）　孔の上下方向の位置は，梁せい中心付近とし，梁中央部下端は梁下端より１／３Ｄの範囲には設けてはならない。

（４）　孔は，柱面から，原則として，１．５Ｄ（Ｄは梁せい）以上離す。ただし，基礎梁，壁付帯梁は除く。

（５）　孔が並列する場合は，その中心間隔は，孔の平均値の３倍以上とする。

（６）　縦筋及び上下縦筋は，あばら筋の形に配筋する。

（７）　補強筋は，主筋の内側とする。また，鉄筋の定着長さは，図１５．２による。

（８）　孔の径が梁せいの１／１０以下，かつ，１５０㎜未満のものは，鉄筋を緩やかに曲げることにより，開口部を避けて配筋できる場合は，補強を省略することができる。

（９）　溶接金網の余長は１格子以下とし，突出しは１０㎜以上とする。

（１０）　溶接金網の貫通孔部分には，鉄筋1−13φのリング筋を取りつける。なお，リング筋は，溶接金網に４箇所以上溶接する。

（１１）　溶接金網の割付け始点は，横筋ではあばら筋の下側とし，縦筋では貫通孔の中心とする。

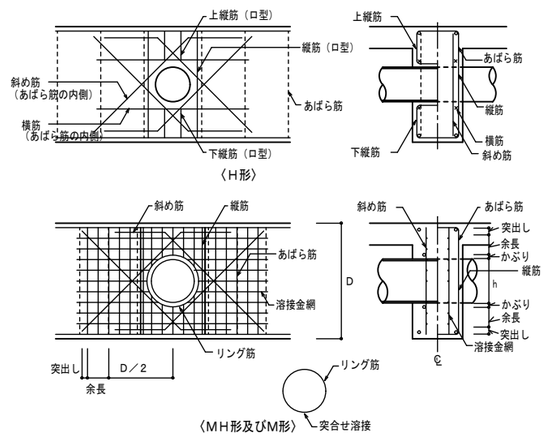


図１５．１

補強筋の定着長さ

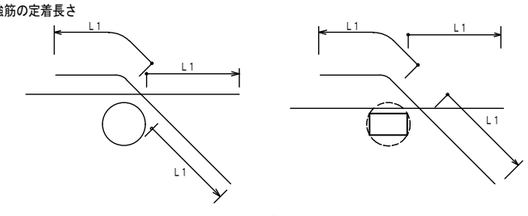


図１５．２

（１２）　補強形式は表１５．１～表１５．３により，配筋種別は特記による。選定方法は、建設大臣官房庁営繕部監修「建築構造設計規準及び同解説」による。

（ａ）Ｈ形配筋

表１５．１　Ｈ形配筋

配筋種別	斜め筋	縦　筋	横　筋	上下縦筋	配　筋　図
Ｈ１	２−２−Ｄ１３	なし	なし	なし	
Ｈ２		２−２−Ｄ１３			
Ｈ３	４−２−Ｄ１３	２−２−Ｄ１３	２−２−Ｄ１３	２−２−Ｄ１３	
Ｈ４	４−２−Ｄ１６				
Ｈ５	４−２−Ｄ１６	４−２−Ｄ１３	２−２−Ｄ１３	３−２−Ｄ１３	
Ｈ６	４−２−Ｄ１９				
Ｈ７	４−２−Ｄ２２				

（注）------ は，一般部のあばら筋を示す。

（ｂ）Ｍ形配筋

表１５．２　Ｍ形配筋

配筋種別	縦　筋	溶接金網	リング筋	配　筋　図
Ｍ１	２−２−Ｄ１３	なし	なし	
Ｍ２	４−２−Ｄ１３			
Ｍ３	４−２−Ｄ１３	２−６φ−１００@	１３φ	
Ｍ４	６−２−Ｄ１３			

（注）------ は，一般部のあばら筋を示す。

１９　．　．　制定	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル） 建設工事（建築）	番号 Ｓ−０６
１９９９．７．１　改訂	図面名 鉄筋コンクリート構造配筋標準図［５］	縮尺 Ｎ．Ｓ．
２００８．４．１　改訂		
２０１１．４．１　改訂	設　計 石川県土木部営繕課 担当課長　課参事　補佐　主幹　GL・SL　担当	
２０１７．４．１　改訂		

鉄筋コンクリート構造配筋標準図［６］

１５．梁貫通（続き）

（ｃ）　ＭＨ形配筋

表１５．３　ＭＨ形配筋

配筋種別	斜め筋	縦　筋	溶接金網	リング筋	配　筋　図
ＭＨ１	２−２−Ｄ１３	な　し	な　し	な　し	
ＭＨ２		２−２−Ｄ１３			
ＭＨ３	２−２−Ｄ１３	２−２−Ｄ１３	２−６φ−１００@	１３φ	
ＭＨ４	４−２−Ｄ１３				
ＭＨ５	４−２−Ｄ１６				
ＭＨ６	４−２−Ｄ１６	４−２−Ｄ１３	２−６φ−１００@	１３φ	
ＭＨ７	４−２−Ｄ１９				

（注）------ は，一般部のあばら筋を示す。

配筋の表示

凡例	配筋
斜め筋　４−２−Ｄ２２ 縦筋　４−２−Ｄ１３	４本のＤ２２が２面入ることを示す ４本のＤ１３があばら筋状に孔の両側に２本づつ入ることを示す
上下縦筋　３−２−Ｄ１３	孔の上下の部分にそれぞれＤ１３のあばら筋が３本入ることを示す
溶接金網　２−６φ−１００@	６φ−１００@の溶接金網が２面入ることを示す。

２．　建設技術評価規定第９条１項の規定に基づき建設大臣が評価している製品を使用する場合、または、建設省の技術評価が行われた後、開発され又は改良され、（財）日本建築センターにより評価された製品を使用する場合は、製品の形式による適用範囲のほか、施工上の留意事項も確認すること。

３．　梁貫通孔は、原則として、せん断力の大きいところは避けて設け、必要に応じて適切な補強を行う。また、梁には、原則として、配管等の埋設を行わない。

１６．壁，その他

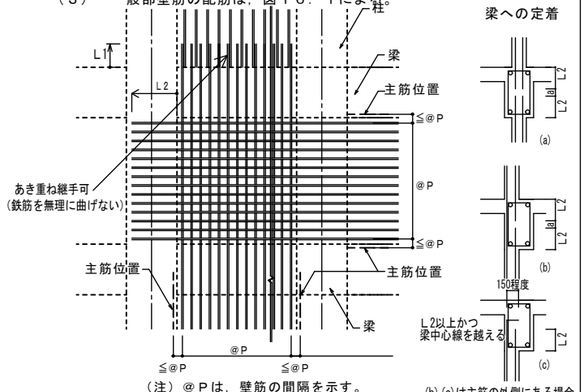
Ａ．壁

１．　一般事項

（１）　配筋可能な限り継手は設けない加工とする。

（２）　壁筋の重ね継手長さはL_1とし，定着長さはL_2とする。

（３）　一般部壁筋の配筋は，図１６．１による。



（注）＠Ｐは，壁筋の間隔を示す。

図１６．１

(b)(c)は主筋の外側にある場合

図１６．２

（４）　原則として，継手は柱・梁の中には設けないこと。

（５）　横筋の場合は，１スパンごとに柱に定着することは差し支えない。

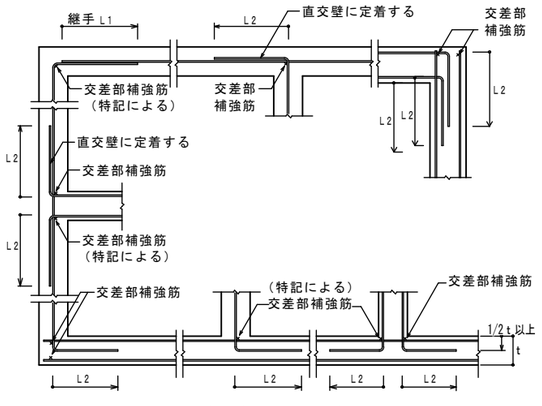
（６）　土圧等の面外力を受ける壁の場合は，圧縮側の位置に継手を設ける。

（７）　重ね継手及び定着の長さがとれない場合は，監督職員の承諾を受けて，両面フレア溶接の場合は５ｄ以上，片面フレア溶接の場合は１０ｄ以上とすることができる。

（８）　幅止め筋は，縦，横ともＤ１０@１，０００程度とする。

２．壁の配筋は特記により、その定着は図１６．３による。

３．壁の交差部の補強筋及び端部の補強筋は、特記がなければD13とする。



（垂直及び水平断面を示す。）

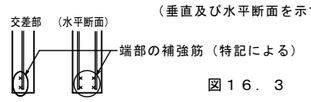


図１６．３

４．　壁の開口補強筋は特記による。定着長さは，図１６．４による。

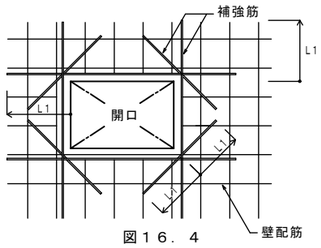


図１６．４

５．　片持ちスラブ形階段を受ける壁の縦筋は、横筋の外側に配筋する。

６．　コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は，特記による。

７．　壁の打増し補強筋は特記による。特記が無く、打増厚さが５０㎜以上，２００㎜以下の場合は図１６．５による。

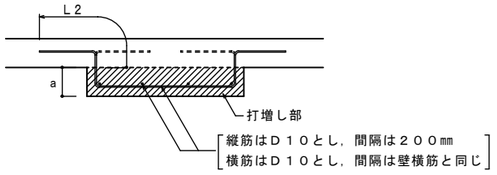
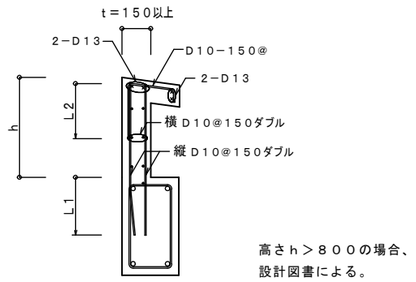


図１６．５

Ｂ．パラペット

１．　パラペットの配筋は，特記による。特記が無く、高さｈが８００以下の場合は図１６．６による。

２．　パラペットの配筋は，原則として複配筋とし、端部には補強筋を配筋すること。



高さｈ＞８００の場合、設計図書による。

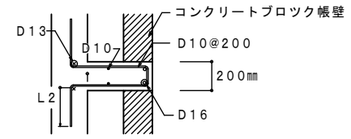
図１６．６

Ｃ．コンクリートブロック帳壁

１．　控壁

（１）　壁の配置及び配筋は，特記による。

（２）　特記が無い場合、配筋は図１６．７による。



（水平断面，垂直断面とも）

図１６．７

２．　帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は，図１６．８による。

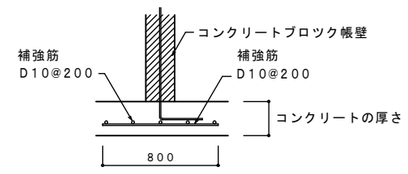


図１６．８

Ｄ．機械吊上げ用フック

１．　梁に設ける機械吊上げ用フックは表１６．１、図１６．９により、種別は特記による。

表１６．１　機械吊上げ用フック

種　別	Ａ　種	Ｂ　種	Ｃ　種
フック筋	φ２５又はＤ２５	φ２２又はＤ２２	φ１９又はＤ１９
曲げ内のり直径（㎜）	１００		
補強かんざし筋	２−Ｄ１６		
補強腹筋（㎜）	Ｄ１６，Ｉ＝９００	Ｄ１６，Ｉ＝７５０	Ｄ１６，Ｉ＝６００
吊上げ荷重（ＫＮ）	５０≧Ｗ＞３０	３０≧Ｗ＞１０	１０≧Ｗ

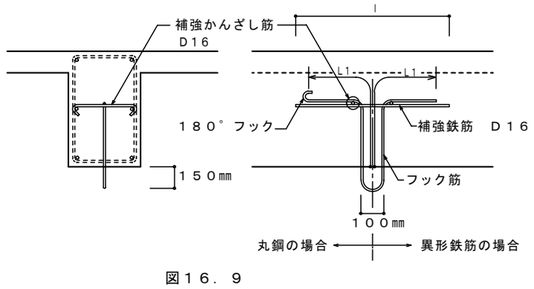


図１６．９

Ｅ．コンクリートブロック塀

１．　ブロック塀の配筋は、特記による。

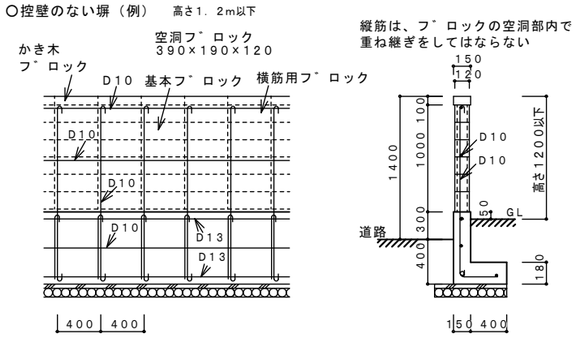
２．　塀の高さ（地盤面に高低差のある場合は低い方による）は２．２ｍ以下とする。

３．　塀の厚さは、塀の高さ２ｍ以下は１２㎝以上、２ｍを超える場合は１５㎝以上とする。

４．　地盤が液状化の恐れのある砂質土および軟弱土の場合は、別途検討する。

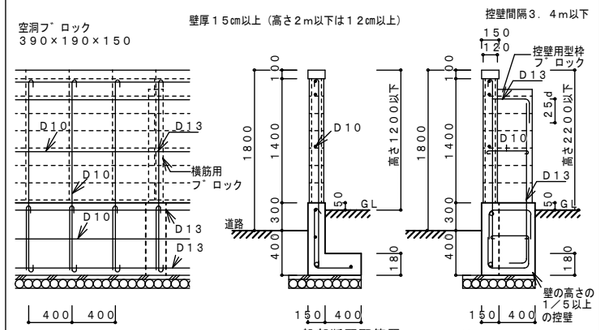
５．　鉄筋挿入部はモルタルを充てんする。

○控壁のない塀（例）　高さ１．２ｍ以下



立面配筋図　　断面配筋図

○控壁のある塀（例）　高さ２．２ｍ以下



立面配筋図　　一般部断面配筋図　　控壁部断面配筋図

図１６．１０

１７．増築用の配筋

Ａ．　増築用の配筋

１．　将来増築予定の打増部分の配筋は、特記による。

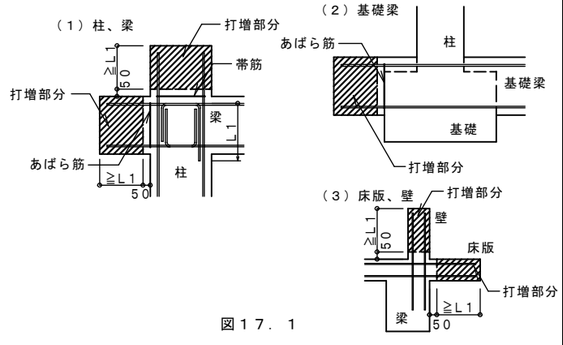


図１７．１

１９　．　．　制定	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル） 建設工事（建築）	番号 Ｓ−０７
１９９９．７．１　改訂	図面名 鉄筋コンクリート構造配筋標準図［６］	縮尺 Ｎ．Ｓ．
２００８．４．１　改訂	設　計 石川県土木部営繕課	
２０１１．４．１　改訂	担当課長　課参事　補佐　主幹　GL・SL　担当	
２０１７．４．１　改訂		

鉄骨構造標準図［１］

１．共通事項

Ａ．適用範囲

１．　この標準図は、鉄骨工事に適用する。

２．　設計図書、特記仕様書に記載してある事項以外は、この標準図による。この標準図に、記載されていない事項は、「建築工事共通仕様書」、「鉄骨設計標準図」（建設大臣官房庁営繕部監修）による。

３．　使用する鋼材等は特記による。この標準図は、表１．１～表１．４に示す鋼材等に適用する。これ以外は特記による。

表１．１　鋼材の種類

規格番号	規格名称等	種類の記号
ＪＩＳ　Ｇ3101	一般構造用圧延鋼材	SS400, SS490, SS540
ＪＩＳ　Ｇ3106	溶接構造用圧延鋼材	SM400A, B, C, SM490A, B, C SM490YA, YB, SM520B, C
ＪＩＳ　Ｇ3114	溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材	SMA400AW, AP, BW, BP, CW, CP SMA490AW, AP, BW, BP, CW, CP
ＪＩＳ　Ｇ3136	建築構造用圧延鋼材	SN400A, B, C, SN490B, C
ＪＩＳ　Ｇ3138	建築構造用圧延棒鋼	SNR400A, B, SNR490B
ＪＩＳ　Ｇ3350	一般構造用軽量形鋼	SSC400
ＪＩＳ　Ｇ3353	一般構造用溶接軽量Ｈ形鋼	SWH400
ＪＩＳ　Ｇ3444	一般構造用炭素鋼鋼管	STK400, STK490
ＪＩＳ　Ｇ3466	一般構造用角形鋼管	STKR400, STKR490
ＪＩＳ　Ｇ3475	建築構造用炭素鋼鋼管	STKN400W, STKN400B, STKN490B
―――	上記に掲げるもののほか、建築基準法に基づき指定又は認定を受けた構造用鋼材及び鋳鋼	―――

表１．２　高力ボルト

規格番号	規格名称等	セットの種類
	トルシア形高力ボルト	2種（S10T）
ＪＩＳ　Ｂ1186	ＪＩＳ形高力ボルト	2種（F10T）
めっき後の機械的性質がＪＩＳ　Ｂ1186の規定のセットと同等であること	溶融亜鉛めっき高力ボルト	1種（F8T相当）

表１．３　普通ボルト

	規格名称等	種類
規格番号 規格名称	ＪＩＳ　Ｂ1180 （六角ボルト）	ＪＩＳ　Ｂ1181 （六角ナット）
種類	並形六角ボルト	並形六角ナット
材料区分	鋼製	鋼製
強度区分	４．６又は４．８	５Ｔ
ねじの交差域クラス及び適用の規格	６ｇ	６Ｈ
	JIS B 0205-4（一般用メートルねじ－第4部：基準寸法）及び JIS B 0209-1（一般用メートルねじ－公差－第1部：原則及び基礎データ）による。	
仕上げの程度	中	中

（１）　普通ボルトの座金はＪＩＳ　Ｂ１２５６（平座金）によるみがき丸とし、ボルトに相応したものとする。

（２）　アンカーボルトのボルト、ナット及び座金の材質は、特記による。特記がなければ、構造用アンカーボルトの材質はＳＮＲ４００とする。

表１．４　溶接材料

規格番号	種類	規格名称
ＪＩＳ　Ｚ3211 ＪＩＳ　Ｚ3214	被覆アーク溶接棒	・軟鋼,高張力鋼及び低温用鋼用被覆アーク溶接棒 ・耐候性鋼用被覆アーク溶接棒
ＪＩＳ　Ｚ3312 ＪＩＳ　Ｚ3313 ＪＩＳ　Ｚ3315 ＪＩＳ　Ｚ3320	ガスシールドアーク溶接用ワイヤ	・軟鋼,高張力鋼及び低温用鋼用のマグ溶接及びミグ溶接ソリッドワイヤ ・軟鋼,高張力鋼及び低温用鋼用アーク溶接フラックス入りワイヤ ・耐候性鋼用マグ溶接及びミグ溶接用ソリッドワイヤ ・耐候性鋼用アーク溶接フラックス入りワイヤ
ＪＩＳ　Ｚ3313	セルフシールドアーク溶接用ワイヤ	・軟鋼、高張力鋼及び低温用鋼用アーク溶接フラックス入りワイヤ
ＪＩＳ　Ｚ3183 ＪＩＳ　Ｚ3351 ＪＩＳ　Ｚ3352	サブマージアーク溶接用材料	・炭素鋼及び低合金鋼用サブマージアーク溶着金属の品質区分 ・炭素鋼及び低合金鋼用サブマージアーク溶接ソリッドワイヤ ・サブマージアーク溶接用フラックス
ＪＩＳ　Ｚ3353	エレクトロスラグ溶接用材料	・軟鋼及び高張力鋼用のエレクトロスラグ溶接ワイヤ及びフラックス
ＪＩＳ　Ｂ1198	スタッド溶接用材料	・頭付きスタッド

（３）　ターンバックルはＪＩＳ　Ａ５５４０（建築用ターンバックル）により、ターンバックル胴、ターンバックルボルトの種類、及びターンバックルボルトのねじの呼びは、特記による。特記がなければ、ターンバックル胴は割枠式、ターンバックルボルトは羽子板ボルトとする。

（４）　構造耐力上主要な部分である床版床又は屋根版に使用するデッキプレートは国土交通省告示第3266号（平成14年制定、平成19年改正）に定める技術的基準に適合すること。

（５）　構造床として使用するデッキプレートは国土交通省国土技術政策総合研究所他「デッキプレート版技術基準解説及び設計・計算例」および(独)建築研究所監修「デッキプレート床構造設計・施工基準」により、材質、形状及び寸法は特記による。

（６）　合成スラブとして使用するデッキプレートは国土交通大臣認定品とし、材質、形状及び寸法は特記による。

Ｂ．略語

・ＡＢ　・・・　アンカーボルト
・ＢＨ　・・・　組立Ｈ形鋼
・ＢＰ　・・・　ベースプレート
・ＣＨＰ　・・・　チェッカープレート
・ＣＰ　・・・　カバープレート
・ＤＦＰ　・・・　ダイアフラム
・ＦＢ　・・・　フラットバー
・ＦＰ　・・・　フランジプレート
・ＧＰ　・・・　ガセットプレート
・ＨＴＢ　・・・　高力ボルト
・ＲＰ　・・・　リブプレート
・ＳＰ　・・・　スプライスプレート
・ＴＢ　・・・　ターンバックル
・ＷＰ　・・・　ウェブプレート

２．溶接

Ａ．溶接技能資格者

１．　溶接作業における技能資格者（以下「溶接技能者」という。）は、工事に相応した次に示す試験等により（社）日本溶接協会が検定した技量資格を有する者とする。

（１）　手溶接の場合は、ＪＩＳ　Ｚ３８０１（溶接技術検定における試験方法及び判定基準）。

（２）　半自動溶接の場合は、ＪＩＳ　Ｚ３８４１（半自動溶接技術検定における試験方法及び判定基準）。

（３）　自動溶接の場合は、（１）又は（２）の基本級及び技量を証明する主な工事経歴

（４）　組立溶接の場合は、（１）又は（２）の基本級以上とする。

２．　工事の内容により、１．の溶接技能者に対して、技量付加試験を行う場合は、特記による。

３．　溶接技能者の技量に疑いが生じた場合は、工事に相応した試験を行い、その適否を判定し、監督職員の承諾を受ける。

Ｂ．部材の組立て

１．　部材の組立は、適切な治具を用いて正確に行う。特にルート間隔及び密着部分に注意し、不良なものは修正する。

２．　組立て順序は、溶接による変形及び拘束が少なくなるように定め、できるだけ逆ひずみ法を取り入れる。

３．　高力ボルト接合と溶接接合を併用する場合は、高力ボルト接合を先に行い、溶接にあたってはボルト接合面の変形やボルトへの入熱を十分考慮して施工する。

４．組立溶接は、次による。

（１）　組立溶接の位置は、継手の端部、隅角部、本溶接の始点及び終点等の強度上及び工作上支障がある箇所を避ける。

（２）　組立て溶接で本溶接の一部となるものは最小限とし、欠陥を生じたものは全て削り取る。

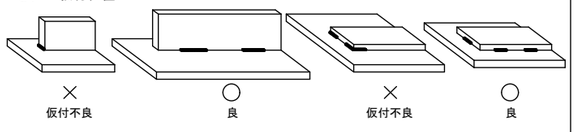
（３）　組立て溶接の最小ビード長さの有効長さは表２．１により、その間隔は３００～４００mm程度とする。

表２．１　組立て溶接の最小ビード長さ（単位：mm）

板厚	手溶接、半自動溶接を行う箇所	自動溶接を行う箇所
6以下	３０	５０
6を超えるもの	４０	７０

（注）　板厚が異なる場合は、厚い方の板厚とする。

a．　仮付位置



b．　完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する。

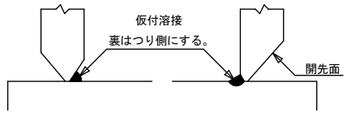


図　２．１

Ｃ．溶接施工

１．　溶接方法

（１）　アーク手溶接（ＭＣ）

（２）　ガスシールドアーク半自動溶接（ＧＣ）

（３）　セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接（ＮＧＣ）

（４）　アークエアーガウジング（ＡＡＧ）

２．　溶接姿勢

（１）　溶接姿勢は、作業架台、ポジショナー等を利用して、できるだけ下向き溶接とする。

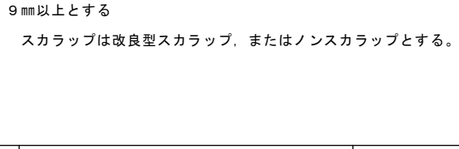


図　２．２

３．　エンドタブ

（１）　エンドタブの材質、形状は特記による。特記が無い場合は、以下による。

（２）　完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける。

（３）　エンドタブの材質は、母材と同質とする。

（４）　エンドタブの長さは、ＭＣ：３５㎜以上
ＮＧＣ、ＣＧ：４０㎜以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より１０㎜程度残し切断して、グラインダー仕上げとする。

（５）　プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して監督職員の承諾を得る。

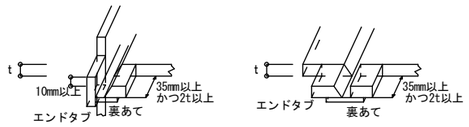


図　２．３

４．　裏当て金、スカラップ、裏はつり

（１）　裏あて金の材質は特記による。特記が無い場合は以下による。

（２）　材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で６㎜、半自動溶接で９㎜以上とする

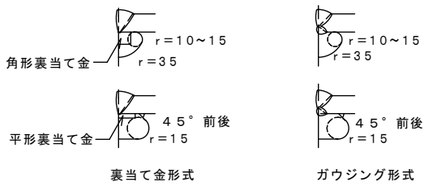
（３）　スカラップは改良型スカラップ，またはノンスカラップとする。

1999. 7. 1　制定	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	番号 Ｓ－０８
2006. 4.　改訂	図面名 鉄骨構造標準図［１］	縮尺 Ｎ．Ｓ．
2011. 4.　改訂		
2017. 4. 1　改訂	設　計 石川県土木部営繕課 担当課長　課参事　補佐　主幹　GL･SL　担当	

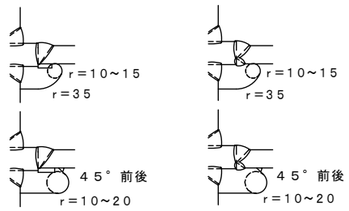
鉄骨構造標準図［２］

２．溶接（続き）

ａ．改良型スカラップ



（柱通し形式のスカラップ形状）



（梁通し形式のスカラップ形状）

図　２．４

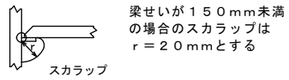
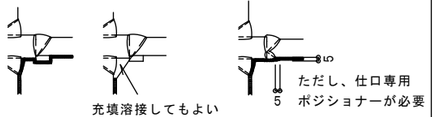


図　２．５

ｂ．ノンスカラップ

（柱通し形式のスカラップ形状）



（梁通し形式のスカラップ形状）

図　２．６

（４）　溶接継手の両面から溶接する場合は、表面より溶接を行った後、健全な溶着部分が現れるまで裏はつりを行い、裏はつり後裏溶接を行う。ただし、サブマージアーク溶接で、溶接施工試験等により十分な溶け込みが得られると判断確認できる場合は、監督職員の承諾を受けて、裏はつりを省略することができる。

Ｄ．溶接部の試験

１．　溶接部の試験は、特記によるが、現場溶接部分は原則として全箇所について超音波探傷試験を行う。

３．ボルト接合

Ａ．高力ボルト

１．　摩擦面は、すべり係数値が０．４５以上確保できるよう、ミルスケールを平グラインダー掛け等により座金外径の２倍以上の幅を除去した後、一様に錆を発生させたものとする。ただし、ショットブラスト又はグリットブラストにより摩擦面の表面粗度を５０μmRy以上確保でき、監督職員の承諾を受けた場合には錆の発生を要しない。

２．　摩擦面は、摩擦力を低減させるものが発生又は付着しないように保護する。浮き錆、油、塗料、塵あい等が発生又は付着した場合は、組立てに先立ち取り除く。

Ｂ．普通ボルト

１．　ボルトの接合は、ゆるみ及びずれの無いように締め付ける。

２．　ボルトには、有効な戻り止めを行う。

３．　せん断ボルトは、座金を用いて、ねじがグリップに掛からないようにし、かつ、ナットの外に３山以上出るようにする。

４．錆止め塗装

Ａ．錆止め塗装

１．　錆止めの塗料の種別は特記による。

２．　次の部分には、塗装しない。

（１）　コンクリートに接触する部分及び埋め込まれる部分

（２）　高力ボルト摩擦接合部の摩擦面

（３）　密閉される閉鎖形断面の内面

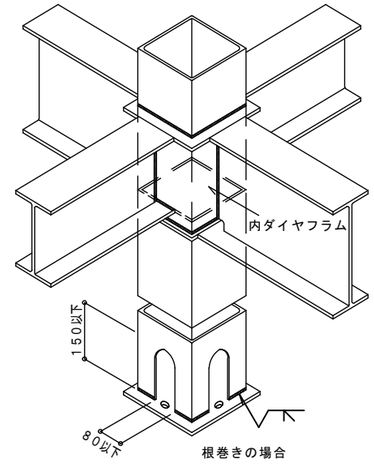
（４）　耐火被覆材の接着する面

（５）　工事現場溶接を行う部分の両側それぞれ２００mmの範囲及び超音波探傷試験に支障を及ぼす範囲

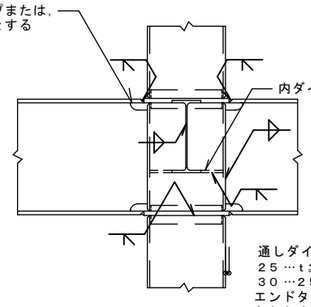
ただし、工事現場溶接を行う部分でも、著しい錆を発生するおそれがある場合は、溶接に無害な適切な防錆処理を行うこと。

５．接合部標準図

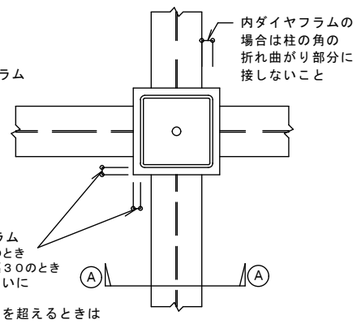
●ＢＯＸ型　（通しダイヤフラムの場合）

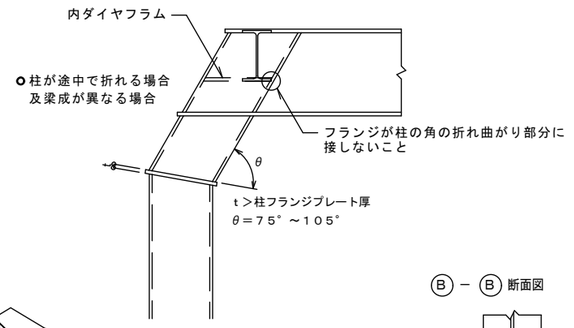


Ⓐ － Ⓐ 断面図

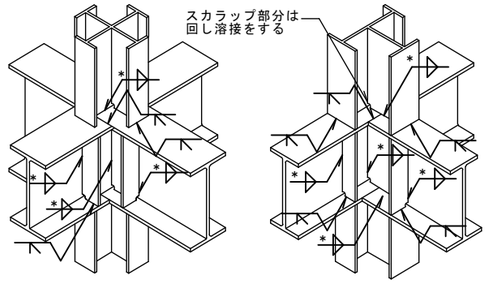


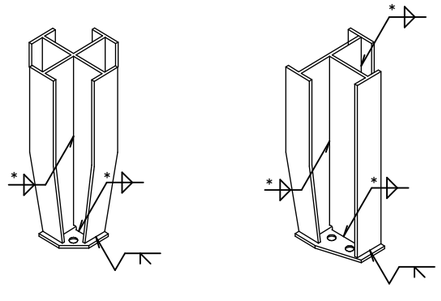
平面詳細



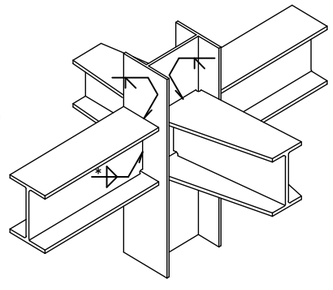


●中 Ｊ Ｈ 型

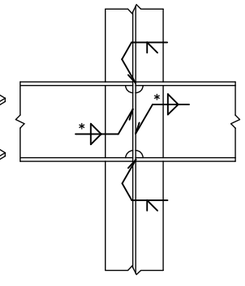




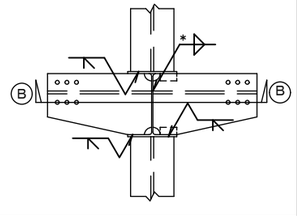
●Ｂ．Ｈ方式



Ⓑ － Ⓑ 断面図



平面詳細



＊：ウエブ厚が１６mm以上のものについては完全溶け込み溶接とする。

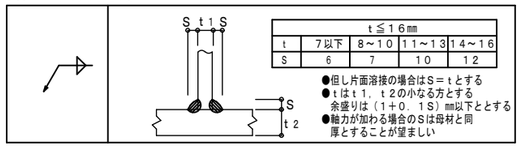
1999. 7. 1　制定	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル） 建設工事（建築）	番号 Ｓ－０９
2006. 4.　改訂	図面名 鉄骨構造標準図［２］	縮尺 Ｎ．Ｓ．
2011. 4.　改訂	設　計 石川県土木部営繕課 担当課長　課参事　補佐　主幹　GL･SL　担当	
2017. 4. 1　改訂		

鉄骨構造標準図［３］

６．溶接基準図

（注）ｆ：余盛　Ｇ：ルート間隔　Ｒ：フェース　Ｓ：脚長　（単位㎜）

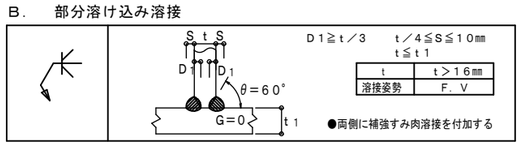
Ａ．　すみ肉溶接



	t≦16㎜			
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

●但し片面溶接の場合はＳ＝ｔとする
●ｔはｔ１，ｔ２の小なる方とする
　余盛りは（1＋0．1Ｓ）㎜以下ととする
●軸力が加わる場合のＳは母材と同
　厚とすることが望ましい

Ｂ．　部分溶け込み溶接

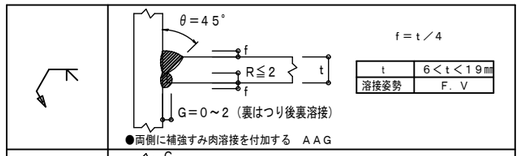


D1≧t／3　　t／4≦S≦10㎜
t≦t1

t	t＞16㎜
溶接姿勢	Ｆ．Ｖ

●両側に補強すみ肉溶接を付加する

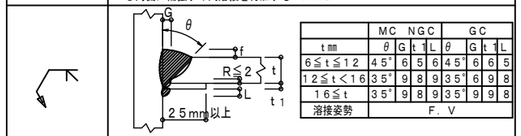
Ｃ．　完全溶け込み溶接



f＝t／4

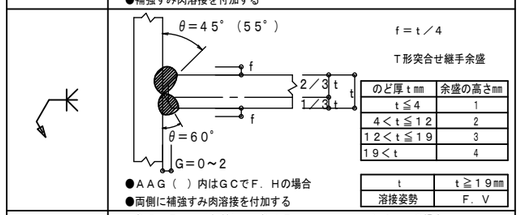
t	6＜t＜19㎜
溶接姿勢	Ｆ．Ｖ

●両側に補強すみ肉溶接を付加する　ＡＡＧ



	MC　NGC				GC			
t㎜	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t≦12	45°	6	5	6	45°	6	6	5
12≦t＜16	35°	9	8	9	35°	6	9	8
16≦t	35°	9	8	9	35°	9	9	8
溶接姿勢	Ｆ．Ｖ							

●補強すみ肉溶接を付加する



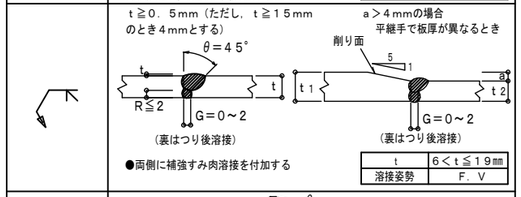
f＝t／4

T形突合せ継手余盛

のど厚ｔ㎜	余盛の高さ㎜
t≦4	1
4＜t≦12	2
12＜t≦19	3
19＜t	4

t	t≧19㎜
溶接姿勢	Ｆ．Ｖ

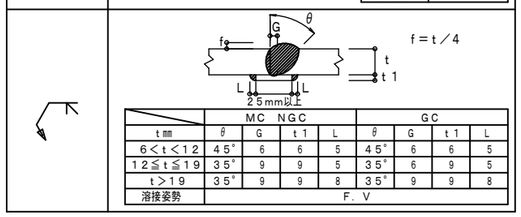
●ＡＡＧ（　）内はＧＣでＦ．Ｈの場合
●両側に補強すみ肉溶接を付加する



t≧0．5㎜（ただし，t≧15㎜のとき4㎜とする）　　a＞4㎜の場合 平継手で板厚が異なるとき

t	6＜t≦19㎜
溶接姿勢	Ｆ．Ｖ

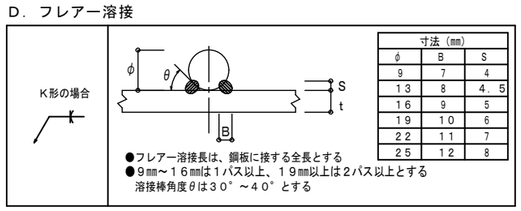
●両側に補強すみ肉溶接を付加する



f＝t／4

	MC　NGC				GC			
t㎜	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6＜t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	35°	6	9	5
t＞19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	Ｆ．Ｖ							

Ｄ．フレアー溶接



K形の場合

寸法（㎜）		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4．5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

●フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする
●9㎜～16㎜は1パス以上、19㎜以上は2パス以上とする
　溶接棒角度θは30°～40°とする

７．継手、その他

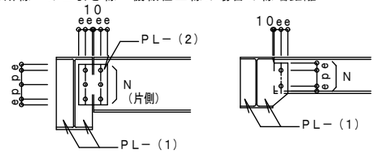
Ａ．　ボルトピッチ（Ｐ）、ボルト穴径・最小縁端距離

（㎜）

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離（ｅ）				ピッチ（Ｐ）	
		（1）	（2）	（3）	（2）（3）の標準	最小	標準
M16	18	40	28	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	30	45	60	70

（注）（1）引張材の接合部で応力方向にボルトが３本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
　　（2）せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
　　（3）圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

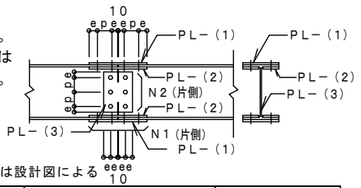
Ｂ．ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	PL－（1）	PL－（2）	N－径

Ｃ．梁剛接合継手リスト

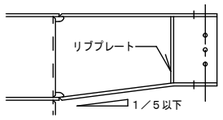
１．　梁の継手は特記による。
２．　原則として、梁の継手はＳＣＳＳ－Ｈ９７による。



注）端部をＢＨとする場合の部材は設計図による

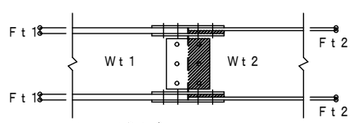
符号	部材	フランジ			ウェブ	
		PL－（1）	PL－（2）	N1－径	PL－（3）	N2－径

Ｄ．　ハンチ部の継手



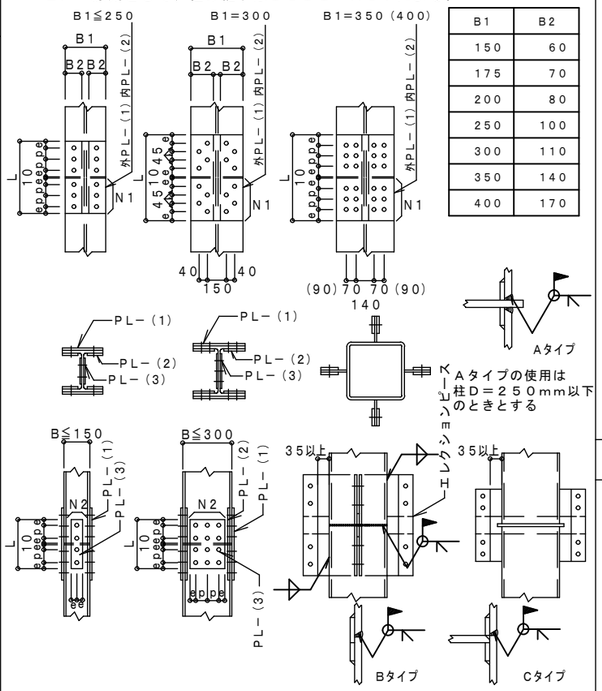
ハンチ勾配は１／５以下を標準とする

フランジ及びウェブ厚の差のある場合



Ｅ．　柱継手リスト

１．　柱の継手は特記による。
２．　原則として、柱の継手はＳＣＳＳ－Ｈ９７による。



B1	B2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	110
350	140
400	170

注）　現場溶接部分は、原則として全箇所について超音波探傷試験を行う

符号	部材	フランジ			ウェブ	
		PL－（1）	PL－（2）	N1－径	PL－（3）	N2－径

Ｆ．　鉄筋ブレース（ＪＩＳ規格品とする・・・ＪＩＳＡ５５４０～５５４２・・・１９８２）

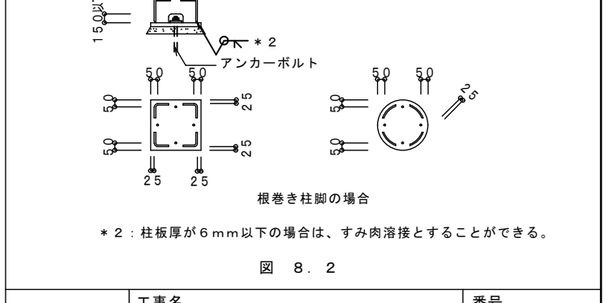
１．　羽子板ボルト

ねじの呼び（ｄ）		M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径（ｄ）	最　大	10．81	12．65	14．65	16．33	18．33	20．33	21．99
	最　小	10．64	12．46	14．46	16．11	18．11	20．11	21．77
調整ねじの長さ	S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差＋0．－0．5㎜	R	13	17	17	21．5	21．5	23．5	21．5
はしあき（最小）（2）	e1	35	40	45	50	50	55	50
切板製 へりあき（最小）（1）	e2	22	28	28	34	34	38	38
切板製 板　厚	t	4．5	6	6	9	9	9	9
平鋼製 へりあき（最小）（1）	e2	19	25	25	32．5	32．5	37．5	37．5
平鋼製 板　厚	t	4．5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき（最小）	e3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ（最小）	l	40	50	55	60	75	85	85
（2）取付ボルト	種　類	ＪＩＳ Ｂ 1186　2種高力ボルト（Ｆ10Ｔ）又は ＪＩＳ Ｂ 1180　中8ｇ　10．9						
	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本　数	1	1	1	1	1	1	2

注）（1）　ｅ1，ｅ2が確保されていれば形状は自由でよい
　　（2）　羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（支圧）接合とする

２．　形鋼ブレース

符　号	部　材	PL－（1）	N－径	l



８．柱脚

Ａ．柱脚部詳細

１．　柱脚の形状は、特記による。特記がない場合は、２．、３．による。
２．　Ｈ形柱

＊１：柱板厚が１２㎜以下の場合は、すみ肉溶接とすることができる。

図　８．１

３．　鋼管柱、角形鋼管柱

P－（a）は、厚さ６mm程度を取り付ける。

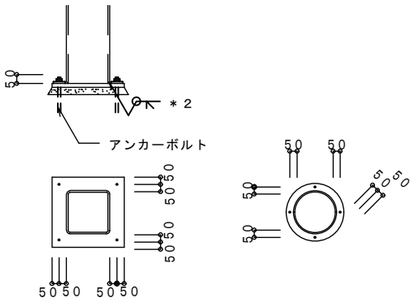
＊２：柱板厚が６㎜以下の場合は、すみ肉溶接とすることができる。

図　８．２

1999．7．1　制定	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	番号 Ｓ－１０
2006．4．　改訂	図面名 鉄骨構造標準図［３］	縮尺 Ｎ．Ｓ．
2011．4．　改訂		
2017．4．1　改訂	設　計 石川県土木部営繕課 担当課長　課参事　補佐　主幹　GL･SL　担当	

鉄骨構造標準図［４］

８．柱脚（続き）



露出柱脚の場合

＊２：柱板厚が６ｍｍ以下の場合は、すみ肉溶接とすることができる。

図　８．３

Ｂ．アンカーボルト

１．　アンカーボルト取付け要領は、特記による。特記が無い場合は、図８．５の種別Ｂ種とする。

（１）　アンカーボルトの保持及び埋め込み工法

ａ．Ａ種：鋼製フレームを用いてアンカーボルトを保持する方法

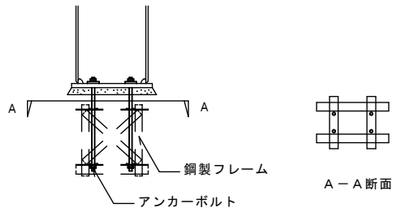


図　８．４

ｂ．　Ｂ種：補強材等を用いて周囲の鉄筋にアンカーボルトを保持する方法

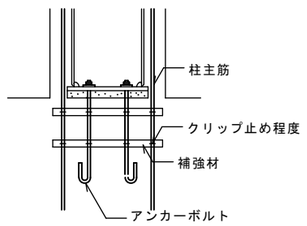


図　８．５

ｂ．　Ｃ種：頭部を漏斗状にあけた可動埋め込み式の方法

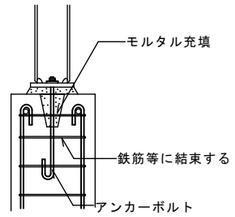


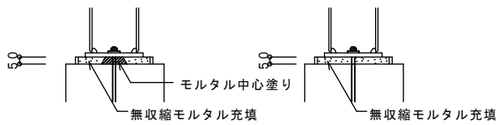
図　８．６

Ｃ．　柱底ならしモルタルの工法

１．　均しモルタルの工法は、特記による。特記が無い場合は、図８．７のＢ種とする。

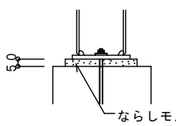
（１）　Ａ種：柱の建込みに先立ち、その支持に必要な固練りのモルタル等をベースプレートの中央下部に所定の高さに塗り付け、柱の建て込み後、ベースプレート回りに型枠を設けて、無収縮モルタルをベースプレートの周囲からあふれ出るまで圧入する。

（２）　Ｂ種：柱の建込みに先立ち、その支持に必要な堅練りのモルタル等をベースプレートの中央下部に所定の高さに塗り付け、柱の建込み後、ベースプレート下全面に十分行きわたるように、適切な方法でモルタルを詰め込む。ただし、ベースプレートの大きさが３００ｍｍ角程度以下の場合は、モルタルを所定の高さに平滑に仕上げておき、柱を建込むことができる。



（あと詰め中心塗り工法）　（全面あと詰め工法）

Ａ種



（全面塗り仕上げ工法）

Ｂ種

図　８．７

Ｄ．　座金の溶接

１．　アンカーボルトはコンクリートに埋め込まれる場合を除きダブルナット締めとする。また，アンカーボルトにせん断力を負担させる場合は，座金厚を検討した上で座金はベースプレートに全周溶接する。

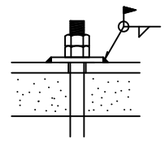
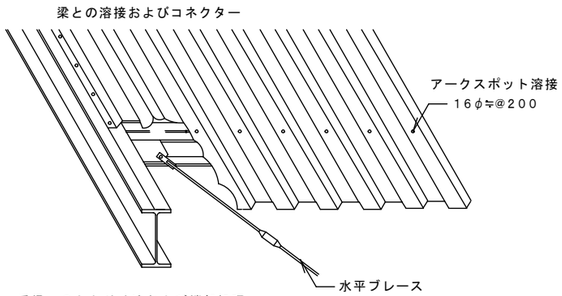


図　８．８

９．その他

Ａ．　デッキプレート

（床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照）



受梁へのかかり寸法および端部処理

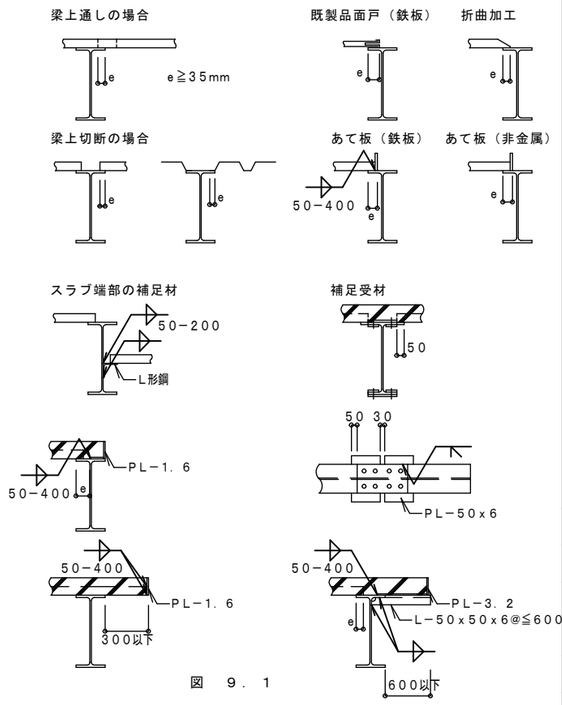
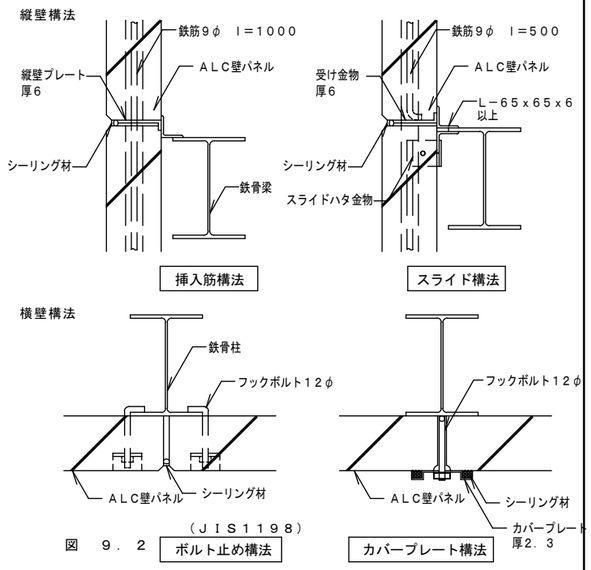


図　９．１

Ｂ．　ＡＬＣ板取付要領

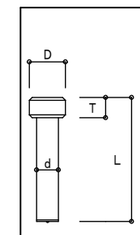


（ＪＩＳ１１９８）

図　９．２

Ｃ．　頭付きスタッド

表９．１　スタッド材の標準形状・寸法



呼び名	スタッド材 軸径ｄ mm	頭径Ｄ mm	頭高さＴ mm	溶接後の長さＬ mm
φ13mm	13．0 12．7	22．0 25．4	10．0 7．9	50，80，100，130
φ16mm	16．0 15．8	29．0 31．7	10．0 7．9	80，100，130
φ19mm	19．0 19．0	32．0 31．7	10．0 9．5	80，100，130，150
φ22mm	22．0 22．2	35．0 34．9	10．0 9．5	100，130，150

Ｄ．梁貫通補強

- 計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらなくて良い。
- 梁端部（スパンのＩ／１０以内かつ２Ｄ以内）は避ける
- φ≦０．４Ｄ

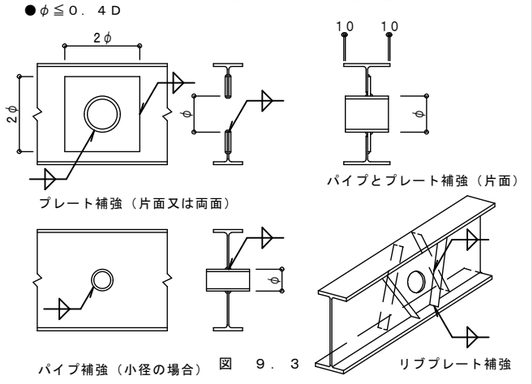
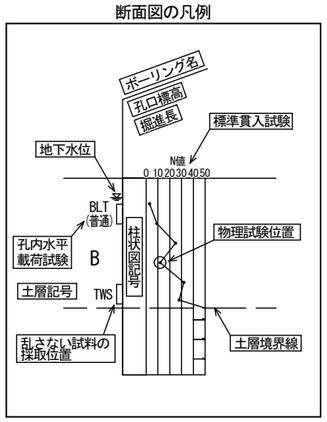


図　９．３

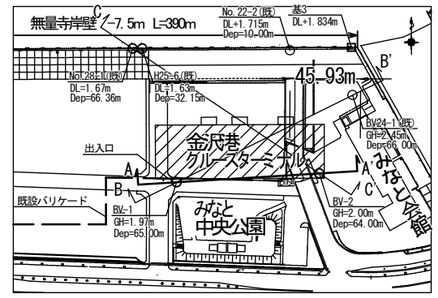
1999．7．1　制定	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル） 建設工事（建築）	番号 Ｓ－１１
2006．4．　改訂	図面名 鉄骨構造標準図［４］	縮尺 Ｎ．Ｓ．
2011．4．　改訂		
2017．4．1　改訂	設　計 石川県土木部営繕課 担当課長　課参事　補佐　主幹　GL･SL　担当	

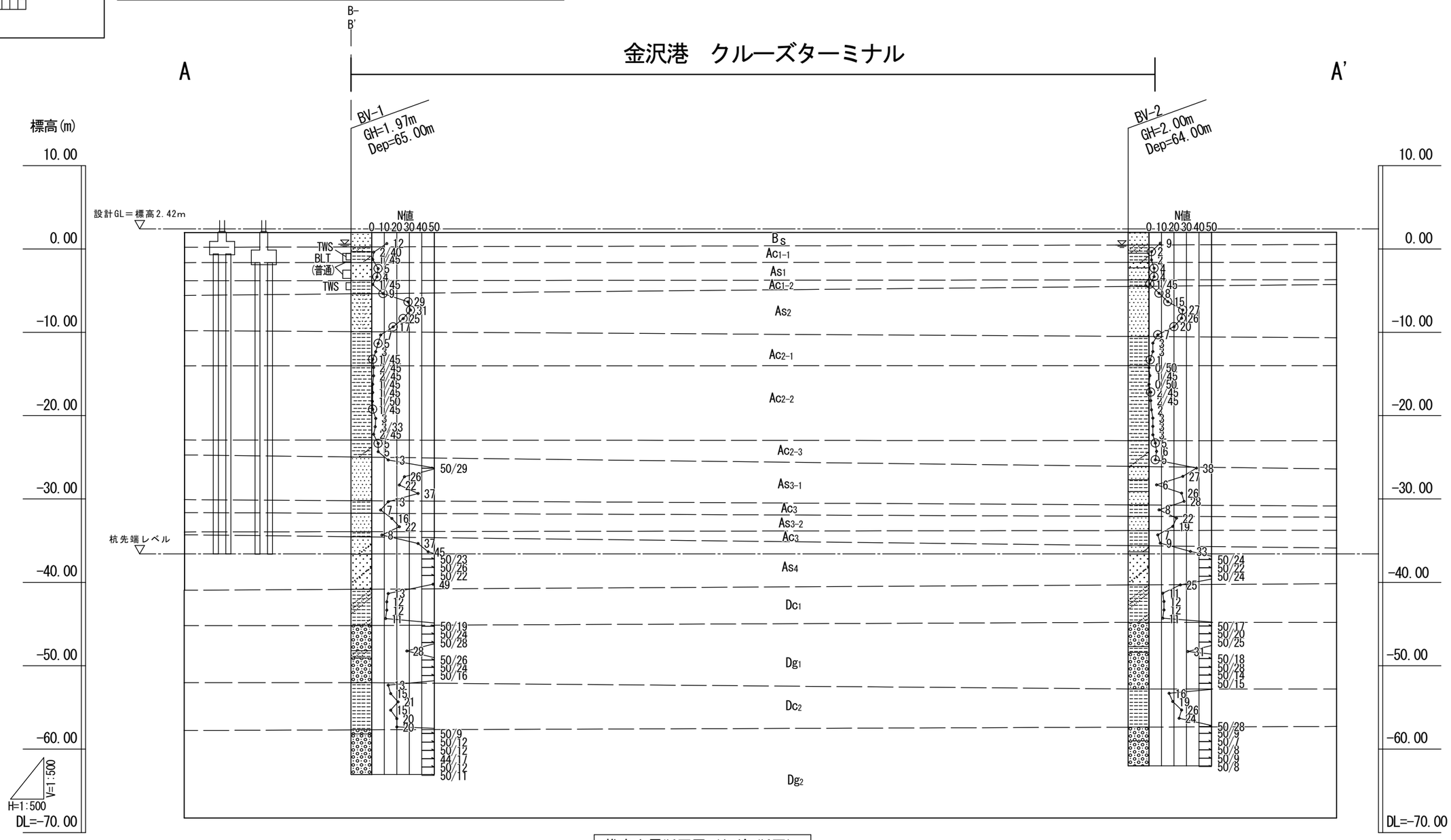
断面図の凡例



土層区分の凡例

Bs	盛土		
Ac1-1	粘性土層1-1	沖積層	
As1	砂質土層1	沖積層	
Ac1-2	粘性土層1-2	沖積層	
As2	砂質土層2	沖積層	
Ac2-1	粘性土層2-1	沖積層	
Ac2-2	粘性土層2-2	沖積層	
Ac2-3	粘性土層2-3	沖積層	
As3-1	砂質土層3-1	沖積層	
Ac3	粘性土層3	沖積層	
As3-2	砂質土層3-2	沖積層	
As4	砂質土層4	沖積層	
Dc1	粘性土層1(洪積)	洪積層	
Dg1	砂礫層1	洪積層	
Dc2	粘性土層2(洪積)	洪積層	
Dg2	砂礫層2	洪積層	

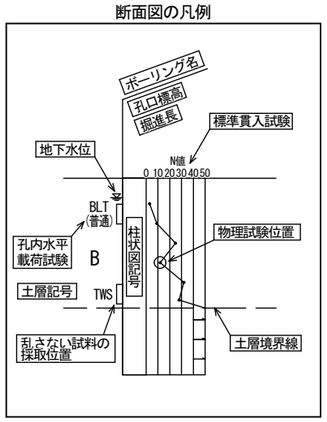




推定土層断面図（A-A’断面）

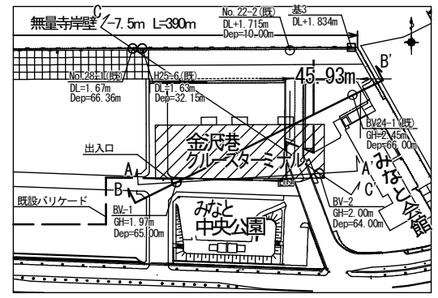
備　考	設計年月日 2018.03	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	図面名 地質調査図［1］	縮尺A1 1/250 縮尺A3 1/500	検図	設計	製図	小西建築構造設計 金沢市泉野町6丁目15番1号 TEL(076)244-5615 一級建築士事務所石川県知事登録 第1804号 一級建築士 第43479号 構造設計一級建築士 第5665号 小西 義昭	図面番号 S－12

断面図の凡例



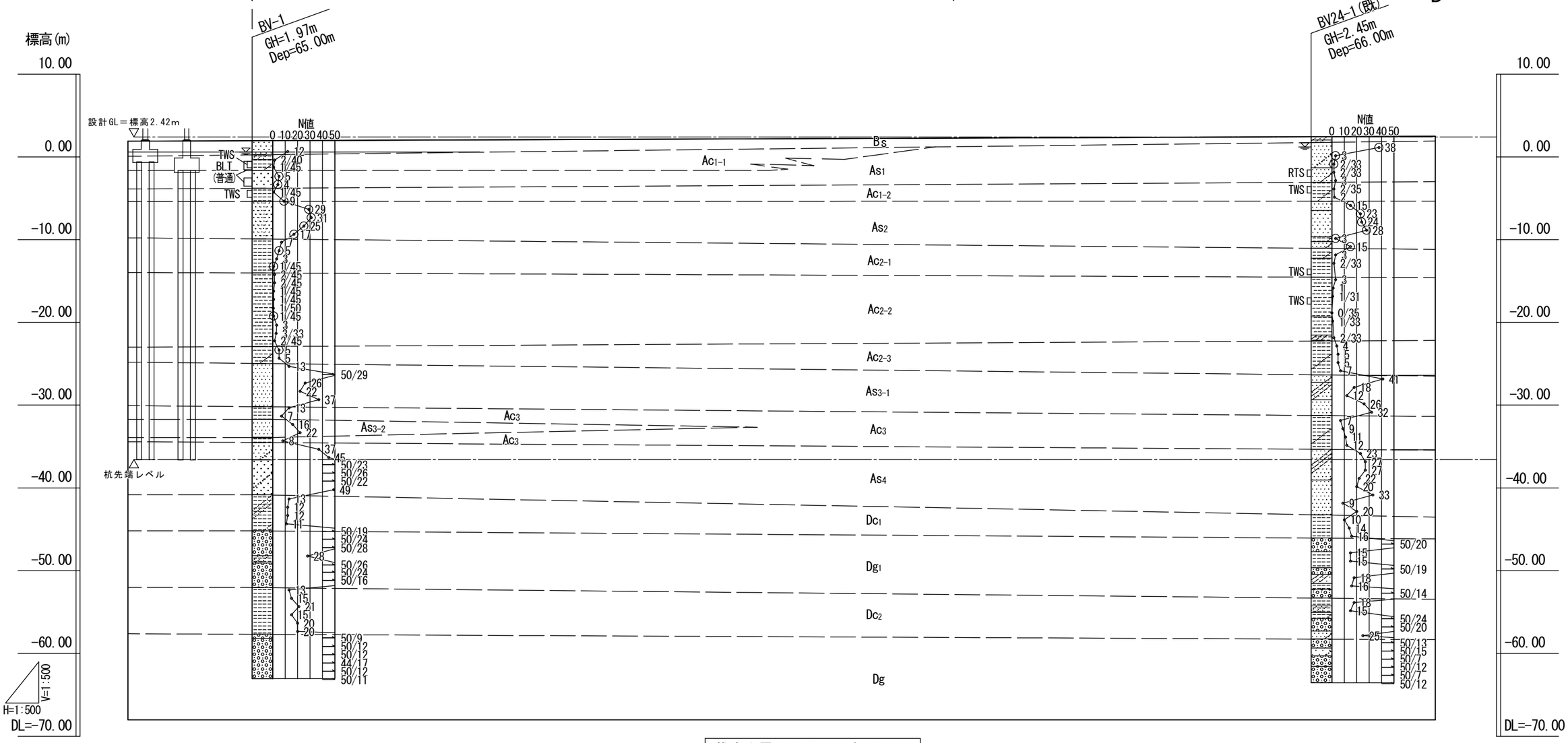
土層区分の凡例

Bs	盛土		
Ac_{1-1}	粘性土層1-1	沖積層	
As_1	砂質土層1	沖積層	
Ac_{1-2}	粘性土層1-2	沖積層	
As_2	砂質土層2	沖積層	
Ac_{2-1}	粘性土層2-1	沖積層	
Ac_{2-2}	粘性土層2-2	沖積層	
Ac_{2-3}	粘性土層2-3	沖積層	
As_{3-1}	砂質土層3-1	沖積層	
Ac_3	粘性土層3	沖積層	
As_{3-2}	砂質土層3-2	沖積層	
As_4	砂質土層4	沖積層	
Dc_1	粘性土層1(洪積)	洪積層	
Dg_1	砂礫層1	洪積層	
Dc_2	粘性土層2(洪積)	洪積層	
Dg_2	砂礫層2	洪積層	



A-A'

金沢港　クルーズターミナル

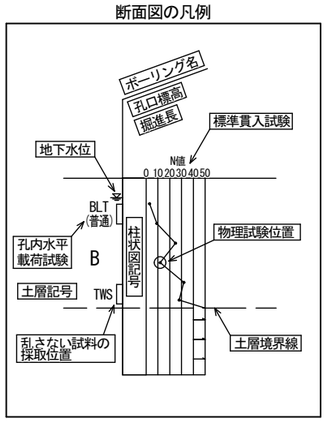


推定土層断面図（B-B'断面）

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	地質調査図［2］	1/250	1/500				S－13

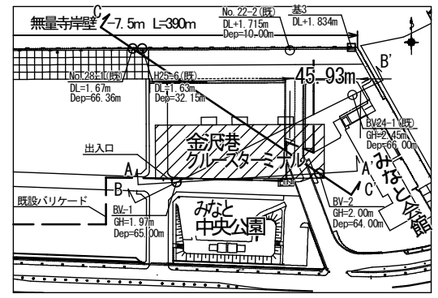
小西建築構造設計
金沢市泉野町6丁目15番1号　TEL(076)244-5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第1804号
一級建築士　第43479号
構造設計一級建築士　第5665号
小西　義昭

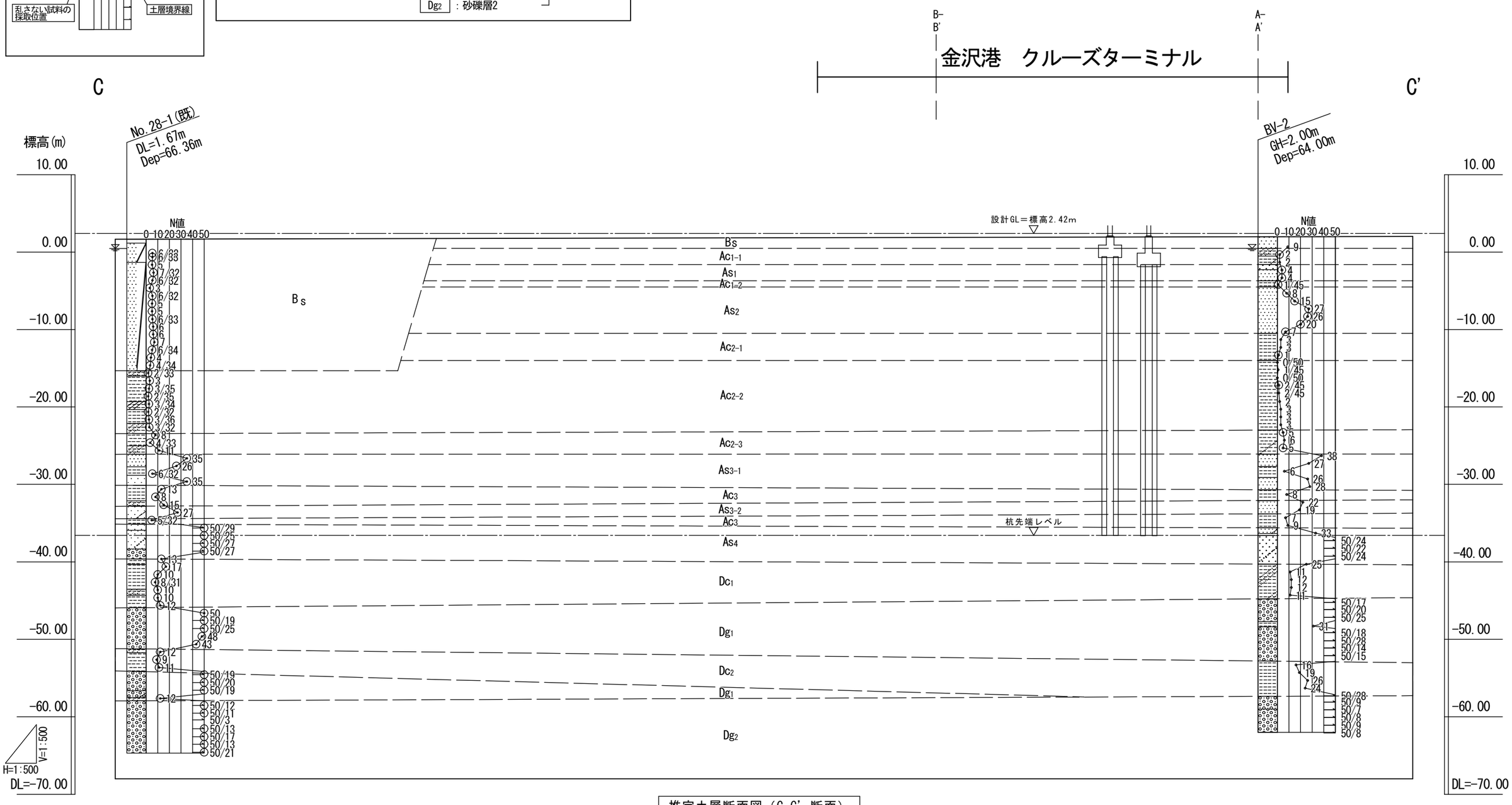
断面図の凡例



土層区分の凡例

Bs	: 盛土		
Ac1-1	: 粘性土層1-1		
As1	: 砂質土層1		
Ac1-2	: 粘性土層1-2	沖積層	
As2	: 砂質土層2		
Ac2-1	: 粘性土層2-1		
Ac2-2	: 粘性土層2-2		
Ac2-3	: 粘性土層2-3		
As3-1	: 砂質土層3-1		
Ac3	: 粘性土層3	沖積層	
As3-2	: 砂質土層3-2		
As4	: 砂質土層4		
Dc1	: 粘性土層1(洪積)		
Dg1	: 砂礫層1		
Dc2	: 粘性土層2(洪積)	洪積層	
Dg2	: 砂礫層2		

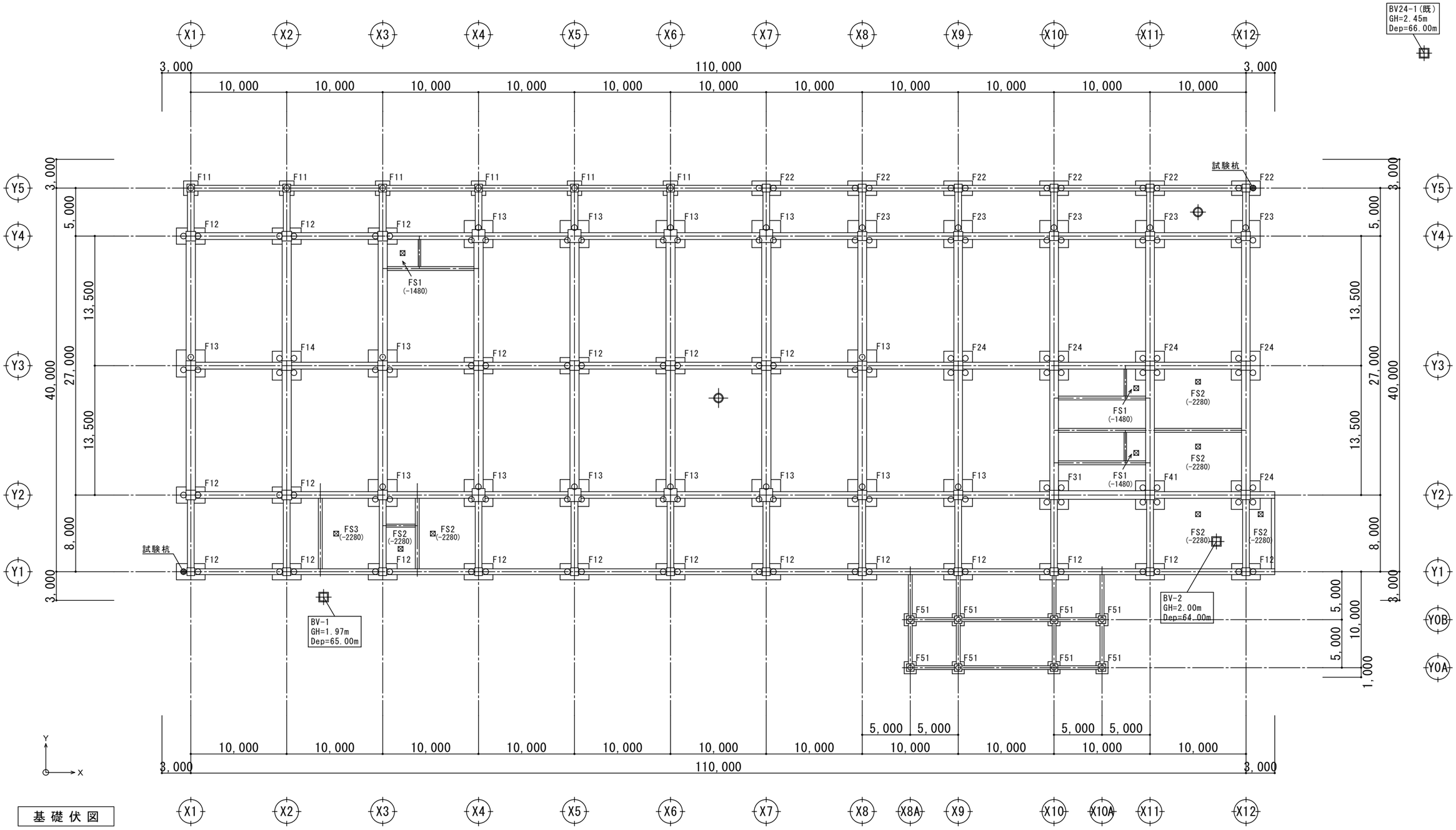




推定土層断面図（C-C' 断面）

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図		図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	地質調査図［3］	1/250	1/500				小西建築構造設計 金沢市泉野町6丁目15番1号 TEL(076)244-5615	S－14

一級建築士事務所石川県知事登録 第1804号
一級建築士 第43479号 小西 義昭
構造設計一級建築士 第5665号



基礎伏図

本工事で調査する地質調査の仕様

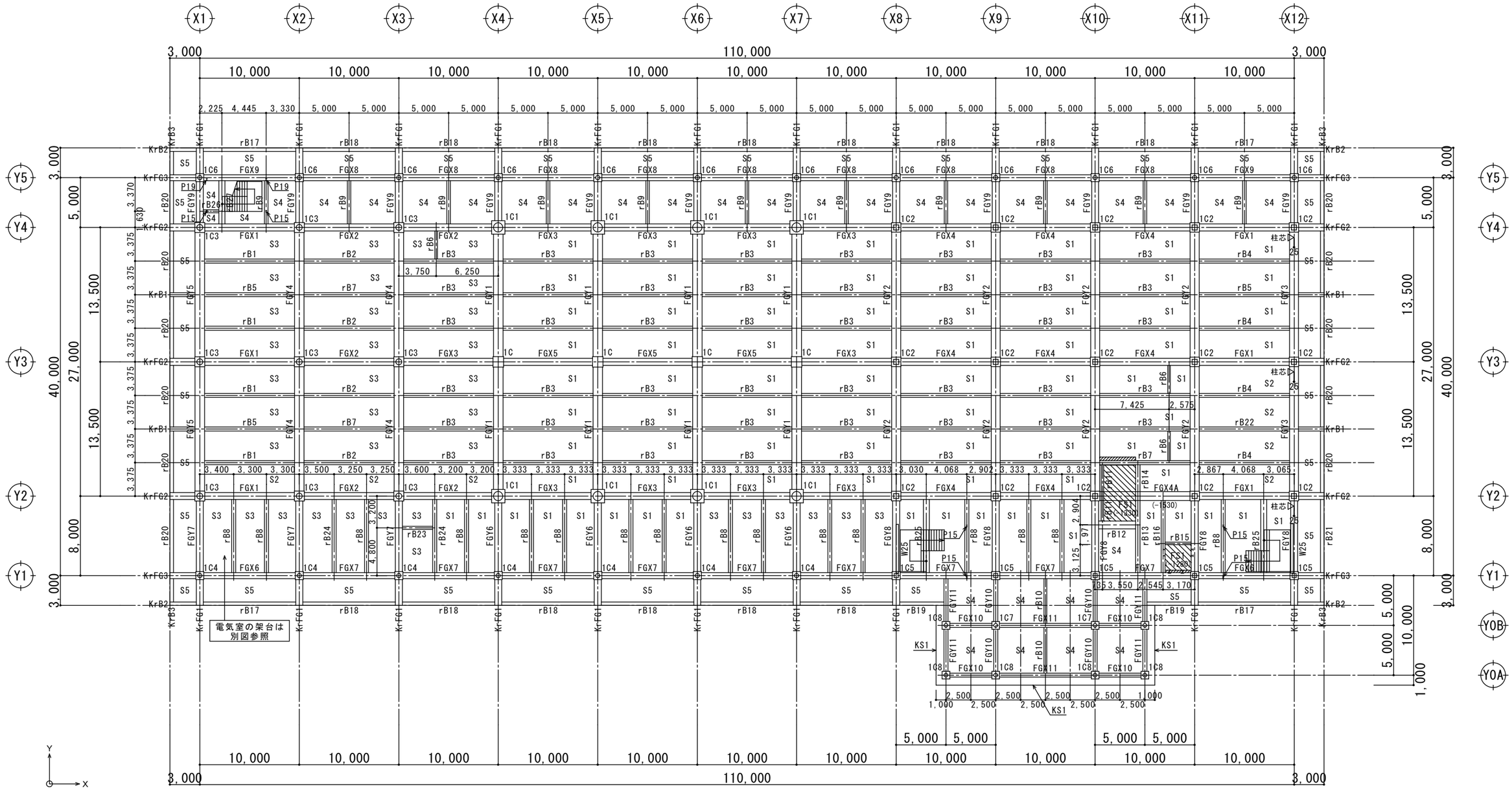
機械ボーリング	２箇所　延１００ｍ
標準貫入試験	延４０回（深度３０ｍ～５０ｍの範囲）

基礎伏図　共通事項

- ⊠ は、釜場(B500×D500×H500)を示す。
- ⊕ は、本工事で調査するボーリング位置（2箇所）を示す。
- ⊞ は、既存ボーリング位置を示す。
- （土　）内の数値は、1FLからの上り下りを示す。

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	基礎伏図	1/200	1/400				S－15

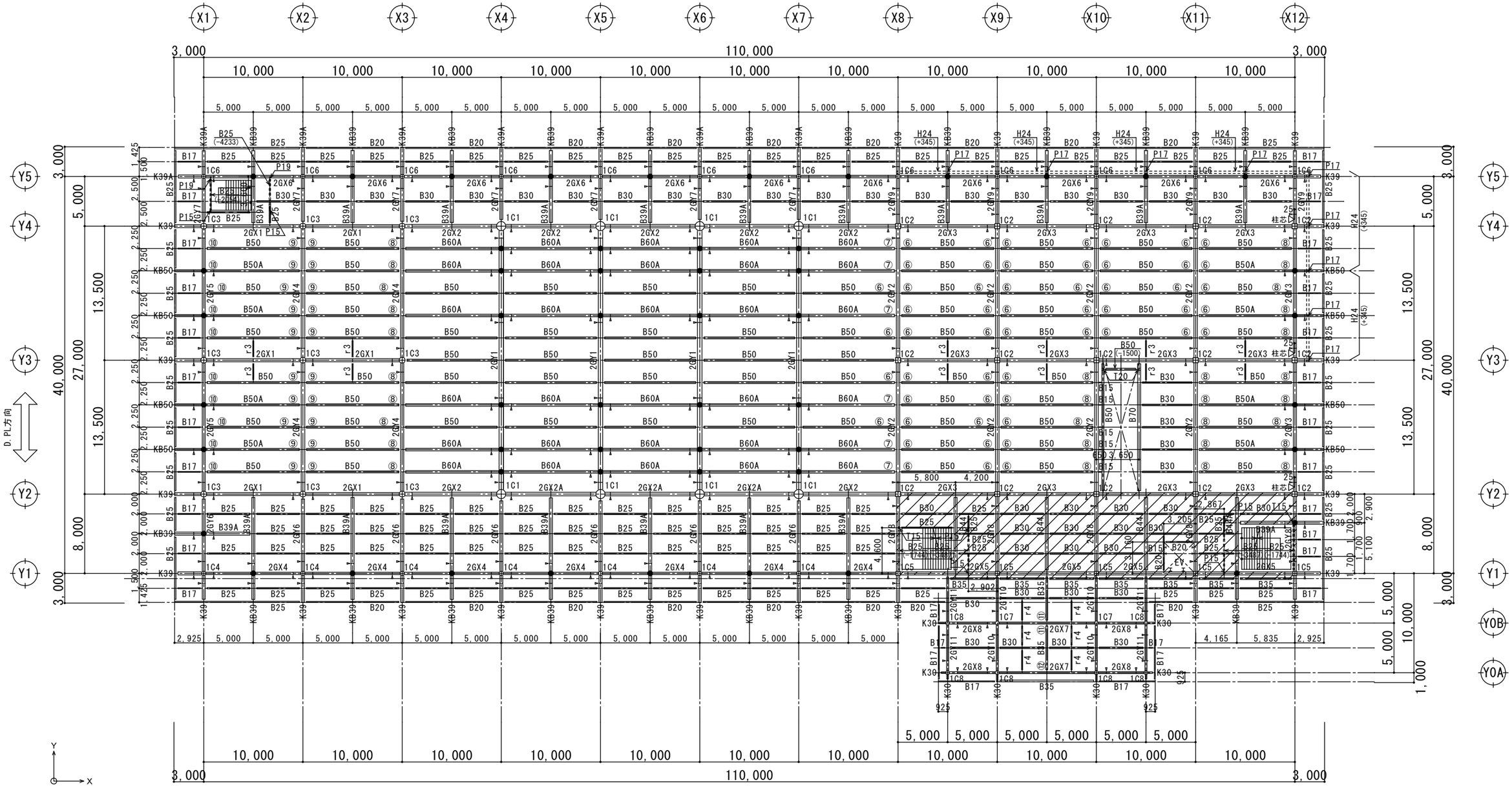
小西建築構造設計
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL(076)244-5615



1 階 床 伏 図

1 階 床 伏 図　共 通 事 項
特記なき限り　通り芯＝柱芯とする。
特記なき限り　梁，柱脚柱型天端レベルは、1FL-480とする。
特記なき限り　スラブ天端レベルは、1FL-30とする。
（±　）内の数値は、1FLからの上り下りを示す。
▨ は、側面打増しを示す。
ＥＶの鉄骨部材は建築工事とする。（エレベーター図参照）

備　考	設計年月日 2018. 03	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	図面名 1 階 床 伏 図	縮尺A1 1/200 縮尺A3 1/400	検図	設計	製図	小西建築構造設計 金沢市泉野町６丁目１５番１号 TEL (076) 244-5615	一級建築士事務所石川県知事登録 第１８０４号 一級建築士 第４３４７９号 構造設計一級建築士 第５６６５号 小西 義昭	図面番号 S－１６



２階床伏図

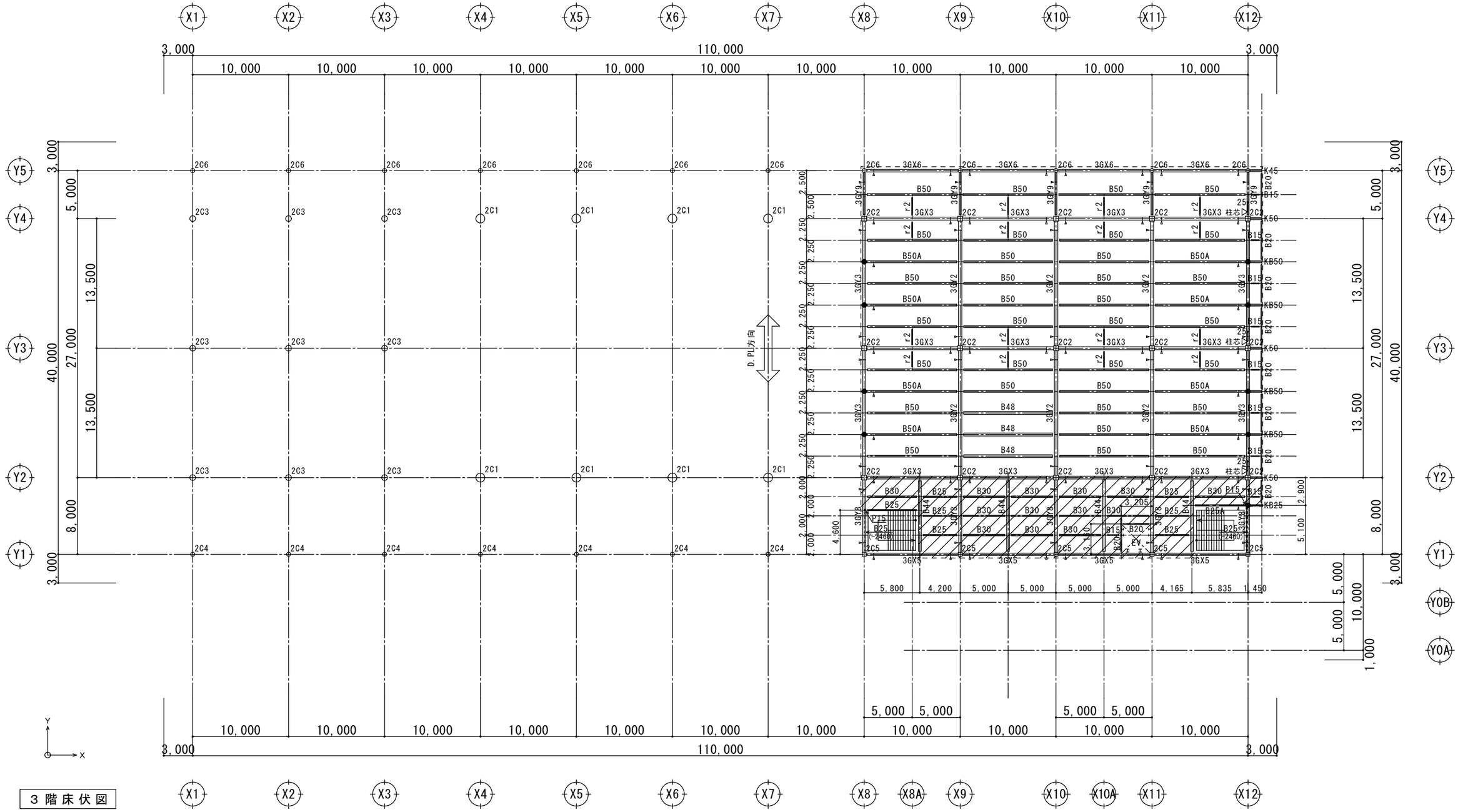
２階床伏図　共通事項

- 特記なき限り　通り芯＝柱芯とする。
- 特記なき限り　梁天端レベルは、2FL-480とする。
- 特記なき限り　スラブ天端レベルは、2FL-350とする。
- ▨ の梁天端レベルは、2FL-160とする。
- ▨ のスラブ天端レベルは、2FL-30とする。
- （±　）内の数値は、2FLからの上り下りを示す。
- ①, ②, ③・・・は、横補剛兼用小梁仕口番号を示す。

- ● は、剛接合を示す。
- ⊢ は、梁継手位置を示す。
- Ｘ方向梁・片持ち梁は柱芯から1000㎜
- Ｙ方向梁は柱芯から1200㎜
- 片持ち小梁・小梁は大梁芯から1000㎜
- ＥＶの鉄骨部材は建築工事とする。（エレベーター図参照）

備　考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検　図	設　計	製　図	図面番号
	2018. 03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	２階床伏図	1／200	1／400				Ｓ－１７

小　西　建　築　構　造　設　計
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号
小西　義昭
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244−5615



3 階 床 伏 図

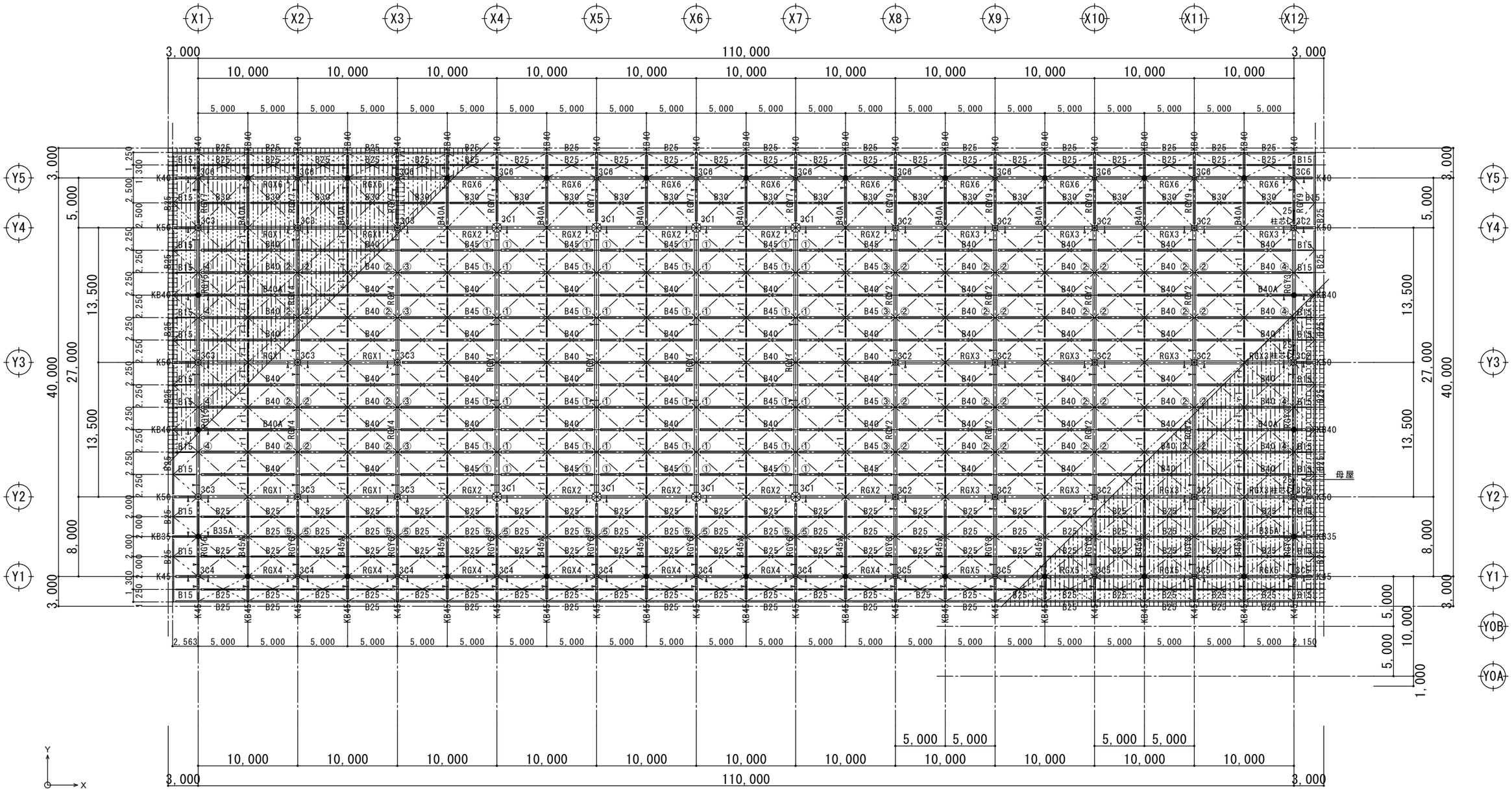
3 階 床 伏 図　共 通 事 項

- 特記なき限り　通り芯＝柱芯とする。
- 特記なき限り　梁天端レベルは、3FL-230とする。
- 特記なき限り　スラブ天端レベルは、3FL-100とする。
- ▨ は、スラブ打増し範囲を示し、厚さは70mmとする。
- （±　）内の数値は、3FLからの上り下りを示す。

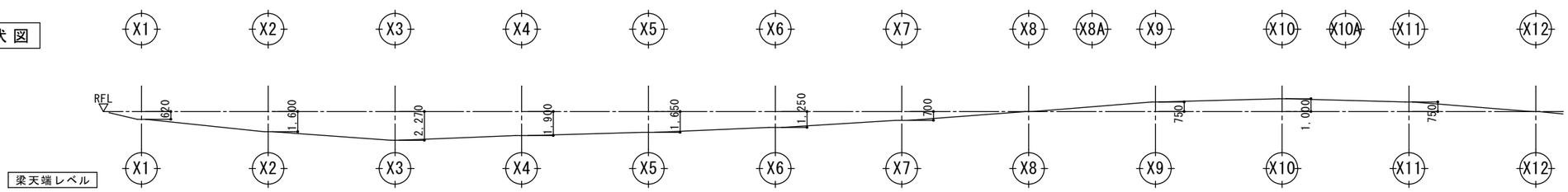
- ● は、剛接合を示す。
- ⊢ は、梁継手位置を示す。
- X方向梁・片持ち梁は柱芯から1000mm
- Y方向梁は柱芯から1200mm
- 片持ち小梁・小梁は大梁芯から1000mm
- ＥＶの鉄骨部材は建築工事とする。（エレベーター図参照）

備　考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検　図	設　計	製　図	図面番号
	2018. 03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	3 階 床 伏 図	1／200	1／400				S－18

小　西　建　築　構　造　設　計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244−5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭



R階床伏図



梁天端レベル

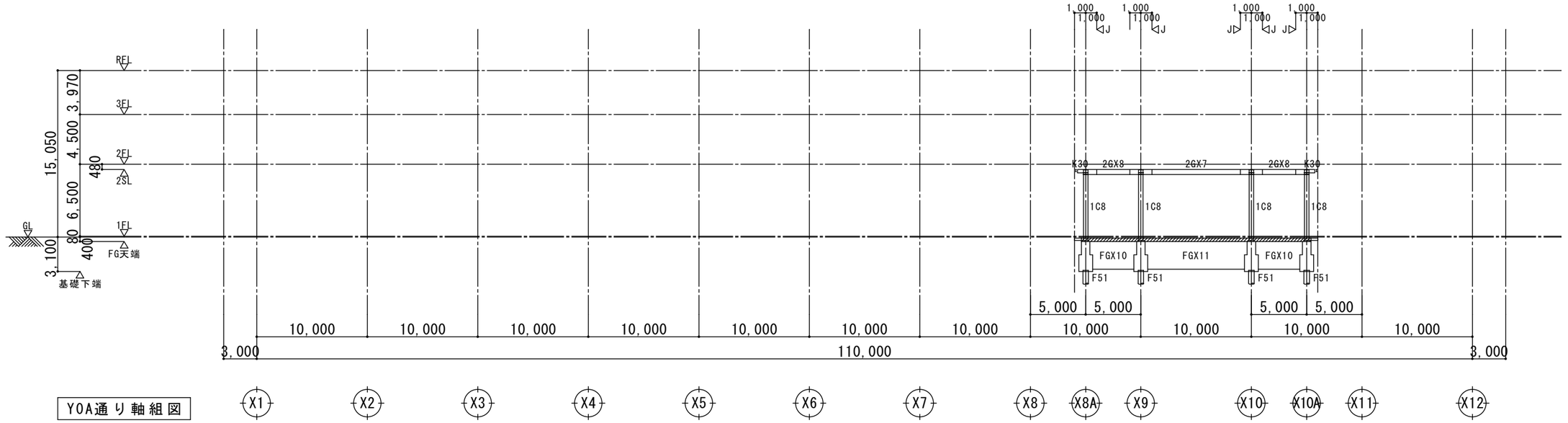
R階床伏図　共通事項

- 特記なき限り　通り芯＝柱芯とする。
- ①，②，③・・・は、横補剛兼用小梁仕口番号を示す。
- ＞3＜ は、屋根面ブレースを示す。
- ● は、剛接合を示す。
- ⊢ は、梁継手位置を示す。

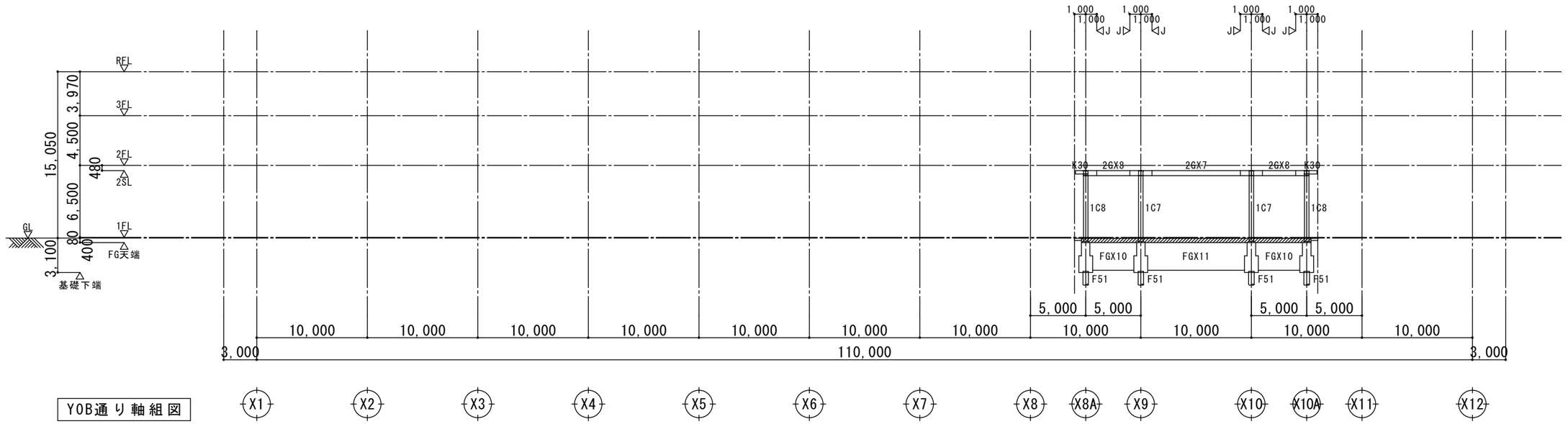
X方向梁・片持ち梁は柱芯から1000㎜
Y方向梁は柱芯から1200㎜
片持ち小梁・小梁は大梁芯から1000㎜

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	R階床伏図	1／200	1／400				S－19

小西建築構造設計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244－5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭



Y0A通り軸組図



Y0B通り軸組図

軸組図　共通事項

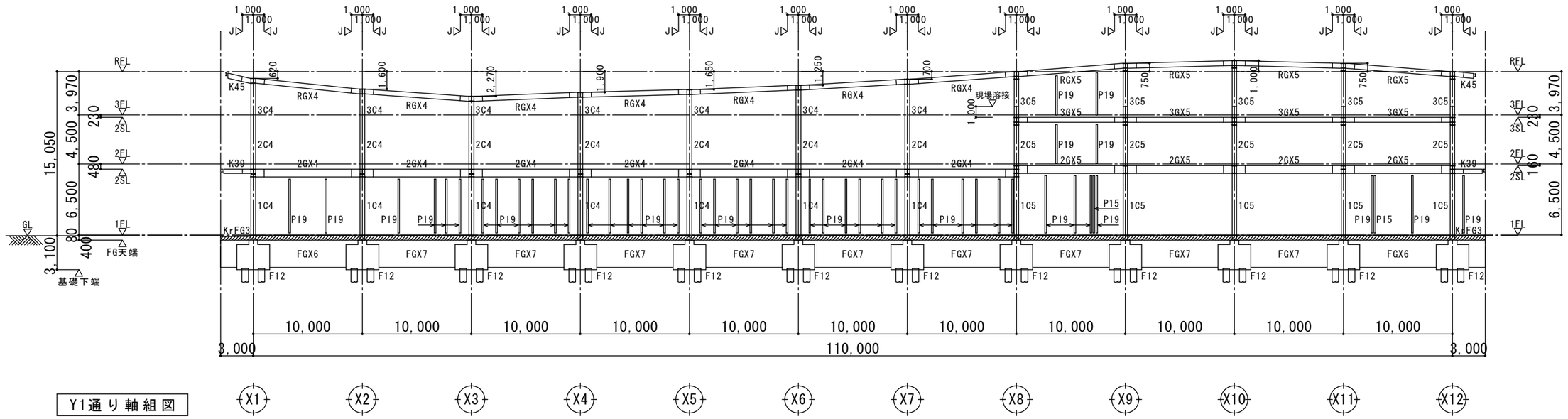
特記なき限り　通り芯＝柱芯とする。

J▷　は、梁継手位置を示す。

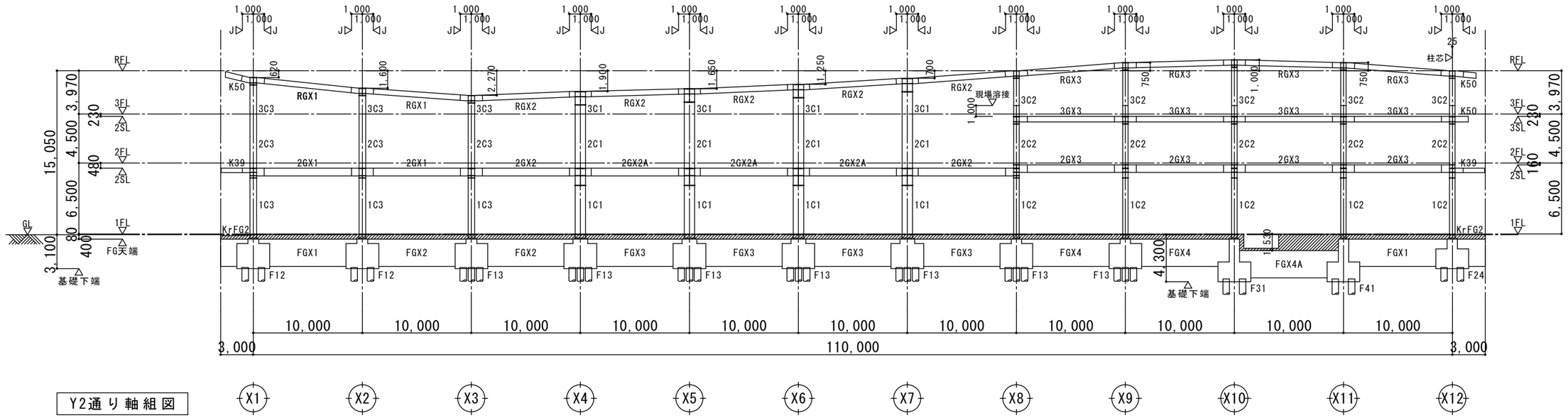
▨　は、打増し範囲を示す。

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	Y0A通り，Y0B通り軸組図	1／200	1／400				S－20

小西建築構造設計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244－5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号
小西　義昭



Y1通り軸組図



Y2通り軸組図

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12

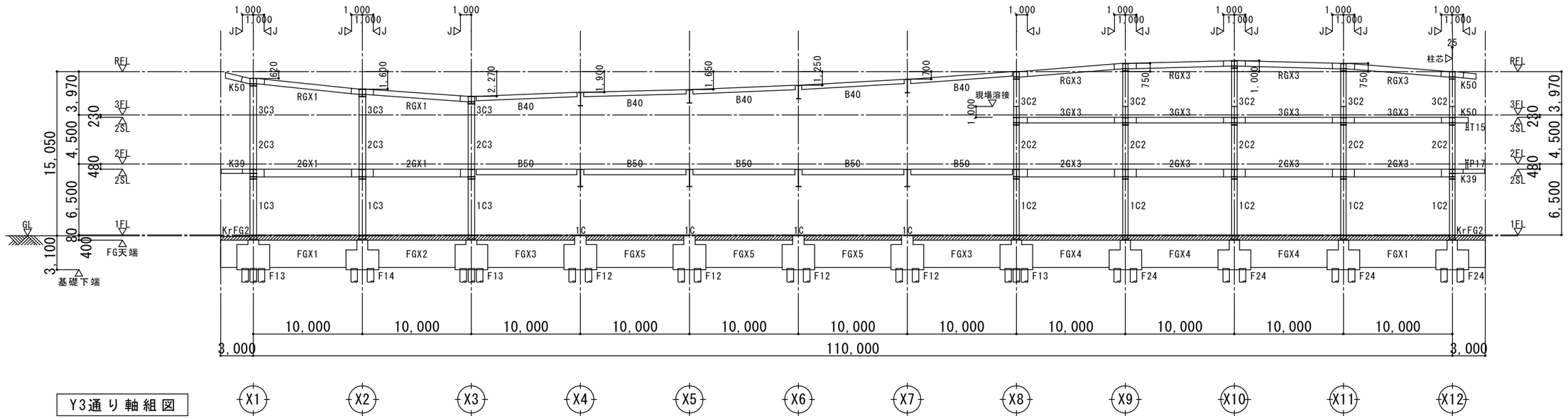
軸組図　共通事項

特記なき限り　通り芯＝柱芯とする。

JD　は、梁継手位置を示す。

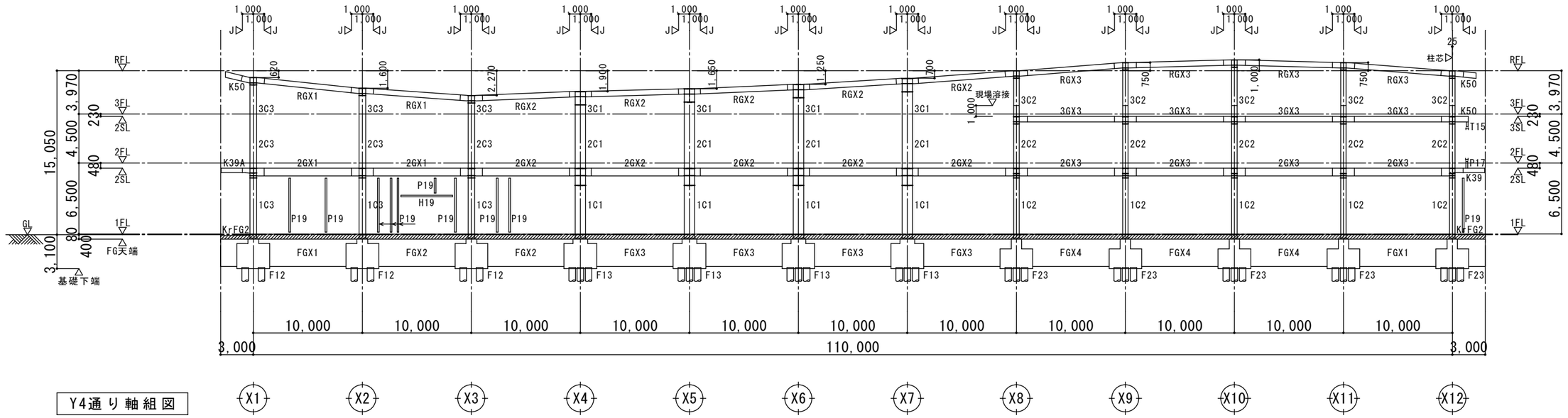
▨　は、打増し範囲を示す。

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図		図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	Y1通り，Y2通り軸組図	1／200	1／400				小西建築構造設計 金沢市泉野町６丁目１５番１号 TEL(076)244−5615 一級建築士事務所石川県知事登録 第１８０４号 一級建築士 第43479号 構造設計一級建築士 第5665号 小西 義昭	S−21



Y3通り軸組図

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12



Y4通り軸組図

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12

軸組図　共通事項

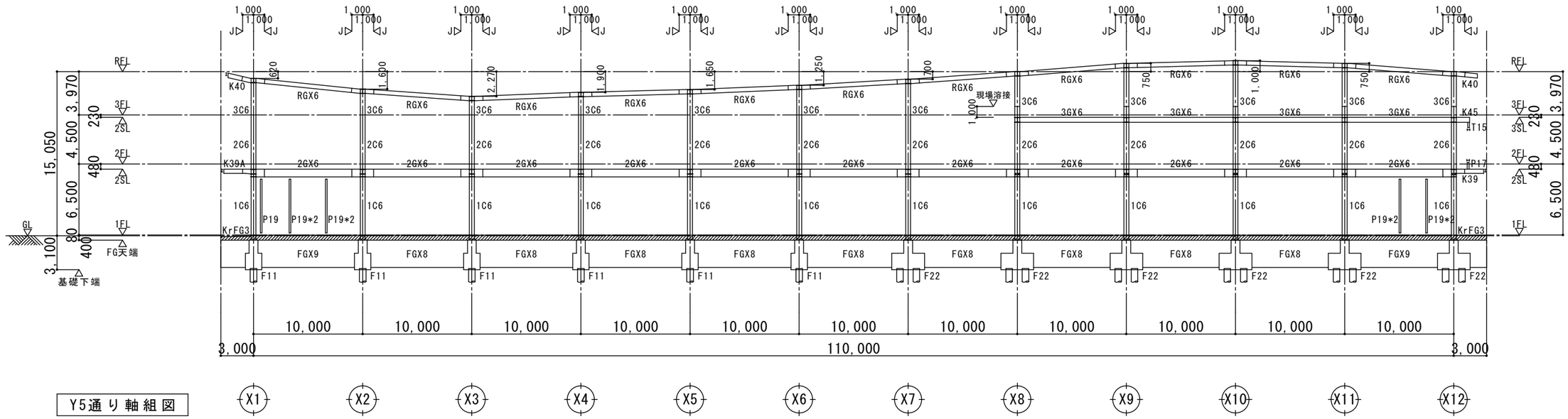
特記なき限り　通り芯＝柱芯とする。

J▷　は、梁継手位置を示す。

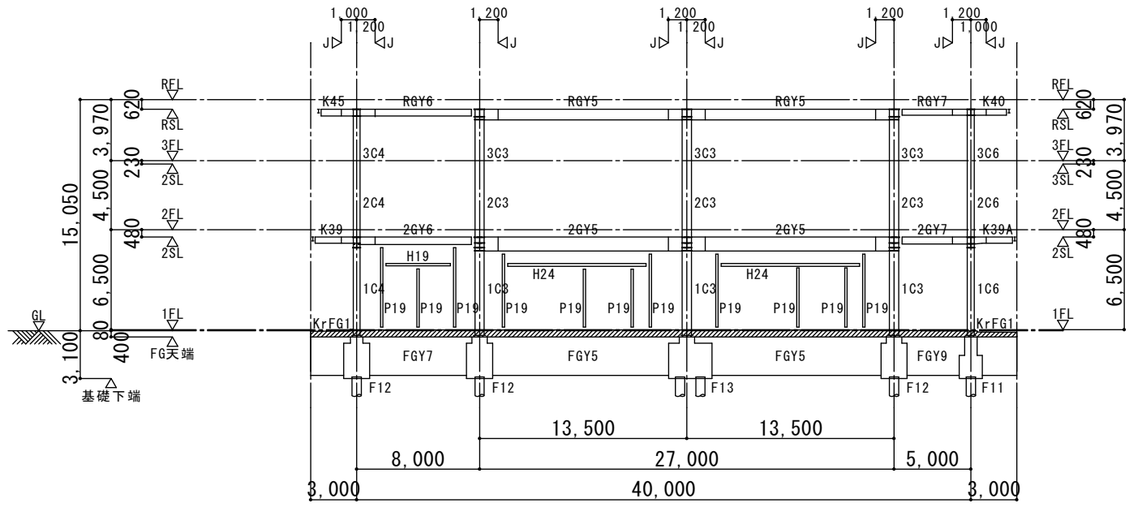
▨　は、打増し範囲を示す。

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	Y3通り，Y4通り軸組図	1／200	1／400				S－22

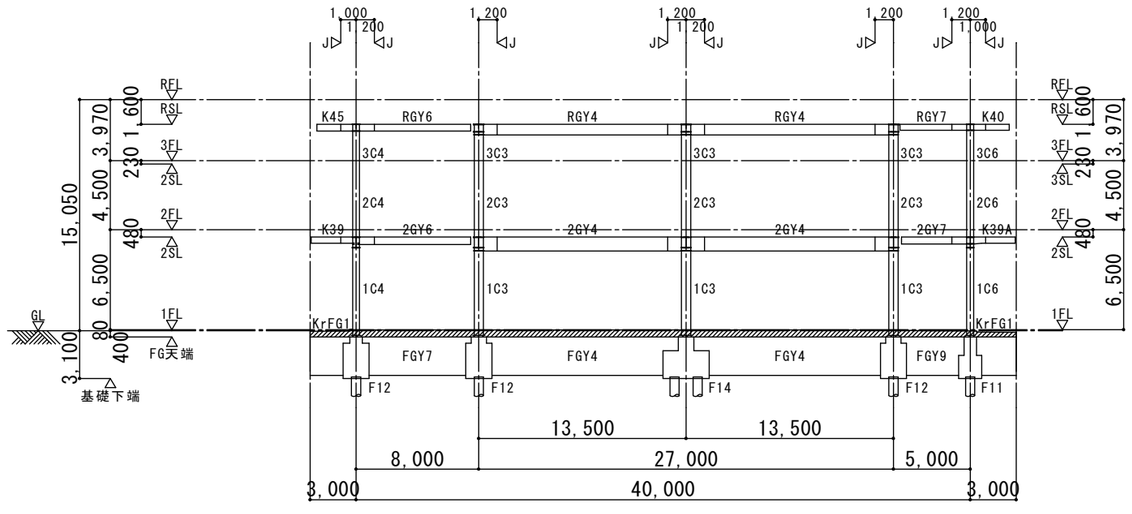
小西建築構造設計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244－5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭



Y5通り軸組図



X1通り軸組図



X2通り軸組図

軸組図　共通事項

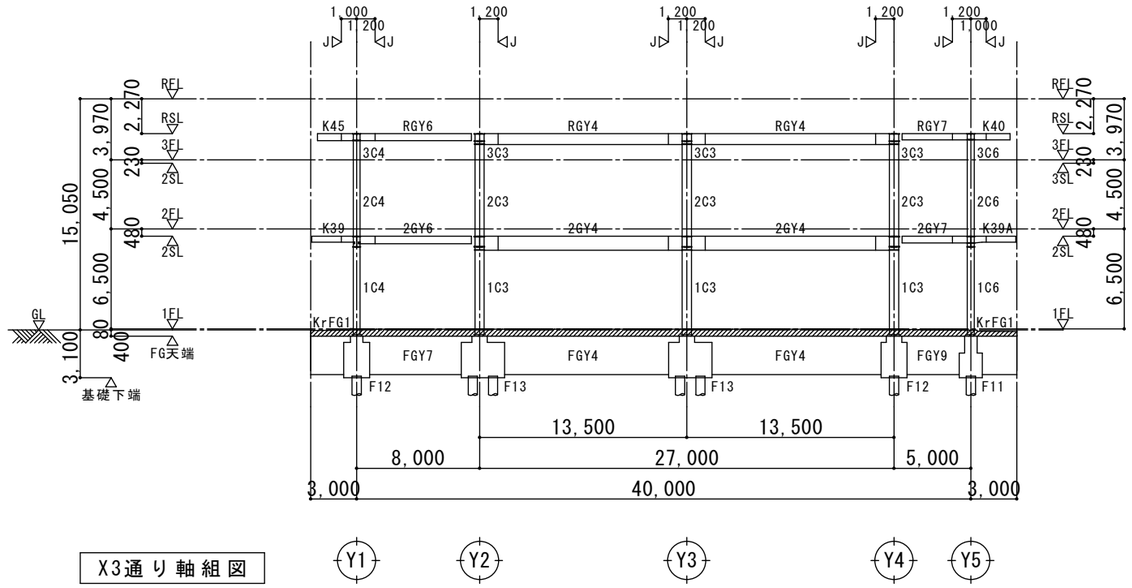
特記なき限り　通り芯＝柱芯とする。

J▷　は、梁継手位置を示す。

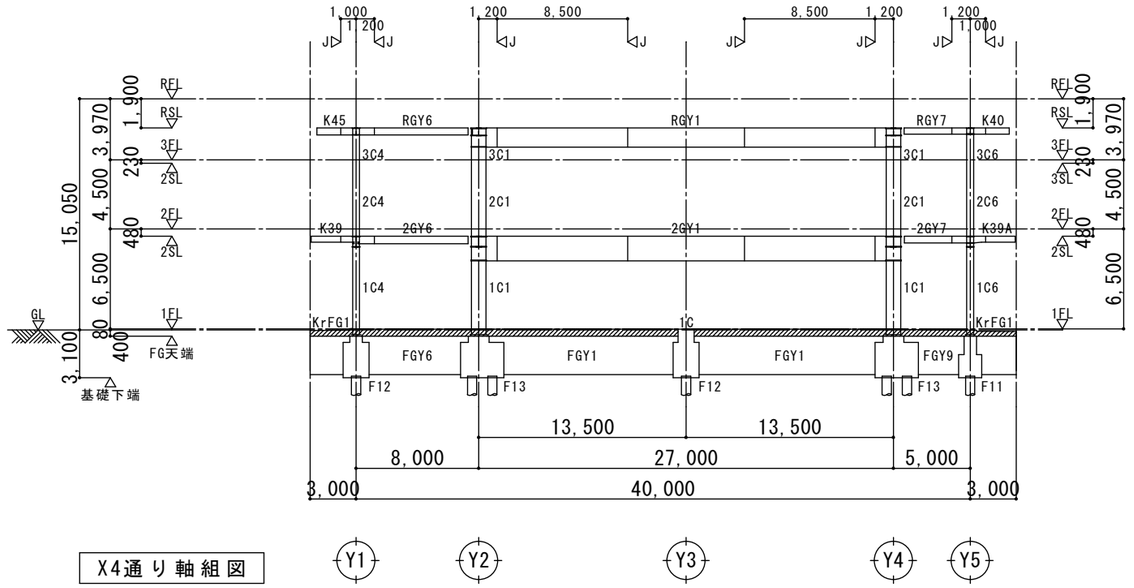
▨　は、打増し範囲を示す。

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	検図	設計	製図	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	Y5通り，X1通り，X2通り軸組図	1／200 縮尺A3 1／400				S－23

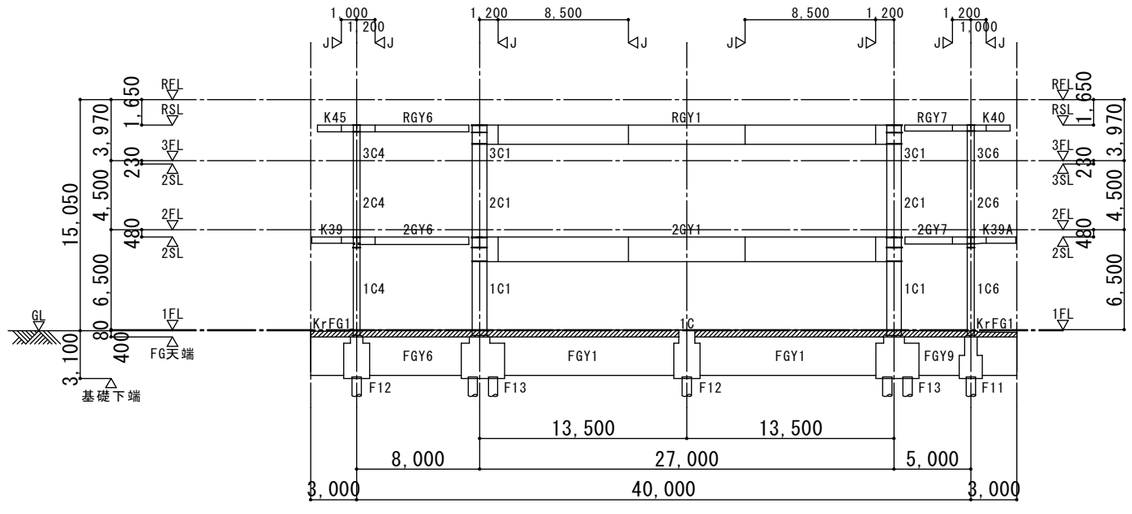
小西建築構造設計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244−5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭



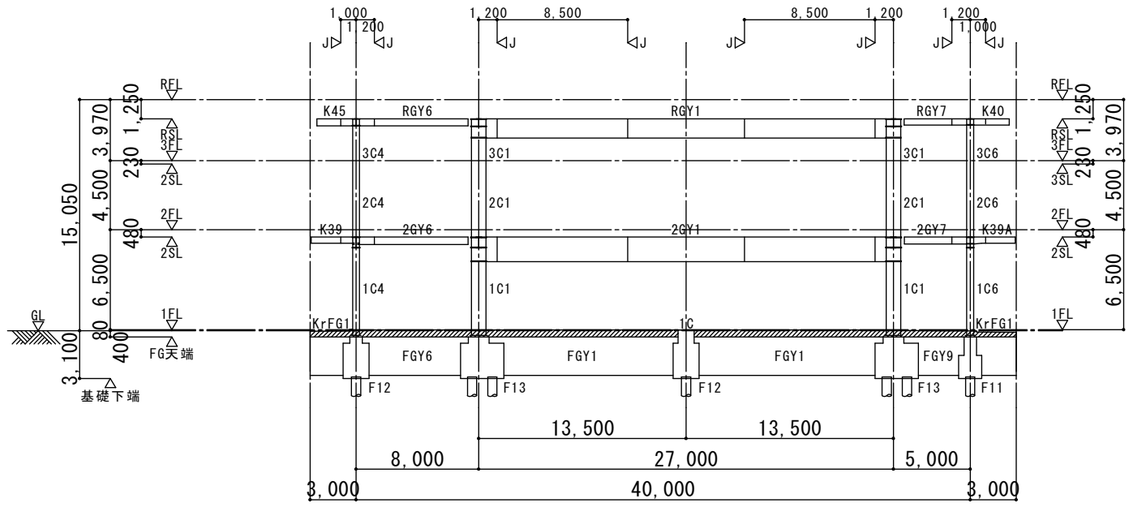
X3通り軸組図



X4通り軸組図



X5通り軸組図



X6通り軸組図

軸組図　共通事項

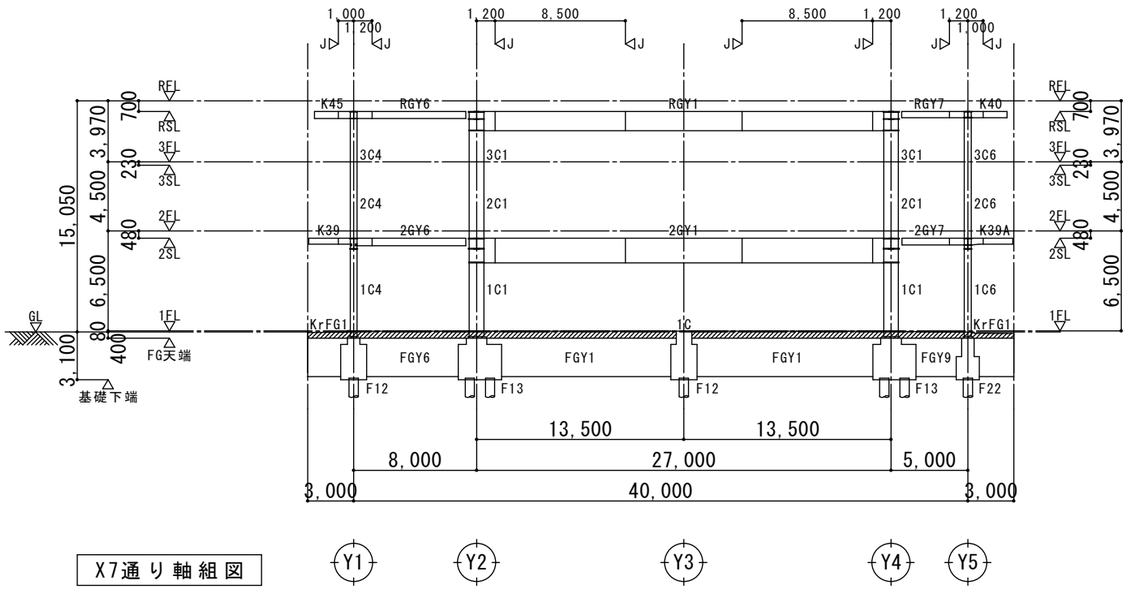
特記なき限り　通り芯＝柱芯とする。

JI　は、梁継手位置を示す。

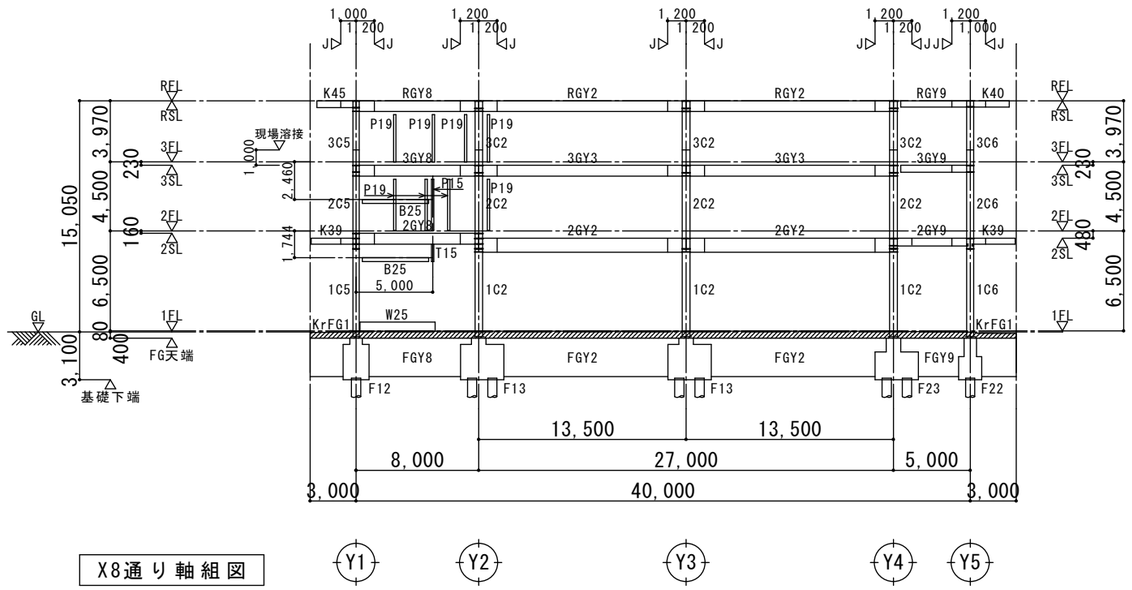
▨　は、打増し範囲を示す。

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	検図	設計	製図	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	X3通り，X4通り，X5通り，X6通り軸組図	1／200 縮尺A3 1／400				S－24

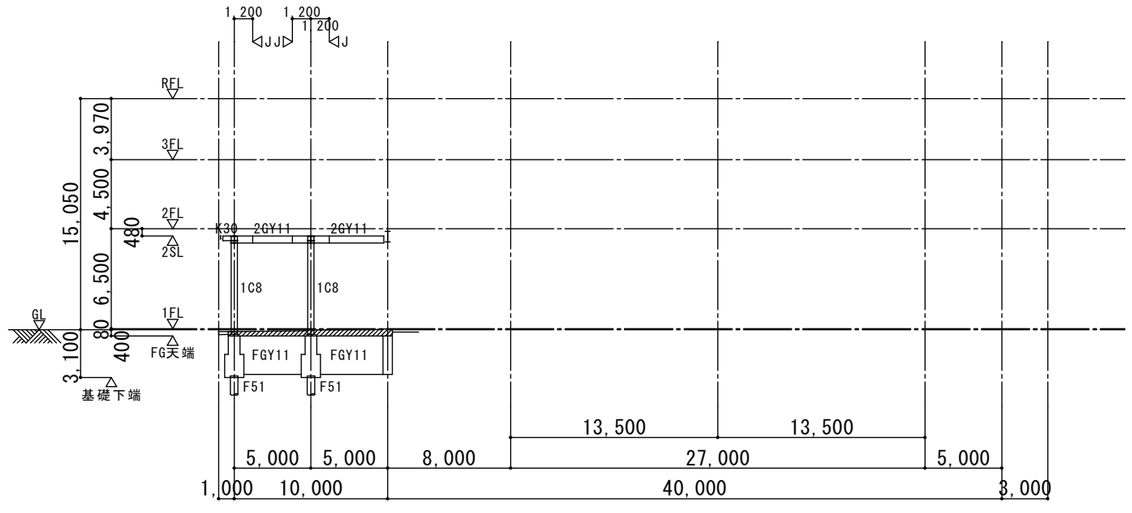
小西建築構造設計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244－5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭



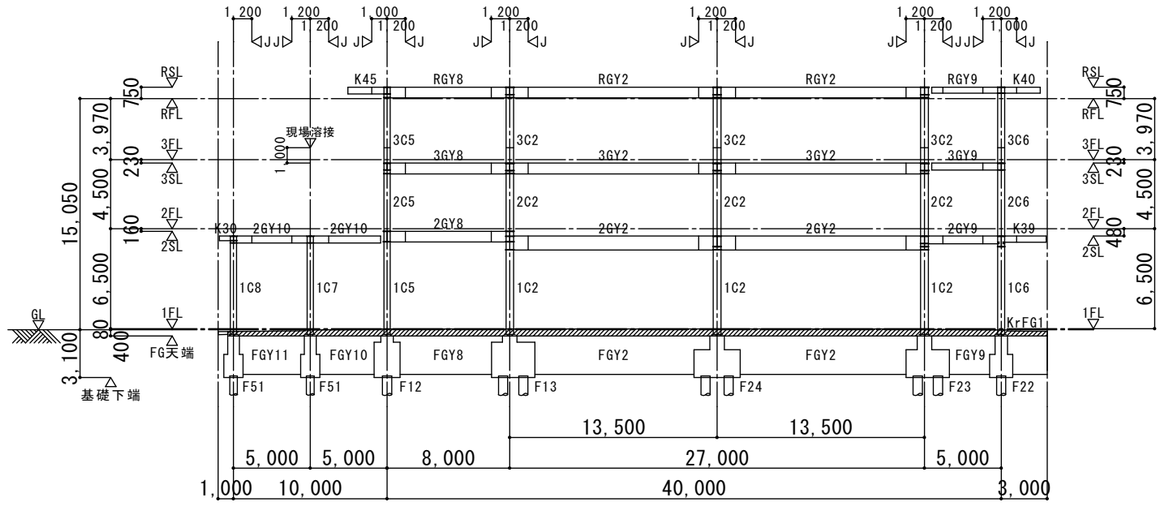
X7通り軸組図



X8通り軸組図



X8A通り軸組図



X9通り軸組図

軸組図　共通事項

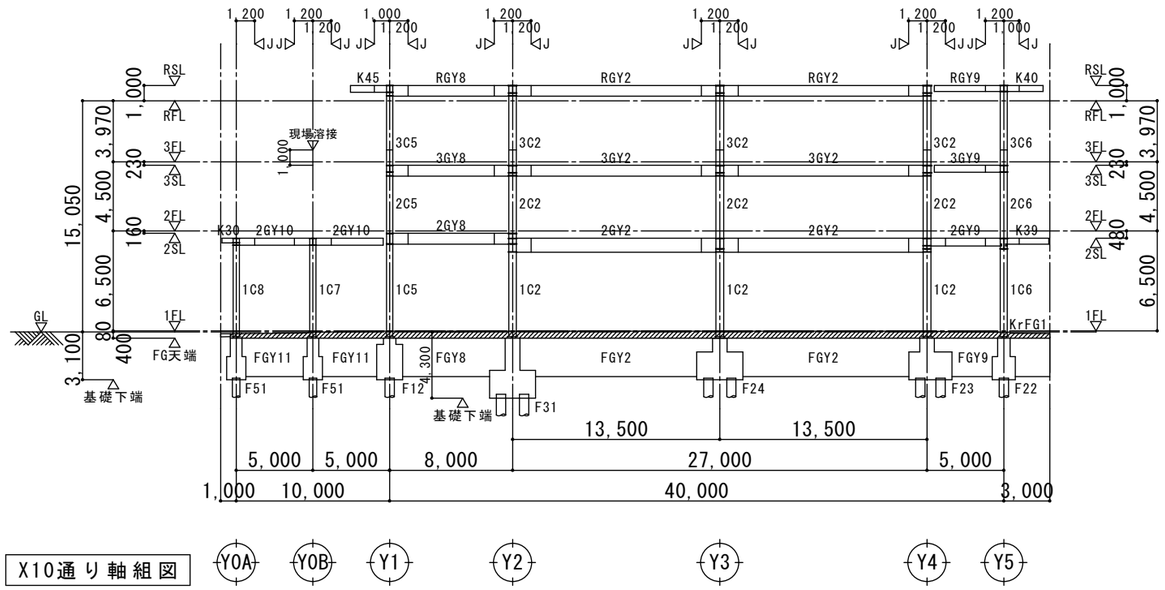
特記なき限り　通り芯＝柱芯とする。

J▷　は、梁継手位置を示す。

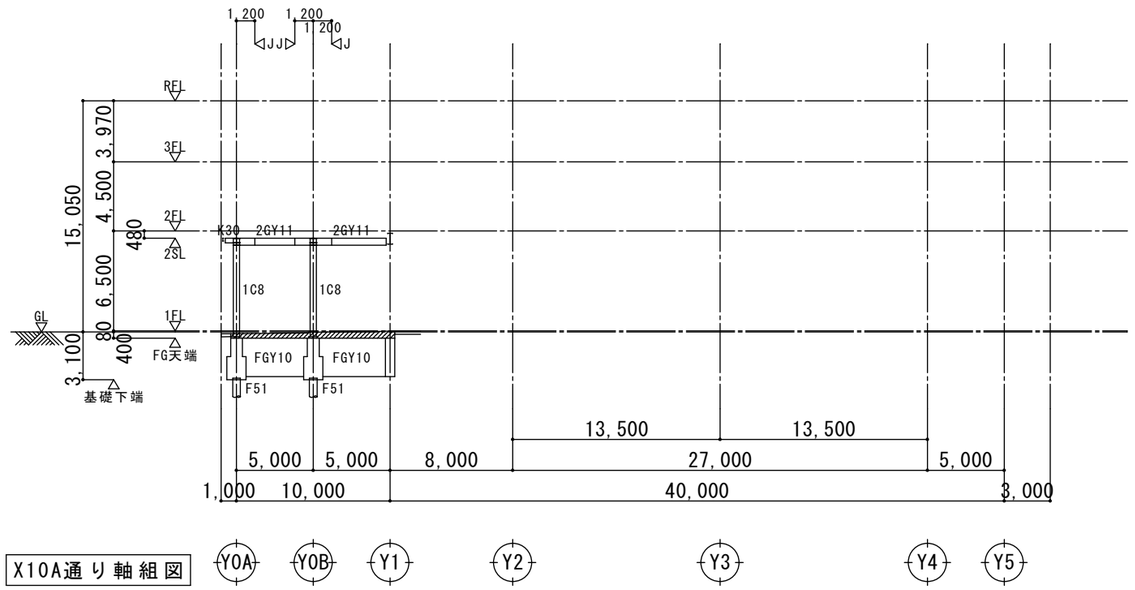
▨　は、打増し範囲を示す。

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	X7通り，X8通り，X8A通り，X9通り軸組図	1／200	1／400				S－25

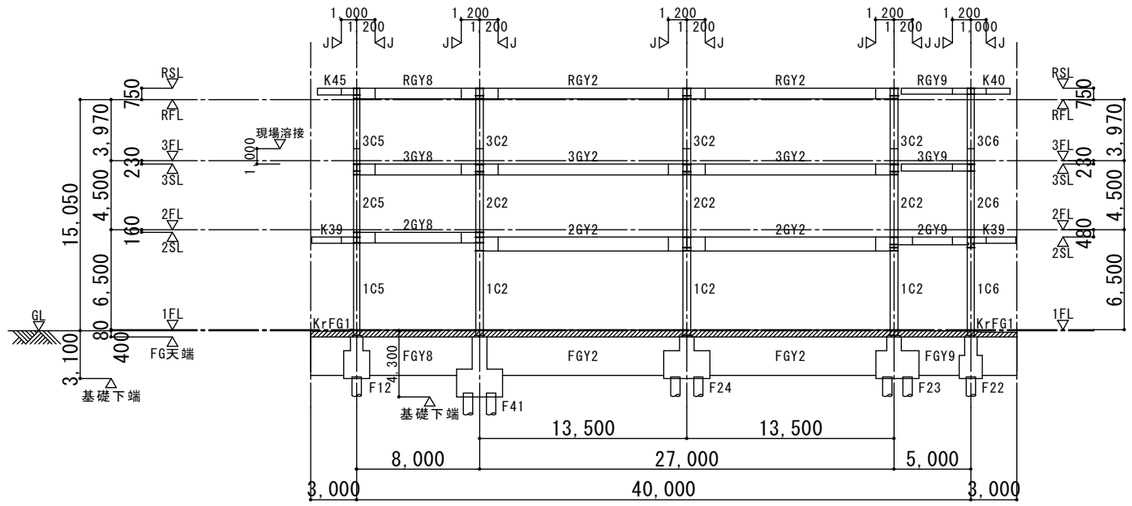
小西建築構造設計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244－5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭



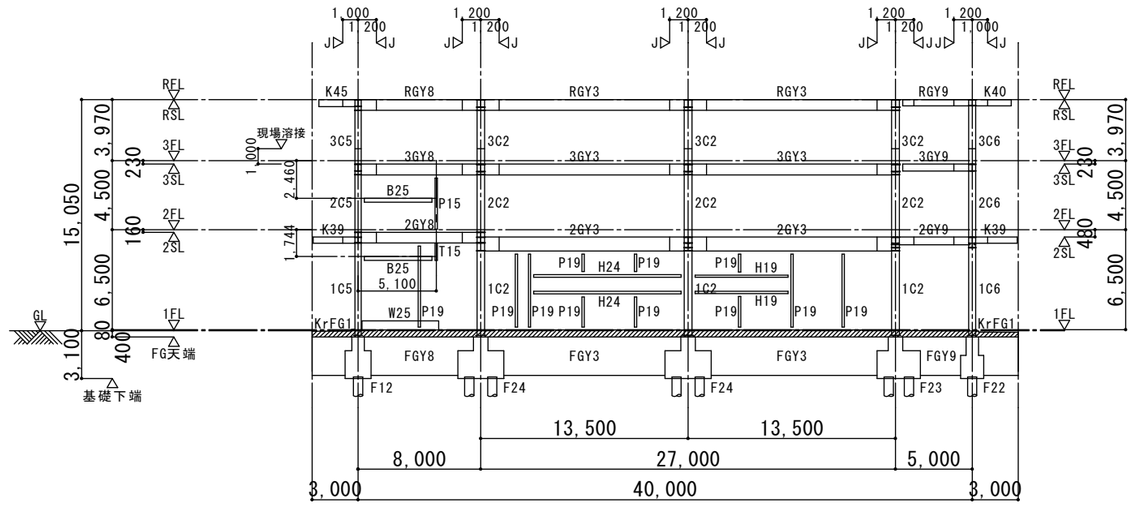
X10通り軸組図　Y0A　Y0B　Y1　Y2　Y3　Y4　Y5



X10A通り軸組図　Y0A　Y0B　Y1　Y2　Y3　Y4　Y5



X11通り軸組図　Y1　Y2　Y3　Y4　Y5



X12通り軸組図　Y1　Y2　Y3　Y4　Y5

軸組図　共通事項

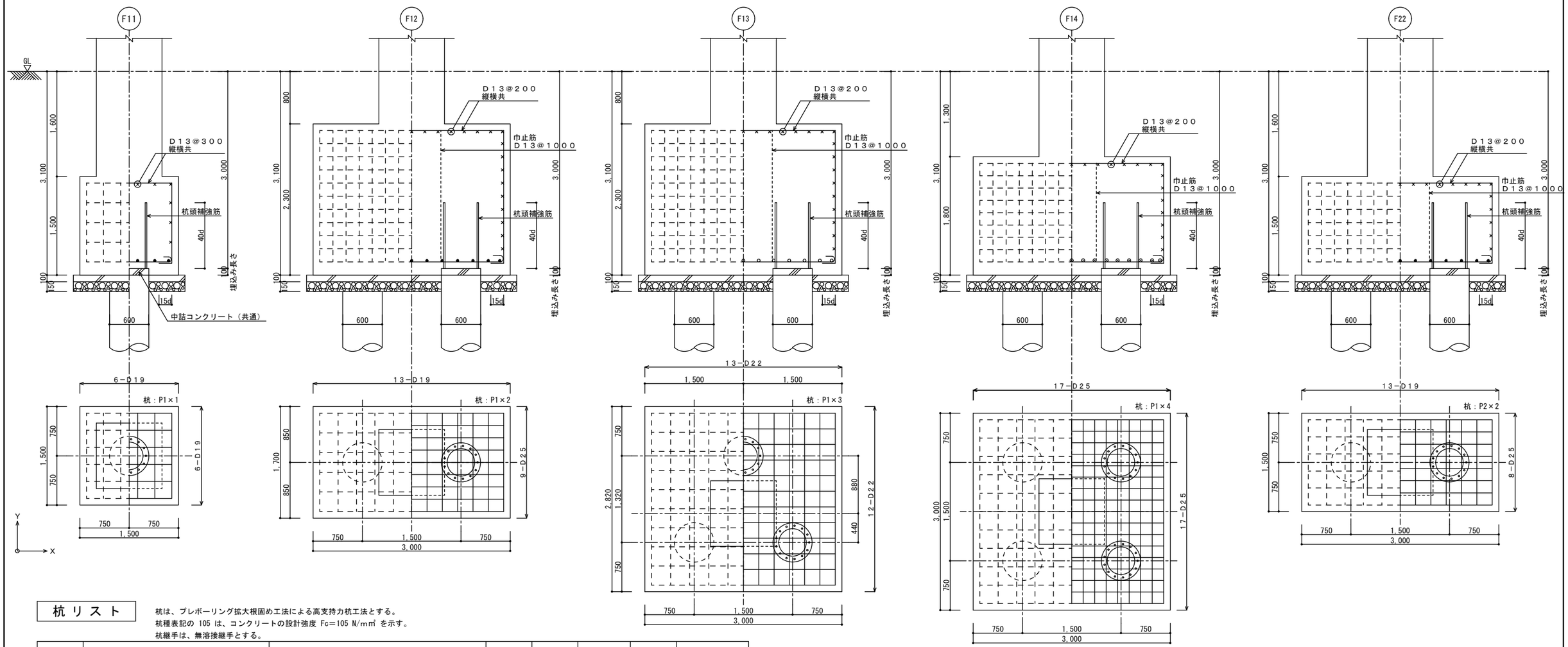
特記なき限り　通り芯＝柱芯とする。

J▷　は、梁継手位置を示す。

▨　は、打増し範囲を示す。

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	検図	設計	製図		図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	X10通り，X10A通り，X11通り，X12通り軸組図	1／200 縮尺A3 1／400				小西建築構造設計 金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244−5615 一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号 一級建築士　第４３４７９号 構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭	S−２６

基礎リスト［１］



杭リスト

杭は、プレボーリング拡大根固め工法による高支持力杭工法とする。
杭種表記の 105 は、コンクリートの設計強度 Fc＝105 N/mm² を示す。
杭継手は、無溶接継手とする。

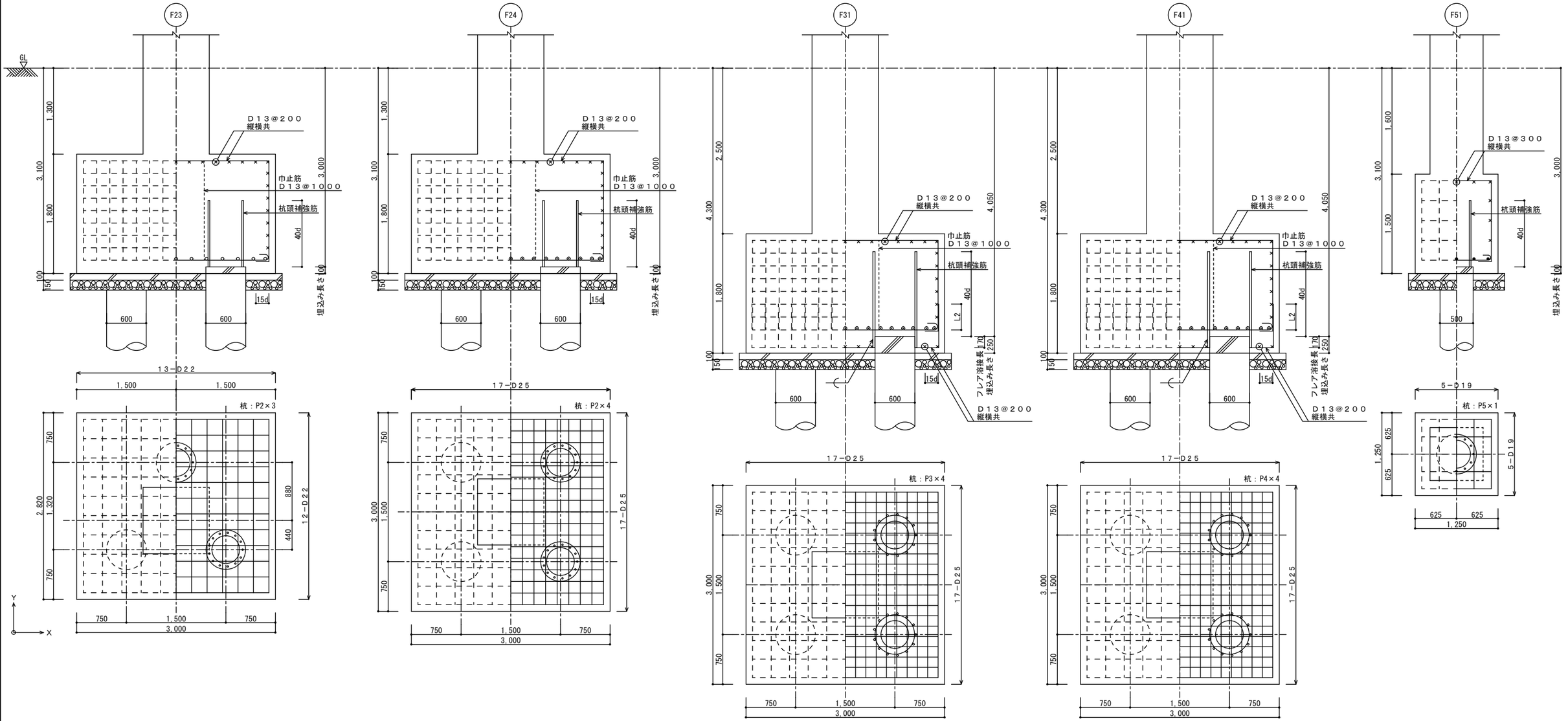
杭符号	杭径	杭種		杭長 (m)	全長 (m)	長期杭耐力 (kN／本)	杭本数 (本)	杭頭結合筋
P1	φ650-500-600 （節部径650mm、軸部径500mm、拡頭径600） ＋φ600mm	上杭	CPRC杭 105φ600（Ⅲ種 105N）	7.0	36.0	2,450	94	スタッド溶接 14-D25 (SD345)
		中杭	PHC杭 105φ600（Ａ種 105N）	14.0				
		下杭	節付きPHC杭 105φ650-500-600（Ａ種 105N）	15.0				
P2	φ650-500-600 （節部径650mm、軸部径500mm、拡頭径600） ＋φ600mm	上杭	CPRC杭 105φ600（Ⅲ種 105N）	7.0	36.0	1,900	47	スタッド溶接 14-D25 (SD345)
		中杭	PHC杭 105φ600（Ａ種 105N）	14.0				
		下杭	節付PHC杭 105φ650-500-600（Ａ種 105N）	15.0				
P3	φ650-500-600 （節部径650mm、軸部径500mm、拡頭径600） ＋φ600mm	上杭	SC杭 105φ600（SKK490 t＝9.0 105N）	7.0	35.0	2,450	4	フレア溶接 14-D32 (SD390)
		中杭	PHC杭 105φ600（Ａ種 105N）	13.0				
		下杭	節付きPHC杭 105φ650-500-600（Ａ種 105N）	15.0				
P4	φ650-500-600 （節部径650mm、軸部径500mm、拡頭径600） ＋φ600mm	上杭	SC杭 105φ600（SKK490 t＝9.0 105N）	7.0	35.0	1,900	4	フレア溶接 14-D32 (SD390)
		中杭	PHC杭 105φ600（Ａ種 105N）	13.0				
		下杭	節付きPHC杭 105φ650-500-600（Ａ種 105N）	15.0				
P5	φ500-400-500 （節部径500mm、軸部径400mm、拡頭径500） ＋φ500mm	上杭	CPRC杭 105φ500（Ⅳ種 105N）	7.0	36.0	1,650	8	スタッド溶接 12-D25 (SD345)
		中杭	PHC杭 105φ500（Ｂ種 105N）	14.0				
		下杭	節付きPHC杭 105φ500-400-500（Ａ種 105N）	15.0				

合計157本

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル） 建設工事（建築）	基礎リスト［１］，杭リスト	1／30	1／60				Ｓ－２７

小西建築構造設計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244－5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭

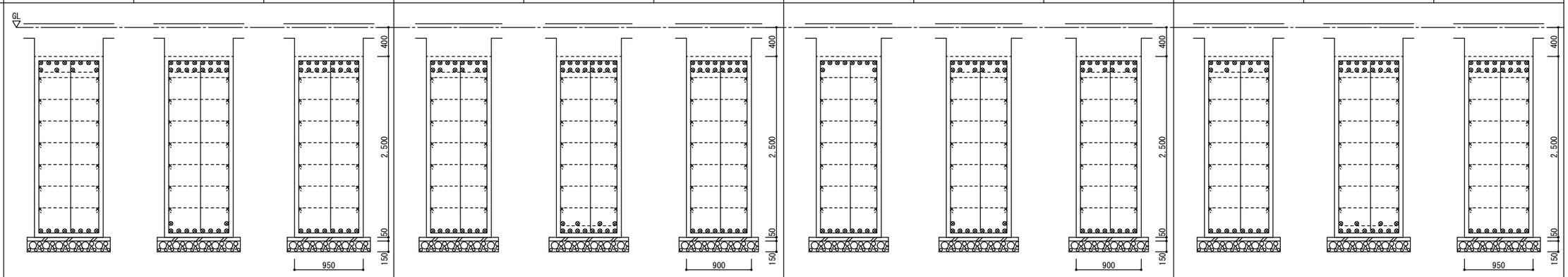
基礎リスト［２］

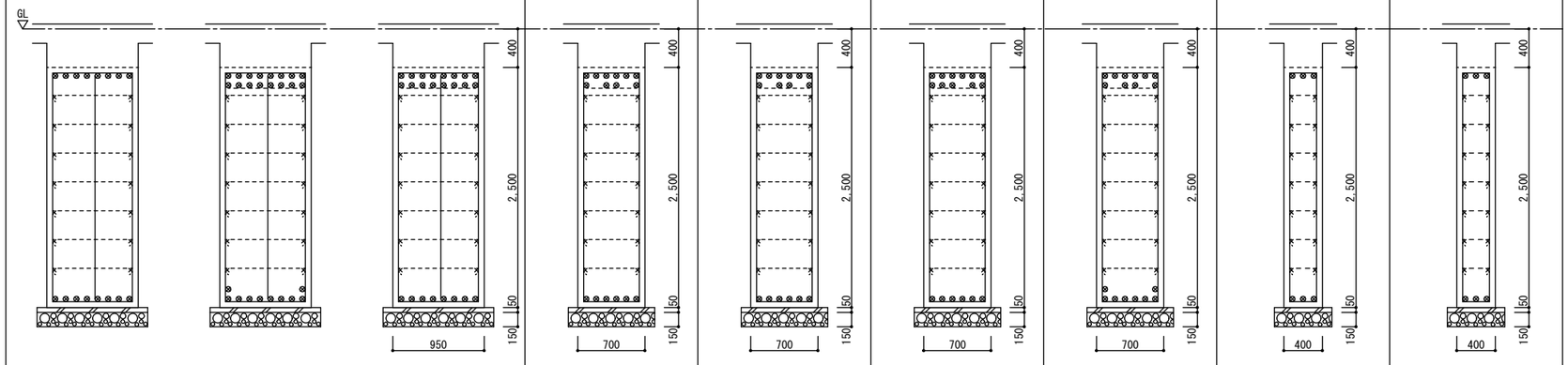


備　考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	検図	設計	製図	小西建築構造設計	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	基礎リスト［２］	1／30 縮尺A3 1／60				金沢市泉野町６丁目１５番１号 TEL(076)244−5615 一級建築士事務所石川県知事登録 第１８０４号 一級建築士 第４３４７９号 構造設計一級建築士 第５６６５号 小西 義昭	S−２８

基礎梁リスト［１］

特記なき限り　巾止筋は　Ｄ１０@１０００以下とする。

符　号	ＦＧＹ１			ＦＧＹ２			ＦＧＹ３			ＦＧＹ４		
Ｂ × Ｄ	９５０×２，５００			９００×２，５００			９００×２，５００			９５０×２，５００		
位　置	Ｙ2端・Ｙ4端	中　央	Ｙ３端	Ｙ2端・Ｙ4端	中　央	Ｙ３端	Ｙ2端・Ｙ4端	中　央	Ｙ３端	Ｙ2端・Ｙ4端	中　央	Ｙ３端
断　面												
上端筋	８／４－Ｄ２９	８／８－Ｄ２９	８／８－Ｄ２９	８／６－Ｄ２９	８／８－Ｄ２９	８／８－Ｄ２９	８／２－Ｄ２９	８／６－Ｄ２９	８／６－Ｄ２９	８／４－Ｄ２９	８／８－Ｄ２９	８／８－Ｄ２９
下端筋	８－Ｄ２９	８／２－Ｄ２９	８－Ｄ２９	８－Ｄ２９	８／４－Ｄ２９	８－Ｄ２９	８－Ｄ２９	８／２－Ｄ２９	８－Ｄ２９	８－Ｄ２９	８／４－Ｄ２９	８－Ｄ２９
スターラップ	３－Ｄ１３@１５０			３－Ｄ１３@１５０			３－Ｄ１３@１５０			３－Ｄ１３@１５０		
腹　筋	１４－Ｄ１３			１４－Ｄ１３			１４－Ｄ１３			１４－Ｄ１３		

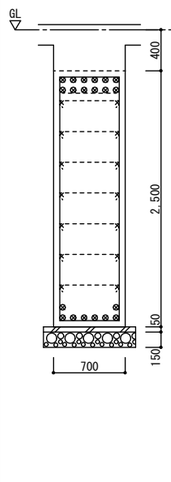
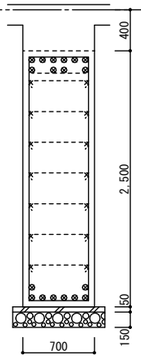
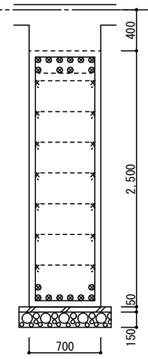
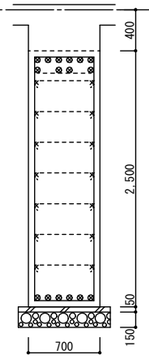
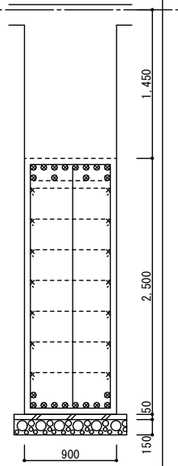
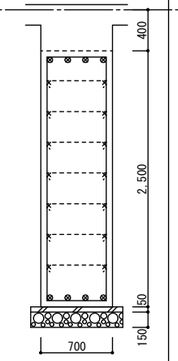
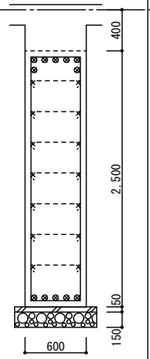
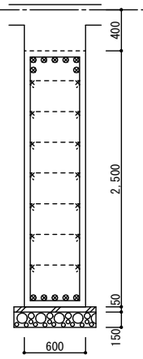
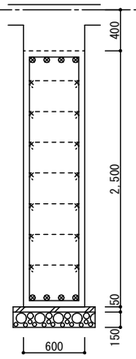
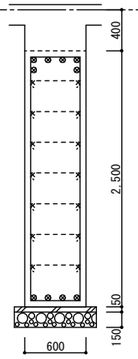
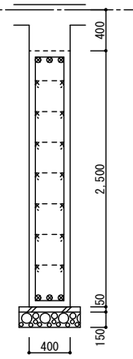
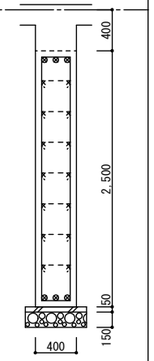
符　号	ＦＧＹ５			ＦＧＹ６	ＦＧＹ７	ＦＧＹ８	ＦＧＹ９	ＦＧＹ１０	ＦＧＹ１１
Ｂ × Ｄ	９５０×２，５００			７００×２，５００	７００×２，５００	７００×２，５００	７００×２，５００	４００×２，５００	４００×２，５００
位　置	Ｙ2端・Ｙ4端	中　央	Ｙ３端	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断　面									
上端筋	８－Ｄ２９	８／８－Ｄ２９	８／８－Ｄ２９	６／４－Ｄ２９	６／４－Ｄ２９	６／５－Ｄ２９	６／４－Ｄ２９	３－Ｄ２９	３－Ｄ２９
下端筋	８－Ｄ２９	８／２－Ｄ２９	８－Ｄ２９	６－Ｄ２９	６－Ｄ２９	６－Ｄ２９	６／２－Ｄ２９	３－Ｄ２９	３－Ｄ２９
スターラップ	３－Ｄ１３@１５０			□－Ｄ１３@１５０	□－Ｄ１３@１５０	□－Ｄ１３@１５０	□－Ｄ１３@１５０	□－Ｄ１３@２００	□－Ｄ１３@２００
腹　筋	１４－Ｄ１３			１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３

備　考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検　図	設　計	製　図	図面番号
	2018. 03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	基礎梁リスト［１］	1／30	1／60				Ｓ－２９

小　西　建　築　構　造　設　計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244－5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭

基礎梁リスト［２］

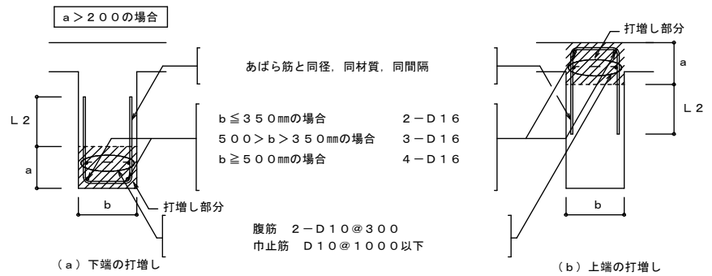
特記なき限り　巾止筋は　Ｄ１０@１０００以下とする。

符　号	ＦＧＸ１	ＦＧＸ２	ＦＧＸ３	ＦＧＸ４	ＦＧＸ４Ａ	ＦＧＸ５	ＦＧＸ６	ＦＧＸ７	ＦＧＸ８	ＦＧＸ９	ＦＧＸ１０	ＦＧＸ１１
Ｂ × Ｄ	７００×２，５００	７００×２，５００	７００×２，５００	７００×２，５００	９００×２，５００	７００×２，５００	６００×２，５００	６００×２，５００	６００×２，５００	６００×２，５００	４００×２，５００	４００×２，５００
位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断　面												
上端筋	６／６－Ｄ２９	６／４－Ｄ２９	６／４－Ｄ２９	６／４－Ｄ２９	８／４－Ｄ２９	４－Ｄ２９	５／２－Ｄ２９	５／２－Ｄ２９	４－Ｄ２９	４／２－Ｄ２９	３－Ｄ２９	３－Ｄ２９
下端筋	６／２－Ｄ２９	６／２－Ｄ２９	６／２－Ｄ２９	６－Ｄ２９	８／２－Ｄ２９	４－Ｄ２９	５－Ｄ２９	５－Ｄ２９	４－Ｄ２９	４－Ｄ２９	３－Ｄ２９	３－Ｄ２９
スターラップ	□－Ｄ１３@１５０	□－Ｄ１３@１５０	□－Ｄ１３@１５０	□－Ｄ１３@１５０	□３－Ｄ１３@１５０	□－Ｄ１３@１５０	□－Ｄ１３@２００	□－Ｄ１３@２００	□－Ｄ１３@２００	□－Ｄ１３@２００	□－Ｄ１３@２００	□－Ｄ１３@２００
腹　筋	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３	１４－Ｄ１３

打増し補強要領

ａ≦２００は標準図による。

ａ＞２００の場合

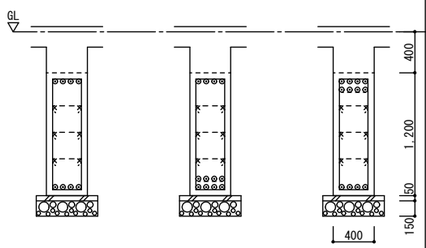
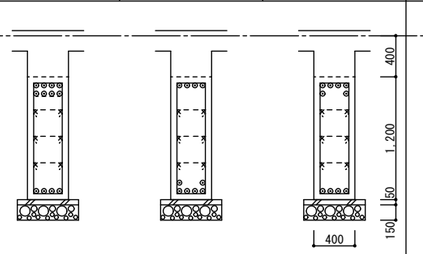
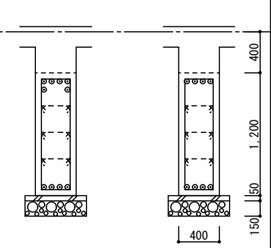
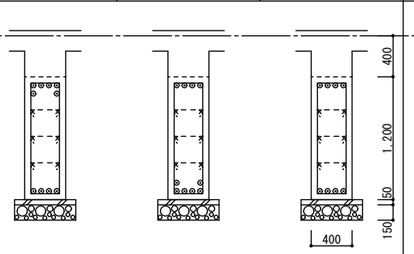
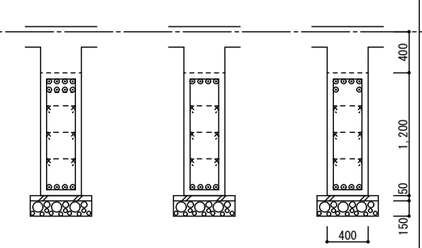
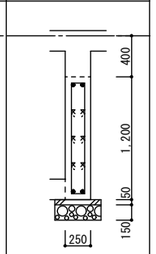


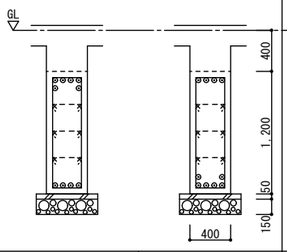
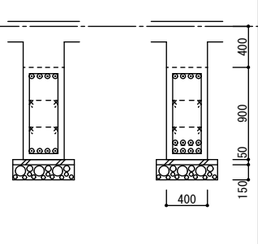
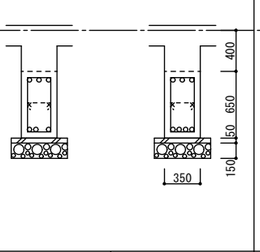
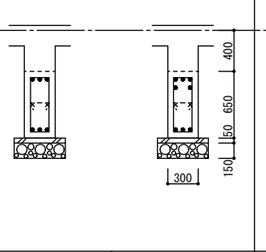
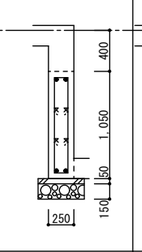
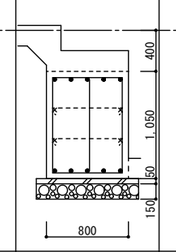
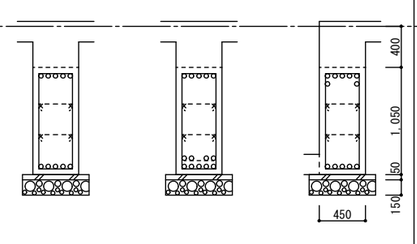
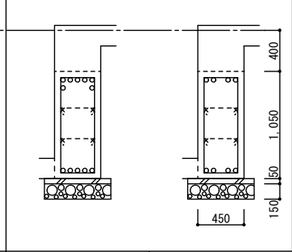
備　考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺Ａ１	縮尺Ａ３	検　図	設　計	製　図	図面番号
	2018. 03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	基礎梁リスト［２］	1／30	1／60				Ｓ－３０

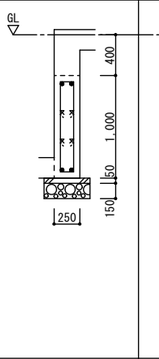
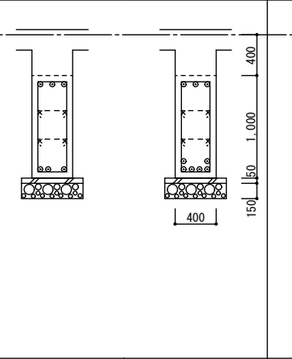
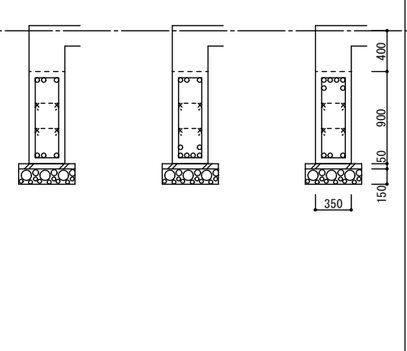
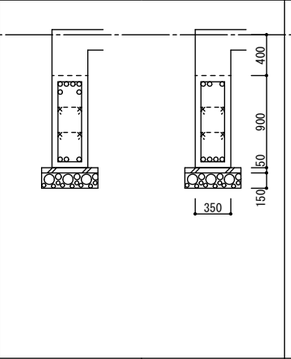
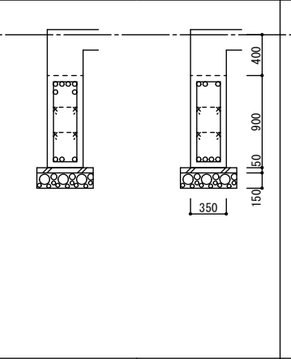
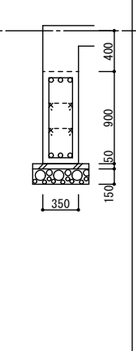
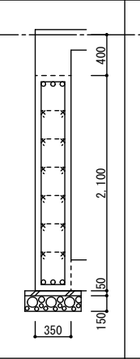
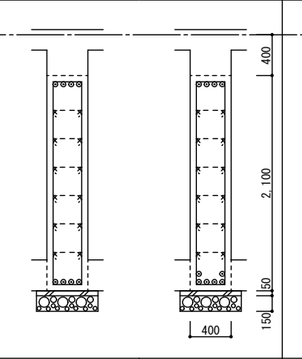
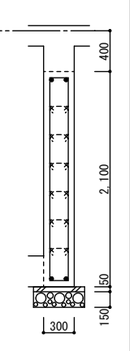
小　西　建　築　構　造　設　計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244－5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭

基礎小梁リスト［１］

特記なき限り　巾止筋は　Ｄ１０@１０００以下とする。

符　号	ｒＢ１			ｒＢ２			ｒＢ３		ｒＢ４			ｒＢ５			ｒＢ６
Ｂ×Ｄ	４００×１，２００			４００×１，２００			４００×１，２００		４００×１，２００			４００×１，２００			２５０×１，２００
位　置	Ｘ１端	中　央	Ｘ２端	Ｘ２端	中　央	Ｘ３端	両　端	中　央	Ｘ１１端	中　央	Ｘ１２端	X1端・X12端	中　央	X2端・X11端	全断面
断　面															
上端筋	４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４／４－Ｄ２５	４／４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４／２－Ｄ２５	４／２－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４／２－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４／４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４／２－Ｄ２５	２－Ｄ１９
下端筋	４－Ｄ２５	４／４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４／２－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４／２－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	２－Ｄ１９
スターラップ	□－Ｄ１３@２００			□－Ｄ１３@２００			□－Ｄ１３@２００		□－Ｄ１３@２００			□－Ｄ１３@２００			□－Ｄ１０@２００
腹　筋	６－Ｄ１３			６－Ｄ１３			６－Ｄ１３		６－Ｄ１３			６－Ｄ１３			６－Ｄ１３

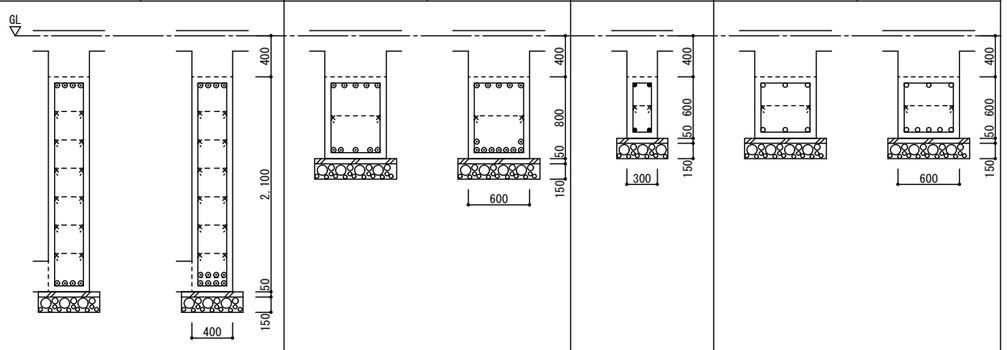
符　号	ｒＢ７		ｒＢ８		ｒＢ９		ｒＢ１０		ｒＢ１１	ｒＢ１２	ｒＢ１３			ｒＢ１４	
Ｂ×Ｄ	４００×１，２００		４００×９００		３５０×６５０		３００×６５０		２５０×１，０５０	８００×１，０５０	４５０×１，０５０			４５０×１，０５０	
位　置	両　端	中　央	両　端	中　央	両　端	中　央	他端・中央	Ｙ０Ｂ端	全断面	全断面	Ｙ１端	中　央	Ｙ２端	Ｙ２端・中央	他　端
断　面															
上端筋	４／２－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	３－Ｄ２２	３－Ｄ２２	３－Ｄ１９	３／２－Ｄ１９	２－Ｄ１９	５－Ｄ１９	５－Ｄ２２	５－Ｄ２２	５／２－Ｄ２２	５／２－Ｄ２２	４－Ｄ２２
下端筋	４－Ｄ２５	４／２－Ｄ２５	４－Ｄ２５	４／４－Ｄ２５	３－Ｄ２２	４－Ｄ２２	３－Ｄ１９	３－Ｄ１９	２－Ｄ１９	５－Ｄ１９	５－Ｄ２２	５／４－Ｄ２２	５－Ｄ２２	５－Ｄ２２	４－Ｄ２２
スターラップ	□－Ｄ１３@２００		□－Ｄ１３@２００		□－Ｄ１０@１５０		□－Ｄ１０@２００		□－Ｄ１０@２００	□３－Ｄ１３@２００	□－Ｄ１３@２００			□－Ｄ１３@２００	
腹　筋	６－Ｄ１３		４－Ｄ１３		２－Ｄ１３		２－Ｄ１３		４－Ｄ１３	４－Ｄ１３	４－Ｄ１３			２－Ｄ１３	

符　号	ｒＢ１５	ｒＢ１６		ｒＢ１７			ｒＢ１８		ｒＢ１９		ｒＢ２０	ｒＢ２１	ｒＢ２２		ｒＢ２３
Ｂ×Ｄ	２５０×１，０００	４００×１，０００		３５０×９００			３５０×９００		３５０×９００		３５０×９００	３５０×２，１００	４００×２，１００		３００×２，１００
位　置	全断面	両　端	中　央	Ｘ１端・Ｘ１２端	中　央	Ｘ２端・Ｘ１１端	両　端	中　央	Ｘ８端・Ｘ１１端	中央・他端	全断面	全断面	両　端	中　央	全断面
断　面															
上端筋	２－Ｄ１９	３－Ｄ２５	３－Ｄ２５	３－Ｄ２２	３－Ｄ２２	４／２－Ｄ２２	４／２－Ｄ２２	３－Ｄ２２	４／２－Ｄ２２	３－Ｄ２２	３－Ｄ２２	３－Ｄ２２	４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	２－Ｄ１９
下端筋	２－Ｄ１９	３－Ｄ２５	４／２－Ｄ２５	３－Ｄ２２	４／２－Ｄ２２	３－Ｄ２２	３－Ｄ２２	４－Ｄ２２	３－Ｄ２２	３－Ｄ２２	３－Ｄ２２	３－Ｄ２２	４－Ｄ２５	４／２－Ｄ２５	２－Ｄ１９
スターラップ	□－Ｄ１０@２００	□－Ｄ１３@２００		□－Ｄ１０@１５０			□－Ｄ１０@１５０		□－Ｄ１０@１５０		□－Ｄ１０@１５０	□－Ｄ１０@１５０	□－Ｄ１３@２００		□－Ｄ１０@２００
腹　筋	４－Ｄ１３	４－Ｄ１３		４－Ｄ１３			４－Ｄ１３		４－Ｄ１３		４－Ｄ１３	１２－Ｄ１３	１２－Ｄ１３		１２－Ｄ１３

備　考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図	設計者	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	基礎小梁リスト［１］	1／30	1／60				小西建築構造設計 一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号 一級建築士　第４３４７９号 構造設計一級建築士　第５６６５号 金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244－5615 小西　義昭	Ｓ－３１

基礎小梁リスト［２］

特記なき限り　巾止筋は　Ｄ１０@１０００以下とする。

符　号	ｒＢ２４		ｒＢ２５		ｒＢ２６	ｒＢ２７	
Ｂ × Ｄ	４００×２，１００		６００×８００		３００×６００	６００×６００	
位　置	両　端	中　央	両　端	中　央	全断面	両　端	中　央
断　面							
上端筋	４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	５－Ｄ２５	５－Ｄ２５	２－Ｄ１９	３－Ｄ２２	３－Ｄ２２
下端筋	４－Ｄ２５	４／４－Ｄ２５	５－Ｄ２５	７／２－Ｄ２５	２－Ｄ１９	３－Ｄ２２	５－Ｄ２２
スターラップ	□－Ｄ１３@２００		□－Ｄ１３@２００		□－Ｄ１０@２００	□－Ｄ１３@２００	
腹　筋	１２－Ｄ１３		２－Ｄ１３		２－Ｄ１３	２－Ｄ１３	

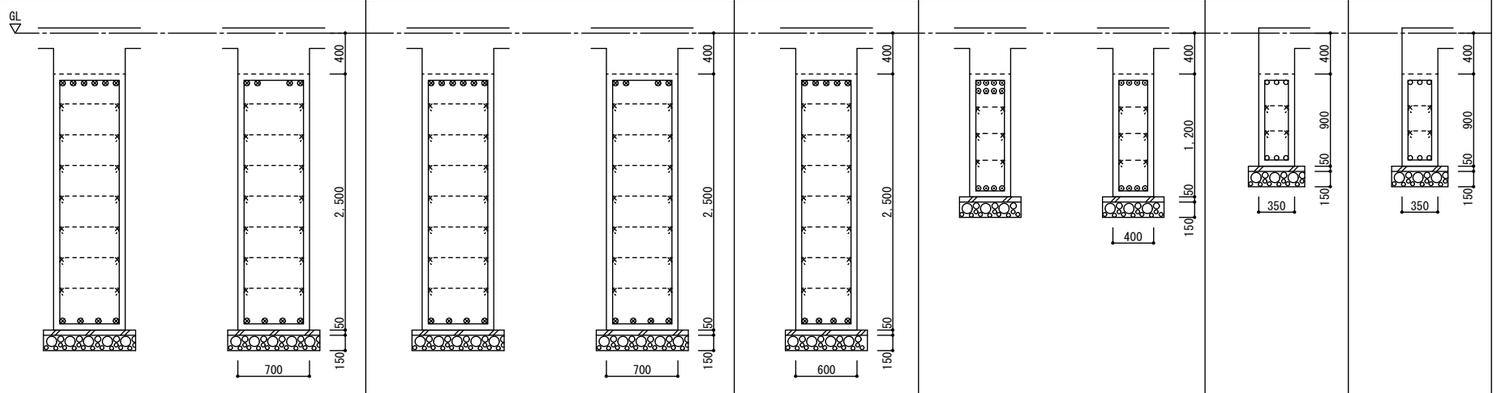
スラブリスト

特記なき限り　土に接するスラブの砕石厚は１００ｍｍ，捨てコン厚は５０ｍｍとする。

符　号	厚　さ	位　置	短辺方向	長辺方向	備　考
Ｓ１	２００	上端筋	Ｄ１０，Ｄ１３交互 @２００	Ｄ１０，Ｄ１３交互 @２００	
		下端筋	Ｄ１０ @２００	Ｄ１０ @２００	
Ｓ２	２００	上端筋	Ｄ１０，Ｄ１３交互 @１５０	Ｄ１０，Ｄ１３交互 @２００	
		下端筋	Ｄ１０ @１５０	Ｄ１０ @２００	
Ｓ３	２００	上端筋	Ｄ１０，Ｄ１３交互 @１２５	Ｄ１０，Ｄ１３交互 @２００	
		下端筋	Ｄ１０ @１２５	Ｄ１０ @２００	
Ｓ４	２００	上端筋	Ｄ１０，Ｄ１３交互 @１５０	Ｄ１０，Ｄ１３交互 @１５０	
		下端筋	Ｄ１０ @１５０	Ｄ１０ @１５０	
Ｓ５	２００	上端筋	Ｄ１０ @２００	Ｄ１０ @２００	
		下端筋	Ｄ１０ @２００	Ｄ１０ @２００	
ＫＳ１	２００	上端筋	Ｄ１０，Ｄ１３交互 @２００	Ｄ１０ @２００	
		下端筋	Ｄ１０ @２００	Ｄ１０ @２００	
ＦＳ１	２００	上端筋	Ｄ１３ @２００	Ｄ１３ @２００	砕石　ｔ＝１５０ 捨てコン　ｔ＝５０
		下端筋	Ｄ１３ @２００	Ｄ１３ @２００	
ＦＳ２	３００	上端筋	Ｄ１６ @２００	Ｄ１６ @２００	砕石　ｔ＝１５０ 捨てコン　ｔ＝５０
		下端筋	Ｄ１６ @２００	Ｄ１６ @２００	
ＦＳ３	３００	上端筋	Ｄ１６ @１５０	Ｄ１６ @１５０	砕石　ｔ＝１５０ 捨てコン　ｔ＝５０
		下端筋	Ｄ１６ @１５０	Ｄ１６ @１５０	

基礎片持ち梁リスト

特記なき限り　巾止筋は　Ｄ１０@１０００以下とする。

符　号	ＫｒＦＧ１		ＫｒＦＧ２		ＫｒＦＧ３	ＫｒＢ１		ＫｒＢ２	ＫｒＢ３
Ｂ × Ｄ	７００×２，５００		７００×２，５００		６００×２，５００	４００×１，２００		３５０×９００	３５０×９００
位　置	基　端	先　端	基　端	先　端	全断面	基　端	先　端	基　端	基　端
断　面									
上端筋	６－Ｄ２９	４－Ｄ２９	６－Ｄ２９	４－Ｄ２９	５－Ｄ２９	４／４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	３－Ｄ２２	３－Ｄ２２
下端筋	４－Ｄ２９	４－Ｄ２９	４－Ｄ２９	４－Ｄ２９	４－Ｄ２９	４－Ｄ２５	４－Ｄ２５	３－Ｄ２２	３－Ｄ２２
スターラップ	□－Ｄ１３@１５０		□－Ｄ１３@１５０		□－Ｄ１３@２００	□－Ｄ１３@２００		□－Ｄ１０@１５０	□－Ｄ１０@１５０
腹　筋	１４－Ｄ１３		１４－Ｄ１３		１４－Ｄ１３	６－Ｄ１３		４－Ｄ１３	４－Ｄ１３

備　考	設計年月日 2018．03	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	図面名 基礎小梁リスト［２］，基礎片持ち梁リスト，スラブリスト	縮尺A1 1／30 縮尺A3 1／60	検図	設計	製図

小　西　建　築　構　造　設　計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244－5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭

図面番号 Ｓ－３２

鉄骨柱リスト

符号・部位	サイズ	材質	備考
3C1	○−950×25	STKN490B	
3C2	□−500×500×19	BCR295	
3C3	○−600×16	STKN400B	
3C4	○−450×16	STKN400B	
3C5	□−400×400×19	BCR295	
3C6	○−450×16	STKN400B	
2C1	○−950×25	STKN490B	
2C2	□−500×500×19	BCR295	
2C3	○−600×16	STKN400B	
2C4	○−450×16	STKN400B	
2C5	□−400×400×19	BCR295	
2C6	○−450×16	STKN400B	
1C1	○−950×32	STKN490B	柱脚 ハイベースNEO GM950−8−64
1C2	□−500×500×19	BCR295	柱脚 ハイベースNEO EB500−8−42
1C3	○−600×19	STKN400B	柱脚 ハイベースNEO GM600−8−48
1C4	○−450×16	STKN400B	柱脚 ハイベースNEO EM450−8−36
1C5	□−400×400×19	BCR295	柱脚 ハイベースNEO EB400−8−36
1C6	○−450×16	STKN400B	柱脚 ハイベースNEO EM450−8−36
1C7	○−406．4×16	STKN400B	柱脚 ハイベースNEO EM400−8−36
1C8	○−406．4×12	STKN400B	柱脚 ハイベースNEO EM400−8−36

鉄骨小梁・片持梁リスト

符号・部位	サイズ	材質	備考
B15	H−150×75×5×7	SS400	
B17	H−175×90×5×8	SS400	
B20	H−200×100×5．5×8	SS400	
B25	H−250×125×6×9	SS400	
B30	H−300×150×6．5×9	SS400	
B35	H−350×175×7×11	SS400	
B40	H−400×200×8×13	SS400	
B45	H−450×200×9×14	SS400	
B50	H−500×200×10×16	SS400	
B44	H−440×300×11×18	SS400	
B48	H−488×300×11×18	SS400	
B70	H−700×300×13×24	SS400	
B25A	H−250×125×6×9	SS400	剛接合のジョイントまでをSN400Bとする。 継手番号：J51
B35A	H−350×175×7×11	SS400	剛接合のジョイントまでをSN400Bとする。 継手番号：J52
B40A	H−400×200×8×13	SS400	剛接合のジョイントまでをSN400Bとする。 継手番号：J53
B45A	H−450×200×9×14	SS400	剛接合のジョイントまでをSN400Bとする。 継手番号：J54
B50A	H−500×200×10×16	SS400	剛接合のジョイントまでをSN400Bとする。 継手番号：J55
B39A	H−390×300×10×16	SS400	剛接合のジョイントまでをSN400Bとする。 継手番号：J56
B44A	H−440×300×11×18	SS400	剛接合のジョイントまでをSN400Bとする。 継手番号：J57
B60A	SHH−600×250×9×19	SN400B	継手番号：J58
KB25	H−250×125×6×9	SN400B	
KB35	H−350×175×7×11	SN400B	継手番号：J52
KB40	H−400×200×8×13	SN400B	継手番号：J53
KB45	H−450×200×9×14	SN400B	継手番号：J54
KB50	H−500×200×10×16	SN400B	継手番号：J55
KB39	H−390×300×10×16	SN400B	継手番号：J56
K30	H−300×150×6．5×9	SN400B	
K40	H−400×200×8×13	SN400B	継手番号：J53
K45	H−450×200×9×14	SN400B	継手番号：J54
K50	H−500×200×10×16	SN400B	継手番号：J55
K39	H−390×300×10×16	SN400B	継手番号：J56
K39A	先端：H−390×300×10×16 基端：BH−440～390×300×12×16	SN400B	継手番号：J56

鉄骨大梁リスト

符号・部位	サイズ	材質	備考
RGY1	BH−1250×400×19×36	SN400B	継手番号：J17
RGY2	SHH−700×300×16×32	SN400B	継手番号：J12
RGY3	H−700×300×13×24	SN400B	継手番号：J5
RGY4	SHH−700×300×16×32	SN400B	継手番号：J12
RGY5	H−700×300×13×24	SN400B	継手番号：J5
RGY6	H−450×200×9×14	SN400B	継手番号：J2
RGY7	H−400×200×8×13	SN400B	継手番号：J1
RGY8	H−700×300×13×24	SN400B	継手番号：J5
RGY9	H−400×200×8×13	SN400B	継手番号：J1
RGX1	SHH−500×300×12×22	SN400B	継手番号：J9
RGX2	SHH−500×300×12×22	SN400B	継手番号：J9
RGX3	SHH−500×300×12×22	SN400B	継手番号：J9
RGX4	SHH−450×250×9×19	SN400B	継手番号：J7
RGX5	SHH−450×250×9×19	SN400B	継手番号：J7
RGX6	BH−400×250×9×19	SN400B	継手番号：J15
3GY2	SHH−700×350×16×36	SN400B	継手番号：J13
3GY3	SHH−700×300×16×32	SN400B	継手番号：J12
3GY8	H−700×300×13×24	SN400B	継手番号：J5
3GY9	H−450×200×9×14	SN400B	継手番号：J2
3GX3	SHH−500×300×12×25	SN400B	継手番号：J10
3GX5	SHH−450×250×9×22	SN400B	継手番号：J8
3GX6	SHH−450×250×9×22	SN400B	継手番号：J8
2GY1	BH−1600×450×28×40	SN490B	継手番号：J18
2GY2	SHH−900×350×16×28	SN490B	継手番号：J14
2GY3	SHH−900×350×16×28	SN490B	継手番号：J14
2GY4	SHH−900×350×16×28	SN490B	継手番号：J14
2GY5	H−900×300×16×28	SN490B	継手番号：J6
2GY6	H−488×300×11×18	SN400B	継手番号：J4
2GY7	H−440×300×11×18	SN400B	継手番号：J3
2GY8	H−700×300×13×24	SN400B	継手番号：J5
2GY9	SHH−500×300×12×25	SN400B	継手番号：J10
2GY10	H−450×200×9×14	SN400B	継手番号：J2
2GY11	H−450×200×9×14	SN400B	継手番号：J2
2GX1	H−700×300×13×24	SN400B	継手番号：J5
2GX2	SHH−700×350×16×36	SN400B	継手番号：J13
2GX2A	BH−700×350×16×40	SN400B	継手番号：J16
2GX3	H−700×300×13×24	SN400B	継手番号：J5
2GX4	SHH−700×250×12×25	SN400B	継手番号：J11
2GX5	H−700×300×13×24	SN400B	継手番号：J5
2GX6	SHH−700×250×12×25	SN400B	継手番号：J11
2GX7	H−450×200×9×14	SN400B	継手番号：J2
2GX8	H−450×200×9×14	SN400B	継手番号：J2

その他鉄骨部材リスト

原則、プレートの材質はＳＮ４００Ｂとする。

符号・部位	サイズ	材質	備考
P17	H−175×90×5×8	SS400	
P19	H−194×150×6×9	SS400	G．PL−6，H．S．B．2−M16
P15	H−150×150×7×10	SS400	G．PL−9，H．S．B．2−M16
T15	H−150×150×7×10	SS400	
T20	H−200×200×8×12	SS400	
H19	H−194×150×6×9（横使い）	SS400	G．PL−6，H．S．B．2−M16
H24	H−244×175×7×11（横使い）	SS400	G．PL−9，H．S．B．2−M16
母屋	C−100×50×20×3．2@450	SSC400	G．PL−9，中ボルト2−M12
屋根面ブレース	L−75×75×6	SS400	G．PL−9，H．S．B．5−M16
ササラ桁	PL−16×400	SS400	G．PL−16，H．S．B．2−M16
r1	2［−100×50×5×7．5	SS400	
r2	2C−100×50×20×3．2	SS400	
r3	2C−100×50×20×3．2	SS400	
r4	2C−100×50×20×3．2	SS400	
吊り材	L−65×65×6	SS400	

ＥＶの鉄骨部材は建築工事とする。（エレベーター図参照）

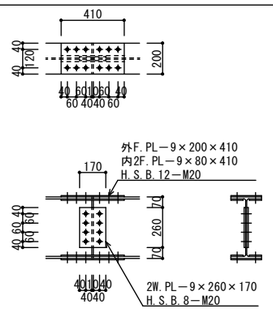
備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	検図	設計	製図		図面番号
	2018．03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル） 建設工事（建築）	鉄骨部材リスト	N．S． 縮尺A3 N．S．				小西建築構造設計 金沢市泉野町６丁目１５番１号 TEL（076）244−5615	一級建築士事務所石川県知事登録 第１８０４号 一級建築士 第４３４７９号 構造設計一級建築士 第５６６５号 小西 義昭	S−33

大梁継手リスト

継手番号Ｊ１８（２ＧＹ１）はトルシア形超高カボルト（F14Tクラス）、その他はトルシア形高カボルト（S10T)を使用する。
スプライスプレートの材質は、梁と同材質とする。

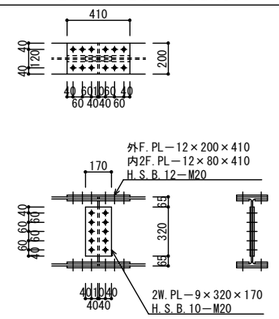
Ｊ１　Ｈ－４００×２００×８×１３(SN400B)

RGY7, RGY9



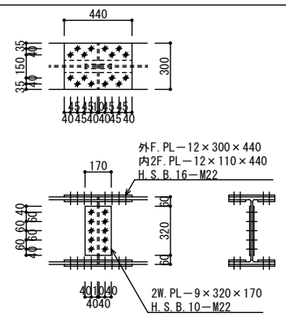
Ｊ２　Ｈ－４５０×２００×９×１４(SN400B)

RGY6, 3GY9, 2GY10
2GY11, 2GX7, 2GX8



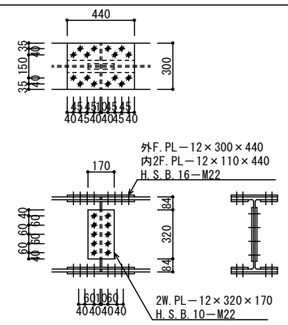
Ｊ３　Ｈ－４４０×３００×１１×１８(SN400B)

2GY7



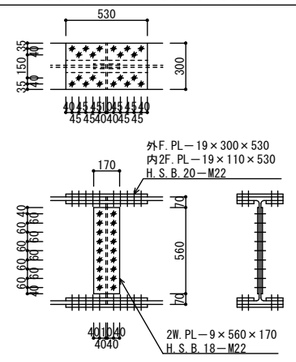
Ｊ４　Ｈ－４８８×３００×１１×１８(SN400B)

2GY6



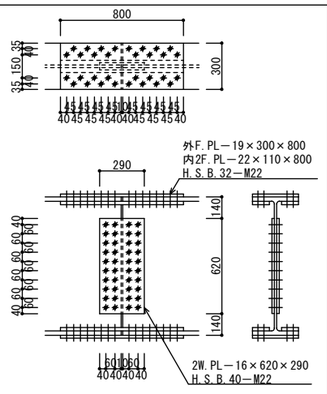
Ｊ５　Ｈ－７００×３００×１３×２４(SN400B)

RGY3, RGY5, RGY8, 3GY8
2GY8, 2GX1, 2GX3, 2GX5



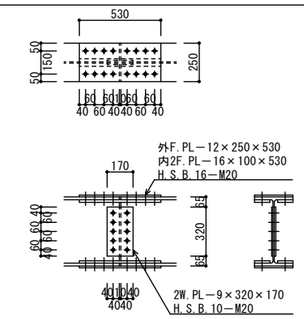
Ｊ６　Ｈ－９００×３００×１６×２８(SN490B)

2GY5



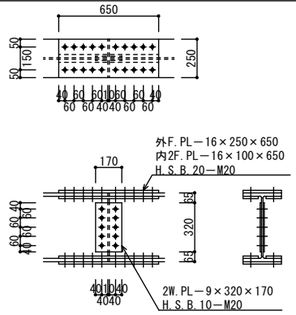
Ｊ７　ＳＨＨ－４５０×２５０×９×１９(SN400B)

RGX4, RGX5



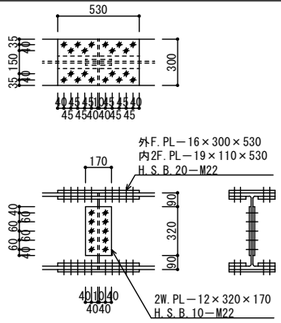
Ｊ８　ＳＨＨ－４５０×２５０×９×２２(SN400B)

3GX5, 3GX6



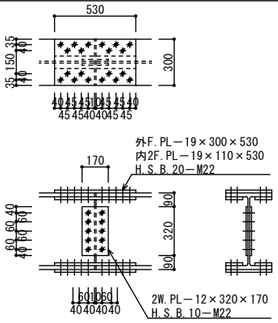
Ｊ９　**ＳＨＨ－５００×３００×１２×２２(SN400B)**

RGX1, RGX2, RGX3



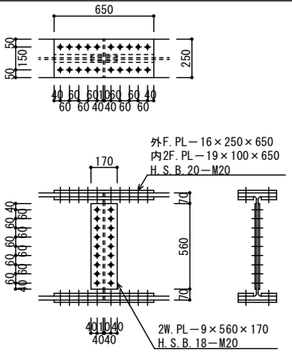
Ｊ１０　ＳＨＨ－５００×３００×１２×２５(SN400B)

3GX3, 2GY9



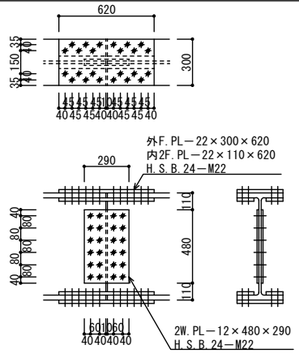
Ｊ１１　ＳＨＨ－７００×２５０×１２×２５(SN400B)

2GX4, 2GX6



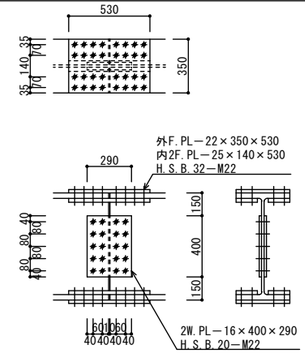
Ｊ１２　ＳＨＨ－７００×３００×１６×３２(SN400B)

RGY2, RGY4, 3GY3



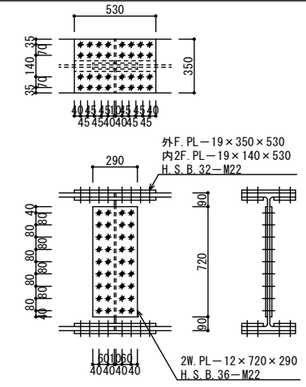
Ｊ１３　ＳＨＨ－７００×３５０×１６×３６(SN400B)

3GY2, 2GX2



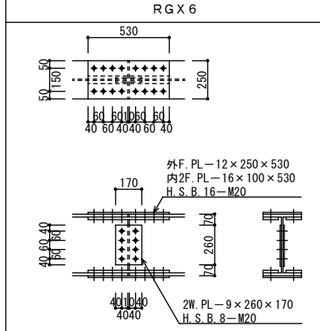
Ｊ１４　ＳＨＨ－９００×３５０×１６×２８(SN490B)

2GY2, 2GY3, 2GY4



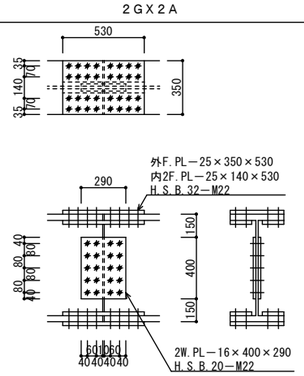
Ｊ１５　ＢＨ－４００×２５０×９×１９(SN400B)

RGX6



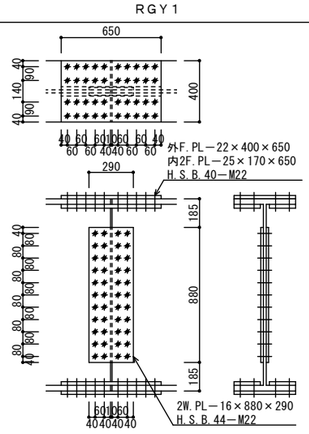
Ｊ１６　ＢＨ－７００×３５０×１６×４０(SN400B)

2GX2A



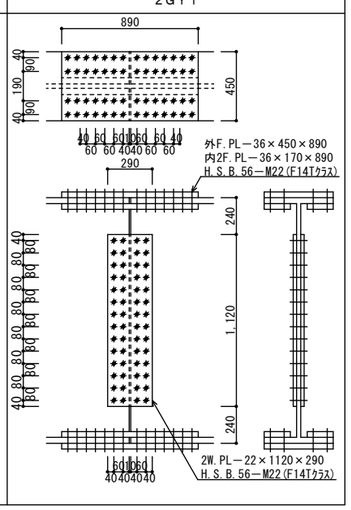
Ｊ１７　ＢＨ－１２５０×４００×１９×３６(SN400B)

RGY1



Ｊ１８　ＢＨ－１６００×４５０×２８×４０(SN490B)

2GY1



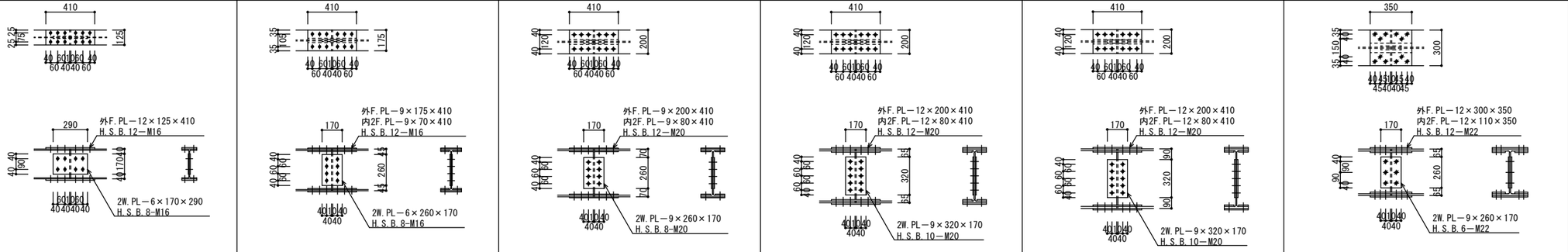
備　考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検　図	設　計	製　図	図面番号
	2018. 03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	大梁継手リスト	1／20	1／40				S－３４

小　西　建　築　構　造　設　計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244－5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号
小西　義昭

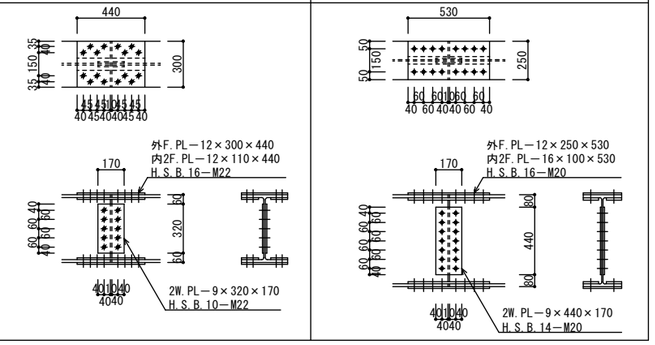
小梁・片持ち梁継手リスト

トルシア形高力ボルト（S10T)を使用する。
小梁のスプライスプレートの材質は、梁の中央と同材質とする。
片持ち梁のスプライスプレートの材質は、梁と同材質とする。鉛直ハンチの箇所で、厚さが異なる場合はフィラープレートを設ける。

J51 H−250×125×6×9(SS400)	J52 H−350×175×7×11 (B35A:SS400) (KB35:SN400B)	J53 H−400×200×8×13 (B40A:SS400) (KB40, K40:SN400B)	J54 H−450×200×9×14 (B45A:SS400) (KB45, K45:SN400B)	J55 H−500×200×10×16 (B50A:SS400) (KB50, K50:SN400B)	J56 H−390×300×10×16 (B39A:SS400) (KB39, K39, K39A:SN400B)
B25A	B35A, KB35	B40A, KB40, K40	B45A, KB45, K45	B50A, KB50, K50	B39A, KB39, K39, K39A



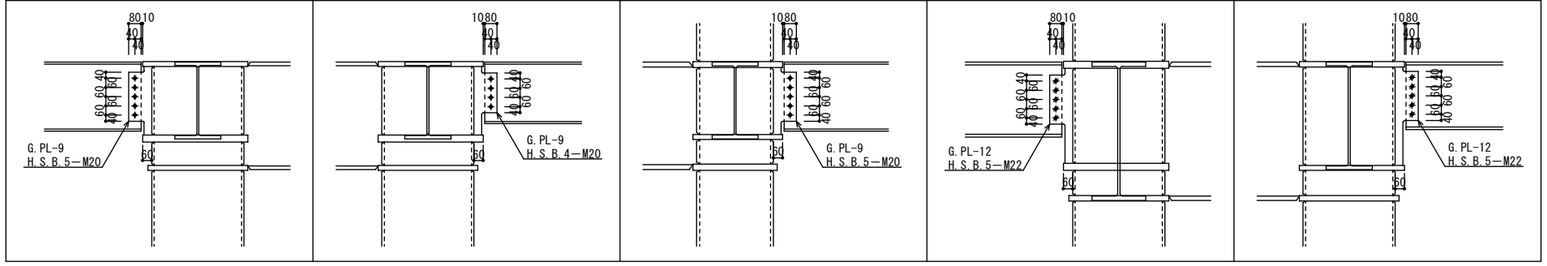
J57 H−440×300×11×18(SS400)	J58 SHH−600×250×9×19(SN400B)
B44A	B65A



大梁仕口リスト

トルシア形高力ボルト（S10T)を使用する。
特記なき限り　プレートの材質は、ＳＮ４００Ｂとする。

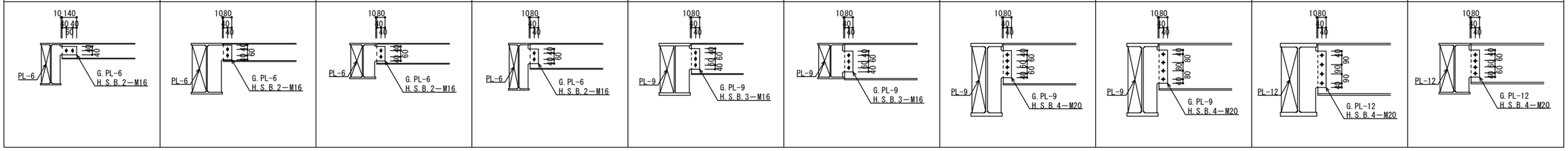
RGY6	RGY7, RGY9	3GY9, 2GY10, 2GY11	2GY6	2GY7
H−450×200×9×14	H−400×200×8×13	H−450×200×9×14	H−488×300×11×18	H−440×300×11×18



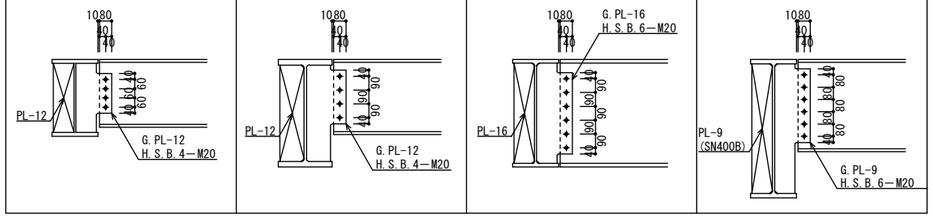
小梁仕口リスト

トルシア形高力ボルト（S10T)を使用する。
特記なき限り　プレートの材質は、ＳＮ４００Ｂとする。

B15	B17	B20	B25, B25A	B30	B35, B35A	B40, B40A	B45, B45A	B50, B50A	B39A
H−150×75×5×7	H−175×90×5×8	H−200×100×5．5×8	H−250×125×6×9	H−300×150×6．5×9	H−350×175×7×11	H−400×200×8×13	H−450×200×9×14	H−500×200×10×16	H−390×300×10×16



B44, B44A	B48	B70	B60A
H−440×300×11×18	H−488×300×11×18	H−700×300×13×24	SHH−600×250×9×19



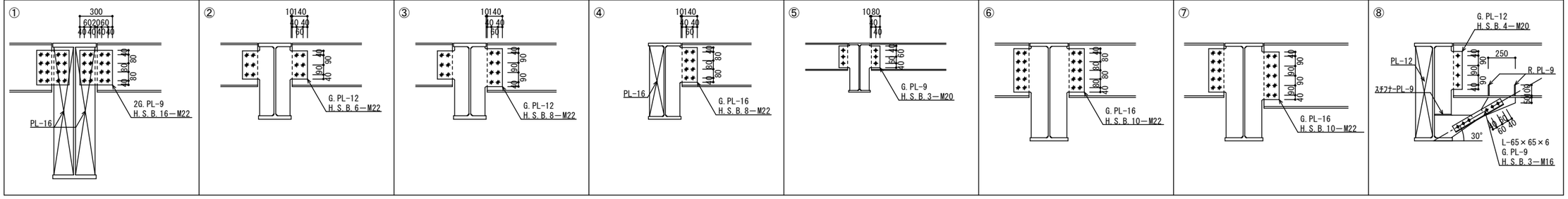
備　考	設計年月日 2018.03	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	図面名 小梁・片持ち梁継手リスト，大梁仕口リスト，小梁仕口リスト	縮尺A1 1／20 縮尺A3 1／40	検図	設計	製図	小西建築構造設計 金沢市泉野町６丁目１５番１号 TEL(076)244−5615	一級建築士事務所石川県知事登録 第１８０４号 一級建築士 第４３４７９号 構造設計一級建築士 第５６６５号 小西 義昭	図面番号 S−35

横補剛材兼用小梁仕口リスト

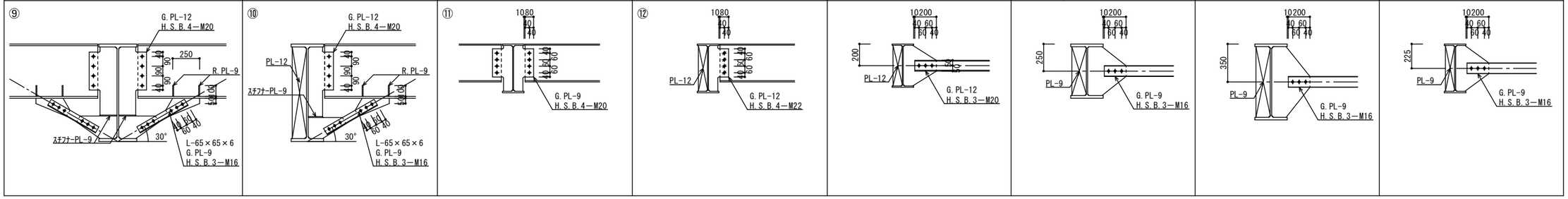
トルシア形高力ボルト（S10T)を使用する。
特記なき限り　プレートの材質は、ＳＮ４００Ｂとする。

①，②，③・・・横補剛兼用小梁仕口番号

RGY1に取り付く小梁　B45	RGY2，RGY4に取り付く小梁　B40	RGY2，RGY4に取り付く小梁　B45	RGY3，RGY5に取り付く小梁　B40	RGY6取り付く小梁　B25	2GY2取り付く小梁　B50	2GY2取り付く小梁　B60A	2GY2,2GY3,2GY4に取り付く小梁 B50
H−450×200×9×14	H−400×200×8×13	H−450×200×9×14	H−400×200×8×13	H−250×125×6×9	H−500×200×10×16	SHH−600×250×9×19	H−500×200×10×16



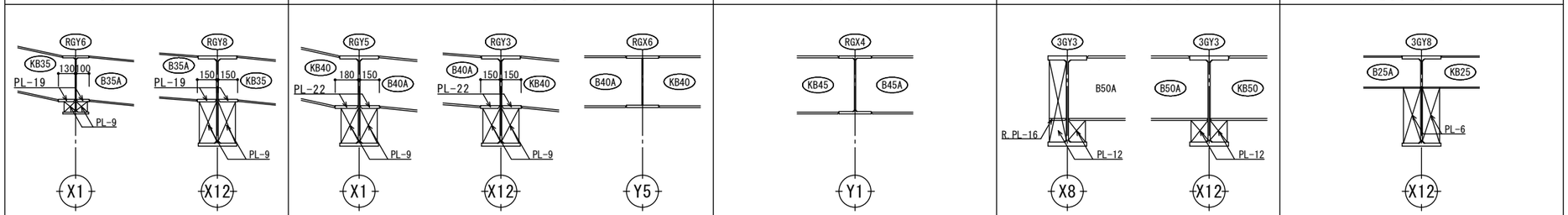
2GY4に取り付く小梁　B50	2GY5に取り付く小梁　B50	2GX7取り付く小梁　B35	2GX7取り付く小梁　B35	r1	r2	r3	r4
H−500×200×10×16	H−500×200×10×16	H−350×175×7×11	H−350×175×7×11	2［−100×50×5×7．5	2C−100×50×20×3．2	2C−100×50×20×3．2	2C−100×50×20×3．2



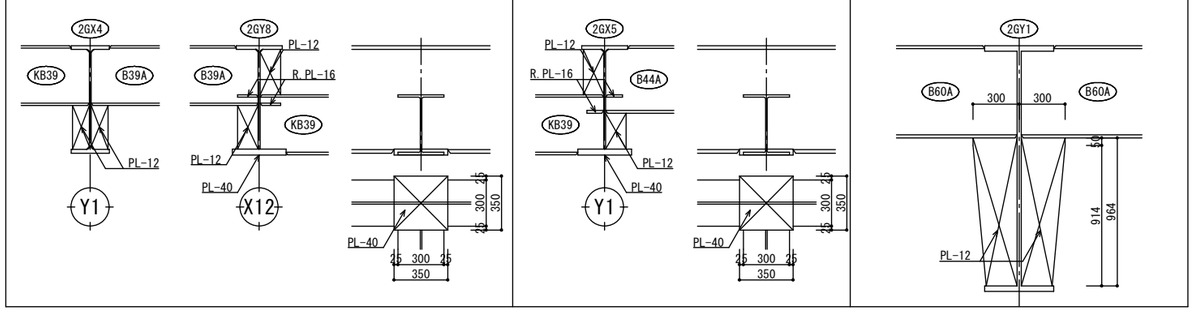
剛接合小梁リスト

特記なき限り　プレートの材質は、ＳＮ４００Ｂとする。

剛接合で取り付く小梁　KB35，B35A（R階）	剛接合で取り付く小梁　KB40，B40A（R階）	剛接合で取り付く小梁　KB45，B45A（R階）	剛接合で取り付く小梁　KB50，B50A（3階）	剛接合で取り付く小梁　KB25，B25A（3階）
H−350×175×7×11	H−400×200×8×13	H−450×200×9×14	H−500×200×10×16	H−250×125×6×9



剛接合で取り付く小梁　KB39，B39A（2階）	剛接合で取り付く小梁　B44A（2階）	剛接合で取り付く小梁　B60A（2階）
H−390×300×10×16	H−440×300×11×18	SHH−600×250×9×19



備　考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図	図面番号
	2018．03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	横補剛材兼用小梁仕口リスト，剛接合小梁リスト	1／20	1／40				S−36

小　西　建　築　構　造　設　計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244−5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号
小西　義昭

ハイベースNEO工法設計施工標準

（ハイベースNEO工法 Gタイプ は、S造及びCFT造に適用）
（ハイベースNEO工法 エコタイプ は、S造に適用）

2018/2

大臣認定　MSTL-0404,0180（Gタイプ用ベースプレート）
　　MBLT-0042～0046（アンカー用ボルトセット）
BCJ評定　BCJ評定-ST0058（Gタイプ）
　　BCJ評定-ST0059（エコタイプ）

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書 ＪＡＳＳ ６ 鉄骨工事、建築工事標準仕様書同解説 ＪＡＳＳ ５ 鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

設　　計

１．材質

（１） ベースプレート・アンカーボルト・ナット・座金・定着板

エコタイプ（ＥＢ型式、EM型式、EH型式）

	ベースプレート		アンカーボルト※2	エコナット※2	ナット※2	座　金※2	定着板
規　格	JIS G3136	TMCP鋼※4	HAB（大臣認定取得材）	大臣認定取得材	ＪＩＳ Ｂ１１８１（六角ナット）	ＪＩＳ Ｇ３１０６	ＪＩＳ Ｇ３１０１（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	—	—	メートル並目	メートル並目	メートル並目	—	—
備　考	SN490B 板厚40mm以下	SN490相当 板厚40mm超	降伏比 ７０%以下	–	強度区分5	SM490A	SS400

エコタイプのベースプレート上ナットはエコナットを使用する。

Gタイプ（ＧＢ型式、GM型式、GH型式）

	ベースプレート※1	アンカーボルト※2	ナット※2	座　金※2	定着板
規　格	HCW490b HCW490st	HAB（大臣認定取得材）	ＪＩＳ Ｂ１１８１（六角ナット）	ＪＩＳ Ｇ３１０６	ＪＩＳ Ｇ３１０１（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	—	メートル並目※3	メートル並目※2 強度区分5（二重ナット時） 強度区分6（一重ナット時）	—	—
備　考	SN490B同等	降伏比 ７０%以下		SM490A	SS400

※1　国土交通大臣認定（ＭＳＴＬ-０４０４、０１８０）　※2　国土交通大臣認定（ＭＢＬＴ-００４２～００４６）
※3　Ｍ７２は細目ねじ　※4　建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定を取得した材料を使用

（２）ベースプレート下面のモルタル

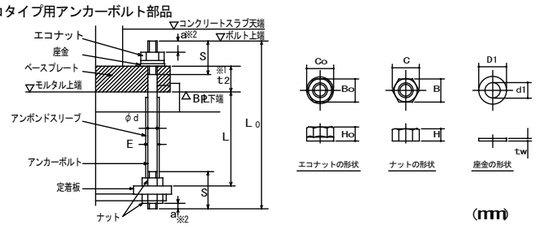
後詰めモルタル	ハイベース工法無収縮モルタルＮＸ２０００、又はクイック３
中心塗部分モルタル	○無収縮性モルタルパッド用（固練り）又は普通モルタル（ＮＸ２０００及びクイック３は使用不可。） ○強度はこれに接するコンクリートの強度以上

（３）基礎・基礎ばり

コンクリート	○日本建築学会「ＪＡＳＳ ５ 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート ○設計基準強度は、Ｆｃ＝１８～３６Ｎ／ mm²
鉄　筋	ＪＩＳ Ｇ３１１２「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる、熱間圧延異形棒鋼

２．アンカーボルトのセット寸法

エコタイプ用アンカーボルト部品



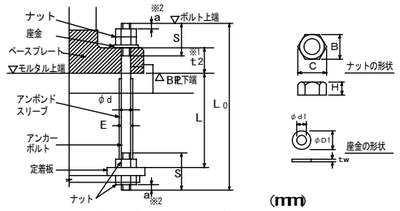
(mm)

ねじの呼び	アンカーボルト 軸径	ねじ ピッチ	ねじ 長さ	余長※2	定着長さ	アンボンドスリーブ 全長	エコナット 外径	高さ	二面幅	対角距離	ナット 高さ	二面幅	対角距離	座金 厚さ	内径	外径
	φd	P	S	a	L	LO	E	HO	BO	CO	H	B	C	tw	φd1	φD1
M24	24	3	95 105	10	400 480	550 645	29	22	46	53	19	36	42	6	25	44
M30	30	3.5	110 130	13	400 600	580 800	35	27	50	58	24	46	53	6	31	60
M36	36	4	130	16	480 720	690 925	41	33	55	64	29	55	64	6	37	66
M42	42	4.5	155	18	840	1080	48	38	65	75	34	65	75	9	43	78

※1　t_2 はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースNEO型式によって変わります。
※2　a 寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。
　　施工時は、ねじ山が最低３山ナットの外に出るように余長を確保してください。
※3　上段はEB型式及びEM型式のアンカーボルト４本タイプ、下段はそれ以外のエコタイプの場合の寸法です。

⚠注意
・エコタイプのアンカーボルトはシングルナットとしておりますので、ゆるみ止め処置としてコンクリートスラブで被覆してください。
・コンクリートによる被覆を行わない場合は、二重ナット等のゆるみ止め処置が必要です。その場合、せん断耐力が変わる可能性がありますのでセンクシアにご相談ください。
・アンカーボルト上部には必ずエコナットを使用してください。通常のナットでは所定の性能が発揮できません。

Gタイプ用アンカーボルト部品



(mm)

ねじの呼び	アンカーボルト 軸径	ねじ ピッチ	ねじ 長さ	余長※2	定着長さ	アンボンドスリーブ 全長	ナット 外径	高さ	二面幅	対角距離	座金 厚さ	内径	外径
	φd	P	S	a	L	LO	E	H	B	C	tw	φd1	φD1
M24	24	3	105	10	480	645	29	19	36	42	6	25	44
M30	30	3.5	130	13	600	800	35	24	46	53	6	31	56
M36	36	4	130 165	16	720	925 955	41	29	55	64	6	37	66
M42	42	4.5	165 175	18	840	1060 1080	48	34	65	75	9	43	78
M48	48	5	190	22	960	1220 1230	54	38	75	87	9	50	92
M56	56	5.5	185 210	24	1120	1420 1470	62	45	85	98	9	58	105
M64	64	6	200 230	28	1280	1610 1660	70	51	95	110	12	66	115
M72	72	6	250	30	1440	1850	79	58	105	121	12	74	125

※1　t_2 はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースNEO型式によって変わります。

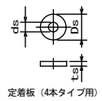
※2　a 寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。
施工時は、ねじ山が最低３山ナットの外に出るように余長を確保してください。

※3　上段はGB型式及びGM型式の場合、下段はGH型式の場合の寸法です。

⚠注意
・Gタイプのアンカーボルトは二重ナットを標準としていますが、一重ナットでも適用可能です。
・一重ナットとする場合は、コンクリートに埋め込む等のゆるみ止め処置が必要です。（一重ナットとする場合は、センクシアにご相談ください。）

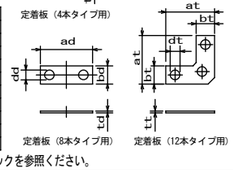
ベースプレートのアンカーボルト孔径　(mm)

ねじの呼び	M24	M30	M36	M42	M48	M56	M64	M72
エコタイプ孔径	38	44	50	57	–	–	–	–
Gタイプ孔径	–	38	45	53	61	70	79	87



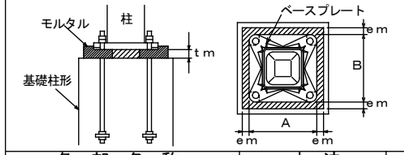
定着板（エコタイプ、Gタイプ共通）　(mm)

ねじの呼び	4本タイプ用 厚さ ts	外径 Ds	内径 ds	8本タイプ用 厚さ td	長さ ad	幅 bd	内径 dd	12本タイプ用 厚さ tt	長さ at	幅 bt	内径 dt
M24	16	70	27	9	180	65	33	–	–	–	–
M30	16	90	33	9	215	75	39	–	–	–	–
M36	19	100	39	9	240	85	45	9	225	85	45
M42	22	120	45	9	270	95	52	9	260	95	52
M48	25	140	52	9	305	110	60	9	295	110	60
M56	28	160	60	12	330	130	68	12	340	130	68
M64	32	180	68	12	380	145	76	16	375	145	76
M72	–	–	–	16	380	145	76	16	375	145	76



ベースプレートの形状・寸法は、ハイベースNEO工法設計ハンドブックを参照ください。

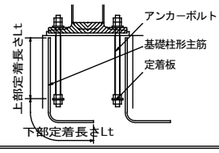
３．ベースプレート下面モルタルの標準寸法



基礎柱形のへりあき量は、ベースプレート外形寸法の０．１倍以上確保しなければならない。

各部名称	寸法	備考
中心塗り部分モルタルの厚さ（ｔm）	標準寸法 ｔm=50mm	許容範囲 ３０≦ｔm≦７０mm
ベースプレート周辺のモルタル幅（ｅm）	ｅm≧３０mm	許容範囲 em≧２５mm

４．基礎柱形主筋の定着長さ（最小値）



基礎柱形主筋の定着長さ（Lt）は、定着板上面を境にして上下とも確保する必要があります。

工場加工

１．溶　接　材　料

被覆アーク溶接	低水素系４９０N/mm² 級高張力鋼用（JIS Z3211、IBJIS Z3212）
ガスシールドアーク溶接	軟鋼及び４９０N/mm² 級高張力鋼マグ溶接用ソリッドワイヤ（JIS Z3312）

２．ベースプレートの鉄骨柱への取付け（柱端部に開先を設ける）

※　柱とベースプレートの溶接は完全溶込み溶接
　　開先はMC-ＴＬ-１Ｂ、ＧＣ-ＴＬ-１Ｂによる　※開先形状は参考

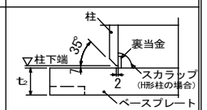
エコタイプ

ベースプレート形状

角形鋼管柱用（EB型式）
アンカーボルト ４本タイプ　アンカーボルト ８本タイプ
アンカーボルト １２本タイプ

円形鋼管柱用（EM型式）
アンカーボルト ４本タイプ　アンカーボルト ８本タイプ
H形柱用（EH型式）

開先形状



⚠注意
柱はベースプレートのフラット面に取り付けてください。
アンカーボルト孔周辺に凹加工している面はベースプレート裏面であり、無収縮モルタルと接する面となります。

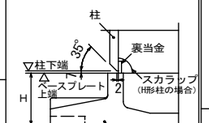
Gタイプ

ベースプレート形状

角形鋼管柱用（GB型式）
アンカーボルト ４本タイプ　アンカーボルト ８本タイプ
アンカーボルト １２本タイプ

円形鋼管柱用（GM型式）
H形柱用（GH型式）

開先形状



３．組立溶接

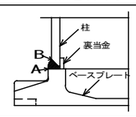
角形鋼管	円形鋼管	H形
40mm 40mm 組立溶接　柱フランジ	40mm 組立溶接	40mm 組立溶接

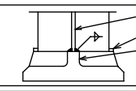
４．本溶接の手順

角形鋼管	円形鋼管	H形
2 4 3 1 対辺ごとに溶接を行う。（自動ロボット溶接の場合はこれによらない）	1パスごとに全周溶接を行う。	(1)ウェブの両面すみ肉溶接（溶け落ちの場合は、完全溶込み溶接とする） (2)開先部の溶接

５．溶接施工一般

予　熱	鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。
余　盛	溶接余盛はベースプレート側A点から柱側B点へ向かってなめらかになるように施工する。 余盛高さは、柱接合突出部形状に対応し突き合わせ継手またはＴ継手余盛り高さに準拠する（Gタイプ）。
H形柱の溶接	エンドタブの取付とH形柱ウェブのすみ肉溶接





⚠注意　柱の溶接時にベースプレートとの組合せによってはベースプレートが溶接熱歪によって曲がることがあります。

６．検　　査

方　法	溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査による。 探傷は柱フランジ側から行う。
不良溶接部の補正	（１）　有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。 （２）　溶接部に割れの入った場合には、割れの入った両端から５０mm以上、はつり取り再溶接する。

現　場　施　工　(#)：センクシアの担当範囲

１．捨てコンクリート打設

柱脚部の捨てコンクリートの厚さは９０mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

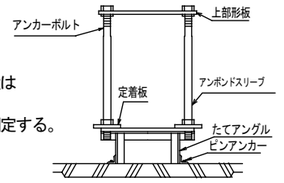
２．墨出し

３．アンカーボルト搬入（#）

４．アンカーボルト据付（#）

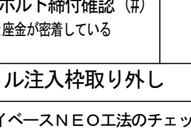
アンカーボルト設置

アンカーボルトの設置は自立できる形式とし、捨てコンクリートに固定する。



アンカーボルト設置例
（架台の形状は異なる場合あり）

アンカーボルト設置精度の目標値

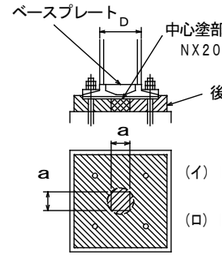
平面	レベル
	基準高さよりの誤差eh －３mm≦eh≦10mm

e≦３mm
（形板芯にて検査）

５．鉄筋配筋・型枠の立込み

６．基礎コンクリート打設

７．中心塗り部分モルタル施工



（イ）□７００以下、φ７００以下、H形柱の場合
　　１５０mm ≦ a ≦３００mm　かつ柱寸法 D以下
（ロ）□７５０～□１２００、φ７５０～φ１０００の場合
　　３００mm ≦ a ≦５００mm

中心塗部分モルタル及び後詰めモルタルの養生
基礎、基礎ばりコンクリートの強度以上となるよう養生期間を確保すること。

EB, GB, EM, GM, EH型式	GH型式
８．鉄骨建方 アンカーボルト締付 アンカーボルトは隙間がないよう確実に締め付けを行う。	８．鉄骨建方
	９．モルタル注入枠設置（#） 後詰めモルタル充填（#）
９～１０．モルタル注入枠設置（#） 後詰めモルタル充填（#） アンカーボルト締付確認（#） ベースプレートと座金が密着していることを確認。	１０．アンカーボルト締付（#） 予備締め マーキング ナット回転法による本締め （30° 回転、許容差 $^{+10°}_{-0}$）

１１．モルタル注入枠取り外し

施工完了後、ハイベースＮＥＯ工法のチェックシートに工事記録を記載する。

センクシア株式会社
URL　https://www.senqcia.co.jp/

本社　ＴＥＬ　０３-３６１５-５４３２
札幌　ＴＥＬ　０１１-７０８-１１７７
東北　ＴＥＬ　０２２-２１３-５５９５
関東　ＴＥＬ　０２７-３２２-９４１１
横浜　ＴＥＬ　０４５-５４８-９８８１
中部　ＴＥＬ　０５２-５８２-３３５６
北陸　ＴＥＬ　０７６-２３３-５２６０
関西　ＴＥＬ　０６-６３９５-２１３３
中四国 ＴＥＬ　０８２-２４０-１６３０
九州　ＴＥＬ　０９２-４５２-０３４１

⚠注意
1. アンカーボルトの設置、無収縮モルタルの充填、これらの施工は、センクシアが定めた認定業者が行うこと。（日本建築センターの評定で義務付けられています。）
2. アンカーボルト及びナットは加熱、溶接、加工は絶対に行わないでください。
3. 設置後のアンカーボルトのねじ部は打ちきずやコンクリートが付着しないようにねじ部の保護養生をしてください。
4. 建て入れ直し用のワイヤをアンカーボルトにとらないでください。
5. 本資料以外の施工方法で行った場合、ハイベースNEOの性能が発揮できなくなります。

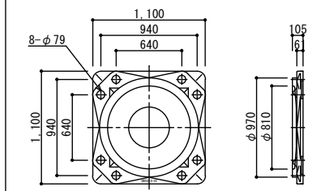
備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1 / 縮尺A3	検図	設計	製図	設計者	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	ハイベースＮＥＯ工法設計施工標準	N.S. / N.S.				小西建築構造設計 金沢市泉野町６丁目１５番１号 ＴＥＬ(076)244-5615 一級建築士事務所石川県知事登録 第１８０４号 一級建築士 第４３４７９号 構造設計一級建築士 第５６６５号 小西 義昭	Ｓ－３７

鉄骨柱脚リスト

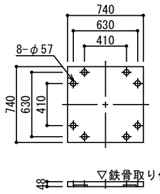
ハイベースＮＥＯ工法

１Ｃ１	１Ｃ２	１Ｃ３	１Ｃ４，１Ｃ６	１Ｃ５	１Ｃ７	１Ｃ８
○－９５０×３２（ＳＴＫＮ４９０Ｂ）	□－５００×５００×１９（ＢＣＲ２９５）	○－６００×１６（ＳＴＫＮ４００Ｂ）	**○－４５０×１６（ＳＴＫＮ４００Ｂ）**	□－４００×４００×１９（ＢＣＲ２９５）	○－４０６．４×１６（ＳＴＫＮ４００Ｂ）	○－４０６．４×１２（ＳＴＫＮ４００Ｂ）
ＧＭ９５０－８－６４	ＥＢ５００－８－４２	ＧＭ６００－８－４８	ＥＭ４５０－８－３６	ＥＢ４００－８－３６	ＥＭ４００－８－３６	ＥＭ４００－８－３６

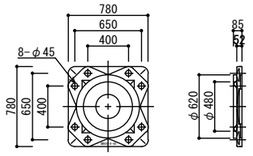
ベースプレート詳細図



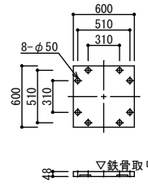
ベースプレート詳細図



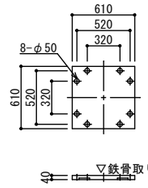
ベースプレート詳細図



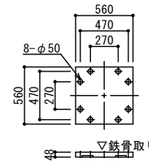
ベースプレート詳細図



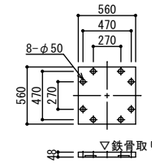
ベースプレート詳細図



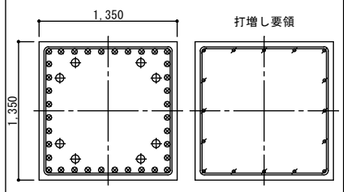
ベースプレート詳細図



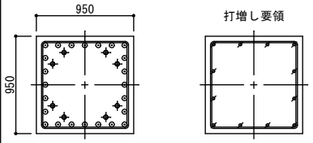
ベースプレート詳細図



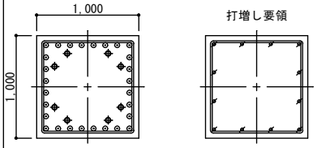
柱脚詳細例



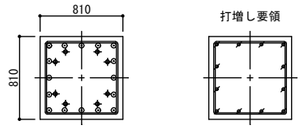
柱脚詳細例



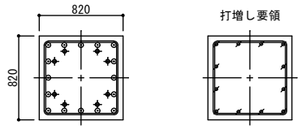
柱脚詳細例



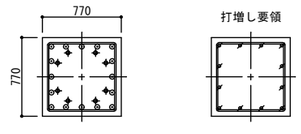
柱脚詳細例



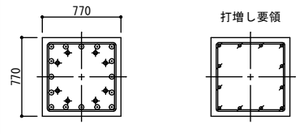
柱脚詳細例

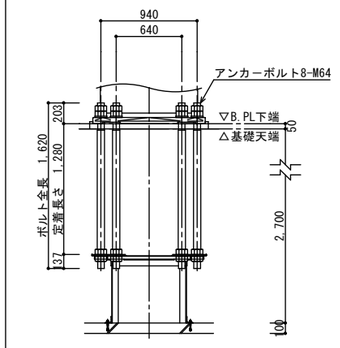


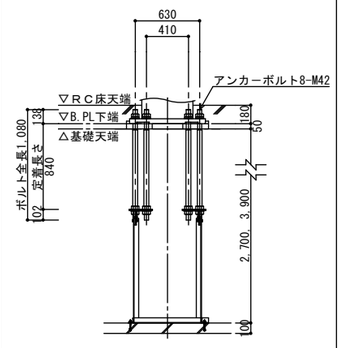
柱脚詳細例

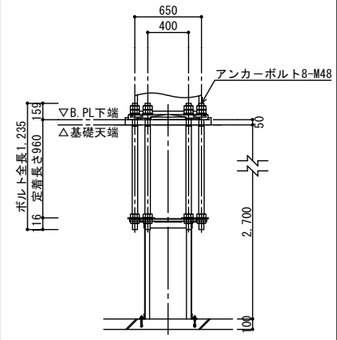


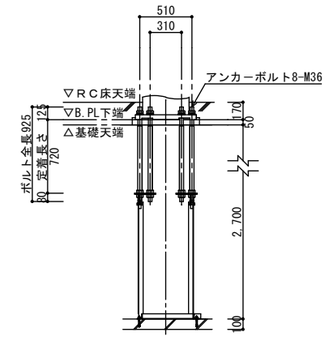
柱脚詳細例

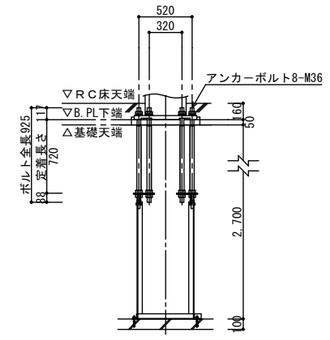


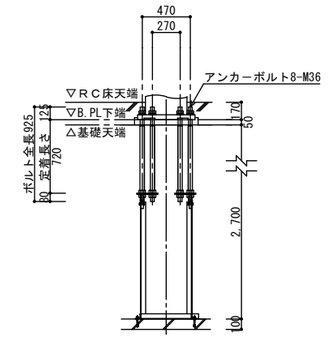


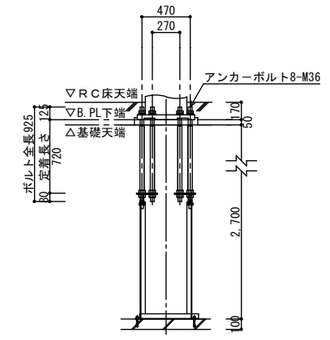












アンカーボルト		8-M64
柱型		1,350×1,350
主筋（材質）		36(10×10)-D29(SD390)
帯筋（材質）		□－D16@100(SD295)
鉄筋の定着長さ (Lt)		1,030mm
打増し要領	主筋（材質）	16(5×5)-D16(SD295) 頂部４隅フック付
	帯筋（材質）	□－D13@100(SD295)

アンカーボルト		8-M42
柱型		950×950
主筋（材質）		24(7×7)-D25(SD345)
帯筋（材質）		□－D13@100(SD295)
鉄筋の定着長さ (Lt)		630mm
打増し要領	主筋（材質）	12(4×4)-D16(SD295) 頂部４隅フック付
	帯筋（材質）	□－D13@100(SD295)

アンカーボルト		8-M48
柱型		1,000×1,000
主筋（材質）		28(8×8)-D25(SD345)
帯筋（材質）		□－D16@100(SD295)
鉄筋の定着長さ (Lt)		690mm
打増し要領	主筋（材質）	12(4×4)-D16(SD295) 頂部４隅フック付
	帯筋（材質）	□－D13@100(SD295)

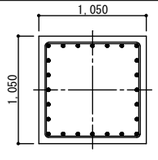
アンカーボルト		8-M36
柱型		810×810
主筋（材質）		16(5×5)-D25(SD345)
帯筋（材質）		□－D13@100(SD295)
鉄筋の定着長さ (Lt)		520mm
打増し要領	主筋（材質）	12(4×4)-D16(SD295) 頂部４隅フック付
	帯筋（材質）	□－D13@100(SD295)

アンカーボルト		8-M36
柱型		820×820
主筋（材質）		16(5×5)-D25(SD345)
帯筋（材質）		□－D13@100(SD295)
鉄筋の定着長さ (Lt)		520mm
打増し要領	主筋（材質）	12(4×4)-D16(SD295) 頂部４隅フック付
	帯筋（材質）	□－D13@100(SD295)

アンカーボルト		8-M36
柱型		770×770
主筋（材質）		16(5×5)-D25(SD345)
帯筋（材質）		□－D13@150(SD295)
鉄筋の定着長さ (Lt)		510mm
打増し要領	主筋（材質）	12(4×4)-D16(SD295) 頂部４隅フック付
	帯筋（材質）	□－D13@100(SD295)

アンカーボルト		8-M36
柱型		770×770
主筋（材質）		16(5×5)-D25(SD345)
帯筋（材質）		□－D13@150(SD295)
鉄筋の定着長さ (Lt)		510mm
打増し要領	主筋（材質）	12(4×4)-D16(SD295) 頂部４隅フック付
	帯筋（材質）	□－D13@100(SD295)

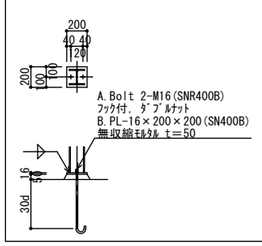
１Ｃ

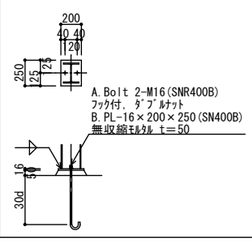


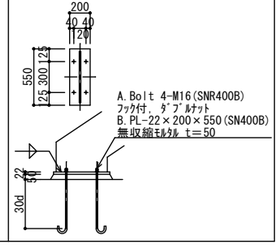
柱型	1,050×1,050
主筋（材質）	24(7×7)-D19(SD345) 頂部４隅フック付
帯筋（材質）	□－D13@100(SD295)

間柱柱脚

Ｐ１５	Ｐ１９	ササラ桁
Ｈ－１５０×１５０×７×１０（ＳＳ４００）	Ｈ－１９４×１５０×６×９（ＳＳ４００）	ＰＬ－１６×４００（ＳＳ４００）

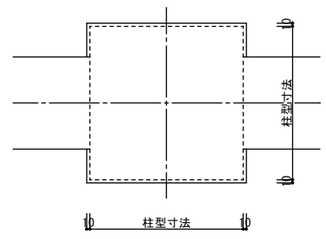






柱型のコンクリート打増し

塩害対策として、ハイベースＮＥＯ工法の柱型寸法に１０mm打増す。



備　考	設計年月日 2018.03	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	図面名 鉄骨柱脚リスト	縮尺A1 1/30 縮尺A3 1/60	検図	設計	製図	小西建築構造設計 一級建築士事務所石川県知事登録 第１８０４号 金沢市泉野町６丁目１５番１号 TEL(076)244-5615 一級建築士 第４３４７９号 構造設計一級建築士 第５６６５号 小西 義昭	図面番号 S－３８

ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準

ＪＦＥ建材
株式会社

ＱＬデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、(社)日本鉄鋼連盟「デッキプレート床構造設計・施工規準-2004」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、ＱＬデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設　計

材料／デッキプレート　[ISO 9001認証取得]

デッキプレート種類		板厚(mm)	表　面　処　理
ＱＬデッキ ☑ＱＬ９９－５０ □ＱＬ９９－７５	端部加工 □ｴﾝﾊﾟ有り ☑無し	☑1.2 □1.6	□裏面防錆処理(一次塗装) ＱＬプライマー(P) ☑亜鉛めっき　[☑Z12　☑Z27] □ZAM(高耐食溶融めっき鋼板) [□K27　□K35] □無し(　　)
材　質	ＪＩＳ Ｇ ３３５２に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G		

材料／コンクリート

種　　類	☑普通コンクリート　□軽量コンクリート（□1種　□2種）
設計基準強度	□１８　☑２１　□（　　）N／mm²
厚さ(ＱＬデッキ山上)	□６０　□７０　☑８０　□８５　□９０　□９５　□１００　□（　　）mm

材料／溶接金網・異形鉄筋

☑ 溶 接 金 網	ＪＩＳ Ｇ ３５５１　□φ６－１５０×１５０　☑φ６－１００×１００
□ 異 形 鉄 筋	ＪＩＳ Ｇ ３１１２、３１１７　□Ｄ１０－@２００　□（　　）

接　合

□焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
□打込み鋲	接合箇所は特記による
☑頭付きスタッド	JIS B 1198　□φ１３　☑φ１６　□φ１９　□φ２２　各長さ・ピッチは特記による
□そ　の　他	

耐　火

	１　時　間	２　時　間
連　続　支　持	☑ＦＰ０６０ＦＬ－９０９５	□ＦＰ１２０ＦＬ－９１０７
単　純　支　持	☑ＦＰ０６０ＦＬ－９１０１	□ＦＰ１２０ＦＬ－９１１３
そ　の　他 □指定なし	□（　　） □（　　）	□（　　） □（　　）

特　記

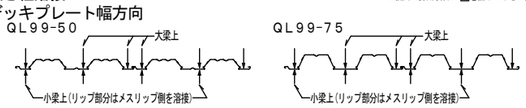
支保工有無
☑無　□有

その他：
頭付スタッドは、φ１６，Ｈ８０
頭付スタッド間隔は、デッキ方向３００mm，デッキ直交方向３００mm
屋外に面する溶接金網の設計かぶり厚さは４０mmとする
表面処理は亜鉛メッキとし、屋内はZ12，庇部分はZ27とする。

上欄内の採用項目に☑を記して下さい。

焼抜き栓溶接

デッキプレート幅方向



デッキプレートスパン方向

「ＱＬデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。

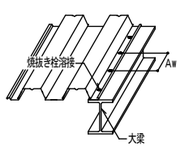
$Aw = \frac{1.5Qa}{Qo} \times 1000\text{mm}$ かつ600mm 以下

Qa：焼抜き栓溶接１個当たりの長期許容せん断力 (N)
Qo：設計最大せん断力(N/m)
Aw：焼抜き栓溶接ピッチ

板厚	Qa (N)
1.2	4,900
1.6	7,350(SPW)、6,860(A.P.W)

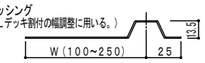
Aw = (　　) mm

(注) 接合に頭付きスタッドを用いる場合、焼抜き栓溶接は不要



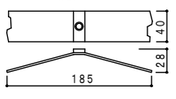
アクセサリー

フラッシング
(ＱＬデッキ躯付の幅調整に用いる。)



クローザー
(ＱＬデッキの小口ふさぎに用いる。)

ハンガー金具
(ＱＬデッキ下溝を利用する天井インサート用金具。)

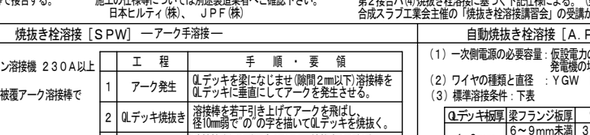


耐　火　仕　様

【連続支持合成スラブ】

支持梁：鉄骨(S)梁 及び 大梁：鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁、小梁：鉄骨(S)梁
コンクリート：設計基準強度１８Ｎ/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（1種・2種）

耐火時間	コンクリート種類	品　名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋(Ｄ10－@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	3.0m 以下	80mm 以上	φ6－150x150	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4m 以下			算出式 注5)Ｂ 参照
	軽量コンクリート		3.6m 以下	90mm 以上	φ6－100x100	4,400N/m²以下 注2)
		ＱＬ９９－５０	3.0m 以下	80mm 以上	φ6－150x150	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4m 以下			算出式 注5)Ｂ 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7m 以下	95mm 以上	φ6－100x100	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4m 以下	90mm 以上		算出式 注5)Ｂ 参照
	軽量コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7m 以下	85mm 以上	φ6－100x100	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4m 以下			算出式 注5)Ｂ 参照
			3.6m 以下	90mm 以上	Ｄ10－@200	5,400N/m²以下 注2)



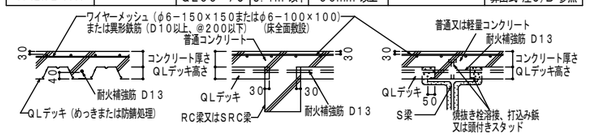
【単純支持合成スラブ】

支持梁：鉄骨(S)梁　　コンクリート：設計基準強度１８Ｎ/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（1種・2種）
耐火補強筋：Ｄ１３（デッキプレート各溝@３００）

耐火時間	コンクリート種類	品　名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋(Ｄ10－@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7m 以下	80mm 以上	φ6－150x150	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4m 以下			算出式 注5)Ｂ 参照
	軽量コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7m 以下			算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4m 以下			算出式 注5)Ｂ 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7m 以下	95mm 以上	φ6－100x100	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4m 以下	90mm 以上		算出式 注5)Ｂ 参照
	軽量コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7m 以下	85mm 以上		算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4m 以下			算出式 注5)Ｂ 参照

支持梁：鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁の場合　　コンクリート：設計基準強度１８Ｎ/mm²以上の普通コンクリート
耐火補強筋：Ｄ１３（デッキプレート各溝@３００）

耐火時間	コンクリート種類	品　名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋(Ｄ10－@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7m 以下	80mm 以上	φ6－150x150	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4m 以下			算出式 注5)Ｂ 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7m 以下	95mm 以上	φ6－100x100	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4m 以下	90mm 以上		算出式 注5)Ｂ 参照



注1）スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支持する梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内法寸法をいう。
注2）スパンが3.4mを超える場合は、合成スラブと梁とは頭付きスタッド（軸径１６mm以上、ピッチ３００mm以下）で結合する。
注3）鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜き栓溶接、打込み鋲、または頭付きスタッドを用いる。
注4）梁の耐火被覆　梁に１、２または３時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆を施す。
注5）許容積載荷重Ｗ　算出式　　ℓ：支持スパン (m)

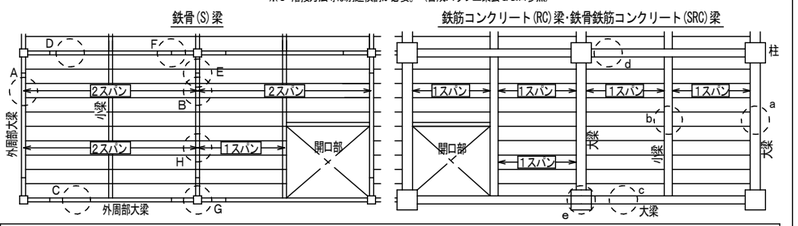
[A] ＱＬ９９－５０	[B] ＱＬ９９－７５
$W=5,400\times(\frac{2.7}{\ell})^2$ かつ9,800 N/m² 以下	$W=5,400\times(\frac{3.4}{\ell})^2$ かつ9,800 N/m² 以下

※許容積載荷重は、床にかかる全荷重(仕上げ荷重も含む)から床荷重(デッキプレートとコンクリートの自重)を差し引いた値を示します。

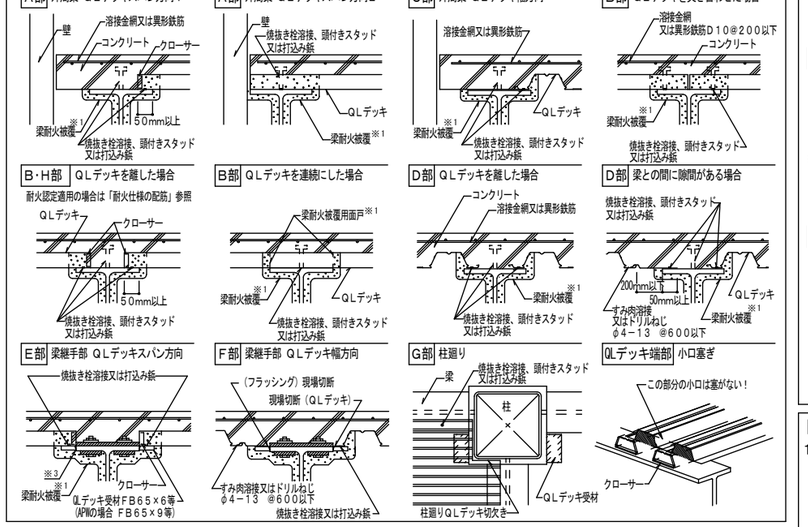
付帯条件
連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上にわたって連続的に小ばり等によって、ほぼ等間隔に支持されるものとする。

標　準　納　まり

図中※1は、梁に１、２または３時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。　※2はＱＬデッキ耐火認定を適用する場合に必要。
※3 溶接方法等は別途検討が必要。（合成スラブ工業会Ｑ&Ａ参照）

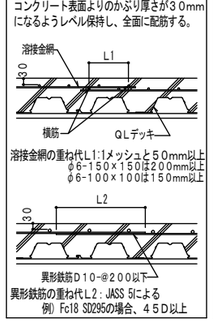


デッキプレートと梁の納まり〔S梁〕



スラブの配筋

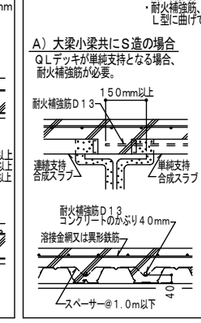
コンクリート表面よりのかぶり厚さが３０mmになるようレベル保持し、全面に配筋する。



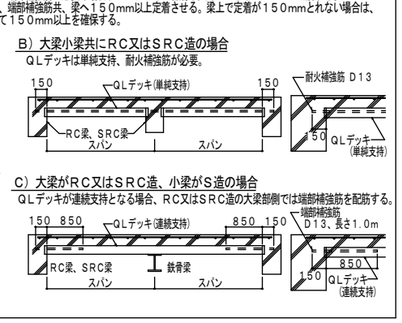
耐火仕様の配筋

・ＱＬデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋を配筋する。配筋はＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事による。
・耐火補強筋・端部補強筋が必要な場合、ＱＬデッキの各溝中央部にかぶり４０mmで配筋する。
・耐火補強筋、端部補強筋共、梁へ１５０mm以上定着させる。梁上で定着が１５０mmとれない場合は、Ｌ型に曲げて１５０mm以上を確保する。

A）大梁小梁共にS造の場合
ＱＬデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋が必要。

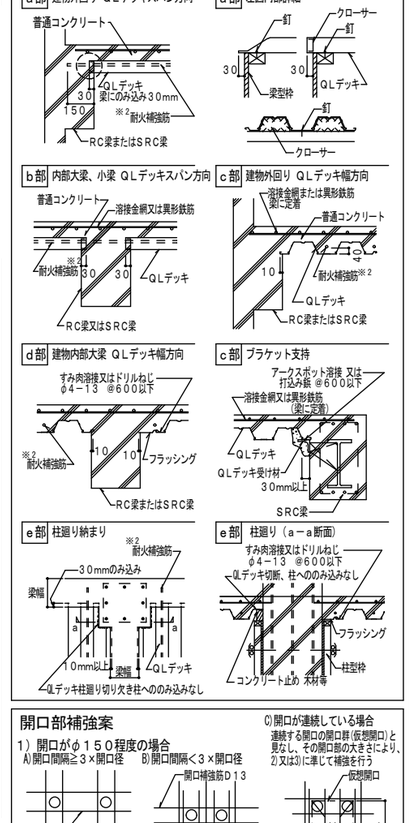


B）大梁小梁共にRC又はSRC造の場合
ＱＬデッキは単純支持、耐火補強筋が必要。



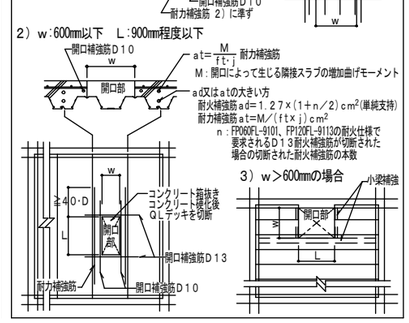
C）大梁がRC又はSRC造、小梁がS造の場合
ＱＬデッキが連続支持となる場合、RC又はSRC造の大梁部側では端部補強筋を配筋する。

デッキプレートと梁の納まり〔RC・SRC梁〕



開口部補強案

1）開口がφ１５０程度の場合
A）開口間隔≧３×開口径　　B）開口間隔＜３×開口径



2）w：600mm以下　L：900mm程度以下

3）w＞600mmの場合

施工

施工順序

墨出し
↓
敷込み仮止め溶接
↓
ＱＬデッキと梁との接合
1) 頭付きスタッド
2) 打込み鋲
3) 焼抜き栓溶接
↓
溶接金網敷込み
↓
検　査
↓
コンクリート打設

敷　込　み

鉄骨梁の場合
1) 墨出し線に合わせて１枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次適当な枚数(５～１０枚)ごとに仮止め溶接する。
2) 各大梁上にデッキプレートの溝部が乗るように敷込む。

デッキプレート幅方向のかかり代は、５０mm以上あることを確認する。
(頭付きスタッドの場合は３０mm以上)
3) デッキプレート長手方向の大梁のかかり代は、５０mm以上あることを確認する。

RC梁またはSRC梁の場合
1) デッキプレートは梁型枠に釘止めする。
2) デッキプレートの梁型枠へののみ込み代が幅方向１０mm以上、長手方向が３０mmあることを確認する。

デッキプレートと梁との接合

1) 頭付きスタッド
施工は、JASS6「鉄骨工事」による。
デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。

2) 打込み鋲
施工は打込み鋲製造業者の施工要領による。
施工の仕様等については別途製造業者へご確認下さい。
日本ヒルティ(株)、　ＪＰＦ(株)

3) 焼抜き栓溶接
国土交通省告示第３２６号（平成14年4月16日制定）及び国土交通省告示第６０６号（平成19年6月20日改正）の第２後合ハ(4)焼抜き栓溶接に基づく下記仕様による。（梁フランジの表面処理条件：黒皮または一般鋼止め塗装）
合成スラブ工業会主催の「焼抜き栓溶接講習会」の受講が望ましい。

焼抜き栓溶接［ＳＰＷ］ ―アーク手溶接―

(1) 溶接機
交流アーク溶接機 AW２５０Ａ以上　エンジン溶接機 ２３０Ａ以上
(2) 溶接棒
JIS Z 3211のE4316、E4916 に定める低水素系被覆アーク溶接棒で棒径４mmのもの
(3) 標準溶接条件

工程	手順・要領
1 アーク発生	ＱＬデッキを梁になじませ(隙間2mm以下)溶接棒をＱＬデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2 ＱＬデッキ焼抜き	溶接棒を若干引きよげてアークを飛ばし、径10mm弱で「の」の字を描いてＱＬデッキを焼抜く。
3 押し込み・溶着	溶接棒を梁上まで押し込み、焼抜きの内側をなぞるように円中央へ２～３回転しながら溶着。
4 整　形	溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。

梁フランジ板厚：６mm以上
溶接電流　：１９０～２３０Ａ(標準２１０Ａ)
(4) 溶接工の資格
JIS Z 3801、JIS Z 3841 における基本級の有資格者
(5) 手順・要領
右の１～４の順に行う。
溶接時間の目安：電流値２１０Ａ(標準)の場合８秒程度

自動焼抜き栓溶接［Ａ．Ｐ．Ｗ］ ―CO_2アークスポット溶接 ―

(1) 一次側電源の必要容量：仮設電力の場合　１８ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
発電機の場合　３５ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
(2) ワイヤの種類と直径　：ＹＧＷ　１１、１２　φ１.２mm
(3) 標準溶接条件：下表

ＱＬデッキ板厚	梁フランジ板厚	電流 (A)	電圧 (V)	アークタイム (秒)
1.2mm	6～9mm未満	３００～３２０	３３～３５	3.0～4.0×1度打ち
	9mm以上	３００～３２０	３３～３５	3.0～4.0×2度打ち
1.6mm	6～9mm未満	３００～３２０	３４～３６	3.5～4.5×1度打ち
	9mm以上	３００～３２０	３４～３６	4.0～4.5×2度打ち

注1．デッキプレート　板厚１．２、１．６mm　表面条件：Ｚ１２、Ｚ２７、裏面塗装
2．CO_2ガス流量：２０ℓ/分以上

検　査

【焼抜き栓溶接（ＳＰＷ）及び自動焼抜き栓溶接（Ａ．Ｐ．Ｗ）】
□事前検査
ＳＰＷ：適正な溶接を行うため下記1)または2)の方法で電流値をチェックする。
1) 検流計での計測
2) 溶接棒の消費長さによる確認 ―― 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約３mmに保持し、１０mm程度の円を描いて１０秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが４５～５３mmであること。
Ａ．Ｐ．Ｗ：試し溶接を行って溶接径を確認する。
□溶接後の外観検査
1) 溶接箇所の確認　2) 焼き切れ、余盛り不足の有無
3) 標準余盛り径　ＳＰＷ：１０mm以上　Ａ．Ｐ．Ｗ：２５mm±３
□不良部の補修
ＳＰＷ の場合：スラグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。
不具合箇所に溶着金属を流し込む要領で補修。
Ａ．Ｐ．Ｗの場合：重ね溶接して補修する。

【そ の 他】
(1) ＱＬデッキ相互の嵌合状況　(2)溶接金網の敷込み状況　(3)開口部の補強状況

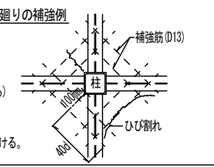
(参考)ひび割れ拡大防止のための留意事項

[1]設計上の留意点
1) 小梁の剛性を大きくする。
2) ひび割れ拡大防止のため補強筋を設ける。(右図補強例参照)
3) スパンとスラブ厚さの比を小さくし、配筋量を大きくする。
(コンクリート厚さをＱＬデッキ山上から 80~90mmと厚くする。)
4) デッキプレートは各溝で梁に接合すること。
頭付きスタッド使用の場合にも、デッキプレート各溝全てをアークスポット溶接するのが望ましい。

[2]施工上の留意点
1) 水セメント比を小さくする。
[例] 単位水量　175リットル/m³以下
ベースコンクリートスランプ　10cm
高性能ＡＥ減水剤　スランプ 15cm
2) 溶接金網の位置→かぶり厚さ30mmを確保する。(補強筋は溶接金網より下に配筋する)
3) コンクリート打込み後１週間は載荷作業を行わない。歩行程度は可。
4) 打込み後初期には散水や養生シート等で湿潤養生を行う。
直射日光が当たる屋上は、散水養生は必須。
5) 打込み後４～７日間はスラブに振動や荷重を加えないようにし、充分な養生期間を設ける。

大梁上の補強例

柱廻りの補強例



備　考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図
	2018. 03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準	N. S.	N. S.			

小　西　建　築　構　造　設　計　　一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL (076) 244-5615　　一級建築士　第４３４７９号　構造設計一級建築士　第５６６５号　小西 義昭

図面番号　Ｓ－３９

ひび割れ拡大防止のための留意事項

コンクリートの乾燥収縮や負曲げモーメント等により生ずるひび割れを細かく分散させるため、下記の留意点を参考のうえ大梁上及び柱廻りの補強を実施して下さい。

(1)設計上の留意点

1)小梁の剛性を大きくする。

2)ひび割れ拡大防止のため補強筋を設ける。(下図補強例参照)

3)スパンとスラブ厚さの比を小さくし、配筋量を大きくする。
(コンクリート厚さをデッキ山上から 80～90mmと厚くする。)

4)デッキプレートは各溝で梁に接合すること。
頭付きスタッド使用の場合にも、デッキプレート各溝全てをアークスポット溶接するのが望ましい。

(2)施工上の留意点

1)水セメント比を小さくする。

単位水量　175リットル/m^3以下
ベースコンクリートスランプ　10cm　｝スランプ 15cm
高性能ＡＥ減水剤

2)溶接金網の位置－かぶり厚さ30mm－を確保する。(補強筋は溶接金網より下に配筋)

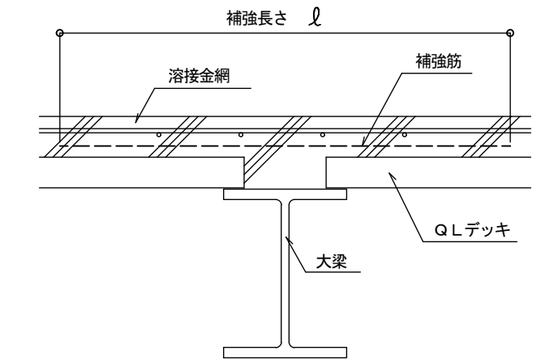
3)コンクリート打込み後１週間は載荷作業を行わない。歩行程度は可。

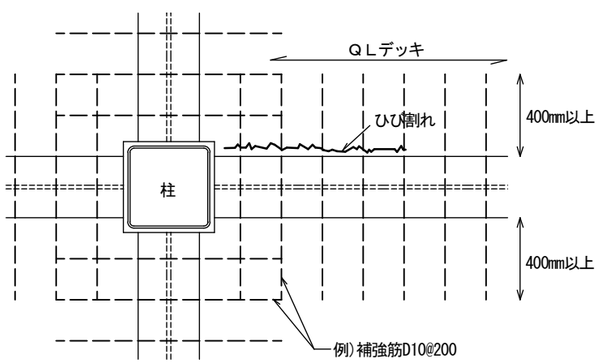
4)打込み後初期には散水や養生シート等で湿潤養生を行う。直射日光が当たる屋上は、散水養生は必須。

5)打ち込み後４～７日間はスラブに振動や荷重を加えないようにし、充分な養生期間を設ける。

大梁上の補強例

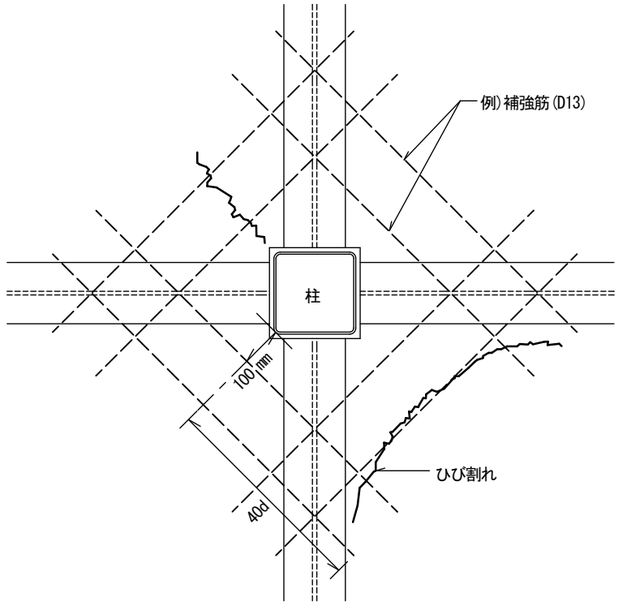
(イ) Ｄ１０　@２００　ℓ＝ 梁幅＋８０･Ｄ
ロ) Ｄ１０　@２００～３００　ℓ＝１,０００mm
ハ) 溶接金網　φ６－１５０Ｘ１５０　ℓ＝１,０００mm





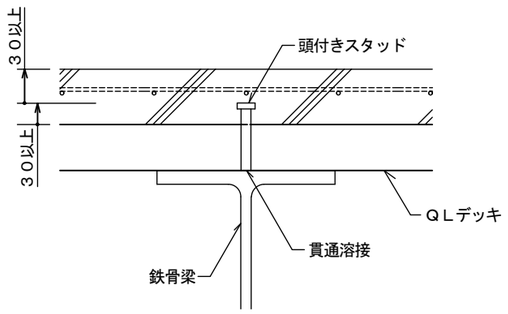
柱廻りの補強例

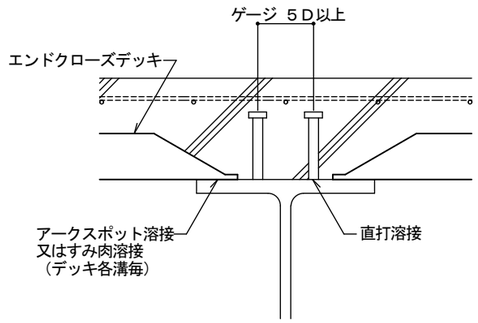
(イ) Ｄ１３　ℓ＝８０･Ｄ　シングル
ロ) Ｄ１０　ℓ＝２,０００　ダブル
ハ) Ｄ１３　ℓ＝２,０００　シングル



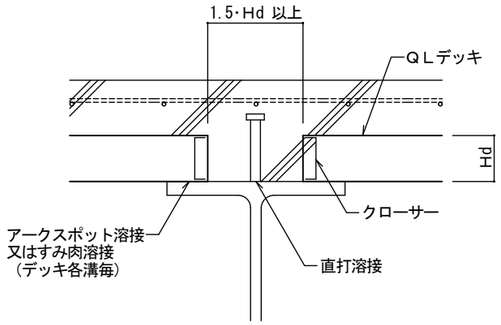
備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	検図	設計	製図		図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	ＱＬデッキ納まり図［１］（ひび防止）	N. S. 縮尺A3 N. S.				小西建築構造設計 金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL(076)244-5615 一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号 一級建築士　第４３４７９号 構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭	Ｓ－４０

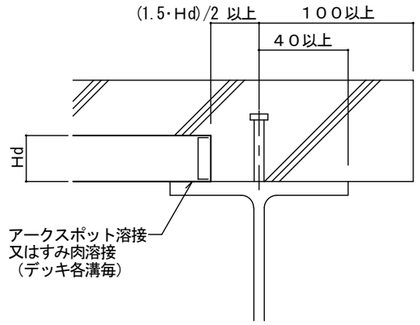
合成ばり構造/頭付きスタッドの納まり例

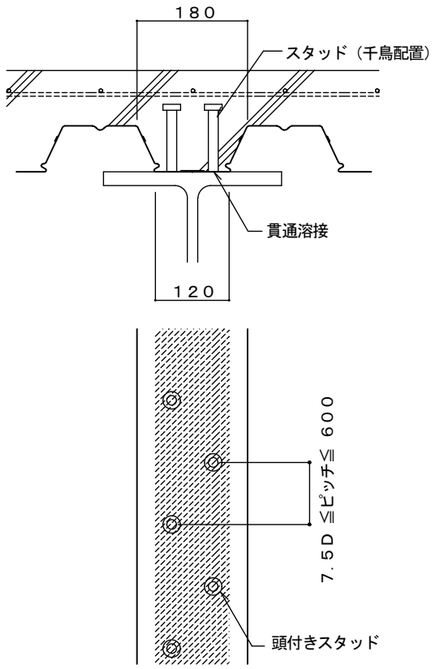




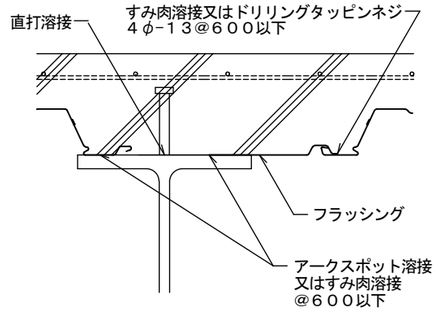
Ｄ：スタッド軸径



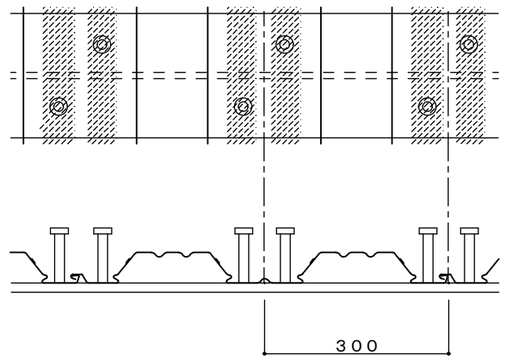




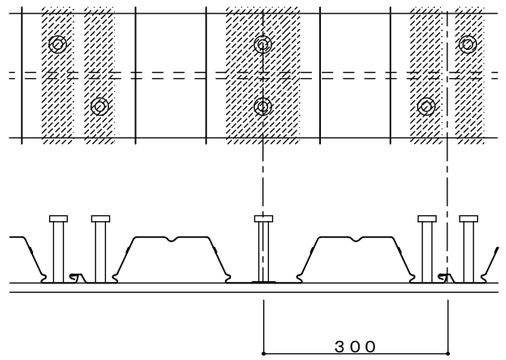
Ｄ：スタッド軸径



スタッドの配置例（ＱＬ９９－５０）



スタッドの配置例（ＱＬ９９－７５）



スタッドコネクタの設計についての留意点

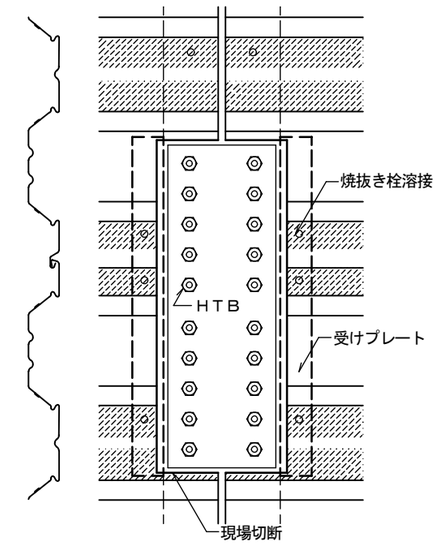
1．合成ばり及び頭付きスタッドの設計は、日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」（以下、「指針」）に準拠する。
2．床スラブと鉄骨ばりの合成作用によって両者の間に生じるせん断力は、頭付きスタッドのみで負担するように設計する。
3．頭付きスタッドに作用する水平せん断力及び所要本数については、指針を参照のこと。
4．せん断耐力について
- スタッドのせん断耐力は、終局せん断耐力を基準とする。
- スタッドの径は呼び径で13㎜以上22㎜以下とし、かつその長さＬと軸径ｄの比は4.0以上。（Ｌ/ｄ≧4.0）
- スタッドの長さＬは、QL99-50の場合80㎜以上、QL99-75の場合は105㎜以上。

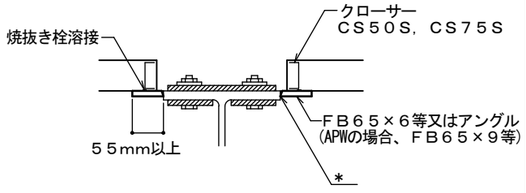
5．その他
- スタッドのピッチ及びゲージ等については、図中の記載を参照のこと。
- 頭付きスタッドのコンクリートかぶり厚さは、デッキプレートの溝幅によって制限される場合をのぞき、あらゆる方向について30㎜以上必要。
- 鉄骨ばりのウェブ直上に溶接される場合を除き、溶接するスタッドの軸径は、はりフランジ板厚の2.5倍以下。

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	検図	設計	製図		図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	ＱＬデッキ納まり図［２］（スタッド）	N. S. 縮尺A3 N. S.				小西建築構造設計 金沢市泉野町６丁目１５番１号 TEL（076）244-5615	一級建築士事務所石川県知事登録 第１８０４号 一級建築士 第４３４７９号 構造設計一級建築士 第５６６５号 小西 義昭	Ｓ－４１

梁ボルト接合部納まり

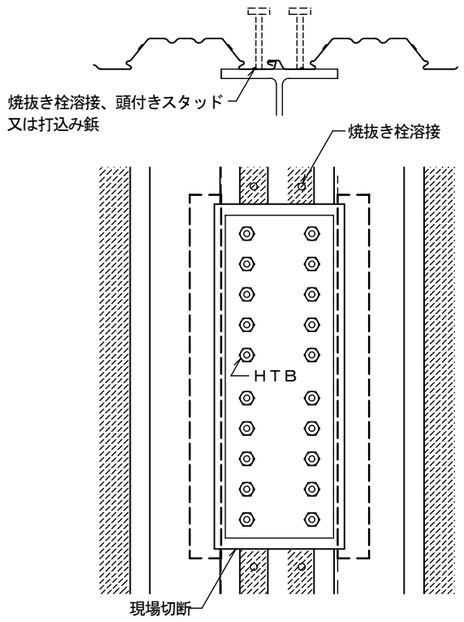
(A)プレートで受けを設ける場合

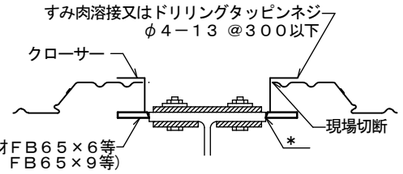




＊溶接方法等、別途検討が必要。（合成スラブ工業会Q＆A参照）

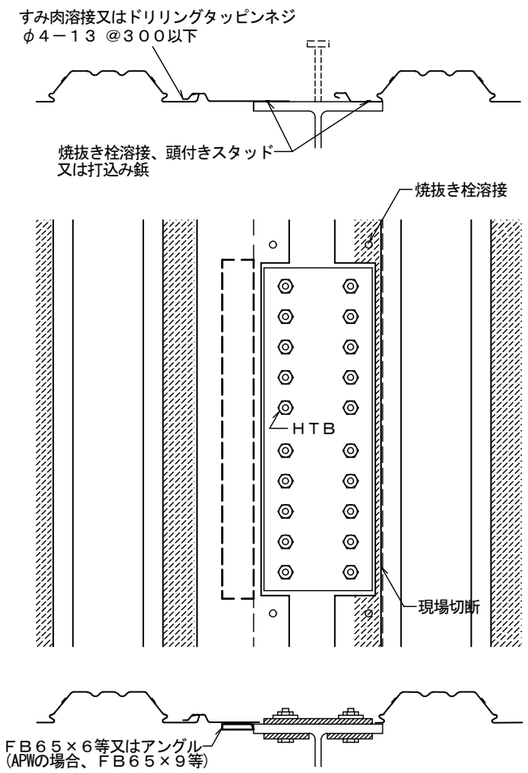
(B)クローサー利用の場合





＊溶接方法等、別途検討が必要。（合成スラブ工業会Q＆A参照）

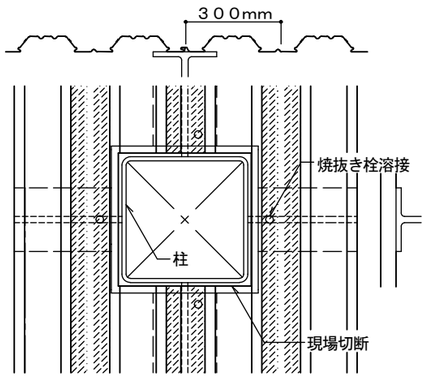
(C)デッキプレート溝部が梁上に架かる場合



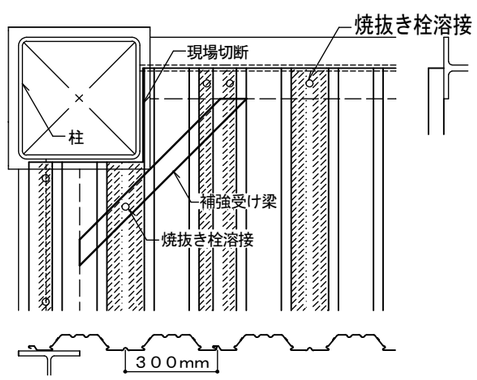
フラッシングで接合部分にノリシロ（５５mm以上）が確保できない場合
受けプレートを設ける。

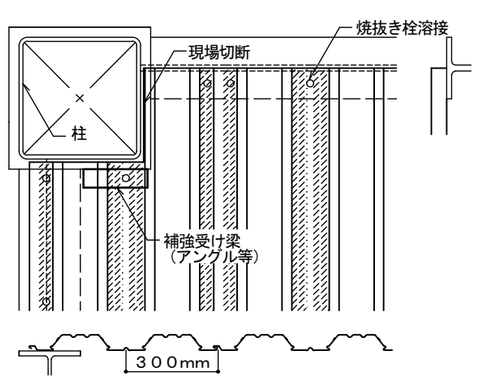
柱廻り納まり

(A)デッキ受け梁が不要の場合



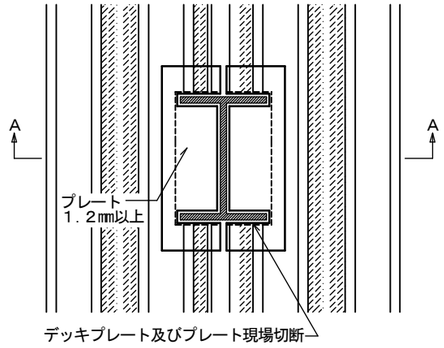
(B)補強受け梁を設ける場合

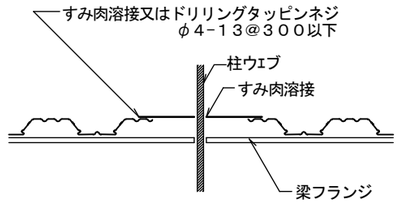




柱廻りの開口ふさぎ

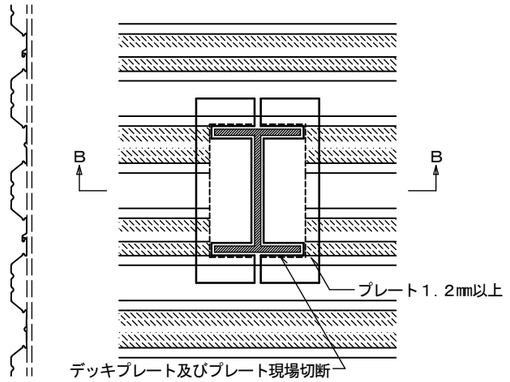
(A)デッキ平行配置

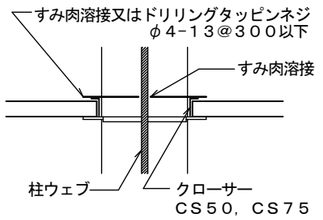




A-A断面

(B)デッキ直交配置





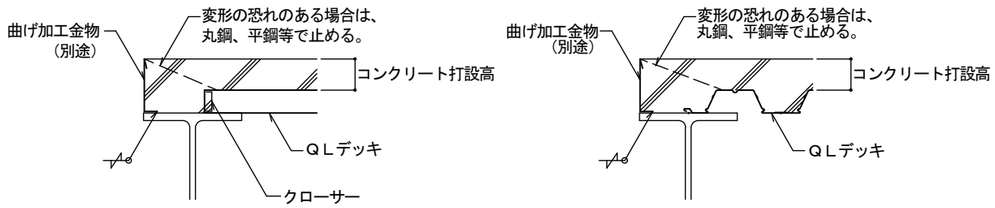
B-B断面

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	検図	設計	製図	図面番号
	2018．03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	ＱＬデッキ納まり図［３］（柱廻梁継）	N．S. 縮尺A3 N．S.				Ｓ－４２

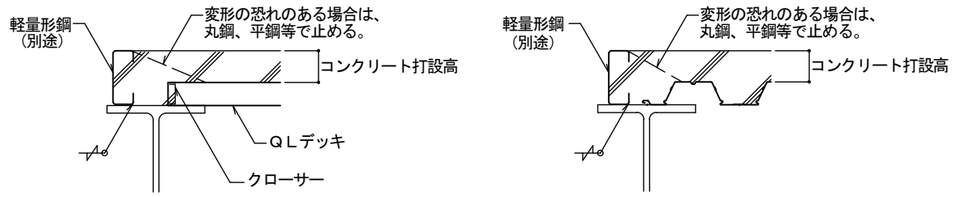
小西建築構造設計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244-5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭

梁縁端部コンクリート漏れ止め

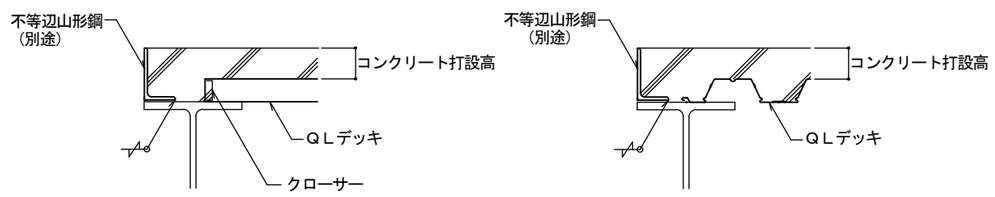
曲げ加工金物利用の場合



軽量形鋼利用の場合



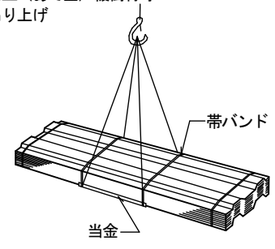
不等辺山形鋼利用の場合



揚重・仮置き

揚重について

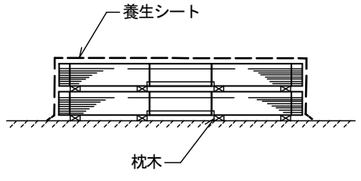
1) 二点吊りを実行
2) デッキプレートの損傷防止（あて金）緩衝材等
3) デッキプレートの水平吊り上げ



デッキ両端部の結束用帯バンドはデッキプレート長さが７ｍ以上の場合の仕様。

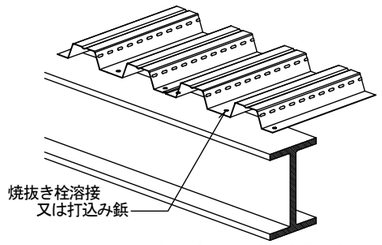
仮置きについて

保管が長期になる場合には、平坦で乾燥した場所を選び、適当な間隔に枕木を並べ、養生シートをかけるなど雨露に対しての対処を行う。



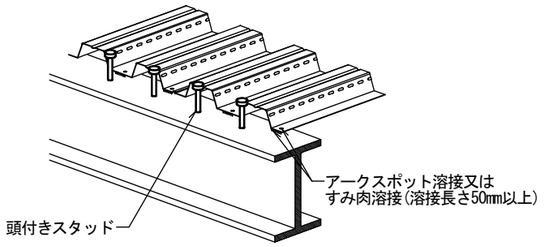
合成スラブと梁との接合

A. 焼抜き栓溶接又は打込み鋲での接合



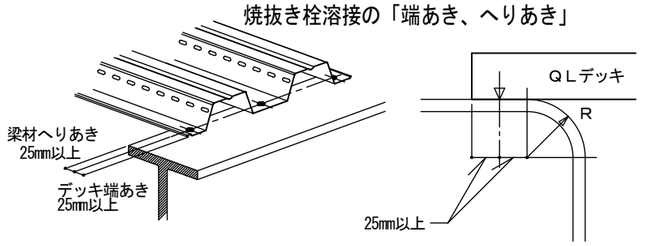
梁のスカラップ付近には打ち込み鋲は打設しない。

B. 頭付きスタッドでの接合

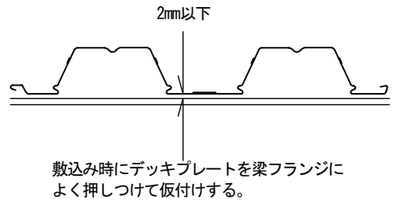


注１）頭付きスタッドを用いる場合は、頭付きスタッドの施工前に、デッキと鉄骨梁とをすみ肉溶接又はアークスポット溶接で接合する。
注２）デッキプレートと梁フランジとのすき間は２㎜以下とする。
注３）焼抜き栓溶接の場合、梁材のへりあき・デッキ端あきは施工誤差等を考慮し、通常「２５㎜」以上とする。

焼抜き栓溶接の「端あき、へりあき」

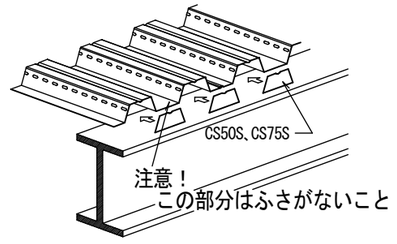


デッキプレートと梁フランジとのすき間



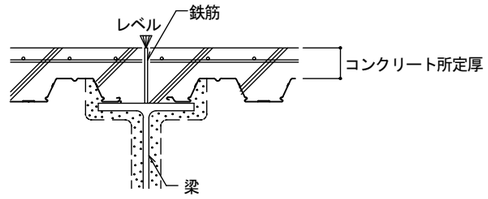
そ　の　他

梁フランジ上の小口ふさぎ

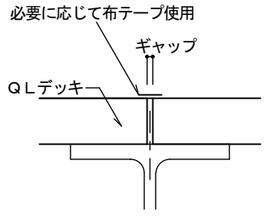


コンクリート厚さの確保

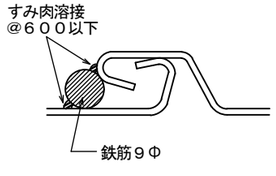
（例：梁上に鉄筋を溶接し定規とする等）



デッキ突き合わせ接合部の処置

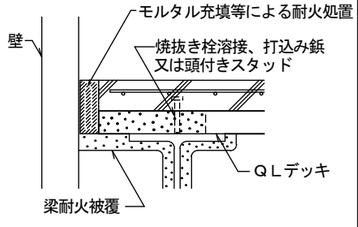


デッキのかみ合わせが不十分な場合の処置



(NonSCALE)

他の部位との接続



備　考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検　図	設　計	製　図	図面番号
	2018. 03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	ＱＬデッキ納まり図［４］（施工仕様）	N. S.	N. S.				Ｓ－４３

小　西　建　築　構　造　設　計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244−5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号　小西　義昭
構造設計一級建築士　第５６６５号

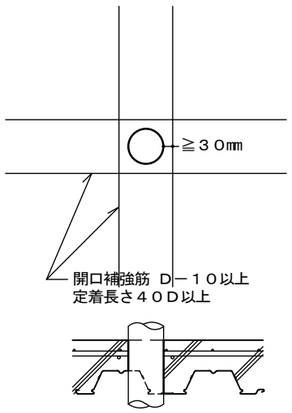
ＱＬデッキ合成スラブの開口部補強方法

ＱＬデッキに開口部を設ける場合、開口部の大きさ・位置・数や、建物床の用途・スパン・施工方法等、個々の条件に合わせて適切な納まり補強が必要です。
ここでは開口部の大きさ別に、事務所・店舗等に使用される合成スラブの開口補強を例示しています。
フォークリフトが走行する床や倉庫・工場等のように大荷重が作用する床は対象外ですので、別途設計者と打ち合わせて下さい。

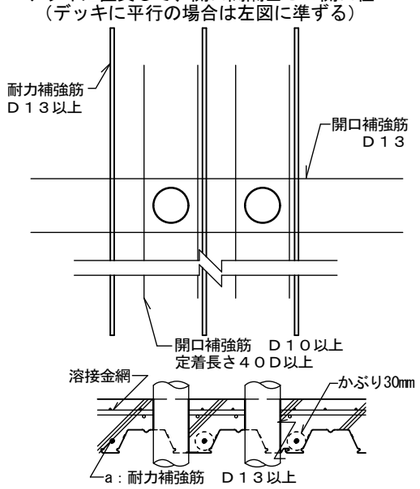
[A]コンクリート箱抜き → コンクリート硬化後デッキ切断

A-① 開口がφ１５０㎜程度の場合

開口間隔≧３×開口径
（独立開口とみなす）

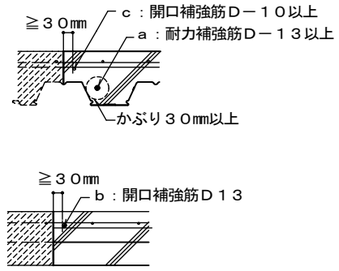


デッキに直交して、開口間隔≦３×開口径
（デッキに平行の場合は左図に準ずる）

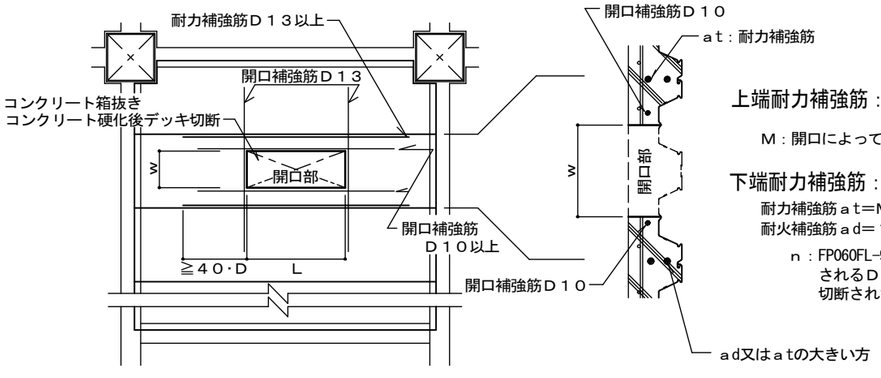


◇共通事項

補強筋の定着長さ、かぶり厚
定着長さ：開口部端より４０D以上
かぶり厚:コンクリート露出面より３０㎜以上



A-② 開口の大きさが幅６００㎜以下、奥行き９００㎜程度以下の場合



上端耐力補強筋：$at=\frac{M}{ft\cdot j}$

Ｍ：開口によって生じる隣接スラブの増加曲げモーメント

下端耐力補強筋：ad又はatの大きい方

耐力補強筋 $at=M/(ft\times j)\ cm^2$

耐火補強筋 $ad=1.27\times(1+n/2)\ cm^2$（単純支持）

ｎ：FP060FL-9101、FP120FL-9113の耐火仕様で要求されるＤ１３耐火補強筋が切断された場合の切断された耐火補強筋の本数

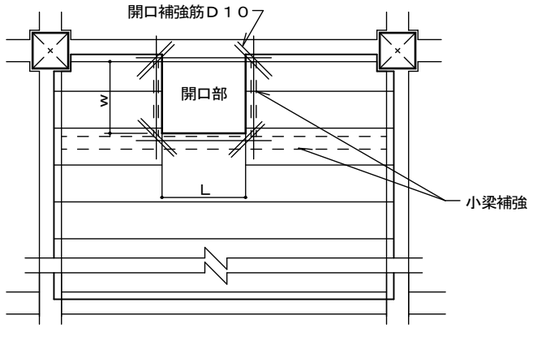
A-③ 開口部の大きさが幅６００㎜以上

小梁で補強し、開口周辺にはコンクリートの開口補強筋を配して下さい。

開口補強筋Ｄ１０以上

定着長：４０D以上

かぶり厚：開口部端より３０㎜以上

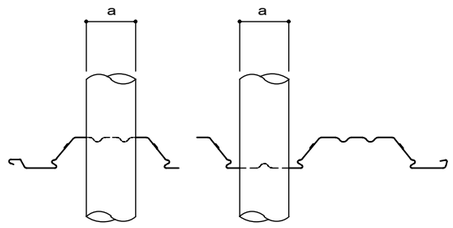


[B]コンクリート打設前にデッキプレートを切断

B-① 開口が１１０㎜程度の場合

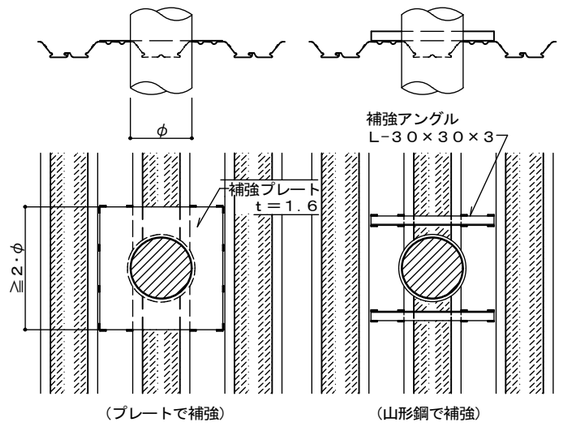
コンクリートの開口補強（Ｄ１０以上）は行って下さい。

開口部がデッキプレートの上フランジ又は下フランジにあり、ウェブにかからない場合、プレート等での補強は要りません。

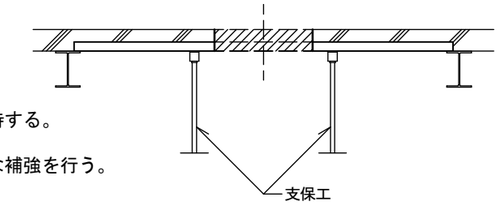


注）ａ：１１０㎜程度

開口部がデッキプレートのウェブにかかる場合



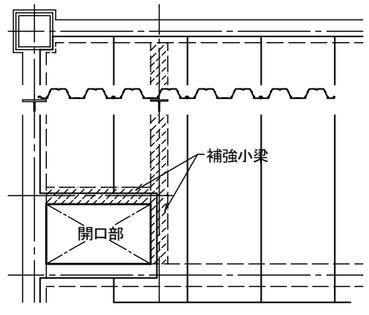
B-② 開口の大きさが幅６００㎜以下、奥行き９００㎜程度の場合



・コンクリート打設部は、支保工を設けてデッキプレートを支持する。
支保工の設置に際しては、支圧の検討を行う。
・コンクリート硬化後の合成スラブの補強は、左図A-②と同様な補強を行う。

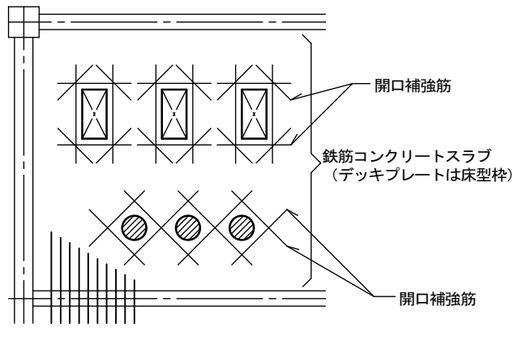
B-③ 大きい開口部の場合（開口幅が６００㎜以上）

・補強小梁を設置してデッキプレートを支持する。
・開口部周辺のコンクリートは鉄筋で補強する。（A-③参照）



B-④ 開口部が多数ある場合

・スラブ構造は合成スラブでなく、デッキプレートを床型枠とした「鉄筋コンクリートスラブ」とする。
・この場合の施工方法は下記のいずれかとする。
1)開口部は箱抜きとし、コンクリートの硬化後にデッキを切断。
2)支保工を用いる。



備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1 / 縮尺A3	検図	設計	製図		図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	ＱＬデッキ納まり図［５］（開口補強）	N. S. / N. S.				小西建築構造設計 金沢市泉野町６丁目１５番１号 TEL（076）244-5615 一級建築士事務所石川県知事登録 第１８０４号 一級建築士 第４３４７９号 構造設計一級建築士 第５６６５号 小西 義昭	Ｓ－４４

デッキ合成スラブに電気配線路を埋設する場合の指針

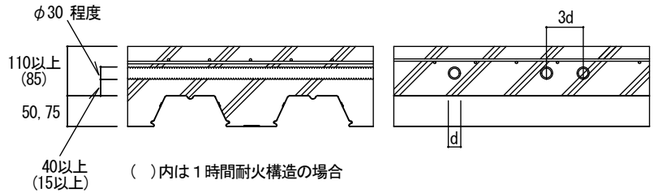
【特記】 ・合成スラブの耐火認定の仕様を用いる場合とする。
・仕様範囲外の場合は所定の厚さのロックウールをデッキ天井面に施す。

［1］電路をデッキプレートの山部に埋設する場合

ＰＦ管やフロアダクト等をデッキプレートと直交方向に埋設する場合

耐火被覆を施さない場合

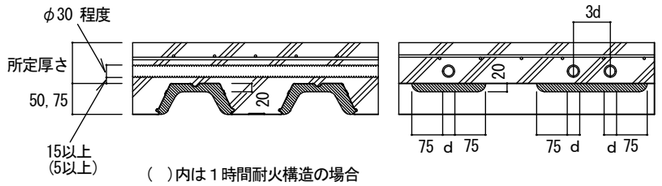
・電路底面からデッキ山部までの被り厚さを40㎜以上(2時間耐火構造)確保する。
・スラブ総厚さは、110㎜以上必要となる。
また、ＰＦ管を3d(d＝直径)以上の間隔で敷設すれば連続して敷設することができる。



( )内は１時間耐火構造の場合

耐火被覆を施す場合

・電路底面からデッキ山部までの被り厚さを15㎜以上(２時間耐火構造)確保し、吹付けロックウールを電路の下面のデッキ谷部に吹付け厚20㎜、吹付け幅75㎜＋電路幅＋75㎜で吹き付ける。

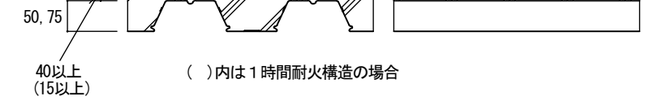


( )内は１時間耐火構造の場合

ＰＦ管やフロアダクト等をデッキプレートと平行方向に埋設する場合

耐火被覆を施さない場合

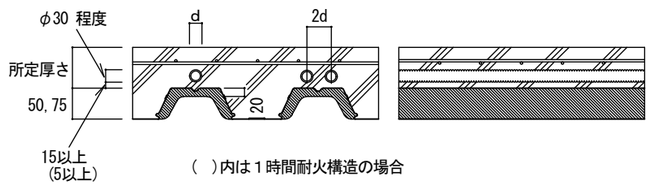
・電路底面からデッキ山部までの被り厚さを40㎜(2時間耐火構造)確保する。
・スラブの総厚さは、110㎜以上必要とする。
また、ＰＦ管を2d(d＝直径)以上の間隔で２本埋設することができる。



( )内は１時間耐火構造の場合

耐火被覆を施す場合

・デッキ山部に敷設する場合で吹付け等の耐火被覆を施す場合には、φ30程度のＰＦ管であればデッキ山部に2d(d＝直径)以上の間隔で2本埋設することができる。

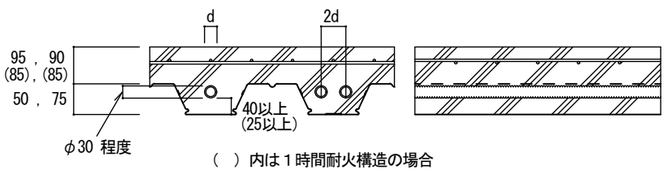


( )内は１時間耐火構造の場合

［2］電路をデッキプレートの谷部に埋設する場合

＜ＰＦ管やフロアダクト等をデッキプレートと平行に埋設する場合＞

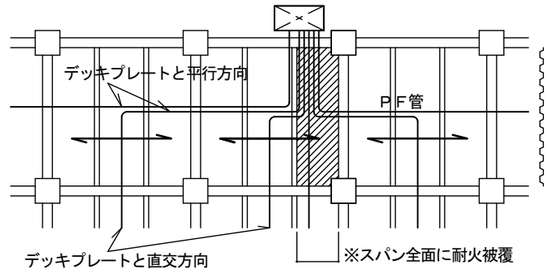
・デッキ谷部に敷設し、デッキ底面から1時間耐火構造で25㎜、2時間耐火構造で40㎜以上の被り厚さを確保する。
・また、φ30程度のＰＦ管であればデッキ谷部に 2d（d＝直径）以下の間隔で２本埋設することができる。



( ) 内は１時間耐火構造の場合

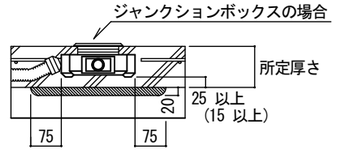
備考:
「デッキプレート床構造設計・施工規準（1987年版）第Ⅳ編 デッキプレートを床電路システムに利用したスラブ構造」から抜粋。(合成スラブ工業会 1998.1月) 部分的に表現を変更。

［3］電路を集中配置する場合



※埋設本数が多い場合や埋設位置が特定しにくい場合は、１つのスパンに埋設を集中させ、スパン全面に所定厚さのロックウールを吹き付ける。

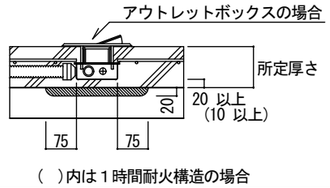
［4］ジャンクションボックスを埋設する場合



( )内は１時間耐火構造の場合

ジャンクションボックスは、一般的にボックス底面が広いために取付け位置にかかわらず、ボックス底面からデッキ山部までの被り厚さを25㎜以上（２時間耐火構造）確保し、吹付けロックウールをボックス下面のデッキプレートに吹付け厚20㎜、吹付け幅＝75㎜＋ボックス幅＋75㎜程度で吹付ける。

［5］アウトレットボックスを埋設する場合



( )内は１時間耐火構造の場合

アウトレットボックスを敷設する場合はボックス底面からデッキ山部までの被り厚さを20㎜以上（2時間耐火構造）確保し、吹付けロックウールをボックス下面のデッキプレートに吹付け厚20㎜、吹付け幅=75㎜＋ボックス幅＋75㎜程度で吹付ける。
ただし、アウトレットボックス（102×102×72程度)をデッキ谷部に埋設する場合は耐火被覆は不要とすることができる。

フロアダクトシステムの耐火構造について

床電路システムとしてセルラデッキシステムと同時に、フロアダクトシステムがよく使用されているが、この場合も建築構造上、耐火上の適切な設計規準がないので、ここでそれらについてもふれておく。

フロアダクトシステムは専用の配線ダクトを用い、幹線と支線をジャンクションボックスで連結し、同一面内でシステムを構成しコンクリートスラブ中に全体を埋設し、インサートスタットより配線を取り出す。

フロアダクトシステムを使用したスラブ構造の場合も、次の４つの耐火要件を満足させることが必要である。

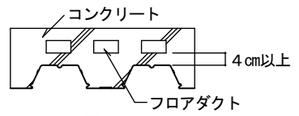
1）耐火区画機能
2）火災時の構造耐力
3）ダクトによる延焼・漏煙防止
4）支持梁の耐火性能の確保

以上４つの要件のうち、フロアダクトシステムはコンクリートスラブに埋設されているため、3）および4）の要件を必然的に満足していることが多い。しかし、ダクト下側のコンクリート厚さが４㎝未満の場合は耐火要件を満たさないので必ず、それ以上のコンクリート厚さを確保しなければならない。（図ａ）

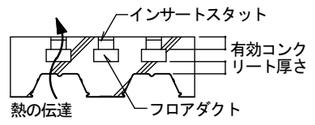
1）および2）については、ダクトによるコンクリートの断面欠損を差し引いた有効コンクリート厚さが、火災時の構造耐力上、耐火区画性能上必要な厚さを確保する必要がある。（図ｂ－１、ｂ－２）

特に、デッキ複合スラブ（一方向性スラブ）の場合、コンクリート厚さが比較的薄いので、そのままフロアダクトシステムを採用すると耐火構造上問題になるおそれがある。

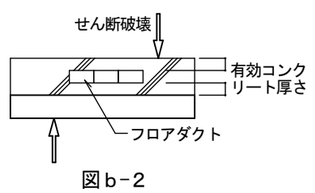
フロアダクトシステムを採用する場合においても、十分なコンクリート厚さの確保が必要である。



図ａ



図ｂ－１



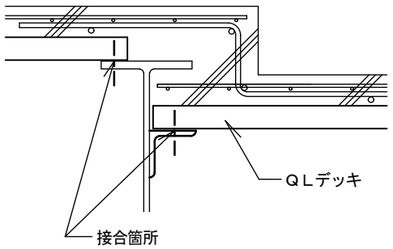
図ｂ－２

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図		図面番号
	2018. 03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	ＱＬデッキ納まり図［６］（電気配線）	N. S.	N. S.				小西建築構造設計 金沢市泉野町６丁目１５番１号 TEL(076) 244-5615 一級建築士事務所石川県知事登録 第１８０４号 一級建築士 第４３４７９号 構造設計一級建築士 第５６６５号 小西 義昭	Ｓ－４５

床スラブに段差がある場合の支持部接合法の参考例

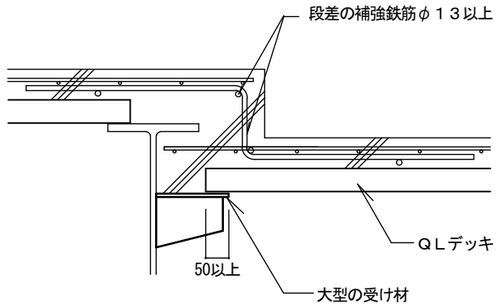
・段差がある場合、梁等の躯体側デッキ支持部において「焼抜き栓溶接」
　または「頭付きスタッド」の施工が可能かどうかを考慮して下さい。
　（下図例の場合、梁ウェブ位置アングル部での施工不可。）

・使用する受け材やスチフナーの板厚・支持間隔・溶接方法等に
　ついては強度面から実際の設計に応じて別途の検討が必要です。

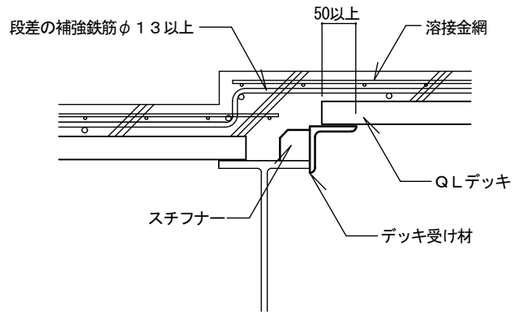


※デッキ受け材については施工時並びに設計時を考慮し、使用コンクリート
　重量や施工時荷重・設計時積載荷重等から、使用部材並びに納まりの詳細
　（溶接サイズ等）を検討して下さい。

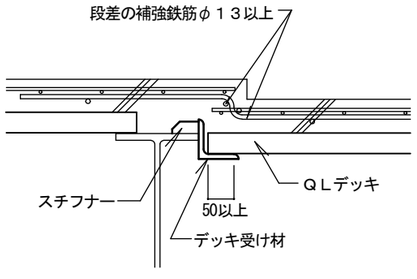
A　受け材を大型にして、梁ウェブに受け材を設ける。



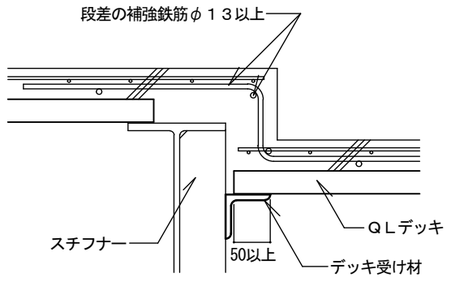
B　床面をかさ上げする場合
小型の受けアングルあるいはＺ形鋼を梁フランジ面に溶接する。



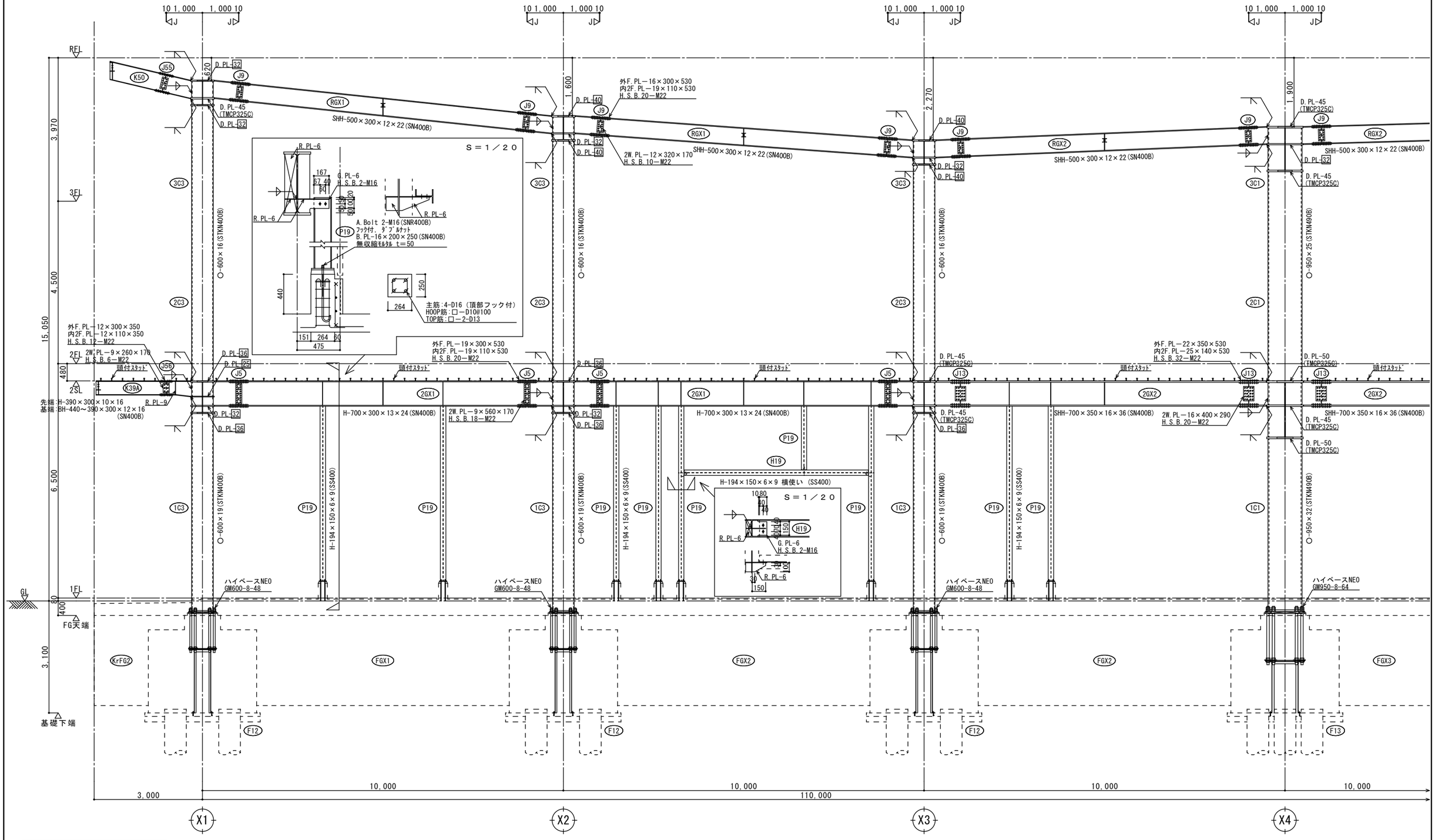
C　床面を少し段落させる場合
小型の受けアングルあるいはＺ形鋼を梁フランジ面に溶接する。



D　床面をかなり段落させる場合
梁スチフナーに受けアングルを溶接する。



備　考	設計年月日 2018. 03	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	図面名 ＱＬデッキ納まり図［7］（床の段差）	縮尺A1 N. S. / 縮尺A3 N. S.	検図	設計	製図	小西建築構造設計 金沢市泉野町６丁目１５番１号 TEL（076）244−5615	一級建築士事務所石川県知事登録 第１８０４号 一級建築士 第４３４７９号 構造設計一級建築士 第５６６５号 小西 義昭	図面番号 S−４６

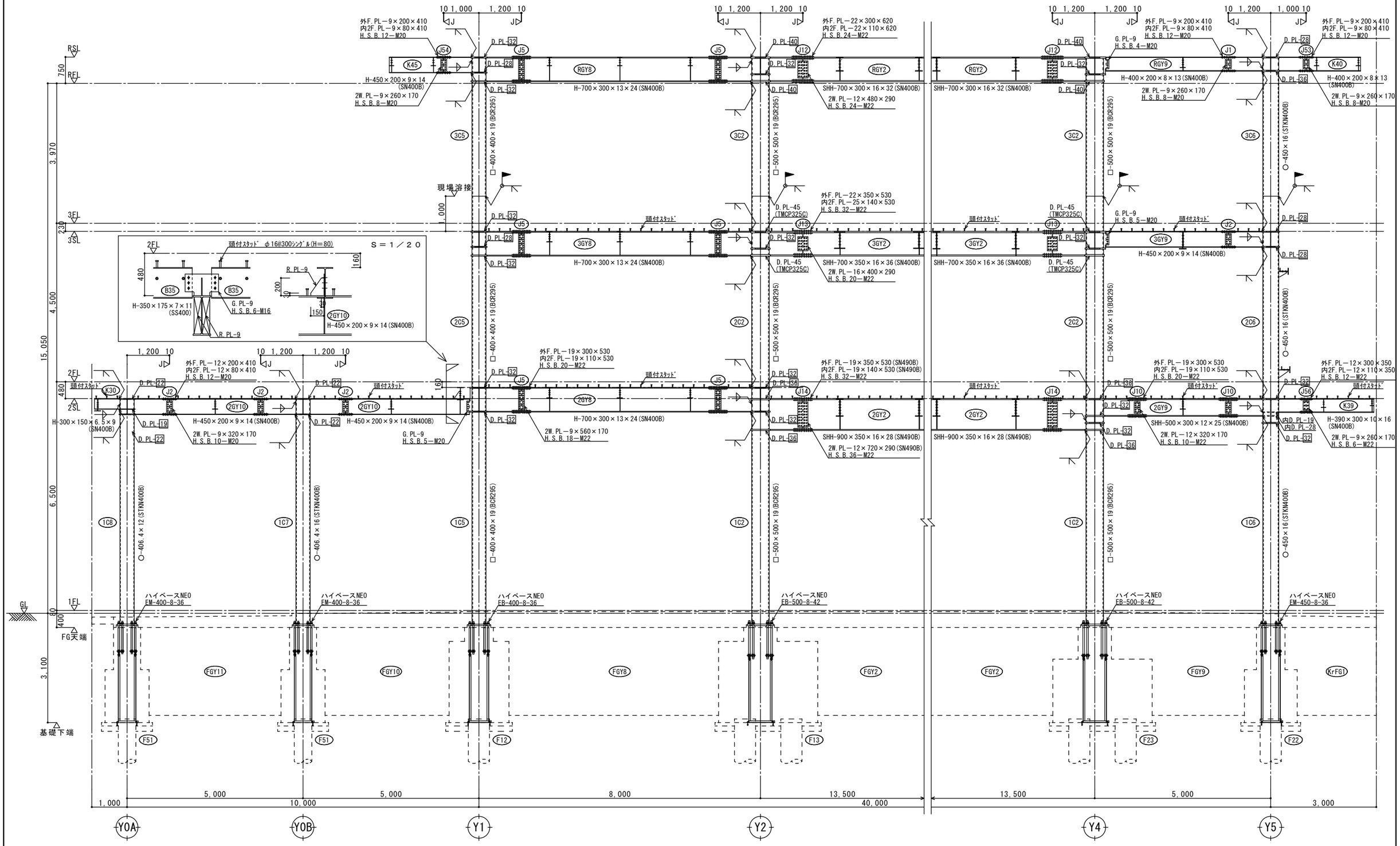


Y4通り架構詳細図　S＝1／50

特記なき限り　頭付スタッドはφ16@300シングル（H＝80）とする。

特記なき限り	
鋼材材質	SN400B
通しダイアフラム材質	SN490C
高力ボルト	S10T

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	検図	設計	製図		図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	鉄骨架構詳細図［1］	1/50, 1/20 縮尺A3 1/100, 1/40				小西建築構造設計 金沢市泉野町6丁目15番1号　TEL(076)244-5615 一級建築士事務所石川県知事登録 第1804号 一級建築士 第43479号 構造設計一級建築士 第5665号　小西 義昭	S－47



X9通り架構詳細図　S＝1／50

特記なき限り　頭付スタッドはφ16@300シングル（H＝80）とする。

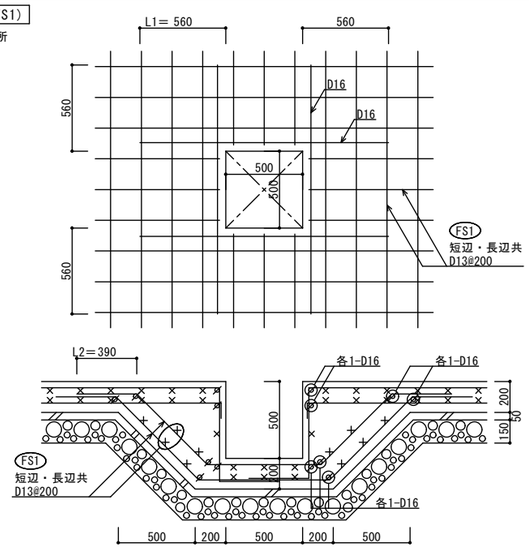
特記なき限り	
鋼材材質	SN400B
通しダイアフラム材質	SN490C
高力ボルト	S10T

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	鉄骨架構詳細図［2］	1／50, 1／20	1／100, 1／40				S－48

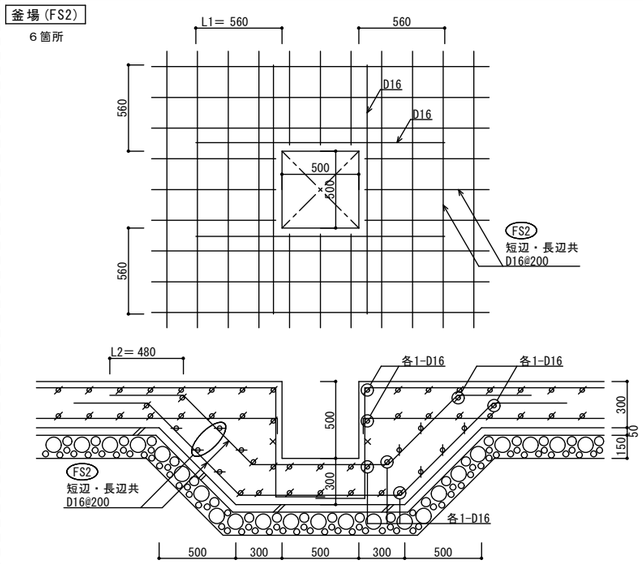
小西建築構造設計　一級建築士事務所石川県知事登録　第1804号
金沢市泉野町6丁目15番1号　TEL(076)244-5615　一級建築士　第43479号　構造設計一級建築士　第5665号　小西　義昭

釜場

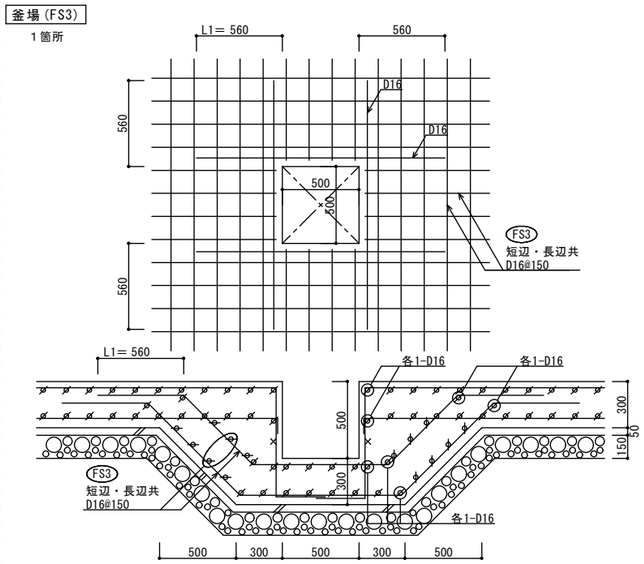
釜場(FS1)
3箇所



釜場(FS2)
6箇所

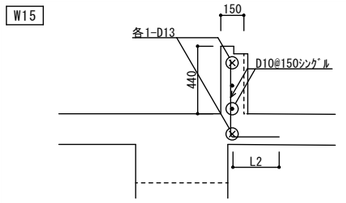


釜場(FS3)
1箇所

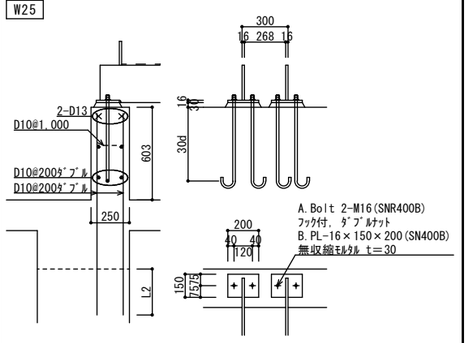


1階立上り壁

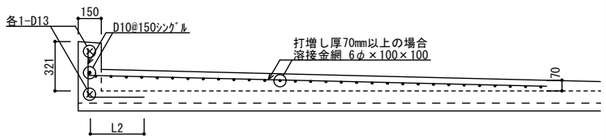
W15



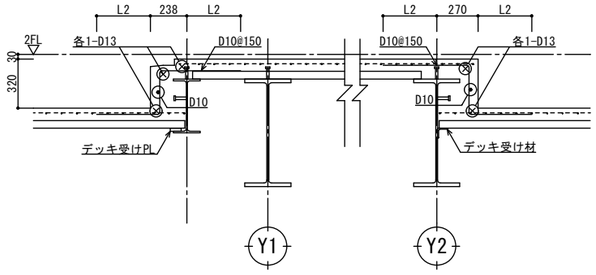
W25



パラペット



スラブ段差

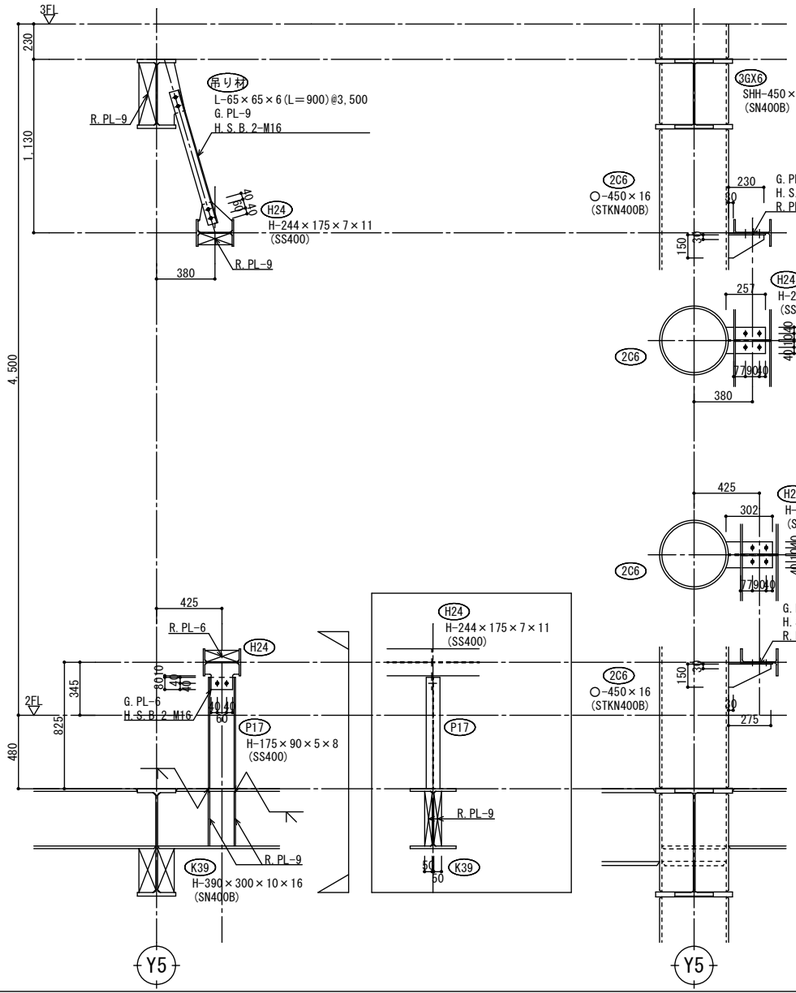


備　考	設計年月日 2018. 03	工事名 金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	図面名 雑詳細図［1］	縮尺A1 1／20 縮尺A3 1／40	検　図	設　計	製　図	小西建築構造設計 金沢市泉野町6丁目15番1号　TEL(076)244−5615 一級建築士事務所石川県知事登録　第1804号 一級建築士　第43479号 構造設計一級建築士　第5665号　小西　義昭	図面番号 S−49

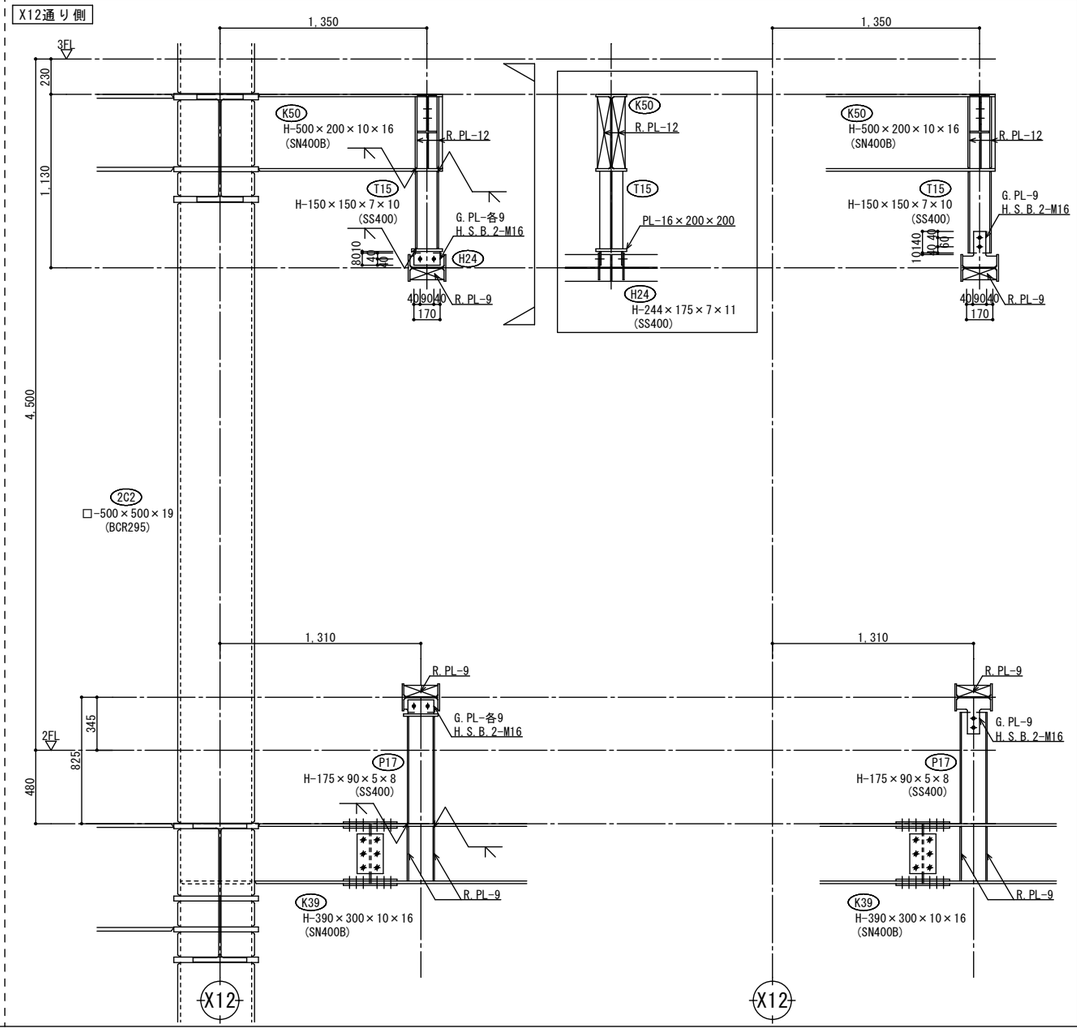
カーテンウォール下地材

特記なき限り　プレートの材質はＳＳ４００とする。高力ボルトはトルシア形高力ボルト(S10T)とする。

Y5通り側

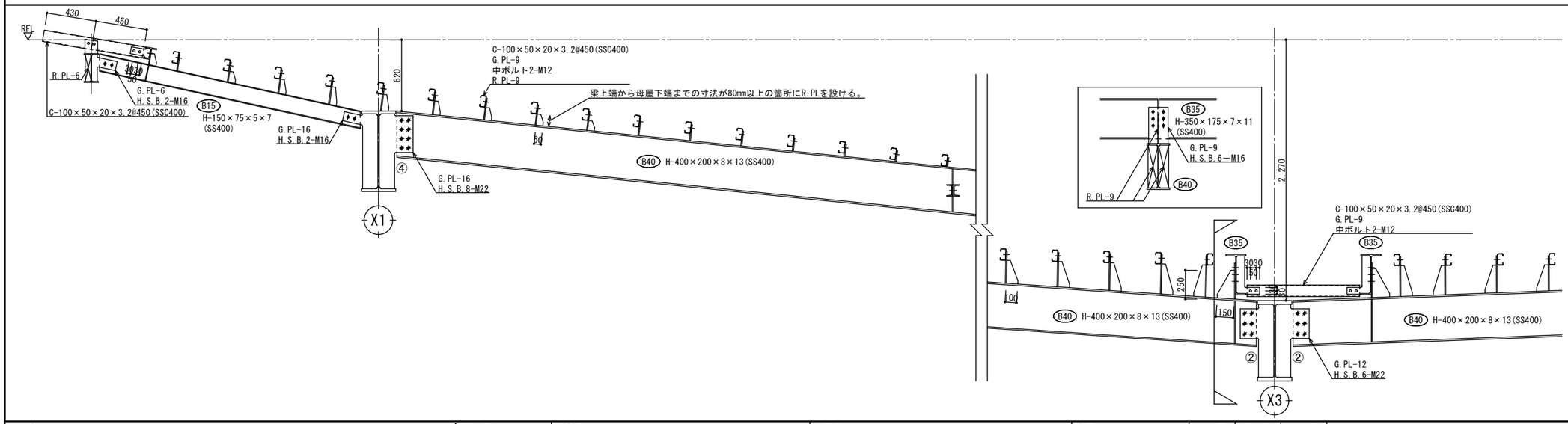


X12通り側



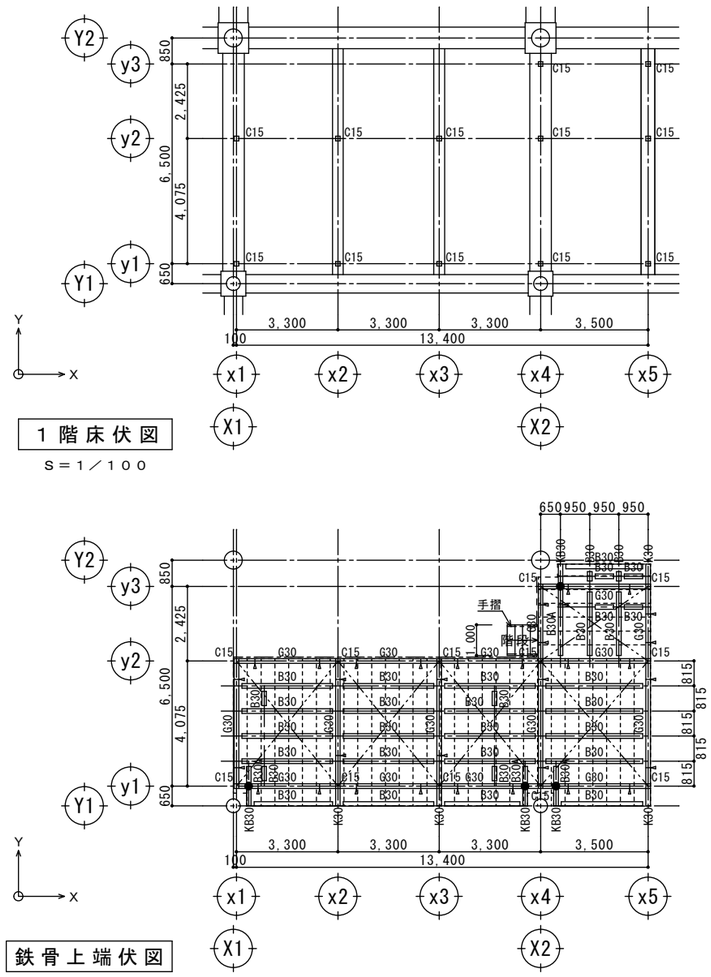
母屋

特記なき限り　プレートの材質はＳＮ４００Ｂとする。高力ボルトはトルシア形高力ボルト(S10T)とする。



備　考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	雑詳細図［２］	1／20	1／40				Ｓ－５０

小西建築構造設計　一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL(076)244-5615　一級建築士　第４３４７９号　構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭

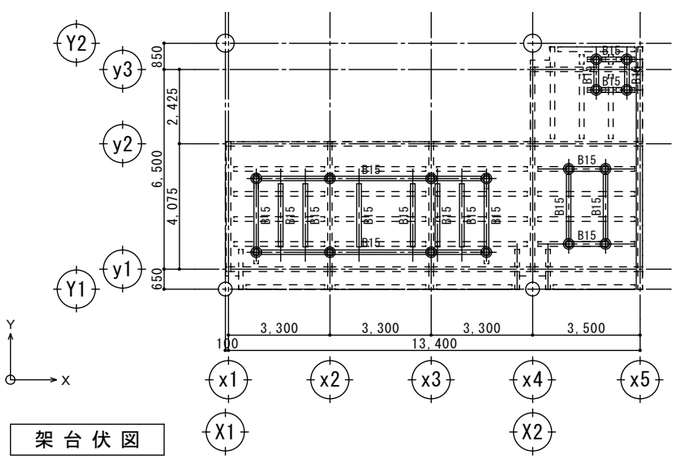


1階床伏図

S＝1／100

鉄骨上端伏図

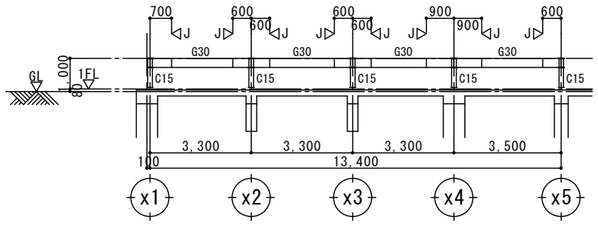
S＝1／100



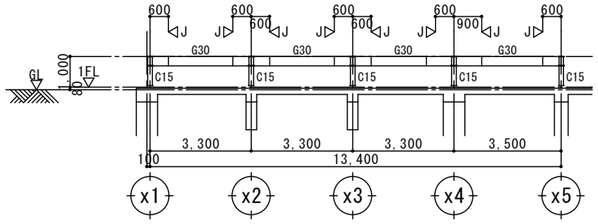
架台伏図

S＝1／100

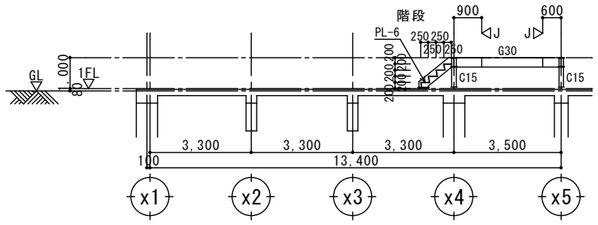
◎：下部Ｂ３０と高力ボルトで接合する。



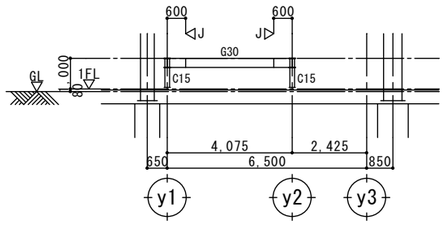
y1通り軸組図　S＝1／100



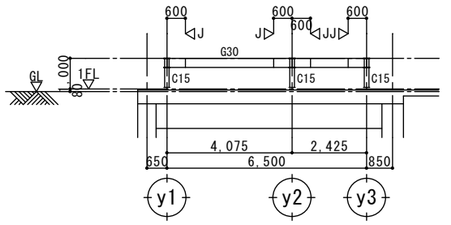
y2通り軸組図　S＝1／100



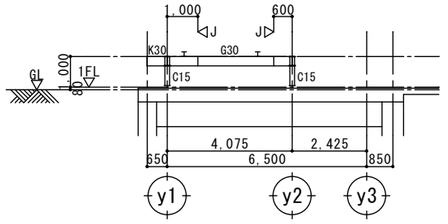
y3通り軸組図　S＝1／100



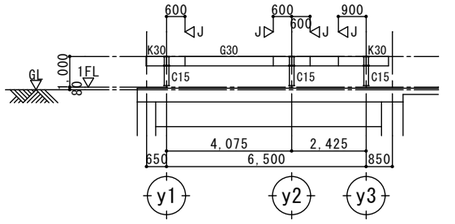
x1通り軸組図　S＝1／100



x4通り軸組図　S＝1／100



x2通り，x3通り軸組図　S＝1／100



x5通り軸組図　S＝1／100

鉄骨柱脚リスト　S＝1／30

C15	ササラ桁
□－150×150×6（BCR295）	PL－12×300（SS400）
A. Bolt 2-M20(SNR400B) フック付，ダブルナット B. PL-22×200×330(SN490C) 無収縮モルタル t＝50	A. Bolt 2-M16(SNR400B) ダブルナット B. PL-16×200×350(SN400B) 無収縮モルタル t＝50

鉄骨部材リスト

符号・部位	サイズ	材質	備考
C15	□－150×150×6	BCR295	
G30	H－300×150×6．5×9	SN400B	
K30	H－300×150×6．5×9	SN400B	
B30	H－300×150×6．5×9	SS400	
B30A	H－300×150×6．5×9	SS400	剛接合のジョイントまでをSN400Bとする。
B15	H－150×150×7×10	SS400	
水平ブレース	1－M20（ターンバックル筋かい）	JIS A 5540	
ササラ桁	PL－12×300	SS400	G．PL－12，H．S．B．3－M16
床受け根太	L－65×65×6@450	SS400	

小梁仕口リスト　S＝1／20

B30，B30A	B15
H－300×150×6．5×9	H－150×150×7×10
G. PL-9(SN400B) H.S.B.3－M16(S10T)	G. PL-9(SN400B) H.S.B.2－M16(S10T) B15:H-150×150×7×10 B30:H-300×150×6.5×9 H.S.B.4－M16(S10T)

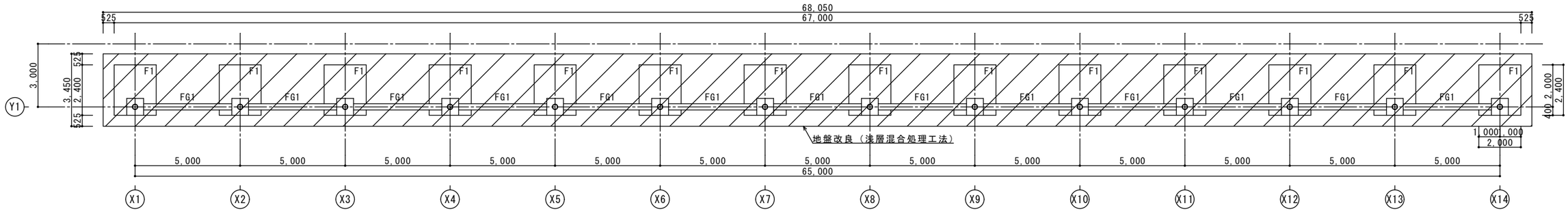
梁継手リスト　S＝1／20

スプライスプレートの材質は、大梁ＳＮ４００Ｂ材，小梁ＳＳ４００材とする。

G30，B30A
H－300×150×6．5×9　(G30:SN400B) (B30A:SS400)
外F.PL－9×150×290 内2F.PL－9×60×290 H.S.B.8－M16(S10T) 2W.PL－6×200×170 H.S.B.6-M16(S10T)

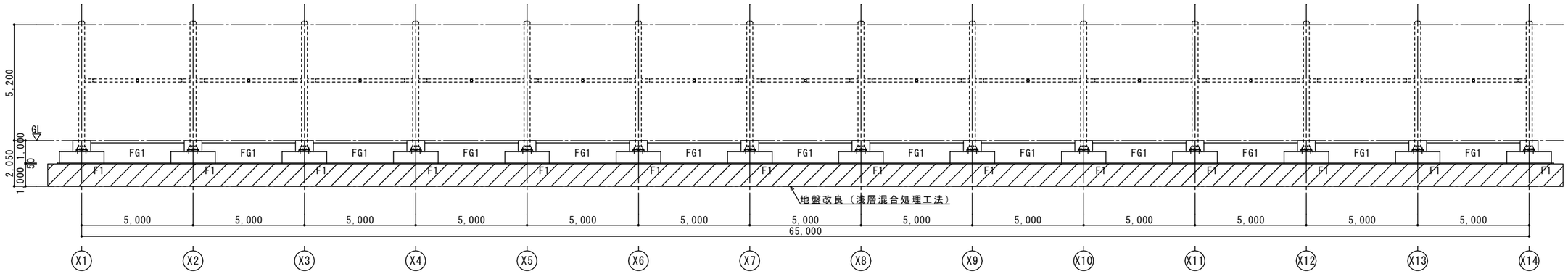
備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	検図	設計	製図	図面番号
	2018．03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	架台伏図，軸組図，部材リスト（電気室）	1／100，1／30，1／20 縮尺A3 1／200，1／60，1／40				S－51

小西建築構造設計　一級建築士事務所石川県知事登録　第1804号
金沢市泉野町6丁目15番1号　TEL(076)244-5615　一級建築士　第43479号　構造設計一級建築士　第5665号　小西　義昭



基 礎 伏 図　S＝1／100

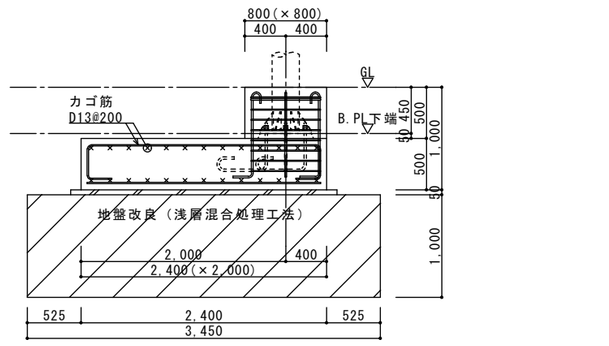
アンカープラン及び鉄骨柱脚の形状は意匠図による。

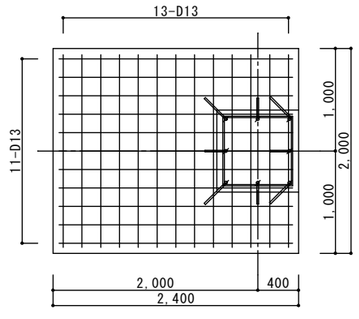


Y1通り軸組図　S＝1／100

上部構造及び鉄骨柱脚の形状は意匠図による。

基礎リスト　S＝1／30

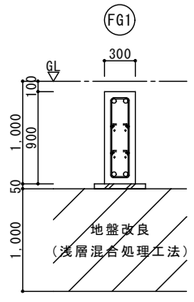




柱型

断面	800×800
主筋	8-D16
TOP筋	□-2-D13
HOOP筋	□-D10@100

基礎梁リスト　S＝1／30



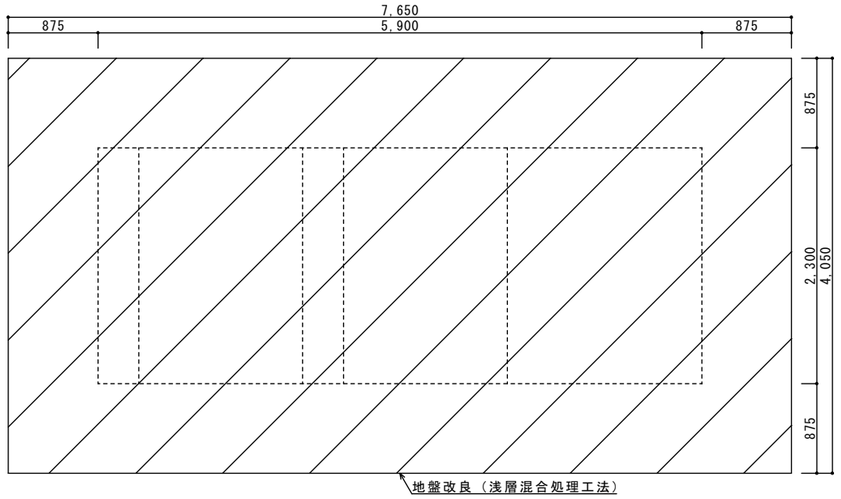
断面	300×900
上端筋	2-D22
下端筋	2-D22
STRP筋	□-D10@200
腹筋	4-D13
巾止筋	D10@1,000

地盤改良仕様（浅層混合処理）

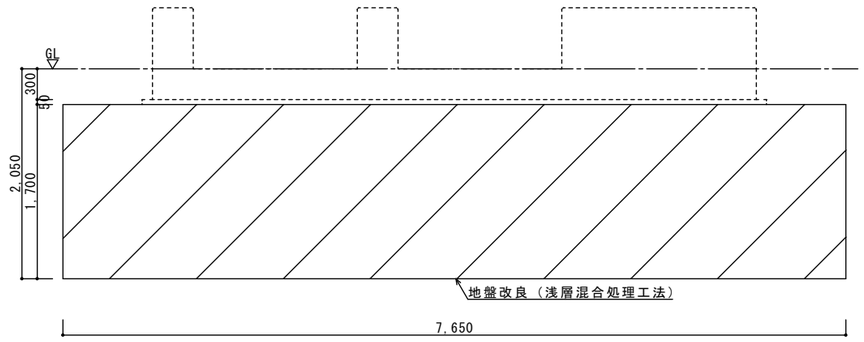
1．適用範囲
　基礎及び基礎梁下の地盤改良に適用する。
2．工法
　セメント系固化材による原位置混合方式又は事前混合方式とする。
3．用語
　本仕様に用いる用語は、「改訂版　建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針　－セメント系固化材を用いた深層・浅層混合処理工法－」平成１７年２月日本建築センター発行（以下「指針」と表す）による。
4．一般事項
　施工に先立ち施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。
　施工方法、使用機器及び施工管理等は、施工業者の仕様によってよい。
　施工に対して疑義が生じた場合は、直ちに監理者と協議する。
5．設計基準強度
　改良地盤の設計基準強度　　Ｆｃ＝０．１５Ｎ／mm2(１５０ＫＮ／m2)とする。
6．固化材の材質、使用量及び地盤の改良範囲
　固化材はセメント系固化材とし、施工業者の仕様によるものとする。
　ただし、建築工事において実績のあるものとする。
　改良地盤土１m3あたりの固化材添加量は１００kgとするが配合試験の結果により決める。
　改良範囲は，基礎伏図の▨の範囲とする。
　改良厚さは軸組図によるものとする。
7．品質管理
　品質管理は次による。それ以外は「指針」第３編　浅層混合処理工法の設計・品質管理指針による。
　本施工終了後、次の試験を行う。
　・　コア供試体による一軸圧縮試験
　　１検査区当たり３箇所（供試体９本）行う。

備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1 / 縮尺A3	検図	設計	製図	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	キャノピー基礎図	1／100，1／30 / 1／200，1／60				S－52

小西建築構造設計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244－5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭



伏　図　　受水槽及び基礎は設備図による。

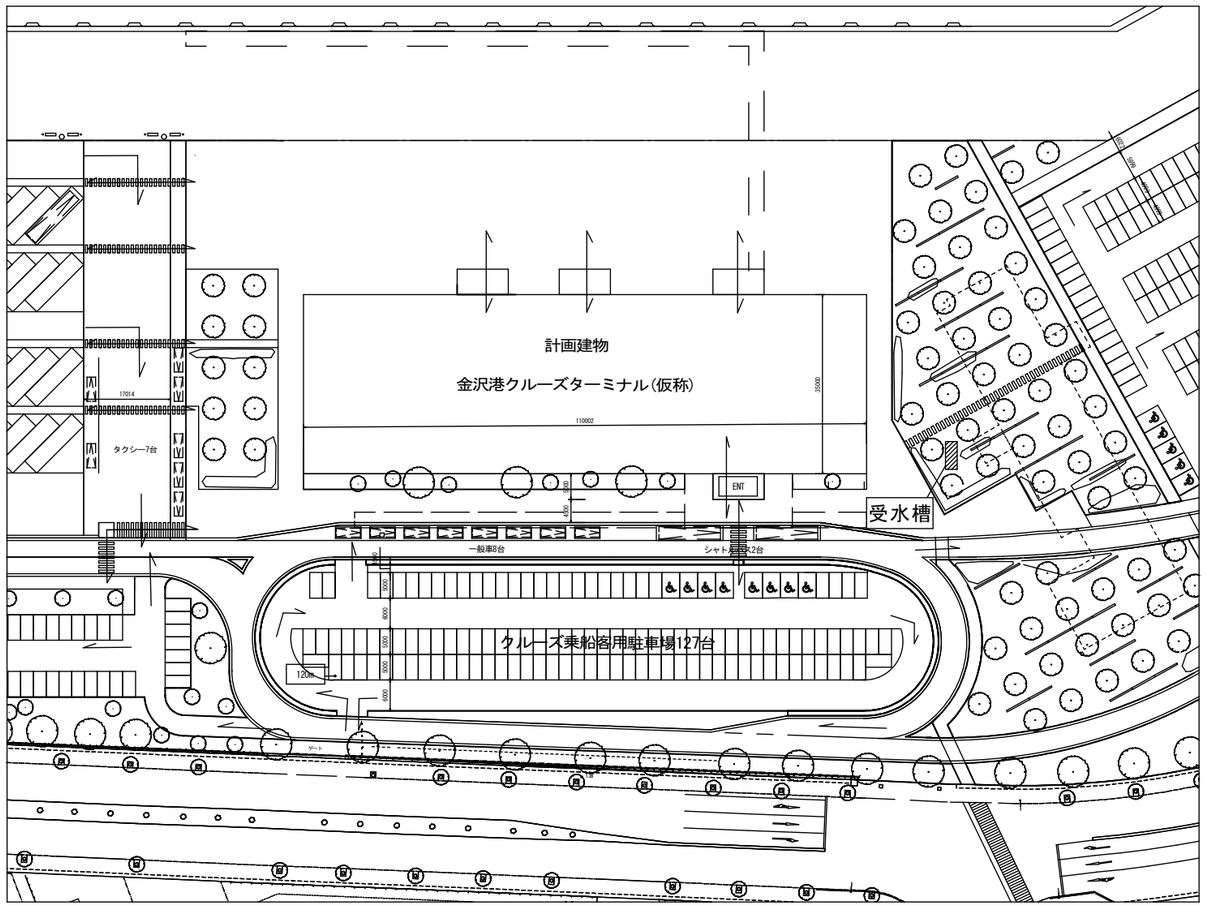


軸 組 図　　受水槽及び基礎は設備図による。

地盤改良仕様（浅層混合処理）

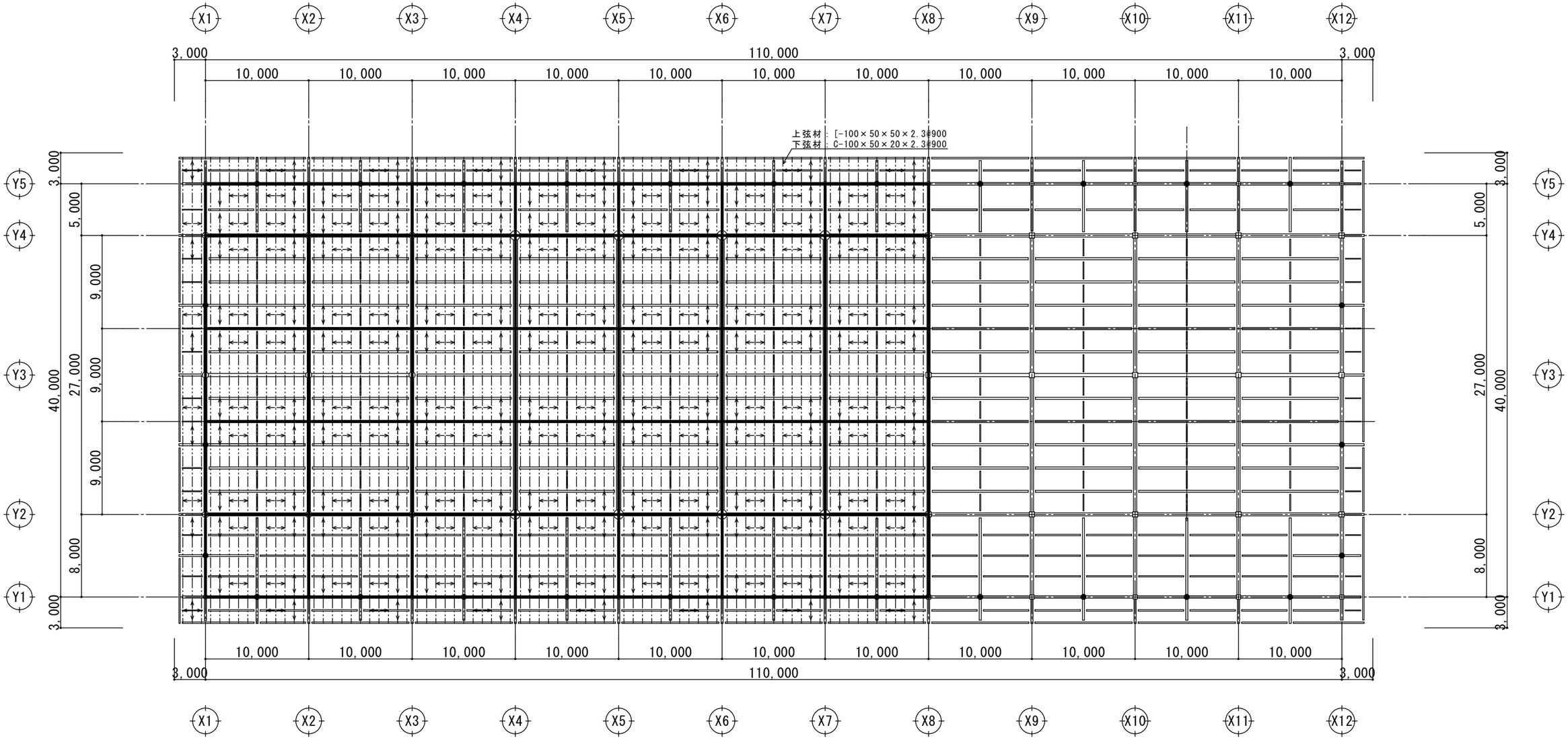
１．適用範囲
　基礎下の地盤改良に適用する。
２．工法
　セメント系固化材による原位置混合方式又は事前混合方式とする。
３．用語
　本仕様に用いる用語は、「改訂版　建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針　－セメント系固化材を用いた深層・浅層混合処理工法－」平成１７年２月日本建築センター発行（以下「指針」と表す）による。
４．一般事項
　施工に先立ち施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。
　施工方法、使用機器及び施工管理等は、施工業者の仕様によってよい。
　施工に対して疑義が生じた場合は、直ちに監理者と協議する。
５．設計基準強度
　改良地盤の設計基準強度　　Ｆｃ＝０．１５Ｎ／mm2(１５０ＫＮ／m2)とする。
６．固化材の材質、使用量及び地盤の改良範囲
　固化材はセメント系固化材とし、施工業者の仕様によるものとする。
　ただし、建築工事において実績のあるものとする。
　改良地盤土１m3あたりの固化材添加量は１００kgとするが配合試験の結果により決める。
　改良範囲は，伏図の▨の範囲とする。
　改良厚さは軸組図によるものとする。
７．品質管理
　品質管理は次による。それ以外は「指針」第３編　浅層混合処理工法の設計・品質管理指針による。
　本施工終了後、次の試験を行う。
　・　コア供試体による一軸圧縮試験
　　１検査区当たり３箇所（供試体９本）行う。

受水槽配置図



備　考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図	図面番号
	2018．03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	受水槽地盤改良図	1／30	1／60				S－53

小　西　建　築　構　造　設　計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　　TEL（076）244－5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭



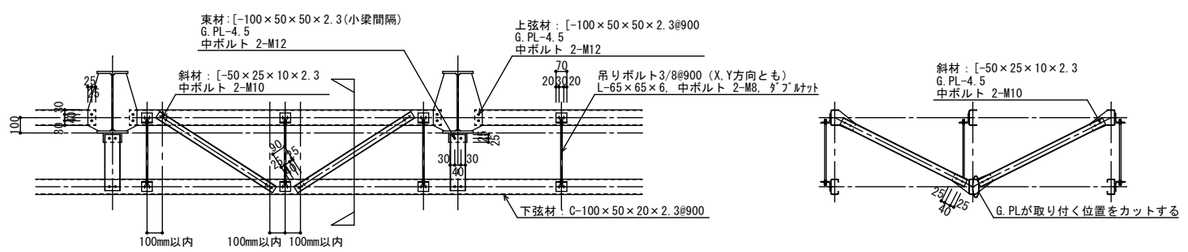
Y
X

特定天井下地伏図（参考図）　S＝1／200

凡例

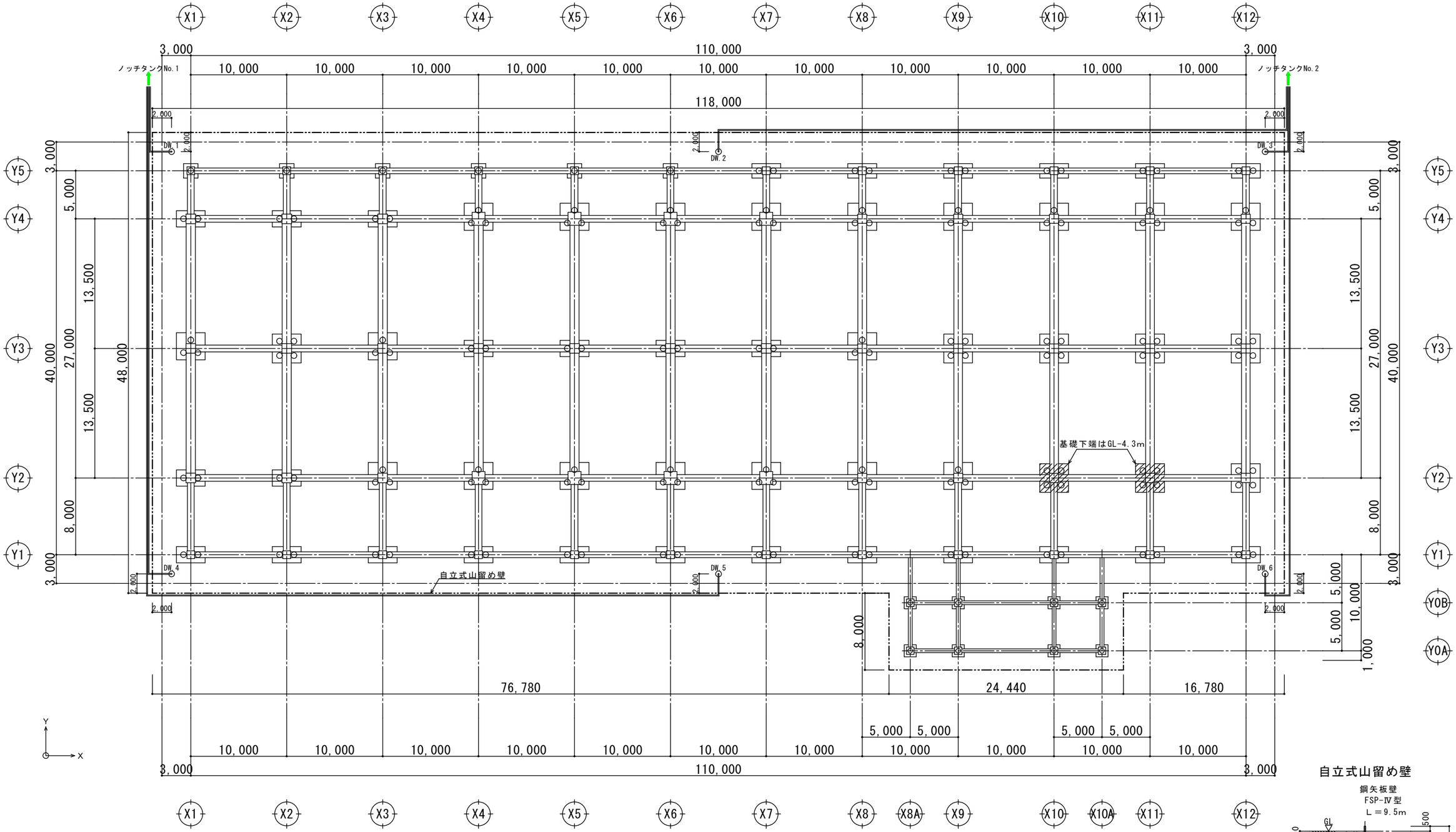
斜材　吊り元 ← → 吊り先 → 吊り元　斜材の総数は、X方向及びY方向とも１６０組とする。

特定天井下地詳細図　S＝1／30



備考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	特定天井下地伏図，詳細図（参考図）	1／200，1／30	1／400，1／60				S－54

小西建築構造設計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244－5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭

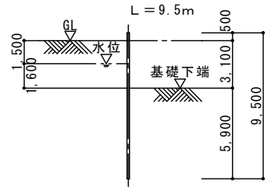


自立式山留め壁計画図（参考図）

鋼矢板の圧入はウォータージェット工法とする。
特記なき限り　基礎下端はGL-3.1mとする。

ディープウェル工法
Φ600　L=9m　6本（薄肉鋼管）
４インチホース仕様
排水用汚泥沈殿槽２個

自立式山留め壁



備　考	設計年月日	工事名	図面名	縮尺A1	縮尺A3	検図	設計	製図	図面番号
	2018.03	金沢港機能強化整備（クルーズターミナル）建設工事（建築）	自立式山留め壁計画図（参考図）	1／200	1／400				S－55

小　西　建　築　構　造　設　計
金沢市泉野町６丁目１５番１号　TEL（076）244－5615
一級建築士事務所石川県知事登録　第１８０４号
一級建築士　第４３４７９号
構造設計一級建築士　第５６６５号　小西　義昭